

1996（平成8）年度

講義内容



法学部

駒澤大學

1996(平成8)年度 学年暦 は全学休業日

日	月	火	水	木	金	土
4月(平成8年)						
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30				
5月						
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	
6月						
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30						
7月						
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			
8月						
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31
9月						
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30					

8日 入学式
 9日~11日 新入生オリエンテーション
 9日~10日 生涯スポーツ実習受届け受付
 (1年次生・予備日11日~17日)
 在校生成績発表
 9日~13日 在校生身分登録
 12日 前期授業開始
 12日~18日 在校生成績質疑応答
 12日・15日・17日 事前登録日
 15日・17日・19日 事前登録結果発表日
 23日~25日 履修届受付(土曜日は除く)
 ※学科により曜日が異なる

13日・14日 履修届訂正期間
 25日 卒業論文論題受付開始
 (~6月10日)

10日 卒業論文論題受付締切(正午)

12日~18日 中間試験および
 前期終了科目定期試験
 ※授業平常どおり
 19日 前期授業最終日
 20日~24日 生涯スポーツ実習集中授業
 21日 夏季休業開始(~9月15日)
 24日 前期終了科目定期試験欠試験
 (追試験申込)受付締切

27日~29日 全学休業
 8日~18日 全学休業

2日~6日 前期補講期間
 9日~13日 生涯スポーツ実習(シーズン・ゴルフ)
 17日 後期授業開始
 18日~19日 前期終了科目定期試験成績発表
 成績質疑応答および再試験申込受付
 外国語指定届受付
 ※仏教・文(除英米文・社会)・経済学部
 前期終了科目追再試験(~10月2日)
 ※授業平常どおり
 26日・27日 専攻コース指定届受付
 (歴史学科1年次生)

日	月	火	水	木	金	土
10月						
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		
11月						
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
12月						
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				
1月(平成9年)						
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	
2月						
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	
3月						
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

15日 第114回開校記念日

5日~11日 編入学試験願書受付
 12日~15日 転部・転科試験願書受付
 20日~22日 教職課程資格講座受講
 登録ガイダンス

1日 編入学・転部・転科試験
 2日~10日 卒業論文受付
 ※最終日は正午まで
 21日 冬季休業開始
 (~1月7日)
 21日・24日 後期補講日
 21日~25日 生涯スポーツ実習集中授業

8日 後期授業再開
 14日 後期授業最終日
 16日~24日 定期試験(専門・教職科目)
 定期試験
 (宗教・教養教育・
 外国語・保健体育科目)

25日~31日

5日 定期試験欠試験(追試験申込)
 受付締切
 6日 卒業論文口頭試問
 17日・18日 成績発表(学部4年生・短大生)
 および再試験申込受付
 17日~21日 生涯スポーツ実習
 (シーズン・スキー)
 22日~28日 追・再試験

19日 卒業者名簿発表
 25日 卒業式
 26日~31日 春季休業

講 義 内 容

(目 次)

全 学 共 通 科 目	
宗 教 教 育 科 目	3
教 養 教 育 科 目	
人 文 分 野	33
社 会 分 野	57
自 然 分 野	85
総 合 分 野	117
外 国 語 科 目	129
保 健 体 育 科 目	429
専 門 教 育 科 目	専1
日 本 語 ・ 日 本 事 情 科 目	日1
他 学 部 履 修 科 目	他1
随 意 科 目	随1
教 職 ・ 資 格 講 座	教1

全学共通科目

宗教教育科目

宗 教 教 育 科 目

《必修科目》

仏教と人間	(田 上 太 秀)	9
仏教と人間	(吉 津 宜 英)	9
仏教と人間	(佐々木 宏 幹)	10
仏教と人間	(山 端 昭 道)	10
仏教と人間	(山 岡 隆 晃)	11
仏教と人間	(松 田 文 雄)	11
仏教と人間	(佐 藤 憲 昭)	12
仏教と人間	(池 田 魯 参)	12
仏教と人間	(金 沢 篤)	13
仏教と人間	(原 田 弘 道)	13
仏教と人間	(石 川 力 山)	14
仏教と人間	(伊 藤 秀 憲)	14
仏教と人間	(石 井 修 道)	15
仏教と人間	(片 山 一 良)	15
仏教と人間	(石 井 清 純)	16
仏教と人間	(佐 藤 秀 孝)	16
仏教と人間	(菅 原 壽 清)	17
仏教と人間	(渡 部 正 英)	17
仏教と人間	(小 川 順 敬)	18
仏教と人間	(池 田 練太郎)	18
仏教と人間	(長谷部 八 朗)	19
仏教と人間	(伊 藤 隆 壽)	19
仏教と人間	(永 井 政 之)	20
仏教と人間	(石 井 公 成)	20
仏教と人間	(袴 谷 憲 昭)	21
仏教と人間	(奥 野 光 賢)	22
仏教と人間	(木 村 誠 司)	22
仏教と人間 (前期)	(角 田 泰 隆)	23
仏教と人間 [再クラス]	(岡 部 和 雄)	23
仏教と人間 [再クラス]	(田 中 良 昭)	24
仏教と人間 (前期) (後期)	(鈴 木 格 禅)	24
仏教と人間 (前期) (後期)	(峰 岸 孝 哉)	25

《選択科目》

文化と宗教	(長谷部 八 朗)	29
社会と宗教	(佐 藤 憲 昭)	29
坐 禅 (前期) (後期)	(木 村 誠 治)	30
日本仏教史 (前期)	(石 井 公 成)	31

必修科目

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
仏 教 と 人 間	た がみ たい しゅう 田 上 太 秀	禅 1 必	4

講義のねらい

禅の思想の源流は遠くインダス文明にまでさかのぼることができる。今日、わが国に伝えられている禅の思想・その修行方法は内容や形態は大いに異っているものの、その基本的な姿勢は、インダス文明に存在したものであることは疑いない。

この禅は、ゴータマ・ブッダという偉大な宗教家によって新たな修行法に改められ、仏教特有な禅としてのちには展開することになった。

禅はその原語から判断すると真理について、世界について、人間存在について深く沈思・考察し、そして洞察する行法であったと考えられる。わが身については、からだとは何か、何によって構成されているのか、心とは何かなどさまざまな疑問が湧いてくるものを一つ一つ解決する行法であったといっている。

講義の内容・
履業スケジュール

この講義では、インド仏教というよりインド思想全般から人間とは何かを考えることにしたい。そして禅の思想の流れを眺めて、種々の禅思想を学んで行くことにしたい。

教 科 書

田上太秀著『禅の思想』東京書籍刊 1,009円

参 考 書 等

田上太秀著『禅語散策』東京書籍刊 1,030円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
仏 教 と 人 間	よし づ よし ひで 吉 津 宜 英	仏 教 1 必	4

講義のねらい

この科目は、駒澤大学がその建学の理念を仏教に措いているところから、その基本的な立場を出るだけ理解してもらいたいという根本趣旨から必修となっている。

ただ、当該学科に入学した皆さんは、4年間かけて仏教や禅の内容を学問的に修得しようという意図を持っているわけであるから、建学の理念については、この科目以外の場においても、じっくりと時間をかけて理解していただけたらと思う。

したがって、私はこの科目の内容の中に宗教学的な視点をも採り入れ、「宗教と人間」と言うぐらいに広くテーマを設定してみたい。そして、「人間とはなにか」・「宗教とはなにか」・「なぜ宗教が存在するのか」・「はたして宗教は必要なのか」・「現代社会と宗教」といった課題を、他の政治・経済・教育・歴史・哲学・文学等といった分野の諸問題と関連させることを通して、宗教の存在の意義と問題点を考えてみたい。

講義の内容・
履業スケジュール

前期は広く世界の諸宗教の中での仏教の特色を理解してもらいたい。後期は、仏教の中にも、いろいろの形態がどこに、どのように、なぜ成立し、存在しているのかを考えて行く。

履修上の留意点

ただ、受動的に聴くだけでなく、いつも「なぜ」という問いを発して能動的に問題に取り組んでももらいたい。その姿勢を育ててもらうために、ときどきは小論文を書いてもらうこともある。また、出来るだけ質問をしてもらいたい。

履修上の留意点

出席点、小論文、レポート、年度末のテストなどによって総合的に評価したい。

教 科 書

特別は教科書は指定しないが、必ず当該科目用の自分のノートを用意すること。年間を通じてノート作りを励行し、結果的に自分自身の当該科目への取り組みが一つの成果として残るようにしてもらいたい。

参 考 書 等

参考書等は、講義の進行にあわせて、その都度指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
仏 教 と 人 間	さ さ き こう かん 佐 々 木 宏 幹	国 文 1 必	4

講義のねらい

1. 仏教の開祖釈尊は人間（および世界の諸事象）をどう捉えたか。人間の問題（生老病死その他）を究極的に解決するためにどのような方法を提示したかを説明する。
2. 仏教は世界各地に伝播したが、それぞれの国や民族・社会において土着の宗教観や習俗と接触し、さまざまな様相を示すにいたる。ここに仏教の教えと民族（人間）の問題が生じてくるので、これを考察する。
3. 日本人にとって仏教とは何かについて、思想・芸術・道徳・習俗などに及ぼした仏教の役割について取りあげる。
4. 21世紀を間近にひかえて、世界には民族・環境・平和・人権などの問題があり、解決を迫っている。これら問題にたいして、仏教者として何ができるかについて考察する。

講義の内容・
授業スケジュール

仏教の世界観・人生観と他の諸宗教のそれとの関係や差異の問題に関連づけながら「講義のねらい」で述べた1～4までの諸課題について、できるだけ分かりやすく説明していく。つねに「人間とは?」「人生とは?」のテーマを中心に仏教の教えを説明する方法をとりたい。

履修上の留意点

ときどき出席をとり、評価の参考にする。前期と後期に各一度、仏教と人間について自分の人生観を含む短いレポートを提出してもらおう。

成績評価の方法

定期試験において行なうが、一・二度提出してもらいレポートの内容も評価の参考にする。

教 科 書

水野弘元・柴田道賢監修『宗教学ハンドブック』世界書院 2,060円

参 考 書 等

必要に応じて紹介する。

そ の 他

ビデオ・スライドを使用する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
仏 教 と 人 間	やま はた しょう どう 山 端 昭 道	国 文 ・ 英 米 文 歴 史 1 必	4

講義のねらい

いま宗教への関心が、とくに若い諸君の間に高い。だが彼等と接してみると、それを少なからず軌道修正するの必要を感じてしまう。すなわち、宗教理解への適切な関心と、その教えが自分の「生きる力」となるように受け止める姿勢がほしいことである。

我が国には、さまざまな宗教とその諸相がある。中でも仏教は、遠来の宗教ではあるが永い歴史を通して、日本の文化的宗教的土壌に根を下ろし、人びとの考え方や行動、また社会生活等に大きな影響を与えてきた。

本講義では、宗教への一般的理解と共に、仏教の教えが現代人にとっても、どのように機能し、「生きる力」となり得るか、ともに考えてみたい。

講義の内容・
授業スケジュール

先ず、身近な具体的な事例を通して、宗教が果たしている役割を知り、また仏教の基本的な考え方・基礎的な教理を理解する。そして、釈尊（仏教の開祖・釈迦）をはじめ宗教的に生きた先人達の言行や教えを学び、また苦悩しつつも確かに歩み続ける人びとの詩文・告白等に触れ、現代人が仏教をいかに受け止めるべきかの指針・導き、としたい。

履修上の留意点

自分自身にとって、現代社会にとって宗教・仏教がどうなのか、と常に問題意識をもって履修してほしい。

教 科 書

水野弘元・柴田道賢監修『宗教学ハンドブック』（世界書院 2,060円）他に、先人達の遺した比較的平易は言葉や今に生きる人びとの詩文等を、資料として随時使用する。

そ の 他

講義。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
仏 教 と 人 間	やま おか たか あき 山 岡 隆 晃	英米文・社会1必	4

講義のねらい

仏教と人間について、この講義では主として次の二点より考えることとする。その第一は、「人間（日本人）にとって仏教とは何か」ということである。インドに誕生した釈尊によって唱えられた仏教は、ほぼアジア全域に伝えられ、それぞれの地域や国の風土・文化によって様々に変容しながら、人々の生活の中にしっかりと定着した。今日では、同じく仏教といっても、現実社会での有り様は実に多様であり、例えば、スリランカの仏教と日本の仏教では、勿論共通点はあるものの、むしろ相違点の方がきわだっており、両者は似て非なるものであるといった観が強い。このように多様な形態をもつ仏教について、講義では、アジアの中でも独自の展開をとげた、日本の仏教に焦点を当てて考えることとする。日本人であるなら、一度や二度はお寺にお参りしたことがあるはずである。それは単なる観光のためであったり、合格祈願や葬式に参列するためのものであるかもしれない。いずれにしても、現実の社会の中で、仏教は日本人と多様な関わりをもっているであり、そうした関わりについて、仏教が現実を果たしている役割・機能を中心に考えてみようというのが、この講義の第一のねらいである。

第二は、「仏教にとって人間とは何か」という問題である。仏教は人間存在をどのようにとらえ、人間とはいかに有るべきだと考えているのか。ここでは仏教の教理を概観しながら、一人の人間としての自己の究明、即ち自分探しの旅を試みることをねらいとする。本来の自己に目覚めよと説く仏教の教えは、混迷する現代社会に生きる我々に何らかの指針を与えてくれるに違いない。第一のテーマについては前期の、第二については後期の授業内容として予定している。

成績評価の方法

成績評価は、出席状況・課題・試験等について総合的に評価する。

教科書

教科書は『宗教学ハンドブック』（世界書院）を使用。その他適宜指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
仏 教 と 人 間	まつ だ ぶん ゆう 松 田 文 雄	地 理 1 必	4

講義のねらい

“人間いかに生くべきか”に対する先哲の説示は、学問として、また宗教教理として伝えられてきた。本講義は、宗教教育課目として、本学の建学の精神に関わる仏教思想・禅思想に焦点を合せ、仏教の開祖釈尊以来の説示を概説する。学生手帳の載せる『般若心経』『修証義』にも言及する予定である。

講義の内容・授業スケジュール

凡そ次のテーマを考えている。1) 文化と宗教、宗教現象の諸相、宗教の分類、世界三大宗教についての概要。2) インド古代の思想、釈尊の成道、大乘仏教（菩薩道）、仏教の伝播を課題とするインド仏教についての概要。3) 中国仏教の梗概と禪宗の形成。4) 日本仏教の梗概と禪宗の伝来、道元禅師と『正法眼蔵』、瑩山禅師と『伝光録』、日本曹洞宗の形成についての概要。5) まとめとして「梅檀林から駒沢大学への歩み」を考察する。

履修上の留意点

受講し、講義内容を自分の手でノートすることを要望する。

成績評価の方法

成績評価は定期試験の成果と受講の度合い（出欠）によって行う。

教科書

水野弘元・柴田道賢監修『宗教学ハンドブック』世界書院刊

参考書等

随時指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
仏教と人間	佐藤憲昭	歴史・社会1必	4

講義のねらい

仏教は、人間・社会にとってどのような意味と役割をもっているか、他の諸宗教との関連のもとに考察する。日本人の多くは、宗教を信じていないとみずから認識している人たちが、その一方で、お盆や春秋のお彼岸には墓参りに行き、あるいは仏僧に読経を依頼するなど、仏教徒としての行動をとっていることが少なくない。こうした生活の中で展開している仏教は「民俗仏教」と呼ばれるが、これは教義で説く仏教とは大きく異なっている。この講座では、仏教徒には、教義仏教と民俗仏教との異なる二つのレベルがあることを認識した上で、教義仏教の思想と行動を理解することを目的とする。本学の建学の精神である仏教、特に禅の思想にも留意したい。

講義の内容・授業スケジュール

つぎのテーマのもとに具体的に考察する。
 1. 犬に育てられた子供と人間に育てられた子供。2. 人類と文化。3. モンスーンの風土の宗教と砂漠的風土の宗教。4. 民俗宗教の特質。5. 教義仏教と民俗仏教。6. 仏教の誕生とその教義的展開。7. 大乘仏教と上座部仏教。8. 禅仏教の特質。9. 曹洞宗の特質。10. 総括。

履修上の留意点

夏期休暇中に仏教に関する本の感想文を作成してもらうが、その提出は希望者のみとする。また、抜き打ち的に出席をとるので、欠席した場合（または欠席をする場合）には、欠席届（形式は任意）を提出することが望ましい。

成績評価の方法

基本的には定期試験で評価するが、59点以下の場合には、感想文の評価と出席状況とを考慮して総合的に評価する。

教科書

水野弘元・柴田道賢監修『宗教学ハンドブック』世界書院

参考書等

授業中に適宜紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
仏教と人間	池田魯参	経済1必	4

講義のねらい

仏教とは「仏が説かれた教え」ということです。仏とは、古代インド語でブッダと発音する語の音訳語で、「目覚めた人」という意味です。このブッダのことを「お釈迦さま」と呼んでいます。お釈迦さまというのは、「釈迦族出身の尊いお方」というほどの意味で、普通は「釈尊」と呼びます。

釈尊が説かれた教えは、もともと不特定多数の人に向かって説かれた教えではありませんでした。釈尊が出会ったそれぞれの人に向かって説かれた教えでした。遊びほうけている青年には、そういう生活は意味がないと教え、ノイローゼになるほど思い悩んでいる青年には、もっと大切なことに思いをめぐらすように教え、子供を亡くして絶望している母には深い思いやりで悲しみから立ち上がるよう励まし、二度も結婚生活に失敗し自暴自棄になっていた女性にはそういう生き方では何も解決しないと教えたのです。これが仏の対機説法といわれるものですが、釈尊はこういうふうにしてその人に一番合った言葉を語られているのです。勿論、黙って行動で示されるようなこともありました。

ですから、釈尊が語られた言葉は、釈尊と出会った人たちが、それぞれがかかえていた人生の難問題を解決することができた、いわば人生の転機となった言葉であったといえるでしょう。

講義の内容・授業スケジュール

この講義では、まず、釈尊の生涯において人生の問題がどのように解決されたのかを考え、合わせて釈尊の教えによって仏弟子たちがどのように人生の転機を乗り越えていったのか、具体的な事例に即して考えてみたいと思います。

この機会に、意欲的に仏教の意義について考えてみて下さい。

成績評価の方法

評価は、随時レポートの提出を求め、合わせて期末テストで評価します。

教科書

テキストはテーマ毎に資料のコピーを配布します。

参考書等

水野弘元著『釈尊の生涯』（春秋社 2,060円）がいいでしょう。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
仏 教 と 人 間	かな ざわ あつし 金 沢 篤	経 済 1 必	4

講義のねらい

ほぼ2,500年前に遙か遠隔の地インドで成立をみた仏教の基本と、それが持つ多様な側面を易しく概説する。教科書については教場で指示するが、人間にとっての大事な資源たる仏教にとにかくも関心を持つことから始めたい。

教 科 書

教場で指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
仏 教 と 人 間	はら だ ひろ みち 原 田 弘 道	経 済 1 必	4

講義のねらい

今日は情報化社会といわれる。知識や情報が重んぜられており、今後この傾向は益々強くなるであろう。

そんな中で、現代のわれわれは、知識や情報に基き、社会や周囲への適応に明け暮れて自己を見失い、何らかの権威に頼る集団主義的な生き方をし、その結果、個性や個別性が押しつぶされている場合が多い。

その情況が疎外された自己として意識され、「自己疎外」などよくいわれる。「人間的なものが非人間的なものによって置き換えられている」状態だという。そこから脱却し、如何に自己回復を果たし、自在を得ていくかが、実に生きる人間にとって重要な問題である。仏教・禅はまさしくその解決の道を示しているのである。それは智慧の問題としても学ばれよう。

知識や情報を豊富に持っても智慧には叶わないことは確かなことである。智慧というのは、知識を実践体験につなげ、時々刻々に変化する無常の真只中において、新しい状況に自己の知識を適応させる生きた習慣を身につけることだからである。従ってそれは個人の実践体験によって培われるものである。

言うまでもなく、仏教・禅は実践体験に基づく智慧（般若の智慧）の働きを尊重する。智慧円満の働きを理想とする。それは「人」を理解するところから始まるであろう。

そこで講義では、禅の歴史を経糸に様々な人間論的見解を導入しながら、禅の種々相を明らかにし、今日的意義もあわせ考えてゆく。

講義の内容・授業スケジュール

I 禅とは何か。II 印度の禅、中国の禅、日本の禅。III 人間生活と禅の真理。IV 禅的生活の展開。V 禅の人間像。VI 禅と文化。VII 禅と現代。

履修上の留意点

専門用語の使用は出来るだけ避けるが、基本用語の修得に努めてほしい。

成績評価の方法

平常点（出席）と試験による総合評価。

参 考 書 等

水野・柴田編『宗教学ノート』、原田こうどう『禅を喝破する』

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
仏 教 と 人 間	いし かわ りき ざん 石 川 力 山	経 済 1 必	4

講義のねらい

宗教・民族・国家をキーワードとして、宗教の社会的機能に関する認識を深め、また人類史における人間と宗教との密接な関係を確認し、併せて、現代の宗教現象に対する冷静な態度・見方を養うことを目標にする。

講義の内容・授業スケジュール

全世界に様々な宗教が機能していることを前提に、「仏教」の事例を素材として、宗教の発生と伝播、生活との関わり、社会史的・文化史的意味について論じ、仏教が主張する人間の生き方について考えてみたい。またその際、宗教現象の功罪、正の機能・負の機能についても率直に触れたい。さらに、仏教の原点と日本仏教の現状との比較検討も行う。

後期は、世界の諸宗教について、まず宗教現象の分類を通してその発生的・歴史的性格を正しく把握し、特にユダヤ教やヒンズー教などの民族宗教の持つ特異な人生観や独自の宗教的世界観・宇宙観の意義、さらにはその宗教的機能が果たした歴史的役割等を確認する。ヒンズー教やインド哲学と仏教の比較検討も行う。キリスト教・イスラム教についても、国家や民族意識の問題に関連し言及する。

また「神道」の起源や種類を踏まえ、特に明治維新とともに始まる「国家神道」と近・現代史や生活史との関わりを、宗教的救済機能と宗教的規範機能の両面から追求する。

履修上の留意点

出席は毎回取るので、無断欠席しないこと。やむなく欠席する(した)場合は、事前・事後に欠席届を提出すること。

成績評価の方法

成績は、期末テストの結果に、出席数を考慮して評価する。

教科書

駒澤大学仏教学研究室編『宗教学Ⅰ』(更生社刊)

参考書等

水野弘元・柴田道賢監修『宗教学ハンドブック』(世界書院刊)等 2,060円

その他

授業は講義を中心に、宗教の社会的機能を課題として、現代社会における宗教の意味を考えてもらうことを中心に進めるので、試験問題も、各自の考え方を展開する方向で記述してもらう。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
仏 教 と 人 間	い とう しゅう けん 伊 藤 秀 憲	商 1 必	4

講義のねらい

本学の建学の理念(仏教の教義と曹洞宗立宗の精神)に基づく講座であるから、「仏教と人間」とは「仏教」についての講座であるといえる。しかし、これは「仏教」の教義を信じることを強要するものではない。あくまでも教育科目としての「仏教」である。ということは、哲学、経済学、社会学等と同じであって、学ぶ対象が「仏教」であるということにすぎないと考えればよいであろう。

講義の内容・授業スケジュール

インドから中国をへて日本に至るまでの、仏教・禅の歴史と思想を中心に講義する。その歴史に生きた人々から、仏教・禅の人生観・人間観等を捉えることが出来たらと思う。

履修上の留意点

縁あって駒澤大学で学ぶことになったのであるから、仏教・禅とはどのような思想なのか積極的に学んでほしい。歴史と思想の流れを大きく把握できれば十分である。

成績評価の方法

筆記試験の成績に、出席状況、時には提出を求めたレポートを加味して評価する。成績や出席の不良は各自の責任であって、試験後、レポート等による加点には一切応じない。

教科書

プリントを配布し、それに基づいて講義する。

参考書等

駒澤大学仏教学研究室編『宗教学Ⅰ』『宗教学Ⅱ』(更生社)

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
仏 教 と 人 間	いし い しゅう どう 石 井 修 道	商 1 必	4

講義のねらい

「仏教と人間」は、本学の宗教教育科目である。宗教、特に仏教は何を説き、その教えが一人一人とどうかかわるかを学びたい。

仏教の教えを基本に、道元禅師の教えとそれらがどのように関連をもつのか。また、道元禅師は、中国の禅者をどのように取り上げ、自己の主張にどのように継承されているかを具体的に明らかにしていきたい。

また「坐禅箴」「普勧坐禅儀」を通して、坐禅、特に道元禅師の説かれる「坐禅」は、如何なる特色があるかを述べたい。

教 科 書

鏡島元隆著『道元禅師語録』（講談社学術文庫） ¥700円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
仏 教 と 人 間	かた やま いち ろう 片 山 一 良	商 1 必	4

講義のねらい

人間にとって宗教とは何かを考える。宗教としての仏教とは何かを考える。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、宗教一般（宗教と呪術・神話と儀礼・民族宗教と世界宗教など）について講じる。後期は、仏教の基本的な教え（智慧と慈悲・縁起と四聖諦・戒と禅など）について講じる。いずれも、現代の我々にある身近な問題の中で取り上げ、考えたい。

履修上の留意点

「人間学」として把握、学ぶことが望ましい。

成績評価の方法

成績評価は、レポート（夏期）および年度末テストによる。

教 科 書

テキストはとくに使用しない。

参 考 書 等

水野弘元・柴田道賢監修『宗教学ハンドブック』世界書院 2,060円

そ の 他

随時、資料プリントを配布する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
仏 教 と 人 間	いし 井 せい じゅん 石 井 清 純	法 律 1 必	4

講義のねらい

仏教の思想と曹洞宗の教義について解説し、本学の依って立つところを明らかにする。

講義の内容・
授業スケジュール

種々の経典における仏教の教えと、禅思想の展開について歴史的に概観する。その上で、現代社会と仏教あるいは宗教の関わりについて問題提起をしてゆきたい。

成績評価の方法

前期終了時にレポートを課す。それと年度末の筆記試験をもって評価を行う。

教 科 書

適宜プリントを配布する。

参 考 書 等

駒沢大学仏教学研究室編『宗教学Ⅰ』・『宗教学Ⅱ』（更生社）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
仏 教 と 人 間	さ とう しゅう こう 佐 藤 秀 孝	法 律 1 必	4

講義のねらい

仏教はインドのゴータマ・シッダッタ（釈迦牟尼仏）を開祖とする宗教であり、すでに2500年の歴史を有している。世間一般の仏教に関する理解は、おおむね葬式仏教というイメージが中心であろう。しかし、実際には仏教の思想は生きた人間そのものを見つめるきわめて現代的なものである。仏教が他の諸宗教ときわめて相違する点は、神を持ち出さず、あくまで人間（自己）の苦悩や生死の問題に正面から立ち向かっているところにある。その面で仏教はまさに人間学なのであって、「人（人生）とは如何にあるか」「人（人生）とは如何にあるべきか」を課題にしているわけである。

講義の内容・
授業スケジュール

講義では人間学としての仏教の基本的なものの考え方（無常・縁起など）を諸方面から窺い、仏教の現代的意義を探ってみたい。また合わせて本学の建学の理念でもある禅のものの考え方についても、その実践性から禅人間観・修行観・生活観などの諸方面から説明したい。とくに永平寺を開いた道元は「仏道をならふといふは自己をならふなり」と述べており、自己とは何か、自己そのものを学ぶのが仏道であることを表明している。とかく宗教問題が錯綜している現今であるが、東洋の思想の一つとして、本当の仏教とは何か、禅とは何かを窺ってもらいたい。

成績評価の方法

年度末試験およびレポート提出などを中心とするが、さらに出席を重視するのでそのつもりで臨んでもらいたい。

教 科 書

駒沢大学仏教学研究室編『宗教学Ⅰ』（更生社）と同『宗教学Ⅱ』を使用する。

参 考 書 等

奈良康明『仏教と人間』（東京書籍・東書選書）や松本史朗『仏教への道』（東京書籍・東書選書）などが有益であろう。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
仏 教 と 人 間	すが わら とし きよ 菅 原 壽 清	政 治 1 必	4

講義のねらい

人間の精神生活の根源にあって人びとの生活を支える宗教・仏教文化の理解は、現代社会においても不可欠であると思われます。そこで、本講義では「人間と仏教」というテーマで、宗教学の視点から仏教的な営みをとらえてみたいと思います。
授業は講義形式とし、前半は宗教について学ぶための基礎的な講義を行い、後半では仏陀の教え、その展開や伝播と変容、禪のこころなどについて考えてみたいと思います。

講義の内容・
授業スケジュール

- 〈宗教へのアプローチ〉
1. 宗教と宗教学（宗教をとらえる視点）
 2. 人間と宗教（人間とは何か）
 3. 宗教学の研究領域（多様なアプローチ）
- 〈宗教の多様性〉
4. さまざまな宗教形態（その多様な形態）
 5. 宗教の分類方法（現代の分類方法）
- 〈人びとの暮らしと仏教〉
6. インドの宗教（ヒンズー教、他）
 7. 仏陀の教え（仏陀の生涯）
 8. 仏教の展開（大乘仏教）
 9. 仏教の伝播と変容（チベット仏教）
 10. " （中国仏教）
 11. " （日本仏教）
 12. 禪のこころ（道元禅師の教え）

成績評価の方法

試験・出席。

教 科 書

水野弘元・柴田道賢監修『宗教学ハンドブック』世界書院 2,060円

参 考 書 等

指定なし。

そ の 他

特になし。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
仏 教 と 人 間	わた なべ まさ ひで 渡 部 正 英	政 治 1 必	4

講義のねらい

宗教教育としての「仏教と人間」であり特定宗教にこだわるものではない。ここでは特に我々日本人にとって馴染み深い仏教に主眼をおき、仏教から見た人々の姿、民衆から見た仏教の立場の両方を視点に置いて考察していく。それは宗教としての仏教を頼りにしている人間の行動とその思いを中心テーマにしていくことにある。

講義の内容・
授業スケジュール

前期は仏教からの視点で進める。まず、世界宗教としての位置付けから始める。キリスト教、イスラム教と比較しながら仏教の特色を考え、ブッダの目指したものを通して、その教えが我々にどのような影響があったかを考える。後期に入っては、民衆の視点で仏教を見ていく。特に仏教儀礼に視点を当てていく。仏教儀礼は現代に生きた宗教の姿である。その中での信仰者、修行者を通して、我々の日常に仏教はどのような立場で接しているのかまた、信仰者としての民衆はなにを考えているのかを研鑽していきたい。さらに民間信仰などの要素を加えた民俗宗教的な立場と仏教儀礼を比較することによって、現代の仏教と人間の関わりを考察していきたい。

履修上の留意点

出席は、たえず注日しチェックする予定。

成績評価の方法

成績は、一年の最終講義日に試験をするほか、途中でレポート等を作成してもらったものを通して評価する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
仏 教 と 人 間	お 小 川 と し 順 敬 お 小 川 と し 順 敬	政 治 1 必	4

講義のねらい

日本人は仏教や寺院と深い関わりをもって生活しています。お彼岸やお盆といった年中行事、葬儀や年忌などの人生儀礼、また時には寺院で「祈願」を行なうなど、仏教は生活の中の宗教として定着してきたといっても良いでしょう。しかし、そこで行なわれている法要や行事の意味について私たちは十分に理解しているでしょうか。

ところがこれらの法要や行事は仏教本来の教えからいえば逸脱していると考えられます。教義で説く仏教と、私たちが普通に考えている仏教には大きな違いがあるといっても良いでしょう。すなわち日本仏教は本来の仏教から大きく変容しているのです。

この講義では、私たちがとりまく仏教の現状から初めて、その変容の意味を考えたいと思います。しかし変容を考えるためには、本来の仏教の教えについて学ばなくてはなりません。仏教がどの様にして生まれ、発展してきたのか、この点について理解を深めたいと思います。

講義の内容・授業スケジュール

前期は日本の仏教の現状と、仏教と民俗慣行との関わりについて、歴史をふまえながら紹介していきます。後期は仏教思想、また禅の思想について紹介していきたいと考えています。

成績評価の方法

年に1回のレポート提出（夏期休暇あけ）と、年度末の筆記試験により評価します。年度末の試験は必須条件です。レポートは受講者の自由意志とします。成績評価の具体的な方法、試験の方針、レポートの内容・形式、出席に関しては授業で詳しく説明します。

教 科 書

水野弘元・柴田道賢監修『宗教学ハンドブック』世界書院 2,060円

参 考 書 等

講義の内容に直接関連する参考書は適宜紹介します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
仏 教 と 人 間	い け だ ね ん た ろ う 池 田 練 太 郎	経 営 1 必	4

講義のねらい

駒澤大学は、仏教と曹洞宗立宗の精神を基本的な理念として設立された大学であり、入学したすべての学生にその建学の理念を学んでもらうことになっている。本講座はその意味で設置されたものである。したがって、授業では「仏教とは何か」ということについての正しい知識と理解をもつことを目標にしたい。同時に、仏教が現代社会においてどのような役割を果たし得るのか、また人間にとって宗教とはいかなる意味をもつのかなど、さまざまな問題について考えていきたい。

講義の内容・授業スケジュール

初めに、仏教が起こるに至った背景としての古代インドの様相について概観し、その中からどのようにして仏教が登場してきたのかを考える。次いで、仏教の開祖である釈尊の生涯についてできる限り詳しく説明し、その基本思想を解説する。さらに、世界に展開した仏教の歴史についても概説する。その後、仏教以外の諸宗教について、仏教との比較において検討する予定。また、人間にとって宗教・仏教がいかなる意味をもつのか、という問題については、つねに考えながら進めていくことにしたい。

履修上の留意点

欠席・遅刻はしないようにしてほしい。

成績評価の方法

基本的には、年度末の定期試験によって評価する予定。

教 科 書

教科書は特に使用しない。

参 考 書 等

授業の折りに、適宜説明する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
仏教と人間	はせべ はちろう 長谷部 八 朗	経営 1 必	4

講義の内容・
授業スケジュール

前期には、原始仏教段階から大乘仏教にいたる仏教の展開史を、それらの教えの主要な特徴にふれながらたどり、仏教の歴史と現勢を概観する。

後期には、日本仏教に着目し、道元ら諸宗派の祖師に対する民衆の信仰の姿を浮きぼりにして、仏教と人間・社会との係りを探る。

成績評価の方法

成績評価の仕方は未定だが、授業で1, 2回小論文を書いてもらい、評価に盛り込む予定である。

教科書

使用しない。

参考書等

授業の中で、適宜紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
仏教と人間	いとう たかとし 伊 藤 隆 壽	経営 1 必	4

講義のねらい

本講座は、建学の理念に基づき、「仏教」や「禅」についての正しい知識を身につけることを目標とする。

講義の内容・
授業スケジュール

1. 仏になる教え
2. 中道
3. 八正道
4. 菩薩の道
5. 成仏への道
6. 念仏
7. 唱題
8. 禅
9. 信仰と社会

履修上の留意点

教科書は早めに購入し、前期中に各自通読すること。

成績評価の方法

評価はレポート及び試験によるが、授業への出席状況も考慮するので欠席しないこと。

教科書

松本史朗著『仏教への道』東京書籍¥1,400を使用する。

参考書等

主要参考書は、水野弘元著『仏教要語の基礎知識』春秋社¥1,600

科目名	担当者名	配当学科	単位
仏教と人間	なが い まさ し 永 井 政 之	経営 1 必	4

講義のねらい

入学式ではじめて知った方もあろうが、駒澤大学は日本仏教の宗派の一つである曹洞宗が設立の母胎になっている。したがって4年間の大学での生活の中では、さまざまな機会に「宗教的」なものに触れるであろう。

ところで学生諸君は、「宗教」とか、「仏教」という言葉を聞いたとたん、「辛気くさいもの」「前近代的なもの」「怪しげなもの」などの、漠然とした感想を持たれるものと想像する。実際、ここ1年間の、宗教、特に「仏教」をとりまくさまざまな事件——オウム心理教にせよ宗教法人法の改正にせよ——は、興味の対象とはなっても、そのイメージを好転させる方向にはないようである。現代人の多くが、宗教に関心を失った原因の過半は、既成の教団にその責任があるように私は考えている。したがって若者が宗教に無関心であったり、あるいは過度の期待を抱くことを批判することはできない。

ただ今から2500年前にシャカによって総称された「仏教」は、けっして「おどろおどろしい」ものではないし、前近代的なものでもない。きわめて理性的な教えといつてよいであろう。そんなオーソドックスな「仏教」そして「禅」の立場を考えてみたい。

なお「宗教教育科目」という名称ではあるが、「個人の信仰」の領域にまで踏み込んで信仰を強制するものではない。

講義の内容・授業スケジュール

広い意味での「宗教」を考えることから、「仏教」はなにをめざしているか、「禅」の立場はいかなるものかを、歴史に生きた人々を具体的に挙げつつ見ていきたい。

履修上の留意点

授業には必ず出席すること（出席をとります）。初めの授業で課題図書を出すので、年末にはレポートを提出すること。期末には試験を行い、それらを総合的に評価して成績とする。

教科書

必要に応じてプリントを配布したり、参考文献を指示する。課題図書は購入すること。

科目名	担当者名	配当学科	単位
仏教と人間	いし い こう せい 石 井 公 成	短国 1 必	4

講義のねらい

釈尊に始まる仏教の基本的な立場、インド・中国・朝鮮・日本などの仏教史の流れ、禅および道元禅師の思想について十分な理解を得、宗教に関する様々な問題について自分で調べ、また考えることができるようになることを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

原始仏教の基本的な立場を明らかにしたうえで、仏教史の流れ、禅および道元禅師の思想について講義する。その際は、受容と変容の過程に注意し、仏教以外の宗教との違いやまた呪術的な習俗とのかかわりなどにも注意する。

履修上の留意点

一人一人に頻繁に質問を行うほか、問題によっては討論を行うこともあるため、進んで取り組む態度が必要である。

成績評価の方法

試験の成績を重視し、あわせて講義に積極的に参加しようとしたかどうかを考慮する。

教科書

使用しない。

参考書等

平川彰著『インド・中国・日本 仏教通史』春秋社 2,500円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
仏 教 と 人 間	はかま 袴 谷 のり あき 憲 昭	短 国 1 必	4

講義のねらい

“Un enfant n'est pas un homme (子供は人間ではない)”とパスカルは言い、デカルトもまた、その主著『方法序説』の第2部で、これと同じ考えを更に明確に述べている。私たちがまた「人間」になるために成長してきたはずであるが、しかし、今日ほど「人間」になることが疎んじられている時代もそう多くはないのではあるまいか。確かに、皆んな不可避免的に大人になるのではあるが、大人が必ずしもそのまま「人間」であるわけではない。否、もしかしたら、現在は、子供や動物の純粋さのまま大人になっている人の方が讚美され、敢えて真剣に「人間」になる必要はないとすら思われている風潮が根強いのかもしれない。講義のねらいは、そのような現代的風潮に異議申し立てを試みることによって、「人間」とはなにか、ということ、「仏教」の批判的考察を通じて明らかにしていくことにある。この講義を通して、「上祐史浩はなぜ9年間セックスをしていないと公言したか」「動物よりも人間の方が穢れているとなぜ言えるか」「世の人々は修行それ自体は純粋だとなぜ言うのか」などというような問題に対して、自分で考えて答えを出せるようになってもらえれば、この講義のねらいはほぼ果たされたと考えて頂いてよい。

講義の内容・授業スケジュール

デカルトによれば、「人間」とは、言葉 (parole) と理性 (raison) をもって「考える (pensar)」人のことである。従って、彼は、「私は考える、それゆえに私はある (Je pense, donc je suis.: I think, therefore I am).」と言ったのであり、それは、もし「考える」ことから出発しなければ、仮に「私が」事実として存在するとしても、その「私」は、「人間」になり切れない単なる子供であるか、さもなければ限りなく動物に近い存在であるしかない、ということの意味する。しかるに「考える」ことをデカルトのように重視しなければ、その対極には、子供や動物や自然の純粋さを讚美する意見が屹立するであろう。講義では、そのような例として、サン＝テグジュペリの『星の王子さま』を取り上げて、子供の純粋さとはいかなるものであるかということをも若干分析し、これに関する様々な考察も行うことにしたい。このようにして、同じヨーロッパの文化伝統の中においても、「考える」ことを重視する人とそうでない人のいることをしっかりと見据えた後に、「仏教」の考察に移る。なぜこのような段取りをつけるかという、かかる過程を経ることによって、実はその成立の第一歩は「考える (manasikarati, 任意)」ことから始まった仏教も、次第に「考える」ことを無視する精神主義によって骨抜きにされていった様子がよりよく理解してもらえるのではないかと思うからである。さて、その「考える」ことから出発した仏教は、「思想 (dṛṣṭi, 見)」と「習慣 (s'īla, 戒)」とを峻別し、前者については言葉による論議によって「誤った思想 (邪見)」を捨てて「正しい思想 (正見)」を選択していかねばならないとしたが、後者については正邪を決し難い無記であるとした。仏教は、その後者のインド的習慣を自明のごとくに支配しているインド精神即ちアートマン (atman, 靈魂) は存在しないということ、前者の思想の上で主張したのである。端的に言えば、仏教はインドの精神主義を否定したのであるが、仏教を標榜ながらも「考える」ことを無視してかかる精神主義を讚美する人は跡を断つこともない。それは、「仏教」を建学の理念に掲げる駒澤大学においてさえ、建学の「精神」という言葉を平気で口にする人の多いことを見ればわかることである。この講義は、本学の建学の理念である仏教についての誤解を正すための機会でもあるということであるから、学内に、「清く・明るく・直き・まことの心」が仏教の「精神」でもあるかのような、とんでもない発言をする人がいれば、それがなによりゆえに誤りであるかを丁寧に説明するであろう。

履修上の留意点

出席はとらないが、できるだけ参加して自分で考えるチャンスにしてもらいたい。

履修上の留意点

学年末の定期試験によって評価する。

教科書

特に教科書は定めない。

参考書等

デカルトの『方法序説』については、比較的安くて入手しやすいものに、落合太郎訳 (岩波文庫 410円)、野田又夫訳 (中公文庫540円) がある。サン＝テグジュペリの『星の王子さま』は、内藤濯訳で、岩波少年文庫に収められている。英訳には、Katherine Woods訳、*The Little Prince*、があり、A Harvest Bookとして刊行されていて、入手も容易である。

その他

授業方法は、原則として、講義形式であるが、できるだけ一緒に考える機会はつくりたいと思っている。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
仏 教 と 人 間	おくのみつよし 奥野光賢	短英1必	4

講義のねらい

本授業は「仏教の教義」を建学の理念とする本学の特色を踏まえ、仏教の基本的教え、ものの見方、人間観といったことの教授を主たる目標とする。

講義の内容・
授業スケジュール

授業は、釈尊の伝記、中道、四聖諦、八正道といった仏教の基本的教えの解説を中心とし、あわせてインド・中国・日本の仏教の歴史についても目を配り概説する予定である。また、後期はプリントを配布して実際に仏教を学ぶ上での主要な原典を直接読むことも考えている。

上記のように授業の内容は仏教を中心とするが、仏教との対比の上で各宗教学にも言及し、短期大学生の一般教養としての宗教学全般についての基本的知識も習得できるよう配慮する。

履修上の留意点

大学（短大）での授業はともすれば、一方的な講義になりがちである。疑問に思った点やわからない点は遠慮せずにとどしどし質問して欲しい。

成績評価の方法

学年末の試験によって評価する。なお、レポートの提出を求める場合もある。

教 科 書

松本史朗『仏教への道』東京書籍 1,400円

参 考 書 等

授業において適宜指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
仏 教 と 人 間	きむらせいじ 木村誠司	短英1必	4

講義のねらい

仏教は日本人にとって馴染み深い宗教であるが、その本質を理解するのは容易ではない。非仏教的な思想が仏教として語られるケースが、実に多いからである。

講義の内容・
授業スケジュール

本講義では、まず仏教の開祖シャカの生涯を追い、彼の思想を探る。次に、インド・チベット・中国・日本の仏教を時間の順序に従って辿り、仏教と非仏教との思想的関りを示す。余裕があれば、般若心経などの経典について講義する。これらのことを通じて、仏教の基本的理念を知り、宗教に現実的な問題を考える眼を養ってもらいたい。

成績評価の方法

試験によって行う。

教 科 書

特定の教科書は用いず、適宜プリントを配布する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
仏教と人間（前期）	つのだ たいりゅう 角 田 泰 隆	短 放 1 必	2

講義のねらい

仏教とは何かについて、できるだけ具体的に、わかりやすく解説したい。

講義の内容・
授業スケジュール

仏教の基本的な教義について解説するが、便宜的に、「人間」「自己」「現在」「教育」「生死」の五つの言葉を順次取りあげ、これらと関係させながら進めてゆきたい。

履修上の留意点

教科書は用いないので、筆記用具を整え、講義の内容をしっかりと記録して頂きたい。（定期試験には自筆ノートも持ち込みを許可する）

成績評価の方法

定期試験の筆記試験の成績によって評価する。ただし、原則として所定の授業時間数の3分の2以上授業に出席しなかった者には、筆記試験の成績の如何に関わらず単位は認定されない。

教 科 書

なし。

参 考 書 等

授業において紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
仏教と人間 〔再クラス〕	おか べ かず お 雄 岡 部 和 雄	全学科・短国・短英	4

講義のねらい

この講座名は新しくつけられたものである。本学がその建学の理念にもとづいて全学に必修科目として課しているものである。

仏教の学問的研究は仏教学部においておこなわれている。最先端の研究が世界の学界をリードしている。そうした深い研究をふまえて、本学に学ぶ学生諸君に「仏教とは何か」「仏教は現代に何を語りかけるか」「仏教にもとづく人生観・世界観とはどのようなものか」を講じようとするものである。これは講ずる側にとっては専門の仏教研究よりもずっとむずかしい仕事になるにちがいない。

われわれが毎日の生活の中で仏教の問題を考える機会はその多くはない。合理的な思考、科学的なものの考え方がありさすれば万事うまくいきそうに見える。しかし意味づけや価値の領域について、合理主義や科学は沈黙してしまうことが少なくない。かつては病気をなおし命を救う医療行為は善そのものであったが、今では死が避けられない患者への無理な延命治療（患者や家族にはかり知れない苦しみを与える）が、はたして善であるかどうか疑わしいという考え方が強くなってきた。農業の開発は生産性の向上にとって善であるが、生態系の破壊につながるという意味では悪かも知れない。ましてや人間はいかに生きるべきか、われわれがここに存在していることにどんな意味があるか、人間は死後どうなるか、というような問題については、現代の高度な科学や技術をもってしても解決が不可能であろう。

西欧の合理主義は行きづまったとし、合理主義を超えた東洋の思想を再評価しようという動きがある。これは時代錯誤であり警戒を要する。昨今、オウム心理教が世界の耳目を驚かしたが、その宗教学的分析はこれからであろう。この講座ではなるべく現代のアクチュアルな宗教問題をテーマにとりあげて、仏教の視点から現代人の生き方、価値観、世界観を再吟味したい。

教 科 書

なし。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
仏教と人間 〔再クラス〕	たなか りょう しょう 田 中 良 昭	全学科・短国・短英	4

講義のねらい

本講座は、本学の建学の理念である仏教の教義と曹洞宗立宗の精神について、学生諸君に理解を深めてもらうために、新たに開設されたものであり、仏教や曹洞宗の教えが、現代に生きる私達人間にとって、いかなる意味を持ち、いかなる役割を果すかを中心に検討し考察するものである。

講義の内容・授業スケジュール

仏教や曹洞宗学を理解するための前提として、宗教全般に関する考察を第Ⅰ部とし、仏教の基本的立場や教えの特色、その歴史や文化的特質等を第Ⅱ部とし、仏教の実践道として独自の展開をした中国禅や日本の曹洞宗の教えやその特色を第Ⅲ部とし、最後に第Ⅳ部として、仏教や曹洞宗の教えが、現代に生きる私達人間の様々な問題に対して、どのような解答を用意しうるかを考えてみることにしたい。

履修上の留意点

本講座は、他の大学では聞くことのできない本学独自の講座であり、本学の特色を理解する重要な科目である。再クラスという事情もあり、卒業単位を充たす上からも、授業への積極的参加を期待したい。

成績評価の方法

学年末に実施する学年末試験を中心とするが、平常の授業への出席も重視して評価する。

教科書

特に指定せず、ノートを使用するので必ず用意していただきたい。必要事項をノートに取った後、その内容について種々の角度から解説を加え、理解を深めるようにしたい。

参考書等

駒澤大学仏教学部研究室編『宗教学Ⅰ』『宗教学Ⅱ』（更生社）や、水野弘元・柴田道賢監修『宗教学ハンドブック』（世界書院）等が、世界の宗教、仏教、禅、曹洞宗学の全般について論述しているので便利である。

その他

授業の方法は講義であり、ノートを使用し、必要に応じて内容について詳細な説明を加えていく。特にその時その時に起る宗教問題についても、取り上げていきたい。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
仏教と人間（前期）、（後期）	まず き かく ぜん 鈴 木 格 禅	短国 2 必	（半期） 2

講義のねらい

自己存在の意義や、人間の「生き方」等を中心に考察する。

講義の内容・授業スケジュール

仏教ないし禅の歴史や伝統を軸にしなが、できるだけ広く、且つ具体的な問題をえらび、これを「人間の学」として、共に考え一緒に学んでゆきたい。

履修上の留意点

静粛を旨とし、授業中の入退場、雑談、および、授業に無関係な所作のすべてを厳重に禁止する。

成績評価の方法

筆記試験と平常点（出席率・受講態度）による。

教科書

駒澤大学仏教学研究部編『宗教学Ⅱ』（更生社 2,370円）

参考書等

必要に応じて適宜に指示する。

その他

授業は専ら講義による。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
仏教と人間(前期),(後期)	みな ぎし こう さい 峰 岸 孝 哉	短英2必	(半期)2

講義のねらい

人類史で宗教文化を持たなかった民族はないとされる。このことは人間や文化を考える上で非常に重い意味をもつのではなかろうか。

さて一口に宗教文化といってもこれは実に様々な要素から成り立っていることがわかる。そしてこれらを整理しどう考えるかについても多くの課題があるのである。

そこでこの「宗教現象」と「宗教学」との関係に注目し、その理論的枠組みを学んでみよう。なぜなら多くの宗教現象の理論的整理には、もっとも有効な枠組みの提示があったからである。

歴史を通じて日本列島には「民俗宗教」が定着した。そして外来宗教であり世界宗教である仏教・キリスト教が伝来したが、実態は日本の仏教であり、キリスト教として定着したのである。このような定着の仕方は、例えば「本地垂迹説」にみられるように「神仏混交」として古くから成立してきたと思われる。こうした現象は、宗教学では「宗教複合」、「シンクレティズム」と呼ばれる。ある宗教学者はこの現象を日本的な特色とみなし、まさに世界の宗教の実験の坩堝であるとするのである。恐らくこうした日本の特色は民俗宗教の性格によるものであろう。

本講では日本人のくらしの中の宗教的行動を通して、そこに見られる宗教的意味について考えたい。

講義の内容・
授業スケジュール

まず宗教現象と宗教学の関係に注目し宗教理解の理論的枠組みについて学ぶ。次に宗教と文化の関係について考えてみる。例えば仏教はインドで成立し、中国を経て日本に伝来した。それぞれインド仏教・中国仏教・日本仏教として成立した。つまり日本人のくらしを通じてみられる仏教のことである。

履修上の留意点

日頃とかく無関心になりがちと思われるが、自分のこととしても重要な問題なのではないだろうか。

成績評価の方法

期末試験で評価。

教科書

テキスト 佐々木宏幹著『聖と呪力』青弓社 2,060円

参考書等

参考書は講義の進行と共に指示。

選 択 科 目

科目名	担当者名	配当学科	単位
文化と宗教	はせべ ちろ 八 朗	全学科・短国・短英選 (法学部除く)	4

講義のねらい

本講義は、我が国の近代以降、各時代状況の中で、宗教とりわけ仏教が社会にどのように働きかけ、教線の拡張をめざしたかをみていく。具体的には、寺院の中でもいわゆる教会・結社組織に焦点を据え、それらが、仏教と民衆をつなぐ接点として果たしてきた役割を探ってみる。仏教諸宗派の中でも教会・結社活動の盛んであった曹洞宗や日蓮宗を中心に講述する。

また、そうした教会・結社と新宗教・新新宗教を比較検討しながら、大衆社会的状況における宗教的ニーズの特質を考えてみたい。

成績評価の方法

未定である。授業時に1, 2回小論文を課し、評価の一部に加える予定である。

教科書

使用しない。

参考書等

授業の中で適宜紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
社会と宗教	さとう のり あき 佐 藤 憲 昭	全学科・短国・短英選 (法学部除く)	4

講義のねらい

通常、私たちは自分の好みに合わせて服装の色を選択しているが、冠婚葬祭などにおいては当該社会で伝承され、社会で期待されている色の服装を身につける。色の問題は服装ばかりではなく、多方面に及んでいる。いいかえれば、色は社会の秩序を表現しているのである。この講座では、色(色彩)に焦点を合わせ、カラー・シンボリズムを通して「社会と宗教」の問題に接近することを目指している。

講義の内容・授業スケジュール

まず、社会と宗教に関する学説史およびカラー・シンボリズムの学説史について具体的に解説し、次に内外の事例を紹介しながら、色彩の社会的・文化的意味および宗教的・象徴の意味について、その周辺の諸問題との関連のもとに考察する。

履修上の留意点

夏期休暇中に色彩に関する著書または論文の感想文を作成してもらうが、その提出は希望者のみとする。また、ときどき出席をとるので、欠席をした場合(または欠席をする場合)には、欠席届(形式は任意)を提出することが望ましい。

成績評価の方法

①受講生が少人数の場合にはゼミ形式にするので平常点で評価し、②受講生が多い場合には学年末のレポートで評価し、③受講生がすぶる多い場合には学年末の筆記試験で評価する。したがって、授業がスタートした時点において、①②③のいずれかを採用することになる。なお、②または③が採用された場合、その評価が59点以下である時には、感想文の点数と出席状況とを考慮して総合的に評価したいと考えている。

教科書

佐々木宏幹『神と仏と日本人 —— 宗教人類学の構想 —— 』吉川弘文館

参考書等

授業中に適宜紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
坐 禅 (前期),(後期)	きむらせいし 木村誠治	全学科・短国・短英選 (法学部除く)	(半期) 2

講義のねらい

駒澤大学では建学の理念に基づき宗教教育科目が設けられ、その中に「坐禅」の授業があります。本年度から新たに開講された本授業は、仏教学部だけではなく広く一般学生に門戸を開き「坐禅」の世界を知ってもらうことを、その目的としています。他大学では経験できない、駒澤ならではの授業が「坐禅」といえるでしょう。坐禅に触れることによって、本学の良さを味わい、学生生活の貴重な体験としてもらいたいと思い、この授業を進めるものです。

今、私たちの回りでは、さまざまな宗教が声高に叫んでいます。反面、多くの人は何を抛り所にしてよいか不安感が募っています。基本的な人生観を学生時代にこそ考えたいものです。

坐禅は、決して特殊な精神状態を作るものではありません。姿勢を正し、静けさの中で自己を見つめるのです。これは生命の大地に立ち返るときでもあります。初めはぎこちないかもしれませんが、何回か経験する内に静けさに落ちつきを感じることでしょう。

この授業では、初心者にも無理なく坐禅に親しめることを指導のポイントを置き、経験を積む中で、坐禅の静寂な時間に落ちつきと安らぎが感ぜられるよう実習を進めたいと思っています。併せて、坐禅の世界をより深く体得できるように、禅の歴史とその思想にも触れる時間を設けます。禅が作り出したさまざまな文化にも触れるよう進めます。

講義の内容・授業スケジュール

半期単位ですので、全体で15回ほどの開講数が予定されます。その流れを以下のように進めます。

1～3「坐禅の作法指導」(坐禅堂に即して基本的知識と、坐るに至るまでの作法と修得)

4～15「坐禅実習」(一回の坐禅実習の時間は、初心者にも無理のない程度です。)

(道元禅師の書かれた坐禅の指導書ともいえる『普勸坐禅儀』・『正法眼蔵一坐禅儀』を通して坐禅の本来の姿を学びます。また、禅の世界をより深い理解のため、各祖師方の語録も参求してみたいと思っています。)

希望者には、課外授業として鎌倉の古寺巡り、禅に関係する美術館見学等を計画しています。

履修上の留意点

実習をその主なる内容としますので出席を重視します。また、まじめに授業を受けられることを要望します。

成績評価の方法

レポート、出席態度、出席数を総合して成績評価とします。

教科書

『坐禅一講本一』更生社 2,266円

参考書等

随時、講師より資料をプリントし提供します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日本仏教史（前期）	いし い こう せい 石 井 公 成	短国・短英選	2

講義のねらい

仏教は総合的な文化体系であり、日本文化の主要な担い手であった。その仏教の教義と歴史について基本的な知識を身につけることを目的とする。

講義の内容・
授業スケジュール

朝鮮諸国における仏教受容のあり方と比較しつつ日本における仏教伝来について検討し以後の仏教史の流れを概観してゆく。その際は、文学とのかかわりに注意する。講義に当たっては、文献を読むことを柱とする。

履修上の留意点

こちらから頻繁に質問するほか、古文・漢文の訳なども担当してもらうため、積極的に講義に参加する態度が必要である。

成績評価の方法

試験の結果を重視するが、授業時の参加の程度も考慮する。

教 科 書

教科書は使用せず、コピーを配布する。

教 養 教 育 科 目
人 文 分 野

教 養 教 育 科 目

人 文 分 野

文 学 (1), (2)〔日本文学「古典」〕	(平 野 由紀子) ……………	37
文 学 (3), (4)〔日本文学「古典」〕	(増 尾 聡 哉) ……………	37
文 学 (5), (6)〔日本文学「近代」〕	(川 島 淳 史) ……………	38
文 学 (12)〔日本文学「近代」〕	(小 林 治) ……………	38
文 学 (7)〔日本のことば〕	(齋 藤 明 美) ……………	39
文 学 (8)〔外国文学「イギリス文学」〕	(大 川 浩) ……………	39
文 学 (9)〔外国文学「ロシア文学」〕	(杉 山 秀 子) ……………	40
文 学 (10)〔外国文学「中国文学」〕	(田 熊 信 之) ……………	41
歴 史 学 (1)〔日本中世史〕	(栗 野 俊 之) ……………	41
歴 史 学 (2)〔中国古典考古学〕	(茂 沢 方 尚) ……………	42
歴 史 学 (3)〔東洋古代史〕	(茂 沢 方 尚) ……………	42
歴 史 学 (4)〔西洋近現代史〕	(渡 辺 知) ……………	43
歴 史 学 (5)〔日本近世史〕	(木 槻 哲 夫) ……………	43
歴 史 学 (6)〔日本近代史〕	(立 川 章 次) ……………	44
芸 術 学 (1)〔日本美術〕	(中 島 亮 一) ……………	44
芸 術 学 (2)〔西洋美術〕	(矢 野 陽 子) ……………	45
芸 術 学 (3)〔音 楽〕	(赤 羽 由規子) ……………	45
哲 学 (1), (2), (3)〔西洋思想の源流〕	(寺田 誠一・久保 陽一・中村友太郎) ……	46
哲 学 (4), (5), (6)〔近代の人間観と世界観〕	(国嶋 一則・戸田 洋樹・坂本 清子) ……	46
哲 学 (7), (8), (9)〔現代文明と人間〕	(久保 陽一・丸山 豊樹・大石紀一郎) ……	47
論 理 学 (1), (2), (6), (8)〔科学方法論と現代論理学〕	(大石紀一郎・寺田 誠一・丸山 豊樹・小宮山 隆) ……	47
論 理 学 (3), (4), (5), (7)〔科学方法論と現代論理学〕	(坂本 清子・伊古田 理・戸田 洋樹・山口 祐弘) ……	48
科 学 史 (1)〔科学と技術〕	(山 本 敦 之) ……………	48
科 学 史 (2)〔近代科学の成立と展開〕	(小宮山 隆) ……………	49
倫 理 学 (1), (2)〔人間観〕	(国 嶋 一 則) ……………	49
倫 理 学 (3)〔価値観〕	(国 嶋 一 則) ……………	50
倫 理 学 (4)〔自由論〕	(国 嶋 一 則) ……………	50
倫 理 学 (5)〔制度とモラル〕	(久 保 陽 一) ……………	51
倫 理 学 (6)〔東洋倫理〕	(松 田 文 雄) ……………	51
宗 教 学 (1)〔比較宗教文化〕	(松 田 文 雄) ……………	52
宗 教 学 (2)〔聖と俗〕	(佐々木 宏 幹) ……………	52
宗 教 学 (3)〔思想と儀礼〕	(佐 藤 憲 昭) ……………	53
人文地理学 (1), (2)〔風土と文化〕	(矢 野 陽 子) ……………	53
人文地理学 (3)〔空間と行動〕	(多 田 統 一) ……………	54
仏教と人間 (前期)〔短放〕	(角 田 泰 隆) ……………	54
仏教と人間〔再クラス〕(前期), (後期)〔短放〕	(鈴 木 格 禪) ……………	55
仏教と人間〔再クラス〕(前期), (後期)〔短放〕	(峰 岸 孝 哉) ……………	55

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
文 学 (1), (2) 〔日本文学「古典」〕	ひらの 平 野 由 紀 子	全学科・短国・短英	4

講義のねらい

日本経済の成長により、国際社会に果たす日本の役割はますます大きくなってきている。このような現代において、真の国際人であるためには、自国の文化や歴史を知る必要がある。そこで、日本語の歴史を知るとともに、日本文学の原点とも言える万葉集をよみ、文学と社会との関わりについて考える。

講義の内容・
授業スケジュール

この授業では、文学の発生の問題や日本語の表記の歴史を学び、万葉集の歌をよむことによってその歴史的背景を知る。具体的には、前期万葉の歌をとりあげる。万葉前期は、大化の改新や斉明天皇の百濟救援、壬申の乱など、激動の時代を経て、律令国家体制の確立された時代である。才媛額田王や歌聖柿本人麻呂などが活躍し、古代の歌謡からみずみずしい万葉の歌が生まれ出て、人麻呂によってひとつの完成をみた時代でもあった。歌の舞台は主に宮廷を中心とし、歌は歴史と密接に関わりながら存在した。前期万葉をよむことは、古代史を読むことでもある。できれば、後期万葉の歌にも触れて、万葉の時代に生きた人々の考え方を学んでみたい。

履修上の留意点

教場において指示する。

成績評価の方法

教場において指示する。

教 科 書

小野寛著『新選万葉集抄』（笠間書院）

参 考 書 等

金井清一・小野寛編『年表資料上代文学史』（笠間書院）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
文 学 (3), (4) 〔日本文学「古典」〕	ます 増 お とし 尾 聡 や 哉	全学科・短国・短英	4

講義のねらい

『大鏡』を精読する。平安時代の代表的な文学作品には、女性の手によるものも多いが、一方では男性による和文の作品も決して少なくない。『源氏物語』や『枕草子』等に描かれた世界とはまた違った視点でとらえた平安貴族のありようを、歴史物語を通して見直したい。あわせて、歴史物語が成立する、社会的・精神的背景にも触れる予定である。

講義の内容・
授業スケジュール

女流文学最盛期とほぼ同時代に当たる、兼家伝から道長伝を中心に読む。

成績評価の方法

年度末の定期試験による。

教 科 書

開講時に指示する。

そ の 他

講義。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
文 学 (5), (6) 〔日本文学「近代」〕	かわしまあつし 川 島 淳 史	全学科・短国・短英	4

講義のねらい

文学作品は、それが著された時代状況と密接に関わり合っている。殊に明治以降、文学は活字メディアの普及によって、民衆に対して多大な影響を及ぼすようになった。必然的に文学者は、戯作者という地位から脱却し、次第に政治や社会に対する発言力を強めていく。それとともに、知識人たちは創作・批評活動を通して自己の思念やイデオロギーをあらわしていった。そこから、さまざまな文学理念を持つ勢力が勃興し、やがて種々の対立・論争等に発展していったのである。本講義では明治から大正、昭和初期までの近代文学の流れを俯瞰しつつ、種々の文芸思潮の興隆・退嬰の意味を考察してみたい。しかし従来の文学史観の枠にはとられない、文学史の組み替えの可能性を模索するつもりである。それと同時に、各時代の主要な作家と作品を取り上げながら、その時代的意義についても講ずる予定である。

講義の内容・
授業スケジュール

講義。

成績評価の方法

レポート及び試験にて審査する。

教 科 書

必要に応じてプリントを配布する。

参 考 書 等

適宜、講義の中で指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
文 学 (12) 〔日本文学「近代」〕	こばやしおさむ 小 林 治	全学科・短国・短英	4

講義のねらい

優れた文学作品の条件とは何だろうか。一例としてリアリティを挙げても、現実を写してありのままらしく見えるものほど実はリアルではなく、技巧によってそれらしく仮装された規範にすぎないことも多い。このような文学特有の陥穽を見通す視点から、文学について再考することを試みたい。

講義の内容・
授業スケジュール

対象に予定している作家は、日本の第一次戦後派の野間宏、椎名麟三、第二次戦後派の安部公房、島尾敏雄、また異端の作家として深沢七郎、ルポルタージュ文学の先駆者として上野英信である。さらに時間が許せば、村上春樹などの現代の作家も取り上げたい。主に教科書と配布プリントを使用する。

履修上の留意点

具体的に上記の作家の作品を読んでいく中で、文学作品という現象を通じて見えてくるものは何か、あるいは文学が表現し得るものは何かを考えていくので、講義を受ける前にあらかじめ対象作品だけは読んでおいていただきたい。作品名の詳細は講義を進めていく中で、時々指示するが、とりあえず下記の作品と教科書で指定する作品は必読である。

椎名麟三「深夜の酒宴」, 「深尾正治の手記」
安部公房「けものたちは故郷をめざす」, 「砂の女」
島尾敏雄「出孤島記」, 「死の棘」
深沢七郎「檀山節考」
上野英信「追われゆく坑夫たち」

成績評価の方法

定期試験の結果、レポートの内容を総合し、さらに出欠状況を加味して評価する。

教 科 書

野間宏 『暗い絵・顔の中の赤い月』（講談社文芸文庫）¥680
安部公房 『R62号の発明・鉛の卵』（新潮文庫）¥320

科目名	担当者名	配当学科	単位
文 学 (7) 〔日本のことば〕	さい とう あけ み 齋 藤 明 美	全学科・短国・短英	4

講義のねらい

私達日本人が毎日用いている「日本のことば」とはいかなるものか。日本語の持つ特徴またそのルーツを探ることによって、日本のことばを正しく、より深く理解していこうというのが本講義の目的である。

講義の内容・
授業スケジュール

講義は「国語学概説」（双文社）を主たるテキストとし、日本のことばの語彙、音韻、文法、方言、日本語教育等について、わかりやすく説明していく。必要に応じてビデオ等の使用もし、日本語を専門科目としていない学生にも面白く学習できるようにしていく。

成績評価の方法

成績は、レポート、試験、出席等を総合的に評価する。

教科書

『国語学概説』春日正三、古瀬順一、川口明美他著、双文社

参考書等

参考図書、資料については、必要に応じてそのつどプリント等を準備する。

その他

授業の方法は講義形式で行うが、時々ビデオも使用したいと考えている。日頃用いている日本のことばに少しでも興味のある学生と一緒に、日本語の秘密にせまろうと考えている。

科目名	担当者名	配当学科	単位
文 学 (8) 〔外国文学「イギリス文学」〕	おお かわ ひろし 大 川 浩	全学科・短国・短英	4

講義の内容・
授業スケジュール

二十世紀の英国の偉大な作家の一人であるD. H. ロレンス（1885-1930）が財宝神の頭蓋骨をもった現代人に、最後に投げつけた爆弾である〈男根崇拜意識〉の小説『チャタレイ夫人の恋人』を読解し、講義する。

抽象世界にあって、死せる生を過ごしていた〈人格存在〉としてのチャタレイことコニーが〈意識探究者〉としての森番メラーズと出会うことから意識変革を体験して〈肉体存在〉に変貌していく過程を各章ごとに分析し、「生・性・愛」という視点から、この小説を考察し、あわせてロレンスの初期の傑作『息子と恋人』から最後作に至る迄、一貫して描かれている精神と肉体の対立・均衡を探究し、ロレンス文学における知性意識の「十字架」と肉体による「復活」を観察する。

前期は「息子と恋人」を中心としてロレンスの生涯・著作物について言及した後、全19章に及ぶ「チャタレイ夫人の恋人」のストーリー内容を2章ずつ要約したレポートの提出を求めて、この小説の梗概を講義と平行して、学習する。前期末には当該作品に対する総合理解としてのレポートの提出がある。

夏季休暇中に「息子と恋人」の梗概レポートの提出もある。

後期は各章が全体の中でどのように絡み、どんな発展をするかという小説の構成と展開を講義し、各章に織りこまれていく思想——特に肉体による「復活」の契機とその過程を中心として——を膨大な量に及ぶ詩集・評論集・エッセイ・紀行文・書簡などを参照して、学習する。

成績評価の方法

レポートによって評価する。講義中、随時求められるレポート等の評価も総合的に加味される。レポートの提出がない時は減点あるいは、単位不認定となる。

教科書

D. H. ロレンス著：伊藤整訳
「チャタレイ夫人の恋人」新潮文庫 ¥600
(各自で、身近かな書店で購入する)

参考書等

- ① D. H. ロレンス著：吉田健一訳：「息子と恋人」（上，中，下）新潮文庫「復刻版」
- ② 西村孝次著「ロレンスの世界」中公新書
- ③ Penguin 版 D. H. Lawrence: Lady Chatterley's Lover

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
文 学 (9) 〔外国文学「ロシア文学」〕	すぎ やま ひで こ 杉 山 秀 子	全学科・短国・短英	4

講義のねらい

ロシア文学といえば、ドストエフスキー、トルストイの名前が日本人の頭にはすぐうかんでくると思います。そして、その印象は世界一重く、深刻な文学というのが一般的になっています。本講座では、世界一イデオロギー的な文学とされているその原因がどこにあるのか、みきわめたいと思います。またロシア文学の背景である、ロシアの夫々の時代精神とロシア人のもつ精神構造、その独特な歴史認識などを一つ一つの作品をとりあげながら、探っていききたいと思います。

講義の内容・
授業スケジュール

授業は一応講義形式をとりますが、諸君にも実際作品を読んでもらい、時間があればそれらの問題点をとりあげ、ディベートして貰います。各人の小論を授業の中で手短かにまとめてもらい、提出して貰うこともあります。また、L1教室にはいくつかの作品の映像ビデオや、生のロシア語による詩の朗読もありますので、時に諸君にみせたり、きいてもらったりします。

〈授業計画〉

前期：4月～7月

まず、19世紀ロシア文学の思想的バックボーンとなったチュルヌイシェフスキーの“何をなすべきか”やゲルツェンの“過去と思索”をとりあげ、ロシア文学を独特な文学に創造することのできた、根幹的な特色を探ってみます。更に次の諸作家の作品を検討しながらロシア文学の知識を深めたいと思います。

- 1) ドストエフスキー
- 2) トルストイ
- 3) ツルゲーネフ

後期：19世紀末から1917年のロシア革命期を経て、大祖国戦争時代に至る作家をとりあげ、ロシア革命の必然性とスターリン時代の政治的・文化的誤謬について言及していきます。

とりあげる作家：

- 4) チェホフ
- 5) ゴーリキイ
- 6) ブルガーコフ
- 7) プラトノフ
- 8) シーモノフ

成績評価の方法

レポート、試験（小論文）出席により評価します。

成績評価の方法

なし。

参 考 書 等

その都度教室で紹介します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
文学 (10) 〔外国文学「中国文学」〕	た くま のぶ ゆき 田 熊 信 之	全学科・短国・短英	4

講義のねらい

中国の人々は、数千年にも及ぶ悠久な歴史の中から、音、義、形を兼備する“漢字”という特異な書写言語を生み育て、これを用いて、さまざまな表現世界を築き上げている。本講座は、この中国の表現世界すなわち中国文字の世界に近づき、親しみ、その実態を把握して、中国の言語、文学についての理解を深めようとするものである。

講義の内容・
授業スケジュール

前期、後期にわたり、適宜中国文学史上の各個の作品（詩、詞、賦、辞、論、文、小説等々）を選読し、例えば、歌謡や巫歌に由来する韻文の流れの中に、離合悲観の愛と哀しみの人間模様がどのように表白されて来るのか、また、卜辞、告誓、記事などに始源する中国の散文の流れの下に、会社生活を営む人間の心緒や思弁がどのように綴り述べられて来るのか、といった事柄を確かめながら、“漢字”“漢語”を通して形づくられている中国文学のあやどりの世界を眺望したい。なお、千数百年前漢字文化を接受して来た日本の姿にも注意を払い、中国文字の日本文学への影響などについても一瞥を試みたい。

履修上の留意点

中国の歴史や地理については、各自概説書や地図などを参看して、基礎知識を得ていて欲しい。

成績評価の方法

評価は、受講状況を重視しながら、レポート或いは試験を併せて、総合的に行う。

教科書

テキストにはプリントを用いる予定。参考書等については、授業時に説明、紹介する。

その他

授業は、講義方式で行う。必要に応じて視聴覚機器（ビデオ、スライド等）も使用する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
歴史学 (1) 〔日本中世史〕	あわ の とし ゆき 粟 野 俊 之	全学科・短国・短英	4

講義のねらい

歴史学は、人間（人類）の歩みを具体的な流れのなかで研究する学問である。歴史は人間の活動によって展開するものである。それは、表面に現れる一部の人間だけではなく、その基礎となる多くの人々の生活の営みを背景として作り出されるものである。歴史上の出来事を、何故起こったのか、その背景と意味を研究し、またある時点の地域・社会の具体的な様相を研究するのが歴史学である。

講義の内容・
授業スケジュール

日本史のなかで、中世から近世にかけての時代を主たる対象として講義する。はじめに、古代・中世・近世・近代・現代という流れを概観する。次いで、大名・領主・村落・農民の四つを基軸とし、中世から近世における出来事・地域・社会などの様々な問題や様相を考えたい。支配者と被支配者の関係はどのようなものであり、また支配者や被支配者のそれぞれの内部は、どのようなものであったかを現代的な問題と絡ませながらみていきたい。

履修上の留意点

受講者は、出席することが第一である。普段の講義を聞き、その内容を理解しなければ、結局授業を受けた意味がない。出席することが、最終的に受講者の利益となる。出席率の低い学生は試験の答案が書けないので、授業に出席しなければ、単位は認定されないと考えた方がよい。

成績評価の方法

成績評価は、年度末の定期試験を基本とする。これとともに、前期試験または夏期レポートの評価と出席を参考として単位を認定する。

教科書

教科書・参考書は特に指定しない。随時、授業の進行の中で提示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
歴史学(2) 〔中国古典考古学〕	も ざわ みち なお 茂 沢 方 尚	全学科・短国・短英	4

講義のねらい

最近の中国考古学のめざましい発掘報告はおびただしいものがあるだけにとどまらず、人類の歴史を再考せしめるような発見にみちている。それらの知見を無視することは学問にたずさわる者の良心が許さないであろう。

私は一介の中国古典学徒であるにすぎないが、その古典とは悠久なる中国の古代に花ひらいた諸子百家と後世呼称された人々の思想の歴史的な再考察を志す者にすぎない。その古典は、老子、孔子、莊子、列子、楊子、墨子、孫子、管子、申不害、慎到、商鞅、韓非子、等々、と多彩な人々の思想を歴史的に考察することになる。人間があらん限りの知恵をぶつけ合う、この錚々たる人々の織りなすドラマをともに考え苦しむことは、我々が生きることを反省させる鏡たることに疑問の余地がない。その中国の古典を最近の考古学的発掘資料が、それを理解するために一助となる場合がある。従来の中国学が要求する精緻精密な文献学に充分注意しながら、最新の考古学的発掘成果とを合致させるという神技に近いことに挑むこととする。

教科書

『「韓非子」の思想史的研究』(近代文藝社)

科目名	担当者名	配当学科	単位
歴史学(3) 〔東洋古代史〕	も ざわ みち なお 茂 沢 方 尚	全学科・短国・短英	4

講義のねらい

ここに言う東洋は、かつて中国人が呼んだ東洋＝日本の意味ではない。既にそれは日本では広くかつ多様なアジアを意味することは言うまでもない。その多様なアジアの東に連綿と悠久なる歴史を有して、凄じい生命力を示す中国が存在する。

私はその中国の先秦時代、わけても春秋戦国時代について、なかでも、その時代に知恵のあらん限りを尽くして生きた人々に関して深い関心を抱いている。戦乱にあけくれる中国古代のそれらは華々しい思想家達の又活躍した時代であった。そういう人々を諸子百家と呼称するが、その後世に与えた影響は罔り知れない。これらは単に中国の独占するものではなく、広く諸外国でも研究されている。それらの辛苦にみちた諸成果に充分なる配慮をしつつ、私は天才と言われる法家の韓非子を中心にして、諸子百家を概観しつつその思想の根源に横わる思想、道家に挑んでみたいと思っている。

教科書

『「韓非子」の思想史的研究』(近代文藝社)

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
歴 史 学 (4) 〔西洋近現代史〕	わた なべ 渡 辺 ちか 知	全学科・短国・短英	4

講義の内容・
授業スケジュール

イギリス近現代史からいくつかのトピックスを取り上げ、講義する。今のところ、イギリス革命、近代における「伝統」の創出、帝国の形成とイギリス社会への影響、イギリス近代国家の統合とスコットランド、ウェールズなどを取り上げる予定であるが、受講生の興味に従ったトピックも設定したい。過去の事実の確認にとどまらずそれがなぜおきたのか、また、過去の出来事が現在の社会といかに密接に結びついているのか、あるいは、現在の社会の動向が歴史研究にいか
に影響を与えているのかといった因果関係に力点がおかれた講義になればと希望している。

成績評価の方法

前期、後期の末に各1回ずつ行う試験の総合評価とする。これらの答案には講義内容を反映させた上で受講生独自の意見が盛り込まれているのが望ましい。

教 科 書

青山吉信・今井宏編『新版概説イギリス史 伝統的理解をこえて』有斐閣選書、1991年(1,751円)

参 考 書 等

講義の際に必要なに応じて紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
歴 史 学 (5) 〔日本近世史〕	き つき てつ お 木 槻 哲 夫	全学科・短国・短英	4

講義のねらい

一般に封建社会、幕藩体制とよばれている日本の前近代社会の後期を、主として文化史、社会経済史的な視点から概観したい。

講義の内容・
授業スケジュール

歴史上の注目すべき事件、事項、人物等をとりあげて、その紹介と歴史的意義を論ずることによって、時代社会の具体像を明らかにすることにつとめたい。

主な問題としては、農民支配（制度）、農民の生活（生産、経済諸活動、村落・家族構成）、都市町人の形成、町人の生活と文化、武士・農工商の教養と文化・風俗、藩政と地方文化、天災・人災と農村の荒廃、等に関わるものをとりあげたい。

履修上の留意点

学生諸君は、各自がいただく関心、興味にしたがって問題をとらあげ、その理解を深めるべく、積極的に読書し、学習につとめてほしい。

成績評価の方法

年度末に試験（記述式）を行ない、問題点についての理解度、学習度によって評定する。

教 科 書

教科書は特定しない。

参 考 書 等

日本史全時代にわたる簡明な概説書を常に参照しつつ、日本歴史上の近世、当面对象としている問題の近世史上での位置づけに留意しつつ授業に参加するようにしてほしい。歴史事典等も随時利用する必要がある。

理解をたすけるために必要な史資料はプリントして配布する予定である。

そ の 他

講義形式によって授業を行なう。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
歴 史 学 (6) 〔日本近代史〕	たちかわ しょうじ 立川 章 次	全学科・短国・短英	4

講義の内容・
授業スケジュール

幕末維新の諸様相の中から、テーマをえらび講義する。必要な史料はプリントして、受講生と共に講読する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
芸 術 学 (1) 〔日本美術〕	なかじま りょういち 中 島 亮 一	全学科・短国・短英	4

講義のねらい

「日本美術の深層を探る」をテーマに考える。各時代のきわ立った現象をとらえ、その思想性・芸術性を追求したい。そこには当然宗教性、民族性、政治性などさまざまな問題が含まれているはずであり、作品の表面的な理解にとどまらないよう留意し、芸術学的な思考力を身につけてほしい。

講義の内容・
授業スケジュール

先ず「神道美術とは何か」。それは多神教的自然崇拜に端を発し、靈山信仰、神像、垂迹美術と発展したが、その背後にあるものを多角的な方法で解明したい。

次いで「仏教美術とは何か」。その原動力となった信仰思想を分類学に幾つかのパターンに整理し、それぞれの信仰と造形表現の深層をさぐる。

さらに「世俗美術とは何であったか」を近世・近代の作品から考える。

履修上の留意点

世界史年表、日本史年表（何れも吉川弘文館）を用意してほしい。

成績評価の方法

スライドを多用するので、テーマ毎に感想文をもとめる。それと小テストの成績などで総合評価する。

教 科 書

吉田光邦『日本美の探究』NHKブックス69 ￥850

参 考 書 等

その都度紹介する。

そ の 他

スライドを多用する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
芸術学 (2) 〔西洋美術〕	矢野陽子	全学科・短国・短英	4

講義のねらい

芸術の観念は近代において成立したと考える見方があるが、芸術作品そのものは人類の歴史とともに古くから存在する。芸術は我々の社会のうちにあり、そのあり方は、宗教、政治、娯楽など生活と関わりあって存在している。したがって、我々は広い視野から芸術を考える必要がある。自分の好きな作品をただ眺めているだけでは、その理解は浅いものでしかない。作品を深く理解するためには、制作された時代の社会状況や表現の約束事や特徴などを知ることが必要である。この授業では、西洋美術の主要な流れをつかみ、さまざまな芸術の傾向を広く理解し、あわせて象徴や表現の意味、様式についても考察していきたい。

講義の内容・
授業スケジュール

時間的にも地理的にも広汎にわたる西洋美術のうち、この授業では主としてルネサンスから近代まで対象とする。しかし、西洋の美術を理解するうえでは古典古代、すなわちギリシャ、ローマの知識は必須であるので、最初に序論として古代から始まる全体の流れを概観するつもりである。スケジュールとしては、前期は主として16・17世紀の美術を、後期は18・19世紀の美術を扱う予定である。

成績評価の方法

成績は試験によって評価する。

教科書

教科書として、監修・高階秀爾「カラー版西洋美術史」美術出版社 1990年（1,900円）を使用する。

参考書等

参考図書は授業中、適宜紹介する。

その他

授業では、毎回スライドを使用して、具体的に作品を見ながら講義を進めていく。

科目名	担当者名	配当学科	単位
芸術学 (3) 〔音楽〕	あかほゆきこ 赤羽由規子	全学科・短国・短英	4

講義の内容・
授業スケジュール

前期 民族音楽学——日本人の伝統的な音感覚について考えていく。焼き芋屋さんの売り声や子どもの遊びの歌から芸術音楽にまで共通する日本のメロディーについて考察し、それらと外国の歌との共通性、異質性について具体的に音を聴きながら学び、音楽とは何かを考えて行きたい。

後期 20世紀と音楽——20世紀における音楽に関する様々な新しい動きを追って行き、「ポスト・モダン」といわれる今日の音楽の在り方について考えて行く。音や映像を用いて、わかりやすく進めて行くつもりである。

履修上の留意点

第一回目にオリエンテーションを行うので必ず出席すること。

成績評価の方法

夏期レポートと学年末試験で採点する。

教科書

印牧由規子著『現代からの音楽史』（公論社）¥2,700

科目名	担当者名	配当学科	単位
哲学 (1), (2), (3) 〔西洋思想の源流〕	寺田 誠一・久保 陽一 中村友太郎	全学科・短国・短英	4

講義のねらい

主に西洋思想の源流であるヘレニズムとヘブライズムをその哲学的原理に関して学ぶ。紀元前6世紀頃に登場した古代ギリシア哲学では概して人間と神々々が「自然」に包摂されて共存調和するものとして、また「自然」は永遠に回帰するものとして捉えられていたのに対し、ユダヤ教を母体にして1世紀頃に成立したキリスト教では人間と自然は主なる「神」の意志に服すべきものであり、創造と終末によって限られた歴史意識のうちで捉えられる等、両思潮には互いに異なる考え方が含まれていた。だが中世以後近現代にいたる西洋思想の歴史は、両者の総合や対立あるいは復活によって展開されてきたと見ることができ、両者は文字どおり西洋思想の源流をなしている。しかも近現代の西洋思想が今日の文明世界を規定しているという側面は含めない事実であるから、両思潮を学ぶことによって、同時に我々が現代に生きていく上でなにか示唆を得ることができよう。

講義の内容・授業スケジュール

- 本講義は、以下の内容を順次取り上げる。
- ㊶ 古代ギリシア哲学——ソクラテス以前の哲学、ソクラテス・プラトン・アリストテレス、古代末期の人生論
 - ㊷ キリスト教思想——ユダヤ教とキリスト教、教父哲学とスコラ哲学
 - ㊸ 古代ギリシア哲学およびキリスト教思想の近現代における影響史

履修上の留意点

哲学や宗教だけでなく、文学（例えばギリシア悲劇）等にも親しむようにすること。

成績評価の方法

中間試験と期末試験、レポート等で評価する。

教科書

教科書は開講時に指定する。

参考書等

参考書等は講義の際にその都度紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
哲学 (4), (5), (6) 〔近代の人間観と世界観〕	国嶋 一則・戸田 洋樹 坂本 清子	全学科・短国・短英	4

講義のねらい

私たちはそれぞれ自分なりの人間観・世界観に従って生きているといえるが、日常生活のなかでは、それを表立って吟味してみることはまれであり、ましてや、その背景について明確な認識を得ようとするのは、ほとんどない。

しかし、その背景を探ってみると、それが近代ヨーロッパ的な色彩を帯びていることもあり、また、昨今話題にのぼる諸問題——例えば生命倫理の問題、環境問題等——も、近代ヨーロッパの人間観・世界観との対決に関するものであることが意外に多い。

講義の内容・授業スケジュール

- 本講義は、近代ヨーロッパの人間観・世界観を中心として、以下の順で概観する。
- ㊶. 古代から中世へ ㊷. ルネサンス期 ㊸. 17世紀 ㊹. 啓蒙期
 - ㊺. 18世紀から19世紀へ ㊻. 20世紀（現代）

成績評価の方法

成績は中間試験と期末試験、レポート等で評価する。

教科書

教科書は開講時に指定する。

参考書等

参考書等は講義の際にその都度紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
哲学 (7), (8), (9) 〔現代文明と人間〕	久保 陽一・丸山 豊樹 大石紀一郎	全学科・短国・短英	4

講義のねらい

主に19～20世紀の現代哲学を学び、それを通して現代文明の中で人間が直面している諸問題の解決の手掛りを得ることをめざす。近代の科学革命や啓蒙主義によって鼓舞された人類の進歩や科学技術への信頼は、今日、自然環境の破壊、日常生活の均質化や匿名化、次世代にも及ぶ生命倫理の問題、民族や宗教の対立など、新たに生じた諸問題のために、色褪せ疑わしくなっている。しかしこれらの問題の解決のために、近代の科学技術や啓蒙主義の達成をすべて放棄することもできない。そこでこれらの問題に正しく対処するためには、問題のよって来たる所以が何であるかを明らかにし、様々な解決の処方箋を原理的および具体的に検討することが必要と思われる。

講義の内容・授業スケジュール

講義では、19～20世紀の諸哲学を中心に、以下のような内容を取り上げる。
①、近代化とは何か。
②、ドイツ観念論、マルクス主義、生の哲学と実存主義、プラグマティズム、分析哲学、現象学と解釈学等。
③、生命倫理、言語、身体等。

成績評価の方法

成績は、中間試験と期末試験、レポート等によって評価する。

教科書

教科書は開講時に指定する。

参考書等

参考書等は講義の際にその都度紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
論理学 (1), (2), (6), (8) 〔科学方法論と現代論理学〕	大石紀一郎・寺田 誠一 丸山 豊樹・小宮山 隆	全学科・短国・短英	4

講義のねらい

言葉をしゃべる時、文法を意識することがほとんどないように、論理もまた、その存在が意識されることはあまりない。そのような論理がどのように取り出されるか、取り出すことにどのような意義があるかを考えていく。

記号論理では、論理計算のたぐいにも多少つきあってもらうが、それ以上に、論理性を養ったり、記号化の仕組みへの理解を深めてもらうことに重点をおきたい。

講義の内容・授業スケジュール

伝統論理、記号論理および帰納型の推理を、この順にはほぼ等分に見ていく。なお、帰納推理の項では科学方法論にも言及する。

履修上の留意点

講義に対する積極的な取り組みが受講の要件であり、それ以外には予備知識等、一切必要としない。

成績評価の方法

成績は、中間試験と期末試験、レポート等で評価する。

教科書

教科書は、開講時に指示する。

参考書等

参考書等は、講義の際に、その都度紹介する。

その他

講義が中心になるが、問題演習の時間をできるだけ多くとることにしたい。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
論 理 学 (3), (4), (5), (7) 〔科学方法論と現代論理学〕	坂本 清子・伊古田 理 戸田 洋樹・山口 祐弘	全学科・短国・短英	4

講義のねらい

論理学は、広義には、形式論理学と科学方法論（帰納法を含む）との二つを含むが、ここでは主として形式論理学の基本について講述する。ここで形式論理学というのは、正しい思考の法則の体系（公理体系）のことであり、アリストテレスがまとめて、ほぼ18世紀に至るまで支配的であった伝統的論理学と現代の数学的論理学の二つを含んでいる。

本講義のねらいは、科学的に正しく考えるための条件の一つとしての、論理的思考を身につけることである。

講義の内容・
授業スケジュール

内容は、①伝統的論理学、②概念論、③命題論、④推理論
⑤記号論理学、⑥命題論理、⑦述語論理の順で講述する。

成績評価の方法

成績は、中間試験と期末試験、授業時の小テスト等で評価する。

教 科 書

テキストは開講時に指定する。

参 考 書 等

参考書等は授業中その都度紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
科 学 史 (1) 〔科学と技術〕	山本 敦之	全学科・短国・短英	4

講義のねらい

科学と技術は車の両輪にたとえられ、一方が他方をたえず刺激、触発しあいながら、「進歩」を推し進めてきた。だが、理論的には早くから知られていながら、なかなか技術に転用されない場合がある一方で、技術の急速な進歩の後を理論がたえず追いつける場合もある。

こうした様々なケースを具体例に即して検討するなかで、科学と技術さらには科学・技術と社会の関係の在り方について考えてゆきたい。

講義の内容・
授業スケジュール

さしあたり検討材料は歴史のなかに求めてゆくが、現代の様々な「夢の技術」も考察の対象としたい。

履修上の留意点

講義に対する積極的な取組みが受講の要件であり、それ以外には予備知識等、一切必要としない。

成績評価の方法

前・後期の試験と夏のレポートで評価する。

教 科 書

開講時に指示する。

参 考 書 等

講義の際に、その都度紹介する。

そ の 他

講義が中心になるが、必要に応じてビデオ等も使用する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
科 学 史 (2) 〔近代科学の成立と展開〕	こ み やま 小 宮 山 たかし 隆	全学科・短国・短英	4

講義のねらい

科学・技術の進歩の道筋は紆余曲折にみちたものであり、その成功だけでなく躓きも、われわれにとって示唆に富む内容を含んでいる。

そこで、いくつかの事例を取り上げ、具体的な科学理論の歴史的展開を、技術の進歩や各時代の支配的な思潮との相関のなかでとらえ、現代のわれわれにとっての意味を考察していきたい。

講義の内容・
授業スケジュール

今日の物理学、化学、生物学がそれぞれ近代科学として成立する過程を中心に、現代への展開を含めて概観する。

履修上の留意点

講義に対する積極的な取り組みが受講の要件であり、それ以外に自然科学的な知識等、予備知識は一切必要としない。

成績評価の方法

前・後期の試験と夏のレポートで評価する。

教 科 書

「図解・科学の歴史」八杉龍一（東京教学社）

参 考 書 等

講義の際に、その都度紹介する。

そ の 他

通常の講義形式をとるが、教科書掲載の図版をはじめ、できるだけ多くの図版・図表等をもちいて講義を進めたい。必要に応じてビデオ等も使用する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
倫 理 学 (1), (2) 〔人 間 観〕	くに し ま かず のり 国 嶋 一 則	全学科・短国・短英	4

講義のねらい

倫理学は、哲学の主要な一部門であり、われわれ人間がいかに生き、何を行為すべきかを探求する学問である。言い換えれば、人間として正しいとか、真実などか、理性的などといわれる「生き方」を探求する哲学である。

われわれが自己の「生き方」を決めるためには、自己の人生観をたてなければならない。人生観とは、この世における人生とは何かについての考えである。したがって、人生観の基礎には、人生を営む主体としての「人間とは何か」という人間観がある。

われわれは、人間自身をいかに考えるかという人間観を確立することによって、自己の正しい「生き方」を決めることができる。

講義の内容・
授業スケジュール

前期は、哲学・倫理学の基礎的概念と、哲学の考え方の学習に重点をおく。後期は、人間観の歴史的変遷を考察する。

履修上の留意点

書物の読解力をつけるために、教材の重要な箇所を取り上げて解説する。

成績評価の方法

出席回数、筆記試験、レポートによって成績を評価する。

教 科 書

学期のはじめに発表する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
倫 理 学 (3) 〔 価 値 観 〕	くにしまかずのり 国 嶋 一 則	全学科・短国・短英	4

講義のねらい

倫理学は、われわれ人間がいかに生き、何を行為すべきかを探求する学問である。言い換えれば、人間として正しいとか、真実とか、理性的などと言われる「生き方」を求める哲学である。われわれが自己の生き方を求めるということは、自己が生きてゆくための支えを求めることにはかならない。

「支え」となるものは、生きてゆくのに頼りとなり、生き甲斐となるような価値のあるものである。このような価値は、生きる目標ないし目的となるものであって、生きることを意味あらしめるものである。したがって価値を見誤ると、われわれは正しい価値観をもつことができず、また人生観にも誤りを生ずる。なぜなら、価値観に基づく生き方が人生観だからである。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、哲学・倫理学の基礎的概念と、価値の構造を考察する。
後期は、価値観の歴史的変遷を考察する。

履修上の留意点

書物の読解力をつけるために、教材の重要な箇所を取り上げて解説する。

成績評価の方法

出席回数、筆記試験、レポートによって成績を評価する。

教科書

学期のはじめに発表する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
倫 理 学 (4) 〔 自 由 論 〕	くにしまかずのり 国 嶋 一 則	全学科・短国・短英	4

講義のねらい

倫理学は、われわれ人間がいかに生き、何を行為すべきかを探求する学問である。言い換えれば、人間として正しいとか、真実とか、理性的などと言われる「生き方」を探求する哲学である。われわれ人間は、意志の自由をもち、その自由によってみずからの行為の選択をしてゆかなければならない。すなわち、われわれは自己の意志によって行為を選択する自由をもつのである。自由は、行為の主体たる人格を担うところの価値を可能ならしめる制約として、倫理学の根本概念をなしてきた。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、哲学・倫理学の基礎的概念と、自由の語義を考察する。
後期は、近代において、自由が自由主義として展開した過程を考察する。

履修上の留意点

書物の読解力をつけるために、教材の重要な箇所を取り上げて解説する。

成績評価の方法

出席回数、筆記試験、レポートによって成績を評価する。

教科書

学期のはじめに発表する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
倫 理 学 (5) 〔制度とモラル〕	く ぼ 久 保 陽 一	全学科・短国・短英	4

講義のねらい

現代における「倫理」の意味を制度や組織との関連で考察する。今日人々は戦前の家父長制や封建主義的人間関係のしがらみから解放され自由になりはしたが、その自由は、何をしても構わないというエゴイズムに類落し、それ故種々の無用な抗争を生ぜしめる可能性をも持っている。いかに人間が自由になろうとも、社会生活が存立し続ける以上、例えば学校や企業などの組織の中で、他者との相互依存関係を拒むことはできない。つまり個人の権利と社会的規制との調和をどのように図るか、個人にどのようなモラルが組織の中で要求されるのか、更にそのような法や道徳は人生の根源的問題との関連でどのように基礎づけられるのかが、あらためて問われているように思われる。この問題を原理的に考察するために、主に近現代の倫理学説を学び、検討することにする。

講義の内容・
授業スケジュール

- 講義では次のような項目を取り上げる。
- ① 社会契約思想とその問題点 —— ホブズ・ロック、ルソー・ヘーゲル・マルクス、日本国憲法、ロールズ等。
 - ② 道徳の原理、法と道徳の関係 —— 快樂主義・功利主義、理性主義、カント、ヘーゲル。
 - ③ 人生論 —— パスカル、ハイデガー等。

履修上の留意点

講義ノートをよく取ること、分からない点は質問すること、一年間で少くとも一冊古典的書物を読むようにすること。

成績評価の方法

中間試験と期末試験、レポート等で評価する。

教 科 書

教科書は開講時に指定する。

参 考 書 等

参考書等は授業中その都度紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
倫 理 学 (6) 〔東洋倫理〕	まつ だ ぶん 雄 松 田 文 雄	全学科・短国・短英	4

講義のねらい

“人間いかに生くべきか”という、言わば永遠の課題を、東洋の先哲がいかに説示したかを解説し、受講生の人生観・世界観の形成に資せんとするものである。東洋の文化圏は古代においてインド、中国がそれぞれ独自に形成された。本講義においてはインド、中国、日本の三領域にわたって考察する。

講義の内容・
授業スケジュール

はじめに倫理の意味、東洋倫理学の地理的領域等について講義する。ついで、1) インド倫理の特徴、古代インド、仏教の成立、大乘仏教、仏教の戒律、法典の編纂等についての概説、2) 中国について、その特色を述べ、春秋戦国期の諸子百家、特に儒家・道家の後世への影響、仏教伝来等の概要、3) 日本固有の自然観、人間観、外来思想（文化）としての儒学、仏教の受容等について講義する。特に、インドに成立した仏教の教えが、中国社会に、そして日本社会に受容され定着してきた点に注目しながら講義をすすめていく。

履修上の留意点

まず受講すること、そしてノートをとる、反復して読み、整理しておくこと。

成績評価の方法

成績評価は定期試験の成果と受講の度合い（出欠）によって行う。

教 科 書

特に指定しない。

参 考 書 等

随時指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
宗 教 学 (1) 〔比較宗教文化〕	まつ だ ぶん ゆう 松 田 文 雄	全学科・短国・短英	4

講義のねらい

世界にはさまざまな宗教が成立している。これらの宗教を研究するには、自ずとその研究方法がみだされてくる。それは価値中立的にみる立場である。この立場でさまざまな宗教現象を考察する。

講義の内容・授業スケジュール

凡そ次の順序で講義をすすめていく。
1) 宗教現象の諸相, 宗教の研究手法, 宗教の類型, 民族宗教とその特徴, 世界宗教とその特徴。
2) 聖典, 戒律, 修行, 儀礼等 3) 世界三大宗教 (仏教, キリスト教, イスラーム) の伝播とその文化圏。

履修上の留意点

受講し、ノートをとること。

成績評価の方法

定期試験と受講の状況 (出欠) によって評価する。

教科書

特に指定しない。

参考書等

随時指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
宗 教 学 (2) 〔聖と俗〕	さ さ き こう かん 佐 々 木 宏 幹	全学科・短国・短英	4

講義のねらい

われわれの生活は、「きれい」と「きたない」、「よい」と「わるい」、「おいしい」と「まずい」などの類別基準を利用することによって営まれている。「聖」と「俗」の類別も同様に宗教と非宗教の差異を示す用語として用いられてきた。

現象を区分・類別することは文化の基本とされるが、いったい物事を分けるとはどういうことであろうか。「聖」は宗教、「俗」はそうでないものと簡単に区分して済まされるのだろうか。簡単に済まされないのだとすれば、どのような問題が存在するのであろうか。この講義では宗教とは何かという問題を人間の他の営為とたえず比較しながら考察し、終局的には人間とは何かの問題の追求に結びつけていきたい。

講義の内容・授業スケジュール

以下のような内容を構想している。
1. 身分けと言分け, 2. 人間は混沌に耐えられない, 3. 分類と文化, 4. ラベリング (labelling) の問題, 5. 聖と俗の理論, 6. スティグマ (stigma) とは何か, 7. 世界観とは何か, 7. 宗教と民族, 8. 宗教における平等と差別, 9. 日本宗教における聖と俗 10. 仏教とキリスト教。

履修上の留意点

ときどき出席をとり、評価の参考にす。講義中にあるテーマについて話し合いをし、学生が総括し、私がコメントする方法を考えている。

成績評価の方法

講義の内容にそったテーマを選び、レポートを作製する。400字詰原稿用紙5～8枚程度 (参考文献明記のこと)。

教科書

佐々木宏幹著『聖と呪力』青弓社。

参考書等

その都度紹介する。

その他

ときにスライド、ビデオ使用。

科目名	担当者名	配当学科	単位
宗 教 学 (3) 〔思想と儀礼〕	さとうのりあき 佐藤憲昭	全学科・短国・短英	4

講義のねらい

宗教学は、宗教文化について価値中立的立場から研究する学問である。仏教・キリスト教などの成立宗教から、日常生活の中で展開している民俗宗教にいたるまで、およそ宗教と呼ばれる文化現象には、思想と儀礼の双方が具えられているのが普通である。もちろん、その思想や儀礼は、すこぶる洗練されている場合もあれば、きわめて素朴な場合もあるなど、さまざまである。そのいずれであれ、思想を行為化した営為が儀礼であることに変わりはない。この講座では、思想と儀礼との諸関係を通して、宗教文化に接近することを目指している。

講義の内容・
授業スケジュール

まず、宗教学の成立史、構成内容、方法、などについて具体的に解説をした後に、儀礼の研究史を紹介しながら、思想と儀礼との諸関係について、内外のさまざまな事例を取り上げて考察する。つぎに、成立宗教としての仏教の儀礼と、民俗宗教としてのシャーマニズムの儀礼とをそれぞれ取り上げて比較分析し、思想がどのように行為化されているかについて突っ込んで考えてみたい。

履修上の留意点

抜き打ち的に出席をとるので、欠席をした場合（または欠席をする場合）には、欠席届（形式は任意）を提出することが望ましい。

成績評価の方法

基本的には定期試験で評価するが、59点以下の場合には、出席点を考慮して総合的に評価する。

教科書

佐々木宏幹『仏（ホトケ）と霊（タマ）の人類学』春秋社
佐々木宏幹『シャーマニズムの世界』講談社（学術文庫）

参考書等

授業中に適宜紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
人文地理学 (1), (2) 〔風土と文化〕	やのようこ 矢野陽子	全学科・短国・短英	4

講義のねらい

地誌的見地から日本の風土と文化とのかかわりを考え、各自の郷土の自然と文化に対する認識を深めたい。

「風土とは何か」風土についての問題は地理学以外の各分野、例えば哲学、思想比較文化などでも扱われている。

本講では、それぞれの風土と一体化された人間生活についてとりあげ、人類の文化の歴史と風土との関係を考えたい。

講義の内容・
授業スケジュール

つねに問題意識をもって受講されたい。

成績評価の方法

前期は主としてレポート提出を行ない、後期の試験で評価する。
前期はレポート提出、後期は試験を行なうことにより評価する。

教科書

藤岡謙二郎その他共著・「日本地誌」大明堂 2,900円
中村和郎・高橋伸夫編・「地理学への招待」古今書院 2,500円

参考書等

開講時に指示する。

その他

受講時に地図帳を用意することが望ましい。（高校の時の地図帳でよい）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
人文地理学 (3) 〔空間と行動〕	た だ とう いち 多 田 統 一	全学科・短国・短英	4

講義のねらい

人文地理学は、地表に存在する人文事象を対象に、それを地域的な視角から研究する学問である。すなわち、日本および世界の人口、集落、農牧業、工業、商業、交通、文化などの諸問題を、地域論や機能論、立地論などの視角からとらえる。

講義の内容・
授業スケジュール

次の①～⑧の内容を中心に授業を進める。

- ① 地理学の発達と人文地理学の課題
- ② 人口（分布、構成、移動）
- ③ 集落（機能、立地、形態、圏、計画）
- ④ 農牧業（立地、地域区分、産地形成）
- ⑤ 工業（分布、立地、集積、地域分業）
- ⑥ 商業（立地、圏、行動空間）
- ⑦ 交通（流、圏、網）
- ⑧ 文化（圏、伝播、変容）

履修上の留意点

地図や地図帳を積極的に活用してもらいたい。
世界や日本の地域の動向に興味をもってもらいたい。

成績評価の方法

試験の成績とレポートの内容によって評価をおこなう。

教 科 書

横田忠夫『新地理学考』、大明堂、2,200円

参 考 書 等

その都度紹介する。

そ の 他

- ① 授業の方法
講義を中心に進める。教科書のほか、プリントにより人文地理学の最近の研究成果についても紹介する。時事問題を適宜とり入れ、世界や日本の動向を地域的な視点から解説する。
- ② 地域調査
可能ならば、野外調査を実施したい。そうでなければ、文献調査によって地域の成り立ちや性格を調べる方法を習得させたい。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
仏教と人間（前期）	つ だ たい りゅう 角 田 泰 隆	短 放	2

講義のねらい

仏教とは何かについて、できるだけ具体的に、わかりやすく解説したい。

講義の内容・
授業スケジュール

仏教の基本的な教義について解説するが、便宜的に、「人間」「自己」「現在」「教育」「生死」の五つの言葉を順次取りあげ、これらと関係させながら進めてゆきたい。

履修上の留意点

教科書は用いないので、筆記用具を整え、講義の内容をしっかりと記録して頂きたい。（定期試験には自筆ノートも持ち込みを許可する）

成績評価の方法

定期試験の筆記試験の成績によって評価する。ただし、原則として所定の授業時間数の3分の2以上授業に出席しなかった者には、筆記試験の成績の如何に関わらず単位は認定されない。

教 科 書

なし。

参 考 書 等

授業において紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
仏教と人間〔再クラス〕 (前期), (後期)	すずき かく せん 鈴 木 格 禪	短 放	(半期) 2

講義のねらい

自己存在の意義や、人間の「生き方」等を中心に考察する。

講義の内容・
授業スケジュール

仏教ないし禅の歴史や伝統を軸にしなが、できるだけ広く、且つ具体的な問題をえらび、これを「人間の学」として、共に考え一緒に学んでゆきたい。

履修上の留意点

静粛を旨とし、授業中の入退場、雑談、および、授業に無関係な所作のすべてを厳重に禁止する。

成績評価の方法

筆記試験と平常点（出席率・受講態度）による。

教科書

駒澤大学仏教学研究室編『宗教学Ⅱ』（更生社 2,370円）

参考書等

必要に応じて適宜に指示する。

その他

授業は専ら講義による。

科目名	担当者名	配当学科	単位
仏教と人間〔再クラス〕 (前期), (後期)	みね かし こう さい 峰 岸 孝 哉	短 放	(半期) 2

講義のねらい

人類史で宗教文化を持たなかった民族はないとされる。このことは人間や文化を考える上で非常に重い意味をもつのではなかろうか。

さて一口に宗教文化といってもこれは実に様々な要素から成り立っていることがわかる。そしてこれらを整理しどう考えるかについても多くの課題があるのである。

そこでこの「宗教現象」と「宗教学」との関係に注目し、その理論的枠組みを学んでみよう。なぜなら多くの宗教現象の理論的整理には、もっとも有効な枠組みの提示があったからである。

歴史を通じて日本列島には「民俗宗教」が定着した。そして外来宗教であり世界宗教である仏教・キリスト教が伝来したが、実態は日本の仏教であり、キリスト教として定着したのである。このような定着の仕方は、例えば「本地垂迹説」にみられるように「神仏混交」として古くから成立してきたと思われる。こうした現象は、宗教学では「宗教複合」、「シンクレティズム」と呼ばれる。ある宗教学者はこの現象を日本的な特色とみなし、まさに世界の宗教の実験の坩堝であるとするのである。恐らくこうした日本の特色は民俗宗教の性格によるものであろう。

本講では日本人のくらしの中の宗教的行動を通して、そこに見られる宗教的意味について考えたい。

講義の内容・
授業スケジュール

まず宗教現象と宗教学の関係に注目し宗教理解の理論的枠組みについて学ぶ。次に宗教と文化の関係について考えてみる。例えば仏教はインドで成立し、中国を経て日本に伝来した。それぞれインド仏教・中国仏教・日本仏教として成立した。つまり日本人のくらしを通じてみられる仏教のことである。

履修上の留意点

日頃とかく無関心になりがちと思われるが、自分のこととしても重要な問題なのではないだろうか。

成績評価の方法

期末試験で評価。

教科書

テキスト 佐々木宏幹著『聖と呪力』青弓社 2,060円

参考書等

参考書は講義の進行と共に指示。

教 養 教 育 科 目
社 会 分 野

教 養 教 育 科 目

社 会 分 野

社 会 学 (1) [現代社会を考える]	(呉 炳 三)	61
社 会 学 (2) [現代社会を考える]	(橋 爪 敏)	61
社 会 学 (3) [現代文化を考える]	(橋 爪 敏)	62
社 会 学 (4) [現代文化を考える]	(呉 炳 三)	62
社 会 学 (5) [社会生活を考える]	(岩 上 真 珠)	63
社 会 学 (6) [社会生活を考える]	(橋 爪 敏)	63
統 計 学 (1) [社会現象の統計的分析]	(稲 葉 敏 夫)	64
統 計 学 (2) [社会現象の統計的決定]	(日 下 泰 夫)	64
文化人類学 (1) [文化と人間]	(佐 藤 憲 昭)	65
文化人類学 (2), (3) [文化と人間]	(藤 崎 康 彦)	65
文化人類学 (4) [諸民族とコスモロジー]	(加 治 明)	66
文化人類学 (5), (6) [諸民族とコスモロジー]	(村 武 慶)	67
文化人類学 (7) [社会変化と価値観]	(小 川 順 敬)	68
文化人類学 (8), (9) [社会変化と価値観]	(内 山 明 子)	69
法学・憲法 (1) [法と社会生活]	(長谷川 日出世)	69
法学・憲法 (2), (3) [法と社会生活]	(和 知 恵 一)	70
法学・憲法 (4) [法と社会生活]	(鷄 徳 啓 登)	70
法学・憲法 (5), (6) [法と権利]	(和 知 恵 一)	71
法学・憲法 (7), (11) [法と権利]	(茂 野 隆 晴)	72
法学・憲法 (12) [法と権利]	(光 田 督 良)	73
法学・憲法 (8) [法と国家]	(新 田 浩 司)	74
法学・憲法 (9) [法と国家]	(齋 藤 洋)	74
法学・憲法 (10) [法と国家]	(織 田 晃 子)	75
政 治 学 (1) [社会生活とデモクラシー]	(小 林 正 敏)	75
政 治 学 (2) [政治システムと政治参加]	(上 條 末 夫)	76
政 治 学 (3) [国際社会と日本]	(浦 田 早 苗)	77
経 済 学 (1) [現代社会と市場経済]	(浅 田 統 一 郎)	77
経 済 学 (2) [現代経済と人間]	(松 井 柳 平)	78
経 済 学 (3), (4) [現代経済理解へのガイド]	(小 野 俊 夫)	79
社会科学論 [社会認識の思想]	(大 石 雄 爾)	80
教 育 学 [デス・エデュケーション]	(柳 堀 素 雅 子)	81
教 育 心 理 [大学生の心理 — 教育臨床心理学の立場から —]	(北 島 步 美)	81
社 会 学 (前期)	(橋 爪 敏)	82
法 学 (後期)	(織 田 晃 子)	82
心 理 学 (前期)	(板 津 裕 己)	83

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
社 会 学 (1) 〔現代社会を考える〕	お 橋 びん さん 呉 炳 三	全 学 科 短 国 ・ 短 英	4

講義のねらい

現代社会の中で、実際社会生活を行なっていく時に発生する社会問題は何か？ 混迷した現代社会の特徴的な問題を以下のような角度から考察してみたい。

講義の内容・
授業スケジュール

- ①バブル時代に高まった企業批判への対応や、プラザ合意を受けた日本企業の海外投資、企業活動のグローバル化にともない、企業の「社会貢献活動」が活発になってきている。市民のボランティア活動を視野におさめながら、その今後の見通しについて概観する。
- ②現代社会の変化により、家族の形態の変化や、少子化、高齢化など現代の家族の諸問題を問い直してみる。
- ③近代、高齢化の進展により、高福祉、高学歴社会という観点から「福祉」と「教育」を取り上げ、そこに生じる諸問題を巡っていく。
- ④消費社会、現代人の様々な消費行動をとり上げ、余暇、流行などについて問う。

履修上の留意点

開講時に留意点として述べる。

成績評価の方法

未定。

教 科 書

使用しない。

参 考 書 等

安藤喜久雄ほか編『社会学概論』(学文社)
倉沢進・川本勝編『社会学への招待』(ミネルヴァ書房)

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
社 会 学 (2) 〔現代社会を考える〕	はし づめ さとし 橋 爪 敏	全 学 科 短 国 ・ 短 英	4

講義のねらい

この講義は、「社会学」についての基本的な知識を提供し、あわせて、「現代社会」についての若干の問題を論ずることを目的とする。

講義の内容・
授業スケジュール

講義のねらいで述べたように、この講義は「社会学」の知識と、「社会学」的見方を通してみた「現代社会」の問題を扱うことになる。しかし、ほとんどの学生諸君は「社会学」についての予備知識は無いものと思われる。「社会学」は高等学校までの社会科とはかなり異なっている。そこで、まず、前期においてこのような社会学独自の社会現象の見方、考え方、基礎的な知識を理解し、後期に、こうした理解を踏まえて、「現代社会」の諸問題——大衆社会、高度情報化社会、高度消費社会等——を扱うことにしたい。

成績評価の方法

成績の評価は、講義内容に関わる基本的な問題について、学年末におこなうペーパー・テストによって評価する。

教 科 書

安藤喜久雄ほか編『社会学概論』 学文社

参 考 書 等

安藤喜久雄ほか編『わかりやすい社会学』 学文社
高尾・橋爪編『社会学の基礎』 犀書房
R.ニスベット『現代社会学入門1～4』 講談社学術文庫
その他授業中に適宜指示したい

科目名	担当者名	配当学科	単 位
社会学 (3) 〔現代文化を考える〕	はし づめ さとし 橋 爪 敏	全 学 科 短国・短英	4

講義のねらい

この講義は、「社会学」についての基本的な知識を提供し、あわせて、「現代文化」についての若干の問題を論ずることを目的とする。

講義の内容・
授業スケジュール

講義のねらいで述べたように、この講義は「社会学」の知識と、「社会学」的見方を通してみた「現代文化」の問題を扱うことになる。しかし、ほとんどの学生諸君は「社会学」についての予備知識は無いものと思われる。「社会学」は高等学校までの社会科とはかなり異なっている。そこで、まず、前期においてこのような社会学独自の社会現象の見方、考え方、基礎的な知識を理解し、後期に、こうした理解を踏まえて、「現代文化」の諸問題——文化とは何か、現代文化とは何か、大衆文化等——を扱うことにしたい。

成績評価の方法

成績の評価は、講義内容に関わる基本的な問題について、学年末におこなうペーパー・テストによって評価する。

教 科 書

安藤喜久雄ほか編『社会学概論』 学文社

参 考 書 等

安藤喜久雄ほか編『わかりやすい社会学』 学文社
高尾・橋爪編『社会学の基礎』 犀書房
R.ニスベット『現代社会学入門1～4』 講談社学術文庫
その他授業中に適宜指示したい

科目名	担当者名	配当学科	単 位
社会学 (4) 〔現代文化を考える〕	お 呉 ひょん さん 呉 炳 三	全 学 科 短国・短英	4

講義のねらい

現代日本の根底に潜む主要な問題の一つとしてジェンダー、すなわち社会的な性別があげられる。本講義のねらいは、ジェンダーという視点から現代日本社会における男女関係を描出し、文化の次元において生成されるそのジェンダーが、いかに実際の社会生活、または他の文化領域に影響を及ぼしていくかを概観することにある。

講義の内容・
授業スケジュール

講義は以下の手順によって進められる。第一にジェンダーという主要概念を、主としてフェミニズム理論に依拠して明示化していくこと。第二に、ジェンダーが 社会生活、他の文化領域と関連する場、すなわち、職場、家庭、宗教生活、恋愛等において顕現する男性観・女性観を詳細に書き出していくこと。そして最後に、現代日本社会に文化として存在するジェンダーを、他の文化との比較によって特徴づけていくことである。

履修上の留意点

開講時に留意点として述べる。

成績評価の方法

未定。

教 科 書

使用しない。

参 考 書 等

講義の開始時に紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
社 会 学 (5) 〔社会生活を考える〕	いわ 岩 上 真 珠	全 学 科 短 国・短 英	4

講義のねらい

社会学は、人間の行動を社会との関連で理解する学問である。「人間行動を通して社会を見出す」と言い替えてもよい。

個人は特定の社会に生まれ、社会の一員としてさまざまな社会現象に遭遇する。講義では、誕生から始まり、子ども期、青年期、成人期、老年期を経て死に至る個人のライフコースをたて軸にして、現代社会の中で個人が会う主要な社会現象との関わりを通じて、同時代のわれわれをとりまく生活世界の理解をめざす。

講義の内容・
授業スケジュール

講義は、以下のスケジュールにしたがって進めるつもりである。

- | | |
|----------------------|------------------------|
| (前期) | (後期) |
| 1. 現代社会と個人のライフコース | 6. 産業社会と職業 |
| 2. 誕生の意味 | 7. 結婚と家族の形成 |
| 3. 子どもの社会化と定住家族 | 8. 中年期—子どもの独立、定年と老後の準備 |
| 4. 学校—仲間、競争、組織、高学歴化 | 9. 高齢化社会の構造と老年期のあり方 |
| 5. 青年期—青年の意味、大人になる意味 | 10. 死への準備 |

成績評価の方法

評価は、前期および後期の試験と平素の学習態度で行う。

教 科 書

高島・岩上・石川共著、『生活世界を旅する—ライフコースと現代社会—』、福村出版、¥2,400

参 考 書 等

随時指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
社 会 学 (6) 〔社会生活を考える〕	はし 橋 爪 さとし 敏	全 学 科 短 国・短 英	4

講義のねらい

この講義は、「社会学」についての基本的な知識を提供し、あわせて、「社会生活」についての若干の問題を論ずることを目的とする。

講義の内容・
授業スケジュール

講義のねらいで述べたように、この講義は「社会学」の知識と、「社会学」的見方を通してみた「社会生活」の問題を扱うことになる。しかし、ほとんどの学生諸君は「社会学」についての予備知識は無いものと思われる。「社会学」は高等学校までの社会科とはかなり異なっている。そこで、まず、前期においてこのような社会学独自の社会現象の見方、考え方、基礎的な知識を理解し、後期に、こうした理解を踏まえて、「社会生活」の諸問題—社会的人間、つまり、社会によって形成され、また社会を形成していく存在としての人間。このような人間（個人）の成長と社会生活とは密接不可分に関わる。この関わりの諸問題を考えることにしたい。

成績評価の方法

成績の評価は、講義内容に関わる基本的な問題について、学年末におこなうペーパー・テストによって評価する。

教 科 書

安藤喜久雄編『人生の社会学』学文社

参 考 書 等

安藤喜久雄ほか編『社会学概論』学文社
安藤喜久雄ほか編『わかりやすい社会学』学文社
高尾・橋爪編『社会学の基礎』犀書房
R.ニスベット『現代社会学入門1～4』講談社学術文庫
その他授業中に適宜指示したい。

科目名	担当者名	配当学科	単位
統計学 (1) 〔社会現象の統計的分析〕	いなばとしお夫 稲葉敏夫	全学科 短国・短英	4

講義のねらい

情報化時代においては、情報洪水の中で何が必要な情報で、何が不必要かの適切な選択が益々大切となってくる。どの様にしたら統計を適切に利用できるかを主眼に授業を進める。

講義の内容・授業スケジュール

前期は基本的な概念を説明する。平均値、標準偏差、2変量間の関係を表す相関係数、そして回帰直線を扱う。また、確率概念を導入することによって、平均値、標準偏差をとらえ直す。後期は統計的推測の基礎を講義する。世論調査における政党支持率の変化は統計的に意味があるのか、新薬は旧薬よりもはたして効き目があるのかなど、身近な例を取り上げる。

成績評価の方法

成績はテストによって評価する。

教科書

「経済・商系基礎統計」 稲葉三男・敏夫・和夫 共著 (共立出版) 1,800円

その他

授業は講義の形態をとるが、時々ごく簡単な計算を受講者にもしてもらおう。数式の使用はできるだけ避け、主として図や表を使用して説明する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
統計学 (2) 〔社会現象の統計的決定〕	くさかやすお夫 日下泰夫	全学科 短国・短英	4

講義のねらい

統計学は、観測値（バラツキをもったデータ）から観測値の源泉に関する結論を引き出す方法であり、経営、経済をはじめとする社会現象の解析、意思決定などに広範に使用されています。本講義は、統計学の入門として、その基本的な考え方と方法を現実の問題を引用しながら平易に解説することをねらいとしています。

講義の内容・授業スケジュール

1. 統計的方法の本質, 2. 記述統計, 3. 標本空間と確率, 4. 確率変数と確率分布, 6. 母集団と標本, 7. 推定, 8. 検定, 9. 相関, 10. 回帰

履修上の留意点

統計学は数学の一分野であり、積み重ねが要求される分野です。試験直前の暗記は通用しませんので、講義に出席し確実に理解していくことが大切です。連続して欠席し講義内容が分からなくなり、途中で脱落することのないように留意して下さい。

成績評価の方法

後期末に行う試験を主に、出席状況、演習内容を加味して評価します。

教科書

P.G.ホーエル (浅井 晃, 村上正康 共訳)「初等統計学」(培風館) ¥1,530

参考書等

開講時に紹介します。

その他

受講人数は60人に制限させていただきます。重要な部分はその講義の終了時に個別に演習を実施しますが、全講義の終了時(12月頃)に3~4時間をかけて演習を行います。ここでは、これまでに学習した内容の典型的な問題とその解答について解説し、自習のための便宜を図ります。試験はこれらの問題をフォローしていれば出来るような問題を出題する予定です。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
文化人類学 (1) 〔文化と人間〕	さ とう のり あき 佐 藤 憲 昭	全 学 科 短国・短英	4

講義のねらい

文化人類学は、日本を含む世界のさまざまな民族の文化や社会について比較研究をする学問である。そしてその営為を通して「人間とは何か」という問題に答えようとするのである。国際化時代が到来している現在、異文化を理解することは必須の事柄といえよう。異文化の理解はまた自文化の理解を深めることでもある。こうした問題意識から、この講座では、内外の事例をできるだけ多く取り上げて、分析・比較・考察を行い、文化を通して人間理解の可能性を探ってみたい。

講義の内容・
授業スケジュール

かつて、狼に育てられた二人の少女がインドで発見されたことがあった。狼に育てられた子供たちと、人間に育てられた子供たちとを比較してみると、文化を所有している人間の特質が浮き彫りにされてくる。わかりやすい事例を取り上げて、文化と人間との関係をさまざまな角度から考える。

つぎに、文化人類学の学問的特徴、対象、方法、歴史などについて具体的に解説し、さらに、家族、婚姻、親族、呪術、宗教的な観念や行動などの問題を取り上げて、「人間とは何か」という問題に接近してみたい。

履修上の留意点

夏期休暇中に文化人類学に関する本の感想文を作成してもらうが、その提出は希望者のみとする。また、抜き打ち的に出席をとるので、欠席をした場合（または欠席をする場合）には、欠席届（形式は任意）を提出することが望ましい。

成績評価の方法

基本的には筆記試験で評価するが、試験の結果が59点以下の場合には、感想文の点数と出席状況とを考慮して総合的に評価する。

教 科 書

村武精一・佐々木宏幹編『文化人類学』（有斐閣Sシリーズ）有斐閣

参 考 書 等

授業中に適宜紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
文化人類学 (2), (3) 〔文化と人間〕	ふじ さき やす ひこ 藤 崎 康 彦	全 学 科 短国・短英	4

講義のねらい

文化人類学全般に渡り概説的な講義を行う。ヒトは生物学的な共通性を持ちながらも文化を身につけることで多様な生活を組み立てて来た。「文化と人間」についてその「普遍と特殊」の観点から考えたい。私の研究上の背景は心理人類学的なものであるので、文化を様々なコミュニケーションとしてみる立場から説きたい。同時に社会人類学的な考え方もバランス良く取り込みたい。又、日本の民俗文化を人類学的な広がりで見ると考える時間も適当に組み込むことを考えている。

講義の内容・
授業スケジュール

- 次の項目について講義をする。
1. 文化の概念、文化の生物学的基礎
 2. 言語とコミュニケーション
 3. 家族・親族・婚姻
 4. 妖術・呪術・シャーマニズム
 5. 心理人類学
 6. 経済の技術・生活の技術
 7. 法と政治の人類学
 8. 日本の民俗文化再考
 9. その他のテーマ

履修上の留意点

質問や意見は歓迎する。積極的に参加していただきたい。しかし私語等の身勝手な行動には極めて厳しい態度で臨む積もりである。

成績評価の方法

学年末の定期試験で成績評価を行う。

教 科 書

祖父江孝男『文化人類学入門——増補改訂版——』中央公論社（中公新書）¥800 程度
値段と内容のバランスから上記を教科書とするが、毎回補充のプリントを用意する。

参 考 書 等

全般に渡る概説的な参考書としては、シュルツ、ラベンダ共著『文化人類学Ⅰ、Ⅱ』古今書院、P. K. ボック『文化人類学1～4』講談社学術文庫がある。どちらも情報量が多くすすめる。後者は考え方が特徴があり良い。トピックごとの参考文献はプリントで紹介する。

そ の 他

できるだけVTRを使って講義をしたい。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
文化人類学 (4) 〔諸民族とコスモロジー〕	か じ 明 加 治 明	全 学 科 短 国・短 英	4

講義のねらい

人類は地球上の殆んどあらゆる地域に居住し、経済活動を初め種々の活動に従事し、生活を営んでいる。その際、重要なことは人類が世界の各地に集団（民族・国家等）を形成し、各個人はその集団の中で協力しあい、生活を送ってきたことである。この講義ではそのような人類の諸集団とくに諸民族の社会を中心に人類の生活を文化人類学の立場から考察する。そして本講義の副題のコスモロジー（宇宙論）に示されるように諸民族の宗教生活とか世界観に重点が置かれている。

そこで本講義が拠って立つ学問的な立場すなわち文化人類学について説明してみたい。文化人類学は人類の文化を研究する学問であり、その際の文化とは学問・芸術のような高いレベルのものばかりでなく、いわば人類の生活様式を意味し、具体的には衣食住の仕方、経済・社会・宗教など多方面にわたる制度・慣習や道徳・人生観・超自然観・宗教的行為などを指している。文化人類学はまた文明民族よりも未開民族（無文学民族）の文化の探究に力を入れ、現地調査に基づきながら研究を進めてきたが、このことがこの学問の重要な特色の1つとなっている。ただし今日では未開民族から文明民族へとその研究領域を拡げつつあることにも注目せねばならない。

講義の内容・授業スケジュール

講義内容の項目は以下の順となる。

- 1) 文化人類学とは何か
- 2) 文化の定義
- 3) 人種と民族
- 4) 経済生活
- 5) 社会組織（婚姻・家族・親族・地域集団）
- 6) 宗教と呪術
- 7) 宗教の諸形態
- 8) 儀礼
- 9) 神話
- 10) 共同体とコスモロジー

等である。

履修上の留意点

講義には毎回出席し文化人類学の考え方などを理解し慣れていくことが大切である。

成績評価の方法

出席を重視し、出席点、レポート（夏休みに課す）、試験の成績をもとに評価する。

教科書

教科書は用いない。講義はプリントを配布して進めていく。

参考書等

参考書については講義の中で指示したい。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
文化人類学 (5), (6) 〔諸民族とコスモロジー〕	むら たけ けい 村 武 慶	全 学 科 短 国・短 英	4

講義のねらい

文化あるいは社会を、コスモロジー（宇宙論）との関連で、全体的にとらえる。
従来コスモロジーの研究は、儀礼・神話などを個々に分析する傾向にあったが、コスモロジーとは、家族・親族・共同体なども含めて、文化あるいは社会の全体と深くかかわっていることを理解してもらいたい。そのために、諸民族のいくつかの事例をあげて説明していきたい。

講義の内容・
授業スケジュール

I 文化のとらえ方

- ① 文化を比較することの意味
19C 進化論者の文化比較論
- ② 20C 現代文化人類学の文化のとらえ方
 - ・B. マリノフスキー 機能主義
 - ・A. R. ラドクリフ=ブラウン 社会構造との関連
 - ・C. レヴィ=ストロース 解釈学的構造論
 - ・E. リーチ 文化の中における分類体系

II 民族（文化）とコスモロジーの諸相

- ① 家族や婚姻とからんだコスモロジー
母方交叉イトコ婚とコスモロジーについて、トバ=バタック族やブルム族など。
- ② 地域的的双分組織にもとづくコスモロジー
- ③ 山と海のコスモロジー
- ④ 魚と布のコスモロジー
- ⑤ 死のコスモロジー

III アフリカにおけるコスモロジー

IV 沖縄文化の事例

履修上の留意点

毎回出席をとることはしないが、教科書通りに進む授業とは違うので授業に出席することが必要。ビデオ・スライドも使用したい。試験は期末試験の他に、授業中に小テストの型で問題を出す。

参 考 書 等

『宗教人類学』佐々木宏幹・村武精一編，新曜社，2,266円
『文化人類学』佐々木・村武編，有斐閣Sシリーズ，1,545円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
文化人類学 (7) 〔社会変化と価値観〕	お 小 川 とし 順 が わ と し ゆ き 川 順 敬	全 学 科 短 国 ・ 短 英	4

講義のねらい

文化人類学とは様々な民族の社会や文化を対象とし、人間のもっている「文化」をトータルに考察しようとする学問です。人類に多様な文化を対象とする文化人類学の方法の特徴は比較研究にあります。単に文化の違いを明らかにしようとするだけではありません。比較を通してその差異と共通性について考え、それらの作業を通じて文化とは何か、人間とは何かについて考えようとしているのです。

この講義では、私たちにとっては一見奇妙に思えてしまう異文化の慣行のなかにある考え方を探りたいと考えています。そしてまた同時に、日頃私たちが何気なく行っている生活慣行をふりかえり、異文化と比較しながら、その意味を考え直してみたいと思います。ふだんは気付かない私たちの文化の形が、異なる文化の調査者の目を通して現れてくるのではないのでしょうか。すなわち、この2つの目的は比較という作業を通してこそ可能となるものなのです。

なお、この講義は専門課程の前段として行なうものではありません。したがって、文化人類学の専門性の強い講義ではありません。あくまで文化人類学の基本的な考え方について受講のみなさんに理解を深めてもらうことを第1の目的としています。

講義の内容・授業スケジュール

文化人類学の研究対象領域は広範にひろがり、研究方法も多岐にわたっています。1年間の講義でそのすべてに触れることは不可能です。そこで、この講義では「社会変化と価値観」というテーマにそって文化人類学の基本的な考え方、研究方法等を解説することにしたいと思います。

文化人類学は、異文化社会を調査の対象としてきましたが、これまでも「異文化社会」というのは非西欧世界の伝統社会を意味していました。それらの社会は15、16世紀の大航海時代以降「発見」された「異なる文化をもつ社会」であり、その時以降はげしい近代化、社会変化・文化変化の波に洗われてきました。すなわち、「植民地主義」や「開発」によって絶え間なくこれらの社会は変化し続けているのです。

文化人類学は「西欧文化」との接触によって変容しつつある社会を調査し続けてきたといえます。伝統的政治組織の変容や解体、近代の科学技術や、新たな経済システム導入、新しい宗教、新たな価値観の変化が伝統社会にもたらした変化はどのようなものだったのでしょうか。

この講義では、文化人類学が取り上げてきた様々なテーマを、社会変化、変容という角度から紹介していきたいと思います。伝統的な社会組織、親族組織、経済システムと近代化がもたらした社会変化、キリスト教など外来宗教がもたらした伝統社会の価値観の変容、そして人類学者自身がこれらの問題をどの様に認識し、問題としてきたのかについて考えてみたいと思います。

前期の講義では文化人類学の一般的な概説と、後期の授業に必要な基本的な概念を解説します。後期は具体的な事例を通して「社会変化と価値観」について考えていきたいと思っています。

なお教科書は下記のものを使用します。しかし、最近は様々な工夫をした教科書や、文庫等の安価な文化人類学関係の出版物も出されていますので、何冊か紹介したいと思います。

成績評価の方法

年に1回のレポート提出（夏期休暇明け）と、年度末の筆記試験により評価します。年度末の試験は必須条件です。レポートは受講者の自由意志とします。成績評価の具体的な方法、年度末試験の方針、レポートの内容・形式、出席その他に関しては最初の授業で詳しく説明します。

教科書

祖父江孝男著『文化人類学入門』 中公新書560番 800円

参考書等

講義の内容に直接関連する参考書は適宜紹介します。

その他

年に2、3回は講義の内容に関連するビデオを見たいと思います。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
文化人類学 (8), (9) 〔社会変化と価値観〕	うち やま あき こ 内 山 明 子	全 学 科 短国・短英	4

講義のねらい

文化人類学は、どんな異質に見える文化であっても、できるかぎり偏見をもたずに理解しようとする努力の中で発展してきました。自分の文化がもつ尺度を無批判に持ち出すことを慎みながら、相手の文化と自分の文化との比較を繰り返していく。そうすることで、相手の文化への理解が深まるばかりでなく、自分の文化に対してもそれまでとは違った視点から眺められるようになっていくのです。もっとも文化人類学は、西洋の文化の中で生まれ育ったものであり、その当初から、西洋化された側に立つ者たちが主体となり、それ以外の人々を調査し理解する、という構図をもっていました。しかし、西洋化の波が世界中に生き渡った今日では、その影響を受けない社会など存在せず、社会は大きく変動しています。本講義では、具体的な例をあげながら文化人類学が変化の問題にどう取り組んでいるかを紹介します。

講義の内容・
授業スケジュール

I. 文化人類学の基本的な考え方を紹介したあと、社会、文化を安定したものと想定して行われる構造・機能分析に触れる II. 変化のプロセス、人々の歴史認識、文献資料や歴史学との関連について触れる III. 非西洋社会が西洋社会に取り込まれる中で起きた変化（千年王国運動など）を紹介し、また民族と国家の問題に言及する。

成績評価の方法

終講期に行う筆記試験の成績を中心に、レポートなどを加味する予定。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
法学・憲法 (1) 〔法と社会生活〕	は せ が わ ひ で よ 長谷川 日出世	全 学 科 短国・短英	4

講義のねらい

我々は、好むと好まざるとにかかわらず、法と密接なかわりのある生活を強いられている。しかしながら多くの場合、我々はこの事実を知らず、何等かの法的問題が発生した時に初めて、これに気付く。

本講義では、まず、社会生活を営む上で不可欠な、社会規範としての法の生成およびその性質についての分析をおこなう。そして、次に、そこで得られた法概念を基礎に、国家の基本法である憲法と我々のかかわり合いを検討する。

講義の内容・
授業スケジュール

前期では、法を学ぶために必要な基礎的知識の習得を目指す。具体的には法と道徳の関係、法と強制、法の体系性、国家と法、実定法上の原則等。

後期は、日本国憲法を具体的に検討する。特に、日本国憲法の基本原理の成り立ち、基本的人権の保障規定等についての検討。

成績評価の方法

定期試験によるものとする。

教 科 書

特になし

参 考 書 等

「ポケット六法」 有斐閣

科目名	担当者名	配当学科	単位
法学・憲法 (2), (3) 〔法と社会生活〕	わ ち けい い 和 知 憲 一	全 学 科 短国・短英	4

講義のねらい

なぜ教養として法を学ぶべきなのか？それは、我々が日常社会生活を送る上でまさに必要不可欠の存在であるからだ。しかし、日頃それを認識することがなければ、さまざまな法的問題に直面して初めて法が存在を認識し、慌てふためくことになってしまう。例えば、街頭セールスにつかまって、高額な英会話の教材を買わされたり、2年契約で入居したはずのアパートを半年で追い出されそうになったりと、苦い経験を持つ学生も多いのである。その場になって慌てることの無いよう、この授業を通して法とは何か、法によってどう我々の生活は守られているのかを理解してほしい。

講義の内容・授業スケジュール

前期は「法の目的」・「法の分類」・「法の解釈」・「法と裁判」などを中心に、後期は「財産と法」・「犯罪と法」・「家族生活と法」などを中心に、教科書の項目（章）ごとに2～3週間単位で講義を進める。

履修上の留意点

毎時限、具体的な事例を挙げて講義をする。その際、理解を深め全員が授業に参加していることを実感してもらうために、何度も質問をし、それに答えてもらう時間を作る。従って、単に教場にいると言うだけでは、出席したとは認めないし、一緒に授業を作っていくと言う真剣な態度の無い者は受講を認めない。

成績評価の方法

出席は、重視する。原則として、欠席は認めない。ただし、全回出席したから単位が与えられると言うことはない。成績は、期末に行なう試験によって評価する。

教科書

小林弘人・松村格編著『法学・憲法』（八千代出版）・『ポケット六法』（有斐閣）

参考書等

授業の中で紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
法学・憲法 (4) 〔法と社会生活〕	けい とく ひろ とう 鶏 徳 啓 登	全 学 科 短国・短英	4

講義のねらい

よく「社会あるところ法あり」といわれる。その社会にある法とは何かを研究するのが法学であり、法の根本的理念・法の目的などを研究する。また、憲法は、国家の基本法として他の法令の根幹をなすもので非常に重要な法である。そして、憲法制定後50年経過した現代に至り、国内的・国内的に社会情勢の変化に伴う新しい問題が生じてきている。

本講義は、これら諸問題を法的に把握し、結論を出せるようになることをねらいとする。

講義の内容・授業スケジュール

法学の講義は、次の内容を中心として行う。

i 社会生活と法 ii 法の意義・効力 iii 法規範と他の社会規範との差異
iv 法の分類と解釈の方法 v 市民法の概論 vi 刑事法の概論 vii 法と裁判
憲法の講義は、次の内容を中心として行う。

i 憲法の意義 ii 憲法の種類 iii 明治憲法の原則と特質 iv 現憲法の原則
v 基本的人権の主体 vi 基本的人権の分類 vii 各種基本的人権の内容
viii 国会の仕組とその作用 ix 行政機関の仕組とその作用 x 裁判所の仕組とその作用

成績評価の方法

成績評価は出席状況と試験による。

教科書

小林弘人・松村 格編著『法学・憲法』 八千代出版株式会社 3,500円
小六法 出版社・定価各種

参考書等

教場にて説明致します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
法学・憲法 (5), (6) 〔法と権利〕	わ ち けい いち 和 知 恵 一	全 学 科 短 国 ・ 短 英	4

講義のねらい

なぜ教養として法を学ぶべきなのか？それは、我々が日常社会生活を送る上でまさに必要不可欠の存在であるからだ。しかし、日頃それを認識することがなければ、さまざまな法的問題に直面して初めて法の存在を認識し、慌てふためくことになってしまう。例えば、街頭セールスにつかまって、高額な英会話の教材を買わされたり、2年契約で入居したはずのアパートを半年で追い出されそうになったりと、苦い経験を持つ学生も多いのである。その場になって慌てることの無いよう、この授業を通して法とは何か、法によってどう我々の生活は守られているのかを理解してほしい。

講義の内容・
授業スケジュール

前期は「法の目的」・「法の分類」・「法の解釈」・「法と裁判」などを中心に、後期は「財産と法」・「犯罪と法」・「家族生活と法」などを中心に、教科書の項目（章）ごとに2～3週間単位で講義を進める。

履修上の留意点

毎時限、具体的な事例を挙げて講義をする。その際、理解を深め全員が授業に参加していることを実感してもらうために、何度も質問をし、それに答えてもらう時間を作る。従って、単に教場にいると言うだけでは、出席したとは認めないし、一緒に授業を作っていくと言う真剣な態度の無い者は受講を認めない。

成績評価の方法

出席は、重視する。原則として、欠席は認めない。ただし、全回出席したから単位が与えられると言うことはない。成績は、期末に行なう試験によって評価する。

教 科 書

小林弘人・松村格編著『法学・憲法』（八千代出版）・『ポケット六法』（有斐閣）

参 考 書 等

授業の中で紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
法学・憲法 (7), (11) 〔法と権利〕	いげ の たか はる 茂 野 隆 晴	全 学 科 短国・短英	4

講義のねらい

“法と権利”を学び、「法」というものを知ることによって、我々は社会生活をする上で、どのような目的を達成することが出来るのであろうか。それは大要、次の3点に帰着するのではなからうか。

i 『抽象的な概念構成をする力』を身につけること
我々が社会生活を送るに当たって、様々な社会現象がそこに生じることになるが、そうした現象のなかで、どれが法的に意味をもつものであるか。それを抽出して、しかも法的価値判断にてらして、「有効」が「無効」か、或いは、「適法」か「違法」かを判断するには、「抽象的な概念構成をする力」を是非とも必要とするのである。法を学ぶことによって、それが得られるのである。

ii 自分自身の見解をもつこと
我々の社会には、種々の考えをもつ人々が存在する。例えば、「死刑廃止」ということについて意見を訊ねれば、それを是認する意見と、否認する意見とに分かれることは、明らかである。人間の人生観・世界観というのが、人によって異なる以上、それは当然のことであり、止むを得ないことである。そうした社会であるから、事物の是非を判断するに際しては、客観的な証拠を裏づけとして処理することが必要である。即ち、法を学ぶことによって、事物を正確に把握し、客観的な裏づけをつかんで、判断する態度を身につけなければならないのである。日本人は、ややもすれば、多数の意見に附和雷同する傾向が強いが、自分自身の見解をもつことによって、正しい判断を下すことが出来るようになるのである。

iii 『妥当性をもった考え』を確立すること
法は本来、いかなる時でも、いかなる場所でも正しいものでなければならない筈である。それがそれが「正しい法」といえるからである。従って、法を学んだ以上、その判断は、「正義」に立脚するものでなければならない。本人の利害による自分勝手な判断や、恣意的な行動は、厳に慎まなければならない。あくまでも「正義」に合致した「妥当性をもった考え」を身につけるように、努めなければならないのである。

講義の内容・授業スケジュール

- 〔第1回〕◎「法と権利」を学ぶに当たって
本講を学ぶ際に最も肝要なことは、「法」というものが、いかなるものであり、また、いかなる特徴をもつものであるか、その本質をつかむことにあろうと思う。このことは、先ず最初に、しっかりとつかんでもらいたいところである。
- 〔第2回〕◎法と社会生活
社会そのものが維持されるためには、社会内部の秩序維持がなされなければならないことはいうまでもない。秩序が乱れ、個人がその生命などを自分で守らなければならないとするならば、その社会自体も危うい。従って、社会が成立するための要件の第一は、秩序維持である。そのためには、秩序を乱した者に対しては、死刑を含む制裁（現行法のもとでは）を科す必要が生じる。それは、当然のことながら、強制的に行わなければならない。
- 〔第3・第4回〕◎法と他の社会規範
社会の支配組織が確立するにつれ、社会規範は分化し、独自の領域を形成するようになった。即ち、あるものは、単なる流行に終わり、あるものは、儀礼や、風習、習俗、習慣といわれるものとなり、あるいは道徳や宗教として一領域を形成するようになり、こうしたもののなかから、やがて、法として宣言されるものが出来たのである。
- 〔第5・第6回〕◎法の種類
法は社会生活が多岐となるにつれ、その内容も次第に複雑化し、その数も多くなったことから、さまざまな基準によって、法の分類がなされるのである。
- 〔第7・第8回〕◎法源（法の淵源）
法源とは、裁判官が裁判をするに当てる基準として用いられる法規範といえる。裁判所の恣意のままに裁判がなされないためにも客観的な基準となるべき法規範が必要である。
- 〔第9回～第13回〕◎法の生成
我国における法の発達を観る。「上古法」、「中古法」、「中世法」、「近世法」、「近代法」、「現代法」の6期に分ち、各期の特徴を講述する。
- 〔第14回〕◎法と裁判①（裁判所の種類と仕組み）
- 〔第15回〕◎法と裁判②（裁判官・検察官・弁護士及び調停制度）
- 〔第16回〕◎国家
- 〔第17・第18回〕◎憲法①（日本国憲法の成立他）
- 〔第19・第20回〕◎憲法②（基本的人権の保障）
- 〔第21・第22回〕◎憲法③（「国会」）
- 〔第23・第24回〕◎憲法④（「内閣」と「裁判所」）
- 〔第25・第26回〕◎民法①家族法のⅠ（親族法）
- 〔第27・第28回〕◎民法②家族法のⅡ（相続法）

成績評価の方法

遅刻・退席・私語等、平常の学習姿勢も勘案し、試験の成績に出席度を加味する。

教科書

大久保・茂野・櫻井共著『現代法学』（高文堂出版社）¥2,980
大久保・茂野共編『日本法制史史料集』（芦書房）未定、それに小型の六法全書を揃えるように。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
法学・憲法 (12) 〔法と権利〕	みつ だ まき よし 光 田 督 良	全 学 科 短国・短英	4

講義のねらい

本講座は、「法学・憲法」と二つの標題を持ちますが、全体としては、「法と人権」というテーマのもとに講義をすすめます。

人権を保障している憲法も「法」の一つです。まず、「法とは何か」ということを検討します。そのためには、できるだけ多くの「法現象」を見聞することが必要です。それは、これらについての個別分野の専門科目が多く存在する事からも理解できます。しかし「法学」の講義が、それぞれの個別分野を概観するような内容であれば、中途半端な内容となってしまいます。したがって、講義では、これら個別分野の科目に共通する、法の一般的な、基礎的な考え方について検討します。

次に、憲法の内容に入ります。「憲法」の講義の目的は、日本国憲法の内容を、主として憲法解釈学の立場から理解することにあります。憲法の講座では、本来、日本国憲法全体を対象として検討しなければなりません。講義では、本講のテーマおよび時間的制約から、特に人権を中心に検討します。具体的には、人権の内容、限界、制限といった点が主たる内容となります。もっとも、その際、国会、内閣、裁判所などの統治（政治）機構についても、人権との関連において、人権をよりよく確保するための制度という観点から、必要に応じて、採り上げます。

「法の一般的な、基礎的な考え方」、「人権の内容、限界、制限」の検討というと、どうしても抽象的で、難解であると考えられがちです。しかし、抽象的な検討に終始すれば、十分な理解もできませんし、また学修する意欲、興味を損なうこととなります。そこで、講義では、できるだけ、判例など実際に起きた具体的事柄に例を求め、分かりやすく説明するつもりです。

また、人権をめぐる法現象は社会現象の一つですので、現実の社会において現在生じている事柄についても、「今」の法を考えるという意味において、関連性、必要性に応じて採り上げるつもりです。

講義の内容・授業スケジュール

講義は、具体的には以下のようなスケジュールで行います。

序 法学・憲法を学ぶに当って

I 法とは何か

- 1 法とは何か — 法の定義
- 2 法と道徳（関係の歴史・区別の基準）
- 3 法の構造
- 4 法における強制（主体・方法・意味）
- 5 法の目的（正義・秩序）
- 6 法の効力
- 7 法の適用
- 8 法の解釈

II 憲法における人権

- 1 日本国憲法の基本原則
- 2 基本的人権の視角
- 3 包括的人権
- 4 法の下の平等
- 5 内心の自由
- 6 信教の自由と政教分離
- 7 表現の自由
- 8 経済的自由
- 9 身体的自由
- 10 社会権
- 11 立法と国会
- 12 行政と内閣
- 13 裁判と司法

履修上の留意点

講義では、「検討する」という姿勢を重視します。したがって、受講者も、講義を聞き、板書を写し、それを覚えるということではなく、常に「考える」という態度で望んでほしく思います。そのためには、少なくとも、教科書の講義該当部分を読んでおくことが必要です。

成績評価の方法

成績は、学年末に行う試験を中心に評価します。受講者数にもよりますが、出席をとった場合、それを平常点として評価することもあります。

教科書

I の分野については、有沢知子・光田督良・山本悦夫著『法と社会生活』尚学社 2,060円
II の分野については、古野豊秋編『スタンダード憲法 テキスト版』尚学社 1,000円
なお、資格試験を目指す人は、古野豊秋編『スタンダード憲法』尚学社 2,884円がよいでしょう。

参考書等

六法（用途に応じた種類等については開講時に紹介します）。参考書等は講義の進行に応じその都度紹介します。

その他

主として講義の形式ですすめます。

科目名	担当者名	配当学科	単位
法学・憲法 (8) 〔法と国家〕	新田 浩司	全学科 短国・短英	4

講義のねらい

日本国憲法（以下「現行憲法」と略称）が制定されて本年をもって50年を迎える。敗戦による占領下において制定されたという経緯等、当初よりもさまざまな問題を孕んでの制度であった。自衛隊をめぐる国論を二分する論議が続きながらも、我が国は、日米安保条約というアメリカの傘の下で、高度経済成長をおう歌してきたのであるが、その歪みが社会の隅々に露呈している。たとえば、政治腐敗、企業の談合、公務員の汚職、イジメ問題、カルト集団による犯罪、あるいは凶悪犯罪の増加、環境問題等々。法は、社会のルールであり、憲法は政府と我々国民の関係という国家生活の基本的ルールを決めたものであるが、法、そして憲法がこれらの問題の解決となりうるのだろうか。このような問題の発生においては、法による解決に加え、我々国民が持つ習俗、習慣、あるいは道徳をふくめた、その国の文化も多に影響するものであるといえる。

現行憲法に、我が国の国民がそして文化が制約されてしまっていることは大いに指摘されているところである。このことの妥当性、あるいは、戦前の軍国主義を否定するあまり我が国の文化までも現行憲法は破壊しては来なかったか。還元すれば、我が国の国がらに、現行憲法は相応しいか等検証すべき点が多い。これは、我々日本国民がより幸福に生きるために不可欠な作業である。

現実には発生する様々な憲法上の問題、たとえば、湾岸戦争を契機とした自衛隊の海外派兵問題、日米安保条約の見直し、夫婦別姓、外国人の選挙権さらには、プライバシーの権利、環境権など新しい人権に対して現行憲法は対応できるのか検討する必要がある。

講義においては、以上のような視点に立って、現実には発生する様々な問題にも言及しつつ講義を進める。

教科書

高乗正臣・佐伯宣親著『現代憲法学の論点—判例から学説へ—』成文堂 ¥2,500

科目名	担当者名	配当学科	単位
法学・憲法 (9) 〔法と国家〕	さいとう ひろし 齋藤 洋	全学科 短国・短英	4

講義のねらい

法学及び憲法の基礎的理解をめざす。

講義の内容・授業スケジュール

以下の順序で講義をする予定である。

- | | | |
|----------------------|------------------------|----------|
| 1 法学の基礎 - 1 - | 11 基本的人権 2 - 人権の適用範囲 - | 21 生存権 |
| 2 法学の基礎 - 2 - | 12 新しい人権 | 22 教育権 |
| 3 法学の基礎 - 3 - | 13 法の下での平等 | 23 国会・内閣 |
| 4 憲法学の学び方 | 14 信教の自由と政教分離 | 24 司法権 |
| 5 憲法と国家 | 15 表現の自由とその制約 | |
| 6 日本国憲法の制定過程 | 16 学問の自由 | |
| 7 日本国憲法の基本原理 | 17 経済的自由 | |
| 8 天皇 | 18 身体の自由 | |
| 9 戦争放棄 | 19 国務請求権 | |
| 10 基本的人権 1 - 人権の主体 - | 20 参政権 | |

履修上の留意点

授業は予習してあることを前提に進めるので、かなりハイペースになると思われる。予習をしないと授業についていけないことを肝に銘じてほしい。

成績評価の方法

成績は学年末の定期試験で決定する。

教科書

高乗正臣・佐伯親宣『現代憲法学の論点—判例から学説へ—』成文堂、約2,500円

参考書等

六法全書を常備していれば好ましい。

その他

ほとんど板書しないので、各自は自分で自分なりのノートを作成してほしい。

科目名	担当者名	配当学科	単位
法学・憲法 (10) 〔法と国家〕	お だ て る こ 織 田 晃 子	全 学 科 短 国 ・ 短 英	4

講義のねらい

憲法の法的性質は①授権規範性②制限規範性③最高法規性にあるが、ここではそのうち②の制限規範性と③の最高法規性について講義する。

講義の内容・
授業スケジュール

講義の進め方は実際に裁判所で争われた事件を中心に行う。まず上記②の制限規範性は基本的人権の尊重と並んで国家権力の法による制限である。国家権力を制限し人権の確保をはかるのである。日本国憲法は第3章に国民の権利及び義務を規定しているが、人権つまり基本的人権は外国人にも保障されているのか、法人についてはいかに、又私法関係における人権保障はいかにあるべきか等々まず基本的人権の享有主体に始まり、法の下での平等、自由権・社会権、人身の自由・裁判手続の保障、そして最後に最近の憲法判例の動き、特に新しい人権について判例を検討する。次に上記③の最高法規性は、憲法はその国の法秩序の中で最も高い地位にあり、憲法に反する法律・命令等は無効となるということである（憲98条）が、刑法、民法、行政法等各種法律が憲法との関係で争われた事件を取りあげて判例研究を行う。

履修上の留意点

授業にはコンパクトのもので十分であるが必ず六法を忘れないように持参し、講義中に条文ができたならそのつど面倒でも指摘された条文を見ること。

成績評価の方法

定期試験と出席日数による。

教科書

「法学・憲法」 八千代出版 ¥3,500

参考書等

「判例法学」 有斐閣ブックス ¥2,060

その他

授業方法は講義。時間の許す限り家族関係と法、財産関係と法についても講義をする予定である。

科目名	担当者名	配当学科	単位
政治学 (1) 〔社会生活とデモクラシー〕	こ ばやし まさ とし 小 林 正 敏	全 学 科 ・ 短 国 ・ 短 英 (政治除く)	4

講義のねらい

この講義は、政治学の領域のなかでも現代社会の市民生活とデモクラシーの関連性に焦点を合わせて論述しようとするものである。それだけに、従来の政治学入門を、より身近な存在にしていけることが、講義の基本的コンセプトであるといえる。

講義の内容・
授業スケジュール

いわゆる政治学入門に相当するものは包括的に取り上げていくが、とりわけ選挙制度、選挙の実態、政治意識などには力点をおいて講義を進めたい。

履修上の留意点

映像メディアばかりでなく、新聞、雑誌等の政治記事、評論、解説にも精力的に関心を寄せて欲しいものである。

成績評価の方法

学年末試験の成績を中心に評価する。

教科書

小林正敏他著『政治学講義』（成文堂）

参考書等

開講後に必要に応じて指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
政 治 学 (2) 〔政治システムと政治参加〕	かみ じょう すえ お夫 上 條 末 夫	全学科・短国・短英 (政治除く)	4

講義のねらい

民主政治は「参加の政治」といわれるように、国民が政治に参加することによって主権を行使し、その民意にもとづいて行う政治のことであり、「国民の、国民による、国民のための政治」がそれである。また、「国民の政治意識以下の政治も、国民の政治意識以上の政治もない」といわれるように、国民がどれだけ政治を理解し、どの程度の政治意識をもち、どのように政治参加するかが、民主政治の決め手となる。

本講義においては、政治システム（体系）とのかかわりにおいて、主権者として政治に参加するために必要最低限の政治的知識を体系的に理解せしめることをねらいとする。事例をあげながら、具体的かつ平易に解説する。

講義の内容・
授業スケジュール

1. 政治と社会生活（4月～5月）
 - ① 人間社会との必然的なかかわり合い
 - ② お祭りや政治のはじまり
 - ③ 国家が形成され存在する意味
 - ④ 権力のプラス面とマイナス面
2. 政治システムの仕組みと意味（6月）
 - ① 政治システム（体系）の成り立ち
 - ② 政治への入力（インプット）
 - ③ 政治システム内部での変換（チェンジ）
 - ④ 政治からの出力（アウトプット）
3. 民主政治の仕組みと原理（7月）
 - ① 国民主権の意味と憲法
 - ② 議会主義（間接政治）と代表の原理
 - ③ 民意の反映と多数決の原理
 - ④ 内閣制度と行政のあり方
4. 政治的要求と参加（9月～10月）
 - ① 選挙システムと投票の意義と効果
 - ② 政党システムと政党に対する支持
 - ③ 政治に対する関心と大衆運動のあり方
 - ④ 住民参加のあり方と地方自治
5. 大衆社会と民主主義（11月）
 - ① 大衆社会の成立と政治的平等化
 - ② 政治参加者の増大と政治的要求の多様化
 - ③ アウトプット機能の低下と政治的不満の増幅
 - ④ マス・メディアと政治とのかかわり
6. 政治改革と国民の責任（12月～1月）
 - ① 政治腐敗の原因と政治資金のあり方
 - ② 地方分権のあり方と地方自治体の改革
 - ③ 行政改革と国民へのサービス
 - ④ 福祉の充実と国民の負担

成績評価の方法

定期試験の成績と小テストおよび出席点によって評価する。

教 科 書

上條末夫他『改訂・政治学概論』（北樹出版, 3,600円）

参 考 書 等

加藤秀治郎・中村昭雄『スタンダード政治学』（芦書房, 2,700円）

そ の 他

講義のほか質疑応答によって理解を深める。

科目名	担当者名	配当学科	単位
政治学 (3) 〔国際社会と日本〕	うら 浦 た 田 さ 早 な 苗	全学科・短国・短英 (政治除く)	4

講義のねらい

政治的に混沌の1990年代後半，新たな世界秩序が模索されている現在，世界は大きな転換期にある。国内では政治改革，行政改革，税制改革が政治経済の緊急課題となり，これまでの政治のありかたに変更が求められている。また，日本の急激な経済成長は経済摩擦，円高，体制的維持費の分担要求といった国際問題を引き起こしている。本講義では，世界における日本の位置を，国際化・情報化された現代社会の枠組みの内で考察し，今後の日本の進むべき方向を明らかにすることに視点がおかれている。

講義の内容・授業スケジュール

講義の冒頭では各自の政治への関心を高めるため，その週に起こった国内外の時事問題を取り上げ解説し，現代社会が抱える問題について考える。前期の講義では，日本の政治事情の比較対象として1980年代から現在に至るアメリカ，イギリス，ドイツ，フランスそれぞれの国の政治を概観する。スタグフレーションとレーガノミクスからクリントンの政治，サッチャー政権以後の保守党優位のイギリス議会政治，ドイツ統一と冷戦の終結過程，EUの成立とフランス，シラクの政治外交等が中心テーマである。後期は，例えばマキシミン戦略，多数決のパラドックス，公共性の理論といった政治理論をまず概説し，続いて現代日本社会の問題点を考察する。取り上げるテーマは，日本農業の国際化，外国人労働者問題，環境政策等である。

成績評価の方法

年5～6回行う小テスト―簡単な政治論評―は出席点代わりとし，学年末試験に加算する。試験はあらかじめ指示した5問から2題出題する（ノートの持ち込みは不可）。

教科書

特に教科書は指定しないが，さらに詳細に研究を望む学生には適宜参考書を推薦する。参考書は必読でないが，常に新聞を「読む」ことが全員に義務づけられている。

科目名	担当者名	配当学科	単位
経済学 (1) 〔現代社会と市場経済〕	あさ 浅 た 田 とう いろ 統一 郎	全学科・短国・短英 (経営除く)	4

講義のねらい

本講義では，現代経済学において主流的な地位を占めるいわゆる現代経済学において主流的な地位を占める近代経済学の理論体系に基本的に依拠しながら，私達がその中で日々生活している現代の市場経済のしくみをわかり易く体系的に解説します。本講義は，それ自体，完結した現代経済学への入門になっていますが，経済学をもっと本格的に学びたい人にも役立つように工夫されています。具体的には，本講義は，「経済原論Ⅱ」，「価格理論」，「国民所得理論」，「財政政策」のような，経済学部で開講されているもっと上級レベルの科目への橋渡しとしても役に立ちますし，また，経済学を専攻しない学生諸君に教養として身につけておくべき経済学の必要最小限の知識を提供することを目的としています。特に，私達にとって身近な経済問題を解釈したり，その解決策を探るために経済学の考え方がいかに役立つか，ということをも具体例に基づいて明らかにします。とりあげるテーマについては，以下のようなものを考えています。

1. 経済学の課題
2. 市場経済のしくみ
3. 需要と供給の法則
4. 国民所得について
5. 財政・金融政策について
6. 景気の話
7. バブルとその崩壊について
8. 国際貿易と国際通貨体制の話

なお，教科書は，幸村千佳良『経済学事始』を使用しますが，経済学をもっと本格的に学びたい受講者のために，下記の「指定図書」を推薦しておきます。

成績評価の方法

成績は年2回（前期・後期）行う筆記試験によって評価します。

教科書

幸村千佳良著『経済学事始』（多賀出版）

参考書等

伊藤元重著『入門経済学』（日本評論社）
林 敏彦著『需要と供給の世界』（日本評論社）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
経 済 学 (2) 〔現代経済と人間〕	まつ い りゅう へい 松 井 柳 平	全学科・短国・短英 (経営除く)	4

講義のねらい

経済的な問題としては、例えば、東京の地価はなぜ欧米諸国の都市部と比べて高いのかとか、所得税減税の効果はいかほどかとか、またそもそも私たちが生活している資本主義社会そのものはどうして成り立ちえているのか等々、いろいろな問題が考えられる。私たちの生活は、そうした問題と直接間接になんらかの関わりをもっている。また「いま車を買うべきか否か」とか「週末をどう過ごすべきか」といった個人的な問題も経済問題である。こうした問題に対して、どのように考え答えていったらよいのであろうか。

もしも経済学という学問が、「偉大な経済学者」の域に達した人でなければ理解不可能なものなのであれば、経済問題の解決には「巨匠」の導きを必要とする。しかし（「巨匠」以外の）「凡人」の理解を超えた経済学など不要である。経済問題への自分自身の考えは、多くの人と相互理解可能なかたちで展開する必要がある。つまり、解釈の多義性を許す曖昧なかたちで自分の考えを展開することは避けねばならない。そうでなければ経済学は訓詁学へ転化する。では、経済問題に対する自分の考えを多くの人と相互理解可能なかたちで展開するにはどうすればよいか。それは、現実の経済を抽象したモデルを構築することである。モデルとは具体的な理論のことであるが、ちょうど自動車会社の技術者が、自動車のさまざまな特性を研究するためにそれぞれ異なったモデルを作るように、経済の問題を分析するために、言葉かあるいは数式を使って、経済のモデルをつくるのである。モデルは数学を用いて記述される場合が多いが、表現形式として数学を利用した方が操作性がよく、問題を明快に記述し無用な混乱を防止するのに有益である。数理的な構造をもつモデルを用いて経済問題を考察することによって、現代の経済学は、原理的にはだれでも理解しうる普遍的な科学と成りえた。経済学は、「凡人」の介入を許さない天上の垂訓であってはならないのである。

本講義では、経済学という科目を、学生諸君がこれから経済問題を自分自身で考察するにあたっての基本的な分析視点、分析方法を提供するものとして位置づけ、経済問題についての自分自身の考えを多くの人と相互理解可能なかたちで展開できる力を養うことを主たるねらいとする。

講義の内容・授業スケジュール

近代経済学の基礎理論を基本的な考え方に重点を置いて、平易に講義する。「近代経済学」とは日本独特の用語法であろうが、マルクス経済学と区別してそのように呼ばれているようである。しかし、マルクス経済学は一つの学派であるが、近代経済学は、種種雑多な理論の集合であり、その中で互いに批判しあったり、研究していく“場”なのであって、「近代経済学」という一つの学派が存在するわけではない。本講義では経済学を、アプローチの違いから、ミクロ経済学とマクロ経済学とに分け、ミクロ経済学から始め、マクロ経済学に移る。

ミクロとは微視的ということであり、ミクロ経済学は諸主体の行動の動機づけにさかのぼって、社会の合法則性を理解しようとする。社会に存在する資源は稀少であり、すべての人の欲望を無制限に満たすことはできない。当然、稀少な資源の利用を、だれに、どれだけ、許すべきか、といった資源配分の問題が発生する。資源配分メカニズムとしてはさまざまあるが、私たちが生活している市場経済における価格メカニズムが挙げられる。価格メカニズムは、その資源に対してもっとも高い価格を支払える人に優先的にその資源の利用を許すメカニズムである。本講義ではこの価格メカニズムという資源配分の機構に焦点を当てることになる。

マクロとは巨視的ということであり、マクロ経済学は経済諸主体の活動を例えば1国全体の規模で集計した国民所得などの集計量を用いて分析し、さまざまな集計量相互の関係を考察する。考え方の基本的な枠組みとして、市場のすみやかな調整に信頼をおく「新古典派」と、市場のさまざまな不完全性を重視する「ケインズ派（ケインジアン）」とがあり、両者の対比が主要な論題となる。

履修上の留意点

毎回、授業の最後に次回の講義内容の範囲を指定するので、事前に必ず予習をしてください。疑問点があれば授業後質問するなど積極的な姿勢が望まれる。

なお、本講義では微分等の数学は一切使わない。小学校レベルの四則演算と中学校レベルの1次方程式程度の理解のみを前提とする。

新カリキュラムのもとで、本講義の受講は、経済学部学生にも可能となった。経済原論Ⅱでは割愛したトピックスも本講義では扱うことになる。

成績評価の方法

期末試験で評価する。

教科書

開講時に指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
経 済 学 (3), (4) 〔現代経済理解へのガイド〕	お 小 の 野 と し 俊 お 夫	全学科・短国・短英 (経営除く)	4

講義のねらい

経済は現代社会の基本であり、経済学は現代経済を理解し、広く社会諸科学を学習し理解するためには必須の学問である。この講義では、現代経済社会の仕組みと運行の仕方を理解し、正しく分析し得る力を身につけるためには不可欠な理論の基本を、いわゆる近代経済学の立場から体系的に解説する。

講義の内容・
授業スケジュール

講義は次のように進められる。

1. 経済学発展史要説：経済学への入門をかねて
- マイクロ経済学
2. ミクロ的経済循環とマイクロ経済学
 3. 消費者行動の理論
 4. 企業行動の理論（企業の生産技術と生産費，完全競争下の企業行動，独占企業の行動）
 5. 完全競争経済と独占
 6. 不完全・独占的競争の理論
 7. 現代企業と市場の理論
- マクロ経済学
8. マクロ的経済循環とマクロ経済学
 9. 国民所得の諸概念
 10. ケインズ有効需要の原理と理論体系要説
 11. ケインズ経済学体系（消費・貯蓄関数，国民所得の決定と投資乗数の理論，投資決定の理論，利率決定の流動性選好理論，ケインズ理論体系とIS-LMモデル）
 12. 経済成長と景気変動
 14. 政府および外国貿易を考慮する一般的な分析

履修上の留意点

講義を理解するために経済に関する予備知識は必要としないが、学問はそもそも一つの体系であるから、常に出席して講義の順を追って理解して行かねばならない。

成績評価の方法

成績は学年末に行われる教場試験の結果によって評価する。

教 科 書

小野俊夫編著『現代経済学の基礎』（学文社）

科目名	担当者名	配当学科	単位
社会科学論 〔社会認識の思想〕	おお いし ゆう じ 大 石 雄 爾	全学科 短国・短英	4

講義のねらい

現代の社会は複雑に入り組んだ多くの問題をかかえています。最先端技術に支えられたME化の波が世界に波及する一方、アフリカ・アジアには部族間の対立による流血の惨事がくり返され、食料不足による餓死者もあとを絶ちません。地球環境の破壊は深刻さを増しています。また、「豊かな社会日本」には、長時間労働という現実があり、世界に例のない過労死現象まで生ずるに至っています。大国による核兵器の保有とたび重なる実験は、平和の推進にではなくその悪化に役立てられているようにも見えます。このような多岐にわたる諸問題はどのようにして生じたのでしょうか。人々はより豊かに、より自由に、より安全に生活できることを願っています。とすれば、社会科学には、これら難問の原因を探り出して、問題解決への展望をさし示すという重要な課題が課せられていることとなります。

社会科学はそれほど古い学問ではありません。大まかに見れば、それは17世紀におけるイギリスの資本主義経済＝商品経済の発展とともに芽ばえ、発展を始めることになりました。それには理由があります。1つには、資本主義経済そのものが一定の法則性を示すようになったこと、2つ目には、科学的な認識活動なしには社会関係の本質が見えにくくなってしまった、ということです。商品生産が発展してくると、人々が共同して社会を維持し再生産しているという社会の側面が見えにくくなるからです。

したがって、社会科学は、それが対象とする資本主義の経済関係、政治、法律、国家、思想などが発展するのに伴って発展していくことになりました。しかし、最も重要な課題は、資本主義的経済の一般原理を解明することにあつたのです。そして、資本主義の確立した19世紀のイギリスにおいて、カール・マルクスが資本主義的生産の運動法則を体系的に明らかにすることができました。

しかし、資本主義はそこにとどまることなく発展を続け、現代に至っています。その社会が複雑化すれば一般理論だけを振りかざしても解明できない諸現象が次々に発生してきます。それとともに、社会科学はこれらの現象を解明するための研究にも取り組んできたのです。現代世界が高度に発展した資本主義社会であるとすれば、われわれは、資本主義の一般理論とともに、その特殊で複雑な展開についても認識を広げていく必要があるでしょう。

この講義では、資本主義経済とその法・国家の認識という点に焦点をあてて、その科学的把握を前進させる上で重要な意味をもつことになった社会科学者の思想と理論をとり上げ、現代的な意味について考えてみることにします。講義のテーマは、次のようになります。

講義の内容・授業スケジュール

1. 社会科学とは何か
2. 社会の歴史的発展
3. 社会科学の生誕——ホッブスとロック
4. 資本主義経済の法則的把握——スミスとリスト
5. 資本主義の経済と国家——マルクスとウェーバー
6. 現代資本主義の捉え方——レーニン・ケインズ・ガルブレイス
7. 資本主義と民族
8. 現代日本の社会と法

なお、社会科学の現代的な意義を明らかにすることも大事なことと考えますので、現代社会のかかえるナマの問題については随時講義していく予定です。

成績評価の方法

前期にはレポートの提出を求めます。出題を6月上旬に行ない、7月中旬に提出して頂くこととなります。

後期は定期試験（記述）を実施します。成績はレポートと定期試験の合計点で評価する予定です。

参考書等

- 高嶋善哉『社会科学入門』（岩波新書）、550円
 平野喜一郎『社会科学の生誕』（大月書店）
 八木紀一郎『経済思想』（日経文庫）

科目名	担当者名	配当学科	単位
教育学 〔テス・エデュケーション〕	やなぎ ほり す が こ 柳 堀 素 雅 子	全 学 科 短 国 ・ 短 英	4

講義のねらい

現代社会においては人間の生や死の問題が見失われがちであり、個人が人の生や死に接触する機会も少ない。他方において脳死、臓器移植、安楽死、生殖技術などの、人間の生死と現代最先端の科学技術とが結びついた形で現われてきた新しい問題がクローズアップされてきている。これらの問題を扱うのがいわゆるバイオエシックス、生命倫理と呼ばれている学問分野である。バイオエシックス（生命倫理）は、哲学・倫理学・宗教学・人類学・法学などさまざまな分野の学問が、学際的に協力してできあがった新しい分野である。講義においては、現代のバイオエシックスの動向を踏まえながら人間の生と死について考察することがねらいである。

講義の内容・
授業スケジュール

最初にバイオエシックスの成立過程を踏まえたうえで、脳死・臓器移植の問題、安楽死・尊厳死・ホスピスの問題、生殖技術の問題など個々の具体的な問題を扱っていく。

履修上の留意点

日本においてはまだ新しい学問分野であるので、講師の一方的な講義だけではなく、学生の皆さんの意見も聞きたい。ディスカッションの時間もとりたいと思うので活発な議論を期待しています。

教科書

教科書は使いません。

参考書等

参考書はそのつど紹介します。

その他

講義と討論ですすめていきます。
ビデオを見て、ディスカッションをすることもあります。

科目名	担当者名	配当学科	単位
教育心理 〔大学生の心理－教育臨床心理学の立場から－〕	きた しま あゆ み 北 島 歩 美	全 学 科 短 国 ・ 短 英	4

講義のねらい

近年、青年期の長期化がとりあげられているが、大学時代は、社会に出るための最後の準備段階として重要であると言える。そこで臨床心理学の立場から、心のメカニズム、心理アセスメント、家族関係などを取りあげることで、自分自身を知る糸口を提示したいと考えている。また、心の病理などについても簡単に触れ、青年期特有の心理発達課題について検討する。カウンセリングなどの援助方法についても紹介する。

講義の内容・
授業スケジュール

1. 臨床心理学の諸理論
2. 発達の視点からみた青年期
3. 心理アセスメント（心理テスト）
4. 心理療法のプロセス

成績評価の方法

学年末試験

参考書等

ユーチン、「現代臨床心理学」 弘文堂

その他

講義中心であるが、受講人数によっては実習なども導入する。ビデオ等は適宜使用する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
社会学（前期）	はし づめ さとし 橋 爪 敏	短放 1 選	2

講義のねらい

この講義は、「社会学」についての基本的な知識の提供を目的とする。

講義の内容・
授業スケジュール

社会学は、その名称の示すように「社会」を理解し明らかにしようとする。しかし、ここで言う「社会」とは、私たちが遠く離れた抽象的存在ではなく、きわめて身近な日常的な事実である。社会学は、学校社会、病院社会、地域社会といった社会の諸問題を、常に具体的、現実的な人と人との関係問題として考察、理解しようとする。この講義は、こうした社会学独自の社会現象の見方、考え方、知識の基礎を提供する。

授業のスケジュールは、まず、社会学とは何かについての概略を述べ、その後で、人間と社会との関わりについて、出来るだけ具体的な例を挙げて論じていきたい。

成績評価の方法

成績の評価は、講義内容に関わる基本的な問題について、学期末におこなうペーパー・テストによって評価する。

教科書

安藤喜久雄編『人生の社会学』学文社

参考書等

高尾・橋爪編『社会学の基礎』犀書房
R.ニスベット『現代社会学入門1～4』講談社学術文庫

科目名	担当者名	配当学科	単位
法学（後期）	お だ て る こ 織 田 晃 子	短放 1 選	2

講義のねらい

①法とは何かに始まり、②家族関係と法、③財産関係と法について講義する。

講義の内容・
授業スケジュール

上記①の法とは何かは、法と道徳、法と正義、法の解釈と適用等について。②の家族関係と法は夫婦の法律問題、親子の法律問題、扶養と相続の関係について。③の財産関係と法は所有権の絶対性とその制限、権利概念の拡大と限界、契約自由の原則とその制限、権利侵害と損害賠償等について。後期のみであるから上記の予定すべてを終えることは不可能かもしれない。その際は受講生と相談の上講義の順序を決める。

履修上の留意点

授業にはコンパクトのもので十分であるが必ず六法を忘れないように持参し、講義中に条文がでてきたらそのつど面倒でも指摘された条文を見ること。

成績評価の方法

定期試験と出席日数による。

教科書

「判例・法学」有斐閣ブックス ¥2,060

参考書等

授業中に紹介する。

その他

授業方法は講義。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
心 理 学 (前 期)	いた っ ひろ み 板 津 裕 己	短 放 1 選	2

講義のねらい

心理学とは

心理学は、人間の諸行動について実証的に考えていくことで、「人間について」「自己について」を明らかにしていこうとする学問です。昨今マスコミなどで話題にされている心理学関連の情報は、実際に行われている心理学研究の一部、または、それを一般受けするように脚色されたものであるということをあらかじめ承知しておいてください。そして、ほかの学問と同様に、またそれ以上に、ただ知識を得るだけでなく、それを実際の生活に活かしてはじめて研究成果が活かされていく学問です。

講義の内容・ 授業スケジュール

授業は講義形式を中心とします（履修者数によっては形式を変更する場合があります）。

今日心理学非常に多くの領域にわたって研究されており、半期でその1とおりを述べることはできません。また、本講義の場合は、放射線学科学生のみを対象にしている科目ということもあり、まず心理学研究の概略について述べ、その後、心理学の主要研究領域のうちで専攻科目と関連性のありそうな、パーソナリティや臨床心理学領域の研究を紹介したり、実習をしていければと考えています。なお、講義内容や日程を記したプリントを開講第1週に配布します。

成績評価の方法

出席状況、年度末試験を総合して年度評価をおこないます。なお、配点比率は未定です。

教 科 書

教科書には、「心理学概説」（中村昭之編 八千代出版）を用いていきます。このほか、必要に応じてプリントを配布していきたいと思います。また、参考書については、その都度紹介していきます。

そ の 他

開講時第1週はオリエンテーションとし、講義日程や内容などの詳細を説明するとともに、不明な点について質問に応じます。履修を考えている学生は、第1週に必ず出席し（その際は、本講義内容を必ず携行のこと）、講義の趣旨や内容などについてよく理解した後、自らの主体的判断で履修するか否かを決定してください。そして、履修する際は、自らの判断で選んだことに責任を持つとともに、積極的に講義に参加してください。さらに、本講義や課題で考えたことがらを実生活に十分に活かしていくよう努力して行ってください。

教 養 教 育 科 目
自 然 分 野



教 養 教 育 科 目

自 然 分 野

生 物 学 (1), (2) [生態と進化]	(前期:長谷川 英 祐)	89
	(後期:清 水 善 和)	89
生 物 学 (3) [生物と環境]	(中 村 敏 枝)	89
地 球 科 学 (1) [地球の歴史と未来]	(前期:宇和川 正 人)	90
	(後期:松 野 正)	90
地 球 科 学 (2), (3), (4) [古環境の復元]	(中 島 義 一)	90
自 然 環 境 論 (1), (2) [自然と災害]	(前期:宇和川 正 人)	91
	(後期:安 富 六 郎)	91
自 然 環 境 論 (3), (4) [自然と災害]	(前期:宇和川 正 人)	92
	(後期:穴 瀬 真)	92
自 然 環 境 論 (10), (12) [自然と災害]	(前期:宇和川 正 人)	93
	(後期:清 水 善 和)	93
自 然 環 境 論 (5), (6), (7) [環境と保全]	(漆 原 和 子)	94
自 然 環 境 論 (8), (9) [環境と保全]	(安羅岡 一 男)	94
自 然 環 境 論 (11) [宇宙から見た地球環境]	(篠 原 正 雄)	95
自 然 誌 (1), (2) [現代の自然像]	(中島 義一・宇和川正人・漆原 和子・ 篠原 正雄・清水 善和・三好 重明)	96
数 学 (1) [無限と連続]	(三 好 重 明)	97
数 学 (2), (3) [図形とベクトル]	(福 原 賢 一)	97
情 報 数 学 [情報と論理]	(三 好 重 明)	98
物 理 学 (1), (2) [光と物質]	(篠 原 正 雄)	99
化 学 [衣食住の化学]	(斉 藤 佑 尚)	100
宇 宙 科 学 (1), (2) [星と銀河]	(篠 原 正 雄)	100
コンピュータ基礎 (1), (5) [コンピュータと情報]	(三 好 重 明)	101
コンピュータ基礎 (2), (3) [コンピュータと情報]	(竹 田 洋 一)	102
コンピュータ基礎 (4) [コンピュータと情報]	(佐久間 拓 也)	103
人 類 学 (1), (2) [人類の進化]	(江 藤 盛 治)	103
心 理 学 (1) [ヒューマン・ウォッチング]	(高 橋 良 博)	104
心 理 学 (2) [ヒューマン・ウォッチング]	(横 山 剛)	104
心 理 学 (3) [ヒューマン・ウォッチング]	(板 津 裕 己)	105
心 理 学 (4) [ヒューマン・ウォッチング]	(牧 野 晋)	106
心 理 学 (5), (7) [人間関係を考える]	(高 橋 良 博)	107
心 理 学 (6) [人間関係を考える]	(鈴 木 順 一)	107
心 理 学 (8) [人間関係を考える]	(板 津 裕 己)	108
心 理 学 (9) [心を科学する]	(高 橋 良 博)	109
心 理 学 (10) [心を科学する]	(軽 部 幸 浩)	109
心 理 学 (11) [心を科学する]	(板 津 裕 己)	110
心 理 学 (12) [心を科学する]	(中 丸 茂)	111
基礎物理学 (前期)	(清 水 忠 良)	112
基礎化学 (後期)	(田 島 隆)	113
計算機言語概論 (前期)	(杉 田 徹)	114
基礎数学 (前期)	(武 中 英 治)	114
基礎生物学 (後期)	(清 水 善 和)	115

科目名	担当者名	配当学科	単位
生物学 (1), (2) 〔生態と進化〕	[前期] <small>はせがわ えい</small> 長谷川 英 祐 [後期] <small>しみず よし</small> 清水 善 和	全学科 短国・短英	4

講義のねらい

前期は長谷川、後期は清水が担当し、それぞれの視点から「進化」と「生態」につき講義する。
〔前期〕生命がどのようにして始まり、またどのようにして私達ヒトが現われたのか。これは誰もが1度は不思議に思い、知りたくなる疑問の1つではないでしょうか。動植物や自然を扱った番組では、よく「進化」という言葉が登場します。また「進化」に関する本は一般書から専門書まで数多く出版されています。なにげなく使い、理解しているつもりになっている「進化」ですが、誤解が多いのも事実だと思います。この講義では、進化についてその基礎的な事柄を紹介いたします。以下は、講義のおおまかなプログラムです。

- | | |
|----------------|----------------------|
| 0) 細胞と遺伝子の基礎知識 | 1) 生命の起源と歴史 |
| 2) 進化とは | 3) 進化のメカニズム (色々な進化説) |
| 4) 分子進化 | 5) ヒトの進化 |

〔後期〕地球上の生物はすべて、約40億年前に誕生した始源生物に端を発し、その後連綿と続いた進化の産物である。どの生物も進化の遺産を負って存在しているわけであり、進化を抜きにして生物を理解することはできない。一方でこの地球上には現在1,000万種以上の生物が存在していると推定されている。肉眼では見えないバクテリアから体長20mを越すシロナガスクジラまでさまざまな形、大きさの生物が熱帯から極地、高山から深海まで地球上のあらゆる場所において独自の生活を築いている。この生物の多様性が生物を理解するもう一つのカギである。さらに、これらの生物は孤立して存在するのではなく、互いに密接な関係を保ちながら地球上にさまざまな生態系を形成している。本講義では生物の進化や生態の実際を体系的に捉えるとともに、生物の進化や多様性の維持に関するメカニズムについて解説する。

成績評価の方法

各担当者の講義毎に、テスト、レポート、出席を勘案して評価し、最終的に両担当者の採点を合計・平均して成績評価とする。

教科書

教科書は特に用いない。

参考書等

前期 1) 河田雅著作「はじめての進化論」講談社 540円
2) 長谷川政美著「DNAに刻まれたヒトの歴史」岩波書店 1,100円
後期 適宜紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
生物学 (3) 〔生物と環境〕	<small>なかむら とし</small> 中 村 敏 枝	全学科 短国・短英	4

講義のねらい

地球が誕生してから現在までを30センチの物差しであらわせば、人類の歴史は1ミリメートルにも満たない。その人類が、いま地球の支配者のようにふるまって、ほかの生物を圧倒している。実際、1,600年以降、1,000種以上の種が地球上から姿を消してしまった。「現在、動物500種、植物4,000種が絶滅の危機にある」と、95年11月国連環境計画は発表した。このような状態が続き、自然も失われていったとき、独り人類の繁栄は期待できるのだろうか。

間違いなく、地球は将来人類絶滅の瞬間を用意している。人類にそれを避ける手段はない。できることは、その瞬間をどれだけ先に送るかだけなのだ。人類が救わなければならないのは「病んだ地球」、「傷ついた地球」ではなく人類自身である。守らなくてはならないのは、人類の生存が可能な現在の地球環境である。現在の私たちの生活のありかたが、人類史の長さを決定する。将来の世代のために私達はどうすべきなのか一緒に考えましょう。

講義の内容・授業スケジュール

1. 生物の生活：生命の維持・植物の物質生産・動物の個体群・社会・行動
2. 生態系：物質の循環・エネルギーの流れ
3. 人間による環境破壊：オゾン層の破壊・地球温暖化・酸性雨・化学物質汚染など（これらのうちの幾つか）

その他

教科書は使わない。参考書はその都度紹介します。期末試験と平常点とで総合評価をします。意見発表の機会を設けるので、積極的に取り組む学生の参加を期待します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
地球科学 (1) 〔地球の歴史と未来〕	[前期] 宇和川 正 人 [後期] 松 野 正	全 学 科 短 国・短 英	4

講義のねらい

現在、私たちは地球の支配者として自負している。人類の能力が増え活動範囲が広がれば、考えなければならない環境問題は増大し、かつ、隣接する環境基質領域との総合的考察が必要となる。

地球科学は自然科学分野のなかで地球に関するすべてのものを研究対象としている。その究極の目的は水圏、大気圏を含めた地球の歴史と現状から地球およびそこに生息する生命の発展を理解し、その将来を予測するところにある。

この講義では、私たち人類を主軸にして、現在に至る地球自然システムの変遷をたどり、地球のあるべき将来像について考察する。あわせて、私たちの周囲（大気圏、水圏、岩石圏、生物圏）の保全に関する諸問題について解説する。

講義の内容・授業スケジュール

1. 水シリーズ：宇宙と水、地球と水、生命と水、利水と治水
2. 大気圏について：大気の変遷、大気圏の汚染
3. 岩石圏について：現代の地球観、開発による土地汚染
4. 生物圏について：地球生態系（有機系と無機系の依存システムの認識）、生物汚染
5. 地球白書（まとめ）

前期に1. 2. を、後期に3. 4. 5. を予定している。

履修上の留意点

ノート、高校で使った地図帳を用意すること。出来れば地球儀も。

成績評価の方法

テスト、レポートに出席を勘案して評価。

教科書

教科書は使わない。

参考書等

参考書はその都度紹介する。

その他

講義を主とし、まとめてスライド説明を入れる。

科目名	担当者名	配当学科	単位
地球科学 (2), (3), (4) 〔古環境の復元〕	なか じま ぎ いち 中 島 義 一	全 学 科 短 国・短 英	4

講義のねらい

ある時代の環境がどうだったというだけでなく、各時代各地方の人々がいかに環境を有効に活用し、災害のようなマイナスの面については対応していったかを検討する。従って人間の歴史より前の時代のことは対象外とする。地理と歴史と地学の接点ともいうべき内容になるので地理・歴史の好きな諸君の受講を希望する。いわゆる環境問題とは程遠い内容になることをあらかじめお断りしておく。

講義の内容・授業スケジュール

対象地域を国内に限り、各時代・各地域の主要な課題を取り上げて行く。

履修上の留意点

授業時に地図帳を持参してほしい。

成績評価の方法

レポート

教科書

使用しない。

参考書等

授業時に紹介する。

その他

本年度新設の科目で、私の勤務は本年度が最終。次年度は他の先生の担当になる。担当者がかわれば授業方針、講義内容が変わるのは当然である。本年度履習するか次年度にするかはその点も考慮して決めて下さい。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
自然環境論 (1), (2) 〔自然と災害〕	[前期] <small>うわがわ まさひと</small> 宇和川 正 人 [後期] <small>やすとみ ろくろう</small> 安 富 六 郎	全 学 科 短国・短英	4

講義のねらい

“無人島には水害はない。”洪水があったからといって必ず水害になるとは限らない，洪水があふれても放っておけばよいのである。しかし，災害に脆いデルタ・臨海地域への人口集中，産業進出によって，同じ自然力を受けても，昔とは比較にならないほど大きい災害が発生するようになった。とくに，日本列島は世界の災害国といわれ，各種の自然災害が頻発する。

最近の科学技術の進歩にもかかわらず自然災害は巨大化する傾向にある。加えて，大気・水質汚染害など新顔の災害が参入し“自然と人間の対応”について根本的な見直しが要求されている。

自然災害研究の究極の目的は，防災・減災・制御の満足な策定にある。災害は自然現象と社会条件とがからみ合って発生するものであるから，防災科学は自然科学分野と社会科学分野を体系化した総合的なアプローチを必要とする。

講義の内容・
授業スケジュール

1. 自然災害とは：災害の概念，典型的自然災害，災害誘因としての地象・気象・水象
2. 自然災害対策：非構造物的方法（予知，警報，避難）と構造物的方法（耐震設計，河川堤防，防潮護岸，防災・洪水調節ダム）
3. 自然災害の事例：台風・豪雨災害，地震・火山災害
4. 環境破壊からみた自然災害：地球生態系のしくみ，山の生態系（森林の価値），防災のための環境保全
5. 自然災害白書（まとめ）
前期に1. から3. までを，後期に4. と5. を予定している。

履修上の留意点

ノート，高校で使った地図帳を用意すること。出来れば地球儀も。

成績評価の方法

テスト，レポートに，出席を勘案して評価する。

教 科 書

教科書は使わない。

参 考 書 等

その都度紹介する。

そ の 他

講義は主とし，まとめて，スライド説明を入れる。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
自然環境論 (3), (4) 〔自然と災害〕	[前期] <small>うわがわ</small> 宇和川 <small>まさ</small> 正 <small>ひと</small> 人 [後期] <small>あな</small> 穴 <small>せ</small> 瀬 <small>まこと</small> 眞	全 学 科 短 国・短 英	4

講義のねらい

“無人島には水害はない。”洪水があったからといって必ず水害になるとは限らない、洪水があふれても放っておけばよいのである。しかし、災害に脆いデルタ・臨海地域への人口集中、産業進出によって、同じ自然力を受けても、昔とは比較にならないほど大きい災害が発生するようになった。とくに、日本列島は世界の災害国といわれ、各種の自然災害が頻発する。

最近の科学技術の進歩にもかかわらず自然災害は巨大化する傾向にある。加えて、大気・水質汚染害など新顔の災害が参入し“自然と人間の対応”について根本的な見直しが要求されている。

自然災害研究の究極の目的は、防災・減災・制御の満足な策定にある。災害は自然現象と社会条件とがからみ合って発生するものであるから、防災科学は自然科学分野と社会科学分野を体系化した総合的なアプローチを必要とする。

講義の内容・
授業スケジュール

1. 自然災害とは：災害の概念、典型的自然災害、災害誘因としての地象・気象・水象
 2. 自然災害対策：非構造物的方法（予知、警報、避難）と構造物的方法（耐震設計、河川堤防、防潮護岸、防災・洪水調節ダム）
 3. 自然災害の事例：台風・豪雨災害、地震・火山災害
 4. 環境破壊からみた自然災害：地球生態系のしくみ、山の生態系（森林の価値）、防災のための環境保全
 5. 自然災害白書（まとめ）
- 前期に1. から3. ままでを、後期に4. と5. を予定している。

履修上の留意点

ノート、高校で使った地図帳を用意すること。出来れば地球儀も。

成績評価の方法

テスト、レポートに、出席を勘案して評価する。

教 科 書

教科書は使わない。

参 考 書 等

その都度紹介する。

そ の 他

講義は主とし、まとめて、スライド説明を入れる。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
自然環境論 (10), (12) 〔自然と災害〕	[前期] <small>うわがわ</small> 宇和川 <small>まさ</small> 正 <small>ひと</small> 人 [後期] <small>しみず</small> 清水 <small>よし</small> 善 <small>かず</small> 和	全 学 科 短 国・短 英	4

講義のねらい

“無人島には水害はない。”洪水があったからといって必ず水害になるとは限らない、洪水があふれても放っておけばよいのである。しかし、災害に脆いデルタ・臨海地域への人口集中、産業進出によって、同じ自然力を受けても、昔とは比較にならないほど大きい災害が発生するようになった。とくに、日本列島は世界の災害国といわれ、各種の自然災害が頻発する。

最近の科学技術の進歩にもかかわらず自然災害は巨大化する傾向にある。加えて、大気・水質汚染害など新顔の災害が参入し“自然と人間の対応”について根本的な見直しが要求されている。

自然災害研究の究極の目的は、防災・減災・制御の満足な策定にある。災害は自然現象と社会条件とがからみ合って発生するものであるから、防災科学は自然科学分野と社会科学分野を体系化した総合的なアプローチを必要とする。

講義の内容・
授業スケジュール

1. 自然災害とは：災害の概念、典型的自然災害、災害誘因としての地象・気象・水象
 2. 自然災害対策：非構造物的方法（予知、警報、避難）と構造物的方法（耐震設計、河川堤防、防潮護岸、防災・洪水調節ダム）
 3. 自然災害の事例：台風・豪雨災害、地震・火山災害
 4. 環境破壊からみた自然災害：地球生態系のしくみ、山の生態系（森林の価値）、防災のための環境保全
 5. 自然災害白書（まとめ）
- 前期に1. から3. までを、後期に4. と5. を予定している。

履修上の留意点

ノート、高校で使った地図帳を用意すること。出来れば地球儀も。

成績評価の方法

テスト、レポートに、出席を勘案して評価する。

教科書

教科書は使わない。

参考書等

その都度紹介する。

その他

講義は主とし、まとめて、スライド説明を入れる。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
自然環境論 (5), (6), (7) 〔環境と保全〕	うるし ばら かず こ 漆 原 和 子	全 学 科 短国・短英	4

講義の内容・
授業スケジュール

前期：我々をとりまく気候・地形・地質・河川などの自然環境のメカニズムについて説明する。これらの自然環境と人間の関わりの歴史についてふれ、自然環境の受けた人間活動による不均衡について述べる。日本と中国、東南アジア、ヨーロッパを例に、人間活動による今日の環境問題を論じ、どのような保全をしているのか、どう保全すれば良いかを考える。

後期：次のような実例についてのべる。酸性雨と森林、地球温暖化と海水準変動、石灰石利用と採石跡地の緑化、観光洞と二酸化炭素、洪水と河川改修、基盤整備事業と土壌流失、熱帯農業と土壌管理。

成績評価の方法

期末テスト、レポートによって行う。

教 科 書

なし。

参 考 書 等

その都度指示する。

そ の 他

講義を原則とする。適宜スライド、プリントの配布をする。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
自然環境論 (8), (9) 〔環境と保全〕	やすら おか かず お 安 羅 岡 一 男	全 学 科 短国・短英	4

講義のねらい

「エコロジー（環境）にとっての脅威は異常に増殖を続けるヒトである」という観点から、本講義のテーマ「環境と保全」を考えたい。

地球に生物が生まれたのは36億年前といわれる。この36億年の地球の生物の歴史の中で種(species)の進化、盛衰が繰り返され、現在地球上に生存する生物種は推定約3千万から1億の多様性を誇っている。そのうち、名前(学名)がついているのは140万に過ぎないが、その中でただ1種、ヒト(Homo sapiens)だけは大きく発達した脳を使って異常な速度で増殖を続け、地球上のエコロジーを大きく変えつつあって、50年後には地球上に生きる生物種の4分の1を地球から絶滅させようとしている。

現在(1995年)の世界人口は57億5千万人である。国連の推計によれば、2015年の人口は71億人から78億人、2050年には79億人から119億人に達すると考えられている。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1) 大気汚染と健康(硫黄酸化物、窒素酸化物、一酸化炭素、光化学物質、受動喫煙など)
- 2) 水質汚濁と健康(微量化学汚染、温排水、下水および廃棄物など)
- 3) 土壌と健康(農業、肥料、除草剤など)
- 4) 人口問題(プライマリー・ヘルスケアへの母子保健・家族計画の包括の必要性)

成績評価の方法

定期試験(医師国家試験スタイル)を中心とする。

教 科 書

なし。

参 考 書 等

随時紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
自然環境論 (11) (宇宙から見た地球環境)	しの はら まさ お 篠 原 正 雄	全 学 科 短 国・短 英	4

講義のねらい

工場が周囲を汚染する公害問題から始まって、全地球的な環境問題が議論されるようになってきた。人類の活動が、物質循環においてもエネルギー循環においても惑星規模に達したことの当然の結果である。これらの論議のテーマである「地球環境」とはそもそもどんなものなのかを考えることがこの講義の目的である。

地球は太陽系の惑星の一つである。その自然環境は46億年の太陽系の歩みの結果形成されてきた。現在も、地球環境の支配的要因である太陽放射はもちろんのこと、太陽系内外の宇宙からのさまざまな影響の下にある。また、過去30年間の太陽系探査により多くの天体が調べられ、地球をこれらの天体と比較しながら研究できるようになってきた。

本講義では、地球の自然環境を、現代の天文学と惑星科学の成果を踏まえて、宇宙の視点から眺めてみる。

講義の内容・ 授業スケジュール

前期はまず、地球の運動（自転、公転）と地球環境の関わりについて学ぶ。次に地球環境の支配的な要因である太陽放射とその役割について学ぶ。金星などと比較しながら、地球温暖化の問題を考える。

後期は太陽放射の変動、太陽放射を受ける側（地球）の主役である大気と海の役割、生物と地球環境の相互作用（「ガイア」仮説など）、地球磁場と宇宙線、月、地球の過去と未来等の諸問題を取り上げる。

履修上の留意点

授業は講義中心であるが、必要に応じてスライドなどの映像を用いる。

成績評価の方法

学期末に行う筆記試験により、平常点を加味する。

教 科 書

教科書は用いない。

参 考 書 等

石弘之『地球環境報告』岩波新書
地上から見た地球環境についての優れた報告である。本講義で欠ける部分を補うものとしては是非読んでいただきたい。
その他、講義の中で紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
自然誌 (1), (2) 〔現代の自然像〕	なかしま ぎいち 中島 義一 うるしばら かずこ 漆原 和子 しみず よしかず 清水 善和	うわがわまさ と 宇和川正人 しのはら まさお 篠原 正雄 みやよし しげあき 三好 重明	全学科 短国・短英 4

講義のねらい

我々は何か、なぜここにいるのか？ 大宇宙の中の人類の存在の意味という本質的には哲学的な問いに20世紀の自然科学は一応の答えを見いだした。それによれば、人類とその自然環境とは、100億年を越える宇宙の進化の一環としての46億年に及ぶ地球と生命との共進化の産物である。一方で今世紀の科学技術の発展はこの貴重な自然環境を脅かすに至っている。もはや科学の未来は科学者だけの問題ではない。社会の一員たる一人一人が考えねばならないことである。

本講義では自然科学教室の専門を異にする6人の教員がそれぞれの専門分野の知識を持ち寄り、自然の階層構造と進化を軸に現代科学諸分野を総合して得られる自然像を語る。地球の未来に向けたいかなる道を目指すべきかを判断する足掛かりとして欲しい。

講義の内容・授業スケジュール

自然科学教室の専任教員6人により、1人4回程度の輪講形式で行われる。

前期は、自然法則を人間社会に応用する工学、人と自然の関わりを地図を通して考える地理学、そして実証的な自然科学諸分野と深く関わりながらも本質的に異なる手法に立つ数学と、さまざまな視点から自然の姿に迫っていく。

後期は、宇宙の始まりから地球と生命の進化を経て人類の時代に至る自然の歴史をたどり、私達の自然環境がどのようにして今日の姿をとるようになったかを学ぶ。

第1講 水（水圏と人類との関わり）

水は我々に身近な資源であり、生物にとり欠かすことができない。我々の生活や文明は水と深く関わっている。一方、水のもたらす災害は、河口臨界地帯への人工集中・産業進出によって巨大化しており、積極的な治水対策が求められている。いまいちど水を見直してみよう。

第2講 地図と自然

各時代の地図に自然関係事項がどのように表現されているか、それは当時の人が、(1)自然をどう認識していたか (2)自然についてどのような知識情報を求めていたか (3)当時の技術でどこまで可能だったか、を反映していると見ることができる。本講義ではそのような見地からの検討を行う。対象地域は国内、対象とする地図は近代の地形図、海図、前近代の各種古地図である。

第3講 もしも地球が球ならば（球面の数学と地球）

地球の表面は2次元球面と見なすことができると仮定して2つの定理を証明する。

定理1 地球表面全体をさわやかな風で包むことはできない。必ず無風の地点がある。

定理2 対心点の組で温度と気圧がそれぞれ等しいものが存在する。

第4講 宇宙の進化と地球の起源

「宇宙の起源」（宇宙の階層構造とその起源）、「星の進化」（生命の材料は星で生まれたこと）、「地球の誕生」（太陽形成の一環として）、「地球と太陽系」（誕生後の地球と太陽系）

第5講 生命の起源と進化

「生命の起源」（生物体を作る物質の内容と特徴、生命起源仮説）、「生物の進化と進化論」（生物進化35億年史、現代進化論）、「生物の多様性」（世界の生物、植生帯、動植物分布、分類学）、「大洋島の生物たち」（進化の実験場・大洋島における生物のユニークな姿の紹介）

第6講 第四紀、我等の時代の自然

古生代以降のプレートテクトニクスによる陸域の移動、第四紀～現代の日本列島の地殻変動と火山活動、第四紀の気候変化（氷期・間氷期）に伴う自然現象、それら自然現象の人間活動との対応、人間活動によりもたらされた現在の問題点。

成績評価の方法

成績は各担当者の講義毎に、最終日に小テストを行うかレポートを課す等の方法で評価し、最後に6人の採点を合計・平均して最終の成績評価とする。

教科書

教科書は用いない。

参考書等

参考書は各担当者がそれぞれ講義の中で適宜紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
数 学 (1) 〔無限と連続〕	み よし しげ あき 三 好 重 明	全 学 科 短国・短英	4

講義のねらい

数学はすべての科学に対してその理論の記述のための言語を提供し、それらの科学理論が成立する基盤となっている。したがって、すべての科学と呼ばれる学問や、それらの応用を学ぶために数学の知識と技法、考え方を身につけることは必須である。しかし数学は他の科学に道具として提供されるためにだけあるのではない。むしろ科学の諸分野、さらには人間の営みのあらゆる側面に於いて、数学的構造は至るところにあるのであって、数学はそこから生まれ育ってきたものである。そして、数学の世界と言うものが存在する。それはあらゆる人間の営みに根を張りながらしかしなお独立した一つの世界である。そこには動機があり、問題が現われ、探究、実験が行われ、多くの失敗の後、様々な技法が開発され解決へと向かう。そしてさらに一般化や、関連した問題が認識され、それが探究されていく。

講義の内容・授業スケジュール

この講義では、他の科学のための道具としての準備だけでなく、この様な数学の世界を少しでも示してみたいと思う。具体的にはいわゆる解析学と呼ばれるものの入門部分を解説することになる予定である。

履修上の留意点

予備知識は仮定しないが、講義は毎回必ず受け、出題された演習を必ず解いているものと仮定する。

成績評価の方法

評価は前期末（中間試験）と後期末（期末試験）の2回の筆記試験及び授業時間中に適宜行う演習によって行う。

教 科 書

教科書は講義の初めに指定する予定である。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
数 学 (2),(3) 〔図形とベクトル〕	ふく だ けん いち 福 田 賢 一	全 学 科 短国・短英	4

講義のねらい

自然科学をはじめ諸科学の数理的分析の基礎となる、図形・ベクトルの概念を学び、線形代数等の運用力を身につける事を目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

i) 空間とベクトル ii) 行列とその応用 iii) 行列式とその応用 iv) 方程式 v) 固有値問題とその応用 vi) 自然現象・社会現象の分析
特に、現実問題の分析に力点を置く。

履修上の留意点

予備知識は高校初年レベルで十分である。教科書は使用せず、プリントを配布するので出席を心懸ける事。

成績評価の方法

試験、レポート、出席等を総合的に評価する。

教 科 書

教科書は使用しない。プリントを配布する。

参 考 書 等

必要となり次第指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
情 報 数 学 〔 情 報 と 論 理 〕	み よ し し げ あ き 三 好 重 明	全 学 科 短 国 ・ 短 英	4

講義のねらい

この講座では、コンピュータ科学やコンピュータによる情報処理などについて学ぶ際の数学的部分の基礎についての解説を行う。

講義の内容・
授業スケジュール

したがって、基本的な数学の言葉の説明から始めて、論理代数と論理回数、アルゴリズムとその存在、計算量の問題、等を解説する予定である。

履修上の留意点

予備知識は仮定しないが、講義は毎回必ず受け、出題された演習を必ず解いているものと仮定する。

成績評価の方法

評価は前期末と後期末の2回の試験によって行う。

教 科 書

教科書は講義の初めに指定する予定である。

科目名	担当者名	配当学科	単位
物理学 (1), (2) 〔光と物質〕	しの はら まさ お 篠 原 正 雄	全学科 短国・短英	4

講義のねらい

天文学者は、天体から来る光を分析して、天体を作る物質の種類や温度、運動などを解明してきた。この方法（天体物理学）は物質と光の間の物理的研究に伴って発展してきた。今日では、人工衛星から地上を観測するリモートセンシングに応用されている。

本講では「光とは何か、光と物質の関係は？」という問いをめぐるさまざまな事柄を取り上げる。これは内容を「光学」に限定することを意味しない。光の本性については、17世紀には力学的に議論され、19世紀には光の電磁気学的な性格が明らかにされた。さらに、熱現象や、今世紀の物理学の二本柱である相対論、量子論とも深く結び付いている。「光とは何か」という問いに導かれて、結局は物理学の主要な諸分野を通過することになる。

講義の目的は、光について学ぶことを通して、物理的な目で世界を見るとはどういうことかを体験していただくことにある。数式は物理に不可欠な言葉であるが、大切なのは数式により表現された意味である。数式の使用は極力避け、やむをえず用いる場合はその意味をできるだけ平易に説明するので、数学的な予備知識は必要としない。

講義の内容・ 授業スケジュール

次のような項目について講義する。

波としての光

光線 波の反射と屈折と 三角測量 目とレンズ 望遠鏡と顕微鏡 見えない光
光は粒子か波なのか？ 蜃気楼 シャボン玉の膜の色

電磁波としての光

電気と磁気 さまざまな電磁石（原子、太陽、銀河系） 電磁波 光の速度と電気・磁気
電波で料理 電波望遠鏡 X線とガンマ線

色とは何か

色即ち波長？ 純色と混色（ニュートンの光学） 物理の辞書に三原色という語はない
茶色い光の波長はいくら？ 「耳は音波を聴くが、目は光波を見ない」

光子としての光

植物は緑の光を追い出す 人参さんが赤いわけ オゾンホール 原子の構造と光
太陽と星のスペクトル 光の波は粒子か？ 電子も波である 電子顕微鏡 放射能と放射線
原子力

物質の温度と光

日の丸はなぜ赤い？ 星の色 溶岩の色 人の光 地球はなぜ融けない？ 万物は光っている
「温室効果様ありがとう、だけど……」 光の温度・宇宙の温度

光と時空（相対性理論）

光の速度を超えられない 出口なし（光も出られぬブラックホール）

宇宙の膨張と人類（終章）

光の旅・太陽発地球經由宇宙の果て行き クーラーが暖める世界 温度差のない世界
生命：光の流れの渦 「光はみな宇宙に注ぐ、宇宙は満ちることなし。」

成績評価の方法

学期末の筆記試験および授業への参加点。中間試験を実施することもありうる。

教科書

用いない。

参考書等

ニュートン「光学」（岩波文庫）、金子隆芳「色彩の科学」（岩波新書）
ファン・ヒール、フェルツェル「光とは何か」（講談社ブルーバックス）
その他、講義の中で必要に応じて適宜紹介する。

その他

講義を中心とするが、理解を深めるために問題を考えてもらうこともある。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
化 学 〔衣食住の化学〕	さいとう 藤 佑 尚 さいとう 藤 佑 尚	全 学 科 短 国・短 英	4

講義のねらい

生活、特に食品、健康と関係の深い事柄を「化学」の言葉で理解する。

講義の内容・
授業スケジュール

まず化学の基礎的な事柄を理解できるように、原子、分子、イオン、周期律表などに関する基礎的な知識を整理して、易しく解説する。また酸、アルカリ、酸化、還元、中和などの一般的な科学用語の解説を易しく行う。さらに主に私たちの体の中で進行する化学反応を系統的に易しく解説する。その後、生体中の物質の化学的な性質を概説し、栄養、病気、健康等に関する事柄を化学の言葉で解説する。その他遺伝に関しても化学の立場から理解を深める。最近のバイオテクノロジーに関するトピックスに関しても適宜解説する予定である。

履修上の留意点

化学に対する基礎的な知識は特別に必要としないが、熱心で積極的に授業に参加する学生を歓迎する。授業は毎回毎回の積み重ねであるので、連続して授業に参加することが必要である。

成績評価の方法

出席点を重視する。さらに年間複数回特定な話題に関してレポートの提出を課し、それらを総合して評価する。

教 科 書

現在まだ未定である。

参 考 書 等

現在まだ未定である。

そ の 他

少人数であればゼミ形式の授業も可能と考えるが、それが不可能であれば講義形式の授業にせざるを得ない。その中で可能であれば、スライド、OHP、またビデオも利用できればと考えている。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
宇 宙 学 科 (1), (2) 〔星と銀河〕	しの ばら まさ お 雄 しの ばら まさ お 雄	全 学 科 短 国・短 英	4

講義のねらい

観測装置やコンピューターの発展に伴い、最近の宇宙の研究は急速に進展している。本講では、比較惑星論など地球物理学との境界領域も含めた広義の現代天文学の描く宇宙像を、研究の手法と併せて紹介する。

講義の目的は、宇宙がかつて考えられたような永遠不変、不生不滅の静かな広がりではなく、むしろ荒々しいまでにダイナミックに進化していく世界であることと、我々人類もまたそうした宇宙の歴史の所産であることを知っていただくことにある。

講義の内容・
授業スケジュール

前期は、恒星について講義する。

初めに、恒星の一つであるという視点から太陽について論じる。

次に、太陽を含む恒星について述べる。太陽の構造、エネルギー源、進化を論じ、さらに現代における太陽活動の変動とその地球環境への影響に関する研究を紹介する。さらに、恒星の研究の方法、恒星の分類、その結果わかってきた恒星の進化についてのべる。

後期は、銀河系および宇宙の起源と進化について講義する。時間と空間、エネルギーと物質がどのようにして生まれ、進化してきたか、現代の考え方を紹介する。銀河系の中で、星間物質から星々が生まれては、再び星間物質へと戻っていくことを繰り返す中で、物質が進化してきた。この過程の重要な現場である星生成領域の研究を紹介しつつ、前期に触れた太陽系の起源の問題を星生成領域の研究の視点から捉えなおす。宇宙における物質の化学進化と、地球における生命の起源との間の密接な関係が示されるであろう。

最後に、宇宙の歴史と我々人類の存在との深いかかわりについて述べ、宇宙生物学や地球外文明探査の可能性について考える。

成績評価の方法

学期末の筆記試験による。中間試験を実施することもありうる。平常点を加味する。

教 科 書

比田井昌英他『宇宙のデータブック』東海大学出版会 ¥1,545

そ の 他

講義を中心とするが、天体のスライドなどを多用する予定である。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
コンピュータ基礎 (1), (5) 〔コンピュータと情報〕	み よ し け あき 三 好 重 明	全学科・短国・短英 (経営除く)	4

講義のねらい

コンピュータとは何かという問いから始めて、実習を交えながらコンピュータというものについて概説していく。

講義の内容・
授業スケジュール

コンピュータとは何か、その構成要素は何か、シリコンや金属の塊に過ぎないコンピュータがどういう仕組みで計算できるのか、コンピュータの動作原理（アルゴリズム）はどういうものか、プログラム言語とは何であってどうして必要なのか、ハードウェアとソフトウェア及び応用ソフトウェアの役割、プログラム言語とプログラミング、論理代数と論理回路、情報の表現、等の簡単な解説の後に実際にコンピュータを操作する実習として簡単なプログラムを書き（プログラミング）、それをコンピュータに実行させることをやりたい。時間が許せばワープロや表計算などの応用ソフトウェアの実習も行えるかもしれない。プログラミングにはPASCALと、余裕があればCも使ってみたい。

履修上の留意点

予備知識は仮定しないが、講義は毎回必ず受け、出題された演習を必ず解いているものと仮定する。

成績評価の方法

評価は前期末（中間試験）と後期末（期末試験）の2回の筆記試験及び演習（授業時間中に適宜行う）によって行う。

教 科 書

教科書は講義の初めに指定する予定である。

そ の 他

実習のため計算機室で講義を行うが、計算機の数に限りがあるので受講者数を制限することもある。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
コンピュータ基礎 (2),(3) 〔コンピュータと情報〕	たけ だ よう いち 竹 田 洋 一	全学科・短国・短英 (経営除く)	4

講義のねらい

今日の情報化時代、コンピュータが我々の社会において果たす役割はきわめて重要なものとなっており、この技能を少しなりとも有することは特にこれからの若い世代にとってはほとんど不可欠であるとみなして良いであろう。本授業の目的とするところは未経験の初心者が将来社会人になっても（あるいは高学年になっての専門科目のコンピュータ使用の授業においても）いざという場において戸惑わないだけのコンピュータに関する最低限の基礎的知識と操作経験を身につけてもらうことにある。とはいえ堅苦しく考えるには及ばない。基本的な姿勢として、無味乾燥な学問的知識を強いて覚え込ませるといった形はなるべく取りたくはない。むしろ「習より慣れる」に重点を置いて、パーソナルコンピュータ(PC-9801FA)を実地に操作する演習を中心に据え、「コンピュータとはこんなことまで出来るんだ!」といった感動を一人一人が自分自身の感覚で味わってもらいたいものと願う次第である。

講義の内容・ 授業スケジュール

この基本的指針ののっとり、次のような実際上の目標を設定して授業を進めたいと思っている。前期は現在もっともポピュラーになったパソコンのオペレーティングシステムの代表格であるウィンドウズ(MS Windows 3.1)に親しみ、習熟することを目指したい。タイピングや日本語入力などのキーボードの操作、マウスを用いたウィンドウズの基本的なテクニックから初めて、ファイル並びにディレクトリの取り扱い、フロッピーディスクへのデータの読み書き、オンラインヘルプの利用法、などをまず身につける。しかる後に、ウィンドウズ付属の簡易ワープロと描画ソフトを用いて、データの交換と貼り付けの手法を学び、ウィンドウズの目玉的特色であるマルチタスクとOLE機能の威力を身を持って体験してほしい。そして最終的には自分が作成して印刷した絵入りの文書をレポートとして提出できるまでになることがねらいである。

後期は、表面的操作の段階にとどまらず、コンピュータの頭の中についても少しは知ってもらいたいと思うので計算機の歴史、原理、内部構成などについて講ずる。またBASICやPASCALなどの言語を用いた簡単なプログラミングを実地に体験し、アルゴリズムの基礎知識を習得してほしい。一方応用面の方では表計算ソフトや日本語ワープロソフトなどのより高度のアプリケーションソフトを使う経験をしてもらいたい。この後期の内容は「広く浅く」といった顔見せの感じになるのは避けがたいだろう。しかしこれによってコンピュータの持つ大きな可能性とその世界の広さを感じ取ってほしい。

履修上の留意点

先にも述べたように初心者を対象とするので特に予備知識の必要性はないが、折りに触れて課題や宿題を出すつもりであるので授業以外でもパソコンの使用が必ず必要となるであろう。そのためには情報教育センターの自習室のパソコン群があるので、センターにこの利用のための登録(登録料1,000円)をする事はほとんど必須であるものと理解されたい。

成績評価の方法

各人の成績は、一年を通しての出席の様子、課したレポートや課題の提出状況と出来具合、おのおの前期後期の終わりに行う計2回の試験の点数、などに基づき総合的に判断して決定する。

教 科 書

本年の授業では決まった教科書は特に用いない。しかし必要に応じて授業の際にプリントを配布する予定である。

参 考 書 等

一方各人の興味、レベルに応じて自分に合った参考書を購入することは積極的に勧めたい。これについては開講後適宜紹介する。

そ の 他

授業は、ひと月のうち1回は講義室での講義、残りの3回(ないしは4回)はパソコン室での実習と解説、という割合で進めたい。なお、実習室のパソコンは計36台であり、1台につき3人が限度であるため、受講者数は約80名が上限である。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
コンピュータ基礎 (4) 〔コンピュータと情報〕	さくま たく や 佐久間 拓 也	全学科・短国・短英 (経営除く)	4

講義の内容・
授業スケジュール

まずコンピュータの基本的な仕組と操作法について学び、ワープロ等の一般的な利用を修得する。またコンピュータネットワークについて学び、それをを用いた情報の収集・発信方法について解説する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
人類学 (1), (2) 〔人類の進化〕	え とう もり はる 江 藤 盛 治	全 学 科 短 国 ・ 短 英	4

講義のねらい

生物としての人類について、自然人類学の視点から考察を加え、文化をもつ唯一の動物といわれている人類を総合的に理解することを目的とする。人類は生物に違いないのか、動物だと言い切って間違いはないのか。常識とされているはずのことについて検証を加えてみることから始まり、過去から現在に至る道程のなかから、動物としての人類の本質を探り、また人類の将来をみつめてみたい。

講義の内容・
授業スケジュール

前期は、まず人類学(自然人類学)とはどんな学問か、というオリエンテーションから始める。3本の柱をおく。『進化』『変異』『適応』である。中心となるのは『進化』であるが、『進化』は長いタイムスパンのなかでの形態的『変異』としてとらえられる。同時代における形態的『変異』としては、たとえば人種差があり、また同一人種内にみられる個体変異もあり、同一個人の成長・老化も生涯にみられる形態変異にはかならない。『適応』とは、人類が生きていくために、自然環境や自らの作り出した人為環境に対して、生物としてどのような仕組みで対処して来たのか、あるいは、しているかと言うことであり、つきつめて考えれば『進化』も『変異』も『適応』の所産にはかならない。要するに『進化』も『変異』も生物学的な「種」あるいは「個体」の環境に対する遺伝的『適応』と密接に関わっている。

自然界におけるヒト(Homo sapiens, 1758年 リンネの命名による)の位置、とくに動物界での分類上の位置づけを明らかにする。ヒトは、リンネによって脊椎動物(分類上の門、以下おなじ)、哺乳類(綱)、霊長類(目)、人類(ヒト科)のなかにヒト(属)(ホモ)、ヒト(種)(サピエンス)として分類されている。比較解剖学、比較発生学の見地から、哺乳類の動物としての多様性、霊長類の形態学的、生態学的特徴を解析する。

後期は、古生物学的知見に基づき人類の祖形の出現から始まる人類進化のあとをたどることになる。樹上生活の霊長類から、地上生活の人類への転換、二足歩行のはじまり、直立二足歩行の完成、身体の移動からの上肢の解放、石器その他の道具の発明、大脳半球の容積拡大、知的活動のはじまり、これらの結果として、他の動物たちにはない「文化」、すなわち「生物として生きていく営みを補うために、人類が編みだした生活技術」を身につけることになった。

『進化』は現在でも進行中と考えられている。現生の人類にみられる種内『変異』としての「人種」の形成の過程について考察を加え、さらに自然環境あるいは人為環境に対する人類の『適応』の行われかたについて最近の学説を紹介する。簡単な「人類遺伝学」入門に触れる事になる。

人類はまことに特殊な動物である。汝(なんじ)自身を知らなければならない。

履修上の留意点

予備知識はとくに必要としない。できれば中学校程度の生物学の知識を思い出しingてくれれば有り難い。なるべく平易に講義する。板書が多いから、できるだけ出席してほしい。原則として出欠席はとらない。各自の自覚にまつ。

成績評価の方法

後期末に、課題をだしてレポートを提出してもらう。毎年、課題に関係のない内容のレポートや、随筆が多く不合格になっているので注意してもらいたい。

参 考 書 等

教科書は使わない。参考書は、必要に応じて紹介する。とりあえず、下記のを挙げておく。
○埴原和郎：人類進化学入門・増補版、中公新書294、昭和63年4月、第19版、中央公論社。
○香原志勢：人類生物学入門、中公新書382、1975年1月、初版、中央公論社。

そ の 他

参考資料としてプリントを配布する。整理して保存すること。なお、数回ビデオ・テープによる解説、骨格標本による示説をする。欠席しては見られない。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
心 理 学 (1) (ヒューマン・ウォッチング)	たか はし よし ひる 高 橋 良 博	全 学 科 短 国・短 英	4

講義のねらい

基礎的な心理学の概論を学ぶ人を対象にして、日常的な問題に即しながら、その研究方法についての知識を深め、人間の心理学的理解に興味を持ってもらうことを目的に、講義を進めてゆく予定。

特に本講義では、心理学の概論的な講義の中に、人間の行動生物学的研究や、環境心理学的研究などのトピックスを織り込み、そのような視点を持った研究に焦点を合わせながら、講義をすすめる。

また、講義の中に、適宜、供覧実験や人格テストなども織り込み、心理学研究の雰囲気も伝えてゆきたい。

講義の内容・授業スケジュール

講義の予定としては、前期では、心理学の立場で人間をどう考え、どの様に捉えようとしているかを、中心に進める予定。後期は、前期の基礎的知識をふまえて、心理学の人間行動に関する各研究領域に焦点をあててゆく。

成績評価の方法

筆記試験・レポートなどの提出物、その他、平常点（講義への出席状況や、参加度）など総合して評価を行う。

教 科 書

鈴木 清 編『人間理解の科学—心理学への招待—』ナカニシヤ出版 ¥2,000

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
心 理 学 (2) (ヒューマン・ウォッチング)	よこ やま つよし 横 山 剛	全 学 科 短 国・短 英	4

講義のねらい

心理学の主要な領域・対象・方法について、基礎的な知識を解説し、人間の行動・心の動きの理解を深めるよう考えていく。

講義の内容・授業スケジュール

前半は、感覚知覚、学習、記憶、行動などを取り上げていく。そして後半は、感情とイメージ、パーソナリティ、成長と発達、心の健康などを取り上げていきたい（詳細な講義スケジュール・成績評価の方法については、最初の授業時に提示する）。

履修上の留意点

授業中、感じたこと・体験したことを書いてもらうことも予定しています。“素人考え”でよいですから、積極的に参加して下さい。コミットしていくことで、自分の心の動きを察知できるということもありますから。

教 科 書

中村昭之編『心理学概説』八千代出版

参 考 書 等

霜山徳爾編『臨床心理学』学術図書出版

そ の 他

他、プリント資料、VTR、スライドも使用する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
心 理 学 (3) (ヒューマン・ウォッチング)	いた っ っ っ 板 津 裕 己	全 学 科 短 国・短 英	4

講義のねらい

心理学は、人間の諸行動について実証的に考えていくことで、「人間について」「自己について」を明らかにしていこうとする学問です。昨今マスコミなどで話題にされている心理学関連の情報は、実際に行われている心理学研究の一部、または、それを一般受けするように脚色されたものであるということをあらかじめ承知しておいてください。そして、ほかの学問と同様に、またそれ以上に、ただ知識を得るだけでなく、それを実際の生活に活かしてはじめて研究成果が活かされていく学問です。

講義の内容・授業スケジュール

授業は講義形式を中心とします（履修者数によっては形式を変更する場合があります）。従来、心理学科目は学科毎に配当されていましたが、本年度からは全学科の学生が時間や内容を検討して選択できるようになりました。それとともに、サブタイトルがつけました。そこで、心理学に対する基本的姿勢に一貫性を持たせつつも、サブタイトルごとに講義内容をいくらか変えていきたいと考えています。

「ヒューマン・ウォッチング」は、一般に「人間（行動）観察」と解されています。しかしながら、本講義では、このような狭義の意味にとらわれず、広く人間の行動を理解していく上に参考になるような話をしていきたいと考えています。

そこで、まず、心理学とはどのようなものか、そのもっとも基礎的な理解をしてもらうために、

- I 心理学と科学について
- II 心理学の意図するもの
- III 心理学の主要研究領域とその概略

についてふれた後、

- IV パーソナリティ、臨床心理学、社会心理学などの各研究領域で人間の行動やその行動理解に関連することから

にふれ、最後に

- V 自己（行動）理解、他者（行動）理解に関する問題

を扱っていきます。

1年間の講義進行計画を記したプリントを4月第1週に配布します。

また、年度末試験のほかに、前期試験、および、テーマの区切りのいくつかで、講義時間内に小テストを実施します。

成績評価の方法

出席状況や課題レポートなどの平常点、前期試験、年度末試験、さらに講義時間内におこなう小テスト結果を総合して年度評価をおこないます。これらのうち、課題レポートは必須とし、評価の際に最重要視します。

課題レポート（前期後期各1回程度、必ずワードプロセッサにて作成のこと）については、講義時間中に指示し、また、その書式や提出期限などは厳守してもらいます。

教 科 書

教科書は開講時に指示します。また、教科書とは明示せずに講義内容を理解していく上で読んで欲しい文献という形で書籍などを例示する場合もあるでしょう。そのほか、必要に応じてプリントを配布します。また、参考書やレポート作成に際して必要な文献は、その都度紹介していきます。

そ の 他

4月第1週はオリエンテーションとし、講義内容や進行日程などの詳細を説明するとともに、不明な点について質問に応じます。履修を考えている学生は、第1週に必ず出席し（その際は、本講義内容（計画）を必ず携行のこと）、講義の趣旨や内容などについてよく理解した後、自らの主体的判断で履修するか否かを決定してください。そして、履修する際は、自らの判断で選んだことに責任を持ち、積極的に講義に参加してください。さらに、本講義や課題で考えたことがらを実生活に十分に活かしていくよう努めてください。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
心 理 学 (4) (ヒューマン・ウォッチング)	まきの野 <small>すずむ</small> 晋	全 学 科 短国・短英	4

講義のねらい

「心理学」という分野は、皆さんが大学に入学してから初めて目にする科目だと思います。心理学という名前から、この科目を履修することで人の心が読めるようになったり、超能力や超自然現象の話が聞けるのではないかと考える人もいるのではないのでしょうか。残念ながら、心理学はこれらの領域とは違います。では、どう違うのか。

心理学はヒトの、見る・聞く・感じる・考える・覚えるなどといった、日常生活におけるさまざまな行動について分析したり、あるいは、認識のメカニズムを探るといったアプローチを通じて、人間を理解しようとする学問だと言えます。

講義では、非常に広い範囲を持つ心理学の各領域について概観し、その基礎的知識を解説するとともに、心理学の「科学的アプローチ」とはどのようなものであるかを理解してもらいたいと考えています。

講義の内容・授業スケジュール

心理学の領域は多岐に渡っています。ですから、前期・後期を特に区別しません。基本的には通年で、心理学の代表的な各領域について、一領域あたり1～3回の講義時間でお話したいと思っています。

具体的には、初めて心理学に接する皆さんのために、まず「心理学とはなにか」といった項目から出発し、「史的概観」や「心理学の研究手法」などをまじえて講義します。次に、「外界を知るはたらき(感覚・知覚)」、「行動の変容(学習)」、「記憶の世界(記憶)」、「ひとを動かしコントロールするもの(動機づけ・感情と情動)」、「ひととしてのまとまり(パーソナリティ・知能)」、「発達」、「社会的行動(社会心理学)」、「認識のメカニズムを探る(認知)」といった各領域について解説します。主に従来研究成果をもとに、できるだけ私達の日常生活に関連づけながら解説していきたいと考えています。

また、講義の間に適宜、実際に皆さんに実験を行ってもらい(年間で3～4回程度を予定)、心理学の研究方法にはかせない、実験的研究も体験してもらおうと思っています。昨年度は、重さの弁別、系列位置学習、記憶の変容などについて実験を行いました。

履修上の留意点

基本的に毎回の出席はとらないつもりです。しかし、「学びたい人が学びにくる」という方針にするつもりですから、出席する以上は真剣に授業に参加してください。

成績評価の方法

原則として、学年末の筆記試験の成績によって評価します。しかし、実験への参加や実験レポートの提出、その他の提出物なども参考にして総合的に評価します。

教 科 書

- ・中村昭之編『心理学概説』八千代出版
授業中に図表などを参照してもらうことが多いので用意してください。
- ・その他、授業中に配布するプリント類

参 考 書 等

- ・斎藤 勇編『心理学ビギナーズトピックス100』誠信書房
初めて心理学を学ぶ人にも非常にわかりやすい入門書。日常生活の中でのさまざまな現象と心理学とがどう関係しているかを知るのによい。
- ・田島信元編『心理学キーワード』有斐閣双書
ある一つのテーマについて見開き完結型でわかりやすく解説した入門書。

そ の 他

一般的な講義のほか、ビデオやOHCなども活用したいと考えています。

科目名	担当者名	配当学科	単位
心理学 (5), (7) (人間関係を考える)	たか ばし よし ひる 高 橋 良 博	全 学 科 短 国・短 英	4

講義のねらい

心理学の基礎を学ぶ人を対象にして、その研究方法についての知識を深め、人間の心理学的理解に興味を持ってもらうことを目的に、講義を進めてゆく予定。

特に本講義では、心理学の概論的な講義の中に、人間関係にかかわるトピックスを織り込み、そのような視点を持った研究に焦点を合わせながら、講義をすすめる。

また、講義の中に、適宜、供覧実験や人格テストなどもとり上げ、心理学研究の雰囲気も伝えてゆきたい。

講義の内容・授業スケジュール

講義の予定としては、前期では、心理学の立場で人間をどう考え、どの様に捉えようとしているかを、中心に進める予定。後期は、前期の基礎的知識をふまえて、心理学立場からの人間関係に関わる各研究領域に焦点をあててゆく。

成績評価の方法

筆記試験・レポートなどの提出物、その他、平常点（講義への出席状況や、参加度）など総合して評価を行う。

教科書

鈴木 清 編『人間理解の科学—心理学への招待—』 ナカニシヤ出版 ￥2,000

科目名	担当者名	配当学科	単位
心理学 (6) (人間関係を考える)	すず き じゅん いち 鈴 木 順 一	全 学 科 短 国・短 英	4

講義のねらい

心理学全般の幅広い知識の概念学習は、個人的にできるので自宅でしていただきます。

授業では、主として性格心理学や臨床心理学を背景に、学生相互のコミュニケーションを深め、お互いを鏡として自己を見つめ、自分や他人の性格を理解し、自己成長するための体験学習をしていきます。

講義の内容・授業スケジュール

次のような内容を、講義と共にグループにより体験学習していきます。

- ① 学生相互のコミュニケーションを深め、心のふれあいを体験する。
- ② 自分や他人の性格を理解する。
- ③ 自分の性格形成史をふり返る。
- ④ 性格変容の理論と技法を学ぶ。
- ⑤ 心の悩みから立ち直る方法を学ぶ。
- ⑥ 心病む人の心理的成長を援助するかわり方を学ぶ。

履修上の留意点

講義形式ではなく、グループによる話しあい中心の体験学習のため強い主体的参加意欲が要求されます。最初の授業で述べる授業方針とルールをよく理解して、自己の責任において主体的に選択して下さい。

毎回出席をとり、出席が重視されますので欠席しがちな人は履修しないで下さい。

成績評価の方法

平常の小試験、小レポート、そして出席点等の平常点にて評価します。

教科書

中村昭之編『心理学概説』八千代出版、1,500円

川瀬正裕・松本真理子編『自分さがしの心理学』—自己理解ワークブック—、ナカニシヤ出版、1,600円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
心 理 学 (8) (人間関係を考える)	いた っ ひる 板 津 裕 己	全 学 科 短国・短英	4

講義のねらい

心理学は、人間の諸行動について実証的に考えていくことで、「人間について」「自己について」を明らかにしていこうとする学問です。昨今マスコミなどで話題にされている心理学関連の情報は、実際に行われている心理学研究の一部、または、それを一般受けするように脚色されたものであるということをあらかじめ承知しておいてください。そして、ほかの学問と同様に、またそれ以上に、ただ知識を得るだけでなく、それを実際の生活に活かしてはじめて研究成果が活かされていく学問です。

講義の内容・ 授業スケジュール

授業は講義形式を中心とします（履修者数によって形式を変更する場合があります）。従来、心理学科目は学科ごとに配当されていましたが、本年度からは全学科の学生が時間や内容を検討して選択できるようになりました。それとともに、サブタイトルがつけました。そこで、心理学に対する姿勢には一貫性を持たせつつも、サブタイトルごとに講義内容をいくらか変えていきたいと考えています。

「人間関係を考える」というサブタイトルが与えられている本講義では、人間関係を中心として心の問題についてふれていきます。

そこで、まず、心理学とはどのようなものか、そのもっとも基礎的な理解をしてもらうために、

- I 心理学と科学について
- II 心理学の意図するもの
- III 心理学の主要研究領域とその概要

についてふれた後、

IV パーソナリティ、臨床心理学、社会心理学領域などにおける人間関係に関連する基礎事項にふれ、最後に

V 人間関係に生じるような諸問題に対する心理学的な取り組みについて話を進めていきたいと考えています。

1年間の講義進行計画を記したプリントを4月第1週に配布します。

また、年度末試験のほかに、前期試験、および、テーマの区切りのいくつかで、講義時間内に小テストを実施します。

成績評価の方法

出席状況や課題レポートなどの平常点、前期試験、年度末試験、さらに講義時間内におこなう小テスト結果を総合して年度評価をおこないます。これらのうち、課題レポートは必須とし、評価の際に最重要視します。

課題レポート（前期後期各1回程度、必ずワードプロセッサにて作成のこと）については、講義時間中に指示し、また、その書式や提出期限などは厳守してもらいます。

教 科 書

教科書は開講時に指示します。また、教科書とは明示せずに講義内容を理解していく上で読んで欲しい文献という形で書籍などを例示する場合もあるでしょう。そのほか、必要に応じてプリントを配布します。また、参考書やレポート作成に際して必要な文献は、その都度紹介していきます。

そ の 他

4月第1週はオリエンテーションとし、講義内容や進行日程などの詳細を説明するとともに、不明な点について質問に応じます。履修を考えている学生は、第1週に必ず出席し（その際は、本講義内容（計画）を必ず携行のこと）、講義の趣旨や内容などについてよく理解した後、自らの主体的判断で履修するか否かを決定してください。そして、履修する際は、自らの判断で選んだことに責任を持ち、積極的に講義に参加してください。さらに、本講義や課題で考えたことがらを実生活に十分に活かしていくよう努めてください。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
心 理 学 (9) (心を科学する)	たか はし よし ひる 高 橋 良 博	全 学 科 短 国・短 英	4

講義のねらい

心理学を初めて学ぶ人を対象にして、なるべく日常的な問題に即しながら心理学の主な領域と、その研究方法についての知識を深め、人間の心理学的理解に興味を持ってもらうことを目的に、講義を進めてゆく予定です。
また、講義の中に、適宜、供覧実験や人格テストなども織り込み、心理学研究の雰囲気も伝えてゆきたい。

講義の内容・授業スケジュール

講義の予定としては、前期では、心理学の立場で人間をどう考え、どの様に捉えようとしているかを、中心に進める予定。具体的には、心理学の課題/感覚・知覚/学習などの基礎的知識などを取り上げる。後期は、前期の基礎的知識をふまえて、心理学の各領域に焦点をあててゆく。内容としては、記憶/思考/言語/動機づけ/情動/人格などの領域や治療心理学など臨床関係の説明にもふれたい。

成績評価の方法

筆記試験・レポートなどの提出物、その他、平常点（講義への出席状況や、参加度）などを総合して評価を行う。

教科書

鈴木 清 編『心理学－経験と行動の科学 第2版』 ナカニシヤ出版 ￥1,900

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
心 理 学 (10) (心を科学する)	か る へ ぶ き ひろ 軽 部 幸 浩	全 学 科 短 国・短 英	4

講義のねらい

「人の心が読める」ようになったり、「超能力や超自然現象の話」が聞けるのではないかと考える人もいるのではないのでしょうか。残念ながら、心理学はこれらの領域とは異なります。心理学は、ヒトの見る・聞く・感じる・考える・覚えるなどといった、日常生活における種々の行動について分析したり、あるいは、認識のメカニズムを探るといったアプローチを通じて、人間の心の活動を科学的に解明しようとする学問と言えます。
講義では、心理学とはどのような学問か、その研究方法・研究対象・および意義について講義し、さらにこれまでの研究成果をもとに具体的事例に即して紹介していきたい。

講義の内容・授業スケジュール

種々の心理学の領域について説明・紹介をおこなっていききたい。また、皆さんが興味を持った分野では多少、多くの時間を費やし講義をおこないたいと考えている。
また、講義の間に適宜、実際に簡単な実験をおこなってもらい（年間で2～3回程度を予定）、心理学の研究方法には欠かせない、実験的研究も体験してもらおうと思っている。

履修上の留意点

この授業を履修する以上は、真剣に授業に参加すること。

成績評価の方法

原則として、学年末の筆記試験の成績によって評価する。しかし、実験への参加や実験レポートの提出、その他の提出物なども参考にして総合的に評価する。

教科書

・中村昭之編『心理学概説』 八千代出版

参考書等

・授業中に配布するプリント類

その他

一般的な講義のほか、ビデオ等々も活用したいと考えている。また課題の提出はワープロで作成されたもののみとする。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
心理学 (11) (心を科学する)	いた っ ひろ み 板 津 裕 己	全 学 科 短 国・短 英	4

講義のねらい

心理学は、人間の諸行動について実証的に考えていくことで、「人間について」「自己について」を明らかにしていこうとする学問です。昨今マスコミなどで話題にされている心理学関連の情報は、実際に行われている心理学研究の一部、または、それを一般受けするように脚色されたものであるということをあらかじめ承知しておいてください。そして、ほかの学問と同様に、またそれ以上に、ただ知識を得るだけでなく、それを実際の生活に活かしてはじめて研究成果が活かされていく学問です。

講義の内容・授業スケジュール

授業は講義形式を中心とします（履修者数によっては形式を変更する場合があります）。従来、心理学科目は学科ごとに配当されていましたが、本年度からは全学科の学生が時間や内容を検討して選択できるようになりました。それとともに、サブタイトルがつけました。そこで、心理学に対する基本的姿勢には一貫性を持たせつつも、サブタイトルごとに講義内容を変えていきたいと考えています。

「心を科学する」というサブタイトルが与えられている本講義では、心理学研究の全般について扱っていきます。

内容的には、まず、

I 心理学と科学について

II 心理学の意図するもの

についてふれた後、

III 各研究領域で行われている研究の概略

（取り扱う領域は、4月第1週に配布するプリントに記します）

について、1ないし2時間単位にて話を進めていきたいと思えます。今日の心理学研究は、非常に多くの領域にわたっています。1年間という限られた時間ですが、できるだけ広い領域に関連する研究を紹介していこうと考えています。

講義内容と日程などを記したプリントを、4月第1週に配布します。

年度末試験のほかに、前期試験、および、テーマの区切りのいくつかで、講義時間内に小テストを実施します。

成績評価の方法

出席状況や課題レポートなどの平常点、前期試験、年度末試験、さらに講義時間内におこなう小テスト結果を総合して年度評価をおこないます。これらのうち、課題レポートは必須とし、評価の際に最重要視します。

課題レポート（前期後期各1回程度、必ずワードプロセッサにて作成のこと）については、講義時間中に指示し、また、その書式や提出期限などは厳守してもらいます。

教科書

「心理学概説」（中村昭之編 八千代出版）を教科書として使用します。そのほか、必要に応じてプリントを配布します。また、参考書やレポート作成に際して必要な文献は、その都度紹介していきます。

その他

4月第1週はオリエンテーションとし、講義内容や進行日程などの詳細を説明するとともに、不明な点について質問に応じます。履修を考えている学生は、第1週に必ず出席し（その際は、本講義内容（計画）を必ず携行のこと）、講義の趣旨や内容などについてよく理解した後、自らの主体的判断で履修するか否かを決定してください。そして、履修する際は、自らの判断で選んだことに責任を持ち、積極的に講義に参加してください。さらに、本講義や課題で考えたことから実生活に十分に活かしていくよう努めてください。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
心 理 学 (12) (心を科学する)	なか まる しげる 中 丸 茂	全 学 科 短 国・短 英	4

講義のねらい

「超能力は、存在する。」
「私は、あの人のことが好きだ。」
「このおまじないは、とっても効くんだ。」
「江ノ島に行ったカップルは別れる。」
日常生活の様々な場面で、耳にする会話。
日常生活の様々な場面で、目にする行動。
心理学は、人間の行動（言語を含む）を客観的に研究する学問である。心理学は、自然科学の一分野であり、行動の科学と定義され、行動の理解・説明・予測・制御を目的とする。本講義では、科学的観点より、日常場面での人間の行動を分析し、得られたデータの解釈の仕方といった科学的方法を身につけることを目的として行なわれる。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、科学論を中心に、心理学における中心的なパラダイムを紹介し、後期は、それらの日常生活への応用についての話を行なう。講義は、下記のスケジュールにしたがって進めていく予定である。

1. オリエンテーション 心理学って何？
2. 血液型と性格 本当に関係あるの？
3. 科学としての心理学 科学って何だ？
4. 行動分析学Ⅰ ラムちゃんの電撃
5. 行動分析学Ⅱ ハトによるデモンストレーション
6. 行動分析学Ⅲ 月にむかって吠える
7. 認知心理学Ⅰ マジカルナンバー7
8. 認知心理学Ⅱ カクテルパーティ効果
9. 認知心理学Ⅲ 悩めるオマタかおる
10. 心霊現象の心理学Ⅰ 幽霊は乗り物が好き
11. 心霊現象の心理学Ⅱ 狐つきのはなし
12. 人格心理学 社交的な人は朝が弱い
13. 社会心理学Ⅰ 行動と心は一致するのか？
14. 社会心理学Ⅱ 人を好きになるとき
15. 超能力の心理学 運命を科学すると？
16. 感情の心理学 感情と意志
17. 所信の心理学Ⅰ 知識は人類を駄目にする
18. 所信の心理学Ⅱ マインド・コントロール
19. 無意識の心理学 空飛ぶ円盤は存在するのか？
20. 宗教の心理学 神社の石段の数
21. スポーツ心理学Ⅰ コーチの方法
22. スポーツ心理学Ⅱ イメージでも疲労する？

履修上の留意点

講義は、プリントを中心に行ない、毎回、参考文献や図書の紹介を行なう。したがって、一冊の本を読めば本講義の内容を把握出来るというものはなく、毎回の知識の積み重ねが必要である。

成績評価の方法

筆記試験とレポートの提出が、それぞれ年2回あり、成績はそれらの絶対評価によって行なう。試験への参加—不参加、レポートの提出—未提出は、学生の自由であり、得点は累積データとして処理される。また、心理学の実験や調査に参加することも、心理学を学ぶために重要であり、得点として加算される。

教科書

なし

参考書等

SUPER STRING SR21編 1995『「あしたのジョー」心理学概論』中央公論社
中村昭之編 1982『心理学概説』八千代出版
ジルバドー、P. G. 1983『現代心理学Ⅰ～Ⅲ』サイエンス社
佐藤方哉 1976『行動理論への招待』大修館書店
ベネット、A. ら 1984『認知心理学への招待』サイエンス社 その他

その他

授業は、基本的に簡単な実験を体験してもらいながら行なっていく。また、ビデオを使用した授業を行なうこともあり、教場変更の情報には、特に注意すること。
学生と教員間のコミュニケーションは、講義についての意見（悪口大歓迎）・感想として、毎回受け付けるので、どんどん提出するように。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
基礎物理学（前期）	し みず ただ よし 清 水 忠 良	短 放 1 選	2

講義のねらい

この科目は新入生に向けて開講されるものである。最初に今まで学習した内容の復習をする。近代（20世紀）の物理学で特に著しく医療に係わりの深いX線の発見と原子構造（主に水素）についてを材料にする。とりあえずこれらの世界の言葉の渦の中に浸っていただく。特に、現象と実験の関係を実際の歴史から採用する。予備知識は特に必要はない。問題意識としては丸暗記した知識は役に立たないこと。とくに百科事典、その他のメディアの情報には、簡単な基礎概念に対しても様々な表現があり、言い回しがあること。常識的に信用があるとされている情報にもピンからキリまでであること。信頼できる情報を集めること。以上のことを身をもって体験することである。

講義の内容・授業スケジュール

先ず、数回にわたって、学生に担当を決めて、以下の質問事項について調べ、発表してもらう。このときには何を参考にしてもよい。特に重視するのは、結果がどのような手段を用いて結果が得られたかを知ること。もし、簡単に実現できそうであれば実験をする。

- X線の発見
- 電子の発見
- 水素スペクトルとは
- ネオンの色
- 光電効果とは
- 原子核とは
- 周期律表と原子構造
- 単位系
- 虹はなぜ円い？
- ネオンの色
- その他

履修上の留意点

特になし

成績評価の方法

1. レポート
 2. 実験
 3. 質疑応答
 4. 調査・検索
- の4項目について点数化して総得点

教科書

特になし

参考書等

特になし

その他

討論、ゼミ、講義形式を併用する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
基礎化学（後期）	た 田 じま 島 たかし 隆	短 放 1 選	2

講義のねらい

昨今の高校における理科の教科の履修方法では「理科Ⅰ」で化学の初歩を学んでも、「化学」を履修せず、他の科目で単位を取得してもよいので「化学」を履修してこない学生が多々いる。これ等の学生にとっては必修科目「放射化学序論」の講義の理解が困難な者が多い。「放射化学序論」では、出来る限り初歩的な、基礎レベルから講義をしているが「化学」を履修してきた学生との格差を埋めるには充分とは言えない。

そこで、化学の学力が充分ではない学生、「放射化学序論」を聞いても理解のできない学生のために、その補習として演習形式により行う。化学の基礎的事項から「放射化学序論」で講義した重要事項についてまでを、問題として作成し、それ等の問題を解くことにより、これら基礎事項、重要事項を理解せしめ、応用力が身につくようにする。

講義の内容・授業スケジュール

a) 原子、分子、モルに関する問題

化学で量的に物質や化学変化を扱う時に基本となるモルの概念とその扱い方が十分に理解されていないと、化学そのものが理解できない。従ってモルを自由に使いこなせるようにする。

b) 化学結合に関する問題

分子軌道法の考え方について高校では殆んど扱っていない。物質の構造や性質を考える上では、この分子軌道法を導入することで理解しやすくなる。また水素結合も重要でありこれ等化学結合を詳細に理解できるようにする。

c) 化学平衡、電離平衡、pHの計算問題

質量作用の法則は不可逆反応でなければ広く通用する法則であって、それを十分に理解した上で、pHの計算法に関する問題を解く。緩衝溶液の緩衝能の計算も行う。

d) 酸化還元反応の式の作り方

酸化数についてのルールについては記憶して、その酸化数を用いて酸化還元反応の量的関係を電子の移動数として理解させる。

e) 標準電極電位と電位差の計算問題

酸化還元反応を電池と考え、その電位差を計算して、反応の進行について考える。

f) 反応速度と活性化エネルギーの計算

化学反応を理解する上でも、放射性核種の壊変についても、また生体触媒である酵素反応についても広く応用する計算であるから、基礎的事項として理解すべき問題である。

g) 化学熱力学

熱力学の第1、第2法則、エンタルピー、エントロピー、自由エネルギーの概念とその数量的扱い方、計算法の理解をする。

h) 吸光度の計算

比色分析をする上で必要な吸光度の計算法とその応用に関する理解をする。

履修上の留意点

高校で「化学」を履修しなかった学生、履修をしても学力が不十分だと自覚している学生を対象としている。また「放射化学序論」の講義を充分理解できない学生も選択履修をして欲しい。昨今の状況では、以上選択履修して欲しい学生は敬遠して選択せずに、逆に化学を得意とする学生が単位取得を目的のために履修するケースが目立つ。これはこの演習の目的から外れるものであって、好ましい傾向とは云えない。

問題は事前に配布するので、各自で問題を解いて欲しい。学生に解答して貰い、その解説を各問題ごとに行う。しかし、問題を解いて来ない学生、化学の出来る学生の解答を単に写してくる学生が居ると、演習の目的は達成できない。正解を写して事終われりとするならば、理解不十分のまま終わってしまう。

あくまでも自力で解く努力をして欲しい。例え間違っているとしても、それなりの解答を出す努力をして、正解を示されたのを見たら、自分がどの点が間違っていたのか、どの点の理解に不足があったのか、わかる筈である。こうした努力が学力を養成すると考えて欲しい。

どうしても判らない場合には質問に来て欲しい。ただ質問に来る場合には全く判りません全部教えて欲しいという場合には答えないことにしている。ここまで解いたが、その先が判らない、またどうしてここで1/2にするのかと云った質問には、その解答を出すヒントを与えて考えて貰うことにしている。質問によっては、講義中に行った説明と同じ説明をすると納得する場合があるが、これは講義を聞いていなかったに相違ない。講義中には集中力を欠くことのないようにして欲しい。

成績評価の方法

(各時間小テストの平均+定期試験) × 1/2 = 成績

教科書

プリント

参考書等

「放射化学序論」の教科書

科目名	担当者名	配当学科	単位
計算機言語概論 (前期)	すき た とおる 杉 田 徹	短放1選	2

講義のねらい

診療放射線技師を目指す諸君にとって、コンピュータの基礎技術を習得することは必要不可欠な条件と見てよい。まずキーボード操作に慣れること、次に応用ソフトが自由に利用出来ること、そしてプログラミング技術を自からのものとしていることである。この授業では、初心者向けの言語であるBASIC高級言語を学び、それをを用いてプログラミングの実際を習得する。情報教育センターにおいて1人1台のコンピュータにより実習を行う。半期の授業である。

講義の内容・
授業スケジュール

1. コンピュータの構成
2. コンピュータ言語の基本理論
3. BASIC言語
4. パーソナルコンピュータによる実習

履修上の留意点

キーボード操作に慣れること。
アルゴリズム的発想の習得とその活用に心掛ける。

成績評価の方法

実習の結果と定期試験により成績評価を行う。

教科書

コンピュータ教育工学研究所編 ガイドブック『BASIC』（サイエンス社） ¥1,854

その他

選択科目であるが、2年次、3年次の専門科目に関係してゆくので出来るだけ受講してほしい。

科目名	担当者名	配当学科	単位
基礎数学 (前期)	たけ なか えい し 武 中 英 治	短放1選	2

講義のねらい

放射線にかかわる専門教育科目を学修する際に必要な数学の基礎を学ぶために、高校における数学の復習を兼ねて設置された科目である。履修方法では、教養教育科目の自然分野から2科目4単位を修得することが卒業要件となっている。基礎数学は選択科目の一つであるが、高校での数学をあまり理解していない場合は、卒業要件とは切り離しても履修することが望ましい。主として専門教育科目の履修に当たって必要と思われる項目を中心にして講義をすすめる。

講義の内容・
授業スケジュール

高校数学の復習と専門教育科目である応用数学に必要な基礎的事項を中心とした内容で、以下の順序にしたがって講義する。

1. 関数
2. 微分とその応用
3. 積分とその応用

履修上の留意点

講義内容に関連する演習問題をあらかじめ与えるので、各自で解くよう心掛けて欲しい。数学の方は授業を受けたり、教科書・参考書等を読むことだけで培われるのではなく、多くの問題を自ら解くことによって達成されることを理解して欲しい。

成績評価の方法

年度内に行う数回の試験（中間テスト、定期試験など）の結果によって評価する。

教科書

矢野・石原共著『科学技術者のための基礎数学』（裳華房）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
基 礎 生 物 学 (後 期)	し 清 み ず よ し か ず 水 善 和	短 放 1 選	2

講義のねらい

地球上の生物はすべて40億年前に誕生した始原生物に端を発し、その後の連綿と続く進化の過程を経た歴史的産物である。体の構造、生理、生態、種の分布などあらゆる面に過去の歴史が反映されている。一方、あらゆる生物の細胞には生命の根元物質である遺伝子（DNA）が存在し、この遺伝子のコントロールのもとですべての生命活動が営まれている。生命活動のどの部分をとってみても遺伝子と無関係なところはないといってよい。そこで、本講義では生物の進化と遺伝子を二つのキーワードにして、現代生物学の各分野の基礎的な内容を解説する。

講義の内容・ 授業スケジュール

取り上げるテーマは、生体を構成する物質、遺伝子とその発現の仕組み、発生と老化、免疫と生体防御、脳と情報伝達、性と生殖、遺伝と遺伝病、動物の行動、系統と分類、進化と進化論、地球生態系などを予定している。高校の生物学の知識は前提とせず、基本的な事項から初めて先端の理論の紹介まで順を追って進めていく。また、バイオテクノロジー、エイズ、生殖革命など関連する社会問題についても折りに触れて言及する。

成績評価の方法

テスト、レポートに出席を勘案して評価する。

教 科 書

特定の教科書はなし、参考書は適宜紹介する。

そ の 他

板書中心の講義形式。毎回、図表のプリントを配付する。

教 養 教 育 科 目
綜 合 分 野

教 養 教 育 科 目

総 合 分 野

総 合 Ⅲ (1)〔人権と社会問題〕	(ピアス, D. M.)	121
総 合 Ⅲ (2)〔欧米の教育と日本の教育〕	(岡 崎 寿一郎)	121
総 合 Ⅲ (3)〔中国の内と外 ―― 伝統・現代・華僑社会 ―― 〕		
	(前期:松 本 丁 俊)	122
	(後期:小 川 隆)	122
総 合 Ⅳ (1)〔ジェンダーと社会〕	(西 村 祐 子)	122
総 合 Ⅳ (2)〔アメリカの黒人問題〕	(中 尾 俊 光)	123
総 合 Ⅳ (3)〔ポスト・モダンの世界〕	(丸 小 哲 雄)	124
総 合 Ⅴ (1)〔イギリス文化探訪〕	(川 股 陽太郎)	125
総 合 Ⅴ (2)〔メルヘン ―― グリム童話を中心に ―― 〕		
	(栗 原 万 修)	126
総 合 Ⅴ (3)〔フランス文化探訪〕	(前期:小 玉 齊 夫)	127
	(後期:加 藤 節 子)	127

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
総 合 Ⅲ (1) 〔人権と社会問題〕	ピアス, D. M.	全学科・短国・短英 (文学部除く)	4

講義のねらい

This English course is more difficult than any other English course you can find; I want you to experience studying something in English instead of studying English. The purpose is to prepare you for international study; I want you to experience taking a university-level course in a foreign country before you leave Japan to study in a foreign country. The experience will save you a lot of time and money, and you will have more success studying abroad. This course will not teach everyday English conversation or simple reading, but you will have a lot of practice in how to carry on an intellectual conversation in English. The lectures, your compositions, and your conversation practice will be about worldwide social problems such as human rights, war, feminism, poverty, suicide, sex, money, racism, euthanasia, abortion, ecology, etc. Although this course is your best chance to master an advanced level of English, it is much more valuable than just that. The main purpose of my life to teach problems such as these, and once you deal with these topics in this course, you will never be able to stop thinking about them for the rest of your life.

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
総 合 Ⅲ (2) 〔欧米の教育と日本の教育〕	おか ざき とし いち ろう 岡 崎 寿 一 郎	全学科・短国・短英 (文学部除く)	4

講義のねらい

日本の大学は、1949年の改革で、アメリカの一般教育の理念を採用し、人文・社会・自然科学、体育・外国語のコースを専門課程の前に課してきました。それが、今回、新カリキュラムによって変更されます。しかし、アメリカの大学がいかなる変革を経て今日にいたったのか。また、その現状がどのようなものであるのかは、知られていないとおもわれます。大学数は、現在、アメリカでは、約3000校、日本は、約1000校（短大・四年制大学）です。ヨーロッパでは、まだ、日本の戦前における数（旧大学令・47校）とほぼ同数です。進学率も10%前後です。また、大学入試制度については、例えば、「各大学単位で独自の入学試験が行われている国は、OECD加盟国の中では日本とユーゴスラヴィアの二国だけであり、また選抜試験のみで大学生を入学させているのは、日本以外はポルトガルとトルコの二国のみである」（西尾幹二『ヨーロッパ像の転換』）とあります。欧米では、大学入学資格認定制度が採用されています。（例、イギリスの「A」レベル、ドイツのアビトゥア、フランスのバカロレア、アメリカのSAT等）講義では、文化相対論（異なる文化の風俗・習慣についての批判・評価と同時に、その風土・歴史的背景を十分に考慮する）の観点から、自国の教育（制度）を絶対視する価値観の単一化を避けつつ、国際化の時代に即応したグローバルな教育観の展望について論じます。

成績評価の方法

講義では、とくに教科書は指定せず、毎回、講義内容に則したプリントを配布します。成績評価については、平常評価としての出席（50%）、前期試験に代わる夏季レポート（25%）、後期試験（25%）による総合評価とします。

参 考 書 等

参考書・文献については適宜言及します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
総合Ⅲ (3) 〔中国の内と外-伝統・現代・華僑社会-〕	〔前期〕 松本 丁 俊 〔後期〕 小川 隆	全学科・短国・短英 (文学部除く)	4

講義のねらい

中国の人と社会を内と外から見てみようとする講義科目。内と外というのには、中国国内の状況と国外の華僑・華人社会の状況とを併せて見てみるという意味と、目に見える現象とそれを内から支える思考や情緒とを双方向的に考えるという意味とがこめられている。

講義の内容・授業スケジュール

前期は松本が華僑・華人社会について講義し、後期は小川が中国国内の状況について紹介する。いずれにおいても、現在進行しつつある最新の状況とともに、それに至るまでの歴史的・伝統的な経緯についても解説を試る。前期においては、移植史・人口の分布状況・組織と活動・文化教育・経済活動・社会生活などのテーマが講ぜられ、後期においては、現代史の概略・改革開放の過程と問題点・家族観の変容・食糧危機と人口危機・日中関係の概況・日中のコミュニケーションギャップ等々のテーマがとりあげられる予定。

履修上の留意点

講義は日本語の資料・文献を用いて行なわれるので、中国語を履修していなくても問題ない。ただ、何らかの形で中国語を学んでいれば、内容の理解はもっと深まるであろう。また中国・台湾・韓国などアジア各地の留学生諸君が参加され、それぞれの意見や経験を紹介して下さることを切望する。

成績評価の方法

前後期各1～2回のレポートによって行う。

教科書

教科書は特に定めず、適宜プリントを配布する。参考書はテーマごとに授業の中で紹介してゆく。もし条件が許せばビデオも使用したい。また皆さんじしんも、日頃からテレビや新聞の中国報道に留意したり、中国映画を見てみるなどして、知識と情報の獲得に努めてほしい。

科目名	担当者名	配当学科	単位
総合Ⅳ (1) 〔ジェンダーと社会〕	にしむら ゆうこ 西村 祐子	全学科・短国・短英 (文学部除く)	4

講義のねらい

ジェンダー関係(当該社会における様々な男女分業体制と、そこに反映される社会的価値づけさらに様々な男女のカテゴリー、そしてその意味付け等)の研究は今や人文・社会科学分野のみならず地球環境を考えるうえで欠くことの出来ないアプローチである。このアプローチは70年代以降世界的なアカデミズムの潮流として各分野で既に定着しているが、日本ではまだその重要性が十分理解されていないのが実情である。この為本講義は入門編として、また英語力の実力養成編としての意味をもつものである。社会科学分野(特に社会人類学、社会学)における Gender Studies, および Women's Studies と呼ばれるジェンダー論の入門部分を、地域研究と絡めて取り上げる。授業では、ジェンダー的視点による新しい社会関係と社会の構造を、複数の社会に於て概観してゆく。

講義は以下のような概略で進められる(ⅡとⅢは前後することもある。)

- I. 序論
- II. 資本主義社会におけるジェンダー(英国その他)
- III. アジア、アフリカ、南アメリカ社会等におけるジェンダー
- IV. 入門編のまとめ

受講者は最終レポートとして「地球環境とジェンダー」というテーマでの英文レポートを求められる。尚、講義は全て英語でおこない、レポート提出も全て英語(全てコンピューターもしくはワードプロセッサでタイプ・アップのこと)とする。このため受講者には第一回の授業のうちに簡単な試験が課され、パスした学生のみが受講出来る。定期試験その他の試験は行わないが、英語でのレポート提出が月に1回あり、これにより成績評価される。レポート提出の為、英文ワードプロセッシングが出来ることが提出の最低条件である。授業ではほぼ毎回英語版ビデオを用い、様々な社会を見聞してゆく。

参考書等

参考書・文献その他は授業中に指定する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
総 合 IV (2) 〔アメリカの黒人問題〕	なか お しゅん こう 中 尾 俊 光	全学科・短国・短英 (文学部除く)	4

講義のねらい

講座名を「アメリカの黒人問題」としました。アメリカの「黒人」が好む呼称の変化は次の通りです。

	1969	1979	1989	1993
アフリカン・アメリカン	—	—	23%	28%
アフロ・アメリカン	10%	1%	—	—
ブラック	19%	72%	66%	37%
カラード	20%	12%	—	—
ニグロ	38%	9%	—	—

(「ワシントン・ポスト」 1994.1.23より)

以上のような変化は「黒人」自身のアイデンティティの意識の変化を表わしているといえるでしょう。最近では日本でも「アフリカン・アメリカン」が採用されつつあります(「NHKラジオ英会話」1995.10月号)。それにもかかわらず、「黒人」を採用したのは、日本での現実認識を鑑みる時、この呼称が最も一般的と思われるからです。

アメリカの黒人は過去から現在に至るまで様々な重い問題を負わされてきました。そしてこのような黒人の現実、高々と掲げられてきた「アメリカ民主主義」の理念とどのような関係にあるのでしょうか。黒人が抱えている重い諸問題と、そのような現実を内部に抱えている「自由と平等の国・アメリカ」。このような観点をふまえて「アメリカの黒人問題」と題しました。

アメリカのいわゆる「黒人問題」は、1960年代に高まりを見せた公民権運動の多くの差別撤廃の成果にもかかわらず、今なお未解決のままに残されています。政治的、社会的、そして経済的諸権利について、黒人は法の下での平等をほぼ達成したと考えられますが、黒人大衆の経済状態は依然として改善されていないようです。「人権」や「肌の色」の問題としてというよりも、過去に遡る諸要因によって、アメリカの経済機構の中に差別された状態で組み込まれてしまっていることが、1つの明らかな状態——貧困——となって現われていると思われます(教科書、251頁)。1619年にアフリカ大陸から強制的に「引き剥ぐ」ように「20名の黒人」が初めてアメリカの地に運ばれてきました。その時から「アメリカの黒人」の苦しみが始まり、現在に至っています。彼らの苦悩とそれからの解放を求める歴史を辿りながら、そこに見いだされる重要な出来事・事件の意味を、一方の「アメリカ民主主義の理念」と対照させながら考えたいと思います。

講義の内容・授業スケジュール

教科書の内容(プロローグと10項目)と順序(年代順)に従って、教科書では示されていない重要な事件(裁判等)や問題点をも取りあげ、その意味を考察します。各項目に2時限を当て、とくに重要と思われる「公民権闘争」及び「黒人革命」については、それ以上の時間を当てる予定です。なお、授業の方法は「講義」です。

履修上の留意点

本講座では、知識の修得ということばかりではなく、受講生自身の問題意識を大切に、「人間が共に生きること」の意味を自らに問い続けて下さい。参考書、とくに「アメリカの民主政治(中)」(A. トクヴィル)、「黒人はなぜ待てないか」・「良心のトランペット」(M. L. キング)に目を通して下さい。

成績評価の方法

前後期それぞれに2回(通年4回)のレポート提出、そして「学年末試験」を行います。以上の5点を総合評価します。

教科書

「アメリカ黒人の歴史」, 岩波新書 ¥580

参考書等

1. 「アメリカの民主政治(中)」 A. トクヴィル著, 講談社学術文庫
2. 「黒人はなぜ待てないか」 M. L. キング著, みすず書房
3. 「良心のトランペット」 M. L. キング著, みすず書房
4. 「アメリカ黒人の歴史」 ベンジャミン, クォールズ著, 明石書店
5. 「黒人の政治参加と第三世紀アメリカの出発」 中島和子著, 中央大学出版部
6. 「キング牧師とマルカムX」 上坂昇著, 講談社現代新書

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
総 合 IV (3) 〔ポスト・モダンの世界〕	まるこ てつ お 丸 小 哲 雄	全学科・短国・短英 (文学部除く)	4

講義のねらい

「大きな物語」が終息して、ポストモダンの世界は建築、視覚芸術、映画、文学、文学理論、歴史、哲学、宗教、経済、政治などのさまざまな分野で、さまざまな意味を込めて解釈されています。ポストモダンという言葉には混乱がありますが、最大公約数的に言って、ポストモダンは、そのような学際的な知の最前線として、固有なもの（アウラ）に出会うために批判の方法によって権力の座（特権化された場所）を移動・転倒させつつ、歴史的過渡期の思想的表現として現代史を思想化（＝植民地化する力の露呈）することあります。いわば、この講義の狙いは、時代状況とその意識を捉えて「自分探し」をすること、他者（＝文化）をどう捉え、どう身体的に受けとめて、主体性をどう保つかということに尽きます。そこで、「ポストモダン」をキーワードに現実世界のテキストの解釈を目指しつつ、プレモダン（前近代）→モダン（近代）→ポストモダン（脱近代）→トランスモダン（横断的近代）を対照的に重層的に講義します。

講義の内容・ 授業スケジュール

講義に際して、関連文献リストを配布し、事前に読むテキストを指示します。またクラス外では廉価な文庫本・新書版愛好者として多く読んでもらいます。講義の骨子は以下の通りです。

1. 前置き；「変わるものと変わらないもの」について
2. 現代という時代の捉え方；「今ここ」
3. 「モダン」の語源と定義について
4. 言語について；ソシユールの言語観
5. テキストの遍在性について；
6. プレモダン（前近代：絶対王政と重商主義）（17・18世紀）
7. モダン（近代：生産社会の文化）（19と20世紀）
8. ポストモダン（脱近代：消費社会の文化）
9. トランスモダン（横断的近代：モダンとポストモダンの内から外へ）
10. レビュー

成績評価の方法

平常点30%，ターム・ペーパー（レポート作成）50%。さらに、前期、後期に関連文献リストからそれぞれ1冊を選び、そのテキストの読み・解釈・批評を盛り込んだペーパーも提出；20%。クラスでの発表者には別途評価。

教 科 書

◇開講時に指示します。

参 考 書 等

◇随時指示し、適宜コピーも配布します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
総 合 V (1) 〔イギリス文化探訪〕	かわ 川 また 股 よう た ろ う 陽 太 郎	全学科・短国・短英 (文学部除く)	4

講義のねらい

ある民族の文化、ある国の文化を理解するのは、そうたやすいことではない。わたし達がわたし達の文化をどれほど知っているかを考えてみると、はなはだ心もとない思いを抱くことを考えれば、容易に察しがつくであろう。ここでは「イギリスとは、イギリス人とはなんであろう」ということを、ごく限られた時間で、しかし出来る限り様々な視点から見ていこうと思う。

講義の内容・ 授業スケジュール

現代のイギリス人、およびイギリスの文化を、現代から過去へ、過去から現代へ行きつ戻りつしながら、「イギリス」というものを文化的側面から眺めてみたい。一つの文化を理解しようとするとき、言語・風俗・習慣はもちろんのこと、政治・経済・文化を切り離して考えることはできない。それゆえ、原則として、たえず現代と関連させながら、様々な角度から「イギリス」というものを考察してみたい。

例えば、「イギリス」というものを、地理的な面と人種的な面から眺めてみるとしよう。イングランド地方・スコットランド地方・ウェールズ地方・コーンウォール地方という地理的側面と、イングランド人・スコットランド人・ウェールズ人・コーンウォール人という人種的側面から理解して見るのも一つのやり方である。一人の人間がどの部族に属するか、どの人種に属するかを決定するのは、土地と無縁ではありえないし、その地域の文化（言語、風俗、習慣）と無縁ではあり得ない。「血」もさることながら、それを決定するのはその人間の「所属意識」である。

ケルトの時代、キリスト教の普及、アングロ・サクソン人の侵入、ノルマン人のイングランド征服等、また封建社会の特異性とその崩壊過程、大英帝国の出現、産業革命、中産階級の出現等をテーマ別にみながら、今日のイギリスおよびイギリス人が持つ多様性を理解するように努める。

また、一つの文化を理解しようとするとき、同じテーマで比較・検討することによって、よりいっそう明確にその認識を深めることが可能となる。それは、自分の所属する社会形態と、ある社会が有する社会形態を比較することによって、それぞれの文化が持つ特性をよりいっそう明確に認識するようになるということである。

善し悪しは別にして、「日本の常識は世界の非常識」であることが多いことも事実である。これは己と他を比較して始めて認識できるものである。いわゆる「国際化」の時代にあって最も大切なことの一つは、己と他の違いを認識し、理解し、尊重できるように自己を訓練しておくことである。そのためにも自国の文化は問わずもがな、他国の文化を理解することが肝要である。偽政者と都市計画、町並みと生活権、古代ローマと今日の道路・交通機関、大学の置かれている現状等々、比べてみると面白いものが多々見受けられる。

履修上の留意点

イギリスの文化を含め、「文化」そのものに興味がある学生を歓迎する。「文明」と「文化」の区別がつかない学生に、この講座は特に向いていると思われる。

成績評価の方法

レポートと学年末の試験で評価し、この二つの等価に評価する（50点・50点）。レポートはレポート用紙10枚～30枚程度ものを、前期1回（7月）、後期1回（12月）に提出。

教 科 書

教科書は使用しない。レポートを製作するさい、少なくとも数冊の文献を参照すること、また「引用文」には（注）を付け、書名とページ数を記し、その他の参考文献名を記入すること。

参 考 書 等

講義形式をとる。その理解の一助として、視聴覚機材（オーバー・ヘッド・プロジェクター等）を用い、写真、絵図、資料（2,000～3,000枚）を提示しつつ講義を進めていく予定である。また、合理的に講義を進めていくために、必要と思われる資料を適宜配布する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
総 合 V (2) 〔メルヒェン-グリム童話を中心に〕	くり はら かず のぶ 栗 原 万 修	全学科・短国・短英 (文学部除く)	4

講義のねらい

〈メルヒェン〉は、日本ではしばしば〈メルヘン〉ともいわれていますが、ドイツ語では、Märchen という綴りです。Märchen の語源は，Mär (またはMäre) ですが，Mär は、「物語，作り話，うわさ，報告」といった意味をもっています。それに-chen という縮小語尾が付いたのが，Märchen です。それで現在，Märchen [メルヒェン] にはいろいろな意味が含まれています。例えば日本語では、「童話，おとぎ話，童話，民話」などと訳することができます。ですから，一般にグリムの場合は「童話」と訳されていますが，「昔話」または「おとぎ話」でも一向にかまわないわけです。しかし本当は，本来のMärchen の総括的な意味をもつ日本語の訳語がないのでそのどれもが正しくないとはいえます。そういうわけで，総括的な意味では原語の〈メルヒェン〉が訳語なしで，そのまま〈メルヒェン〉として使われていると考えてください。

ところで，本講座ではその〈メルヒェン〉について，歴史的な成り立ちや時代推移を，グリム童話を中心に考察していきたいと思います。現在，世界中で聖書の次に広く読まれているといわれているグリムのメルヒェンは，どうして出版されたのか，そもそもグリム兄弟とはどんな人たちだったのか，そして最終的に210篇におよんだグリム童話 (メルヒェン) は〈現在〉どんな意味をもっているのか，日本にはどのように移入されたのか，また他の国との関係は等々を，できるだけわかりやすく説明していきたいと思います。とくにテキストは決めません。必要に応じて図書や資料の配布は教場で行います。できるだけ一方通行的な講義ではなく，受講者も積極的に発言をし授業に参加するような講座にしたいと思います。ですから単に単位がほしいという人ではなく，本当にメルヒェンに関心のある人だけの受講を望みます。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
総 合 V (3) 〔フランス文化探訪〕	〔前期〕 小 ^こ 玉 ^{たま} 齋 ^{なり} 夫 ^お 〔後期〕 加 ^か 藤 ^{とう} 節 ^{せつ} 子 ^こ	全学科・短国・短英 (文学部除く)	4

講義のねらい

〈前期〉

これまでではフランス文化に関しての概論的な講義が行われていなかったため、中級（ⅡA、ⅡB）程度のフランス語授業であっても、例示されることがあるいは比較される事項等についての知識が不十分で、そのため、ややもすれば理解の深度に欠けるところが多かったように思います。そこで、新しいカリキュラム発足にともない、「フランス文化探訪」という標題で、きわめて「常識的」ではあれ、フランス語・フランス文化を身近にする際に必要なことならについての紹介・提示を行い、語学の授業の側面からの補完となし得たいと思っています。

講義の内容・
授業スケジュール

およそ10回にわたる授業を、地理的・歴史的・文化的側面に3分し、それぞれを、主要な術語・人名・事件名等の挙例をとおして、全体的な〈フランス文化〉像をさぐり抽出する契機とする予定です。具体的には、ビデオ教材に描かれた〈フランス文化〉の在り様を、自身の眼をとおして、再構成する作業が、受講者には求められることとなります。

履修上の留意点

〈文化〉は、単に眺めるための対象でもなく、あるいは「知ったかぶり」をするための素材でもありません。願わくば、文化的差違の把握を、より拡大され柔軟となった「文化意識」によって、試み展開して行ってほしいと思います。

成績評価の方法

受講者には、数篇の「記述」が課せられることになると思います。

教 科 書

教科書は用いません。参考となる書籍については、そのつど、指示します。

講義のねらい

〈後期〉

後期はやや趣をかえて、主としてフロラ・トリスタン、ジョルジュ・サンド、ダニエル・ステルンという三人の作家を通して十九世紀のフランス社会について考察したい。ルイ＝フィリップの七月王政下に活躍したフロラ・トリスタン、二月革命と第二共和制に積極的に参加したジョルジュ・サンド、ダニエル・ステルンたち女性作家、運動家たちの目を通して激動の十九世紀の一面をみてゆく予定である。

講義の内容・
授業スケジュール

これらの女性はいずれも波乱万丈の生涯をおくっている。彼女達の生涯をたどると共に、彼女達の著作を紹介する。これらによってこの時代の背景や彼女達の思想や社会へのプロテストを理解することになるだろう。

履修上の留意点

その都度、翻訳書のあるものを紹介したり、プリントを配布する予定である。

成績評価の方法

レポート提出。

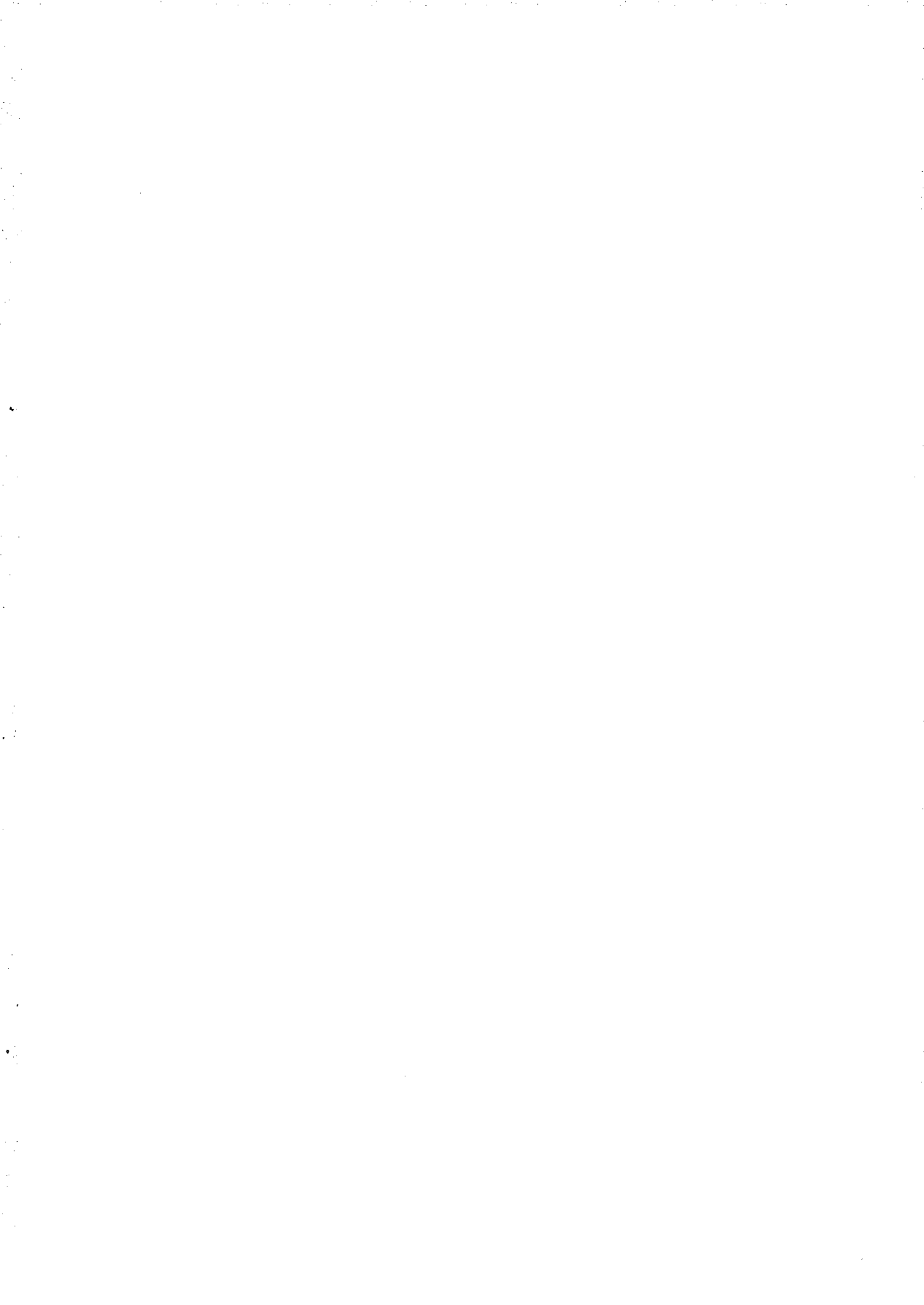
参 考 書 等

授業中に指示。

外 国 語 科 目

外 国 語 科 目

必修・選択必修科目



外 国 語 科 目

《必修・選択必修科目》

〔英 語〕

英 語 I A	141
英 語 I B	172
英 語 I C (会話)	202
英 語 II A	204
英 語 II B	238
英 語 I (田 中 保)	255
英 語 I (大 川 浩)	255
英 語 I (大 川 浩)	256
英 語 I (町 田 尚 子)	256
英 語 I (高 野 秀 夫)	257
英 語 I (吉 沢 栄 治 郎)	257
英 語 (町 田 尚 子)	258
英 語 (田 中 保)	258
英 会 話 I	259
英 語 LL I	264

〔ド イ ツ 語〕

ド イ ツ 語 I A (1)(6)(9)	(松 岡 晋)	271
ド イ ツ 語 I A (2)	(清 水 修)	271
ド イ ツ 語 I A (3)(4)	(織 田 繁 美)	272
ド イ ツ 語 I A (5)	(杉 本 正 俊)	272
ド イ ツ 語 I A (7)	(井 村 行 子)	273
ド イ ツ 語 I A (8)	(飯 塚 公 夫)	273
ド イ ツ 語 I B (1)(4)	(岡 本 時 子)	274
ド イ ツ 語 I B (2)	(栗 原 万 修)	274
ド イ ツ 語 I B (3)(5)	(前期：百 濟 勇) (後期：松 本 洋 子)	275
ド イ ツ 語 I B (6)	(野 島 利 彰)	275
ド イ ツ 語 I B (7)(8)	(河 上 和 史)	276
ド イ ツ 語 I B (9)	(新 倉 真 矢 子)	276
ド イ ツ 語 I C (会話)	(松 岡 晋)	277
ド イ ツ 語 II A	(松 本 洋 子)	277
ド イ ツ 語 II A	(野 島 利 彰)	278
ド イ ツ 語 II A	(栗 原 万 修)	278
ド イ ツ 語 II A	(野 島 利 彰)	279

ドイツ語 II A	(柴野博子)	279
ドイツ語 II B	(野島利彰)	280
ドイツ語 II B	(松本洋子)	280
ドイツ語 II B	(吾妻雄次郎)	281
ドイツ語 I	(吉田文子)	281
ドイツ語 I	(吾妻雄次郎)	282
ドイツ語	(吉田文子)	282
ドイツ語	(吾妻雄次郎)	283

〔フランス語〕

フランス語 I A (1)(7)	(小玉齊夫)	287
フランス語 I A (2)	(竹田正純)	287
フランス語 I A (3)	(加藤節子)	288
フランス語 I A (4)	(佐藤久美子)	288
フランス語 I A (5)	(芦原 眷)	289
フランス語 I A (6)(8)	(野沢 協)	289
フランス語 I A (9)	(伊藤 なお)	290
フランス語 I B (1)(4)	(野沢 協)	290
フランス語 I B (2)(5)	(前田祝一)	291
フランス語 I B (3)	(遠山博雄)	291
フランス語 I B (6)(8)	(千石玲子)	292
フランス語 I B (7)	(菅原 猛)	292
フランス語 I B (9)	(竹田正純)	293
フランス語 I C (会話)	(小玉齊夫)	293
フランス語 II A	(前田祝一)	294
フランス語 II A	(菅原 猛)	294
フランス語 II A	(菅谷 暁)	295
フランス語 II A	(小玉齊夫)	295
フランス語 II A	(加藤節子)	296
フランス語 II B	(竹田正純)	296
フランス語 II B	(前田祝一)	297
フランス語 I	(竹田正純)	297

〔中国語〕

中国語 I A (1)	(釜屋 修)	301
中国語 I B (1)	(釜屋 修)	301
中国語 I A (2)	(徳永 淳子)	302

中国語 I B (2)	(小川 隆)	302
中国語 I A (3)	(塩旗 伸一郎)	302
中国語 I B (3)	(塩旗 伸一郎)	302
中国語 I A (4)	(未 定)	303
中国語 I B (4)	(未 定)	303
中国語 I A (5)(11)	(前川 亨)	303
中国語 I B (5)(11)	(前川 亨)	303
中国語 I A (6)	(李 雲)	304
中国語 I B (6)	(下出 宣子)	304
中国語 I A (7)	(小川 隆)	304
中国語 I B (7)	(小川 隆)	304
中国語 I A (8)	(塩旗 伸一郎)	305
中国語 I B (8)	(塩旗 伸一郎)	305
中国語 I A (9)	(戸張 嘉勝)	305
中国語 I B (9)	(釜屋 修)	305
中国語 I A (10)	(未 定)	306
中国語 I B (10)	(未 定)	306
中国語 I A (12)(15)(19)	(徳永 淳子)	306
中国語 I B (12)(15)(19)	(下出 宣子)	306
中国語 I A (13)	(松本 丁俊)	307
中国語 I B (13)	(松本 丁俊)	307
中国語 I A (14)	(日原 傳)	307
中国語 I B (14)	(岩崎 皇)	307
中国語 I A (16)(20)	(末木 恭彦)	308
中国語 I B (16)(20)	(棟方 徳)	308
中国語 I A (17)	(岩崎 皇)	308
中国語 I B (17)	(岩崎 皇)	308
中国語 I A (18)	(日原 傳)	309
中国語 I B (18)	(松本 丁俊)	309
中国語 I C (会話)	(戸張 嘉勝)	310
中国語 II A		311
中国語 II B		317
中国語 I	(伊禮 智香子)	319

[スペイン語]

スペイン語 I A (1)(6)(8)	(ナバローポロ, L. S.)	323
スペイン語 I A (2)(5)	(中山 直次)	323

スペイン語 I A (3)	(中川 清)	324
スペイン語 I A (4)	(ルイズ ティノコ, C.)	324
スペイン語 I A (7)(9)	(佐藤 紘子)	325
スペイン語 I B (1)(4)	(佐藤 麻里乃)	325
スペイン語 I B (2)	(中川 清)	326
スペイン語 I B (3)(5)	(米田 博美)	326
スペイン語 I B (6)(8)	(瓜谷 アウロラ)	327
スペイン語 I B (7)(9)	(ナバロ, ホワン J.)	327
スペイン語 I C (会話)	(瓜谷 アウロラ)	328
スペイン語 II A	(丹羽 昌一)	329
スペイン語 II A	(福本 久美子)	329
スペイン語 II A	(荻野 雅司)	330
スペイン語 II B	(宮地 達郎)	330
スペイン語 II B	(上野 勝広)	331
スペイン語 I	(佐藤 紘子)	331

〔ロシア語〕

ロシア語 I A		335
ロシア語 I B		336
ロシア語 I C (会話)	(佐野 朝子)	337
ロシア語 II A	(岡沢 宏・木村 英明)	337
ロシア語 II A・ロシア語 II B	(杉山 秀子)	338
ロシア語 II B	(岡沢 宏・佐野 朝子)	338

《必修・選択必修科目 再履修クラス》

英 語 I A〔再クラス〕	(小布施 圭佐三)	341
英 語 I A〔再クラス〕	(矢島 直子)	341
英 語 I A〔再クラス〕	(岸本 茂和)	342
英 語 I A〔再クラス〕	(藤島 喬樹)	342
英 語 I A〔再クラス〕	(杉村 初枝)	343
英 語 I A〔再クラス〕	(埴 美智子)	343
英 語 I B〔再クラス〕	(伊勢村 定雄)	344
英 語 I B〔再クラス〕	(前期：中尾 俊光) (後期：林 明人)	344
英 語 I B〔再クラス〕	(細野 秀子)	345
英 語 I B〔再クラス〕	(田中 保)	345
英 語 I B〔再クラス〕	(本間 孝一)	346

英	語	Ⅰ B〔再クラス〕	(三輪久恵)	346
英	語	Ⅰ B〔再クラス〕	(安齊芳)	347
英	語	Ⅱ A〔再クラス〕	(川股陽太郎)	347
英	語	Ⅱ A〔再クラス〕	(佐竹龍照)	348
英	語	Ⅱ A〔再クラス〕	(町田尚子)	348
英	語	Ⅱ A〔再クラス〕	(小笠原隆元)	349
英	語	Ⅱ A〔再クラス〕	(大川浩)	349
英	語	Ⅱ A〔再クラス〕	(古富猛)	350
英	語	Ⅱ A〔再クラス〕	(岩原康夫)	350
英	語	Ⅱ A〔再クラス〕	(朝川真紀)	351
英	語	Ⅱ B〔再クラス〕	(横森正彦)	351
英	語	Ⅱ B〔再クラス〕	(杉本誠)	352
英	語	Ⅱ B〔再クラス〕	(河内賢隆)	352
英	語	Ⅱ B〔再クラス〕	(山岸二郎)	353
英	語	Ⅰ〔再クラス〕	(三浦眞理)	353
英	語	〔再クラス〕	(前期：中尾俊光) (後期：林明人)	354
ドイツ	語	Ⅰ A〔再クラス〕	(柴野博子)	354
ドイツ	語	Ⅰ A〔再クラス〕	(山本務)	355
ドイツ	語	Ⅰ A〔再クラス〕	(志真斗美恵)	355
ドイツ	語	Ⅰ B〔再クラス〕	(松本洋子)	356
ドイツ	語	Ⅰ B〔再クラス〕	(前期：百濟勇) (後期：野島利彰)	356
ドイツ	語	Ⅰ B〔再クラス〕	(吾妻雄次郎)	357
ドイツ	語	Ⅰ B〔再クラス〕	(栗原万修)	357
ドイツ	語	Ⅱ A〔再クラス〕	(栗原万修)	358
ドイツ	語	Ⅱ A〔再クラス〕	(本橋右京)	358
ドイツ	語	Ⅱ A〔再クラス〕	(栗原万修)	359
ドイツ	語	Ⅱ B〔再クラス〕	(本橋右京)	359
ドイツ	語	Ⅱ B〔再クラス〕	(松岡晋)	360
ドイツ	語	Ⅱ B〔再クラス〕	(吾妻雄次郎)	360
ドイツ	語	Ⅰ〔再クラス〕	(山本務)	361
ドイツ	語	〔再クラス〕	(松本洋子)	361
フランス	語	Ⅰ A〔再クラス〕	(前田祝一)	362
フランス	語	Ⅰ A〔再クラス〕	(佐藤久美子)	362
フランス	語	Ⅰ A〔再クラス〕	(浜崎設夫)	363
フランス	語	Ⅰ A〔再クラス〕	(遠山博雄)	363
フランス	語	Ⅰ B〔再クラス〕	(菅谷暁)	364
フランス	語	Ⅰ B〔再クラス〕	(芦原眷)	364

フランス語 I B〔再クラス〕	(高橋 薫)	365
フランス語 I B〔再クラス〕	(今関 ア ン)	365
フランス語 II A〔再クラス〕	(小玉 齊 夫)	366
フランス語 II A〔再クラス〕	(井田 清 子)	366
フランス語 II A〔再クラス〕	(今関 ア ン)	367
フランス語 II B〔再クラス〕	(加藤 節 子)	367
フランス語 II B〔再クラス〕	(井田 清 子)	368
フランス語 II B〔再クラス〕	(沼倉 広 子)	368
フランス語 I 〔再クラス〕	(沼倉 広 子)	369
中国語 I A・I B〔再クラス〕	(江林 英 基)	369
中国語 I A・I B〔再クラス〕	(未 定)	370
中国語 I A・I B〔再クラス〕	(岩崎 皇)	370
中国語 I A・I B〔再クラス〕	(小寺 春 水)	371
中国語 I A・I B〔再クラス〕	(陳 洲 拳)	371
中国語 I A・I B〔再クラス〕	(前川 亨)	372
中国語 I A・I B〔再クラス〕	(根岸 政 子)	372
中国語 I A・I B〔再クラス〕	(布施 直 子)	373
中国語 I A・I B〔再クラス〕	(李 雲)	373
中国語 II A〔再クラス〕	(平石 淑 子)	374
中国語 II A〔再クラス〕	(菱川 清)	374
中国語 II A〔再クラス〕	(渡邊 晴 夫)	375
中国語 II B〔再クラス〕	(周 璫)	375
中国語 II B〔再クラス〕	(菱川 清)	376
中国語 II B〔再クラス〕	(渡邊 晴 夫)	376
中国語 I 〔再クラス〕	(李 雲)	377
スペイン語 I A・I B〔再クラス〕	(丹羽 昌 一)	377
スペイン語 I A・I B〔再クラス〕	(宮地 達 郎)	378
スペイン語 I A・I B〔再クラス〕	(中山 直 次)	378
スペイン語 I A・I B〔再クラス〕	(瓜谷 アウロラ)	379
スペイン語 I A・I B〔再クラス〕	(荻野 雅 司)	379
スペイン語 II A・II B〔再クラス〕	(福本 久美子)	380
スペイン語 II A・II B〔再クラス〕	(荻野 雅 司)	380
スペイン語 II A・II B〔再クラス〕	(中川 清)	381
スペイン語 I 〔再クラス〕	(佐藤 麻里乃)	381
ロシア語 I A・I B〔再クラス〕	(安德ニーナ・木村 英明 佐野 朝子・廣田 英靖)	382
ロシア語 II A・II B〔再クラス〕	(安德ニーナ・廣田 英靖)	382

英

語

英 語 I A

〈英語 I A の授業の内容と履修上の留意点〉

英語による意志伝達 (Writing and/or Speaking) : 入学時の英語を基礎として、英語の運用能力をのばします。

演習科目なので、全授業に日数の3分の2以上の出席が必要です。レポート、小テスト、プレゼンテーションなどの課題を重視します。

担当者名	配当学科	単 位
おお かわ ひろし 大 川 浩	禅 1 必	2

講義の内容・ 授業スケジュール

入学時の語学力の更なる発展と運用を目的として、英語の口語表現に塾達すべく、第一に英語圏の文化理解のための短文を読み、そこから英米人の思考形態を習得し、次により英語らしい表現能力を培い、あわせて、感情のこもった表現方法を扱った練習問題を行い、最後に英語の運用能力に習熟すべく和文の英語問題を行なって英語の総合力の増進をはかる。

辞書を活用して入念な下調べを行なうこと。欠席・遅刻の回数の減少を心掛ける。年間を通じて座席を固定する。

成績評価の方法

前期・後期の試験を中心として、夏季休暇中に出題されるレポート及び、随時、施行される小テストの成績を含めた平常点を加味して評価基準とする。

教 科 書

『Writing With Idioms 役に立つ口語英作文』 南雲堂 ¥1,400

担当者名	配当学科	単 位
し みず ゆう し 清 水 祐 次	禅 1 必	2

講義の内容・ 授業スケジュール

平易で自然な英文を書くことに習熟することをめざす。
身近かな日常的主題をとりあげたエッセイ等の模範文を参考にし、その慣用的なイディオムや語句を利用して、簡単な英文から始めて、更にもう少し高度な英文を書く練習をする。

成績評価の方法

前期後期の試験、レポート及び平常授業中の発表や小テスト等によって、総合的に評価する。
なお、欠席が授業時数3分の1を超える場合には、原則として単位の修得はできない。

教 科 書

『Basic Skills in English (基本英語表現法)』 成美堂 ¥1,600

担当者名	配当学科	単 位
か とり ゆたか 香 取 豊	禅 1 必	2

講義の内容・ 授業スケジュール

最初は英語の基本的でやさしい文章の暗記に始まり、それを応用した英作文、文法問題等に入ってゆく。それからは徐々に複雑な文章の暗記及び応用へと移行していく。それに加えて口語英語の表現に関する問題も併行して行う予定。

成績評価の方法

普段の授業への出席状況、発表及び前・後期の定期試験の成績等から総合的に判断して評価とする。欠席率が3分の1を超えないよう注意すること。

教 科 書

『英作文 — 日本語とのちがひ』 朝日出版社

担当者名	配当学科	単 位
こ いずみ きみ ひと 小 泉 公 史	仏教 1 必	2

講義の内容・
授業スケジュール

この本の各章のエッセイは、すべて平易で自然な流れに沿った話し言葉で書かれている。Jo-Annという大学生が、実生活の体験から人生のあらゆる出来事を綴っていく。Exercisesには、Multiple Choice Questions, Comprehension Check, Translation, Dialogue and Dictationと豊富な言語表現演習が用意されている。本文の中に出て来る文のパターン、熟語、慣用語句に習熟し、日常英語の表現が自由に行えるように、repetitionとrecitationを学習の中心にして授業を行い、簡単な文が書けるようになることを目指す。

成績評価の方法

授業中における発表(30%)、前・後期の定期試験(35+35=70)で評価する。
平常授業の欠席が3分の1を超えた場合は不合格とする。

教科書

『American Life Cycle』成美堂 ¥1,600

そ の 他

履修者は予習を必ずしてくることを要望する。

担当者名	配当学科	単 位
あ お やま たもつ 青 山 保	仏教 1 必	2

講義の内容・
授業スケジュール

日常生活の身近なできごとについて、表現できるようにしたい。まず英語の音声になじむこと、英語の言い回しを覚えること、文章なりパラグラフなりに表現されている概念を素早く把握すること、これらの訓練を前期、後期を通じてみっちり重ねていきたい。英語で話されたことを理解すると同時に、英語でもものが言えるように、その基礎を固めたい。授業では、発表を重視するので、しっかりした予習と復習が欠かせない。

成績評価の方法

毎授業、練習問題を実施し、宿題など課題をだす。全評価のうち、授業中の練習問題の解答や宿題の成績の平均点が50%、前期および後期の定期試験の成績が50%とする。したがって、欠席が多いと良い成績は望めない。欠席率が3分の1を超えると、定期試験の成績とは関係なく単位取得は不可能となる。

教科書

『日本文化を英語で表現 LET'S WRITE ABOUT JAPAN』(成美堂)

参考書等

適切な辞書と参考書は授業中に指示する。

担当者名	配当学科	単 位
は ぎ わら て る 萩 原 輝	仏教 1 必	2

講義のねらい

基本的なパラグラフ・ライティングの習得を目標にしたい。パラグラフの仕組みを学び、自分の考えを英文で表現が出来るように練習したい。

講義の内容・
授業スケジュール

英文を書く能力を高めるためには、まずたくさん英文を読み、そこから単語や表現を学ぶことが大切である。そこで、テキストの中に出てくるいろいろな表現を学び、次にそれらを用いて自分の意見や考えを述べられるようにしたい。

履修上の留意点

(a)予習をしておくこと。(b)英和辞典、和英辞典を使うこと。(c)自分の解答を何度も見直して見ること。(d)積極的に授業にのぞむこと。

成績評価の方法

前・後期の定期試験、授業中の態度、出席の状況等を総合して評価する。

教科書

『発信型作文演習——季節の中の日本』
(マクミラン・ランゲージハウス) ¥1,450

担当者名	配当学科	単 位
しまづのぶこ 島津信子	国文 1 必	2

講義の内容・
授業スケジュール

一年間を通じ、『NHKラジオ英会話』をテキストに採用して、英語を聞くことを習慣化し、よく使う口語表現を勉強する。また、ダイアログを暗記して演じる。もう一冊のテキスト、『アメリカの留学生活』では、日常生活の様々な場面での会話を聞き、それぞれの状況で役立つ表現を学んでいく。その後、聞き取り問題も毎回行って、学んだ表現を耳で聞いても理解できるようにする。そして学んだ表現を使って、各場面で適切な応答が英語でできるように練習する。授業は履修者の能力に応じて、易しい英語を使って進めたい。

成績評価の方法

毎回、授業開始時に、予習チェックの小テストを行う。授業中には学んだ表現の聞き取り練習問題を毎回行い、そのうち、三回に一回は提出してもらおう。各学期、一回は皆の前でダイアログを演じる。これらの点と出席点（出席状況により4段階に分かれる）を全て成績記録表につけ、平常点とする。成績は平常点を重視してつける。ただし、授業回数の3分の1以上休んだ者は不合格とする。

教 科 書

- 1) 『NHKラジオ英会話』日本放送出版協会 ¥300（毎月購入すること）
- 2) 『アメリカの留学生』 金屋堂 ¥1,650

そ の 他

履修者は、この授業をきっかけに「ラジオ英会話」を聞く習慣をつけて、口語英語に慣れるとともに、英語圏の人々の物の見方や文化も学んでほしい。

担当者名	配当学科	単 位
みずさきのりこ 水崎野里子	国文 1 必	2

講義のねらい

日常生活に必要な基本的な文章が書け、話せるようになることを目的とする。

講義の内容・
授業スケジュール

授業は指定のテキストを用い、基本的なヒアリング、ライティング、スピーキングの徹底的な練習を行う。

履修上の留意点

前期、後期共同じテキストを使うが、授業の参加、平常点を重視するので学生の方々には出来るだけ授業に出席することが望ましい。

成績評価の方法

成績は平常の授業への参加、並びに前期後期の二回の試験を総合する。

教 科 書

テキストは『Writing Everyday English (日常英語会話・作文)』、マクミランランゲージハウス、1,650円、を使用する。

参 考 書 等

参考書の指定は特にない。

担当者名	配当学科	単位
井出功一	国文1必	2

講義の内容・
授業スケジュール

テキストは各章がクイズ、笑い話、スポーツ、英国のパブリックスクール、英米の文化やエピソードなどを教材とする英文から入って行く。そして「文型」と「文法事項」に分けて、総合的に説明してある。

英語の表現力を養うには英文をたくさん聞いたり、読んだりして、そこに出てくる英語を正確に理解し、さらに、英文の内容を自ら考案し、書いたり、話したりすることが最良の学習法。

講義のねらいとしては英文法を口語的と文語的、英米用法の相違、くだけた言い回しと形式ばった表現の区別等に触れながら説明し、英語の文法から英語のスタイルへと話を進めてゆく予定。

教科書

『新しい学習英文法』（研究社）

担当者名	配当学科	単位
まつもと のぼる 松本 昇	国文1必	2

講義の内容・
授業スケジュール

一人で外国に行って二、三カ月生活するのに必要な日常的な会話を身につけるようにする。前期は主として基礎的な会話とヒアリングを行なう。後期は手紙の書き方など英作文もあわせて行なう。

成績評価の方法

授業中における発表、小テスト（年4回）の成績を40%、定期試験を60%の割合で評価する。欠席率が3分の1を超えた場合は不合格とする。

参考書等

『コミュニケーションのための口語英作文』 成美堂 ￥1,300

担当者名	配当学科	単位
ひらばやし たくろう 平林 卓郎	国文1必	2

講義の内容・
授業スケジュール

英語の基礎は文法である。あまりむずかしくない文法の教科書を使い、高校英語の復習をかねながら更なる基礎の徹底と応用力の養成に力を入れる。一つ一つの重要な文法的知識をさまざまな形式の問題によって反復練習し、知識の徹底的習得を期す。一日一課づつ進み二十二課で終了となるが時間がある場合は更に応用問題を使い、練達を目指す。評価は年2回の試験と出席点によって決める。

教科書

現代ミニマス英語研究会編著『ESSENTIAL GRAMMAR for COLLEGE COURSES』
南雲堂 ￥1,800

担当者名	配当学科	単 位
かわ また よう た るう 川 股 陽 太 郎	英米文 1 必	2

講義の内容・
授業スケジュール

これまでに諸君が取得した英語力をもとに、リスニング、コンプリヘンション、スピーキング、ライティングの能力を高める訓練をおこなう。と同時に、文化的背景を説明し、教養を身につけるようにする。

言いかえると、英語を耳でとらえ、その内容を理解し、耳でとらえたものを口から出す訓練をする。また、テキストに出てくる慣用句を参考にして、英語を書く練習をする。聞き取る能力がなければ、相手の言っていることを理解することは出来ない。従って最初からコミュニケーションは成立しないことになる。聞きとる力と話す力（リスニング、コンプリヘンション、スピーキング）は不可分の関係にある。三つの能力、すなわち、英文の内容を読み取る力、英語を聞き取り話す力、英語で文書を書く力、この三つは別々のものであり、個々に訓練し、能力を身につけるようにしたい。

授業ではテープを極力用いる。発音、イントネーション、アクセントはもちろんのこと、大きな声で、内容にそくして、なめらかに読む練習も大切にしたい。

成績評価の方法

授業中における演習、発表、小テストによる。5段階評価で言えば、発表時の声が小さい場合、最終評価で5は有り得ない。授業中の演習・発表の合計（100点）、授業中の小テスト・レポートの合計（100点）とし、両者を等価に評価する。従って、出席と評価は自動的に連動することになる。欠席率が三分の一を越えた場合は不合格となる。

教 科 書

『楽しく学ぶイギリス文化』English Customs with a Smile』（成美堂） ¥1,600
補助教材としてプリントを使用する。これは適宜配布する。

担当者名	配当学科	単 位
まき の て る よ し 牧 野 輝 良	英米文 1 必	2

講義の内容・
授業スケジュール

英語による自己表現能力を身につけるには、英文をよく読み、内容を理解し、文の構造や語句の用法に習熟し、それらを駆使出来るように不断の努力が必要である。この努力を怠っては英語の上達は望めない。

この目的達成のために、授業においては英語の短文をくり返し読み、その英文に用いられている語句の用法を練習し、その後一度学習した英文の構造、語句を用いた和文英訳を行なうことにより学習の徹底をはかる。

成績評価の方法

授業はあくまでも学生中心に行なう。すべての学生が緊張して授業に参加出来るように毎時間一回は指名してリーディング、解釈、和文英訳等を行なうようにする。その都度チェックしておき成績評価の参考にする。

小テストとして5課終わった時点で、英文和訳、語句の運用、和文英訳の習熟度テストを行なう。期末テストは与えられたテーマを英文で書くものとする。

成績評価は授業中の発表、小テスト、期末テスト等を総合して行なう。ただし未受験分は0点となるので要注意である。

教 科 書

『Systematic English Composition 英語表現への道』 成美堂 ¥1,300

担当者名	配当学科	単 位
まきの まさひで 牧 野 正 秀	英米文 1 必	2

講義の内容・
授業スケジュール

どの分野の英語を理解するにも基本は大切であり、くり返して理解しなければならないものと思います。今まで学んで来た英語の基本的知識(単語の意味だけではなく、構文の知識)を復習再確認しながら、新聞や雑誌などに代表されるマスコミ時事関係の高度な英文が理解し表現出来るようにしたいと思います。その上で英語表現が十分に出来るようになれば最高だと思います。このテキストで勉強した事を、実際の英字新聞や雑誌の中から興味ある記事を見つけ出して、自分なりに少しずつ、表現方法などを理解し自己表現に近づけていく努力をすることが大切だと思います。

基本的な知識と心得から始まり、このテキストで取り上げた英文はいずれも日刊新聞(英字)から、文化、社会、経済、世界情勢、スポーツ、芸術などのトピックに分けて、易しく短いものから、比較的長く、語彙レベルの高いものや、内容の難しいものへと移行するように採録されています。詳しく注釈もついているので、習熟すれば理解しやすいと思います。作文などの表現問題もあるので都合のいいテキストです。新聞英語は、特に専門的な知識を必要とする内容のもの以外は、できるだけ速やかに、簡潔に、正確にかつ分かりやすく事柄を伝達するのが使命ですから、英文は本来分かりやすい平明なものです。十分に予習して授業に臨む事が大切な事です。

成績評価の方法

前期、後期の定期試験の結果ならびに平常点(教室での発表と出席)によって行います。

教 科 書

『1995/96 Edition Newspaper English』 成美堂

担当者名	配当学科	単 位
いわの た ようこ 岩 田 洋 子	英米文 1 必	2

講義の内容・
授業スケジュール

一回の講義で humorous な Short Story 一篇(Unit) を①内容把握, ②会話練習, ③作文練習, ④総合的理解, ⑤聞き取り練習など徹底的な演習形式で、使えるアメリカ口語表現を学ぶ。最終的にはテーマを決め(年約3回, 600語以内)、借りものでない自分自身の考えをきちんと英語で表現できるようにする。

成績評価の方法

授業中における発表(年約10回)、レポート(年約4回)、前、後期の定期試験、練習問題テスト(年4回)に基づく。全評価のうち、授業中における発表、練習問題テストが50%、レポート、前、後期の定期試験が50%で評価する。ただし、欠席率が3分の1を超えた場合は、試験を受ける資格なし、不合格とする。

教 科 書

『ユーモア英語レッスン』 朝日出版 ¥1,300
『米語慣用語辞典』 マクミラン・ランゲージハウス ¥2,678

そ の 他

予習、復習を励行する。授業には積極的に参加する。米語口語表現に慣れることを要望する。

担当者名	配当学科	単 位
こ ばやし ひで 子 児 林 英 子	英米文 1 必	2

講義の内容・
授業スケジュール

英米文学を専攻しようとする学生が、難解な長文を読み熟せるようにすることを目的とする。前期は著者がこよなく愛したサニーサイド、後期はアメリカ文学発祥の地コンコード等、スライドも含めて授業をすすめる。
予習をし、問題意識を持って授業に臨んで欲しい。

成績評価の方法

授業中における発表、前後期の試験に基づく。前後期各々3分の2以上の出席がある場合、受験資格あるものとする。

教 科 書

- 1) 『Rip Van Winkle and Other Stories』 朝日出版
- 2) 『The Old manse』 英宝社

担当者名	配当学科	単 位
おお た まさ こ 太 田 雅 子	地 理 1 必	2

講義の内容・
授業スケジュール

身近なことから話題を広げ、listening, speaking, writing の力をみがいていく。言うまでもなく、予習は必須。

成績評価の方法

平常点（毎回小テストを実施）
授業の欠席が3分の1を超えた場合は、不合格とする。

教 科 書

Dale Fuller, C. W. Grimm
『Airwaves—Developing Better Listening Skills』 (Macmillan Languagehouse) ¥1,800

担当者名	配当学科	単 位
やな せ こう そう 梁 瀬 浩 三	地 理 1 必	2

講義のねらい

日常生活で用いられる慣用表現の修得とともに、平易な単語を用いての英語で自己表現、自己主張を目指す。自分の考えを英語で表現するということが、これからますます必要となってくる。そのためには、一寸した勇気と慣れが必要である。表現するためには、音声（発音）、書く力（英作文）、聴きとりの力が必要なので、それらをうまく組み合わせ、更に日英語のニュアンスの違いにも目を向けるようにしたい。

講義の内容・授業スケジュール

演習中心で行い、口頭表現、テープによる聴きとり、黒板に出て書く英作文などを行うが、特に黒板に出て書く英作文を重視し、我々日本人の英語表現の問題点を考えてみたい。

履修上の留意点

演習中心である以上、出席を重視する。総時間数の $\frac{1}{2}$ 以上休んだ場合は失格とする。具体的には、8回以上休んだら単位は認められない。当然のことながら英語の修得には努力が必要である。テキストをよく読んでおくことは勿論のこと、更に黒板に出て書けるように家で、又は図書館で辞書を大いに活用して予習しておくこと。テープはL1L教室で録音してもらい、家で前もって聴く（予習）、そして学習後に聴く（復習）こと。

成績評価の方法

年二回のテストを中味の濃いものにし、よく準備しなければできない内容のものとする。普段の授業態度、積極さ、地道な予習を重複し、評価に加える。

教科書

開講時に明示する。

担当者名	配当学科	単 位
い とう ひろ み 伊 藤 宏 見	地 理 1 必	2

講義の内容・授業スケジュール

始めに英文法の基礎として、準動詞の三分野に亘って、くわしく解説し、それぞれにおける有効な短文と、例文を示し、各時間に演習してもらう。Exerciseは、黒板に出て解答してもらう。これらの中には、簡単な英作文も含まれている。以下、Tenseの問題、代名詞、助動詞、形容詞等の勉強をすすめ、一通りの英文法をマスターした上で、後期に入り、実際のコンテキストから、文法問題をさぐる練習をする。このために、現代の標準的な英文をえらび、プリントして、演習にあてることがある。

これらの習練によって、英文の構造、英語特有の表現、思想の把握に十分熟達できるように指導する。

成績評価の方法

- ① 語学一般に共通している通り、出席率がかなりの比重をしめる。時々小テストを行うことがあり、これに加えて、前期後期のテスト（定期）があり、これを必ず受けること。
- ② 平常の授業時の積極的な態度、演習などの成績を加味する。

教科書

『精説高等英文法』文化書房 ¥1,300
 その他参考書は各自の判断にて揃えて可。
 又教室において、適宜に紹介します。

担当者名	配当学年	単 位
なか やま ひろ かず 中山 浩 一	地 理 1 必	2

講義の内容・
授業スケジュール

口語英語の基礎の学習と英語表現能力の向上を目指す。
(留意事項)

- ① テキストの各章の例文と練習問題を予習しておく。
- ② 予習の結果を口頭やペーパー記述などを通して発表する。
- ③ テキストの復習と日常生活での活用に努める。

成績評価の方法

- ① 前・後期の二回、試験を実施する。
 - ② 日頃の口頭発表とペーパー発表の状況进行评估し、①の成績に加算する。
 - ③ 出席は全講義回数の三分の二以上確保する。
- 以上の①を中心に②③を参考にして総合評価する。

教 科 書

『英語発話演習』 金星堂 ￥1,700

そ の 他

予習と活用を心掛けること。

担当者名	配当学年	単 位
ひら ばやし たく ろう 平 林 卓 郎	地 理 1 必	2

講義の内容・
授業スケジュール

英語の基礎は文法である。あまりむずかしくない文法の教科書を使い、高校英語の復習をかねながら更なる基礎の徹底と応用力の養成に力を入れる。一つ一つの重要な文法的意識をさまざまな形式の問題によって反復練習し、知識の徹底的習得を期す。一日一課づつ進み二十二課で終りとなるが、時間がある場合は、更に応用問題を使い、練達を目指す。
評価は年2回の試験と出席点によって決める。

教 科 書

現代ミニマム英語研究会編著『ESSENTIAL GRAMMAR for COLLEGE COURSES』
南雲堂 ￥1,800

担当者名	配当学科	単 位
すず き み き こ 鈴 木 美 貴 子	歴 史 1 必	2

講義の内容・
授業スケジュール

一年を通して、テキストに従い、これまでに身につけてきた英語の知識を整理し、日本人がしやすい誤りを確認しながら、英文を書く練習をする。随時、与えられたテーマについてのパラグラフを作り、提出する。
また、英会話に役立つように、会話作文の練習もしていく。
毎回、イディオムを少しずつ覚え、身につけていく。

成績評価の方法

前期・後期の定期試験、小テスト、提出物、出席状況等により、総合的に評価する。ただし、欠席率が3分の1を超えた場合は不合格とする。

教 科 書

EVERYDAY ENGLISH
COMPOSITION
『英語らしい英語の表現演習』 金星堂 ¥1,200

そ の 他

演習科目であるので、予習、及び、授業への積極的参加が強く要望される。

担当者名	配当学科	単 位
き も と き く こ 木 元 喜 久 子	歴 史 1 必	2

講義のねらい

国際化の時代の到来と共に、日本人が世界の他の国々の人たちと接する機会が増えている。交流が深まるにつれて、いろいろな問題について意見を交換する必要が出てきている。現代はまさに、自分の思っていることをはっきり表現する「発信」の時代である。そこで、この授業では英字新聞に掲載された記事を教材として、時事的なトピックのリーディングを通して明快で簡潔な時事英語の表現を学び、わかりやすい英語を書くことをめざす。創意工夫された練習問題を通して、記事に出てくる語いから、その派生語、文法構造と順をおって無理なく学び、最後にこれまで練習を通して学んだ構文を使って、記事に関連した内容の英文を書く練習をする。

また、日常の英会話を楽しく生き生きとしたものにする手助けとして、ほんものの音の響きでお互いの心を通わせる短い表現を身につける教材を併用していく予定。

成績評価の方法

平常授業の学習状況と前・後期の定期試験の成績に基づいて総合的に評価する。ただし平常授業の欠席率が3分の1を超えた場合は単位を認めません。

教 科 書

- 1) 『時事英語で学ぶ英作文』 英宝社 ¥1,751
- 2) 『七語までの心を通わせる会話表現』 開文社 ¥1,200

そ の 他

履習者は日頃から時事的な問題に関心を持ち、テレビや新聞で毎日英語のニュースを聞いたり読んだりする習慣を身につけてもらいたい。また、必ずきちんと予習した上で出席し、積極的に授業に参加すること。

担当者名	配当学科	単 位
こ 富 古 富 猛	歴史 1 必	2

講義の内容・
授業スケジュール

現代社会は20世紀末を迎え、政治的、経済的に多様化を深めて行く中で混沌としてきたことは我々みんなが肌身で感じていることではなからうか。その中で日本人としてどのように考え、行動しなければならぬかを常に自らに問いながら生活せざるを得ない時代に入ったと言える。イデオロギーの対立性が穏和された中で、民族的な闘争が繰り返されていることを、歴史を学ぶ皆さん方も無視するわけにはゆかないであろう。それぞれの国、それぞれの民族がその独自性を主張する中で、EUやAPECにみられるように地域的地盤、歴史的背景の中で、大きく統合しようとしている。まさに各々の生き残りをかけたゲームが始まっているのではなからうか。

その危機感を憶えないとしたら大学生として究めて自覚に欠けていると批判されても仕方がないだろう。やはりこれからは考え、意見を主張する語学力が必要とされることを認識して、対処せざるを得ないだろう。そのための方法論等含めて、授業の中で身につけるべく進めて、お互いに学ぶことを目指すつもりです。

成績評価の方法

口語表現に応用できるテキストを使用することによって、パターン・プラクティスを心がけてもらいます。そのために授業中に何人か発表する方式をとり、平常点に加算します。そのためには予習を怠らないことを願っております。また欠席率は3分の1を超えない事。

前、後期の筆記試験の結果を含めて総合的に評価し、ペーパー、テストのみにかたよらない様配慮するつもりです。

教科書

『アメリカの民謡と伝説』 金星堂 ¥1,100

その他

テープ等により聞く力を身につけることを切望します。

担当者名	配当学科	単 位
かん 崎 神 崎 浩	歴史 1 必	2

講義のねらい

受験英語で試験のために点を取る英語を勉強してきた人達に、口語英語とはどのようなものかを勉強してもらおう。先ず易しい単文を暗記してもらい、それをシチュエーションに応じて使い分ける練習をする。英語は黙読ではなく、出来るだけ発音して覚えるようにしたい。

講義の内容・
授業スケジュール

前期は出来るだけ沢山の例文を暗記する。そして、暗記した文を書き取れるようにする。それと同時に日本語と英語の発想の違いを勉強する。

後期は日本語的な表現をいかにして英語らしい表現にするかを、口語的な表現を中心に勉強する。

成績評価の方法

授業中に小テストを行ない、前・後期の期末テストと合計して評価を出す。ただし、平常の授業の欠席が授業日数の3分の1を超えた時は、自動的に採点不能となり不合格となる。

教科書

『英語表現の常識』 ジャパン タイムズ社

担当者名	配当学科	単 位
う つの みや 宇都宮 秀 和	歴史 1 必	2

講義の内容・
授業スケジュール

歴史とおなじように、言語（われわれの場合英語）も日々変化をしている。基本的な文章構造は変わらないものの、新しい単語は日々生まれているのである。日々の生活と関係のない英文を作ってもあまり意味はないであろう。新しい出来事を、新しい単語を使いながら表現して行くことを目指す。

成績評価の方法

語学の成績は、年2回のペーパー・テストだけでは正確にはかれないので、平常授業のパフォーマンスを重視する。出席は、3分の2以上を合格とする。

教 科 書

『ニューストップックで学ぶ英作文』 木塚晴夫著 金星堂 ¥1,650

担当者名	配当学科	単 位
いち かわ 市 川 ひとし 仁	社会 1 必	2

講義の内容・
授業スケジュール

日本人が犯しやすい誤用例を検討しながら、日英の発想法の違いを考えてゆくことで、英語の発想法の違いを考えてゆくことで、英語の発想法についての理解を深めるようにしたい。さらに練習問題を重ねることで、より英語らしい表現とは何かを学んでいく。予習を前提とし、発表を中心として授業を進めてゆく。前期はテキストを中心に授業を進め、後期は前期の学習を応用して、自由英作文も書いてもらう予定。

成績評価の方法

授業中の発表、小テスト、前・後期の定期試験による。発表、小テスト、定期試験を総合して評価する。出席は総授業回数の3分の2以上とする。

教 科 書

『英作文の盲点200』 マクミラン・ランゲージハウス ¥1,650

担当者名	配当学科	単 位
井 出 功 一	社会 1 必	2

講義の内容・
授業スケジュール

テキストはフロリダ大学のピゲロー教授が、外国語として英語を学んでいる学生のために編纂したもので、主として速読と理解力の養成に重点が置かれている。

内容は植民地の建設、独立戦争、南北戦争、産業の発展、辺境の削減などの六つのエッセイが、アメリカの歴史的発展の姿を通して興味深く描かれている。

英文のスタイルは簡潔、明快なので、内容のみでなく、英文法や英作文にも触れながら講義を進めてゆく。

なお、英語を的確に理解し、表現する能力を高めるため、口語的表現と文語的表現、英米用法の相違、情報量の度合いにまで触れた文法書も使う予定。

教 科 書

The Building of the Nation 『アメリカの形成』（成美堂）

担当者名	配当学科	単 位
水 崎 の 野 里 子	社会 1 必	2

講義のねらい

日常生活に必要な基本的な文章が書け、話せるようになることを目的とする。

講義の内容・
授業スケジュール

授業は指定のテキストを用い、基本的なヒアリング、ライティング、スピーキングの徹底的な練習を行う。

履修上の留意点

前期、後期共同テキストを使うが、授業の参加、平常点を重視するので学生の方々には出来るだけ授業に出席することが望ましい。

成績評価の方法

テキストは『Writing Everyday English (日常英語会話・作文)』、マクミランランゲージハウス、1,650円を使用する。

参 考 書 等

参考書の指定は特にない。

担当者名	配当学科	単 位
まきの まさひでの 牧 野 正 秀	社会 1 必	2

講義のねらい

どの分野の英語を理解するにも基本は大切であり、くり返して理解しなければならないものと思います。今まで学んで来た英語の基本的知識（単語の意味だけでなく、構文の知識）を復習再確認しながら、新聞英語や雑誌英語に代表されるマスコミ時事の高度な英文理解出来るようにしたいと思います。その上で英語表現が出来れば最高です。このテキストで勉強した事を、実際英字新聞中から興味のある記事を見つけ出し、自分なりに少しずつ、表現方法などを理解し自己表現に近づけていく努力をすることが大切だと思います。

基本的な知識と心得から始まり、このテキストで取り上げた英文はいずれも日刊新聞（英字）から、文化、社会、経済、世界情勢、スポーツ、芸術などのトピックに分けて、易しく短いものから、比較的長く、語彙レベルの高いものや、内容の難しいものへと移行するように採録されています。詳しく注釈もついているので、習熟すれば理解しやすいと思います。作文などの表現問題もあるので都合のいいテキストです。新聞英語は、特に専門的な知識を必要とする内容のもの以外は、できるだけ速やかに、簡潔に、正確に、かつ分かりやすく事柄を伝達するのが使命ですから、英文は本来分かりやすい平明なものです。十分に予習して授業に臨む事が大切な事です。

成績評価の方法

前期・後期の定期試験の結果ならびに、平常点（教室での発表や出席）によって行います。

教 科 書

テキスト：『1995/96 Edition
Newspaper English』成美堂

担当者名	配当学科	単 位
いわた ようこの 岩 田 洋 子	社会 1 必	2

講義の内容・ 授業スケジュール

毎回90分の講義で、A witty Short Story を①内容把握、②聞き取り練習、③会話練習、④作文練習など徹底的な演習形式で使える口語表現を学ぶ。更に平易な語彙を用いて、より深い内容に富んだ表現を学ぶ。言葉は頭だけで覚えるものではなく、体得するもの、感得するものである。音色や香りや匂いがあることを知っていただきたい。

成績評価の方法

授業中における発表（年10回）、レポート（年2回）前・後期の定期試験、練習問題テスト（年4回）に基づく。全評価のうち、授業中における発表、練習問題テストが50%、レポート、前・後期の定期試験が50%で評価する。ただし、欠席率が3分の1を超えた場合は、試験を受ける資格なし、不合格とする。

教 科 書

『ウイットを楽しむ総合英語』成美堂 ¥1,600

そ の 他

「恐怖」「完璧」症候群追放！間違いを恐れず、楽しむことこそ上達への第一歩！予習・復習を励行する。授業には積極的に参加すること。

担当者名	配当学科	単 位
こ ばやし ひで こ 児 林 英 子	社会 1 必	2

講義の内容・
授業スケジュール

英語学習にあたって、その文化的背景を見過すことは出来ない。かつての勢いは衰えたとは云え、アメリカの文化は20世紀の文化をリードし続けて来た。いくつかのビジネスを通して、この世界的潮流に深く係って来たアメリカ文化の形成と役割を、平易な英語で読みとって行きたい。

成績評価の方法

授業中、可能な限り多くの学生が、発表出来るように心がけたい。その結果と、前後期の試験を中心に評価する。出席は、前後期各々3分の2以上の場合、受験資格ありとする。

教 科 書

『Big Business in America』 成美堂

担当者名	配当学科	単 位
まし もと しげ かず 岸 本 茂 和	経済 1 年	2

講義の内容・
授業スケジュール

平易な英文で書かれたテキストの題材は、マーケットリサーチ、通貨、コンピュータ、貿易、ブロック経済圏(APEC/NAFTA)などにわたり、さらに経済の基礎知識や最新の経済事象も扱われる。英語の学習上からいえば、基礎文法のいっそうの理解にたつて、語彙・慣用語句などを扶殖することを期する。とくに経済の分野における専門用語や時事用語に馴れ親しんでゆき、「タイム」「ニューズウィーク」などの週間雑誌や英字新聞を読むための基礎的学習になることを期待する。

成績評価の方法

試験は中間試験と定期試験の年2回。60点以上をパスサブルとする。年間授業時間の3分の1以上を欠席した場合は不合格とする。

教 科 書

デヴィッド・トロケロシヴィリ『よくわかる経済英語』(南雲堂 定価1,800円)

参 考 書 等

授業にはかならず英和辞典を携行すること。

担当者名	配当学科	単 位
いし 石 はら 原 こう 孝 さい 哉	経済 1 年	2

講義のねらい

日常的な言葉を使って意志伝達ができるようになることを目標とする。
特に重点をおくのは、

- 新聞英語に代表される日常表現に慣れる。
- 英文で外海と通信するのに必要な基本的文章表現を覚える。
- 英文ビジネスレターを書くのに必要な基本的文章表現を覚える。

講義の内容・
授業スケジュール

授業は演習方式で、必ず十分な予習をして出席すること。出席を重視することはもちろん、レポート、小テストなど平常点を高く評価する。試験は中間・期末の2回。

教 科 書

- 『Sketches of Life』 三修社 ¥1,400
- 『A Shorter Course in Writing』 南雲堂 ¥900
- プリント

担当者名	配当学科	単 位
まきの 野 てる 輝 よし 良	経済 1 年	2

講義の内容・
授業スケジュール

英語による自己表現能力を身につけるには、英文をよく読み、内容を理解し、文の構造や語句の用法に習熟し、それらを駆使出来るように不断の努力が必要である。この努力を怠っては英語の上達は望めない。

この目的達成のために、授業においては英語の短文をくり返し読み、その英文に用いられている語句の用法を練習し、その後一度学習した英文の構造、語句を用いた和文英訳を行なうことにより学習の徹底をはかる。

成績評価の方法

授業はあくまでも学生中心に行なう。すべての学生が緊張して授業に参加出来るように毎時間一回は指名してリーディング、解釈、和文英訳等を行なうようにする。その都度チェックしておき成績評価の参考にする。

小テストとして5課終わった時点で、英文和訳、語句の運用、和文英訳等々の習熟度テストを行なう。期末テストは与えられたテーマを英文で書くものとする。

成績評価は授業中の発表、小テスト、期末テストを総合して行なう。ただし未受験分は0点となるので要注意である。

教 科 書

Systematic English Composition
『英語表現への道』 成美堂 ¥1,300

担当者名	配当学科	単 位
おがさわら 小笠原 隆 元	経 済 1 年	2

講義の内容・
授業スケジュール

週に一度づつの教場での授業であるが I A のクラスでは、「これまで学習した英語力を基礎として、英語の言語運用能力の向上」をめざすことが望まれる。しかしとても教場に出るだけでは実力向上は実現出来ない。実際に運用出来る英語力とするためには、ただひたすらに自分で積極的に努力前進してほしい。まず音読が自信を持って出来ることが必要であるので、テキストのテープを全学生が所持して聴取と音読に心がけてほしい。

履修上の留意点

英語による自分の意志伝達力を高めるために年間、音読テープ提出（2～3回）、英文エッセイ提出（2～3回以上）を課す。読み、書き、話して、考えることが英語で出来れば将来大いに情報知識の伝達範囲の拡大と共に視野展望が無限にひろがることを夢見て精進してほしく思います。

成績評価の方法

成績評価については、平常点・提出レポート・テープ音読・他の総合的評価で行うが、諸君の積極的対応を念ずるのみ。

授業に出る時は、テキスト、辞書、テープ等を持参するのは当然のことと心得ることを強調したい。

教 科 書

テキスト選定は、(受講学生諸君の要望や実力度も不明であるが、当初は次のものを選定した。)
1. 『発信する英語表現』 1,700円 (三修社) 他にも、受講生が確定したら、夏頃に追加指定をする予定。

そ の 他

第一回目の授業に必ず出席して諸資料を受取り、提出物を出すこと。

担当者名	配当学科	単 位
(前期) 前 田 だ 田 おさむ (後期) 林 明 あき 人	経 済 1 年	2

講義の内容・
授業スケジュール

会話にでてくる慣用表現を、リスニングをまじえて学び、短文表現を徐々に身につけます。各授業で「場面」にあった表現をつみかさね、一般に日常生活で出会う場面に対応できるようにします。

成績評価の方法

前期のみ —— 日常評価（クラスでの発表）と小テスト（2回程度）及び前期テストによって前期評価をします。総合の評価は、後期担当の林先生がいたします。

教 科 書

「英語でインターアクション」 南雲堂 ¥1,600

担当者名	配当学科	単 位
かわ また よう た ろう 川 股 陽 太 郎	経 済 1 年	2

講義の内容・
授業スケジュール

これまでに諸君が取得した英語力をもとに、リスニング、コンプリヘンション、スピーキング、ライティングの能力を高める訓練をおこなう。と同時に、文化的背景を説明し、教養を身につけるようにする。

言い換えると英語を耳でとらえ、その内容を理解し、耳でとらえたものを口から出す訓練をする。また、テキストに出てくる慣用句を参考にして、英語を書く練習をする。聞き取る能力がなければ、相手の言っていることを理解することは出来ない。従って最初からコミュニケーションは成立しないことになる。聞きとる力と話す力（リスニング、コンプリヘンション、スピーキング）は不可分の関係にある。三つの能力、すなわち、英文の内容を読み取る力、英語を聞き取り話す力、英語で文書を書く力、三つの別々のものであり、個々に訓練し、能力を身につけるようにしたい。

授業ではテープを極力用いる。発音、イントネーション、アクセントはもちろんのこと、大きな声で、内容にそくして、なめらかに読む練習も大切にしたい。

成績評価の方法

授業中における演習、発音、小テストによる。5段階評価で言えば、発表時の声が小さい場合、最終評価で5は有り得ない。授業中の演習・発表の合計（100点）、授業中の小テスト・レポートの合計（100点）とし、両者を等価に評価する。従って、出席と評価は自動的に連動することになる。欠席率が三分の一を越えた場合は不合格となる。

教 科 書

『Take 20 ショーター・リスニング』700円（桐原書店）
『Take 20 総合演習』1,100円（桐原書店）
補助教材としてプリントを使用する。これは適宜配布する。

担当者名	配当学科	単 位
まる こ てつ お 丸 小 哲 雄	経 済 1 年	2

講義のねらい

時事問題を素材とした表現演習。社会現象の捉え方とその分析と総合によるテキストの読解力と英語表現力を併せて涵養します。言語意識を高め、世界の現象を知り、その知識を基にして、日本のこと、自分自身のことについてのアイデンティティを確立しつつ、自分のテキスト（英作文）を生産してもらいたい。「時代を読む」ために必要な知識、富、暴力、権力、といったものが社会・経済・政治のなかでどんなかたちをとっているのかに焦点を合わせながら、語彙、英語のヴァリエーション、パラグラフの読み方に留意し、それを自分の現実的な自己表現として問題として捉え直しつつ、英語表現を目指します。そのためには英字新聞・雑誌の購読はこの演習の前提条件となります。

講義の内容・
授業スケジュール

20分間を教材（テストとテープ）を利用してリスニング・タイムとして、70分をライティング・タイムとします。リスニング・タイムは語彙と総理解を、ライティング・タイムはテキストの内容に関する練習問題を通して自己表現できるように発信型の能力を涵養してゆきます。集中的に時事用語を習熟するために毎授業小テストを行ないます。レポート（英文5頁）提出もあります。

成績評価の方法

出席10%、平常テスト40%、前期・後期のターム・ペーパー（レポート作成）10%、前期・後期の語学試験40%などの総合評価。クラスでの発表者には別途評価。

教 科 書

テキスト：『時事英語で学ぶ英作文』（英宝社 1,751円）
『新聞英語の基礎チェック』（金星堂 1,100円）
参 考 書：随時指示し、適宜コピーも配布します。

担当者名	配当学科	単 位
なか お しまん こう 中 尾 俊 光	経 済 1 年	2

講義の内容・
授業スケジュール

英作文演習をただちにSpeakingの力へと転化できるようにとの意図で作成されたテキストを用い、英語による自己表現ができるようになることを目指します。同時に、語い、慣用語句等の修得の努力も大切です。授業では2種類のテキストを使用します。予習を前提とした発表による演習形式を採ります。

成績評価の方法

(i)発表, (ii)小テスト・レポート等, (iii)前期試験, (iv)後期試験, 以上の4点をもとに総合評価します。

教 科 書

- (i) 「コミュニケーションのための口語英作文」 成美堂 ¥1,300
(ii) 「ネイティブ英語の慣用表現」 マクミラン・ランゲージハウス ¥1,800

そ の 他

履修者は、言語の持つ「文字」と同時に「音」の面にも十分な注意を払って下さい。テープによる「音」のチェック、聴解力・発話力の向上を目指して下さい。
なお、原則として、全授業回数の2/3以上の出席者を、成績判定を受ける有資格者とします。

担当者名	配当学科	単 位
すず き み き こ 鈴 木 美 貴 子	商 1 年	2

講義の内容・
授業スケジュール

一年を通じて、テキストに従い、これまでに身につけてきた英語の知識を整理し、日本人がしやすい誤りを確認しながら、英文を書く練習をする。随時、与えられたテーマについてのパラグラフをつくり、提出する。

また、英会話に役立つように、会話作文の練習もしていく。
毎回、イディオムを少しずつ覚え、身につけていく。

成績評価の方法

前期・後期の定期試験、小テスト、提出物出席状況等により、総合的に評価する。ただし、欠席率が3分の1を超えた場合は不合格とする。

教 科 書

- EVERYDAY ENGLISH
COMPOSITION
『英語らしい英語の表現演習』 金星堂 ¥1,200

そ の 他

演習科目であるので、予習、及び、授業への積極的参加が強く要望される。

担当者名	配当学科	単 位
あかし ゆうこ 赤 司 裕 子	商 1 年	2

講義の内容・
授業スケジュール

現在関心を集めている話題を取り扱ったテキストを使用する。具体的に色々な作業を課す演習形式の授業の中で、英語で自らの考えを表現する練習をする。

成績評価の方法

単位取得は、3分の2以上の出席を前提とする。平常点を重視し、発表や定期テスト等を総合して評価を行う。

教 科 書

『Alchemist』 (Harper colins)

そ の 他

予習必須。相当量の課題有り。授業中、積極的に参加して欲しい。

担当者名	配当学科	単 位
きもと きくこ 木 元 喜 久 子	商 1 年	2

講義のねらい

国際化の時代の到来と共に、日本人が世界の他の国々の人たちと接する機会が増えている。国際交流が深まるにつれて、いろいろな問題について意見を交換する必要が出てきている。現代はまさに、自分の思っていることをはっきり表現する「発信」の時代である。そこで、この授業では身近な出来事や今日の世界情勢について自分の意見を述べたり書いたりすることができるようなさまざまな表現を習得することをめざす。やさしい英語で表現されたニュースをまず耳から聴いて、そのニュースの中に出てきた重要な単語や役に立つイディオムを覚えると同時に、ニュースの内容についての会話表現を学ぶ。最後に、それまでに習得した表現力を駆使して関連のある応用英作文に挑戦してもらおう。

また、日常の英会話を楽しく生き生きとしたものにする手助けとして、ほんものの音の響きでお互いの心を通わせる短い表現を身につける教材を併用していく予定。

成績評価の方法

平常授業の学習状況と前・後期の定期試験の成績に基づいて総合的に評価する。ただし平常授業の欠席率が3分の1を超えた場合は単位を認めません。

教 科 書

- 1) 『ニュース・トピックで学ぶ英作文』 金星堂 ￥1,650
- 2) 『七語までの心を通わせる会話表現』 開文社 ￥1,200

そ の 他

履習者は日頃から時事的な問題に関心を持ち、テレビや新聞で毎日の英語のニュースを聞いたり読んだりする習慣を身につけてもらいたい。また、必ずきちんと予習した上で出席し、積極的に授業に参加すること。

担当者名	配当学科	単 位
かん ざき 神 崎	ひろし 浩	商 1 年 2

講義のねらい

受験英語で試験のために点を取る英語を勉強してきた人達に、口語英語とはどのようなものかを勉強してもらおう。先ず易しい単文を暗記してもらい、それをシチュエーションに応じて使い分ける練習をする。英語は黙読ではなく、出来るだけ発音して覚えるようにしたい。

講義の内容・
授業スケジュール

前期は出来るだけ沢山の例文を暗記する。そして、暗記した文を書き取れるようにする。それと同時に日本語と英語の発想の違いを勉強する。後期は日本語的な表現をいかにして英語らしい表現にするかを、口語的な表現を中心に勉強する。

成績評価の方法

授業中に小テストを行ない、前・後期の期末テストと合計して評価を出す。ただし、平常の授業の欠席が授業日数の3分の1を超えた時は、自動的に採点不能となり不合格となる。

教 科 書

『英語表現の常識』 ジャパン タイムズ社

担当者名	配当学科	単 位
こ とみ 古 富	たけし 猛	商 1 年 2

講義の内容・
授業スケジュール

現代社会は20世紀末を迎え、政治的、経済的に多様化を深め行く中で混沌としてきたことは我々みんなが肌身で感じていることではなかろうか。その中で日本人としてどのように考え、行動しなければならないかを常に自らに問いながら生活せざるを得ない時代に入ったと言える。イデオロギーの対立性が緩和された中で、民族的な闘争が繰り返されていることを、商業を学ぶ皆さん方も無視するわけにはゆかないであろう。それぞれの国、それぞれの民族がその独自性を主張する中で、他方EUやAPECにみられる様に地域的な点や歴史的背景の中で、大きく統合しようとしている。まさに各々の生き残りをかけたゲームが始まっているのではなかろうか。

その危機感を憶えないとしたら大学生として究めて自覚に欠けていると批判されても仕方がないだろう。やはりこれからは考え、意見を主張する語学力が必要とされることを認識して、対処せざるを得ないだろう。そのための方法論等含めて、授業の中で身につけるべく進めて、お互に学ぶことを目指すつもりです。

成績評価の方法

口語表現に応用できるテキストを使用することによって、パターン・プラクティスを心がけてもらいます。そのために授業中に発表してもらう方法を原則とした上で、平常点を加算します。基本は前・後期の筆記試験を目安とし、平常点とともに総合的な評価。また欠席率は3分の1を超えない事。ペーパー・テストのみに片寄らない様に配慮します。

教 科 書

『アメリカの青春像』 マクミラン・ランゲージハウス社 ￥1,200

そ の 他

テープ、映画等により聞く力を身につけることを切望します。

担当者名	配当学科	単 位
うつのみや ひでかず 宇都宮 秀 和	商 1 年	2

講義の内容・
授業スケジュール

子供は言語の天才であるとよく言われる。何故だろうか。かれらは、基本的な表現をまず身体で覚え、それらを場に応じて、どんどん応用していくからである。その意味では基本をしっかり身につけ、それを応用していく授業にしたいと思っている。下に記すテキストは、読み物、文法、練習問題、作文、会話などバランスよく計画されており、最終的には表現を目指している。

成績評価の方法

語学力の成績は、2回のペーパー・テストだけでは計れないので、平常授業のパフォーマンスを重視する。出席率は、3分の2以上を合格とする

教 科 書

田木健一 Simon Sanada 『基本英語表現法』 成美堂 ¥1,600

担当者名	配当学科	単 位
あんざい よしみ 安 齊 芳	法 律 1 年	2

講義の内容・
授業スケジュール

この授業では現代英語の表現演習を行なう。まず、モデルとなっている英文を読み、よく理解し、重要な単語や表現を覚える作業をする。次に本文の内容に関して英語で答える訓練をする。また、内容の理解とその上に立った応用力を要するブランクを埋める問題にも取り組む。英作文の項目では、なるべく自然な英語で表現する訓練をする。

成績評価の方法

授業中における平常点、中間試験、期末試験等を総合して評価する。学生諸君が留意すべき点は授業に出席するにあたって、必ず下調べをすること。また、遅刻や不正行為は、一切認めないものとする。授業回数の三分の一以上欠席した場合は不合格となるので注意すること。

教 科 書

- 1) "Communicative English Writing"
「現代英語の表現演習」 中田清一(他)著 成美堂 ¥1,350
- 2) 英和中辞典, 和英中辞典(大学生用のものであれば、出版社は特に指定しない。)

担当者名	配当学科	単 位
みわ ひさ え 三 輪 久 恵	法 律 1 年	2

講義のねらい

基礎的な表現から始めて、英語の運用能力をめざす。予習を前提とした演習形式で、普段の努力を重視する。

成績評価の方法

平常点、および授業中の小テスト・レポート等の提出物による。

教科書

教場にて指示する。

担当者名	配当学科	単 位
やま ぎし じ ろう 山 岸 二 郎	法 律 1 年	2

講義のねらい

日常生活でよく使われる基本的な表現を確認し、更にある程度まとまった長さの文章を書けるようにしたい。

講義の内容・
授業スケジュール

短文（プリント）を教材にして、挨拶・趣味・時間・天候・仕事（勉強）・一日の生活に係わる表現などを学ぶ。これを一通り学ぶと英文日記が書けるようになるだろう。日記を付け初めると自然に他人の書いたものの、言葉や表現に敏感になり、自分の文章を自省的に見るようになる。文学作品をはじめ、新聞・雑誌などの記事、電車の中の広告文にも、素晴らしい表現に出会い、喜びを経験した人も多だろう。言葉の力を知ったのである。こうなると語彙・表現法への関心は一段と高まり、学力も自ずと向上してゆく。

次に手紙を書いてみよう。友人に、両親に、あるいはまだ見ぬ未来のカレ・カノジョに。私宛の一通も忘れないでほしい。

成績評価の方法

出席を重視する。科目の性質からして当然のことであり、平常の学習と小テスト、提出物で総合的に評価する。定期試験は行なわないので、くれぐれも一回毎の授業を大切に！

担当者名	配当学科	単 位
まるこてつお 丸小哲雄	法律 1 年	2

講義のねらい

法律問題を素材とした英語表現。社会現象の捉え方とその分析と総合によるテキストの読解力と英語表現力をリンクさせて涵養します。リーガル・マインドと法的表現力とを培うために、法律用語に親しむ。言語意識を高め、世界の現象を知り、その知識を基にして、自分自身の考え方で自己表現できるように努めます。「時代を読む」ために必要な知識、富、暴力、権力といったものが社会・経済・政治のなかでどんなかたちをとっているのかに焦点を合わせながら、同時にその読みの段階では専門的な語彙、英語のヴァリエーションのあり方、パラグラフの展開の仕方を研究します。テキスト内容を自分の現実的な問題としてリンクさせ、自らを異化して捉え直しつつ、考える英語表現に親しむことで、個性ある発想法を修得してもらいたい。多少間違えても、完璧主義者にならないで自分の意見を表現できるように努めてもらいたい。日本語能力は英語表現能力に比例していますので、発想法の転換を必要とします。そのためには英字新聞・雑誌の購読はこの演習の前提条件となります。

講義の内容・授業スケジュール

20分間は教材（テキストとテープ）を利用してリスニング・タイムとし、70分をライティング・タイムとします。リスニング・タイムは語彙と総理解を、ライティング・タイムはテキストの内容に関して討論します。まず内容を捉えて、英語表現できるように工夫してゆきます。原則として毎授業、語彙を増すために小テストを行ないます。レポート（5頁）提出もあります。

成績評価の方法

出席10%，平常40%，前期・後期のターム・ペーパー（レポート作成）10%，前期・後期の語学試験40%などの総合評価。クラスでの発表者には別途評価。

教科書

アメリカ合衆国の法律入門（南雲堂 1,900円）
キャンパス・リスニング（成美堂 800円）

参考書

随時指示し、適宜コピーも配布します。

担当者名	配当学科	単 位
いわはらやすお 岩原康夫	法律 1 年	2

講義の内容・授業スケジュール

インターネットが地球を駆け巡り、通信衛星が日常生活にまで及ぶ、外国旅行も自国以外の人々との接触も一般化してきた。ボーダレスな国際化という現実によって、世界語とも言える英語はコミュニケーションの手段としてますますその比重を高めつつある。このような観点にたつて、このクラスの英語学習は意思伝達の向上を狙いとす。そのために、ある一定の基本的な英語のパターンの中で自分の考えや思想や感情を表現し、それを論理的に展開する力を養いたい。まず基本的な英語の構文と用法を把握し、テキストが目指す“writing, speaking, hearing”の総合的な英語の運用力を高めていく。その一方で、“assignment”を何度か課すことによって、動詞を中心とした一定の構文に基づく“sentence”レベルの自由な英文を作成してもらう。その際には、アメリカの大学で英語を“second language”として考える時に用いられている教材を応用教材として使う。そして、最終的には、自分の簡単な意思表現をまとまった形で表現できるレベルに達すれば、幸いである。

成績評価の方法

前期後期の試験60%，平常点40%を基準として、成績評価をする。平常点はクラスにおける participation と assignment によって判断する。

教科書

『英語らしい英語の表現演習』金星堂

その他

辞典の積極的な使用を望む。ワープロまたはコンピューターを使用することが望ましい。

担当者名	配当学科	単 位
み 三 うら 浦 ま 眞 り 理	法 律 1 年	2

講義の内容・
授業スケジュール

日常使用される基本的英語表現を完全に身につけること、またすでに身につけている単語を用いて、平易な単語を使って表現する力と作文する力を養うことを目的とする。従って、日常身の回りの色々な問題に対して、聴解力も含めて、そこから表現力、重要語句の発音、単語能力、文章（特に短文）作成能力を養い、最終的にあるテーマに関して英語で自由に表現できるようになることを目的とする。

成績評価の方法

授業中の発表、出席、予習（特に重視）、レポート、小テスト40%、前・後期の定期試験60%で評価する。ただし、平常授業時間の欠席率が3分の1を超えた場合は不合格とする。

教 科 書

『A BETTER WAY TO USEFUL ENGLISH』 英潮社新社 ¥1,200

担当者名	配当学科	単 位
あさ 朝 かわ 川 ま 眞 き 紀	政 治 1 年	2

講義のねらい

英語による意志伝達：入学時の英語を基礎として、英語の運用能力を目指す。

講義の内容・
授業スケジュール

国際化社会の現代において求められる、日常会話、旅行英語、ビジネス上の英語を題材にし、英語でコミュニケーションをとる練習をする。対話訓練、和文英訳、summary の作成などを中心に授業を進め、口語英語を習得していく。学生は辞書を有効に使用して語彙を補強し、十分予習をして、授業に備える。また、useful expressions は暗記するように心掛ける。

成績評価の方法

前期後期それぞれ一回ずつ提出するレポート、小テスト、前期、後期試験によって評価。出席を重視し、欠席が3分の1を超えた場合は不合格とする。

教 科 書

『英国旅行場面別英作文』 金星堂 ¥1,200

そ の 他

映画・音楽・英語ニュースなどを聞き、普段から英語に慣れておく。

担当者名	配当学科	単 位
いわはら やすお 岩 原 康 夫	政治 1 年	2

講義の内容・
授業スケジュール

インターネットが地球を駆け巡り、通信衛星が日常生活にまで及び、外国旅行も自国以外の人々との接触も一般化してきた。ボーダレスな国際化という現実によって、世界語とも言える英語はコミュニケーションの手段としてますますその比重を高めつつある。このような観点にたつて、このクラスの英語学習は意思伝達の向上を狙いとする。そのために、ある一定の基本的な英語のパターンの中で自分の考えや思想や感情を表現し、それを論理的に展開する力を養いたい。まず基本的な英語の構文と用法を把握し、テキストが目指す“writing, speaking, hearing”の総合的な英語の運用力を高めていく。その一方で、“assignment”を何度か課すことによって、動詞を中心とした一定の構文に基づく“sentence”レベルの自由な英文を作成してもらおう。その際には、アメリカの大学で英語を“second language”として考える時に用いられている教材を応用教材として使う。そして、最終的には、自分の簡単な意思表現をまとめた形で表現できるレベルに達すれば、幸いである。

成績評価の方法

前期後期の試験60%、平常点40%を基準として、成績評価をする。平常点はクラスにおける participation と assignment によって判断する。

教 科 書

『英語らしい英語の表現演習』 金星堂

そ の 他

辞典の積極的な使用を望む。ワープロまたはコンピューターを使用することが望ましい。

担当者名	配当学科	単 位
はなわ みちこ 埜 美 智 子	政治 1 年	2

講義の内容・
授業スケジュール

学生に英語に対する興味と向上心を増加させるために工夫しながら進めていきたい。学生が自信を持って国際人の一人として独自の意見が述べられるよう、その基盤となるよう読み、書き、話せる授業の流れを進めていく。その中から学生が犯しやすい誤り、文法的な分類も行いながら和文英訳、英文和訳の基本を身につけさせていきたい。声を出して練習し、機械的な繰返しではなく学生自らの中に主義、主張、思想、熱意ある生きた人間としての個性を出せば、と思っている。学生の勉強度を見るために時々、レポート提出、小テストを試みたい。出席は毎回取り、英語の積み重ねの大切さを自覚させる。

成績評価の方法

成績評価は出席率、普段の授業態度、レポート、定期試験等の総合点をつける。

教 科 書

『運命の扉』 南雲堂 ¥1,300

参 考 書 等

参考書は随時学生に話したり板書する。

担当者名	配当学科	単 位
やま 山 ぎし 岸 じ 二 ろう 郎	政治 1 年	2

講義のねらい

日常生活でよく使用される基本的な表現を確認し、更にある程度まとまった長さの文章を書けるようにしたい。

講義の内容・
授業スケジュール

短文（プリント）を教材にして、挨拶・趣味・時間・天候・仕事（勉学）・一日の生活に係わる表現などを学ぶ。これを一通り学ぶと日記が書けるようになるだろう。日記を付け始めると自然に他人の書いたものの、言葉や表現に敏感になり、自分の文章を自省的に見るようになる。文学作品をはじめ、新聞・雑誌などの記事、電車の中の広告文にも、素晴らしい表現に出会い、喜びを経験した人も多いだろう。言葉の力を知ったのである。こうなると語彙の蓄積、表現法への関心は一段と高まり、学力も自ずと向上してゆく。

次に手紙を書いてみよう。友人に、両親に、あるいはまだ見ぬ未来のカレ、カノジョに。私宛の一通も忘れないでほしい。

成績評価の方法

出席を重視する。科目の性質上当然のことであり、平常の学習と小テスト、提出物で総合的に評価する。定期試験は行なわないので、くれぐれも一回毎の授業を大切に！

担当者名	配当学科	単 位
かわ 川 て 手 ひろ 浩 かず 一	政治 1 年	2

講義の内容・
授業スケジュール

現代、人類の文明は高度に発展し、ほとんど極限状態にあるようである。しかし、反面、自然破壊はすさまじく、大きな世界的社会問題になっている。これは人類が自然のめぐみをすべて受益し成長、発展して来たことの認識不足から来ていることは間違いない。人類はもっと自然からのめぐみについて、深く認識し、多方面からの知識を吸収すべきである。

このような視点から、広い視野をもった、内容の英文（アメリカ英語も含む）に接してそれを消化（digest）してエッセンスをくみとることが必要である。

このテキストは現代の大学生にふさわしいコンパクトな読み物で、とくに身近な食生活に関するものが多く、具体的でわかりやすい。又英米人の特異なユーモアも入っている。

オールラウンドな練習問題も入っていて、自然に英語が身につくように作られている。もちろん、テープもついていて、リスニングの練習問題もあり、会話に応用できる。

とにかく定評があり、充実している。

履修上の留意点

外国語であるので辞書をよく調べて、できれば英和辞典、和英辞典などは、やや大きめのものをそろえたいところである。

参考書も大きめの語法辞典等、図書館等で利用されると良いと思われる。

ハンディなものも、出版されているので、講義中におすすめしたいと考えている。

教科書

Gifts of Nature 2 「自然の恵み」 南雲堂

担当者名	配当学科	単 位
かわ うち けん りゅう 河 内 賢 隆	経営 1 年	2

講義の内容・
授業スケジュール

冷戦時代の終焉と共に、世界は実に複雑に、目まぐるしく早いテンポで進んでいる。それだけに我々は、その渦に巻き込まれることなく、将来をしっかり見通す鋭い力を養わなければならない。そのような時代環境にあって、今後は、人権、飢餓、自然などが重要なテーマになってくるであろう。本授業では、アメリカの現代的な新聞ニューヨーク・タイムズに掲載された時代を先取りする記事を読みながら、問題意識を深め、未来を展望したいと思う。

成績評価の方法

授業中の発表（年約5回）短い質問（約3回）、15分テスト（8回）、前・後期の定期試験の結果、および出席点（但し、原則として授業日数の3分の2以上でなければならない）などのそれぞれを加えて評価する。なお、評価はテキストにより出来、不出来のバラつきが見られるので各クラスが公平になるように相対的に考える。

教 科 書

『ニューヨーク・タイムを読む』 桐原書店 ￥1,580

担当者名	配当学科	単 位
お がさわら りゅう げん 小笠原 隆 元	経営 1 年	2

講義の内容・
授業スケジュール

地球上に住する55億人以上の世界人口の中で、英語を用いる割合は3～4割にも及ぶと想定されよう。このクラスでは、「英語による意志伝達」をめざし、その実際の運用能力の開発と前進を心がけるのがねらいである。これまで6年以上にわたる英語力を何とか高めて大学生としての自信を深めてもらいたい。母語でも外国語でもまず、聴く、わかる、話せる、読める、書ける、考えると言う順序で言語運用能力は開発される。現今では全てのテキスト類にはテープが用意されているので積極利用することが大いに望まれる。

成績評価の方法

受講生諸君はテキスト、辞書、テープ等を持参して授業出席はもとより、年間数回にわたる音読テープ・英文エッセイ・レポート提出等を覚悟してもらいたい。成績評価は各個人の実績等の総合的評価で行う。

教 科 書

テキスト選定は受講生諸君の要望や実力が不明なれどもまず次のものを選定し、後に追加指定することもあるので心得てほしい。
①「読解のための総合演習」1,400円（三修社）他にも指定する予定あり。

そ の 他

第一回目授業には必ず出席して諸資料提出物を受取ること。

担当者名	配当学科	単 位
し みず ゆう じ 清 水 祐 次	経 営 1 年	2

講義の内容・
授業スケジュール

平易で自然な英文を書くことに習熟することをめざす。
身近な日常的主題をとりあげたエッセイ等の模範文を参考にし、その慣用的なイディオムや語句を利用して、簡単な英文から始めて、更にもう少し高度な英文を書く練習をする。

成績評価の方法

前期後期の試験、レポート及び平常授業中の発表や小テスト等によって総合評価する。
なお、授業時数の3分の1以上欠席した場合には、原則として単位の修得はできない。

教 科 書

Writing America—Current English Composition「アメリカを書く」 南雲堂 ¥1,500

担当者名	配当学科	単 位
や しま なお こ 矢 島 直 子	経 営 1 年	2

講義の内容・
授業スケジュール

教科書に出てくる種々の会話表現から、日常会話を学ぶ。予習を必要とする演習形式を取る。
年間を通じて2冊の教科書を使う。1冊では簡単な言い回しを学ぶ練習問題を解き、もう1冊ではより複雑な会話表現を学ぶ。後者の教科書では、多量の会話表現を読んで覚えるのみでなく、書いて覚える作業をする。目標は、基本的な表現から複雑な表現まで、言い表したり、書き表わしたりできるようになることである。

成績評価の方法

授業中にあてる回数が多いので、平常点が10%、前期中間テストと後期中間テストが30%、前期末試験と後期末試験が60%である。外国語の勉強には平常授業が大事なので、原則として、平常授業（前・後期の定期試験日、中間試験日は除く）の欠席率が3分の1を超えた場合は不合格とする。

教 科 書

- 1) 小池直己 「トータル／トータル21アプローチ」 北星堂書店 980円
- 2) 河田徳二 「英語発話演習」 金星堂 1,700円

担当者名	配当学科	単位
すずき みきこ 鈴木 美貴子	経営 1 年	2

講義の内容・
授業スケジュール

一年を通して、テキストに従い、これまでに身につけてきた英語の知識を整理し、日本人がしやすい誤りを確認しながら、英文を書く練習をする。随時、与えられたテーマについてのパラグラフをつくり、提出する。
また、英会話に役立つように、会話作文の練習もしていく。
毎回、イディオムを少しずつ覚え、身につけていく。

成績評価の方法

前期・後期の定期試験、小テスト、提出物、出席状況等により、総合的に評価する。ただし、欠席率が3分の1を超えた場合は不合格とする。

教科書

EVERYDAY ENGLISH
COMPOSITION
『英語らしい英語の表現演習』金星堂 1,200円

その他

演習科目であるので、予習及び、授業への積極的参加が強く要望される。

担当者名	配当学科	単位
あかし ゆうこ 赤 司 裕 子	経営 1 年	2

講義の内容・
授業スケジュール

現在関心を集めている話題を取り扱ったテキストを用いる。テキストの要約、及び自らのリアクションを英作文や発表を通じて表現する訓練を行う。

成績評価の方法

単位取得は、3分の2以上の出席を前提とする。平常点を重視し、発表、前・後期テスト等を総合して評価を行う。

教科書

『Alchemist』(Harper colins)

その他

予習必須。相当量の課題有り。授業は講義というよりも演習であり、積極的に参加する姿勢が必要。

担当者名	配当学科	単 位
木 元 喜 久 子	経営 1 年	2

講義の内容・
授業スケジュール

国際化の時代の到来と共に、日本人が世界の他の国々の人たちと接する機会が増えている。初めのうちは気候や季節の挨拶や自己紹介などで済むとしても、交際が深まるにつれいろいろな問題について意見を交換する必要がある。現代はまさに、自分の思っていることをはっきり表現する「発信」の時代である。そこでこの授業では、身近な出来事や今日の世界情勢について自分の意見を述べたり書いたりすることができるようなさまざまな表現を習得することをめざす。やさしい英語で表現されたニュースをまず耳から聴いて、そのニュースの中に出てきた重要な単語や役に立つイディオムを覚えると同時に、ニュースの内容についての会話表現を学ぶ。最後にそれまでに習得した表現力を駆使して関連のある応用英作文の練習をする。

また日常会話を楽しく生き生きとしたものにするため、ほんものの英語の音の響きでお互いの心を通わせに短い表現を身につける教材を併用していく予定。

成績評価の方法

平常授業の学習状況と前・後期の定期試験の成績に基づいて総合的に評価する。ただし平常授業の欠席率が3分の1を超えた場合は単位を認めません。

教 科 書

- 1) 『ニュース・トピックで学ぶ英作文』 金星堂 ¥1,650
- 2) 『七語までの心を通わせる会話表現』 開文社 ¥1,200

そ の 他

履修者は日頃から時事的な問題に関心を持ち、テレビや新聞で毎日の英語のニュースを聞いたりと読んだりする習慣を身につけてもらいたい。また、必ずきちんと予習した上で出席し、積極的に授業に参加すること。

担当者名	配当学科	単 位
田 中 保	経営 1 年	2

講義の内容・
授業スケジュール

口語英語において極めて使用頻度の高い基本表現を学び、英語的発想を知り、英語としての自然な発想に慣れて、英語の実用運用能力を培うようにする。授業は予習・復習を前提とした発表形式によっておこなう。

成績評価の方法

以下の項目を検討して、総合的に評価する。

1. 定期試験
2. 小テスト
3. 授業時の発表
4. レポート
5. 出席状況

教 科 書

『基本口語の英作文』（桐原書店） ¥1,430

英 語 I B

〈英語 I Bの授業内容と履修上の留意点〉

Reading and Listening Comprehension (Reading and Listening) : 入学時の英語を基礎として、より高度な構文の理解とspeed readingの基礎を身に付けます。

演習科目なので、全授業日数の3分の2以上の出席が必要です。レポート、小テスト、プレゼンテーションなどの課題を重視します。

担当者名	配当学科	単 位
おか ざき とし いち ろう 岡 崎 寿 一 郎	禅 1 必	2

講義の内容・ 授業スケジュール

文化相対論の「異なる文化の風俗・習慣についての批判・評価と同時に、その風土・歴史的背景を十分に考慮する」という観点からは、異文化についての学習の意義が理解されます。また、「外国語を学習することによって、母国語の限界が越えられる」という言語相対論によって英語学習の必要性が確認できるとおもいます。さらに、今日の言語発達史は、母国語を学ばずには、6才で基本的な文法力を、10才で基本的な抽象能力を、大学の二・三年生で高度な抽象能力を獲得することを明らかにしています。従って、大学の語学教育は、人間の能力の十全な開発と完成を目指す教育の発達段階にある学生たちにとって必須の教育過程であることがわかります。それ故、授業では、文法・文の構造についての理解を深めつつ、綿密かつトータルな読解によって国際化の時代に即応したグローバルな視野の養成を目指します。

成績評価の方法

授業では、読解の過程で文法・文の構造について適宜解説することによって、テキストの内容の正確な理解を目指します。理解を深めるために必ず予習をしてください。成績評価については、平常評価としての出席(50%)、前期試験に代わる夏季レポート(25%)、後期試験(25%)による総合評価とします。

教 科 書

『ドーキンス進化を語る』 鶴見書店 ¥1,339。

担当者名	配当学科	単 位
まえ だ おさむ 前 田 脩	禅 1 必	2

講義の内容・ 授業スケジュール

授業のはじめに10分~15分程度リスニングを行います。とりわけ前期はリスニングに力を入れて授業をすすめます。教材の他にもテープを用意します。テキストは毎回あてますので予習が必須となります。後期には、徐々にスピードをつけた読みを行います。さらに内容把握が適確にできるようにします。

成績評価の方法

授業中における発表等日常評価、出席率、前期・後期のテストを総合評価します。

参 考 書 等

- 1) 「リスニングの旅」 成美堂 ¥800
- 2) 「コンパクト文化志向の日本人」 英宝社 ¥1,854

担当者名	配当学科	単 位
みよし やすよし 三 芳 康 義	禅 1 必	2

講義の内容・
授業スケジュール

英国の文化や習慣を中心に、米国との比較を試みながら、その背景にある文化事情を理解するエッセイを読みます。予習を前提にし、毎回口頭による発表形式を用います。前期は、主に読解力を養うために、段落ごとの単位で大意を把握することを目標に精読をします。後期は、さらにこれを発展させて、ある程度まとまった英文を速読し、全体の大枠をつかんで要約する訓練を行います。本文に関する内容と関連のある英語の朗読を聞き取る練習も随時行います。必要に応じて、プリント等を配布します。

成績評価の方法

前期試験40%、後期試験40%、レポートを含む平常点20%。ただし、平常授業（前・後期試験日は除く）の欠席率が3分の1を超えた場合は不合格とします。

教 科 書

『英米文化事情』 郁文堂 ¥1,751

そ の 他

履修者には積極的に授業に参加してもらいたい。

担当者名	配当学科	単 位
やまぐち あきら 山 口 晃	仏教 1 必	2

講義のねらい

その時にわからなかった英文の或る内容も、一年間という時間の幅の中で、しだいにわかっていくということもあるので、一年間という授業の幅を重視したい。そのためには、学生と教師が問題を共有できる、そのような英文が望ましい。将来、宗教学（仏教）を専攻する学生であることを考え、予定ではまず、The Book of Knowledge等から、宗教に関係した項目を選び教材（プリント）を作ってみようと思う。その際、簡潔で、しかも内容の濃い英文の選択に留意し、学生たちと問題を考えていける教材にしたい。

講義の内容・
授業スケジュール

授業方法は、正確に英文を読むことを第一とするが、それはかならずしも単一の解釈しかありえないということではないので、学生たちの、そして教師の多様な解釈を授業の中で出し合う方法をとることになる。そのような多様な解釈の中から、より正確に英文を読み込む訓練をすることで、英語を読むことの「興味深さ」を感得してもらいたい。そして自分から進んで、関心ある英書を購入して読んでみようという姿勢を培ってほしい、というのが最大のねらいである。

リスニングは、かならずしも実用性のみこだわらないで、情緒豊かな英文や詩の朗読のテープ等も随時聴いていきたい。

教 科 書

The Book of Knowledge (Grolier) あるいはPenguin Booksより宗教に関係ある項目（初めはプリントの予定）。

担当者名	配当学科	単 位
たか 高 橋 佳 江	仏教1必	2

講義の内容・
授業スケジュール

高校や、大学入試のために学んだ英語学を落とすことなく、更に上の目標に向かって頑張っていく。正確な読み、ナチュラルスピード聞き取れる能力を養う。

聞き取り：使える英語を目指す。最終的には聞き取った文章が自分で言えるようにする。自宅学習が重要。

講 読：一回の授業で必ず何人も当たるので、毎回予習を欠かさないこと。授業時間内にあてて調べることのないように。高校時代にならった文法は意外に役立つ。苦手だった者は文法の教科書を参考にと良い。辞書（大学生・社会人向けの学習用、コンサイスなどの薄いものは不可）は必携。

成績評価の方法

前・後期の試験の平均が60点以上の受験資格のある者を合格とする。欠席が1/3を越えた者（前・後期合わせて欠席8回以上）、理由なく連続4回欠席した者は受験の資格がない。遅刻2回で欠席1回扱いとする。

教 科 書

未定（講読、聞き取り、各1冊）

担当者名	配当学科	単 位
うえ 植 村 恵 子	仏教1必	2

講義のねらい

英語IBという科目の到達目標である、入学時の英語力を基礎としてより高度な構文を理解し、聞きながら文章の大意を把握しその後の精読によってより一層の理解を深めることを一年を通じてのねらいとしたい。具体的には小説、エッセー及び現在の世界情勢を把握・理解する意味で時事に関するものをテキストとして選び基本的な文法事項にも注意しながら英文に親しみたい。それと共に英米人の持つ思想・感情を十分に理解し国際的視野を広め相互理解を深めたい。

講義の内容・
授業スケジュール

前・後期を通して毎時間なるべく多くの学生に少量ずつ音読してもらいその後どんな内容であるかを発表してもらおう。その発表に対する指導方法として、説明を補足し又予習の結果生じた疑問に答えていきたい。

成績評価の方法

出席状況、平常点（授業態度、発表の内容、小テスト）及び前・後期試験によって決める。

教 科 書

プリント教材使用。

担当者名	配当学科	単 位
あか し ゆう こ 赤 司 裕 子	国 文 1 必	2

講義の内容・
授業スケジュール

今日的なトピックを扱ったテキスト及びテープを用い、リーディングとリスニングの力を同時に高めることを目標とする。一文一文の訳読ではなく、パラグラフ毎の核をつかみ、英文章の組み立て方法に親しむ。リスニングに関しては、必要な情報の聞き取り、ディクテーションの訓練を行う。

成績評価の方法

単位取得は、3分の2以上の出席を前提とする。平常点を重視し、発表やテスト等を総合して評価を行う。

教 科 書

『海と環境』（三修社） ¥1,500

そ の 他

予習必須。加えて、テレビやラジオのニュース番組等を定期的に聴取するなど、リスニングに慣れようとする努力を要望する。

担当者名	配当学科	単 位
ぬま た あや こ 沼 田 綾 子	国 文 1 必	2

講義の内容・
授業スケジュール

まず映画は楽しむ事が第一。ストーリーはもとより配役、時代背景、音楽、衣装、インテリア、カメラワーク等々映画を構成する諸々の要素に興味を持つ事です。しかし何と云っても言葉です。ウッディ・アレンのせりふの面白さは他に類がありません。言語表現の裏にある微妙なニュアンス、詩的空間を見出したいと思います。各ユニットの始めに簡単な英語の説明文があります。この程度の英文を日本語（訳）の介在なく書けるようになりたいものです。

毎授業ビデオを見、せりふのテープを聞きます。単語、訳（意識）、問題集の予習はかならずしてくる事。毎回一回は当たります。

成績評価の方法

二回の期末テスト、原則としてオープンブックテストです。一学期のテスト時はすべて持込み可です。テキストから出題します。後期は前もって主題を与え、論文形式のエッセーを一時間内で書いてもらいます。メモのみ持込み可、欠席は六回以上は危険信号。あぶない人はレポートを提出する事。ポップクイズもします。

教 科 書

『カイロの紫のバラ』 松柏社 ¥1,751
時にロックの詩（プリント）を読みテープを聞きます。

そ の 他

時間があれば他にウッディ・アレンの別の映画、又はロックのビデオを見せたいと思います。

担当者名	配当学科	単 位
み よし やす よし 三 芳 康 義	国 文 1 必	2

講義の内容・
授業スケジュール

歌や街頭でのインタビュー、そして大統領の演説等、さまざまな文体で表現されたアメリカ英語の、特に口語表現を学びます。予習を前提にし、毎回口頭による発表形式を用います。前期は、主に読解力を養うために、段落ごとの単位で、ある程度精読を行います。後期は、全体の要旨をつかむことに重点を置いて、徐々に速読へと移行します。最終的には、自然なスピードで話される英語を聞き取り、リスニングの力を習得することを目指します。必要に応じて、プリント等を配布します。

成績評価の方法

前期試験40%、後期試験40%、レポートを含む平常点20%。ただし、平常授業（前・後期試験日は除く）の欠席率が3分の1を超えた場合は不合格とします。

教 科 書

『アメリカン・ドリーム 過去と現在』 郁文堂 ¥1,648

そ の 他

履修者には積極的に授業に参加してもらいたい。

担当者名	配当学科	単 位
まえ だ おさむ 前 田 脩	国 文 1 必	2

講義の内容・
授業スケジュール

授業のはじめ10～15分程度、リスニングを行います。前期はとりわけリスニングに力を入れ、教材の他にもテープを用意します。後期はテキストの読みのスピードをはやめ、しかも正確に内容を把握できるようにします。毎回あてますので、予習は必須です。

成績評価の方法

授業中の発表等、日常評価と出席率、前期・後期のテストを総合評価します。

教 科 書

- 1) 「TOEFL/英検のための基礎リスニングテスト」 金星堂 ¥980
- 2) 「マンチェスターの結婚・他」 北星堂 ¥1,100

担当者名	配当学科	単 位
あお やま 青 山 たもつ 保	国 文 1 必	2

講義の内容・
授業スケジュール

これまで学んできた英語の基礎を固め直して、われわれを取り巻く世界の現状を正しく認識していく力をたくわえたい。そのために英語の構文のきまりをきちんと自分のものにならなければならない。この訓練をしながら、活きのいい英文を読み進めていく。1語、1文の理解は当然だが、パラグラフ、あるいは章全体の大意のまとめ方の訓練も積みたい。毎授業、課題がでる。予習と復習を欠かしてはならない。

成績評価の方法

毎授業、練習問題や宿題など課題をだす。全評価のうち、授業中の練習問題の解答や宿題の成績の平均点が50%、前期および後期の定期試験の成績が50%とする。したがって、欠席が多いと良い成績は望めない。欠席率が3分の1を超えると、定期試験の成績とは関係なく単位取得は不可能となる。

教 科 書

『「タイム」と「エコノミスト」で読む日本の現状 JAPAN AS IT IS : READING TIME AND THE ECONOMIST』（金星堂）

参 考 書 等

適切な辞書と参考書は授業中に指示する。

担当者名	配当学科	単 位
おか ざき とし いち ろう 岡 崎 寿 一 郎	英 米 文 1 必	2

講義の内容・
授業スケジュール

文化相対論の「異なる文化の風俗・習慣についての批判・評価と同時に、その風土・歴史的背景を十分に考慮する」という観点からは、異文化についての学習の意義が理解されます。また、「外国語を学習することによって、母国語の限界が越えられる」という言語相対論によって英語学習の必要性が確認できるとおもいます。さらに、今日の言語発達史は、母国語を学ぶ子供は、6才で基本的な文法力を、10才で基本的な抽象能力を、大学の二・三年生で高度な抽象能力を獲得することを明らかにしています。従って、大学の語学教育は、人間の能力の十全な開発と完成を目指す教育の発達段階にある学生たちにとって必須の教育過程であることがわかります。それ故、授業では、文法・文の構造についての理解を深めつつ、綿密かつトータルな読解によって国際化の時代に即応したグローバルな視野の養成を目指します。

成績評価の方法

授業では、読解の過程で文法・文の構造について適宜解説することによって、テキストの内容の正確な理解を目指します。理解を深めるために必ず予習をしてください。成績評価については、平常評価としての出席（50%）、前期試験に代わる夏季レポート（25%）、後期試験（25%）による総合評価とします。

教 科 書

『「タイム」と「エコノミスト」で読む日本の現状』 金星堂 ￥1,750。

担当者名	配当学科	単位
おう 逢 見 明 久	英米文 1 必	2

講義の内容・
授業スケジュール

詩人・劇作家・小説家・童話作家・機知の人など、多彩な顔を持つオスカー・ワイルドの作品から、童話集と風習喜劇の代表作『真面目が大切』を取り上げる。それと並行して、BBCのニュース番組等を使って英語の聞き取りの力を養う。英語を聞くのは、重要な作業である。しかし、それだけで終わらせては、一方的に伝えられる情報の受け手の立場を体験するにすぎない。情報を発信する側に立つことも必要である。言葉は伝達されなければ本来の意味を失う。音読の実践は常に言葉に命を与える作業にはかならない。それは聞き取りの力のみならず、読解力にもつながってゆく。したがって、この授業では、英語の音感や言葉のつながりを意識した音読も聞き取りと併せて採り入れている。

成績評価の方法

聞き取りテスト（毎回）、レポート（年2回）、授業中における発表（年約10回）、前・後期の定期試験の結果から判断する。総合的な評価の割合は、聞き取りテスト、授業における発表が50%、レポートが20%、前・後期の定期試験が30%である。ただし、平常授業の欠席率が3分の1を越えた場合は、不合格とする。

教科書

- 1) 『真面目が大切』 北星堂書店 ¥1,200
- 2) 『幸福の王子・他』 北星堂書店 ¥980

その他

毎回授業で聞き取りに使ったBBCのニュースは、英字新聞で確かめて、英語の語彙を増やすことを心がけて欲しい。なお、その年の英字新聞は大学の図書館の閲覧室に必ず保管してあるので、問い合わせるとよい。

担当者名	配当学科	単位
おち 落 合 和 昭	英米文 1 必	2

講義の内容・
授業スケジュール

この科目の目的は現代口語英語の読解にある。現代の読み物（特に、現代小説や推理小説等）には、いわゆる、「会話表現」や「口語表現」が多く見られるので、口語英語を理解することは現代の読み物を読む場合、大いに助けになる。

授業は大きく分けて「ヒアリング」、「速読」、「講読」の3つからなる。ヒアリングは毎回、「速読」は年に五回、「講読」は毎回行う。通常は、「ヒアリング」の時間が20分前後、「講読」が70分前後である。「ヒアリング」は、主として、短い会話文や文章を聞き取ったり、ディクテーションを課したりする。「速読」は多くの量の英文を速く意味を把握するような練習問題を課す。「講読」は読んで、訳してもらおう。徹底した演習形式をとるので、学生の予習を前提にして、授業は進める。

成績評価の方法

全評価のうち、前・後の定期試験は25%、練習問題テストは25%、発表（「ヒアリング」の書取り、「読解」、レポート、クイズ等）が50%である。出席が全授業（定期試験や練習問題テスト等は除く）のうち3分の2に満たない場合は「不合格」とする。

教科書

- 1) 『10分間ヒアリング』 桐原書店 680円
- 2) 『5分間口語英語表現』 南雲堂 900円
- 3) 『一幕ものドラマ傑作選』 マクミラン・ランゲージハウス 3,000円

担当者名	配当学科	単 位
こほり さぶ ろう 小堀三郎	英米文 1 必	2

講義の内容・
授業スケジュール

英文の伝達内容をできるだけ早く全体的に捉えることに重点を置く。過度に文法に頼ろうとすると文章全体の理解が二次的になってしまい、「英語」そのものにとらわれてしまう結果、部分的に解読できてその文章の意図する点を見失いがちになる。講義内容はカセットの効率的使用で耳に慣れるようにするとともに、本文内容の理解を練習問題を通して確認して行く。前期終了時には自らこの方法で英文に挑戦する自発性の高揚を目標としたい。辞書の利用法をも学ぶための常時携帯を心がけて欲しい。

成績評価の方法

成績評価の条件としては、授業時の発表、ブリーフ・テスト、定期試験（又はそれに準ずる試験）などを考えている。当然ながら出席は重視される。

教科書

「日米文化の出会い」 成美堂 ¥1,600

担当者名	配当学科	単 位
ぬま た あや こ 沼田綾子	英米文 1 必	2

講義の内容・
授業スケジュール

ウッディ・アレンは言葉の天才です。彼の数々の映画の中でも『アニー・ホール』は際立っています。彼の鉄砲玉のような英語は初めはとっつきにくいかも知れませんが、慣れると語尾がはっきりしているので理解出来るでしょう。あふれるような言葉の力、特異な表現、ユーモア、ジョーク等々一年生にはむずかしいかもしれません。説明過多にならないようじっくり読んで行きましょう。各々の配役のアクセントの違い、言葉のニュアンスをさぐりましょう。毎授業ビデオとせりふのテープを聞きます。単語、大体の訳、エクササイズは予習を前提とします。口語辞典が必要かもしれません。

成績評価の方法

二回の大きなテスト（期末）。原則としてオープンブックテストです。後期のテストでは各自一つのテーマを決めてウッディ・アレン論を書いてもらいます。メモのみ持込み可。欠席は六回以上は危険信号。あぶない人はレポート提出可、ポップクイズもあります。毎回一度は当たります。通常の授業時の態度も考慮に入れます。

教科書

『アニー・ホール』 松柏社 ¥1,845
時々ロックの詩又はアメリカ現代詩を読みます。プリントを用意します。

その他

英語を学問として勉強するというよりアレンの言語そのものが持つたぐいまれな豊かさ、面白さを中心に授業を進めます。時間が有れば「ロックの歴史」というビデオを見ます。

担当者名	配当学科	単 位
みよし やすよし 三 芳 康 義	地 理 1 必	2

講義の内容・
授業スケジュール

文明社会にどっぷりつかっている現代人にとって、自然とは何か、という問題をエコロジーの面から問いかけるエッセイを読みます。予習を前提にし、毎回口頭による発表形式を用います。前期は、主に読解力を養うために、段階ごとの単位で精読をします。後期は、精読から各段落の大意をつかむことを重視し、徐々に速読へと発展させて行くことを目指します。英語のリズムを習得するために、本文を朗読したテープも随時利用します。必要に応じて、プリント等を配布します。

成績評価の方法

前期試験40%、後期試験40%、レポートを含む平常点20%。ただし、平常授業（前・後期試験日は除く）の欠席率が3分の1を超えた場合は不合格とします。

教 科 書

『自然との語らい』 英宝社 ¥1,700

そ の 他

履修者には積極的に授業に参加してもらいたい。

担当者名	配当学科	単 位
おおた なおや 太 田 直 也	地 理 1 必	2

講義の内容・
授業スケジュール

これまで学んできた文法事項を駆使して、英文を出来る限り速くかつ正確に読むことを目標とする。可能な限り多くの英文を読みたいので、限られた重要なものを除いてはパラグラフ単位で内容把握をしてゆくこととする。その過程で若干の英作文や文法事項の確認も行う。また教科書の内容に即して日本と英語圏の文化についても考える機会を持ちたい。

成績評価の方法

前・後期の試験の成績、年数回行われる小テストの結果、学習態度（授業中の発表や予習状況など）により総合的に評価する。いわゆる「出席点」というものに関してはその存在を認めない。規定の回数の出席（全授業回数の3分の2以上）は当然の事とし、その条件を満たすことが出来なくなった時点で自動的に不合格とする。

教 科 書

『日本人の自己表現学』 金星堂 ¥1,750

担当者名	配当学科	単 位
うえ 植 村 けい 子	地 理 1 必	2

講義のねらい

英語 I B という科目の到達目標である、入学時の英語力を基礎としてより高度な構文を理解し、聞きながら文意の大意を把握しその後の精読によってより一層の理解を深めることを一年を通じてのねらいとしたい。具体的には小説、エッセー及び現在の世界情勢を把握・理解する意味で時事に関するものをテキストとして選び基本的な文法事項にも注意しながら英文に親みたい。それと共に英米人の持つ思想・感情を十分に理解し国際的視野を広め相互理解を深めたい。

講義の内容・授業スケジュール

前・後期を通して毎時間なるべく多くの学生に少量ずつ音読してもらいその後どんな内容であるかを発表してもらおう。その発表に対する指導方法として、説明を補足し又予習の結果生じた疑問に答えていきたい。

成績評価の方法

出席状況、平常点（授業態度、発表の内容、小テスト）及び前・後期試験によって決める。

教科書

プリント教材使用。

担当者名	配当学科	単 位
たか 高 橋 よし え 江	地 理 1 必	2

講義の内容・授業スケジュール

高校や、大学入試のために学んだ英語力を落とすことなく、更に上の目標に向かって頑張っていく。正確な読み、ナチュラルスピードで聞き取れる能力を養う。

聞き取り：使える英語を目指す。最終的には聞き取った文章が自分で言えるようにする。自宅学習が重要。

講 読：一回の授業で必ず何人も当たるので、毎回予習を欠かさないこと。授業時間内にあわてて調べることはないように。高校時代にならった文法は意外に役立つ。苦手だった者は文法の教科書を参考にすると良い。辞書（大学生・社会人向けの学習用、コンサイスなどの薄いものは不可）は必携。

成績評価の方法

前・後期の試験の平均が60点以上の受験資格のある者を合格とする。欠席が1/3を越えた者（前・後期合わせて欠席8回以上）、理由なく連続4回欠席した者は受験の資格がない。遅刻2回で欠席1回扱いとする。

教科書

未定（講読、聞き取り 各1冊）

担当者名	配当学科	単 位
あお やま 青 山 たもつ 保	地 理 1 必	2

講義の内容・
授業スケジュール

これまで学んできた英語の基礎を固め直して、われわれを取り巻く世界の現状を正しく認識していく力をたくわえたい。そのために英語の構文のきまりをきちんと自分のものにならなければならない。この訓練をしながら、活きのいい英文を読み進めていく。1語、1文の理解は当然だが、パラグラフ、あるいは章全体の大意のまとめ方の訓練も積みたい。毎授業、課題がでる。予習と復習を欠かしてはならない。

成績評価の方法

毎授業、練習問題や宿題など課題をだす。全評価のうち、授業中の練習問題の解答や宿題の成績の平均点が50%、前期および後期の定期試験の成績が50%とする。したがって、欠席が多いと良い成績は望めない。欠席率が3分の1を超えると、定期試験の成績とは関係なく単位取得は不可能となる。

教 科 書

『「タイム」と「エコノミスト」で読む日本の現状 JAPAN AS IT IS : READING TIME AND THE ECONOMIST』（金星堂）

参 考 書 等

適切な辞書と参考書は授業中に指示する。

担当者名	配当学科	単 位
ぬま た あや 沼 田 綾 子	歴 史 1 必	2

講義の内容・
授業スケジュール

この映画の魅力の一つは配役の妙味です。ポール・ニューマンが忘れられない味を出しています。ストーリーの面白さもさることながらせりふも仲々ユニークです。表現の込み入った箇所は繰り返しビデオを見てテープを聞きます。授業での逐語訳は致しません。単語を調べその他テキストの大体の内容を読み、エクササイズを予習した上での授業となります。単語や述語をおぼえる事は勿論大切ですがその「つなぎ」の部分はもっと大切です。冠詞の使い方はその一つの例です。中学三年程度の文法と単語力で完璧な英文を書ける事を学んでほしいと思います。

成績評価の方法

期末テスト二回。オープンブックテストです。前期はテキスト持ち込みのテストです。後期は主題を前もって教えた上で、論文形式のエッセーを一時間以内に書いてもらいます。ポップクイズも行います。又通常の授業態度も採点します。欠席は六回をボーダーラインとします。

教 科 書

『明日に向かって撃て』 NCI
アメリカ現代詩（プリント）を少々読みます。

そ の 他

特にありません。

担当者名	配当学科	単 位
おお たい なお や 太 田 直 也	歴 史 1 必	2

講義の内容・
授業スケジュール

自然な英語（特にイギリスの英語）に触れ、それに慣れて、最終的には自ら運用出来るようになることを目標とする。具体的には映画の脚本を用いて英語の日常的・慣用表現を学び、同時に解釈とヒアリングの練習も行う。年間を通じてこの形で授業が進められるが、後期は学んだ事柄を用いて自己を表現する練習も行うこととなる。

成績評価の方法

前・後期の試験の成績、年数回行われる小テストの結果、学習態度（授業中の発表や予習状況など）により総合的に評価する。いわゆる「出席点」というものに関しては、その存在を認めない。規定の回数（全授業回数の3分の2以上）は当然の事とし、その条件を満たすことが出来なくなった時点で自動的に不合格とする。

教 科 書

プリント使用。

担当者名	配当学科	単 位
やま ぐち あきら 山 口 晃	歴 史 1 必	2

講義のねらい

その時にわからなかった英文も、一年間という幅の中で、しだいに覚えていくということもあるので、一年間という授業の幅を重視したい。そのためには、学生と教師が問題を共有できるそのような英文がふさわしい。将来、歴史学を専攻する学生であることを考え、予定では、まず The Book of Knowledge 等から、歴史に関係した項目をえらび教材（プリント）を作ってみようと思う。その際、簡潔でしかも内容の濃い英文の選択に留意し、学生たちと問題を考えていける教材にしたい。

講義の内容・
授業スケジュール

授業方法は、正確に英文を読むことを第一とするが、それはかならずしも単一の解釈しかありえないということではないので、学生たちのそして教師の多様な解釈を授業の中で出し合う方法をとることになる。そのような多様な解釈の中から、より正確に英文を読む訓練をすることで、英語を読むことの「興味深さ」を感得してもらいたい。そして自分から進んで、関心のある英書を購入して読んでみようという姿勢を培ってほしい、というのが最大のねらいである。

リスニングはかならずしも実用性だけにこだわらないで、情緒豊かな英文や詩の朗読のテープ等も随時聴いていきたい。

教 科 書

The Book of Knowledge (Grolier) あるいは Penguin Books より歴史に関係ある項目（初めはプリントの予定）。

担当者名	配当学科	単 位
たか はし よし え 高 橋 佳 江	歴史 1 必	2

講義の内容・
授業スケジュール

高校や、大学入試のために学んだ英語力を落とすことなく、更に上の目標に向かって頑張っていく。正確な読み、ナチュラルスピードで聞き取れる能力を養う。

聞き取り：使える英語を目指す。最終的に聞き取った文章が自分で言えるようにする。自宅学習が重要。

講 読：一回の授業で必ず何人も当たるので、毎回予習を欠かさないこと。授業時間内あわてて調べることのないように。高校時代にならった文法は意外に役立つ。苦手だった者は文法の教科書を参考にと良い。辞書（大学生・社会人向けの学習用、コンサイスなどの薄いものは不可）は必携。

成績評価の方法

前・後期の試験の平均が60点以上の受験資格のある者を合格とする。欠席が1/3を越えた者（前・後期合わせて欠席8回以上）、理由なく連続4回欠席した者は受験の資格がない。遅刻2回欠席1回扱いとする。

教 科 書

未定（講読、聞き取り 各1冊）

担当者名	配当学科	単 位
おお た み ち こ 太 田 美 智 子	歴史 1 必	2

講義の内容・
授業スケジュール

長文読解を中心に、構文の理解、速読を目的とする。テキストは、ラスコーの壁画から現代絵画に至るまでの様々な美術作品の鑑賞の留意点を解説したものである。当然それぞれの作品の時代背景にも話は及び、歴史的知識が必要とされる。なお、授業の冒頭には毎回リスニングを行なう予定である。

成績評価の方法

年2回の定期試験の点数のみならず、平常時の授業態度、発表態度、予習の有無を重視し、総合的な評価をする。欠席率が年間授業個数の3分の1を超える場合は不合格とする。

教 科 書

1) 『絵画の歴史』 松柏社 ¥1,700

そ の 他

履修者は必ず予習をして授業にのぞむこと。また様々な機会を利用し、英語を聴き取る努力をしてもらいたい。余談ながら、西欧文明を理解する上で不可欠なギリシア神話や聖書のエピソードを題材にした作品がテキストでは数多く紹介されているので、ぜひ一読して頂きたい。

担当者名	配当学科	単 位
うえむら 植村 けいこ 恵子	社会 1 必	2

講義のねらい

英語 I B という科目の到達目標である、入学時の英語力を基礎としてより高度な構文を理解し、聞きながら文章の大意を把握しその後の精読によってより一層の理解を深めることを一年を通じてのねらいとしたい。具体的には小説、エッセー及び現在の世界情勢を把握・理解する意味で時事に関するものをテキストとして選び基本的な文法事項にも注意しながら英文に親しみたい。それと共に英米人の持つ思想・感情を十分に理解し国際的視野を広め相互理解を深めたい。

講義の内容・
授業スケジュール

前・後期を通して毎時間なるべく多くの学生に少量ずつ音読してもらいその後どんな内容であるかを発表してもらう。その発表に対する指導方法として、説明を補足し又予習の結果生じた疑問に答えていきたい。

成績評価の方法

出席状況、平常点（授業態度、発表の内容、小テスト）及び前・後期試験によって決める。

教 科 書

プリント教材使用。

担当者名	配当学科	単 位
こほり 堀 三 郎 さぶろう	社会 1 必	2

講義の内容・
授業スケジュール

英文の伝達内容をできるだけ早く全体的に捉えることに重点を置く。過度に文法に頼ろうとすると文章全体の理解が二次的になってしまい、「英語」そのものにとらわれてしまう。結果、部分的に解読できてその文章の意図する点を見失いがちになる。講義内容はカセットの効率的使用で耳に慣れるようにするとともに、本文内容の理解を練習問題を通して確認して行く。前期終了時には自らこの方法で英文に挑戦する自発性の高揚を目標としたい。辞書の利用法をも学ぶため常時携帯を心がけて欲しい。

成績評価の方法

成績評価の条件としては、授業時の発表、ブリーフ・テスト、定期試験（又はそれに準ずる試験）などを考えている。当然ながら出席は重視される。

教 科 書

「日米文化の出会い」 成美堂 ￥1,600

担当者名	配当学科	単 位
おう 逢 み 見 あき 明 ひさ 久	社会 1 必	2

講義の内容・
授業スケジュール

様々な分野の著名な欧米人のエッセイを読み、英語圏の思想的背景を探る。また、BBCのニュース番組等を使って英語の聞き取りの力を養う。英語を聞くのは、重要な作業である。しかし、それだけで終わらせては、一方的に伝えられる情報の受け手の立場を体験するにすぎない。情報を発信する側に立つことも必要である。言葉は伝達されなければ本来の意味を失う。音読の実践は常に言葉に命を与える作業にはかならない。それは聞き取りの力のみならず、読解力にもつながってゆく。したがって、この授業では、英語の音感や言葉のつながりを意識した音読も聞き取りと併せて採り入れている。

成績評価の方法

聞き取りテスト（毎回）、語彙テスト（年4回）、授業中における発表（年約10回）、前・後期の定期試験の結果から判断する。総合的な評価の割合は、聞き取りテスト、授業における発表が50%、語彙テスト（読解や聞き取りで一度取り上げた語彙の確認）が20%、前・後期の定期試験が30%である。ただし、平常授業の欠席率が3分の1を越えた場合は、不合格とする。

教 科 書

『わか座右の名言』 朝日出版社 ￥1,100

そ の 他

毎回授業で聞き取りに使ったBBCのニュースは、英字新聞で確かめて、英語の語彙を増やすことを心がけて欲しい。なお、その年の英字新聞は大学の図書館の閲覧室に必ず保管してあるので、問い合わせるとよい。

担当者名	配当学科	単 位
まえ 前 だ 田 おさむ 脩	社会 1 必	2

講義の内容・
授業スケジュール

前期は、はじめにテキストを読みその部分のテープを聞きます。毎回あてますので予習は必須です。段落ごとの内容説明も聞きます。後期は、徐々にスピードをつけた読みを行います。そしてさらに内容把握が適確にできるようにします。

成績評価の方法

授業中における発表等日常評価、出席率、前期・後期テストを総合評価します。

教 科 書

「イギリス社会史点描」 英潮社新社 ￥1,300

担当者名	配当学科	単 位
やま ぐち 山 口 晃	社会 1 必	2

講義のねらい

その時にわからなかった英文の或る箇所も、一年間という時間の幅の中で、しだいにわかっていくということもあるので、一年間という授業の幅を重視したい。そのためには、学生と教師が問題を共有できる、そのような英文が望ましい。将来、社会学を専攻する学生であることを考え、予定ではまず、The Book of Knowledge 等から、社会学に関係した項目を選び教材（プリント）を作ってみようと思う。その際、簡潔で、しかも内容の濃い英文の選択に留意し、学生たちと問題を考えていける教材にしたい。

講義の内容・授業スケジュール

授業方法は、正確に英文を読むことを第一とするが、それはかならずしも単一の解釈しかありえないということではないので、学生たちの、そして教師の多様な解釈を授業の中に出し合う方法をとることになる。そのような多様な解釈の中から、より正確な英文を読み込む訓練をすることで、英書を読むことの「興味深さ」を感得してもらいたい。そして自分から進んで、関心あるテーマの英書を購入して読んでみようという姿勢を培ってほしい、というのが最大のねらいである。

リスニングは、かならずしも実用性のみこだわらないで、情緒豊かな英文や詩の朗読のテープ等も随時聴いていきたい。

教科書

The Book of Knowledge (Grolier) あるいは Penguin Books より社会学に関係ある項目（初めはプリントの予定）。

担当者名	配当学科	単 位
あか し ゆう こ 赤 司 裕 子	社会 1 必	2

講義の内容・授業スケジュール

今日的なトピックを扱ったテキスト及びテープを用い、リーディングとリスニングの力を同時に高めることを目標とする。リーディングに関しては、速読の基礎をビルドアップする。リスニングに関しては、必要な情報を正しく聞き取る訓練をし、できる限り完全なディクテーションができるよう努力しよう！

成績評価の方法

単位取得は、3分の2以上の出席を前提とする。平常点を重視し、発表やテスト等を総合して評価を行う。

教科書

『海と環境』（三修社） ¥1,500

その他

予習必須。加えて、テレビやラジオのニュース番組等を定期的に聴取するなど、リスニングに慣れようとする姿勢が必要。

担当者名	配当学科	単 位
未 定	経済 1 年	2

開講時に指示します。

担当者名	配当学科	単 位
やま だ てる こ 山 田 照 子	経済 1 年	2

講義の内容・
授業スケジュール

この授業では英文の読解力の向上を目標としています。そこで英文を出来るだけ多く読み、練習問題で重要な語彙、イディオム、構文などを再確認します。またテキストは、経済に関する基礎的な知識や最新の経済事象も盛り込まれていますので、英語と経済両方の学習効果が期待できるのではないかと思います。

成績評価の方法

授業中における発表、レポート、小テスト、前・後期の定期試験、出席率等により総合評価をします。

教 科 書

『Everyday Economics —— よくわかる経済英語 ——』 南雲堂 ￥1,800

そ の 他

テープ等を使用し、Listening に慣れるようにする。新聞等の資料も併用するつもりです。

担当者名	配当学科	単 位
い ら ぶ あき こ 伊良部 祥 子	経 済 1 年	2

講義の内容・
授業スケジュール

平易な英語で書かれたエッセイを読み、文章の大意を把握できる力を養成する。テキストの内容は、ポットラックパーティー、ボランティア活動、チップ、カウボーイ、TGIF曜日など、普通のアメリカ人の日常生活を切り取った話題や、現代アメリカが直面している銃規制、妊娠中絶、死刑廃止などの社会的問題を扱ったトピックで構成されている。このテキストの読解を通して、文法や語い等の語学としての学習だけでなく、現在のアメリカ社会に対する理解を深めることができる。

授業は演習形式で行う。毎回、全員に指名するので、充分に予習して授業に臨むことを期待する。具体的な授業の方法としては、まずテープで本文を聞き、音読する。次に段落ごとに内容について、英語で質疑応答する。重要構文や有用な語句のディクテーションと和訳。表現力を養うための短文の英作文等である。

成績評価の方法

前期末後期末の試験、及び授業時における発表で総合評価する。

教 科 書

「ニューヨーカーの語るアメリカ」 成美堂 ¥1,600

そ の 他

火曜・3限

担当者名	配当学科	単 位
い とう ひろ よし 伊 藤 博 義	経 済 1 年	2

講義の内容・
授業スケジュール

マスメディアの先端技術化により世界の出来事が日米の茶の間で同時にテレビ画像で見られる様になり、英語を学ぶ学生はそれらの詳細の記事に辞書を手に興味をもって読み語学力を養う事が出来る。そうした点でこのテキストは話題が広範囲で面白く現代用語も豊富で見聞を広められる。正確に声を出して本文を五回以上読み、文の構成をよく見て、新語を予習し、質疑応答を繰り返しながら、大意を把握して、更に読み、練習問題を自分でやる。辞書を多用して、20の設問に答える。

成績評価の方法

授業中の授業態度、大体3頁～5頁の進度予定のテキストの予習復習程度、教室内の発表回数、テスト2回の得点、出席状況等を重視して総合評価する。

教 科 書

Jim Knudsen『What's happening in ths U.S.A today
(アメリカ現況レポート)』 南雲堂 ¥1,300

参 考 書 等

各英字新聞
時事英語辞典(研究社)

担当者名	配当学科	単 位
未 定	経 済 1 年	2

開講時に指示します。

担当者名	配当学科	単 位
い ら ぶ あ き こ 伊 良 部 祥 子	経 済 1 年	2

講義の内容・
授業スケジュール

英文を正確に読み、そこに発信されている情報を読み取る力を養うことがこの授業の目的である。使用するテキストの構成は環境、社会、政治、経済の4つの分野から成り、各分野において、日米双方の今日的話題を取り上げ、興味ある日米の文化比較論が展開されている。人口問題、環境汚染、核問題、日本の米政策、麻薬、銃規制、ホームレス、エイズ人権、日本の自信喪失等の異文化理解を深めると同時に日本の社会についても考察できる内容となっている。授業の方法としては、まずテープで本文を聞き、発音を確認する。次にパラグラフごとにトピック・センテンスをチェックする。この作業を通して大意を把握することができる。次に、英文を訳読する。和訳を通して、本文の内容を正確に理解していたかどうか確認する。毎回、重要構文や語句のディクテーションを行う予定である。

成績評価の方法

前期・後期の期末試験と授業における発表で評価する。

教 科 書

「国際社会と日本」 朝日出版社 ￥1,500

そ の 他

火曜・1限

担当者名	配当学科	単 位
うね へ のり こ 敵 部 典 子	経 済 1 年	2

講義のねらい

1時間かけてもやっと5行程度しか進められないような読み方から脱却し、内容を理解しながら「速く」「量を多く」読みこなせるような読解力を養成することを目的とする。また同時に「文章を読む」とはどういうことか、この授業を通じて身につけてもらいたい。

講義の内容・授業スケジュール

授業は1課を2段階にわけて進める。まず全体の内容を把握し、主題がどう展開しているか、文脈はどう流れているかなどを理解する。続いて構文を正しく理解しているかどうか文法事項を確認しながら訳読する。後ろから訳す、という悪い癖を持っている学生はこの段階で矯正する。また随時語彙を増強するための小テストも実施したい。教科書は学生諸君の意欲や進度により内容を高度なものに変える予定。

履修上の留意点

全授業回数の3分の1以上欠席した者には単位を認定しない。その他の細かい履修上の注意点は第1回目の授業で指示するので必ず出席すること。

成績評価の方法

成績は前期末に実施する中間試験、学年末試験、および平常点から総合的に評価するが、特に中間試験、学年末試験のいずれかもしくは両方を欠席した場合、単位は認定しない。また追試験は実施しないので注意すること。

教 科 書

大学英語教育学会・編『Dynamic Reading「リーディングの新技法」』 Macmillan Language House

担当者名	配当学科	単 位
未 定	商 1 年	2

開講時に指示します。

担当者名	配当学科	単位
やま だ てる こ 山 田 照 子	商 1 年	2

講義の内容・
授業スケジュール

この授業では平易な英文を正確に読み取ることで、その文章の大意を把握する力を伸ばすことを目的とします。それにはまず今まで学んできた語彙、熟語、文法等の基本的な学習を再認識する必要があります。さらにテキストを通して“アメリカン・ドリーム”を表現した人物たちの伝記を読み、その背景となっている歴史や文化を学んで行こうと思っています。

成績評価の方法

授業中における発表、レポート、小テスト前・後期の定期試験、出席率等により総合評価をします。

教科書

『Profiles of the Amercian Dream
—— アメリカン・ドリームを読む ——』 金星堂 ¥1,700

その他

テープ等を使用し、Listeningの練習をする。また、新聞等の資料も併用するつもりです。

担当者名	配当学科	単位
いらぶ あき こ 伊良部 祥 子	商 1 年	2

講義の内容・
授業スケジュール

英文の内容を正確に速く読み取ることができるようにする。後期には英字新聞のニュースが読める読解力を身につけることが目標である。(実際に、後期には英字新聞を教材にする予定である。)使用するテキストの内容は現代アメリカの政治、経済、社会面での最新情報で構成されている。このテキストを通して、日米経済摩擦で揉めるアメリカの素顔にふれ、異文化理解を深める。授業の進め方としては、まずテープで本文を聞き、正確な発音をチェックする、パラグラフごとにトピックセンテンスを見つける、日本語に訳す、練習問題をするという順序で計画している。授業は予習を前提に進める。

成績評価の方法

前期・後期の試験及び授業時の発表、レポートで総合評価する。

教科書

「アメリカ ナウ」 金星堂 ¥1,650

担当者名	配当学科	単 位
うね 敵 部 典 子	商 1 年	2

講義のねらい

1時間かけてもやっと5行程度しか進められないような読み方から脱却し、内容を理解しながら「速く」「量を多く」読みこなせるような読解力を養成することを目的とする。また同時に「文章を読む」とはどういうことか、この授業を通じて身につけてもらいたい。

講義の内容・授業スケジュール

授業は1課を2段階にわけて進める。まず全体の内容を把握し、主題がどう展開しているか、文脈はどう流れているかなどを理解する。続いて構文を正しく理解しているかどうか文法事項を確認しながら訳読する。後ろから訳す、という悪い癖を持っている学生はこの段階で矯正する。また随時語彙を増強するための小テストも実施したい。教科書は学生諸君の意欲や進度により内容を高度なものに変える予定。

履修上の留意点

全授業回数の3分の1以上欠席した者には単位を認定しない。その他の細かい履修上の注意点は第1回目の授業で指示するので必ず出席すること。

成績評価の方法

成績は前期末に実施する中間試験、学年末試験、および平常点から総合点に評価するが、特に中間試験、学年末試験のいずれかもしくは両方を欠席した場合、単位は認定しない。また追試験は実施しないので注意すること。

教科書

Kiyoshi Hasegawa, Christopher Tate 『Reading Strategies』 Macmillan Language House

担当者名	配当学科	単 位
い 伊 藤 博 義	商 1 年	2

講義の内容・授業スケジュール

二十一世紀を迎えようとしているのにこの地球上は未だ原始時代の如く、国家間の戦争、民族対立、宗教言語の混乱、巷の殺人、麻薬、環境破壊公害、エイズ——等の多くの暗い事件が日常茶飯事の世相である。アメリカ国内でのそうした現象は世界の注目の的であるが、アメリカ人は敢然として、公開し積極的に自由討論して、官民一体となって問題解決に取り組んでいる。「臭いものに蓋をしる」の日本式でなくて、決して隠蔽せず、堂々と議論対処するところを我々は学ばねばならない。近年ここ日本にも同じ世相が起きつつある以上アメリカ式対処法をこのテキストを読むことで学習出来る。正確に声を出して、各項目を五回以上読み、文の構成をよく研究し、新語を調べ、質疑応答を繰り返したら、大意を把握して、更に読み、練習問題を自分でやる。辞書を多用して、作文を試みる。

成績評価の方法

教室内の授業態度、大体3頁～5頁の進度予定のテキストの予習復習程度、授業中の発表回数、テキストの定期試験2回の結果、出欠状況等を重視して、総合評価する。

教科書

『Americans face their problems』 William M Balsamo 金星堂 ¥1,750

参考書等

各英字新聞
時事英語研究（研究社）

担当者名	配当学科	単 位
まえ だ おさむ 前 田 脩	商 1 年	2

講義の内容・
授業スケジュール

授業のはじめに10～15分程度、リスニングを行います。前期は、リスニングに力を入れ、教材の他にもテープを用意します。テキストは、毎回あてますので、予習が必須となります。後期は、徐々にスピードを上げて読みを行います。さらに内容の把握も適確にできるようにします。(その他随時英字新聞のコピーを使用します。)

成績評価の方法

授業中における発表等日常評価、出席率、前期・後期テストを総合評価します。

教 科 書

- 1) 「TOEFL/英検のための基礎リスニングテスト」 金星堂 ¥980
- 2) 「イギリス社会史点描」 英潮社新社 ¥1,300

担当者名	配当学科	単 位
あさ の けい こ 浅 野 恵 子	法 律 1 年	2

講義の内容・
授業スケジュール

実際のコミュニケーションに役立つ英語力の基礎を身につけてもらうことを目標とし、毎回の発表を重視した演習形式を用いることとする。前・後期ともビデオ教材を使用する。前期は「視覚から得た情報」と「聞き取れた語句、表現」について設問に答え、メモを取る技能を身につける。後期は、学習した単語、語句、表現を用いて自分なりの簡単な英語で意見が言えるようにする。また理解を深めていくために、内容を日本語、英語で要約する練習も加えて行なう。

成績評価の方法

授業における発表、出席を最重視する。レポート、クイズ、要約を年間通して何回か実施する。

教 科 書

- 1) 『CNNマスターコース中級編』
サイマルアカデミー 2,000円
- 2) プリント配布

担当者名	配当学科	単 位
おお はし しん いち ろう 大 橋 進 一 郎	法 律 1 年	2

講義の内容・
授業スケジュール

日本をよく知るアメリカ人の書いた日本人に関するエッセイを読み、英語の読解力の向上を目指す。目標は、難解な単語は辞書を引いても、普通の構文ならばすらすら読める実力の涵養にある。また、目で読むだけでなく、音で聞いても理解できるように、テープを使った聞き取りの練習も行う。さらに、外国人の見た日本人像についても考えてみたい。

授業は毎回学生に当て、音読と和訳をしてもらう。したがって、毎回4ページ程度の予習が必要。

成績評価の方法

原則として前・後期の定期試験及び授業中の訳読（平常点）で評価する。授業を3分の1以上欠席したものは不合格とする。

教 科 書

『日本人の独自性』 朝日出版社 950円

そ の 他

必要に応じて指示する。

担当者名	配当学科	単 位
か い かつ こ 甲 斐 捷 子	法 律 1 年	2

講義の内容・
授業スケジュール

TOEFL, TOEIC等、コミュニケーションを主体とする英語のリーディング演習を、リスニング演習と合わせて行う。TOEFLにしるGREにしる、アメリカの試験はすべて、短時間で膨大な量をこなす能力が要求されるので、授業も実際の状況に即して、時間を設定して行う。中級から始めて上級レベルまで、毎回の小テストによる徹底的な復習を踏まえて、進む。

成績評価の方法

小テスト30%、前期試験30%、後期試験40%、試験の結果が基準に達しなかった場合、及び、欠席が3分の1を超えた場合は、不合格とする。

教 科 書

- 1) 『リーディング問題の総合演習——TOEFL/TOEICにそなえる』 金星堂 ¥1,300
- 2) 『TOEICのためのリスニング演習——テストと基礎知識のまとめ』 金星堂 ¥1,200

そ の 他

- 1) 英語圏で2年以上生活した者、及びインターナショナルスクールの高等部を卒業した者は申し出ること。
- 2) 遅刻、欠席をしないよう、望む。

担当者名	配当学科	単 位
み 海 たま 琳 やす 泰 こ 子	法 律 1 年	2

講義の内容・
授業スケジュール

戯曲 The Elephant Manを読む。この劇も衝撃的感動を与えた映画「エレファントマン」も人類学者Ashley MontagueのThe Elephant Man: A Study in Human Dignityに基づいているので、必要な部分はプリントで読む。奇形のMerrickの魂の完成と医学者Trevesの魂の喪失をたどりながら「苦」のみ与えられた人間について、時代背景を含めて考えてみたい。授業は英語、日本語訳とも配役を決めて劇形式で進める。

Listening ComprehensionはJapan Timesと英紙The Weekly Telegraphの記事を使用して行なう。

成績評価の方法

前後期の定期試験と年間8回の小テストで評価する。定期試験については、いかなる理由でも、又1回でも欠試の場合は、単位修得不可能。

教 科 書

Bernara Pomerance著 奥村義博編注「戯曲エレファントマン」 鶴見書店 1,250円

担当者名	配当学科	単 位
み 三 よし 芳 やす 康 よし 義	法 律 1 年	2

講義の内容・
授業スケジュール

映画のなかで多く用いられる口語表現を何度も何度も繰り返し聞くことによって、リスニングの能力を養い、普段の会話にも役立つ慣用語句や名セリフ等を覚え、日常的なことを表現できるようにします。予習を前提にし、毎回口頭による発表形式を用います。授業では、ビデオを用いて、実際に映像を身ながら自然な英語の発音やイントネーションを習得し、除々に複雑な表現も聞き取れるようになることを目指します。必要に応じて、プリントを配布します。

成績評価の方法

前期試験40%、後期試験40%、レポートを含む平常点20%、ただし、平常授業（前・後期試験日は除く）の欠席率が3分の1を超えた場合は不合格とします。

教 科 書

『カサブランカ』 ニューカレントインターナショナル ¥2,000

そ の 他

履修者には積極的に授業に参加してもらいたい。

担当者名	配当学科	単 位
あさのけいこ 浅野恵子	政治1年	2

講義の内容・
授業スケジュール

実際のコミュニケーションに役立つ英語力の基礎を身につけることを目標とし、毎回の発表を重視した演習形式で行なう。前・後期ともビデオ教材を使用する。前期は「視覚から得た情報」と「聞き取れた語句、表現」に関連する内容の文を読み、設問に答える。メモを取る技能も身につける。後期は学習した語句表現を用いて自分なりの意見をまとめる練習もする。また随時関連の内容のプリントを配布し、日本語で要約を加えて行なう。

成績評価の方法

授業における発表、出席を最重視する。
レポート、クイズ、要約を年間通して何回か実施する。

教科書

- 1) 『CNNマスターコース初級編』 サイマルアカデミー 2,000円
- 2) 関連内容のプリント（随時）

担当者名	配当学科	単 位
みたまやすこ 海琳泰子	政治1年	2

講義の内容・
授業スケジュール

Amadeus の作者 Peter Shaffer の双方の兄弟の Anthony Shaffer の Sleuth を読む。まずは巧みな筋立てと会話でサスペンスを存分味わい、次に Inspector Doppler の名前の意味や英国社会での外国人問題などに目を向けたい。Englishness とはいったい何なのか？植民地人としての英語とは、現代日本人は英語とどう向き合ったら良いのか、一年間でじっくり考えてみたい。

Lawrence Olivier 出演の映画版も可能なら鑑賞したい。授業は英語、日本語訳とも配役を決めて劇形式で進める。

Listening ComprehensionはJapan Times と英紙 The Weekly Telegraph の記事を使用して行なう。

成績評価の方法

前後期の定期試験と年間8回の小テストで評価する。定期試験については、いかなる理由でも、又1回でも欠試の場合は、単位修得不可能

教科書

Anthony Shaffer 著 倉橋 健, 甲斐 萬里江編注『探偵（スルース）』南雲堂 1,400円

担当者名	配当学科	単 位
おおはし しんいちろう 大 橋 進 一 郎	政 治 1 年	2

講義の内容・
授業スケジュール

アメリカ合衆国の歴史を題材にしたエッセイを読み、英語の読解力の向上を目指す。目標は、難解な単語は辞書を引いても、普通の構文ならばすらすら読める実力の涵養にある。また、目で読むだけでなく、音で聞いても理解できるように、テープを使った聞き取りの練習も行う。また、アメリカ合衆国の生い立ちを知るのも重要なテーマである。

授業は毎回学生に当て、音読と和訳をしてもらう。したがって、毎回4ページ程度の予習必要。

成績評価の方法

原則として前・後期の定期試験及び授業中の訳読（平常点）で評価する。授業を3分の1以上欠席したものは不合格とする。

教 科 書

『アメリカ小史』 成美堂 950円

そ の 他

必要に応じて指示する。

担当者名	配当学科	単 位
か い かつ こ 甲 斐 捷 子	政 治 1 年	2

講義の内容・
授業スケジュール

コミュニケーションのための語学力の養成と、異文化理解を同時に図る。教材はアメリカ社会の問題を幅広くとらえたもので、政治、経済、教育、医療、法律、テクノロジー等の分野で実際に仕事に携わる人々が、インタビューに答えて語ってくれる話は、実に面白い。

成績評価の方法

一課終了ごとに行う練習問題テスト30%、前期試験30%、後期試験40%、試験の結果が基準に達しなかった場合、及び、欠席が3分の1を超えた場合は、不合格とする。

成績評価の方法

『ビデオで見る現代アメリカ社会』 鶴見書店 ¥1,545

そ の 他

- 1) 英語圏で2年以上生活した者、及びインターナショナルスクールの高等部を卒業した者は申し出ること。
- 2) 遅刻、欠席をしないよう、望む。

担当者名	配当学科	単 位
みよし やすよし 三 芳 康 義	政 治 1 年	2

講義の内容・
授業スケジュール

映画のなかで多く用いられる口語表現を何度も何度も繰り返し聞くことによって、リスニングの能力を養い、日常会話にも応用可能な慣用語句や俗語等を覚え、セリフを聞き取り、日常的なことを表現できるようにします。予習を前提にし、毎回口頭による発表形式を用います。授業では、ビデオを用いて、実際に映像を身ながら、自然な英語の発音やイントネーションを習得し、除々に複雑な表現も聞き取れるようになることを目指します。必要に応じて、プリント等を配布します。

成績評価の方法

前期試験40%、後期試験40%、レポートを含む平常点20%、ただし、平常授業（前・後期試験日は除く）の欠席率が3分の1を超えた場合は不合格とします。

教 科 書

『卒業』 ニューカレントインターナショナル ￥2,000

そ の 他

履修者には積極的に授業に参加してもらいたい。

担当者名	配当学科	単 位
しみず ゆうじ 清 水 祐 次	経 営 1 年	2

講義の内容・
授業スケジュール

ディケンズの名作 A Tale of Two Cities を購読するが、ここに使用するテキストは3,000語程度のレベルに rewrite されたものである。従って、内容豊かな物語の興味を持続しつつ、しかも比較的平易な英文をある程度の速さで読み進んでいくことができると思う。また、本文が吹き込まれたテープの聴取を併用することにより、listening の練習も行なっていく。

成績評価の方法

前期後期の試験、レポート及び平常授業中の発表や小テスト等によって総合的に評価する。なお、欠席が授業時数の3分の1を超える場合には、原則として単位の修得はできない。

教 科 書

『A Tale of Two Cities』 (Simply名作シリーズ) 南雲堂 ￥1,200

そ の 他

木曜・3限

担当者名	配当学科	単位
や しま なお こ 矢 島 直 子	経営 1 年	2

講義の内容・
授業スケジュール

年間を通じて2種の教科書を使い、精読と速読を学ぶ。精読と言っても、常にゆっくり読む訳ではなく、大事な点はていねいに、そうではない点はある程度はやく読む。速読は練習問題を解いて学ぶ。精読は予習を前提とした演習形式を取る。速読は授業のたびに15分程行なう。目標は、本を速く読んで要点をつかめるようになることである。

成績評価の方法

授業中にあてる回数が多いので、平常点が10%、前期中間テストと後期中間テストが30%、前期末試験と後期末試験が60%である。外国語の勉強には平常授業が大事なので、原則として、平常授業（前・後期の定期試験日、中間試験日は除く）の欠席率が3分の1を超えた場合は不合格とする。

教科書

- 1) 石井俊彦・他「速読ステップ演習Ⅱ,Ⅲ」英潮社 各410円
- 2) ドゥーギル「イギリスを築いた人びと」北星堂書店 1,300円

担当者名	配当学科	単位
にし むら しょう し 西 村 匠 史	経営 1 年	2

講義の内容・
授業スケジュール

平易な英文を読み進めていく過程の中で、基礎的な英文解釈の力をつけていきたいと思えます。ただし、大学での英語の授業の性質上、ややレベルの高い教科書を選定しました。

成績評価の方法

年二回の試験における成績を基本としますが、予習状況、授業態度、出席率などを判断材料に加えます。

教科書

『くらしの経済学』南雲堂 ¥1,200

担当者名	配当学科	単 位
おお たち 美 ち こ 太 田 美 智 子	経 営 1 年	2

講義の内容・
授業スケジュール

長文読解を中心に、構文の理解、速読を目的とする。
 現在ロックは市民権を獲得し社会に定着した感じがある。しかし本来は反体制の象徴であった。では若者は一体何に反抗し、何を訴えようとしたのか。テキストは60年代から80年代終盤に至るまでのロックとその背景である社会に言及したものである。肩の力を抜いて英語に親しんでもらいたい。なお、授業の冒頭には毎回リスニングを行なう予定である。

成績評価の方法

年2回の定期試験の点数のみならず、平常時の授業態度、発表態度、予習の有無を重視し、総合的な評価をする。欠席率が年間授業回数の3分の1を超える場合は不合格とする。

教 科 書

1)『ロッククラシックス』 マクミラン・ランゲージハウス ¥1,340

そ の 他

履習者は必ず予習をして授業にのぞむこと。また、歌、映画、ニュース等々様々な機会を利用し、英語の聴解力を伸ばしてもらいたい。

担当者名	配当学科	単 位
し み ず ゆ う し 清 水 祐 次	経 営 1 年	2

講義の内容・
授業スケジュール

トマス・ハーディの名作 Tess of the d'Urbervilles を教材として用いる予定である。テキストには、3,000語程度のレベルに rewrite されたものを考えている。
 従って、内容に富んだ物語の興味を持続しながら、しかも比較的平易な英文をある程度の速さで読み進んでいくことができると思う。
 また本文が吹き込まれたテープの併用により、listening の練習も行なっていく。

成績評価の方法

前期後期の試験、レポート及び平常授業中の発表や小テスト等によって総合的に評価する。なお、欠席が授業時数の3分の1を超える場合には、原則として単位の修得はできない。

教 科 書

具体的なテキストについては未定。教場で指示する。

そ の 他

木曜・4限

英語 I C (会 話)

〈英語 I C (会話) の授業内容と履修上の留意点〉 (経営学部のみ)

英語を母語とする外国人教師が担当します。ネイティブスピーカーの英語が聞きとれて、基本的な日常表現ができることを目指した大学初級レベルの英語会話の授業です。達成目標の目安は英検 2 級合格、TOEFL のスコア 450 程度。各担当者の講義内容 (syllabus) をよく読み、時間割表で時限を確認してクラスを選び、事前登録をしなければなりません。1 クラスの受講人数に制限があるので、希望通りのクラスを選択できない場合もあります。

担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ノーラン, デニス J.	経 営 1 年	2

講義の内容・ 授業スケジュール

英会話を中心にするとともに総合的なアプローチをとるコースである。各レッスンのゴールを明確にし、英米国で実際に使用されている本物の興味ある資料をもとにしてリスニングと読解の力を高めようとする。系統的に工夫されている連鎖問題によって学生の興味と学習意欲を向上させる。教科書のレイアウトは、各章の始めにその章の課題を設定し、これから練習することばのファンクションを例文で、また、準備知識として必要な語彙を紹介する。そのあとはグループかペア、または、個人で問題となっているファンクションやパターンを練習させる。最後に、レッスンの要点に対する意識を高めるための問題が設けられている。付属ビデオテープも利用する。大体、2 時限で教科書の一章。

成績評価の方法

出席、授業参加、宿題提出、短い speech、小試験、期末試験。

教 科 書

Atlas: Learning Centered Communication, Heinle & Heinle Publishers ¥1,980.

担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
テイラー, レズリー	経 営 1 年	2

講義のねらい

The aim of this elementary English course is to provide students with the ability to express themselves in day to day conversations. The course will concentrate on speaking and listening skills, and students will be required to take part in communicative activities in the classroom.

履修上の留意点

The students will be expected to attend regularly.

成績評価の方法

The students will be assessed on class work and periodic testing.

教 科 書

Headway Elementary. John and Liz Soars. Oxford University Press.

担当者名	配当学科	単 位
ロンゴ, トーマス	経営 1 年	2

講義のねらい

Depending upon each student's effort, conversational ability, listening comprehension and reading and writing skills will improve incrementally through the school year.

成績評価の方法

Grades will be based on:
 1. Attendance rate
 2. Classwork
 3. Homework
 4. Tests
 5. Teacher evaluation of student effort and attitude.

教 科 書

Fast Forward USA. Oxford University Press.

参 考 書 等

Supplementary prints will also be used.

担当者名	配当学科	単 位
コーガン, トーマス J.	経営 1 年	2

講義のねらい

This is a beginning course in spoken English. In this class, we will focus on English as a tool for communication. We will practice such things as introducing ourselves, asking for information, giving our opinions, expressing our likes and dislikes, and talking about ourselves. In short, we will learn how to carry on simple but natural conversations in English.

成績評価の方法

Class Participation 30%: This is very important!
 Attendance 30%: You will fail if you are absent five or more times during the entire year.
 Interview Test 40%: I will give each student an interview test at the end of both semesters.

教 科 書

I will announce the title of our conversation text on the first day of class.

英 語 II A

〈英語 II A の授業の内容と履修上の留意点〉

英語による意志伝達 (Writing and/or Speaking) : I A を基礎として、より高度な英語の運用能力を身に付けます。

演習科目なので、全授業日数の 3 分の 2 以上の出席が必要です。レポート、小テスト、プレゼンテーションなどの課題を重視します。

担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
む とう ひさ お 武 藤 久 緒	禅 2 年	2

講義の内容・ 授業スケジュール

日本語を英訳する際、文法的に正しい英文を書くことは当然のことではあるが、文意が English Speaker に理解されるものでなければならない。相手に通じる妥当な英文を書くことを目的とし、これまでに習得した知識をふまえて更に多様な表現形式、慣用的表現、日本語と英語の発想の違いを学習する。自分のこと、日本の文化、伝統・歴史・習慣などについて英語で説明できるよう英語表現力を培う。

成績評価の方法

前・後期の定期試験・授業中における発表、レポートに基づき評価。平常授業の欠席日数が、全授業日数の 1/3 を超えた場合は不合格とする。

教 科 書

『トーキング・アバウト・ジャパン』朝日出版 ¥1,600

担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
よこ もり まさ ひこ 横 森 正 彦	禅 2 年	2

講義の内容・ 授業スケジュール

時事問題や日常生活の中でよく使われる表現を学び、いままでに養われた単語を使って身近なことを、自分の意見を少しでも表現できるようにする。また授業は演習形式をとるので学生は必ず予習してくること。口語英作文から時事英作文へと段階的に多様な用法を学ぶ、習熟する。

成績評価の方法

授業中における発表は年間10回以上、レポートは年間2回以上、前期・後期試験、小テスト形式は必ず時おこなう。評価については先に述べたことをあわせ考える。出欠席については年間授業数の 2/3 以上出席のこと。さらに詳細について初日に説明する。

教 科 書

'Writing English Through Major News' 木塚晴夫 金星堂 ¥1,650

そ の 他

学生はテープなどを利用し、口語英語に親しむことを望む。

担当者名	配当学科	単 位
さ たけ りゅう しょう 佐 竹 龍 照	仏教2年	2

講義の内容・
授業スケジュール

「やれば出来る英作文」から「クリエイティブ・ライティング」へと授業を進めたい。前期は基礎的な口語表現の用法、例えば「名詞構文の生かし方」、「動詞の選び方」、「日本語と英語の比較構文」などを学びながら、後期はより複雑な表現法に進み、さらに自由英作文を試みたい。授業はつねに演習形式で進めるため、予習、復習は必ず行なうこと。

成績評価の方法

評価は授業中の各人の発表と小テスト、レポート、定期試験などを総合して評価する。ただし平常授業の欠席率が3分の1を超えた場合は不合格とする。

教科書

長谷川潔 編著『活きた英語の表現演習』成美堂（¥1,200）
なお参考書などは授業時に指示する。辞典は必ず持参すること。

担当者名	配当学科	単 位
かわ うち けん りゅう 河 内 賢 隆	仏教2年	2

講義の内容・
授業スケジュール

めまぐるしく変化する世界の中で、国際語としての英語は我々の日常生活の中に完全に入り込んで来ている。この様な時代環境にあって、日本の伝統的な仏教の位置づけはいかなるものであろうか？それには欧米の文化を念頭におかなければならない。そのような広い視野にたつてこそ、伝統仏教がその意味を持つのである。本授業では国際語としての英語、英語文化にふれながら日本仏教を見つめてみたいと思う。

成績評価の方法

授業中の発表（年5回）、短い質問（約3回）、前・後期の定期試験の結果、および出席点（但し、出席は原則として授業日数の3分の2以上でなければならない）などのそれぞれを加えて評価する。なお、評価はテキストにより、出来、不出来のバラつきが見られるので各クラスが公平になるように相対的に考える。

教科書

『国際語としての英語』成美堂 ¥1,600

担当者名	配当学科	単 位
え だ さち こ 江 田 幸 子	仏教 2 年	2

講義の内容・
授業スケジュール

読む、書く、聴く、話すの英語運用、能力を総合的にバランスよく育成していくことを目指す。目標としては、これら（読む、書く、聴く、話す）の要素を、生活の上で、実践的に、しかも、臨機応変に駆使出来るようになることを最終的な目標としたい。従って、テキストには、writing と同時に speaking 及び listening を同時に並用していく。

同時に、自己を表現すること——何を、どのように——を学習する。

そのために、常日頃の問題意識と思考の訓練を促すような問題提起を随時行いながらディスカッション等行っていく。そして、自分なりの思考を煮詰めて、英語の言語システムへ組み込んでいく指導を行う。

Writing に関しては、まず日本語を英語用に分析、分解、組み立て直すことを中心に置き、英語の言語システムに慣れ、最終的には、日本語を介在させずに、英語→英語に行くことを目標とする。

成績評価の方法

平常授業を重視する。

出席の条件は、予習が出来ていることを前提とするので、授業中に指されて準備の出来ない学生は、半分の出席点とする。クラスでの発表点及び随時、小テスト等行い、前・後期の定期試験を含めて——総て等価で、どの試験を特に重んじることはしない——60点以上を合格とする。従って、常日頃の学習の積み重ねによって実力の向上を計ること主眼とするので欠席は年間を通して5回迄に止めること。

教 科 書

- (1) Writing用: From Paragraphs to Essays 「パラグラフからエッセイへ」英潮社 1,600円
- (2) Speaking用: Activities for Effective Communication 「コミュニケーション実践演習」

そ の 他

リスニング教材（未定）、テープ使用

担当者名	配当学科	単 位
なか やま ひろ かず 中 山 浩 一	国文 2 年	2

講義の内容・
授業スケジュール

日常生活で頻出するイディオムと日本人の苦手とする動詞と名詞の結びつきに学習の重点を置き、英語の表現能力の向上を目指す。

履修上の留意点

- ① テキスト各章の例文と記載内容、練習問題を予習しておく。
- ② 予習の結果を口頭やペーパー記述などを通して発表する。
- ③ テキストの復習と日常生活での活用に努める。

成績評価の方法

- ① 前・後期の二回、試験を実施する。
 - ② 日頃の口頭発表とペーパー発表の状況进行评估し、①の成績に加算する。
 - ③ 出席は全講義回数の三分の二以上確保する。
- 以上の①を中心に②③を参考にして総合評価する。

教 科 書

『イディオムを使った英語の表現演習』金星堂 ¥1,550

そ の 他

予習と活用を心掛けること。

担当者名	配当学科	単 位
伊 藤 博 義 い とう ひろ よし	国 文 2 年	2

講義の内容・
授業スケジュール

英語力をつけることは、教材を興味中心として、易→難と辞書を多用し乍ら、読み、書き、話し、聞くの四技能を習得することである。このテキストはこうした観点から全部で20篇の物語は興味津々で秀作でじっくり味読する。展開の仕方が見事で、面白く、行間に漂うユーモアの醍醐味を感じ取ることを目的とする。テープでのHearing そして、正確に声を出して本文を読み、少くとも五回以上読み、文の構成をよく見て、内容の質疑応答を繰り返し乍ら、内容の面白味を感得する。更に読み、練習問題を自分でやって発表する。

成績評価の方法

教室内の授業態度 大体3頁～5頁の進度予定のテキストの予習復習程度、授業中の発表回数、テスト2回の得点、出欠状態等を重視して、総合評価する。

教 科 書

L.A.Hill. 安藤賢一『Witty Tales』 成美堂 ¥1,600

参 考 書 等

Andrew A. Rooney, Pieces of My mind 桐原書店

担当者名	配当学科	単 位
井 出 功 一 い て こう いち	国 文 2 年	2

講義の内容・
授業スケジュール

テキストは世界各地の国民、民族、部族が、何をどのように料理し、どのような作法で食べているかを、比較文化の立場から現地調査して書いた『食文化』論。

内容は紅茶、コーヒー、緑茶にはじまり、ナイフとフォーク、箸、手食文化の相違、中華料理、日本料理、アメリカの料理へと話を進め、パン、牛乳、麺類、ジャガイモ、調味料、スパイス、漬物、食事のタブーなどに及ぶ。

食べ物は、衣服、住居とともに私達の日常生活を支える最も重要な要素の一つなので、テキストの英文を十分に聞いたり、読んだりして英語を的確に捉え、さらに、英文の内容を新たに創造することは、英語力を身につけるのに大いに役立つ学習法。

なお、国内で、今後起こるかも知れない新しい食文化にも触れながら、最先端の食料、例えば、アンデス山脈からやって来た「ヤーコン」、英国の航海家ジェームズ・クックのニュージーランドの探検からもたらされた「ツルナ」なども説明する。

また、英語の表現力を養うため、情報化社会に向けて書かれた文法書も使う予定。

教 科 書

A Global Tour of Dietary Culture 『世界の食文化』 (成美堂)

担当 者 名	配 当 学 科	単 位
さ とう こう いち 佐 藤 孝 一	英米文 2 必	2

講義の内容・
授業スケジュール

英語学習の基本的な方法は、英文を正しく読み、訳し、内容を理解することである。それができなければ更なる上達は不可能である。英文の読解を基本に、英文を書く事と耳からの学習も授業の中で取り入れる。英作文は、書き方を練習し、不定期に英文を自由なタイトルで書いてもらい、フロッピーで提出することにする。ヒヤリングの技能の強化では、TOEFLの基本問題を毎時間実施する。これは出欠のチェックとする。

読解は、統一テーマは英語の学習法で、どのような勉強法が理想的か、学生の英語の勉強に対するアドバイスの内容で英文科の学生にとっては大変参考になると確信している。各時間に、基本的には2章ずつ消化していく。前の週にテープを聞き、発表希望者を募り、進んでいく。終わりにリスニングの問題を1章ずつこなしていく。これは毎時間後提出する。

履修上の留意点

発表者は必ず訳をしてくること。リスニングに関しては、選択肢の問題の意味を一通り調べてくること(全員)。

成績評価の方法

発表者には素点で5点、全体的には、読解の試験3～5章ごとに1回の割合で、その成績とリスニングの成績を加える。それに発表点と作文の点を加算する。

教 科 書

1. M.ドライバー著『Driver's Tidbits on English Learning』
World Communications 出版 1,700円
2. M.ドライバー著『Preparing for TOEFL』
ワールドコミュニケーションズ 700円

参 考 書 等

研究社「リーダーズ英和辞典」

担当 者 名	配 当 学 科	単 位
つか もと とし お 塚 本 利 男	英米文 2 必	2

講義の内容・
授業スケジュール

身近な出来事や今日の世界情勢について、自分の意見を述べたり書いたりすることが出来るようにする。最初にやさしい英語で書き下ろした英文を読み、それに関連する練習問題①その章に関連のある単語を覚える②本文の内容について和文英訳をする③ idioms を覚える④ hearing の勉強のために、ニュースを聴いて空所を埋める。以上の段階により培われた英語力を駆使して、関連のある応用英作文に挑戦する。最終的には時事的な問題に関心を持ち、それらの問題を英語で表現することを目指す。

成績評価の方法

授業中における発表(年約8回)、レポート(年約2回)、小テスト(毎回)の課題と、前・後期の定期試験に基づく。全評価のうち、授業中における発表・レポート・小テストなどが50%、前・後期に定期試験が50%で評価する。ただし、平常授業(前・後期の定期試験は除く)の欠席率が1/3を超えた場合は不合格とする。

教 科 書

『ニュース・トピックで学ぶ英作文』 金星堂 ¥1,650

そ の 他

英和辞典・和英辞典を必ず持参すること。

担当者名	配当学科	単 位
おのえのりこ 尾上典子	英米文 2 必	2

講義のねらい

アメリカ文化が生み出した最も典型的なアメリカ的な芸術様式の一つである「映画」の歴史について簡潔に教えたのち、数あるアメリカ映画の中で最もアメリカ的な価値観およびアメリカ人的思考体系を示している西部劇映画（Western Movies）について論じ、西部劇映画の歴史的・文化的背景について考察させながら映画を通して英語聴解・運用能力を強化するのが講義の目的である。

講義の内容・授業スケジュール

年間授業を通じて少なくとも4本の優れた西部劇映画作品を授業の中で見せるつもりであり、従ってその場合に3時限開始以前の昼休みから映画用大教室に集合してもらうこともある。

履修上の留意点

正当な理由なくして年間の出席率が2/3に満たない者は落第させる。毎回、授業のための予習・復習を充分にしておいてもらいたい。

成績評価の方法

評価は、授業態度・出席率・前期と後期の年2回の試験によって総合的に判断を行なう。

教科書

Mark Siegel 著 *American Culture and the Classic Western Movie* (英宝社出版)

担当者名	配当学科	単 位
ささくらさだお 笹倉貞夫	英米文 2 必	2

講義のねらい

近年ますます国際化してゆく現代社会に即応し得るような洗練された国際感覚の育成とともに実践的な英語運用能力の伸長をめざす。

講義の内容・授業スケジュール

口語アメリカ英語によるプレゼンテーション (Presentation), 応用ダイアログ (Application Dialogue), Conversational Style 等々を吟味・検討する一方, Pattern Usage Drill 及び Japanese-English Drill を通じて口語英語の実践的運用能力の伸長をはかる。(テープ教材併用予定)

履修上の留意点

予習・出席重視。

成績評価の方法

前・後期末の期末テストの他、随時小テストを行い総合的に最終評価を出す。出席状況等も勘案する。

教科書

William L. Clark 著 *Spoken American English*
『アメリカ口語教本』(上級用) 研究社 ¥1,400

担当者名	配当学科	単 位
おお ば なお 大 庭 直 樹	英米文 2 必	2

講義の内容・
授業スケジュール

このクラスでは、コンピュータを使って、英語による意志伝達（Writing and/or Speaking）能力の向上を目指します。受講者は、適切なガイダンスと自らの努力によって、パソコン相手に英作文、英会話表現、映画の英文字幕、そしてTOEFLテストなどの語学演習に挑む。

履修上の留意点

受講者はID番号でコントロールされ、学習履歴や成績結果が記録されるので、受講生が自らの弱点を補強していく。したがって、到達目標は、各受講生が自らの英語の運用能力をレベル・アップする語学演習形式にある。

成績評価の方法

試験・定期試験なるものは行わない。成績は、各受講生の「一年間の努力による成果」を評価する。

教 科 書

使用ソフト-Micro English for Windows。受講者はフロッピーデスクのみ用意する一詳細は、教場で指示する。

そ の 他

上記のソフトは電算機事務室（4号館2F）に置いてあるので、受講者は、教室以外、各自の必要度にあわせて自習室（4号館1F、朝9時より夜9時まで開館）で補習すること。

担当者名	配当学科	単 位
お ぶ せ け さ 小 布 施 圭 佐 三	地 理 2 年	2

講義の内容・
授業スケジュール

英作文の最終目標は自由作文であり、自分の思っている事柄を英語で自由に表現することができるようになることである。しかし、そこへ到達するには必要なステップを踏まなければならない。高等学校の英作文の目標が構文や語法の習熟にあるとするならば、大学の英作文の目標はその延長線上の自己表現の養成とパラグラフが書けるようになることである。それには、モデル・パラグラフにならって読んだり、書いたり、暗唱したりして、練習を積み重ねることが大切である。

題材は学生たちの生活場面に密着した事柄に関するもので、普段自分たちがよく使う表現を英語ではどう表現するのかを学び、活用することができるであろう。

成績評価の方法

①出席点 ②平常点 ③レポート ④定期試験（年2回）などを加味して評価する。

教 科 書

斉藤宏・関裕三郎・William Bell編著『A New Way to English Writing』成美堂

そ の 他

授業形態は演習形式で行う。毎時間、なんらかの形で全員を指名し活動させる。毎回授業終了後、課題を与え翌週提出させる。

次の点に留意すること：①予習、復習の励行 ②ノートをしっかりとること ③毎時間英語の辞書（英英辞典）持参 ④視聴覚機材使用など。

担当者名	配当学科	単 位
木 村 克 彦 き むら かつ ひこ	地 理 2 年	2

講義の内容・
授業スケジュール

主にイギリスの優れた戯曲を読むことにより英語の運用能力の向上を目指したい。前期は古典的な文章表現に慣れ、後期に運用面を補いたい。なおテキストは17ページから読み進める。

成績評価の方法

基本的には、前期・後期試験の結果に因るが授業態度の劣悪（私語等）な者は、試験の成績にかかわらず不可とする。

教 科 書

『オスカリアーナ』（改訂版）北星堂 ￥1,400

参 考 書 等

『ワイルド作品論』新樹社 ￥2,500

担当者名	配当学科	単 位
江 田 幸 子 え だ さち こ	地 理 2 年	2

講義の内容・
授業スケジュール

読む、書く、聴く、話すの英語運用、能力を総合的にバランスよく育成していくことを目指す。目標としては、これら（読む、書く、聴く、話す）の要素を、生活の上で、実践的に、しかも、臨機応変に駆使出来るようになることを最終的な目標としたい。従って、テキストには、writing と同時に speaking 及び listening を同時に並用していく。

同時に、自己を表現すること——何を、どのように——を学習する。

そのために、常日頃の問題意識と思考の訓練を促すような問題提起を随時行いながらディスカッション等行っていく。そして、自分なりの思考を煮詰めて、英語の言語システムへ組み込んでいく指導を行う。

Writing に関しては、まず日本語を英語用に分析、分解、組み立て直すことを中心に置き、英語の言語システムに慣れ、最終的には、日本語を介在させずに、英語→英語に行くことを目標とする。

成績評価の方法

平常授業点を重視する。

出席の条件は、予習が出来ていることを前提とするので、授業中に指されて準備の出来ない学生は、半分の出席点とする。クラスでの発表点及び随時、小テスト等行い、前・後期の定期試験を含めて——総て等価で、どの試験を特に重んじることはしない——60点以上を合格とする。従って、常日頃の学習の積み重ねによって実力の向上を計ることを主眼とするので欠席は年間を通して5回迄に止めること。

教 科 書

- (1) Writing用：From Paragraphs to Essays「パラグラフからエッセイへ」英潮社 1,600円
- (2) Speaking用：Activities for Effective Communication「コミュニケーション実践演習」

そ の 他

リスニング教材（未定）、テープ使用

担当者名	配当学科	単 位
さとう あきこ 佐藤明子	歴史 2 年	2

講義の内容・
授業スケジュール

英語の文章では、作者の考えがどのようにまとめられているかテキストからその効果的な方法を学ぶ。さらに応用として、新聞や雑誌の記事などの生きた英文を使って、文章の分析や要約などを試みる。またテープやビデオなどの教材を使った口語表現の訓練も同時に行なう。最終的には与えられた課題を数ページの英文エッセイにまとめられることを目標とする。

成績評価の方法

授業中の発表、英作文などの課題と、前期・後期試験、授業内に行う小テストに基づいて総合的に評価をする。ただし授業の欠席率が3分の1を超えた場合は不合格とする。

教 科 書

From Paragraphs to Essays『パラグラフからエッセイへ』 英潮社 ¥1,600

そ の 他

授業は予習を前提とした演習形式で行なわれる。

担当者名	配当学科	単 位
ピアス, D. M.	歴史 2 年	2

講義のねらい

Elementary and Intermediate students are welcome to this class; it will be interesting and useful for everyone. I would like you to join the class with your friends so that you can sit together, because in this class you will be talking in groups with your friends during most of the class time. If you simply sit with friends who know about as much English as you, you can practice English at the right speed. In a small part of the class time, I will practice TOEFL grammar and give you practice in listening comprehension that is useful for passing standard English tests.

講義の内容・
授業スケジュール

We will practice in English composition in two ways. First, every week we will write English sentences so that you can develop a "sense" for how a good English sentence "sounds". This will not be like learning grammar; this will not be like translating sentences; it will be a totally new experience for you, and it will be a lot of fun. Second, every week I will give short lectures about the different ways that Americans and Japanese think about work, money, marriage, politics, friendship, etc. Afterwards you will write your opinions about things like these.

教 科 書

The entire course is carefully organized in our textbook, which I will explain at the beginning of our classes.

担当者名	配当学科	単 位
むら いし え しょう 村 石 恵 照	歴史 2 年	2

講義の内容・
授業スケジュール

現代実際に使用されている主として口語英語の運用能力の充実をはかる。実際に使われている口語（会話）表現であるから、様々な社会階層の人々の使う英語に慣れることが聞き取る場合大切で、また発話する立場では感情と内容を確実に標準的な会話体で話すことが必要である。聴取・発話を外国語として身につけるには信頼出きるテキストを確実に利用することが必須である。（適宜、テープ、ハンドアウトを使用）

成績評価の方法

授業中での学習参加意欲、小テスト、前後期末の平常テストにもとづく。出席重視。

教 科 書

「Streamline English : Connections イギリス英語版」 オクスフォード大学出版局
¥1,880

担当者名	配当学科	単 位
まち だ しげ お 町 田 成 男	社会 2 必	2

講義の内容・
授業スケジュール

I Aを基礎として、より高度な英語の運用能力を身につける。日常会話や映画等多用される語や慣用表現を学び、身近なことから表現できるようにする。また、文章表現の場合、各パラグラフから自由英作文（600字-A 4で2枚程度）を3～4回（通年）提出してもらう。

成績評価の方法

授業中における発表（年に約6回）、レポート（年に約3回）の課題と前・後期の定期試験に基づく。ただし、平常授業の欠席率が3分の1を超えた場合には不合格とする。

教 科 書

2冊使用の予定

そ の 他

履修者はテープ、ビデオ等を利用して英語により親しむことを特に要望する。

担当者名	配当学科	単 位
塚 本 利 男 つかもととしお	社会 2 必	2

講義の内容・
授業スケジュール

イギリスの歴史・文化・習慣などに関する内容の英文を読み、演習を通じて基本文法事項の理解を深め、その文法力を利用して英文を書くことが出来るようにする。

最初は基本的な文法事項から、徐々に高度なものへ——短めの単文から句を用いた多少長めの単文へ、そして節を用いた重文や複文へと——文法力を習得しながら英語の表現力を養う。最終的には、自分の考えを正しい英語で表現できることをめざす。毎授業に自分の言いたいことを正しく伝え、理解させる表現力の実践の場として、小テストを実施する。

成績評価の方法

授業中における発表（年約8回）、レポート（年約2回）、小テスト（毎回）の課題と、前・後期の定期試験に基づく。全評価のうち、授業中における発表・レポート・小テストなどが50%、前・後期に定期試験が50%で評価する。ただし、平常授業（前・後期の定期試験は除く）の欠席率が1/3を超えた場合は不合格とする。

教 科 書

『基本英語表現法』 成美堂 ￥1,600

そ の 他

英和辞典・和英辞典を必ず持参すること。

担当者名	配当学科	単 位
尾 上 典 子 おのうえのりこ	社会 2 必	2

講義のねらい

アメリカ文化を歴史的に考察する上で、アメリカの西部開拓の過程について学ぶことは不可欠であり、西部開拓史を知らずして、真のアメリカ人的な価値観も思考体系も正しく理解することはできない。従って Manifest Destiny（明白なる神意）に基づいてアメリカ人が西部へと進出し開拓して行った歴史を辿った下記の本を教科書として使用して翻訳させながら、同時に西部開拓史を取り扱った数本の映画を授業で見せ、映画を通して英語の聴解能力を高めさせ、英語運用能力の向上をはかる。

講義の内容・
授業スケジュール

正当な理由なくして年間の授業の出席率が2/3に満たない者は必ず落第させる。毎回、授業のための予習と復習をしっかりと行なっておくことをあらかじめ要求する。

成績評価の方法

評価は授業態度、出席率、年2回（前期・後期）の試験によって総合的に判断する。

教 科 書

Ray Allen Billington, Westward to the Pacific — An Overview of America's Westward Expansion（開文社出版 ￥1,854）

担当 者 名	配 当 学 科	単 位
まさ くら さだ お夫 笹 倉 貞 夫	社 会 2 必	2

講義のねらい

近年ますます国際化してゆく現代社会に即応し得るような洗練された国際感覚の育成とともに実践的な英語運用能力の伸長をめざす。

講義の内容・
授業スケジュール

口語アメリカ英語によるプレゼンテーション (Presentation), 応用ダイアログ (Application Dialogue), Conversational Style 等々を吟味・検討する一方, Pattern Usage Drill 及び Japanese-English Drill を通じて口語英語の実践的運用能力の伸長をはかる。(テープ教材併用予定)

履修上の留意点

予習・出席重視。

成績評価の方法

前・後期末の期末テストの他, 随時小テストを行い総合的に最終評価を出す。出席状況等も勘案する。

教 科 書

William L. Clark 著 Spoken American English
『アメリカ口語教本』(中級用) 研究社 ¥1,300

担当 者 名	配 当 学 科	単 位
きた むら ひろ ふみ 北 村 弘 文	社 会 2 必	2

講義の内容・
授業スケジュール

授業はテキストに準拠して行いますが, 小テストや口頭でお互いがえしに考えを英語で発表して貰ったりもします。テキストの内容は, まず, 比較的平易な英文で書かれた話題が提供され, 英問英答形式の練習問題によって, 内容を確実に理解し自分のものにしたあと, 英語で自由に発信できる力を養うために, 本文中の語彙や気の利いた表現や言い回しを応用した和文英訳の問題をするようになっています。易しい言い回しをできるだけたくさん覚えて, 実際に英語で自分の考えを表現できるようになるまで, 根気よく努力することが必要です。なお, 年に数回自由英作文の課題を出題する予定です。

成績評価の方法

定期試験(前・後期)の成績以外に, 授業中の発表, レポート(自由英作文), 小テスト, 出席状況などを勘案して評価します。

教 科 書

『YOUNG POP CULTURES』(郁文堂) ¥1,751

担当者名	配当学科	単 位
こ いずみ きみ ひと 小 泉 公 史	経 済 2 年	2

講義の内容・
授業スケジュール

この本の各章のエッセイは、現在地球上で人類が犯しつつある見逃すことのできない環境諸問題について、国際的コミュニケーションに必須の口語文を使用して論じている。高度な文章表現になくはならぬ語彙が豊富であり、exercises を通して内容理解を徹底し、併せて作文力を錬磨するように努める。後期には20行位の自由英作文を課するつもりである。

成績評価の方法

前・後期の定期試験 (35+35=70%)、自由英作文 (30%) で評価する。平常授業の欠席が3分の1を超えた場合は不合格とする。

教 科 書

『Our Planet, Our Future』(美しい地球のために) 成美堂 ¥1,600

そ の 他

履修者は予習を必ずしてくることを要望する。

担当者名	配当学科	単 位
はぎ わら てる 萩 原 輝	経 済 2 年	2

講義のねらい

英語で自分の考えを表現出来るようになることを目標としたい。普段日本で生活していると、英語で書いたり、話したりする機会はあまりない人がほとんどであろう。そのため英語で自己表現するとなると誰でも少し抵抗があると思う。だが自己表現というものは元来楽しいものだ。それを通じていろいろな人と知り合ったり、自分の世界を広げるきっかけになることもあると思う。そこでこの授業では自分なりに英語で自己表現する場を数多く作る予定。

講義の内容・
授業スケジュール

英語で自己表現するためには、次の事を意識して習得することが必要であると思う。すなわち①英語の表現力をどのように身に付けていくか②どのように自分の考えを膨らましてそれらをまとめていくか③自分の考えをどのように表現すれば相手によく理解してもらえるか等々である。以上のことをバランス良く身に付けるようにしたい。

履修上の留意点

毎時間少なくとも一回は必ず指名する予定なので、十分に予習をしてくる事。

成績評価の方法

前・後期の定期試験、授業中の態度、出席の状況等を総合して評価する。

教 科 書

『日本紹介の英語表現』(金星堂) ¥1,850

担当者名	配当学科	単 位
井 伊 順 彦	経済 2 年	2

講義の内容・
授業スケジュール

ネイティブ・スピーカーの話す言葉を聞きとれ、自分でもそれに近い発音で会話できるようになることをめざす。そのためかなりこまかく発音チェックをすることから始め、ナチュラル・スピードの対話を何度も聞いて耳をならし、書き取り練習もおこなって多角的に英語に親しむことにする。そうしてある程度自由に使いこなせるようになった後に、何らかのトピックについて自分の意見を述べられるようになりたい。

成績評価の方法

授業における発表（ひんばんにあるだろう）、最低2度の小テスト、最低1度の定期試験、出席率を主な柱とする。

教 科 書

カプセル英語発音 三修社 980円
『Listening to Natural English (映画を聞き取りたい人のために)』 開文社 1,300円

担当者名	配当学科	単 位
伊 藤 幸 一	経済 2 年	2

講義の内容・
授業スケジュール

木を見て森を見ないことのない様に、また、自主的に「調べる」癖がつき、それを「分からない」ことも含め、然るべく発表出来る様に、更に、以上が、何かの「基礎」になれば。

成績評価の方法

着席しているだけでは出席とはならない。毎回当てて、やってもら。予習だけでなく復習も大切、年3回（5月末／夏休み後／大学祭後）レポートの提出を課し、最後に、締括りのテスト。評価は、以上3点、出席、レポート、テストによる。詳細は最初の授業時に説明。

教 科 書

火・3『The Trial of Tom Sawyer』（北星堂）
火・4『An Enemy of the People』（成美堂）

そ の 他

授業は楽しくあるべし、それには、ある程度の予習をしないと。

担当者名	配当学科	単位
かとり 香取 豊	経済2年	2

講義の内容・
授業スケジュール

基本的な英語の慣用表現の含まれている文章を憶えさせ、書くことが出来るようにする。
その後は文法問題や英作文の作業へと移る。
場合によっては、プリントによる口語英語の練習問題も併行してやる予定。

成績評価の方法

年間を通しての授業への出席状況、発表及び前・後期の定期試験の成績等から総合的に判断して評価とする。
欠席率が3分の1を超えないよう注意すること。

教科書

『ユニーク英作文Ⅱ』 成美堂

担当者名	配当学科	単位
いしはら 石原 孝哉	経済2年	2

講義のねらい

日常的な表現を使って意志伝達ができるようになることを目標とする。
特に重点をおくのは：
a. 英語と日本語の発想の転換。
b. 英語の慣用的表現の習得。
c. 英文のビジネスレターが書けるように、基本的な文章表現の習得。

講義の内容・
授業スケジュール

授業は演習方式で出席を重視する。

履修上の留意点

レポートは休みの前を中心に課題を提示する。小テストはテーマ終了ごとに行なう。

成績評価の方法

成績は中間試験、期末試験、小テスト、レポート、平常点などを総合的に評価する。

教科書

- 『Let's Write in Plain English』 三修社 1,100円。
- 『A Shorter Course in Writing』 南雲堂 900円。
- プリント。

担当者名	配当学科	単 位
こ いずみ きみ ひと 小 泉 公 史	商 2 年	2

講義の内容・
授業スケジュール

この本の各章のエッセイは、アメリカの最新の日常生活と文化を伝えるバラエティに富んだVOA放送が海外の国々にながした情報である。使用された英語は口語文ではあるが、語彙も豊富で、communication としてはかなり高度である。Exercises の「内容理解」「書き取り」「英作文」を十分に演習し、英語表現の充実を図る。

成績評価の方法

授業中における発表(20%)、前・後期の定期試験(40+40=80%)で評価する。平常授業の欠席が3分の1を超えた場合は不合格とする。

教 科 書

『Life and Culture in America』(アメリカの日常生活と文化) 成美堂 ¥1,600

そ の 他

履修者は予習を必ずしてくることを要望する。

担当者名	配当学科	単 位
あお やま たもつ 青 山 保	商 2 年	2

講義の内容・
授業スケジュール

口語表現でも文章表現でも、正しい英語が駆使できるようにしたい。そのためには、微妙な意味の違いや文法上の重要な規則を再検討して、明確な理解が得られるようにしたい。

成績評価の方法

全評価は、前期、後期を通じて授業中の課題が50%、前期、後期の定期試験50%。したがって欠席が多く、3分の1を超えると不合格となる。

教 科 書

毎授業、プリントを配布する。

担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
はぎ わら てる 萩 原 輝	商 2 年	2

講義のねらい

英語で自分の考えを表現出来るようになることを目標にしたい。普段日本で生活していると、英語で書いたり話したりする機会はあまりない人がほとんどであろう。そのため英語で自己表現するとなると誰でも少し抵抗があると思う。だが自己表現というものは元来楽しいものだ。それを通じていろいろな人と知り合いになったり、自分の世界を広げるきっかけになることもあると思う。そこでこの授業では自分なりに英語で自己表現する場を数多く作る予定。

講義の内容・授業スケジュール

英語で自己表現するためには、次の事を意識して習得する必要があると思う。すなわち、①英語の表現力をどのように身に付けていくか②どのように自分の考えを膨らまして、それらをまとめていくか③自分の考えをどのように表現すれば相手によく理解してもらえるか。等々である。以上の事をバランス良く身に付けるようにしたい。

履修上の留意点

毎時間少なくとも一回は必ず指名する予定なので、十分に予習しておくこと。

成績評価の方法

前・後期の定期試験、授業中の態度、出席の状況等を総合して評価する。

教 科 書

『日本紹介の英語表現』（金星堂） ¥1,850

担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
か とり ゆたか 香 取 豊	商 2 年	2

講義の内容・授業スケジュール

基本的な英語の慣用表現の含まれている文章を憶えさせ、書くことが出来るようにする。その後は文法問題や英作文の作業へと移る。折を見て、口語英語の練習問題をテキストと併行させて行く予定。

成績評価の方法

年間を通しての授業への出席状況、発表及び前・後期の定期試験の成績等から総合的に判断して評価とする。欠席率が3分の1を超えないよう注意すること。

教 科 書

『ユニーク英作文Ⅱ』 成美堂

担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
し みづ ゆう し 清 水 祐 次	商 2 年	2

講義の内容・
授業スケジュール

日常的によく用いられる two-word verb を中心としたイディオムを活用して、動詞に重点をおいた口語表現に習熟することをめざす。
興味ある主題を扱ったエッセイ等の模範文を活用して、比較的簡単な英文から次第に内容的にも高度な英文が書けるよう練習する。

成績評価の方法

前期後期の試験，レポート及び平常授業中の発表や小テスト等によって総合的に評価する。
なお、欠席が授業時数の3分の1を超えた場合には、原則として単位の修得はできない。

教 科 書

「日常英語・作文演習」 金星堂 ￥1,100

担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
おお かわ ひろし 大 川 浩	商 2 年	2

講義の内容・
授業スケジュール

一年次で培った語学力を基礎として、さらなる英語の運用能力を高めるため、英語の口語表現の習得に努める。英語の〈連語表現〉を学習し、運用できる段階にまで、集中的に繰り返して訓練をして効果的学習を行なうことを目途とする。
辞書を活用して事前に準備を行なうこと。欠席・遅刻の回数の減少に充分、留意する。年間を通じて座席を固定する。

成績評価の方法

前期・後期の試験結果を中心として、夏季休暇中に出題される課題、及び随時、施行される小テスト等の成績を含めた平常点を加味して評価基準とする。

教 科 書

Say it in Style「日常英語・作文演習」 金星堂 ￥1,100

担当者名	配当学科	単 位
いわ 岩 た 田 よう 洋 こ 子	商 2 年	2

講義の内容・
授業スケジュール

聴解力や発話力と並行して、読解力、特に四技能の中でも、正確さを最も要求される書くことに力点を置き、作文力を強化する。理屈よりも実践を重視する徹底的な演習形式で、日本文化を英語で表現することを学ぶ。辞書を引くこと。辞書を読むことの楽しさを指導する。有用な語句や言い回しなどは、実生活に積極的に利用できるように指導する。

成績評価の方法

授業中における発表（年10回）、レポート（年2回）、前、後期の定期試験、練習問題テスト（年4回）に基づく。全評価のうち、授業中における発表、練習問題テストが50%、レポート、前、後期の定期試験が50%で評価する。ただし、欠席率が3分の1を超えた場合は、試験を受ける資格を失ない、不合格とする。

教 科 書

『日本文化を英語で表現』 成美堂 ¥1,600

そ の 他

語学習得に苦しみはつきもの。間違いを恐れずに楽しむことこそ上達への第一歩と心得ていただきたい。予習、復習を励行する。授業には積極的に参加する。

担当者名	配当学科	単 位
こ 児 ばやし 林 ひで 英 こ 子	商 2 年	2

講義の内容・
授業スケジュール

アメリカの漫画をみて、全然そのおもしろさが解らない場合がある。これはアメリカ人の日常的话题がよくわかっていないということである。アメリカ人のほとんどすべてが、子供の頃からしょっちゅう聞かされて来た歴史上の事実・人物や、逸話を学ぶことによって、アメリカ人の常識の一端を知り、英語学習を更に楽しいものにする事が出来れば幸である。

履修上の留意点

授業中発表出来るよう、必ず、下調べをし、疑問点を整理して、授業に臨んで欲しい。前後期各々授業数の3分の2以上の出席がある者を受験者とする。

教 科 書

“It All Started with Columbus” — 北星堂 —

担当者名	配当学科	単 位
ひら ばやし たく ろう 平 林 卓 郎	商 2 年	2

講義の内容・
授業スケジュール

英語の勉強においては、文法的基礎にもとづいてさまざまな形の (all round) 知識や exercise が必要である。

この授業においては重要な日常生活で使われるイディオム修得のために、会話体、英作文の形などでそれらを master しようとするを目的とする。20章において、少なくとも100のイディオムの修得とその運用を目指すものである。一時間一章づつ進みまだ時間がある場合は応用問題を使って、記憶の徹底をはかることになる。

成績評価の方法

前期後期の試験と出席点で決める。

教 科 書

木塚晴夫『EXPRESSING WITH IDIOMS』金星堂 ¥1,550

担当者名	配当学科	単 位
いち かわ ひとし 市 川 仁	法 律 2 年	2

講義の内容・
授業スケジュール

日米の大学生が文通をするという設定で、手紙のやりとりを通じて英語の表現方法を身につけてゆくことを目指す。予習を前提とし、前期は主として黒板に書いてもらい、それを添削・説明しながら授業を進め、後期は口頭による英作文を多くしてゆく予定。また学習した表現を応用した英作文及び自由英作文も、提出してもらう。

成績評価の方法

授業中の発表、ノートの提出、英作文の課題及び前・後期の定期試験による。以上を総合して評価する。出席は授業回数の3分の2以上とする。

教 科 書

『手紙による英語表現演習』三修社 ¥1,200

担当者名	配当学科	単 位
おお した まさこ 太 田 雅 子	法 律 2 年	2

講義の内容・
授業スケジュール

英語のリスニングにおいて難しい音を徹底的に学習し、映画の natural English をききとれるように練習を重ねる。又、その中の表現を自由に使えるようにする。

成績評価の方法

毎回、小テスト、年に2回ほど、総テストを実施。
授業の欠席が3分の1を超えた場合は、不合格とする。

教 科 書

矢作三蔵 William Phalon『Basics of Natural English 映画聞き取りの15パターン』
(開文社) 1,300円

担当者名	配当学科	単 位
やな せ こう ぞう 梁 瀬 浩 三	法 律 2 年	2

講義のねらい

日常生活で用いられる慣用表現の修得とともに、日本語と英語の表現（発想）の違いにも目を向けるようにする。

外国語を学ぶ場合、一定の年齢を過ぎてからは、意識的な努力がどうしても必要である。多量に単語、熟語を増すことは勿論、大事なことだが、常に日英語の間の表現（発想）の違いに注意をはらうことにより、両国の文化の違い、又は共通面に目を向けるようにしたい。

講義の内容・
授業スケジュール

掲載テキストに沿って行うが、各章の量にばらつきがあるので、短い章は一回で、長い章は二回で行い、一年間で一冊終了したい。授業は演習中心で、テープによるリスニング、黒板に出て書く和文英訳を重視する。

履修上の留意点

演習中心である以上、出席を重視する。総時間数の1/3以上休んだ場合は失格とする。具体的には、8回以上休んだら単位は認められない。当然のことながら、英語の修得には努力が必要である。テキストをよく読んでくることは勿論のこと、更に黒板に出て書けるように家、又は図書館で辞書を大いに活用して予習してくること。

成績評価の方法

年二回のテストを中身の濃いものにし、よく準備しなければならない内容のものとする。普段の授業態度、積極さ、地道な予習を重視し、評価に加える。

教 科 書

木塚晴夫 V.E.Johnson.『英語らしい英語の表現演習』 金星堂, 1,200円

そ の 他

テープはLL教室で録音してもらい、家で前もって聴く（予習）、そして学習後に聴く（復習）こと。

担当者名	配当学科	単 位
伊藤宏見	法律 2 年	2

講義の内容・
授業スケジュール

すでに、初級の英文法を一通りおわり、或程度基礎力をつけられていると思うが、更に、英語の表現に馴れるために、重要な英文法の項目をえらび、表現体系と文の構造を学ぶために、毎セッションごとに、A、B、Cの順にしたがって高度な例文を用いて、くりかえし勉強する。又それぞれの各項目には、(1)(2)(3)といった Exercise がついています。

これを各人の演習にあてて授業をすすめてゆきます。したがって、毎時間予習が必要となります。問題は平易なものから、むづかしくなっています。

後期には、基本動詞の各種の用い方、及び時事英語の見本文を、いろいろな topics にしたがって読み、それに基づいた内容の英作文を練習する。英作文の難易度は、A、B、Cの段階にわかれている。これも各人に演習してもらい、黒板にて発表してもらう。

毎時、辞書、ノート、教科書、参考書を忘れないこと。

成績評価の方法

出席を重視し、毎時の演習の成績、定期的二回のテスト、時々的小テスト、授業への積極的な態度などを加味して評価する。

教科書

『現代英語表現法』 文化書房 1,700円

担当者名	配当学科	単 位
渡部孝治	法律 2 年	2

講義のねらい

アメリカン・ミュージック（ブルース・ラグタイム・ジャズ・ロック）を通して英語を学ぶ、各ジャンルの有名な曲を取り上げ、コロキユアルな英語はもとより、歌詞についても深く学ぶ。時代背景についても詳しく触れたい。

履修上の留意点

必ず予習をして出席することを前提とする。予習していない者は欠席とする。前期・後期の2回の試験を必ず受けること。授業実数の1/3以上の欠席は単位を認めない。

教科書

A. Ben Jasper 著『Notes on American Music』（英潮社）

担当者名	配当学科	単 位
まち だ しげ お 町 田 成 男	法律 2 年	2

講義の内容・
授業スケジュール

I Aを基礎として、より高度な英語の運用能力を身につける。日常会話や映画等で多用される語や慣用表現を学び、身近なことから表現できるようにする。また、文章表現の場合、各パラグラフから自由英作文（600字－A 4で2枚程度）を年3～4回提出してもらう。

成績評価の方法

授業中における発表（年に約6回）、レポート（年に約3回）の課題と前・後期の定期試験に基づく。ただし、平常授業の欠席率が3分の1を超えた場合には不合格とする。

教 科 書

2冊使用の予定

そ の 他

履修者はテープ、ビデオ等を利用して英語により親しむことを特に要望する。

担当者名	配当学科	単 位
つか もと とし お 塚 本 利 男	法律 2 年	2

講義の内容・
授業スケジュール

イギリスの歴史・文化・習慣などに関する内容の英文を読み、演習を通じて基本文法事項の理解を深め、その文法力を利用して英文を書くことが出来るようにする。

最初は基本的な文法事項から、徐々に高度なものへ——短めの単文から句を用いた多少長めの単文へ、そして節を用いた重文や複文へと——文法力を習得しながら英語の表現力を養う。最終的には、自分の考えを正しい英語で表現できることをめざす。毎授業に自分の言いたいことを正しく伝え、理解させる表現力の実践の場として、小テストを実施する。

成績評価の方法

授業中における発表（年約8回）、レポート（年約2回）、小テスト（毎回）の課題と、前・後期の定期試験に基づく。全評価のうち、授業中における発表・レポート・小テストなどが50%、前・後期に定期試験が50%で評価する。ただし、平常授業（前・後期の定期試験は除く）の欠席率が1/3を超えた場合は不合格とする。

教 科 書

『基本英語表現法』 成美堂 ￥1,600

そ の 他

英和辞典・和英辞典を必ず持参すること。

担当者名	配当学科	単 位
おのえのり 尾上典子	法律 2 年	2

講義のねらい

アメリカ文化を歴史的に考察する上で、アメリカの西部開拓の過程について学ぶことは不可欠であり、西部開拓史を知らずして、真のアメリカ人的な価値観も思考体系も正しく理解することはできない。従って Manifest Destiny (明白なる神意) に基づいてアメリカ人が西部へと進出し開拓して行った歴史を辿った下記の本を教科書として使用して翻訳させながら、同時に西部開拓史を取り扱った数本の映画を授業を見せ、映画を通して英語の聴解能力を高めさせ、英語運用能力の向上をはかる。

履修上の留意点

正当な理由なくして年間の授業の出席率が2/3に満たない者は必ず落第させる。毎回、授業のための予習と復習をしっかりと行なっておくことを要求する。

成績評価の方法

評価は、授業態度、出席率、年2回の前・後期試験によって総合的に判断する。

教 科 書

Ray Allen Billington, *Westward to the Pacific—An Overview of America's Westward Expansion* (開文社出版 ¥1,854)

担当者名	配当学科	単 位
まさくら 笹倉 貞夫	法律 2 年	2

講義のねらい

近年ますます国際化してゆく現代社会に即応し得るような洗練された国際感覚の育成とともに実践的な英語運用能力の伸長をめざす。

講義の内容・
授業スケジュール

口語アメリカ英語によるプレゼンテーション (Presentation)、応用ダイアログ (Application Dialogue)、Conversational Style 等々を吟味・検討する一方、Pattern Usage Drill 及び Japanese-English Drill を通じて口語英語の実践的運用能力の伸長をはかる。(テープ教材併用予定)

履修上の留意点

予習・出席重視。

成績評価の方法

前・後期末の期末テストの他、随時小テストを行い総合的に最終評価を出す。出席状況等も勘案する。

教 科 書

William L. Clark 著 Spoken American English
『アメリカ口語教本』(中級用) 研究社 ¥1,300

担当者名	配当学科	単 位
ふじ しま たか き 藤 島 喬 樹	法 律 2 年	2

講義のねらい

英語 I A を基盤とし、より高度な英語能力習得を担いとする。

成績評価の方法

- I 平常点 — 具体的には以下のとおり。
- ① 年間を通じ全授業回数の最低 2 / 3 以上の出席（即ち、平常授業の欠席率が 1 / 3 を越えればそれでもう不合格となる。）
 - ② 授業時の発表、質疑応答等（直）
 - ③ MINI・TEST（各授業開始後即施行。従って遅刻のゴマかしは絶対にきかず、不受験なら、勿論その分は 0 点。）
- II 前期定期試験・学年末試験（7 月と年度末にそれぞれ実施。）
以上を総合的に算出し、学年単位で評価点を出す。

履修上の留意点

授業の無断欠席、特に該当発表者発表当日の無断欠席は授業進行上非常に支障をきたすので呉れ呉れも慎むよう。又授業受講の際は、各自英和辞典を必ず持参のこと。

担当者名	配当学科	単 位
おお た まさ こ 太 田 雅 子	政 治 2 年	2

講義の内容・
授業スケジュール

英語のリスニングにおいて難しい音を徹底的に学習し、映画の natural English をききとれるように練習を重ねる。又、その中の表現を自由に使えるようにする。

成績評価の方法

毎回、小テスト、年に 2 回ほど、総テストを実施。
授業の欠席が 3 分の 1 を超えた場合は、不合格とする。

教 科 書

矢作三蔵 William Phalon『*Basics of Natural English* 映画聞き取りの 15 パターン』
（開文社） 1,300 円

担当者名	配当学科	単 位
はま だ かず いえ 浜 田 一 宇	政治 2 年	2

講義のねらい

英語による意志伝達を目標に自由作文や会話表現を修得するためには、何よりも身近な普段目にふれ耳にする日頃の日常生活を英語で言ってみる事です。単語も覚えやすいし、英語が苦手とか基礎ができていないなどに関係なく、誰でも容易に英語に親しめるはずで、国際化時代への対応は身近な話題です。

講義の内容・授業スケジュール

具体的には、四コマ漫画や、紙芝居のナレーションをしたり、VTR等から日常の生活を映像を通して表現し、テキストも日本の一年の四季や行事、気候や生活を話題にしたもので普段の私達を言い表わすことを念頭に置いて、授業スケジュールを組んで行きます。

履修上の留意点

語学の授業で、プリントも多く用いますので、欠席が多いと分らなくなります。

成績評価の方法

前後期2回の試験を中心に平常授業での応答と出席を考慮して評価します。

教科書

木塚晴夫著『発信型作文演習 ― 季節の中の日本』 マクミラン・ランゲージハウス 1,450円

担当者名	配当学科	単 位
かわ また よう たろう 川 股 陽 太 郎	政治 2 年	2

講義の内容・授業スケジュール

一年時に取得した英語力をもとに、もう一段上のリスニング、コンプリヘンション、スピーキング、ライティングの能力を高める訓練をおこなう。と同時に、文化的背景を説明し、教育を身につけるようにする。言いかえると、

英語を耳でとらえ、その内容を理解し、耳でとらえたものを口から出す訓練をする。また、テキストに出てくる慣用句を参考にして、英語を書く練習をする。聞き取る能力がなければ、相手の言っていることを理解することは出来ない。従って最初からコミュニケーションは成立しないことになる。聞きとる力と話す力（リスニング・コンプリヘンション・スピーキング）は不可分の関係にある。三つの能力、すなわち、英文の内容を読み取る力、英語を聞き取り話す力、英語で文書を書く力、この三つは別々のものであり、個々に訓練し、能力を身につけるようにしたい。

授業ではテーマを極力用いる。発音、イントネーション、アクセントはもちろんのこと、大きな声で、内容にそくして、なめらかに読む練習も大切にしたい。

成績評価の方法

授業中における演習、発表、小テストによる。5段階評価で言えば、発表時の声が小さい場合、最終評価で5は有り得ない。授業中の演習・発表の合計（100点）、授業中の小テスト・レポートの合計（100点）とし、両者を等価に評価する。従って、出席と評価は自動的に連動することになる。欠席率が三分の一を越えた場合は不合格となる。

教科書

「(英文) 英語の聴解演習」*Listening Comprehension Practice*
補助教材としてプリントを使用する。これは適宜配布する。

担当者名	配当学科	単 位
なか やま ひろ かず 中山 浩 一	政治 2 年	2

講義の内容・
授業スケジュール

日常生活で頻出するイディオムと日本人の苦手とする動詞と名詞の結びつきに学習の重点を置き、英語の表現能力の向上を目指す。

履修上の留意点

- ① テキスト各章の例文と記載内容、練習問題を予習しておく。
- ② 予習の結果を口頭やペーパー記述などを通して発表する。
- ③ テキストの復習と日常生活での活用に努める。

成績評価の方法

- ① 前・後期の二回、試験を実施する。
 - ② 日頃の口頭発表とペーパー発表の状況を評価し、①の成績に加算する。
 - ③ 出席は全講義回数の三分の二以上確保する。
- 以上の①を中心に②③を参考にして総合評価する。

教 科 書

『イディオムを使った英語の表現演習』 金星堂 ¥1,550

そ の 他

予習と活用を心掛けること。

担当者名	配当学科	単 位
い とう ひろ よし 伊 藤 博 義	政治 2 年	2

講義の内容・
授業スケジュール

マスメディアの先端技術化により世界の出来事が日米の茶の間で同時にテレビ画像で、見られる様になり、英語を学ぶ学生はそれらの詳細の記事に辞書を手に興味をもって読み語学力を養う事が出来る。そうした点でこのテキストは話題が広範囲で面白く現代用語も豊富で見聞を広められる。正確に声を出して本文を5回以上読み、文の構成をよく見て、新語を予習し、質疑応答を繰り返しながら、大意を把握して、更に読み、練習問題を自分でやる。辞書を多用して、20の設問に答える。

成績評価の方法

教室内の授業態度、大体3頁～5頁の進度予定のテキストの予習復習程度、授業中の発表回数、テスト2回の得点、出欠状況等を重視して、総合評価する。

教 科 書

安田哲夫編『Current English (時事英語)』 成美堂 ¥1,600

参 考 書 等

各英字新聞
時事英語辞典 (研究社)

担当者名	配当学科	単 位
井 出 功 一	政治 2 年	2

講義の内容・
授業スケジュール

テキストは単なる英作文だけでなく、環境汚染、資源とエネルギー、人口爆発、高齢化社会、教育改革、外洋漁業、第三世界への援助、平和と戦争、核兵器、病気、日本と日本人、日本経済などをテーマにした英文と、「無生物」を主語にした英文の書き方の練習部分の二つから成り立っている。

英語の表現力を養うには英文をたくさん読んだり聞いたりして、そこに出てくる英語を的確にとらえ、さらに、英文の内容を自分で創造し、話したり、書いたりすることが賢明な学習法。

なお、英語を正確に理解する能力を高めるため、口語的表現と文語的表現、情報量の度合いにまで触れた文法書も使う予定。

教 科 書

A New Approach to Better Writing 『現代英文表現法』（南雲堂）

担当者名	配当学科	単 位
ほそ の ひで 子 細 野 秀 子	経営 2 年	2

講義の内容・
授業スケジュール

英語ニュースを通して、国際理解に必要な情報を耳から得る訓練を行う。これと並行して、日常会話の慣用表現も学んでいく。前期は日常会話の比重が大きいが、後期には次第に英語ニュース聴解の回数を多くし、高度な英語を聞く機会を増やしたい。

成績評価の方法

授業における発表（年10回以上）、要約等の小テスト（毎回）、前・後期定期試験、夏期課題等による。前・後期定期試験50%、小テスト25%、発表15%、課題10%の割合で評価する。なお、年間を通し、欠席が1/3以上越えた者には評価を与えない。

教 科 書

開講時に指示する。

そ の 他

日常、英語に触れる努力をするよう要望する。

担当者名	配当学科	単 位
む とう ひさ お 武 藤 久 緒	経営 2 年	2

講義のねらい

日本語の英訳する際、文法的に正しい英文を書くことは当然のことではあるが、文意が English Speaker に理解されるものでなければならない。相手に通じる妥当な英文を書くことを目的とし、これまでに習得した知識をふまえて更に多様な表現形式、慣用的表現・日本語と英語の発想の違いを学習する。自分のこと、日本の文化、伝統、歴史、習慣などについて英語で説明できるよう英語表現力を培う。

成績評価の方法

前・後期の定期試験、授業中における発表、レポートに基き評価する。平常授業の欠席日数が、全授業日数の 1/3 を超えた場合は不合格とする。

教科書

『トーキング・アバウト・ジャパン』朝日出版 ¥1,600

担当者名	配当学科	単 位
き むら かつ ひこ 木 村 克 彦	経営 2 年	2

講義の内容・
授業スケジュール

イギリスの代表的な戯曲の精読から、運用能力の礎をつくりたい。前期は文体に慣れ、後期は用法面を補いたい。なおテキストは17ページから読み進める予定であるので、そこから予習をお願いする。

成績評価の方法

基本的には、前期・後期試験の結果に因るが授業態度の劣悪（私語等）な者は、試験の成績にかかわらず不可とする。

教科書

『オスカリアーナ』（改訂版）北星堂 ¥1,400

参考書等

『ワイルド作品論』新樹社 ¥2,500

担当者名	配当学科	単 位
えだきこ 江田幸子	経営2年	2

講義の内容・
授業スケジュール

読む、書く、聴く、話すの英語運用、能力を総合的にバランスよく育成していくことを目指す。目標としては、これら（読む、書く、聴く、話す）の要素を、生活の上で、実践的に、しかも、臨機応変に駆使出来るようになることを最終的な目標としたい。従って、テキストには、writing と同時に speaking 及び listening を同時に並用していく。

同時に、自己を表現すること——何を、どのように——を学習する。

そのために、常日頃の問題意識と思考の訓練を促すような問題提起を随時行いながらディスカッション等行っていく。そして、自分なりの思考を煮詰めて、英語の言語システムに組み込んでいく指導を行う。

Writing に関しては、まず日本語を英語用に分析、分解、組み立て直すことを中心に置き、英語の言語システムに慣れ、最終的には、日本語を介在させずに、英語→英語に行くことを目標とする。

成績評価の方法

平常授業点を重視する。

出席の条件は、予習が出来ていることを前提とするので、授業中に指されて準備の出来ない学生は、半分の出席点とする。クラスでの発表点及び随時、小テスト等行い、前・後期の定期試験を含めて——総て等価で、どの試験を特に重んじることはしない——60点以上を合格とする。従って、常日頃の学習の積み重ねによって実力の向上を計ること主眼とするので欠席は年間を通して5回迄に止めること。

教科書

- (1) Writing用: From Paragraphs to Essays 「パラグラフからエッセイへ」英潮社 1,600円
- (2) Speaking用: Activities for Effective Communication 「コミュニケーション実践演習」

その他

リスニング教材（未定）、テープ使用

担当者名	配当学科	単 位
むらいしえしょう 村石恵照	経営2年	2

講義の内容・
授業スケジュール

現代実際に使用されている主として口語英語の運用能力の充実をはかる。実際に使われている口語（会話）表現であるから、様々な社会階層の人々の使う英語に慣れることが聞き取る場合大切で、また発話する立場では自分の感情と内容を標準的な会話体で話すことが必要である。聴取・発話を外国語として身につけるには信頼できるテキストを確実に利用することが必須である。（適宜テープ、ハンドアウトを使用）

成績評価の方法

授業中での学習参加意欲、小テキスト、前後期末の平常テストにもとづく。出席重視。

教科書

「Streamline English: Connections イギリス英語版」オクスフォード大学出版局
¥1,880

担当者名	配当学科	単 位
さとう あまこ 佐藤 明子	経営 2 年	2

講義の内容・
授業スケジュール

英語の文章では、作者の考えがどのようにまとめられているかテキストからその効果的な方法を学ぶ。さらに応用として、新聞や雑誌の記事などの生きた英文を使って、文章の分析や要約などを試みる。またテープやビデオなどの教材を使った口語表現の訓練も同時に行なう。最終的には与えられた課題を数ページの英文エッセイにまとめられることを目標とする。

成績評価の方法

授業中の発表、英作文などの課題と、前期・後期試験、授業内に行う小テストに基づいて総合的に評価をする。ただし授業の欠席率が3分の1を超えた場合は不合格とする。

教 科 書

From Paragraphs to Essays『パラグラフからエッセイへ』英潮社 ¥1,600

そ の 他

授業は予習を前提とした演習形式で行なわれる。

担当者名	配当学科	単 位
ほんま こういち 本間 孝一	経営 2 年	2

講義の内容・
授業スケジュール

I Aを基礎として、より高度な英語の運用能力を身につける事を目的とする。語学の進歩は一に drilling にあるから、毎回の出席を重視し、又演習形式をとり、成る可く多数の学生に当てて、テキストの語法の問題点を質疑応答し、組全体としての実力向上に資する様にしたい。訳読と相俟って、文法、並びに和文英訳との関連の下にテキストの内容を base にして英語の speech, discussion 等をして英語の総合的力をつける可く授業を進めたい。又年に数回テキスト内容を元にしての自由英作文を提出させたいと考えている。

成績評価の方法

出席状況、レポート、普段行う小試験、並びに前後期の定期試験を以ってこれを行う。なお、平常授業中の発表も大いに重視し、出席に関しては、欠席率が3分の1を超えた場合は不合格とする。

教 科 書

未定

そ の 他

履修者はテープ、ビデオ、映画を利用して、口語の英語に慣れる様にして頂きたい。

担当 者 名	配 当 学 科	単 位
井 出 功 一	経 営 2 年	2

講義のねらい

テキストは『巨視的な立場での経済学入門』とでも訳すべき教材で、人々のくらしは個人だけでなく、‘Everybody’との関わりの中で動いているという趣旨で書かれている。

内容は『価格、賃金、所得、税金……』などを人間にとっての立場で描いてある。ラーナー氏はミシガン大学の教授で、とくに「機能財政学」では屈指の学者である。

なお、テキストの英文は平易な上にも味のある表現に溢れ、英作文、英文法の力をつけるにも絶好なモデルである。

また、英語の表現力を養うため、情報化社会に向けて書かれた文法書も使う予定。

教 科 書

Everybody's Business 『みんなの経済』（南雲堂）

担当 者 名	配 当 学 科	単 位
伊 藤 美 代 子	経 営 2 年	2

講義の内容・
授業スケジュール

IAを基礎として、ライティング、スピーキングの両面からより高度な英語による意志伝達能力の向上を目指す。全授業日数の2/3以上の出席が必要。また、小テスト、課題作文の提出、プレゼンテーションを重視。

最新の時事問題について自分の意見を述べ、且つ書くことができるようにする。スピーキングでは前期は主として意見の表現法を学び後期はそれを基礎にディスカッションの機会を持つ。ライティングは前期にパラグラフの構成を学び、後期にはまとまったエッセイの提出を行なう。

成績評価の方法

授業中の発表（年約10回）、課題作文（年約5回）、小テスト（年約10回）、前・後期それぞれの間及び期末試験に基く。全評価のうち提出物、授業中の発表、小テスト等が50%、各学期の間及び期末試験50%で評価する。ただし平常授業の欠席率が1/3を超えた場合は不合格とする。

教 科 書

「ニュース・トピックで学ぶ英作文」 金星堂 ￥1,650

そ の 他

履修者は各クラスに徹底的な予習をした上で出席することが要求される。

担当者名	配当学科	単 位
あさ かわ ま き 朝 川 真 紀	経 営 2 年	2

講義のねらい

英語による意志伝達：より高度な英語の運用能力を身につける。

講義の内容・
授業スケジュール

異質の文化を理解し、外国に対する好奇心を抱きながら、ライティング能力の向上を目指す。海外での生活や旅行に必要な英語、さらには自分の意見を述べるための英語が使いこなせるように和文英訳、口頭演習を行う。辞書を有効に使用して語彙を補強し、十分予習をして授業に備える。また、useful expressions は暗記するように心掛ける。

成績評価の方法

レポートを前期後期それぞれ一回ずつ提出。小テスト、前期、後期試験を実施して評価を出す。また、出席を重視し、欠席が3分の1を超えた場合は不合格とする。

教 科 書

『英語へのパスポート』 朝日出版社 ￥1,200

そ の 他

映画、音楽、英語ニュースなどを聞き、普段から英語に慣れておく。

担当者名	配当学科	単 位
まえ だ おさむ 前 田 脩	経 営 2 年	2

講義の内容・
授業スケジュール

リスニングをまじえてパラグラフの基礎作制を学び、文の構成へとすすみます。前期、後期とも二回の自由作文を提出してもらいます。

成績評価の方法

前期試験、後期試験、日常評価（クラスでの発表）を総合評価します。

教 科 書

『ベーシック・パラグラフ読解・作文』 英潮社 ￥1,600

担当者名	配当学科	単 位
すぎ 杉 むら 村 はつ 初 え 枝	経営 2 年	2

講義の内容・
授業スケジュール

日常会話に必要な語や表現を学び、身近なことを表現できるようにする。Listening practice を中心に身近な生活で使われる表現や語句を学び、speaking activity で実際に練習する。Listening practice では、かなり長い会話を毎回いくつか聴くので、英語のコミュニケーションに必要な聴きとる力も同時に養う。

成績評価の方法

授業中における発表と前・後期の定期試験に基づく。ただし、平常授業の欠席率が3分の1を超えた場合は不合格とする。

教 科 書

『Airwaves』（マクミラン） ¥1,800

担当者名	配当学科	単 位
あし 芦 ざわ 澤 ひさ 久 え 江	経営 2 年	2

講義の内容・
授業スケジュール

テキストの題材は、若い日本人の風俗習慣や生き方、外国人ビジネスマンと留学生、環境問題、企業とスポーツ、日本人の衣食住などいずれも身近なものばかりである。授業ではまず本文に入る前に、本文で使われる語句や意味をチェックする簡単な問題を行う。次にビデオを見て、内容を耳で聞きとる練習をする。ビデオの内容を把握した後で、内容をどれだけ理解できていたかどうかが。内容に関する問題に答えてもらい、さらにビデオで見ながら聞いた英文の一部分を聞き、空欄にしてあるところに単語を入れる聞き取り練習をする。そして次に、ビデオの内容に関連する会話の練習をペアで行う。最後に英文を聞いて日本語に訳す練習をする。これは英語から日本語への通訳をするための訓練となる。

成績評価の方法

授業中における態度、出席回数、前期、後期に行うテストを総合的に判断して評価する。

教 科 書

『世界がみつめる日本』 成美堂 ¥1,800

そ の 他

授業に積極的に取り組むことを望む。

英 語 II B

〈英語 II B の授業の内容と履修上の留意点〉

Speed Reading and Intensive Reading : I B を基礎として、できるだけ多くの量を読めるように、大意の把握に心掛け、読む速度を上げます。また、より高度な英文を正確に理解するための構文も学びます。

演習科目なので、全授業日数の3分の2以上の出席が必要です。レポート、小テスト、プレゼンテーションなどの課題を重視します。

担当 者 名	配 当 学 科	単 位
こ 古 富 たくし 猛	禅 2 年	2

講義のねらい

現代社会は20世紀末を迎え、政治的、経済的に多様化を深めてゆく中で混沌としてきたことは我々みんなが肌身で感じていることではなかろうか。浮かれている時は過ぎ、不安の時代へと進まざるを得なくなった。その中で日本人としてどの様に考え、行動しなければならないか究めて難しい命題を今やつきつけられている。今後自らに常に問いかけながら生活せざるを得なくなっていると思われる。さらにイデオロギーの対立性が緩和された中で、民族的な闘争は絶えること無く、その様な情勢を宗教を学ぶ皆さん方も無視するわけにはゆかないであろう。その一方で、それぞれの国、それぞれの民族が独自性を主張する中、ECやAPECにみられる様に地域的、歴史的背景の中で大きく統合しようとしている。まさに各々の生き残りをかけたゲームが始まっているのではなかろうか。

その危機感を大学生として憶えていないわけではなく、様々に思考しているのであろう。ともかく語学の授業として、考え、意見を主張する能力を身につけることは、これからの時代に欠くべからざるものと判断し、その方法論等も含めて、授業の中で身につけるべく進め、お互いに学ぶことを目指すつもりです。

成績評価の方法

口語表現に応用できるテキストを多読することによって、幅広いパターン、プラクティスを目指すべく予習を平常点に考慮します。基本の前・後期の筆記試験を目安とし、平常点とともに総合的に評価。また欠席率は3分の1を超えない事。ペーパー・テストのみの評価をさける様にします。

教 科 書

『最新地球環境レポート「タイム」を読む』 桐原書店 ￥1,380

そ の 他

テープ、映画等により聞く力を身につけることを希望します。

担当 者 名	配 当 学 科	単 位
ふじ 藤 しま 島 たか 喬 き 樹	禅 2 年	2

講義のねらい

I Bで習得した英語力を基盤として尚一層大量に読めるよう、大意の把握を心がけ、同時に又その Speed up を計る。

成績評価の方法

I 平常点

- ①年間を通じ全授業回数の最低2/3以上の出席を要する。(即ち、平常授業の欠席が1/3を割ったらその時点でもう不可)
- ②MINI TEST (各授業開始直後即施行。従って遅刻のゴマかしは絶対にきかず、不受験なら勿論その分は0点)
- ③ 授業時の発表、質疑応答等

II 前期定期試験、学年末試験(7日と年度末にそれぞれ実施)
以上を総合的に算出し、学年単位で評価点を出す。

履修上の留意点

授業の無断欠席、特に該当発表者発表当日の無断欠席は授業進行上非常な支障をきたすので厳に慎しむよう。又、授業受講の際は各自必ず英和辞典を持参のこと。

教 科 書

雨宮 剛 編註「国際語としての英語」 成美堂 ￥1,600

担当者名	配当学科	単 位
かわしまひろゆき 川 島 弘 之	仏教2年	2

講義のねらい

受験英語を長い間、勉強してきたために、英語嫌いになっている学生が非常に多い。長い間学んだ受験英語を生かして、英語を楽しんでもらいたい。そのために学生たちが、強い関心、興味を抱いているロック音楽を通して英語を楽しんでもらう。テキストよりも学生1人1人のロック、ポップス、ジャズ、ソウルのリクエスト曲を中心にして授業を行う。歌詞の中の生きがい、Love についての考え方や感性をまた味わってもらいたい。1年後には英語のロックやポップスが歌えるようになってもらいたい。とにかく共に楽しめる感動のある授業にしたい。

成績評価の方法

授業中における他の学生の発表に興味、関心を抱くよう努力し、理解してもらうことを重視する。発表、レポート、前・後期の定期試験に基づく。前期試験は英語の歌を歌うことで行うこともできる。平常授業の欠席が3分の1を超えた場合は不合格とする。

教科書

- 1) 学生1人1人のリクエスト曲（歌詞は私が印刷する。曲のテープも私が用意する。）
- 2) 『ロックの心』大修館書店 ¥1,339

参考書等

- 『ロックの音楽と現代社会』 マクミラン・ランゲージハウス
- 『ロックの意味』 草思社
- 『ロック・ミュージックとアメリカ』 シンコー・ミュージック
- 『Rock名盤・名曲693』 日本文芸社
- 『ロックが聴える本105』 シンコー・ミュージック

その他

CD, テープ, レーザーディスク, ビデオで英語を楽しんでもらう。

担当者名	配当学科	単 位
いとうみよこ 伊 藤 美代子	仏教2年	2

講義のねらい

I Bを基礎として、さらに多くの英文を速く、しかも正確に読む能力を身につける。

講義の内容・授業スケジュール

現代のノンフィクション、雑誌、新聞等から選ばれた題材をより速く読み、且正確に内容を把握できることを目指す。前期は主として教科書を中心に課題の各パラグラフの大意を正確につかむことと、熟語の習熟に力を入れ、後期にはより高度な実際の新聞・雑誌の記事を読む機会を増やすことにより読解力の向上を計る。

履修上の留意点

予習を前提とした徹底的な演習形式を用い、授業中の発言及び小テスト等を重視する。全授業日数の2/3以上の出席が必要。

成績評価の方法

授業中における発表（年約10回）、小テスト（年約10回）、前期・後期それぞれの中間及び期末試験に基づく。全評価のうち発表と小テスト等が50%、各学期の中間及び期末試験50%で評価する。ただし、平常授業の欠席率が1/3を超えた場合は不合格となる。

教科書

「DEVELOPING READING SKILLS」朝日出版社 ¥1,700

担当者名	配当学科	単 位
井 出 功 一	仏教 2 年	2

講義のねらい

テキストはノーベル賞作家、パール・バックの『アメリカと私』である。彼女は40年間の前半生を中国で過ごし、『大地』を書いた。残りの40年間を、海を隔てて常に夢みた「人間の平等」と「民族の自由」の伝統が生きている祖国に移り住んで創作を続けた。

本テキストはアメリカの20州を選んで、州ごとに異なる人間模様を織り込みながらアメリカとアメリカ人を語りかける。

なお、英語を的確に把握する力を高めるため、口語的表現を文語的表現、情報量の度合いにまで触れた文法書も使う予定。

教 科 書

Pearl Buck's America 『アメリカと私』（成美堂）

担当者名	配当学科	単 位
伊 勢 村 定 雄	国文 2 年	2

講義のねらい

リーディングの中・上級を目指すために、次の点を留意しながら進める。①語い、語句は英語として意味を常に確認する。そのためには ②辞書を徹底的に引く。③英語が言語である以上、その音声修得も無視されてはならない。それ故各単語の発音は必ず調べておく。④その上で常識的日本語に置きかえながら内容を理解しかつ味わうことを目標とする。

講義の内容・授業スケジュール

現代アメリカの平易な英語で掛かれた芝居のテキストを用いる。テストは年2回を予定。

履修上の留意点

内容につながりがあるテキストを用いるので時たま出席すると全然理解不能となるので出席が大事。

成績評価の方法

①出席率及び態度。②定期考査（2回予定）。

教 科 書

N. Simon 『Broadway Bound〔ブロード・ウェイを目指して〕』 金星堂

参 考 書 等

中型英和辞書なら何でも可。

そ の 他

毎回全員に当たるようにその場で指名するので予習は全員がその日の箇所は全部やるのが前提となるのでそのつもりで。

担当者名	配当学科	単 位
ほそ 細 の 野 ひで 秀 子	国 文 2 年	2

講義のねらい

これまで学んできた英語を、文学作品を通じて、さらに正確に深く読み込む訓練を行う。これに並行して、語彙面での充実をはかりながら、速読の技術も身につけていく。予習は必ず行い、課題も欠かさずこなすこと。前期・後期とも、様々な作品上の技法を学びながら、豊かな英文学の世界を広げていきたい。

講義の内容・
授業スケジュール

授業では、年10回以上の発表を基本とし、前・後期約3回ずつと、夏期に課題を課す。試験は各学期末に行う。出席重視。但し、年間3分の1以上欠席した者の単位は認めない。

成績評価の方法

評価は試験の点数50%，課題25%，発表25%とする。

教 科 書

開講時に指示する。

そ の 他

多くの文学作品に触れてもらいたい。

担当者名	配当学科	単 位
や 矢 じま 島 なお 直 子	国 文 2 年	2

講義のねらい

年間を通じて2種の教科書を使い、精読と速読を学ぶ。精読の教材は難しいところもあるので、時にていねいに読まざるを得ないが、慣れてきたら全体的にスピードを上げる。速読は練習問題を解いて学ぶ。精読は予習を前提とした演習形式を取る。速読は授業のたびに15分程行なう。目標は、程度の高い文章を速く読んで、しかも要点をつかめるようになることである。

成績評価の方法

授業中にあてる回数が多いので、平常点が10%，前期中間テストと後期中間テストが30%，前期末試験と後期末試験が60%である。外国語の勉強には平常授業が大事なので、原則として、平常授業（前・後期の定期試験日、中間試験日は除く）の欠席率が3分の1を超えた場合は不合格とする。

教 科 書

- 1) 小田幸信「速読の基礎訓練Ⅳ, Ⅴ」英潮社 各410円
- 2) 巽孝之・編註「アシモフが語るアイディアの世界」成美堂 1,300円

担当者名	配当学科	単 位
かわ また よう たろう 川 股 陽 太郎	英米文 2 必	2

講義のねらい

I Bを基盤として、さしでできるだけ多くの量を読むようにする。英文を読み進むままに内容を理解する。いわゆる、直読直解の練習をする。と同時に、内容を把握し、大意をつかむことが出来るようにする。

講義の内容・授業スケジュール

上記目的を達成するよう努力すると共に、新聞、雑誌等を用い、政治、経済、文化等に関する記事を読み、より教養を高め、文化的背景を理解するための説明を入れる。また、イントネーション、発音、アクセント、ポーズ、および内容に則した読み方も大事にしたい。内容および音読の予習を前提として授業を進める。時事英語的なものに加えて、ラピッド・リーディング用の教材も用いる。

成績評価の方法

評価は、授業開始とともに行う小テスト、および授業中における演習、発表による。5段階評価で言えば、発表時の声が小さい場合、遅刻が多い場合、最終評価で5は有り得ない。授業中の演習・発表の合計を100点、小テスト・レポートの合計を100点とし、両者を等価に評価する。遅刻は授業開始と同時に小テストを受けこなうことを意味し、出席と評価は自動的に連動し、そのまま評価につながる。欠席率が3分の1を超えた場合は不合格とする。

教科書

特定の教科書は用いない。プリントを作り、適宜配布する。

担当者名	配当学科	単 位
なか お しゅん こう 中 尾 俊 光	英米文 2 必	2

講義のねらい

「国際化」の問題を考える時、できるだけ多くの客観的情報を入手することが大切と思われます。世界全体、北アメリカ、アジア、ヨーロッパ、第三世界のそれぞれにおける全般的な諸問題、次に各国の具体的な問題を扱った解説文と記事を読みます。授業は予習を前提とした発表による演習形式です。英文の日本語への逐語訳をできるだけ避け、全文の主旨、段落の要旨の把握に向けて、英文の流れ（語順）に添って理解できるようになることを目指します。なお、発音にも留意します。

成績評価の方法

(1)発表
(2)小テスト・レポート等
(3)前期試験
(4)後期試験
以上の4点をもとに総合評価します。

教科書

「最新時事英語・世界を読む'96」 マクミラン・ランゲージハウス ￥1,800

その他

履習者は、言語の持つ「意味」と同時に「音」の面にも十分な注意を払って下さい。テープによるモデル・リーディングによってさらに音のチェックをして下さい。
なお、原則として、全授業回数の2/3以上の出席者を、成績判定を受ける有資格者とします。

担当者名	配当学科	単 位
まし 岸 もと 本 しげ 茂 かず 和	英米文 2 必	2

講義のねらい

構文・語彙などはさほどむずかしくないが、世界の歴史の流れを俯瞰的に理解していなければならぬ。「精読」をとおして読解力のいっそうの養成を期する。予習の必要はいうまでもない。1回の授業で3ページは進みたい。

成績評価の方法

試験は中間試験と定期試験の年2回。60点以上パスサブルとする。年間授業時間の3分の1以上を欠席した場合は不合格とする。

教 科 書

エリック・ホフファ『我らの時代』（南雲堂 定価960円）

参 考 書 等

授業には英和辞典をかならず携帯すること。

担当者名	配当学科	単 位
ひろ 広 かわ 川 おさむ 治	英米文 2 必	2

講義のねらい

英語の Reading および Listening 能力の向上を目標とすると同時に、英米文化の知識を得る機会としたい。

講義の内容・
授業スケジュール

初回は、授業のさらに詳しい説明と簡単な自己紹介、アンケート。テストは前後期2回の他、必要に応じて、小テストも行う。

履修上の留意点

出欠席を重視する。教室に来ていても、参加しない場合は欠席扱いにする。

成績評価の方法

出欠席で成績をまず限定したうえで、平常点、前後期のテストの結果を見て判断する。レポートを課題として出す予定。

教 科 書

プリント配布の予定。

担当者名	配当学科	単 位
む とう ひさ お 武 藤 久 緒	英米文 2 必	2

講義の内容・
授業スケジュール

英文を正しく解釈するということは、文字の表わす辞書的な意味がわかるということだけではない。筆者が何を言おうとしているのかを正しく把握することである。文意に含まれている思想内容をつかみとることである。そのためには書かれている言葉の意味を文脈の中でつかみとらなければならない。文中の言葉は決して独立してはおらず、他の語との相互関係の中で意味を持つ。文脈の中で意味を考えて、はじめて英文を味わうことができる。この学習にふさわしい教材、グレアム・グリーン の作品を読み、文脈の中で意味を考える練習を行い、グリーン の簡潔ではあるが、微妙に陰影のある文章の面白さを、じっくりと味わってもらいたい。

成績評価の方法

前・後期の定期試験、授業中における発表、レポートに基づき評価。平常授業の欠席日数が、全授業日数の 1/3 を超えた場合は不合格とする。

教科書

「破壊者」 英宝社 ¥920

担当者名	配当学科	単 位
まち だ しげ お 町 田 成 男	歴史 2 年	2

講義のねらい

1B を基礎として、さらにできるだけ多くの量を読めるように、大意の把握をしながら、読む速度を上げる。また、文法の基礎も確認しながらより高度な英文を正確に理解するための構文も学ぶ。

成績評価の方法

授業中における発表（年に約 6 回）、レポート（年に約 4 回）の課題と前・後期の定期試験に基づく。ただし、平常授業の欠席率が 3 分の 1 を超えた場合は、原則として不合格とする。

教科書

2 冊使用の予定

その他

履修者はテープ、ビデオ等を利用して英語により親しむことを特に要望する。

担当者名	配当学科	単 位
きたむらひろふみ 北村弘文	歴史 2 年	2

講義の内容・
授業スケジュール

オーウェル (G.Orwell) の “Such, Such Were the Joys” を読みます。この作品は多少フィクションの箇所もありますが、オーウェルの一種の自伝で、preparatory school 時代の記録です。ここには後に “Animal Farm”, “Nineteen Eighty-Four” で見られるオーウェルの思想のベースになる考え方の片鱗を見ることができます。またこの作品を通して1930年代のイギリスの教育事情を知ることができます。将来もっと深くオーウェルを読んで見たいと思う受講生が出れば幸いです。

なお、授業はゆっくりスタートしますが、徐々に速度をあげて、一回の授業で4～5ページくらい進めるようにしたいと思います。しっかり予習をして授業に出るようにしてください。なお、授業が訳読一辺倒にならないように、小テストをしたり、色々工夫してみたいと考えています。

成績評価の方法

定期試験（前・後期）の成績以外に、授業中の発表、小テスト、出席状況など勘案して評価します。

教 科 書

『Such, Such Were the Joys』(北星堂) ¥950

担当者名	配当学科	単 位
〔前期〕 まきの野 てる輝 よし良 〔後期〕 はやし林 あき明 と人	歴史 2 年	2

講義の内容・
授業スケジュール

英語ⅡBの到達目標の一つは速読の他に正確な英文の理解であるので、この授業では特に後者に重点をおく。その理由は後者に充分熟達すれば前者の学習が自ずと容易になるからである。

授業において学生は一言一句ゆるがせにしない英文の正確な解釈を行ない、さらにリーダーの中で使用されている重要な文法事項や語句に習熟出来るように、各単元毎に全訳して提出しなければならない。

成績評価の方法

授業中に一回はどの学生も質問を受け、その都度チェックされ、成績評価の参考とされる。したがって学生は出席と予習が不可欠である。また5課終了した時点で和訳、英訳等の小テストを行なう。小テストといえども未受験は0点となるのでくれぐれも注意すること。年間の成績評価は後期担当者が行なう。

教 科 書

Advanced English For Translation「ケンブリッジ アドヴァンスト・トランスレーション・コース」朝日出版社 ¥1,400

担当者名	配当学科	単位
しまづのぶこ 島津信子	経済2年	2

講義のねらい

海外の新聞、雑誌の記事の中から日本について書かれた記事を読み、外国のメディアに日本がどう映っているのを見る。これを材料に日本の社会の現在と将来のあり方、そしてそこで生きる自分自身の価値観やライフ・スタイルについて考えていきたい。トピックは出生率低下、高齢化社会、セクシャル・ハラスメント、男女雇用機会均等法、女性起業家、エイズと差別、帰国子女、カラオケ、大相撲の国際化など。また、最新の“BBC World News”をテレビから録音したテープでニュースの聞き取り練習を逐次おこない、それに関連した英文新聞の短い記事も読んでいく。日本や世界の出来事に関心を持ち、それらと自分を結びつけて考える態度を育てていきたい。

成績評価の方法

毎授業開始時に予習チェックの小テストを行う。割当箇所の訳の発表を各自、前・後期一回は行う。ニュースの背景・予備知識を希望者が調べて発表する（エクストラ・ポイントとして加算される）。これらの点と出席点（出席状況により4段階に分かれる）を全て成績記録表につけ、平常点とする。成績は平常点を重視してつける。ただし、授業回数の3分の1以上休んだ者は不合格とする。

教科書

- 1) 『エコノミスト誌が見た日本』 桐原書店 ¥1,380
- 2) 『Dateline Japan』 マクミラン・ランゲージハウス ¥1,550

その他

受講者はニュースの背景知識などについても、自分で調べて、クラスで発表するような積極的な態度を望む。

担当者名	配当学科	単位
やなせこうぞう 梁瀬浩三	経済2年	2

講義のねらい

一つは、比較的平易な英文でしかも多方面の分野の内容を盛りこんだものを、多くしかも早く読めるようにしたい。もう一つは、幾分難しい英語をじっくり考えて読むという作業も行う。多読と精読の両面が、英語の修得には是非とも必要である。特に現在欠けているのは、「考える」ということで、これを補うための英語を通して「考える」という点にも重点を置きたい。

講義の内容・授業スケジュール

多読、速読にせよ、精読にせよ、読む内容はできるだけ変化に富み、しかも多方面の事柄を含んだものにしたい。即ち、文化、経済、科学、政治等々。多読の場合は、一語一語訳す必要はないが、精読の場合は、理解したかどうかの確認のため訳さざるを得ない。授業時間中、できるだけ多くの人に当てようとする。

履修上の留意点

演習中心である以上、出席を重視する。総時間数の1/3以上休んだら失格とする。具体的には8回以上休んだら単位は認めは認められない。当然のことながら、英語の修得には努力が必要である。この場合の努力は、予習をきちんとやるという事である。読解だからといって発音はどうでもいいというわけにはいかない。発音にも気をつけ、内容をよく調べてくる事が大事である。

成績評価の方法

年二回のテストを中味の濃いものにし、普段からよく予習、復習をしていなければできない内容にする。普段の授業態度、積極的な発表態度、地道な予習などを重視し、評価に加える。

教科書

開講時に明示する。

担当者名	配当学科	単 位
まつもと のほる 松 本 昇	経済 2 年	2

講義のねらい

日本は外国からどのように見られているか、『タイム』と『エコノミスト』に載った記事を読むことによって検討する。あわせて日本と外国のシステムや文化の違いを考える。

成績評価の方法

授業中における発表、小テスト（年4回）の成績を全体の40%、定期試験を60%の割合で評価する。出席率が3分の1を超えた場合は不合格とする。

教科書

『『タイム』と『エコノミスト』で読む日本の現状』 金星堂 ¥1,750

担当者名	配当学科	単 位
いとう ひろみ 伊 藤 宏 見	経済 2 年	2

講義の内容・
授業スケジュール

名作を懇切丁寧によむ方針で、一語一句ものがさず、正確に把握すること。はじめは、アメリカ南部の作家スタインベックの *Harnessed* を読み、アメリカ南部の農民をテーマにした農村の人情と美しい自然界のおりなす、人生の明暗と秘密をまなび、スタインベックの直載にして明快な文章を学び、特異な表現や、意味を context からとりだすこと。また、作家の人間観察の鋭さを知る。

又後期には、ハーディーの *To Please His Wife* を読む。二人の女性の異なる性格から、一人の男の運命と家族のたどる悲慘な末路を描くが、ここでは、人間社会の欲業の問題を指摘し、ハーディーのきびしい批判精読を学ぶ。

またハーディーのきびぎとした文章と巨匠としてすぐれた描写力を味わう。（その他の文）。いろいろな idioms や, phrases, めずらしい語彙に出会うが、しっかりと覚えていただく。毎時各人に5, 6行から10行の文章をあてるので、予習と復習に心がけること。辞書、ノートなど忘れずに。

成績評価の方法

出席率を重要視し、定期のテスト2回を受けてもらう。評価は、これに、毎時間の演習の成績を加味しておこなう。

教科書

Life And Destiny「運命の扉」 南雲堂 1,300円

担当者名	配当学科	単 位
わた べ こう じ 渡 部 孝 治	経 済 2 年	2

講義の内容・
授業スケジュール

60年代から80年代のロック・アーティストとロックの曲を通して英語を学ぶ。プレスリーからU2まで19人のロック・アーティストとロックの曲を英語を通してロックの歴史を概観する。英語はやや難解だが、楽しみながら英語の読解力を養う。と同時に歌詞を使ってリスニングの力も養う。歌詞については、歌詞の内容にふさわしい訳を心がける。時代背景についても詳しく触れたい。

教 科 書

John Dougl『Rock Classics』（マクミラン）

参 考 書 等

大杉・渡部『Cries of Young Souls』（朝日出版社）

担当者名	配当学科	単 位
いち かわ ひとし 市 川 仁	経 済 2 年	2

講義のねらい

英文のエッセイを読むことで、前期は構文の理解という点から、内容の解釈・理解・把握の力をつけるために、じっくりと読んでゆくことに重点を置く。また、後期は、プリント等の補助教材を並用して、速読に重点を置いてゆく。前期・後期ともに、内容の理解度を問うための小テストを適宜（年4～5回程度）行なう。

成績評価の方法

授業中の発表、小テスト及び前・後期の定期試験による。これらを総合して最終評価とする。総授業回数の3分の2以上の出席を必要とする。

教 科 書

『ロレンス語録』 弓書房 ￥1,180

担当者名	配当学科	単 位
まきの 輝 良	経済 2 年	2

講義のねらい

英語ⅡBの到達目標の一つは速読の他に正確な英文の理解であるので、この授業では特に後者に重点をおく。その理由は後者に充分熟達すれば前者の学習が自ずと容易になるからである。

授業において学生は一言一句ゆるがせにしない英文の正確な解釈を行ない、さらにリーダーの中で使用されている重要な文法事項や語句に習熟できるように、各単元毎に全訳して提出しなければならない。

成績評価の方法

授業中に一回はどの学生も質問を受け、その都度チェックされ、成績評価の参考とされる。したがって学生は出席と予習が不可欠である。また5課終了した時点で和訳、英訳等の小テストを行なう。期末テストは長文和訳とするが、成績評価は上記の小テストも含めた総合評価である。未受験は0点となるのでくれぐれも注意すること。

教 科 書

Advanced English For Translation

「ケンブリッジ アドヴァンスト・トランスレーション・コース」朝日出版社 ¥1,400

担当者名	配当学科	単 位
まきの まさ ひで 正 秀	経済 2 年	2

講義のねらい

英語の授業は皆さんの独習が主体となり、それを実際発表するという行動に移さなければなりません。それには充分な下調べが要求されるわけです。独習だけでは誤解や思い込みから自分流の知識に左右される場合があるものです。そこから客観的な手段にうたえてみる必要があります。その場が授業で実際に発表するという事になるわけです。従って積極的な態度が必要となって来ます。

どの分野の英語を理解するにしても、基本は大切であり、くり返して理解しなければならないと思います。今まで学んで来た基本的な知識を復習再確認しながら勉強したいと思います。その上でより高度な英文が理解出来、自己表現などに応用出来るよう努力して下さい。テキストの内容は、現代人一般が持つ危機意識（問題意識がない場合は関心のない事だが）を、環境、家族、行動、戦争と平和などに関する諸問題を通して、論述しているので、じっくりと読んでみたいと思います。

成績評価の方法

評価は前後期テストに平常点を加味して行う。

教 科 書

『The Crises of Mordern Man』 桐原書店

担当者名	配当学科	単 位
お ぶ せ け さ そ う 小 布 施 圭 佐 三	商 2 年	2

講義のねらい

今日の世界の動向を迅速にかつ的確につかむには、時事英語の読解力の養成がますます重要になってきている。その意味で、時事英語の教材には英字新聞が最適であると思われる。内外の英字新聞から政治、経済、教育、社会問題、芸術、スポーツ、レジャー、広告にいたる幅広い記事を取り上げ、解説を施しながら読むことにする。同時に英字新聞の読み方と英字新聞特有の文体、語法について学習する。

成績評価の方法

①出席点 ②平常点 ③レポート ④定期試験（年2回） ⑤レポーター点など加味して評価する。

教 科 書

①S.Kathleen Kitao & Kenji Kitao『Understanding English Newspapers』桐原書店
②Newsweek (1996) ③The Japan Times

そ の 他

レポーター制を取り入れ、各章を責任分担させる。年間を通して各自1回はレポーターを勤めなければならない。毎時間英語の辞書を持参すること。

担当者名	配当学科	単 位
ほ せ の ひ で こ 細 野 秀 子	商 2 年	2

講義のねらい

これまで学んできた英語を、新聞の英語を通じて、さらに正確に深く読み込んでいく訓練を行う。これに並行して、語彙面での充実をはかりながら、速読の技術も身につけていく。予習は必ず行い、課題も欠かさずこなすこと。前・後とも時事英語の手法を学びながら、国際感覚を高めていきたい。

成績評価の方法

授業では、年10回以上の発表を基本とし、前・後期約3回ずつと、夏期に課題を課す。試験は冬学期末に行う。出席重視。但し、年間3分の1以上欠席した者の単位は認めない。評価は試験の点数50%、課題25%、発表25%とする。

教 科 書

開校時に指示する。

そ の 他

教科書ばかりでなく、多方面の分野で外国文化に触れる努力をしてもらいたい。

担当者名	配当学科	単 位
ひろ かわ おさむ 広 川 治	商 2 年	2

講義のねらい

英語の Reading および Listening 能力の向上を目標とすると同時に、英米文化の知識を得る機会としたい。

講義の内容・
授業スケジュール

初回は、授業の説明とアンケート。前後期とも、授業の最終日とその前の週と2回にわたってテストを行う。

履修上の留意点

出欠席を重視する。教室に来ていても、参加していない場合は欠席扱いにする。

成績評価の方法

出欠席で成績をまず限定したうえで、平常点、前後期のテストの結果を見て判断する。

教 科 書

プリント配布の予定。

担当者名	配当学科	単 位
なか お しゅん こう 中 尾 俊 光	商 2 年	2

講義のねらい

「国際化」の問題を考える時、できるだけ多くの客観的情報を入手する事が大切と思われれます。世界全体、北アメリカ、アジア、ヨーロッパ、第三世界のそれぞれにおける全般的な諸問題、次に各国の具体的な問題を扱った解説文と記事を読みます。授業は予習を前提とした発表による演習形式です。英文の日本語への逐語訳を極力避け、全文の主旨、段落の要旨の把握に向けて、英文の流れ（語順）に添って理解できるようになることを目指します。なお、発音にも留意します。

成績評価の方法

(i)発表, (ii)小テスト・レポート等, (iii)前期試験, (iv)後期試験, 以上の4点をもとに総合評価します。

教 科 書

「最新時事英語・世界を読む '96」 マクミラン・ランゲージハウス ￥1,800

そ の 他

履習者は、言語の持つ「意味」と同時に「音」の側面にも充分な注意を払って下さい。テープによるモデル・リーディングによってさらに音のチェックをして下さい。
なお、原則として、全授業回数の2/3以上の出席者を、成績判定を受ける有資格者とします。

担当者名	配当学科	単位
まち だ なお こ 町 田 尚 子	商 2 年	2

講義のねらい

現代世界のシステムを考える手がかりとして、Robert Heilbroner, *Twenty-first Century Capitalism* を読む予定です。授業は演習形式ですから、担当者が要約し、問題点を指摘する必要があります。英字新聞、雑誌から考えるヒントとなる特集記事等を適宜プリントして渡します。

成績評価の方法

平常授業での担当発表の成績を重視し、前期・後期末試験結果と同等の扱いで評価点を出します。

教科書

Robert Heilbroner, 『*Twenty-first Century Capitalism*』 UCL Press (University College London) プリント教材

担当者名	配当学科	単位
あん さい よしみ 安 斉 芳	商 2 年	2

講義のねらい

この授業では、アメリカ文化、風俗、習慣等について取り扱う。私たちは、生活している廻りの環境や文化によって、考え方や行動が異なる。国際社会と呼ばれている現代社会において、表面的な文化の違いに捕らわれる事なく、本来の人間を理解することのできる人が、真の国際人であると言える。ゆえにこの授業では、日本人とアメリカ人の違いは無論のこと、同じ人間が同じことをするのに、それなりのやり方があることを認識していくこととする。各章は4つに別れている。Multiple Choice Questions では、本文の内容に関する Hearing の問題を解く。Comprehensive Check では、本文の内容についての英文での応答、Translation では、和文英訳の練習、Dialogue and Dictation では、二人の人物の間での対話練習を行なう。

成績評価の方法

授業中における平常点、中間試験、期末試験等を総合して評価する。学生諸君が留意すべき点は授業に出席するにあたって、必ず下調べをすること。また、遅刻や不正行為は、一切認めないものとする。授業回数数の3分の1以上欠席した場合は不合格となるので注意すること。

教科書

- 1) Joseph F. Kess著 "American Life Cycle" 「アメリカのライフサイクル」 成美堂 ¥1,600
- 2) 英和中辞典（大学生用のものであれば出版社は特に指定しない。）

担当者名	配当学科	単 位
み 三 わ 輪 ひさ 久 え 恵	商 2 年	2

講義のねらい

作品の背景を常に念頭に置きながら、エッセイを中心にさまざまな英文を読む。精読に加えて、適格に大意を取ることをも重視する。予習を前提とした演習形式で、普段の努力を重視する。

成績評価の方法

平常点、および授業中の小テスト、レポートの提出物による。

教 科 書

教場にて指示する。

担当者名	配当学科	単 位
あし 芦 ざわ 澤 ひさ 久 え 江	商 2 年	2

講義の内容・
授業スケジュール

この授業では Garnett の代表作品『狐になった婦人』を読んでいく。この作品は奇異なおとぎ話風の事件が簡潔な筆でリアルに描かれたもので、軽妙な皮肉が交っており、読者の意表をつく。内容は、ある日突然狐に変身した妻を愛し続けた男の話である。人間の愛の不変性を強調し、写実的な筆致と神秘的な象徴性を漂わせた異色作である。授業方法は、一回の授業につき、一人が大体一文から二文を英文で読んだ後に訳してもらおう。また年に数回、英語で大まかなあらすじを提出してもらおう。

成績評価の方法

授業中に行なう英語の要約を点数化し、さらに出席回数、前期後期テスト、授業態度を総合的に判断して評価する。

教 科 書

David Garnett『狐になった婦人』 ¥989

そ の 他

予習は必ずしておくこと。

担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
すぎむら はつえ 杉 村 初 枝	商 2 年	2

講義のねらい

エッセイや名演説の一節等を取り上げ読む。textを単に訳すのではなく、構文・慣用表現・コンテキストに留意して正確に読むこと、内容を的確に把握することをめざす。発表を中心に授業を行う。

成績評価の方法

授業中における発表と前・後期試験に基づく。ただし、平常授業の欠席率が3分の1を超えた場合は不合格とする。

教 科 書

プリント使用

英 語 I

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 I	たなか たもつ 田 中 保	短 国 1 年	2

**講義の内容・
授業スケジュール**

20世紀のアメリカ文壇を代表する作家たちの作品を講読しながら、より高度な構文の理解と大意の把握を身につけるようにする。また、リスニング用のサブ・テキストを使用して、リスニングの力を高めていくようにします。

成績評価の方法

以下の項目を検討して、総合的に評価する。

1. 定期試験
2. 小テスト
3. 授業時の発表
4. レポート
5. 出席状況

教 科 書

- 1) 『ピューリッツァー賞作家——傑作短篇集——』(朝日出版) ¥1,236
- 2) 『10分間のベシック・リスニング』(桐原書店) ¥950

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 I	おおかわ ひろし 大 川 浩	短 国 1 年	2

**講義の内容・
授業スケジュール**

20世紀の偉大な英国の小説家の1人であるD.H.ロレンスの青春時代を描いた、ジェシイ・チェインバースの「記録」を読み、英文の内容の把握と読解力の涵養に努める。辞書を活用して事前に準備を行なうこと。

成績評価の方法

前期・後期の試験結果を中心として、夏季休暇中に出题される課題、及び随時、施行される小テスト等の成績を含めた平常点を加味して評価基準とする。

教 科 書

J.Chambers ; D.H.Lawrence 『A Personal Record 「ロレンスの青春時代」』 三修社 ¥1,100

そ の 他

金曜・3限

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I	おおかわ ひろし 大川 浩	短国 1 年	2

講義のねらい

英国の作家、D.H.ロレンスとの生活を描いた、妻フリーダーの残した生活記録の英文を読み、ロレンスの世界、彼の思想、その生きざまなどへの理解を深め、あわせて英文の内容把握と読解力の涵養を意図する。

履修上の留意点

辞書を活用して事前に準備を行なうこと。欠席・遅刻の回数の減少に充分、留意する。年間を通じて座席を固定する。

成績評価の方法

前期・後期の試験結果を中心として、夏季休暇中に出題される課題提出、及び随時、施行される小テスト等の成績を含めた平常点を加味して評価基準とする。

教科書

“Not I But the Wind…” 弓プレス ¥1,009

その他

金曜・4限

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I	まちだ なおこ 町田 尚子	短国 1 年	2

講義の内容・
授業スケジュール

文体の優れた小説を原文で読む楽しさを共有できればと願っています。手始めに、Kazuo Ishiguro の2つの短編 The Summer after the War と A Family Supper を取り上げます。Kazuo Ishiguro は1954年長崎で生まれ、1960年から英国に住んでいます。第1作、第2作の小説はいずれも英国の文学賞を獲得し、刊行第3作の The Remains of the Day (1989年) は最も優れた小説に与えられる Booker 賞に輝いています。授業では2短編の音読をカセットテープで聞き取る練習もします。演習形式なので予習を前提とします。後期は皆さんの希望を聞きながら、作品を選ぶ予定です

成績評価の方法

平常授業での担当発表、聞き取り小テストと前期・後期試験の成績を総合し評価します。

教科書

Kazuo Ishiguro, 深沢俊(編注)「カズオ・イシグロ秀作短編2編」 鶴見書店 ¥876

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 I	たか の ひで お夫 高 野 秀 夫	短 英 1 年	2

講義のねらい

「“英作文・スピーチ、口語的表現等の基礎を養い、書く、聞く、話す能力を身につける。”
“…教養と実用の両面から読み書き話すこと、また…その国の文化、歴史、風俗、思考方法等を知ること。専門書を原書で読めるようになることを目標としています。” — 外国語部英語科

講義の内容・
授業スケジュール

前期

- ① Natural Speed で英語の読み、書き、聞く能力を高める。
- ② 教科書を読み進める。

19世紀英国ヴィクトリア朝後期の作家 Thomas Hardy は、運命論者として知られ、
「この宇宙には Immanent Will (内在された意志) があり、人は小我を持ち、これに立ち向かい破れる」という筋で主人公の皮肉な人生を描くのが得意である。

悲劇的運命を辿る主人公に焦点を当て、いろいろな視点から人生とは、文学とは何かを考えて行く。

後期

前期と同じ授業計画。

授業の進め方

- ①30～40分間 テープの英語 a short speech
- ②50～60分間 教科書を逐字訳しながら、内容、文構造の基本理解を図り、19世紀英文学への理解を深める。

履修上の留意点

毎回教科書の逐字訳をするので必ず予習は欠かさないこと。

成績評価の方法

- ①前期・後期一回づつテスト実施
a. テープの英語 b. 教科書
- ② a short speech (授業時間中)
- ③課題のレポート提出

教 科 書

- ① To Please His Wife And Other Stories
- ② Listening Capsules.

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 I	よし ざわ えいじ ろう 吉 沢 栄 治 郎	短 英 1 年	2

講義のねらい

英作文を主にやっています。和文の大意が表われておれば可、という心積もりで進めて下さい。

履修上の留意点

和英、英々辞典を活用のこと。

成績評価の方法

成績評価は1月の定期試験で行ないます。

教 科 書

教科書等は第1回の授業時に指示します。

英 話

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語	まち だ なお 町 田 尚 子	短 放 1 必	2

**講義の内容・
授業スケジュール**

平易な英語で現代世界の諸問題を考えながら、英語の基礎力と運用力が身に付く授業です。テキストの問題テーマ毎に課題を出します。授業は演習形式なので、課題を担当して発表する積極的な授業への参加姿勢を高く評価します。

成績評価の方法

平常授業での課題発表、聞き取り等小テストと前期・後期試験の成績を総合し評価します。

教 科 書

Tim Healey「現代世界を見る」 松柏社 ¥618

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語	た なか たもつ 田 中 保	短 放 1 必	2

講義のねらい

文章の読解から学び、演習を通じて理解を深めて、実践的語学力の養成をおこなう。
また、リスニング用のサブ・テキストを使用して、リスニングの力を高めていくようにする。

成績評価の方法

以下の項目を検討して、総合的に評価する。

1. 定期試験
2. 小テスト
3. 授業時の発表
4. レポート
5. 出席状況

教 科 書

- 1) 『基本英語表現法』(成美堂) ¥1,600
- 2) 『10分間のベーシック・リスニング』(桐原書店) ¥950

英 会 話 I

〈英会話 I の授業内容と履修上の留意点〉

英語を母語とする外国人教師が担当します。ネイティブスピーカーの英語が聞きとれて、基本的な日常表現ができることを目指した大学初級レベルの英語会話の授業です。達成目標の目安は英検 2 級合格、TOEFL のスコア 450 程度。I A の振り替え選択科目です。各担当者の講義内容 (syllabus) をよく読み、時間割表で曜日・時限を確認してクラスを選び、事前登録をしなければなりません。1 クラスの受講人数に制限があるので、希望通りに選択できない場合もあります。

担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
Peter A. Bendinelli	禅・仏教・国文・地理 歴史・社会・経済・商 1 年	2

講義のねらい

AN INTRODUCTORY COURSE TO SPOKEN AMERICAN ENGLISH. STUDENTS SHOULD BE FAMILIAR WITH BASIC QUESTION/ANSWER PATTERNS AND HAVE AN EARNEST DESIRE TO ACTIVELY PARTICIPATE IN CLASSROOM PROJECTS.

THIS IS NOT A CLASS FOR SHY OR PASSIVE STUDENTS. STUDENTS WILL BE SCREENED DURING THE FIRST MEETING AND ONLY THOSE WHO APPEAR CAPABLE OF LIVING UP TO THE COURSE STANDARD WILL BE ALLOWED TO ENTER.

講義の内容・ 授業スケジュール

STUDENTS WILL WORK TOGETHER IN GROUP AND INDIVIDUALLY WITH THE TEACHER IN STUDYING AND PERSONALIZING TEXTBOOK PRESENTATIONS AND EXERCISES. STUDENTS WILL BE EVALUATED AND GRADED WEEKLY. NO MORE THAN THREE ABSENCES PERMITTED IN THE SCHOOL YEAR.

参 考 書 等

『GOOD STORIES FOR THE JAPANESE CLASSROOM』 MACMILLAN LANGUAGEHOUSE ¥1,350

担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ノーラン, デニス J.	禅・仏教・国文・地理 歴史・社会・経済・商 1 年	2

講義の内容・ 授業スケジュール

この授業は、リスニングを中心課題に据えたニュースのビデオ教材を使用する。課題の多くは毎日の日本社会の動向を経済、文化、科学などの面から捉えるものである。したがって本講座の狙いは、日本のことを英語で伝える必要性と願望を生かして、学生の聴解力のみならず、英語の力を全般的に向上することにある。先ず、各レッスンにおいておおまかな準備知識を与え、比較的難しくカギになる語彙を学習させる。それでビデオを繰り返し見せるたびに徐々に内容を詳細に明らかにする。また、ビデオの中でできた幾つかの重要な表現の使い方に習熟するように、英作文の問題として再度取り上げる。最後にビデオの課題と関連のある話題を提供しグループあるいはクラスで話し合ったり、個人で発表させたりする。

授業年間計画：大体、一時限で教科書の一章。

成績評価の方法

出席、授業参加、会話文の暗記、小試験、期末試験。

教 科 書

Today's Japan (2): Listening-focused Exercises. 金星堂 ¥1,600

担当者名	配当学科	単 位
ピアス, D. M.	禅・仏教・国文・地理 歴史・社会・経済・商1年	2

講義の内容・
授業スケジュール

Please join this class with your friends; during most of the class period you will be talking with your friends in groups. In this course you will not be learning any more English; all you have to do is practice what you already know. By the end of this course you will be able to speak enough English to travel in foreign countries, talk with foreigners, and communicate about all the practical things in everyday life. Our textbook will guide you through everything. You will learn all the conversation patterns for everyday situations such as buying things, getting information, making reservations. We will also practice enough TOEFL, EIKEN, and TOEIC exercises so that you can start to get good scores in tests like these. Besides the conversation patterns, you will spend most of the time walking around the room talking to each other about your own interests, so you'll have a lot of practice in free conversation. The course is going to be a lot of fun!

担当者名	配当学科	単 位
John Wells	禅・仏教・国文・地理 歴史・社会・経済・商1年	2

講義のねらい

Welcome to my level 1 English Conversation class. The class is designed for students to get used to hearing English from a native speaker and practicing English conversation with each other.

講義の内容・
授業スケジュール

We will be studying basic role-playing situations that will be helpful to you when communicating with foreigners. Situations will include being able to introduce yourself, at a supermarket, at an airport, or at a coffee shop. You will learn a variety of role-playing situations.

You will also be asked to learn common everyday expressions. Quizzes will be given.

履修上の留意点

Course prerequisite: A desire to communicate in English
Attendance: No student will be allowed to miss more than three classes.

成績評価の方法

Grading: 50% attendance; 25% quizzes and tests

教 科 書

(undecided), printouts

そ の 他

Looking forward to seeing you in the classroom!

担当者名	配当学科	単 位
Gary Dendo	禅・仏教・国文・地理 歴史・社会・経済・商1年	2

講義のねらい

This course will focus on improving the basic communicative skills of students. Students will be taught functional English used in social situations, interviews and international communication.

講義の内容・
授業スケジュール

The first term will concentrate on social communication and interviews. The second term will focus on describing Japan and its features and international communication.

履修上の留意点

Regular attendance and participation are absolutely essential. Students will be expected to practice outside of class in order to achieve desired results.

成績評価の方法

Grades will be based on attendance, participation and interviews. Final grades will be calculated by the following formula:

$$\frac{(100 - X) + Y + Z + A}{3}$$

X = Absences

Y = Participation

Z = Interview

A = Adjustment based on teacher evaluation

教 科 書

No text will be used.

参 考 書 等

Handouts from various sources will be provided.

担当者名	配当学科	単 位
Thomas J. Cogan	禅・仏教・国文・地理 歴史・社会・経済・商1年	2

講義の内容・
授業スケジュール

This is a beginning course in spoken English. In this class, we will focus on English as a tool for communication. We will practice such things as introducing ourselves, asking for information, giving our opinions, expressing our likes and dislikes, and talking about ourselves. In short, we will learn how to carry on simple but natural conversations in English.

成績評価の方法

Class Participation 30%: This is very important!
Attendance 30%: You will fail if you are absent five or more times during the entire year.
Interview Test 40%: I will give each student an interview test at the end of both semesters.

教 科 書

I will announce the title of our conversation text on the first day of class.

担当者名	配当学科	単 位
Lesley Taylor	禅・仏教・国文・地理 歴史・社会・経済・商1年	2

講義のねらい

The aim of this elementary English course is to provide students with the ability to express themselves in day to day conversations. The course will concentrate on speaking and listening skills, and students will be required to take part in communicative activities in the classroom.

履修上の留意点

The students will be expected to attend regularly.

成績評価の方法

The students will be assessed on class work and periodic testing.

教 科 書

Headway Elementary. John and Liz Soars. Oxford University Press.

担当者名	配当学科	単 位
P. Ziegler	禅・仏教・国文・地理 歴史・社会・経済・商1年	2

講義の内容

This course will focus on getting students to communicate in basic English and therefore stresses basic conversation patterns and phrases commonly used in American English. Though the emphasis will be on conversation, brief writing assignments will be occasionally be given. Additionally, simple newspaper articles may also be used.

成績評価の方法

Student assessment will be based upon numerous homework assignments, weekly presentations, monthly quizzes and semester examinations.

教 科 書

Atlas 2 Learning Centered Communication, Heinle&Heinle; copies

担当者名	配当学科	単 位
David A.Wade	禅・仏教・国文・地理 歴史・社会・経済・商1年	2

講義のねらい

A selected conversation textbook could be usefully supplemented with current issues of English language newspapers that are readily available in Japan, such as *The Japan Times* and the *Asahi Evening News*.

I believe newspapers are one of the most helpful resources for getting students to speak up—whether it's to talk about a sumo tournament, the fashion news, a natural disaster, or the latest Beatles record. All too often, standard textbooks can be stuffy, intimidating and seemingly remote. Newspapers, even those in an unfamiliar language, are familiar objects packed full of information and opinions about matters that will immediately engage the students' interests.

講義の内容・ 授業スケジュール

The curriculum for a conversation class might be divided into three main areas :

1. Enlarging vocabulary and correct pronunciation.
2. Conversation strategies.
3. Conversation tactics.

Conversational strategies include the following:

Formal vs. informal discourse
 Conversational tone and verbal 'good manners'
 Starting a conversation — openings & introductions
 Keeping a conversation going
 Organizing thoughts or arguments
 Informational exchanges (e.g., asking for directions)
 Commercial encounters (e.g., buying something in a store)
 Persuasive conversations (e.g., asking someone to do something)
 'Promotional' dialogues (e.g., talking at a job interview)

While Conversational tactics include such topics as:

Greetings — common phrases and formulas
 Introducing oneself or others
 Farewells
 Verbal place-holders and time-buyers
 Making sure one has been understood
 Requesting clarification
 Asking for confirmation
 Making generalizations
 Expressing personal opinions
 Signs of agreement
 How to disagree politely
 Expressing likes and dislikes
 Recognizing and signaling digressions
 Tag questions — how to spot them & how to use them
 Expressing hopes and desires
 Stating one's reasons
 Introducing a new topic
 Listening to & telling jokes

A typical class might be divided along the following lines:

- a. Short warm-up period of free conversation (this is also an opportunity to deal with any vocabulary or pronunciation problems that have arisen)
- b. Review of the previous week's assignments.
- c. Vocabulary and pronunciation (key words for the week)
- d. Main topic — conversational strategy and/or tactics.
- e. Practice groups & pairings — arranged by the students' common interests
 (e.g. science and technology, current affairs, business, the arts, and so)
- f. Review and summary (plus setting of assignment for next class)

Assignments could include such tasks as:

- ☆ Finding new words to share with the group
- ☆ Selecting a short text to explain in their own words
- ☆ Expressing why they disagree with an article or editorial
- ☆ Compiling a list of questions provoked by a particular piece
- ☆ Preparing short talks about their own experiences in travel, sports, etc.

成績評価の方法

Methods of assessment and grading depend on the size of the classes and the facilities available. It could be chosen from an appropriate mix of the following:

- ☆ Multiple choice quizzes to select correct words, phrases, and conversational tactics
- ☆ Answering questions on tape (if language lab available)
 - answering short quizzes on set texts
 - personal responses to prerecorded questions
- ☆ Short one-on-one interviews (if numbers make this practicable)
 - regarding a preset text or article
 - a mock job interview
 - about their own progress in this conversation class
- ☆ Practice run-throughs of TOEFL-style questionnaires

教科書

Of the various textbooks that I've had the opportunity to review so far, one of the most promising appears to be: *CONVERSATION GAMBITS: Real English Conversation Practices*
 Eric Keller and Sylvia T. Warner
 (LTP-Meynard publishing: 03-3491-1331)
 In the next couple of days I'm also going to assess a brand new text:
LET'S SPEAK (with cassette, from Longman)
 Perhaps these two books would work well hand-in-hand.

参考書等

Plus, I would like all students to have a dictionary such as the *LONGMAN ACTIVE STUDY DICTIONARY* on hand to expand their vocabulary.

英 語 L L I

〈英語LLIの授業内容と履修上の留意点〉

ランゲジ・ラボラトリ（1号館3・4階LL教場）を使用し、発音、アクセント、イントネーションなどの口頭練習とテープ教材またはビデオ教材を用いて、日常会話などのヒアリングとスピーキングを訓練します。英検2級合格、TOEFLスコア450程度を達成目標とする初級レベルです。IAの振り替え選択科目なので、各担当者の講義内容（syllabus）をよく読み、時間割表で曜日・時限を確認してクラスを選び、事前登録をしなければなりません。1クラスの定員が30名ですから、希望通りに選択できない場合もあります。

担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
いせむら 伊勢村 さだお 定 雄	禅・仏教・国文・英米文・地理 歴史・社会・経済・商1年	2

講義のねらい

基本的に英語に自らをさらして、英語の音に慣れるとともに、発声においても無理なくできるようになることを目指す。しかしながら、授業だけでは絶対的に時間不足のため、自からもダビングしたテープを家で聞く積極性がなければ、発達は期待できない。また意味がわからないことは記憶しがたいので予習は絶対必要である。

講義の内容・授業スケジュール

2ヶ月ぐらいは1～2ユニット（テキスト）のペースで。慣れに依りて量は増やす。なお、小テストを行なう。

履修上の留意点

大幅な遅刻（30分以上）は迷惑をかけるので認めないこともある。要注意！

成績評価の方法

出席状況・態度。及び小テスト。

教 科 書

James House『*Lively Listening!*』 金星堂

参 考 書 等

中型英和辞典ならどれでも。

そ の 他

Listeningによる書き取り、各小質問解答、さらにロール・プレイ会話、ダイアローグ暗唱等も含める予定。

担当者名	配当学科	単 位
おがさわら 小笠原 隆 げん 元	禅・仏教・国文・英米文・地理 歴史・社会・経済・商1年	2

講義のねらい

これまで学習した英語の潜在力を信じて、多くの学生諸君が実際の運用能力を身につけたいとの願望が少しでも前進・発展することをめざす。

講義の内容・授業スケジュール

L Lクラスでは自分の音声や他の人々の音声に対して敏感になってほしいので最初はひたすらに音読を心がけたい「只管音読・しかんおんどく」

履修上の留意点

受講希望者は、上記の「只管音読」と「只管聴取」を心がけ、録音テープ（10分～90分）を各種5～6本を用いるつもりでほしい。レポート提出・テープ提出・エッセイ提出を課す。

成績評価の方法

学習の進歩や到達度を基準として総合的判断により評価する。実績を示すこと！

教科書

テキスト・参考書は受講者の実際の実力がわかる時点までは一方的には決められないが、まず基本的なものとして次のものを用意されたい。

- ① カプセル英語発音 980円（三修社）
 - ② トーイック ショート・リスニング 800円（成美堂）
- 順次・教場で指示する。

その他

どうか、やる気のある学生諸君を期待します。毎回テープやテキスト、辞書を持参して来ることは当然と心得てほしい。

Where there is a will, there is a way.

- ㊦ 第一回目の授業には必ず出席して諸資料等を受取ること。

担当者名	配当学科	単 位
おおさわ 大 澤 ひさ子	禅・仏教・国文・英米文・地理 歴史・社会・経済・商1年	2

講義のねらい

Pronunciation, accent, intonation etcの復習と、短いdialogueから英語にもなれるのをめざす。

講義の内容・授業スケジュール

- 1) テープの聞きとりと、New Michigan Method による Exercise
- 2) ビデオと Exercise

成績評価の方法

L L実習出席40点 前後期試験・練習問題計60点

教科書

English Language Institute
The University of Michigan,
Michigan Action English Step2
World Times of Japan, Inc.
その他ビデオテープ

担当者名	配当学科	単 位
おお ば なお き 大 庭 直 樹	禅・仏教・国文・英米文・地理 歴史・社会・経済・商1年	2

講義のねらい

英語の運用能力を高める基本は、英語の発音、アクセント、イントネーション等の基本的な発声練習を通じて、英語のリズムに慣れること、そしてヒアリングの能力を高める訓練を繰り返すことである。前者については、教材テキストを徹底演習することによって英会話力の基礎を育てる；後者については、毎回用意される5～10分のカセットテープやビデオテープ教材を聞き、自然な英語の流れに慣れながらヒアリングの力をアップさせる。後期からは、基礎的な発話力を身につけるため、口頭練習を通じて海外での場面や日常生活を英語で話す訓練をする。

このクラスに出席する学生は、集中力を働かせるヒアリングの演習、そして個々の単語、フレーズ、文章等の音声練習に耐えられるようにするためにも、朝9時からの授業ではあるが、朝食をしっかり食べて参加すること。

成績評価の方法

試験、定期試験なるものは行わない。成績は、各受講生の「一年間の努力による成果」を評価する。

教 科 書

実践LL演習（成美堂）

そ の 他

このクラスで使うカセットテープ、ビデオテープ教材はすべてLL事務室（1号館3F）に置いてあるので、受講者は、各自の必要に応じて、LL自習室を利用して補習すること。

担当者名	配当学科	単 位
にし むら ゆう こ 西 村 祐 子	禅・仏教・国文・英米文・地理 歴史・社会・経済・商1年	2

講義のねらい

高校時代にLL授業その他で英語の発音、イントネーション等の矯正を一切行ってこなかった学生の為のLLベーシック講座。英語を聞き、話すことの手始めとしては声を出して正しい英語のイントネーションを覚えてゆくことが必要である。高校で既にLLの授業を受けた学生、およびイントネーションと基本的発音に問題がない学生で、英語の初歩的な会話表現その他を学習したい場合はこのクラスではなくLLIの他のクラスを受講のこと。尚、本クラスでの英語の発音は米語ではなくBritish English。

成績評価の方法

成績評価は平常点と小テストの総合による。

教 科 書

前期の教科書はEnglish Intonation Practice for College Students（朝日出版）、後期の教科書はBasic Listening（金星堂）。

参 考 書 等

主要参考書：English Intonation Practice for College students（朝日出版）、English in Focus: Ideas and Feelings（ジェムコ出版）。

そ の 他

授業内で英文ワープロの学習とコンピューターの初歩的指導もある。

担当者名	配当学科	単 位
ピアス, D. M.	禅・仏教・国文・英米文・地理 歴史・社会・経済・商1年	2

講義のねらい

'English Language Laboratory' I will be a class for group activity; I would like you to sit together with your friends. Most of the time you will be talking with each other. For listening comprehension, I will use my own voice instead of tapes or television, because it is more natural and better practice. There will be some practice in English composition and some practice in listening comprehension, but most of the time we will play different sorts of games so that you can practice speaking English with each other. You have most of the time practicing English together with your friends, so the class is a lot of fun!

担当者名	配当学科	単 位
かざ 風 間 のりひこ ま 則比古	禅・仏教・国文・英米文・地理 歴史・社会・経済・商1年	2

講義のねらい

LL機器を使うことで正確な発音の勉強を行ない、同時に集中して教材を聞くことでヒヤリング能力の向上を図る。

講義の内容・授業スケジュール

異文化間コミュニケーションの問題を中心に、発音、ヒヤリング、スピーキングの練習を重点的に行なう。

履修上の留意点

各自、空テープ（60～90分程）を用意して来て、家で聞いて復習すること。

成績評価の方法

前、後期の試験に加えて、小テストも重視する。

教科書

Listen, Speak, and Learn (Junior Course), 成美堂, ¥1,600

ド イ ツ 語

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ドイツ語 I A (1), (6), (9)	まつ おか すずむ 松 岡 晋	全学科 1 年	2

講義の内容・
授業スケジュール

ドイツ語初級文法を一年間で終わることを目標にします。下に記す教科書を用いますが、各課ごとに1～2枚のコピーを配布し、独文和訳の練習を行います。

履修上の留意点

定期的に出席して積極的に演習に参加すること、および、毎日、独和辞典（最初の授業で指示する）を持参することを切に望みます。

成績評価の方法

年二回の試験、時折りおこなう小テスト、出席状況などを総合的に判断して成績評価をおこないます。

教 科 書

在間ほか(著)：明るく楽しくドイツ語を／（改訂版），三修社，¥1,600。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ドイツ語 I A (2)	し みず おさむ 清 水 修	全学科 1 年	2

講義のねらい

ドイツ語の文法を、特に日本語、および英語と比較対照しながら理解し、身に付ける。また、基礎的な語彙を修得する。ドイツ語の学習においては、また実際の言語運用においても「話す・聞く・書く・読む」という要素のバランスが重要であることはいうまでもない。しかし、初めて、しかも第二外国語としてドイツ語を学ぶには、まず文法と語彙が重要である。この授業では、「書く・読む」に重点をおいて授業を進める。

また、大部分の学生が大学生になって、第二外国語として学び始めるということを考慮して、常に「なぜ」という問題意識を提起しながら、授業を進めていきます。そこでは当然、日本語や英語との比較対照が問題になります。そしてこれが日本語や英語に対する理解をさらに深めることになると思います。

成績評価の方法

年に2回実施する試験等で総合的に判断する。

教 科 書

早川東三 「ドイツ文法の入口」 朝日出版社

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ドイツ語 I A (3), (4)	お だ しげ み 織 田 繁 美	全学科 1 年	2

講義の内容・
授業スケジュール

人的、物的、又は文化的国際交流は益々進展の度を増し、それにつれて外国語の需要は一層の高まりを見せている一方で、大学教育の場で外国語教育、とりわけ「第二外国語」の教育は、文部省の教養軽視の方針に便乗する一部専門科目からの圧迫を受けています。それにも拘らず、一般に外国語の実用上の必要は増していますし、教養としての諸外国への関心は間違いなく存在しています。このような実情をふまえ、限られた学習時間を有効に使って学習項目を厳選し、重要なポイントを重点的に説明していきたい。

履修上の留意点

軽い気持ちで授業に遅刻をしたり、休んだりしないこと。授業についていけない大きな損失を自ら招くことになるからです。必ず辞書を携帯してくること。

成績評価の方法

前期、後期の期末テストの成績の外に、普段の授業時間内に問題解答もきちっとしているかということも評価の対象になります。

教 科 書

- (3) ドイツ語 I A 「ドイツ文法の基礎」 山本実 自水社 2,100円
 (4) ドイツ語 I A 「あすのドイツ文法」 信岡 第三書房 1,700円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ドイツ語 I A (5)	すき もと まさ とし 杉 本 正 俊	全学科 1 年	2

講義のねらい

初めてドイツ語に接する学生諸君に、少しずつドイツ語になじんでもらいながら、ドイツ語文法の概要を習得してもらおう。又、ドイツ語綴りを読む際に、つつい英語読みになってしまう人が多いので、授業中は特にこの点に注意して行きたい。

履修上の留意点

欠席が続くとだんだん授業について行けなくなるから注意して下さい。

成績評価の方法

前後期末試験を中心に、総合的に判断して評価する。

教 科 書

杉本正俊著『ドイツ語文法・12課』行人社を教科書として使用。

参 考 書 等

辞書については授業中に述べる。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ド イ ツ 語 I A (7)	井 村 行 子 い むら ゆき こ	全 学 科 1 年	2

講義のねらい

ドイツ語文法の基本を一通り学ぶ。文法の学習とは、これまでの中高6年の英語の授業と比べて、大学の語学の授業には時間的に制約があるという条件のもとで（通常週二回二年）、外国語を体験的にではなくて、構造的に理解することによって一応の習得を短期間に可能にする方法である。受講者の年齢が相対的に高く、抽象的・概念的な把握力が高まっているという事実がこれを可能にする。

講義の内容・授業スケジュール

授業の内容は、前期は名詞を中心に、冠詞、形容詞の変化などを学び、後期は動詞の時制や態などを学んでいく。具体的な授業の予定は以下の通りである。

- 第1回 ドイツとドイツ語の話 アルファベット 第2回 発音 第3回 動詞の現在形
 第4回 定冠詞の変化 第5回 動詞の現在形（不規則動詞） 第6回 不定冠詞の変化
 第7回 複数形 第8回 人称代名詞と前置詞 第9回 形容詞の変化
 第10回 過去形と未来形 第11回 比較級と最上級 第12回 完了形 第13回 助動詞
 第14回 分離動詞と非分離動詞 第15回 関係代名詞 第16回 再帰代名詞
 第17回 受動態 第18回 指示代名詞と不定代名詞 第19回 数詞
 第20回 zu不定詞と分詞 第21回 接続法の形態 第22回接続法の用法。
 受講者の習得度によって進度は予定とは多少異なる場合もありうる。

履修上の留意点

授業時間には制約があり、学ぶべき事項は多岐に渡る。教室のみでの習得は困難である。受講者は必ず下準備の上、授業に臨むようにしてほしい。

成績評価の方法

試験は前期、後期の二回行うが、成績の評価は後期の成績を主とする。しかし当然のことながら、初級文法とは一つの言語を順序立てて説明したものであるから、前期に学ぶ事項を習得することなしに、後期の事項を習得することは不可能である。

教 科 書

常木実 『新明快ドイツ語文法』（郁文堂、1995）1,600円

参 考 書 等

参考書、辞書等については授業中に適宜指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ド イ ツ 語 I A (8)	飯 塚 公 夫 い い づか きみ お 夫	全 学 科 1 年	2

履修上の留意点

途中であきらめないこと。

成績評価の方法

前期・後期のテストの成績が主となります。

教 科 書

「親切なドイツ文法・改定版」（第三書房）

参 考 書 等

なるべく収録語数の多い独和辞典

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ドイツ語 I B (1), (4)	おか ちと とき こ 岡 本 時 子	全学科 1 年	2

講義のねらい

初心者を対象に、ドイツ語が使えるようになるための基本的学力、知識の養成を目指し、併せてドイツ語圏の文化、社会、歴史等についても学ぶ。

講義の内容・
授業スケジュール

前期はドイツ語の発音、文法の基礎を中心に、簡単な挨拶や文が言えるようにする。後期は辞書を引きながら平易なドイツ語の文章を読めるようにし、口頭では複文や重文が組み立てられるようにする。

履修上の留意点

受身に「教わる」授業ではなく、積極的に自分から「学ぶ」授業にしたい。

成績評価の方法

筆記試験、授業への出席、参加等を総合して評価する。

教 科 書

教科書は開講時までに指定する。

参 考 書 等

参考書、辞書等については、第一回目の授業で説明する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ドイツ語 I B (2)	くり はら かず のぶ 栗 原 万 修	全学科 1 年	2

講義の内容・
授業スケジュール

〔IA〕の時間で文法をやりますので、この時間は会話を中心に生きたドイツの基礎を学んでいきます。むろん必要な文法は説明します。

履修上の留意点

特に初習の語学は毎時間継続的に勉強しないと力になりませんので、出席を重視します。欠席をしないように。

教 科 書

近藤他 『Dialog 新ドイツ語へのキックオフ』 郁文堂, 1,957円

教 科 書

どういふふうに通じるか等の細かいことは教場で指導します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ドイツ語 I B (3), (5)	〔前期〕 <small>もも ずみ いはむ</small> 百 濟 勇 〔後期〕 <small>まつ もと よう こ</small> 松 本 洋 子	全学科 1 年	2

講義の内容・
授業スケジュール

平易な読物を読みながら、ドイツ語の基本的な文法事項を学んでいく。読物には、ドイツの若者たちの生活が授業風景、進学問題、アルバイトなどを通して描かれているので内容的にも興味をもてるのではないかと思う。また読物の中に出てくる単語や基本的な表現方法を用いて、会話の練習なども行ないたいと思っている。

成績評価の方法

平常点、中間テストと定期試験の結果を総合的に判断して行なう。

教 科 書

藤田『初級ドイツ文法読本』 郁文堂 1,236円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ドイツ語 I B (6)	<small>の しま とし あき</small> 野 島 利 彰	全学科 1 年	2

講義の内容・
授業スケジュール

このクラスではより実地的なドイツ語の文章を学ぶ。口頭練習の問題も多いので予習が大切である。また言葉は音であるので、自宅で十分に附属のCDを聞き込むことが重要である。その成果を知るためにしばしばヒアリングテストを行う。

成績評価の方法

成績評価は予習をしているか否か、ヒアリングテスト、7月と1月の試験の成績によって判断する。

教 科 書

近藤弘ほか著「Klasse!」 朝日出版社 ¥2,600

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ドイツ語 I B (7), (8)	かわ かわ かみ かず ひと 河 上 和 史	全学科 1 年	2

講義のねらい

たとえば、衛生放送のニュースは、世界中の出来事をあたかも国内のこのようにリアルタイムで伝えてくれます。しかし情報の氾濫にもかかわらず、アメリカ以外の「外国」はわれわれにとって必ずしも近い存在とは言えないかもしれません。世界にはさまざまな人々がいて、それぞれの生活を営み、いろいろなもの見方をしています。「もう一つの外国語」をマスターすることは、その国を知るだけでなく、世界を見る眼を増やすことでもあります。そのことを念頭に置きつつ、今あらためて、君自身の「ドイツ」と出会うために、これから一年間、ドイツ語を学びます。

講義の内容・授業スケジュール

この授業は「講読」の時間ですが、単に「読む」ことに終始せず、「文法」で学んだ基礎知識を認識しながら、それを口に出して言う練習、つまり日常会話の初歩もやる予定です。

成績評価の方法

中間試験、定期試験の成績だけではなく、授業中に実施する小テスト、練習問題、口答練習や出席状況などにより総合的に評価します。

教科書

未定（追って指示します。）

参考書等

「独和辞典」は必ず必要ですが、最初の授業の時に幾つか紹介しますので、あわてて買う必要はありません。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ドイツ語 I B (9)	にい くら まや こ 新 倉 真 矢 子	全学科 1 年	2

講義のねらい

ドイツ語の基本となる正確な発音、語彙の習得、文構造の把握を目標とする。同時に「聞く」、「話す」など基礎的なコミュニケーションに参加出来るような理解力と表現力の向上にも取り組み、総合的な言語能力の養成を図る。また、ドイツ語圏の文化についての理解も深めていきたい。

講義の内容・授業スケジュール

一年間で教科書が終わるように各回を配分し、毎回、各課のテキストを聞き、読みながら文法事項を確認し、正確な読解を行い、テキストで扱われている状況での会話の型を学習し、練習問題に沿って自己表現出来るようにする。前期では特に、基本的なレベルで個人的な事柄について書くことが出来るようにし、後期ではさらに内容のある文を作成する。

履修上の留意点

授業時に行うパートナー練習なども含め、積極的な参加を期待する。

成績評価の方法

前期・後期試験の点数と出席率、宿題や小テストなどを総合した点数で決める。

教科書

近藤他 「Dialog —— 新ドイツ語へのキック・オフ」, 郁文堂, 1,957円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ドイツ語 I C (会話)	まつ おか すずむ 松 岡 晋	経営 1 年	2

講義のねらい

本講座は、ドイツ語の基礎会話の練習を目的とするものです。教材としては教科書に挙げるカセット・テープ付き教科書を用います。一年間で日常的会話の基本部分を習得できれば、と思っております。

履修上の留意点

口頭練習が中心となりますので、毎回出席することが絶対的条件です。

成績評価の方法

年数回の試験（口頭および筆記）ならびに出席状況により成績評価をおこないます。

教 科 書

乙政潤 著：日頃のドイツ文法（オーラルコミュニケーション付）朝日出版社、¥2,600

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ドイツ語 II A	まつ もと よう こ 松 本 洋 子	禅・仏教・国文・英米文 地理・歴史・経済・商 法律・政治・経営 2 年	2

講義のねらい

ドイツ語文法を学んだ学生が実際のドイツ語に慣れ親しんでいけるようにワイツゼッカーの演説をテキストとして選んだ。授業では文法的解説を充分に行ない、実際のドイツ語の読解力をつけていきたい。同時に、学生がこのテキストを読むことで、同じ敗戦国である日独の過去の戦争責任に対する姿勢の違いなどについても学んでくれたら、と思っている。

成績評価の方法

平常点、中間テストと定期試験の結果を総合的に判断して行なう。

教 科 書

「ワイツゼッカー、人と演説、ドイツ統一・大統領記念演説」朝日出版、¥960

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ド イ ツ 語 II A	の じま とし あき 野 島 利 彰	禅・仏教・国文・英米文 地理・歴史・経済・商 法律・政治・経営 2 年	2

講義のねらい

このクラスでは実践的なドイツ語を学ぶ。一年次生向けの教科書を使うが、後半のレベルはかなり高くなる。添付されたカセットテープを自宅で聞くことが基本であるのでヒアリングテストをしばしば行う。成績評価はヒアリングテストの成績と随時行われる小テストの成績で判断される。

教 科 書

W. シュレヒト著 「ドイツ語70」 三修社 テープとのセット ¥2,600

そ の 他

月曜・4限

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ド イ ツ 語 II A	くり ほら かず のぶ 栗 原 万 修	禅・仏教・国文・英米文 地理・歴史・経済・商 法律・政治・経営 2 年	2

講義のねらい

授業では、文法の説明もしながら分かりやすいようにすすめていきますが、単語や句をおぼえることで、日常会話にも役に立つと思います。ただし、語学は継続的に勉強することが大事なので授業には欠席しないように。毎時間指名をしてやってもらうので、かならず予習をしておくこと。平常の継続的な勉学を重視するので授業への出席は絶対条件です。

教 科 書

テキストは、ディミーター・インキオフ（栗原編・注）『ミリアと盗賊カラブム』（郁文堂、1,000円）を使用します。作者のインキオフさんは、私がドイツ滞在中に親しくなったドイツの有名な児童文学の作家です。たくさん児童書を出版していますが、この物語は、中でも特に平易な文章で、単語も日常よく使われているものばかりで構成されています。美しい人形のミリアと心のやさしい盗賊の人形カラブムとの友情や2人の子供たちとの交流、そして思いがけない話の展開等、多くの挿絵とともに、ユーモアに満ちた筆致でほのぼのと描かれた楽しい物語です。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ド イ ツ 語 II A	野 島 利 彰 <small>の しま とし あき</small>	禅・仏教・国文・英米文 地理・歴史・経済・商 法律・政治・経営2年	2

講義のねらい

一年次で得た知識を基礎に、まず簡単な文章（教科書）から始め、より複雑な文章へと読み進み、将来的には短い論文程度のもを読む予定である。やや文法に基礎を置いた授業を行う。授業は予習が基本である。従って成績評価ではふだん予習をしてあるか否かが重要な判断基準となる。

教 科 書

神竹著 「中級へのステップアップ」 白水社 ¥1,700

そ の 他

水曜・2限

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ド イ ツ 語 II A	柴 野 博 子 <small>しば の ひろ こ</small>	禅・仏教・国文・英米文 地理・歴史・経済・商 法律・政治・経営2年	2

講義のねらい

ドイツ人が日本をどう見ているかを知ることには興味深いことですし、また重要なことだと思います。この授業では、ドイツの著名な日本学の教授が書きおろしたエッセイを取上げます。既に習った文法事項を確かめつつ、あるいはそれを補いつつ、まとまったドイツ語を正確に読むことを目指します。同時に、著者の深い日本理解や、さらに日本文化への愛に裏打ちされた現代日本への鋭い批判なども、心して読んで行きたいと思います。

教 科 書

小塩節編 『ドイツ人の見た日本人』 朝日出版社, 1,200円

科目名	担当者名	配当学科	単位
ドイツ語ⅡB	野 ^の 島 ^{しま} 利 ^{とし} 彰 ^{あき}	禅・仏教・国文・歴史・経済・商2年	2

講義のねらい

一年次で得た知識を基礎に、まず簡単な文章(教科書)から始め、より複雑な文章へと読み進み、将来的には短い論文程度のもを読む予定である。

成績評価の方法

毎回全員に訳の提出を課し、その成績の合計をもって成績評価とする。

教科書

三瓶編「ヒンターヴァルデンの冒険」三修社 ¥773

科目名	担当者名	配当学科	単位
ドイツ語ⅡB	まつ ^{まつ} 本 ^{もと} 洋 ^{よう} 子 ^こ	禅・仏教・国文・歴史・経済・商2年	2

講義のねらい

第二次大戦、敗戦、東西の分裂、そして1990年10月の統一までの、ドイツの歴史を簡単にふりかえり、さらに統一後、ドイツが現実には直面している様々な問題を具体的に考察しているテキストを使って、ドイツ語文法の骨組みを学んだ学生が、さらに実際のドイツ語の文章を読みこなせる能力を身につけていけるようにしたいと思っている。

成績評価の方法

平常点(予習をしているかどうか)中間テスト(訳文の提出)と定期試験の結果を総合的に判断して行なう。

教科書

「統一後のドイツ人は統一できるか」郁文堂 1,236円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ド イ ツ 語 II B	あ づま ゆう じ ろ う 吾 妻 雄 次 郎	禅・仏教・国文・歴史・経済・商2年	2

講義のねらい

中級クラスの「文法読本」を用い、ドイツの風物、自然、経済、交通等に触れた簡単な文章をもとに、1年次にはとかく不十分に終わりがちな文法の知識の再確認につとめ、大学生にふさわしい読解力、自己表現、したがって簡単な日常会話、独作文等の基礎を作ることを目標として進めたい。

講義の内容・授業スケジュール

上記文法上の知識の深化、再確認のために用いるテキストは、できれば夏休み前、少なくとも一年の前半で終え、後半ではコピーによる数種の教材を用意し、ドイツの新聞あるいは週刊誌に載った日本に関する特異な紹介記事等をも、これまた文法を振り返りながら学んでいきたいと思う。教科書はカセットテープ使用。

履修上の留意点

したがって履修する学生諸君は、常に受け身の姿勢は返上して、積極的な姿勢で授業に臨んでいただきたい。たとえ単語の訳のついた親切なテキストであっても、常に独和辞典にしたしみ、どのような状況で用いられる言葉なのか、文例等にも目を通して、必要なものはノートに記して欲しいと思う。教室の敷居が高くないことが望ましい。気楽に笑いながら一緒に学べれば何よりである。

成績評価の方法

一口に言えば平常点評価である。もちろん試験は年間二度ほどに分けて行う。必要に応じてまとめテストを行うこともある。授業の展開に、自分もその一員として積極的に参加しているかどうか評価の対象である。

教 科 書

松本嘉久著 『ドイツ語からドイツへ』 朝日出版社 ￥1,900

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ド イ ツ 語 I	よ し た ふ み こ 吉 田 文 子	短国・短英1年	2

講義のねらい

同じ系統の言語である英語と比較しながらドイツ語という未知の言語の輪郭を掴み、それに慣れてゆくことを目標とする。ドイツ語圏の文化にも触れたい。

講義の内容・授業スケジュール

簡単な文法事項の説明の後、実際に短文を読む。前期はドイツ語の特徴に慣れることに重点を置く。後期は複合時称をはじめとする複雑な文を扱おう。

履修上の留意点

何よりも一定量の語いを覚えるよう努めること。日々少しづつ積み重ねることをおこたらないこと。

成績評価の方法

単語をはじめ覚えていただきたい簡単な事項のショートテスト、期末テスト、授業態度を総合して評価する。

教 科 書

「グリムと旅して」 三修社 ￥2,000

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ド イ ツ 語 I	あづま ゆうしろう 吾 妻 雄 次 郎	短国・短英1年	2

講義のねらい

週1度の授業を、楽しく効果的に行うことができるよう、教科書選びにも留意したつもりです。『基本対話例』『テキスト』そして『練習問題』から成るこの教科書を通じて、初歩的な文法の知識、日常の挨拶、生活に必要な簡単な会話等を学んでいきたいと思っています。

講義の内容・授業スケジュール

外国語の理解には文法は不可欠ですが、初めはあまりこれに捕らわれる必要はありません。全16章から成る教科書は、文法項目の前に『基本対話例』1, 2が置かれていて、さらに『テキスト』『練習問題』等によって理解をいっそう確かなものにならうと意図で編まれています。カセットテープを利用しながら進めていき、秋の終わり頃まで一応完了の予定です。

履修上の留意点

従って縁あってこのクラスで学ぶことになった学生諸君は、常に積極的な姿勢で臨んで欲しいと思います。それにはたとえ短時間であったとしても集中的に予習・復習に時間を裂き、明るい、楽な気持ちで授業に参加することが第1です。

成績評価の方法

年に2度ほど試験を行います。また必要に応じてまめテストのようなものを行うこともあります。出席はとりますが、あくまでもこれは参考にするまでであって、授業の展開にいかに関心を持って参加しているかを重んじたいと思います。言わば「平常点評価」です。

教 科 書

関口一郎著 『楽しくドイツ語を！』 郁文堂 ¥1,854

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ド イ ツ 語	よしだ ふみこ 吉 田 文 子	短放1必	2

講義のねらい

同じ系統の言語である英語と比較しながらドイツ語という未知の言語の輪郭を掴み、それに慣れてゆくことを目標とする。ドイツ語圏の文化にも触れたい。

講義の内容・授業スケジュール

簡単な文法事項の説明の後、実際に短文を読む。前期はドイツ語の特徴に慣れることに重点を置く。後期は、複合時称をはじめとする複雑な文を扱おう。

履修上の留意点

何よりも一定量の語いを覚えるよう努めこと。日々少しづつ積み重ねることをおこたらないこと。

成績評価の方法

単語をはじめ覚えていただきたい簡単な事項のショートテスト、期末テスト、授業態度を総合して評価する。

教 科 書

「新みんなのドイツ語文法読本」 三修社 ¥1,850

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ド イ ツ 語	あ づま ゆう し ろ う 吾 妻 雄 次 郎	短 放 1 必	2

講義のねらい

短大放射線科としてはただ1つだけのドイツ語必修科目です。それだけに何を目標とすべきか、しかもただこれだけ、常に「完結」を意識して行わなければ成らない授業です。名案がある訳ではありません。やはり日常の会話、簡単な表現を基にして、一応の文法の習得は不可欠です。

講義の内容・ 授業スケジュール

基本的な文形、身近な会話、練習問題を通じて、ひととおりドイツ語文法の習得を目指したいと思います。ここで使用する教科書は、14章から成り、それぞれの章に2つ乃至は3つの『文のパターン』、言わば基本文型が設けられていて、練習問題の前に置かれた『まとめの文』が、さらに理解を深める助けをなしています。各章のドイツ文の下には、単語の日本語訳がついていますが、独和時典で確かめ、自分流のノート作るのは大切であると思われます。カセットテープはもちろん生かしていくつもりです。

履修上の留意点

学生諸君は常に積極的な明るい姿勢で授業に臨んで欲しく思います。それには短時間であれ、集中力を傾け、予習・復習に時間を割くことが肝要と思われます。これをやらなければ教室の関が次第に高くなってきます。初めて学ぶ言語は私たちに新たな世界、新しい視野を拓いてくれるに違いありません。

成績評価の方法

年に2回ほど試験を行います。また必要に応じて、小さなテストも行いたいと思います。しかしこの他、授業に積極的に参加しているかどうか、また出席はどうであるか等、すべて総合的に加味して評価したいと思います。

教 科 書

小塩 節著 『ドイツ語ってすてきだ!』 三修社 ¥1,950

フ ラ ン ス 語

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
フランス語 I A (1), (7)	こ ^{たま} 玉 ^{なり} 齋 ^お 夫	全学科 1 年	2

講義のねらい

I Aは文法を中心としてフランス語表現の在り様・しくみを辿り理解していく授業です。内容的には、したがっていささか無味乾燥な、ことばの配列の規則を覚えるだけ、という授業になりかねないところがあります。それでも、未知のことばのつながりの内部に規則性が見透され、意味の明るみがうっすらとであれ漂よってくれば、その時点での理解の充溢感は、おそらく誰にでも感じとられるものとなるでしょう。そしてその堆積あるいは継続が、包括的に意識的にめざされるようになれば、難しく思われたフランス語表現も興味深い解読の対象となるに違いありません。

履修上の留意点

少くとも予習・復習を欠かさぬだけの、フランス語学習への意欲を、初めから、持ち備えていることが望まれます。

教 科 書

- (1) 天羽他 『初級フランス語文法』 (1996年度版) (朝日出版社 1,800円)
 (7) 山崎他 『トゥ・ドゥスマン——フランス語の回路——』 (第三書房 1,700円)

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
フランス語 I A (2)	たけ ^だ 竹 ^{まさ} 田 ^{ずみ} 正 ^純	全学科 1 年	2

講義のねらい

フランス文法のおおよそを学ぶが、1年後には、簡単な文章を書き、辞書をつかつてどんどん文章が読みすすめられる程度の応用力を身につける。

講義の内容・
授業スケジュール

ABCから接続法までを学ぶ。初修言語に慣れるよう、発音・動詞変化の練習も頻繁におこなう。応用面を考慮した副教材(教室にて配布)も学習する。

履修上の留意点

授業はかなりのスピードをもってすすむので予習復習を心がけること。授業の成功・不成功の責任は諸君の側にもある。

成績評価の方法

前・後期の定期試験には、基礎力と応用力の二種のテストをおこなう。

教 科 書

田島宏 『田島フランス語文法』 (芸林書房) ¥1,400

参 考 書 等

- 朝倉季雄 『朝倉初級フランス語』 (白水社) ¥1,300
 竹田正純 『おぼえるためのフランス語動詞変化表』 (朝日出版社) ¥1,000

そ の 他

発音練習のため、指定するカセット・テープで自習すること。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
フランス語 I A (3)	かとうせつこ 加藤節子	全学科 1 年	2

講義のねらい

このクラスは大学に入って初めてフランス語を学ぶ学生のための文法を中心としたクラスです。皆さんが中学・高校の6年間をかけて学んできた初めての外国語、英語と異って、第二外国語では、一年間で文法をマスターすることになります。しかし英語の基礎がありますから、それと比較しつつ学べば思ったより容易に理解できるでしょう。

履修上の留意点

しかし語学はどうしても予習復習が必要です。時間をかければそれだけの成果は必ず上ります。

成績評価の方法

前期・後期の定期テストの外に何回か小テストをします。

教 科 書

川村克己『新川村ふらんす語』駿河台出版社 950円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
フランス語 I A (4)	きとうくみこ 佐藤久美子	全学科 1 年	2

講義のねらい

アルファベットから始めて、1年間でフランス語の文法の基礎を習得します。

講義の内容・
授業スケジュール

教科書に沿って、発音練習を兼ねながら文法説明を行ないます。各課の終りの練習問題で習熟度を確認して下さい。練習問題の一部を宿題にすることもあります。

履修上の留意点

新しい事項が次々に出てきますから極力欠席をしないこと。また最低限単語の意味を調べておく程度の予習を心がけて下さい。そして辞書の引き方の指導も行ないますので仏和辞典を毎回必ず持参すること。

成績評価の方法

平常の授業への参加度と前後期の試験の結果から総合的に判断します。

教 科 書

山崎庸一郎他著『フランス文法の扉』第三書房 1,751円

参 考 書 等

仏和辞典については初回の授業時に指示します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
フランス語 I A (5)	あし ばら けん 芦 原 眷	全学科 1 年	2

講義のねらい

1年かけて、仏語のやさしい文章（おもに会話の多い文章）が読めて（発音）、その内容が理解（読解力）できるようにします。読解力をつけるためには、文法の知識を身につけることがどうしても必要です。文法は読解力に非常に役立つ道具です。

講義の内容・
授業スケジュール

前期は、文法を土台にして、仏語の読み方、辞書の上手な引き方を覚えます。後期は、前期の作業を発展させて、できるだけ多くの仏文を読めるようにします。

履修上の留意点

教科書と同時に辞書を持参して下さい。

成績評価の方法

毎回小テストか辞書を使う和訳のテストをします。それに、期末の総合テスト。ときどきレポート。

教 科 書

安田悦子『ヴィット・メ・ビヤン』白水社 1,600円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
フランス語 I A (6), (8)	の ざわ きょう 野 沢 協	全学科 1 年	2

講義のねらい

フランス語初級文法の授業で、通常の語法（直説法）から始まって条件法、接続法に至るまで、フランス語文法の基礎を学ぶことを目的とします。

成績評価の方法

前期・後期の試験のほか、動詞の活用に関する小テストをかなり頻繁（月に1, 2回）に行ない、それらを総合して成績を評価します。

教 科 書

教科書としては、最も簡にして要を得た初級文法書として定評のある下記のものを使用します。
川村克己『新川村ふらんす語』（駿河台出版社 2,200円）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
フランス語 I A (9)	伊 藤 乃 お <small>い とう</small>	全学科 1 年	2

講義のねらい

日常生活に即した単語と表現を用いて、フランス語文法の基礎を習得します。

講義の内容・
授業スケジュール

どんな言語でも発音できなければ興味もてないものです。従って、最初に綴り字と発音の関係についての約束事（英語に比べてはるかに簡単です）をしっかりと覚えた上で、基本的な文法を学んでいきます。また各課ごとの豊富な練習問題によって、文法事項の定着と基本単語の習得を図ります。

履修上の留意点

語学の学習は日々の積み重ねです。必ず復習と宿題をして授業に臨んでください。

成績評価の方法

平常点、小テスト、前・後期の試験によって成績評価を行います。

教 科 書

『ふだん着フランス文法』（朝日出版社 1,900円）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
フランス語 I B (1), (4)	野 沢 協 <small>の さわ きょう</small>	全学科 1 年	2

講義のねらい

フランス語初級講読の授業で、フランス語の基礎的な発音、初歩的な文章読解の学習を目的とします。

講義の内容・
授業スケジュール

教科書は約30課から成りますが、各課とも、
イ. フランス人が吹き込んだテープを使った読みの練習
ロ. 文法事項の簡単な説明
ハ. 文章の訳読
という順序で行ないます。

履修上の留意点

訳読は毎回学生に当てますから、必ず辞書を持参して下さい。

成績評価の方法

前期・後期の試験によって成績を出します。

教 科 書

川村克己 『川村ふらんす語読本』（駿河台出版社 979円）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
フランス語 I B (2), (5)	まえ だ のり かず 前 田 祝 一	全学科 1 年	2

講義の内容・
授業スケジュール

- 初めてフランス語に接するにあたって、
- (1)音としてのフランス語を重視する。
 - (a)フランス語の音の基本的な性格の把握。
 - (b)母音と子音の特徴。
 - (c)綴り字と音の關係に習熟すること。
 - (d)文における音の流れ。
 - (2)短文をおぼえて、その用い方を身につける。
以上を前半年の授業スケジュールとする。後半年は主として動詞の活用を中心に、それを実際に使えるように反復練習する。

成績評価の方法

- (1)出席状況
- (2)平常点
- (3)個別口答試験
- (4)簡単なペーパー試験

教 科 書

カトリーヌ・ガルニエ，安田悦子編：『クク・セモア』白水社

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
フランス語 I B (3)	とお やま ひる お 遠 山 博 雄	全学科 1 年	2

講義のねらい

I Aで学ぶ文法事項を反復解説しながら、フランス語の聴き取り、発音の習得と、辞書を使っ
ての読み取りの練習を中心とします。試験は年3回。(必要に応じて書き取り，小テストも。)ヒ
アリング・テストも行ないます。また履修者の数が少なければ，口述で試験を行なうことも考
えています。教材は口語を使ってフランス人の日常生活にふれるものです。

教 科 書

伊藤洋，佐山一著『クレリエール』芸林書房。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
フランス語 I B (6), (8)	せん いく れい こ 千 石 玲 子	全学科 1 年	2

講義のねらい

この授業の目的は先ずフランス語の綴りと読み方の規則を覚え、フランス語として読めるようになること、次に辞書が使えるようになること、大きくこの二つである。

講義の内容・
授業スケジュール

夏休み前までは音読の機会をなるべく多くとり、読めるようにする。また文構造を把握出来るようにこの時間でも文法の説明を繰り返し行なう。テキストにはフランスの文化や考え方を知ることができる内容のものを選ぶ予定である。

履修上の留意点

毎回新しいことを学ぶので、欠席をしないこと。

成績評価の方法

前期（7月）と後期（1月）のテストおよび授業時間内に行なう小テストの結果。

教 科 書

未定

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
フランス語 I B (7)	すが わら たけし 菅 原 猛	全学科 1 年	2

講義のねらい

これからフランス語を学ぶ人のための入門書として、いわばプレリュード（前奏曲）の役割りを果たすべく、極力平易な文章に慣れ親しめるように編集された読本用の教科書を用い、文法事項を無理なく段階的に高度なレベルに移行するよう授業を進めてゆきます。

履修上の留意点

毎回、仏和辞典を持参すること。試験はいずれも辞書を使っての応用問題。

成績評価の方法

成績評価は通年制ですが、平常の授業態度、平常試験を重要視します。

教 科 書

川神伝弘・森孝子『プレリュード』第三書房 ¥1,030

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
フランス語 I B (9)	たけだまさずみ 竹 田 正 純	全学科 1 年	2

講義のねらい

I Aのクラスで習った文法事項をよりよく消化できるよう、まとまった文章を読んでいく。簡単な文章を書き話すことも目指す。

講義の内容・
授業スケジュール

実践的な授業なので、読み・書き・話すの練習を十分におこなう。

履修上の留意点

予習復習を厳しく要求していく。

成績評価の方法

前・後期の定期試験には、基礎力と応用力の二種のテストをおこなう。

教 科 書

山村嘉巳 『微笑み、ふらんせ』（朝日出版社） ¥1,700

参 考 書 等

島岡茂 『フランス文法入門』（白水社） ¥1,700
竹田正純 『おぼえるためのフランス語動詞変化表』（朝日出版社） ¥1,000

そ の 他

発音練習のため、指定するカセット・テープで自習すること。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
フランス語 I C (会話)	こだまなりお夫 小 玉 齊 夫	経 営 1 年	2

講義のねらい

1年生で初めて学習する言語を、「会話」として行うには、いささかのとまどいが感じられると思いますが、要は、休み時間と同じ雰囲気の中で授業が始められるか否か、という点にかかっていると思います。あるいは、初めてコトバを発した時期と同じような心理状態を、つとめて作り出すことによって、余計な規制を離れた、自然な心の流れの中で、自分から、音声を出し、聞きとるようにすることが求められているのだと思います。

文法的知識は、本来はこのような音声への馴れの後に蓄積されるはずのもの、なのですが、しかし、もちろん、既に難しい文字を読める我々が、それを活用しない手はありません。従って、I A, I Bの授業を補完するものというよりは、むしろ、I Cに於いて基礎を固めるのだ、というつもりで授業に参加して下さい。

履修上の留意点

繰り返しによる反復練習が多くなりますので、必然的に、おもしろい授業、にはなり難いと思いますが、あらかじめそのつもりでいて下さい。

教 科 書

『フランス語コミュニケーションの方法』（第三書房）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
フランス語ⅡA	まえ だ のり かず 前 田 祝 一	禅・仏教・国文・英米文 地理・歴史・経済・商 法律・政治・経営2年	2

講義のねらい

フランス語の基礎知識が習得されていることを前提に、やさしい読み物を辞書を使って読んでゆく。

成績評価の方法

成績評価の基準
 (1)出席状況
 (2)平常点
 (3)前後期の定期的なペーパーテスト

参 考 書 等

クリスチャン・ボムルー、丸山圭三郎編：『ジャンヌ・ダルク』（Facile à lireシリーズ）、朝日出版社

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
フランス語ⅡA	すが わら たけし 菅 原 猛	禅・仏教・国文・英米文 地理・歴史・経済・商 法律・政治・経営2年	2

講義のねらい

特に20世紀のヨーロッパがぐり抜けてきた状況を反映していると思われるテーマを、さまざまな分野から選んで編集されたこの教科書は、フランス語のテキストを通して、フランスを中心とした現代のヨーロッパの姿を学生たちに知る機会を与えることを目的としています。

履修上の留意点

毎回、辞書を持参すること。試験はいずれも辞書を使っての応用問題であるから、平常の〈予習〉に時間を割いて欲しい。

成績評価の方法

成績評価は通年制ですが、平常の授業態度、平常試験を重要視します。

教 科 書

谷口侑・谷口正子『現代のヨーロッパ』白水社 ￥1,500

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
フランス語ⅡA	すが や 谷 さとる 暁	禅・仏教・国文・英米文 地理・歴史・経済・商 法律・政治・経営2年	2

講義のねらい

アルゼンチンが生んだ世界的な作家ホルヘ・ルイス・ボルヘスの仏訳短編小説3編（『他者』『恵みの夜』『砂の本』）をテキストにして、「幻想的」「夢幻的」といわれる作品を楽しみながら、フランス語を読む力を養いたいと思います。テキストは本格的なフランス語で書かれていますが、注が豊富についているので、初級文法を終えたばかりでも十分に読むことができます。

成績評価の方法

前期末と後期末の試験によります。

教 科 書

『ボルヘス奇譚集』、白水社、1,100円

そ の 他

毎回数人の担当者をあらかじめ決めておきますので、その者は担当部分を正確に読み、訳せるように準備し、内容を完全に理解しておくことが望まれます。なお必要な文法事項は詳しく説明し、発音はカセットテープを利用して練習します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
フランス語ⅡA	こ だ ま な り お 夫 小 玉 齊 夫	禅・仏教・国文・英米文 地理・歴史・経済・商 法律・政治・経営2年	2

講義のねらい

初級文法・読本の後を受けて、より語彙の理解をふやすと共に、読解の能力を身につけて、専門書を読んでいくための基礎的なちからを養うことを目的とします。
同時に、フランス語の使われる場面での、さまざまな文化的知識も、可能なかぎり紹介することによって、全体的に、フランス語・フランス文化を知る授業にしたいと思います。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、ⅠA（ⅠB）では不十分であった、あるいは説明できなかった文法事項の復習をしつつ、さまざまに用いられている生きたフランス語の読解を、後期に向けて、進めていきたいと思えます。

履修上の留意点

語彙の暗記等、自発的に積極的に取りくんでいって下さい。

成績評価の方法

教場で指示します。

教 科 書

水・2 恒川邦夫 『全方位50のヴェルジョン』（朝日出版社、1,600円）
水・3 原田 武 『新フランス文選——中級初期のために——』（青山社、927円）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
フランス語ⅡA	かとうせつこ 加藤節子	禅・仏教・国文・英米文 地理・歴史・経済・商 法律・政治・経営2年	2

講義の内容・
授業スケジュール

今人気のある南仏が舞台でリヨン、アヴィニオン、アルル、マントン、モナコ、コート・ダジュール、ニースなどの町を旅する人から友人にあてた手紙形式の見聞報告というテキストである。平易で読みやすい文体である。1年で習った文法を復習しつつ授業をすすめる。

履修上の留意点

予習を必ずしてくること。

教 科 書

C.ルナル及び市川慎一『プロヴァンス駆け足旅行』芸林書房 1,000円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
フランス語ⅡB	たけだまさずみ 竹田正純	禅・仏教・国文 歴史・経済・商2年	2

講義のねらい

昨年1年間で培ったフランス語力を、特に読解力を重点に発展させ、正確でスピーディーな読解を可能にする応用力の涵養を目指す。希望があれば仏訳等の練習を織り込んでよい。

講義の内容・
授業スケジュール

応用面を考慮した副教材(教室にて配布)も学習する。文法と発音の復習にも十分な時間を割く。

履修上の留意点

予習復習を厳しく要求していく。

成績評価の方法

前・後期の定期試験は、基礎力と応用力の二種のテストをおこなう。

教 科 書

ジャン・ジオノ『木を植えた男』(第三書房) ¥950

参 考 書 等

竹田正純『おぼえるためのフランス語動詞変化表』(朝日出版社) ¥1,000

そ の 他

発音練習のため、指定するカセット・テープで自習すること。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
フランス語ⅡB	まえ だ のり かず 前 田 祝 一	禅・仏教・国文 歴史・経済・商2年	2

講義のねらい

フランス語の基礎知識が習得されていることを前提に、やさしい読み物を辞書の助けを借りて読み続ける。

成績評価の方法

成績評価の基準
 (1)出席状況
 (2)平常点
 (3)前後期の定期的なペーパー・テスト

教 科 書

クリスチャン・ボムルー、丸山圭三郎編：『マリー・アントワネット』、朝日出版社
 (Facile à lire シリーズ)

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
フランス語Ⅰ	たけ だ まさ ずみ 竹 田 正 純	短国・短英1年	2

講義のねらい

文法に片寄らないで、バランスよく聴く・話すを中心にすえて、総合的な力が身につくようにする。読解力の涵養にも十分な時間を割いていく。

講義の内容・
授業スケジュール

コミュニケーションを中心にした教科書を使うので、不足気味の読解には、別に副教材を配布し補う。

履修上の留意点

実践的な授業なので積極的に参加しなければならない。

成績評価の方法

前・後期の定期試験には、基礎力のほか応用力のテストもおこなう。

教 科 書

野内良三 『決まり文句・入門フランス語』（白水社） ¥2,100

参 考 書 等

数江譲治 『フランス語のABC』（白水社） ¥1,600

そ の 他

発音練習のため、指定するカセット・テープでの自習すること。

中 国 語

中国語 I A ・ 中国語 I B

中国語の入門クラス。発音と文字（簡体字）そして文法の基礎を学ぶ。授業では、まず「ピンイン」というローマ字表記を使って発音を学び、次いでその表記法によりつつ基本的な文法・句型等を学んでゆく。「ピンイン」表記を最初にしっかり覚えないと、その後の学習がほとんど不可能になる（漢字で書かれているので他の外国語より易しいというのは、誤った俗説である）。

I A - I Bという週2コマの授業を通じて1冊の教科書を使用する。I A - I Bの組み合わせは固定されており、それを一人の教員が通して担当する場合と、二人の教員が共同で担当する場合とがある。いずれにしても必ずその2コマを1セットで履修しなければならないので、登録の際、組み合わせを間違えぬよう、くれぐれも注意すること。

中国語の学習には、自分の口と耳を使った教室での実地練習がきわめて重要である。休まず出席し、教員の指導のもと、積極的に練習を行ってほしい。出席は成績評価においても重要な判断材料となる。そのほか年間を通じての各種小テスト、中間・定期試験、課題提出、および授業中に見られる実際の習熟度等々に基づいて最終的な成績評価がなされる。日頃の努力の積み重ねが不可欠であり、定期試験のときだけ一夜漬けで乗り切るということは絶対に不可能である。

I A - I Bの段階では、辞書をひいて未知の語彙を解決するよりも、教科書で与えられた文例をそのまま口と耳で覚えこむことの方が重要である。したがってこの段階では、いたずらに大型の辞書を買って来てあますよりも、下記のような入門用の小型辞書を手もとに置いて、予習・復習の助けとするのがよいだろう。

『標準中国語辞典』[第2版] 白帝社 ¥2,300

『簡明中日辞典』 東方書店 ¥2,400

『簡約・現代中国語辞典』 光生館 ¥3,500

いずれも語彙数をしぼり、その代りに基本的な文法事項の説明を充実させており、各語の語釈の下に比較的わかりやすい例文も挙げられている。他にも同規模の小型辞典が数種出版されているが、そのような入門学習用の配慮はなされていないので、お勧めできない。なお、辞書をひいたら、日本語の訳語を写すのではなく、ぜひ例文を書き写したり音読したりしてみたい。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
中国語 I A (1)	かま 釜 や 屋 おさむ 修	全学科 1 年	2
中国語 I B (1)	かま 釜 や 屋 おさむ 修	全学科 1 年	2

講義の内容・ 授業スケジュール

このクラスは一人の教員が一冊の教科書を使って週2回の授業を展開する。全20課、各課とも語法解説、練習問題、課文（20課を除いて会話体）の順で構成されている。同一教員の担当だから、順序通りに進行する。課文では発音、基礎的表現力の練習に重点を置き、語法学習では論理的推理力を養い、I A, I Bの教学目標の達成をめざす。

履修上の留意点

初級段階はひとつひとつの積み重ねがたいせつなので、皆出席を要求する。予習・復習も積極的にとり組み、「漢字だからやさしいかも」という誤解を捨てて、「外国語」としての中国語の楽しさをあなた自身が引き出すこと。

成績評価の方法

成績は、期末試験を含め年間7～8回の試験、小テストに平常点、出席点などを加味して総合的に判断する。

教科書

『新訂 例文中心 初級中国語』 同学社 1,545円

参考書等

辞書は当分必要ではないが、ふさわしい辞書、参考書の紹介は授業の中で行う。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
中国語 I A (2)	とく なが じゅん 子 徳 永 淳 子	全学科 1 年	2
中国語 I B (2)	お かわ たかし 小 川 隆	全学科 1 年	2

講義の内容・
授業スケジュール

中国語は漢字使用圏に生活する日本人にとって横文字より親しみやすいと思われがちである。しかしその漢字をどう音読し、どう解釈するかが難しい。ときにはそれが逆に安易な誤解を招く。中国語はその特有の美しい音色、高低のアクセントがあり、これをマスターするのが最大の難関。この難関突破を目指し教場でのきびしい特訓が要求される。

同時に字と字の組合せや語法ルールを学び、会話や作文の応用練習を通じて日本語との発想のちがいを比較し、基礎的な力を修得していく。

教科書は全20課で各課4頁。前2頁が文法と練習問題、後2頁がそれを応用した会話からなる。

授業では発音とピンイン表記学習の後、I Bで各課の文法を学び、その後を追いかける形でI Aの時間に練習問題と会話練習を行ってゆく。いずれの時間も、漢字を目で見て理解するのでなく、音声を通して中国語を理解し表現できるようになることを目標とする。I A・I Bそれぞれに年4～5回程度のテストを行う。

履修上の留意点

最後まで頑張ってやり通すことが何よりも大切。

成績評価の方法

成績は教場での平常評価と定期のペーパーテストによって判定する。

教 科 書

『新訂 例文中心 初級中国語』 同学社 ¥1,545

そ の 他

授業進行の為の最低限のルールとマナーを守れない人については、受講をお断りする。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
中国語 I A (3)	しお はた しん いち ろう 塩 旗 伸 一 郎	全学科 1 年	2
中国語 I B (3)	しお はた しん いち ろう 塩 旗 伸 一 郎	全学科 1 年	2

講義の内容・
授業スケジュール

当初の2カ月間は正確な発音を会得するための特訓に費やされる。その後も夏期休暇までは週最低3時間の自己トレーニングの確保を要求する。教科書に入ってから、I Aで本文に先立って、各課の文法知識を把握する。本文はA、B二人の人物による短い会話で構成されているが、I Bではこの本文を自由に読めるようになることを目指す。教科書を手放し、相手の顔を見て言えなければだめである。教室では、全員二人組を組んでもらいスキットを演じてもらう。

成績評価の方法

聞き取りを中心とした小テストを年間を通じて頻繁に行う。評価は上記すべてに対する取り組みを総合して行う。

教 科 書

『やさしい中国語・改訂版』 白水社 1,900円

参 考 書 等

『中国語発音教室』 大修館 412円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
中国語 I A (4)	未 定	全学科 1 年	2
中国語 I B (4)	未 定	全学科 1 年	2

講義の内容・
授業スケジュール

前期の初めは、中国語特有の音に留意した正確な発音、また発音記号（ピンイン）の習熟を目指す。その後、教科書の構成に従い、先ず文法事項を学習した後、それを使った会話文を教材に発音練習をする。「漢字」という同じ文字を使う日本語との違いを明確にしなが、漢字に頼らない（視覚に頼らない）、音による（聴覚による）理解に重点を置く。

成績評価の方法

前後期各一回の定期試験の他に、授業内で数回の小テストを行い、それらをあわせて評価する。

教 科 書

『新訂 例文中心 初級中国語』（同学社 ¥1,545）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
中国語 I A (5), (11)	まえ かわ とおる 前 川 亨	全学科 1 年	2
中国語 I B (5), (11)	まえ かわ とおる 前 川 亨	全学科 1 年	2

講義の内容・
授業スケジュール

I AとI B同一の教員により、まず発音（ピンイン字母と声調）を学び、その後初級文法の習得を目指す。一年後には比較的容易な文章を正確に読めるようになる筈である。

履修上の留意点

外国語の学習では復習と練習問題を自分で解くことが絶対に必要である。授業は教員と学生とが協力して作っていくものである。授業中に私語する者、授業に非協力的な者に対しては、その後の聴講を断ることがあるので、心得ておいてほしい。

成績評価の方法

評価は年2回の期末考査、同じく2回程度の小テストによる。欠席はその数の多少に応じて減点の対象となるので注意すること。

教 科 書

『新訂 例文中心 初級中国語』（同学社 ¥1,545）

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語 I A (6)	李 ^り 雲 ^{うん}	全学科 1 年	2
中国語 I B (6)	下 ^{しも} 出 ^{いで} 宣 ^{のぶ} 子 ^こ	全学科 1 年	2

講義の内容・
授業スケジュール

授業ではまず発音を学んだ後、教科書本篇に入り、I Aで各課の「表現のポイント」で文法を学び、そのあとを追いかける形で、I Bで本文と練習問題を学んでいく。(教科書は各課とも、比較的易しい会話体の本文、文法事項をまとめた「表現のポイント」、練習問題の順で構成されている。)

履修上の留意点

受講者は漫然と出席するのではなく、最低限前回の復習をするなど準備をして積極的に授業に参加してほしい。

成績評価の方法

I A, I Bそれぞれ、3 課に 1 回程度小テストを行なう。

教科書

『八木さんの中国家庭訪問——会話で学ぶ発音と文法の基礎』(金星堂 1,650円)

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語 I A (7)	小 ^お 川 ^{がわ} 隆 ^{たかし}	全学科 1 年	2
中国語 I B (7)	小 ^お 川 ^{がわ} 隆 ^{たかし}	全学科 1 年	2

講義の内容・
授業スケジュール

I AとI Bとで特に内容を分けず、週2回の授業で、ともかくどンドン頭から学んでゆく。本文は比較的易しい会話体で、その後に文法解説用の例文と豊富な練習問題が続く。授業時間中は音読練習の機会をなるべく多く設け、漢字に頼らず、音声そのものを通して中国語を理解し表現できるようにしてゆきたい。

履修上の留意点

毎回復習と練習問題をやって来ることが必要。授業進行の為の最低限のルールとマナーを守れない人には、受講をお断りする。

成績評価の方法

教科書は全17課で、3～4課に1度くらいの割合でテストを行い、解答はすべてピンイン(ローマ字・声調記号)で書いてもらう。

教科書

『簡明初級中国語』(光生館 ¥1,339)

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語 I A (8)	しお 塩 はた 旗 しん 伸 いち 郎	全学科 1 年	2
中国語 I B (8)	しお 塩 はた 旗 しん 伸 いち 郎	全学科 1 年	2

講義の内容・
授業スケジュール

当初の約2カ月間は、ひたすら正確な発音を会得するための特訓に費やされる。また夏休みまでは毎週最低3時間の自己トレーニングを課し、効果をチェックする。

I Aでは本文に先立って各課の文法知識と運用能力を身につけることを目的とする。教科書の例文を用いた置き換え、言い換えなどの練習を行う。

本文は人物A、B、C3人の会話から成りたっているが、I Bでは、教室の全員がこれらの人物を演じてもらう。教科書ではなく相手の顔を見て会話練習を行う。独自のバリエーションも演じてもらう。

成績評価の方法

年間を通じて、小テスト（聞き取りを含む）を頻繁に行う。
評価は上記諸活動の総合として行う。

教科書

『新訂 例文中心 初級中国語』 同学社 1,545円

参考書等

『中国語発音教室』 大修館 412円

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語 I A (9)	と 戸 ばり 張 よし 嘉 かつ 勝	全学科 1 年	2
中国語 I B (9)	かま 釜 や 屋 おさむ 修	全学科 1 年	2

講義の内容・
授業スケジュール

二人の教員が1冊のテキストを使って週2回の授業を行う。テキストは、各課とも語法・練習問題・課文の三部分で構成されているが、戸張（I A）が課文・練習問題を担当、発音・音声練習を徹底的に行う。釜屋（I B）が語法を担当、文法の基礎を学び、中国語の法則性を学ぶ。

履修上の留意点

入門段階なので、100%の出席を要求する。自発的、積極的な学習者を歓迎する。

成績評価の方法

成績は、平常点・出席点、年間6～7回の試験・小テストなどを総合して判定する。

教科書

『新訂 例文中心 初級中国語』 同学社 1,545円

参考書等

辞書は、当面不要と思うが、ふさわしい辞書、参考書は教室で紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
中国語 I A (10)	未 定	全学科 1 年	2
中国語 I B (10)	未 定	全学科 1 年	2

講義の内容・
授業スケジュール

開講当初には、発音と発音記号（ピンイン）の正確な習得を目指す。日本人が中国語を学習する際、漢字に頼りがちである。テキストも漢字よりピンイン（アルファベットによる表記）が多く使われている。目ではなく、耳による中国語の理解に重点を置く。テキスト以外にもプリントで練習問題を課す。

成績評価の方法

前後期各一回の定期試験の他に、授業内で数回の小テスト（聞き取り試験を含む）を行い、それにより評価する。

教 科 書

『中国語入門テキスト 八木さんの中国家庭訪問』（金星堂 ￥1,650）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
中国語 I A (12), (15), (19)	とく なが じゅん こ 徳 永 淳 子	全学科 1 年	2
中国語 I B (12), (15), (19)	しも いで のぶ こ 下 出 宣 子	全学科 1 年	2

講義の内容・
授業スケジュール

中国語は漢字使用圏に生活する日本人にとって横文字より親しみやすいと思われがちである。しかしその漢字をどう音読し、どう解釈するかが難しい。ときにはそれが逆に安易な誤解を招く。中国語はその特有の美しい音色、高低のアクセントがあり、これをマスターするのが最大の難関。この難関突破を目指し教場でのきびしい特訓が要求される。
同時に字と字の組合せや語法ルールを学び、会話や作文の応用練習を通じて日本語との発想のちがいを比較し、基礎的な力を習得していく。

履修上の留意点

最後まで頑張ってやり通すことが何よりも大切。

成績評価の方法

成績は教場での平常評価と定期のペーパーテストによって判定する。

教 科 書

『新訂 例文中心 初級中国語』 同学社 ￥1,545

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
中国語 I A (13)	まつ 松 もと 本 あつ 丁 とし 俊	全学科 1 年	2
中国語 I B (13)	まつ 松 もと 本 あつ 丁 とし 俊	全学科 1 年	2

講義の内容・
授業スケジュール

I A - I Bの担当者は同一教員による。最初は発音篇1～11課まで基本発音を覚える。つづいて本篇に入るが、日本人が中国家庭を訪問するという設定で、会話を通じて文法・文型の基礎を学んでゆく。

教 科 書

『八木さんの中国家庭訪問——会話で学ぶ発音と文法の基礎』（金星堂 ￥1,650）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
中国語 I A (14)	ひ 日 はら 原 つたえ 傳	全学科 1 年	2
中国語 I B (14)	いわ 岩 きま 崎 ひろし 皇	全学科 1 年	2

講義の内容・
授業スケジュール

文法説明は岩崎、会話文は日原が担当するが、復習など分担にかかわらず行う場合があるので、切り離して考えないようにしてほしい。教室ではともすれば、発音がおろそかになりがちだが、発音できない言葉は覚えられず、親しみも湧かないと言うのが普通である。しっかりと練習するように心掛けてもらいたい。

履修上の留意点

A, Bは内容的に連続しているが、科目としては別であるので、事務的なことはそれぞれの教師の指示に従うこと。

教 科 書

『新訂 例文中心 初級中国語』 牧田英二著 同学社 ￥1,545
教科書の各課は、前半文法説明、後半会話文からできている。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
中国語 I A (16), (20)	すえ き やす ひこ 末 木 恭 彦	全学科 1 年	2
中国語 I B (16), (20)	むな かた とく 棟 方 徳	全学科 1 年	2

講義の内容・
授業スケジュール

教科書は各課が4頁で、前2頁が文法と練習問題、後2頁がそれを応用した会話からなる。授業では発音とピンイン表記学習の後、I Aで各課の文法を、I Bではそのあとを追う形で練習問題を学んでゆく。

成績評価の方法

I A・I Bそれぞれ年4～5回程度の試験を行う。語学は教室に出ないと習得は難しい。欠席が授業時間の4分の1を超えると、単位の習得は非常に困難であることを心得ておくこと。

教 科 書

『新訂 例文中心 初級中国語』（同学社 ¥1,545）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
中国語 I A (17)	いわ さき ひろし 岩 崎 皇	全学科 1 年	2
中国語 I B (17)	いわ さき ひろし 岩 崎 皇	全学科 1 年	2

講義の内容・
授業スケジュール

言葉は、発音、語彙、文法などに分けて考えることができるが、とりわけ発音は大切さの割に軽視されがちである。発音できない言葉は覚えられず、親しみも湧かないものなので、まず発音に慣れることが勉強を面白くするコツである。A、B共に岩崎が担当するので授業内容に関しては区別はない。

成績評価の方法

試験は、筆記のほかに聞き取りや会話文の暗唱なども予定している。

教 科 書

『新訂 例文中心 初級中国語』 同学社 ¥1,545

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
中国語 I A (18)	ひ 原 傳 日 原 傳	全学科 1 年	2
中国語 I B (18)	まつ もと あつ とし 松 本 丁 俊	全学科 1 年	2

講義の内容・
授業スケジュール

I Aは主として文法・文型の講義をする。I Bは主として本文の発音と練習をやる。最初の2～3時限はI A-I Bとも同じ基本発音の練習を行う。

教 科 書

『新訂 例文中心 初級中国語』（同学社 1,545円）

中国語 I C (会 話)

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
中国語 I C (会 話)	戸 張 嘉 勝 と ばり よし かつ	経 営 1 年	2

講義のねらい

音声中心（発音、会話、聞き取り、口頭作文等）の授業を行う。意味と音とを直接むすびつけるため、簡単な生活会話や旅行会話の応答練習をしたり、中国語を聴いて日本語に訳したり、日本語を聴いて中国語で話したりする。音意両者を一体のものとして身につけるのがねらいである。

講義の内容・授業スケジュール

- (1) 基本単語や挨拶用語を通して、発音と声調のトレーニングをする。特に日本語にない発音或いは発音上の約束ごとなどの反復練習をする（約3回）。
- (2) 4週目からは教科書の展開に従い、テープを聴いたり、口頭作文や応答練習をしたりする。

履修上の留意点

出席状況を成績に加味する。

成績評価の方法

書き取りや口頭作文などの平常点と定期試験によって評価する。

教 科 書

相原茂著 『中国語へのパスポート』 朝日出版社、¥2,200

中国語Ⅱ A

IA-I Bの学習を基礎としつつ、ピンイン付の長文を学び、中級程度の読解力・文法的理解力を養う。正確な読解は、読み書きだけでなく、話したり聴いたりするための基礎にもなるものである。

授業は各担当者によって多彩な内容が用意される。文学的なもの、時事的なもの、文法学習を主とするもの、またいろいろな文章の抜粋を読むもの、1~2編のまとまった作品をじっくり読み上げるもの、等々である。いずれの場合も、発音と基礎文法の復習・定着、やや複雑な中級程度の語彙・文法・文型の学習、そして長文の論理展開や文章構成の把握、といったことが目標となるであろう。また、それと同時に、教材を通して、表面的な知識や情報としてでない、内面からの中国理解の眼を養ってもらいたいと思う。

授業には教科書のほかに、以下に挙げるような辞書が必要である。少々高価かもしれないが、これらより小さいもの、およびこれらより古いものは、特殊なものを除けばほとんど実用に堪えず、結局は無駄になってしまうだろう。

『中日辞典』 小学館 ¥7,000 1992年

『現代中国語辞典』 光生館 ¥6,500 1982年

『中日大辞典』 大修館書店 ¥8,858 増訂第二版

なお、成績評価の原則は既述のIA-I Bに準ずるものとする。

担当者名	配当学科	単位
まつばら まさこ 松原 真沙子	禅・仏教・国文・英米文 地理・歴史・経済・商 法律・政治・経営2年	2

講義のねらい

- (1) 一年次に学んだ中国語の発音を復習し、正確な発音を定着させる。
- (2) 中国語の基本構造を理解し、ある程度の長文が読めるようになる。
- (3) 中国語の学習をとおして異文化理解を深める。

成績評価の方法

- (1) 授業の性格上出席を重視する。
 - (2) 授業中の口頭練習と、基本的に毎時間の小テスト、提出課題。
 - (3) 学期末テスト 前期、後期各一回。
- (2)と(3)、各50%で評価する。

教科書

山下輝彦他著 『北京恋情』 同学社 (¥1,700)

担当者名	配当学科	単位
ちん しゅう きょ 陳 洲 挙	禅・仏教・国文・英米文 地理・歴史・経済・商 法律・政治・経営2年	2

講義のねらい

発音と基礎文法の復習、定着、中級程度の語彙、文法、文型の学習、そして長文の文章構成の把握等を目標として中級程度の読解力、文法的理解力を養う。

講義の内容・授業スケジュール

作者がいろいろな違った角度から現代中国人の日常生活、特に飲食生活と人々の考え方等を紹介した文章で綴ったテキスト。文法項目と単語の解説がついているので、自習しても内容を把握することがある程度できるはず。授業中一人ずつ、少しずつ読んでもらって、発音の訂正とこまかい説明を行う。全12篇なので1回毎に半分ずつのペースで行う。テキストに中華料理の調理法ものっているの、できれば年に一度くらい中華料理の作り方を紹介する予定。

履修上の留意点

毎回の予習が必要。本文の漢字にピンインもついているし、本文のカセットテープもあるので、テープをききながら読む練習をして欲しい。

成績評価の方法

年間4回前後のテストを行う。テキストよりやや簡単な文章を日本語に訳す。辞書持ち込み可。成績の評価は最後のテストによって決める。

教科書

陳洲挙 駒林麻理子著 『食を天と成す』 駿河台出版社 1,600円

担当者名	配当学科	単 位
ひら いし よし こ 平 石 淑 子	禅・仏教・国文・英米文 地理・歴史・経済・商 法律・政治・経営 2 年	2

講義の内容・
授業スケジュール

日本でもファンの多い中国の現代作家、老舎の作品を味わいながら読む。教科書には短篇小説一篇とエッセイ一篇が収められているが、順調に読み進められるようであれば、更にその他の作品についても読んでみたい。注釈は必要最小限しかついていないので、毎回の予習は不可欠。辞書も二冊三冊と引いてみる必要が生じるかもしれない。ただ文章を翻訳するだけでなく、文章を読み込む文学的センスもほしい。老舎の作品は日本語にも翻訳されているので、ぜひ読んでみてほしい。

教 科 書

『あゝ結婚』（朝日出版社 ￥1,236）

そ の 他

月曜・3限

担当者名	配当学科	単 位
つる しま しゅんいち ろう 鶴 島 俊一郎	禅・仏教・国文・英米文 地理・歴史・経済・商 法律・政治・経営 2 年	2

講義の内容・
授業スケジュール

中国の風俗や文化について、種々の話題をえらび、中国人の著者が簡単にそれらを説明したテキスト。一課ごとの分量は多くはない。通俗的な話題から文雅な話まで収めてあるので、これを読解して一年次に習った文法の復習をするとともに、中国に対する理解を深めてもらおうと思う。必ず毎回辞書を引き、時には一年次の文法教科書をみなおして、予習をして出席すること。

教 科 書

『中国風俗文化簡介』（金星堂 ￥1,200）

担当者名	配当学科	単 位
ひら いし よし こ 平 石 淑 子	禅・仏教・国文・英米文 地理・歴史・経済・商 法律・政治・経営 2 年	2

講義の内容・
授業スケジュール

現在の中国社会のありさまや人々の生活などを紹介するテキスト。全12課。課文の後の練習問題は、そのつど取捨選択し、できるだけ文を多く読みたい。教科書を読み終えた後は、ピンインのない新聞記事などをテキストとして読んでみたい。

履修上の留意点

予習は必ずしてこること。また日常的に中国の様々な事象に関心を持つことが、テキストの理解にもつながるはずである。

教 科 書

『最新中国あれこれ』（白水社 ￥1,800）

そ の 他

月曜・4限

担当者名	配当学科	単 位
さ とう ふ み こ 佐 藤 普美子	禅・仏教・国文・英米文 地理・歴史・経済・商 法律・政治・経営 2 年	2

講義の内容・
授業スケジュール

全8課。課文はこの数年来、新聞や雑誌で発表された数多くの小小説（掌編小説）の中から選り出されたもので、現代の中国人のものの考え方、美意識、流行の風俗・価値観をよく反映している。各課の本文の後には語句と語法について詳しい解説がほどこされている。

教 科 書

『当代小小説選Ⅱ』（白帝社 ￥1,800）

そ の 他

質・量ともにボリュームのある「ドリル」は予習が必要。

担当者名	配当学科	単 位
お 小 川 ^{がわ} たかし 隆	禅・仏教・国文・英米文 地理・歴史・経済・商 法律・政治・経営2年	2

講義のねらい

93・94年の『人民日報・海外版』から15篇の文章を抜粋し、それに文法解説用の例文と練習問題を附した教科書を用いる。これの講読を通して、文法の基礎をかためつつ、新聞が読める程度の読解力養成をはかりたい。

授業では、練習問題は割愛し（希望者には解答例のプリントを配布し、個別に質問に応じる）、もっぱら本文と例文の音読と解釈に意を注ぐ。中国語の読解力と現代中国に対する理解力との有機的な結合を最終目的とする。

履修上の留意点

毎回の予習と復習が不可欠。

成績評価の方法

年間3～4回、大小のテストを行う。

教 科 書

『中国在変』（白帝社 ¥1,600）

そ の 他

水曜・2限

担当者名	配当学科	単 位
ね 根 岸 ^{ぎし} まさ 政 子	禅・仏教・国文・英米文 地理・歴史・経済・商 法律・政治・経営2年	2

成績評価の方法

授業には毎回の予習が不可欠であり、年間2回の試験のほかに、随時小テストを行う。

教 科 書

『中国——人と暮し』 光生館（¥1,339）

中国の一般の人々の生活ぶりや考え方などが、中国人女性の目を通して、やさしい言葉で語られているテキスト。全15課。各課ごとに関連の文法事項と練習問題が付されているので、本文の読解とともに、初級で学習した文法を確認しながら進んで行く。家族、故郷、大学生活など身近な話題なので理解しやすいと思われるが、時々ビデオを使って映像による理解も深めたい。

担当者名		配当学科	単 位
しゅう 周	ふはん 璣	禅・仏教・国文・英米文 地理・歴史・経済・商 法律・政治・経営2年	2

成績評価の方法

一篇ごとに小テストを行う。平常点を大変重視するので、授業中の音読・読解など真剣にやること。授業には無断欠席せずに。

教科書

プリントで、授業時配布。
中国の『人民日報』からの抜粋、全十篇。中国人読者を対象としたナマの文章で、易しくないと思う。毎回の予習が大変重要である。
文法項目の解説はついていない。授業では本文の読解と関連する文法学習を主とし、適当量の復習を宿題として課す。

担当者名				配当学科	単 位
みや 宮	もと 本	あつ 厚	こ 子	禅・仏教・国文・英米文 地理・歴史・経済・商 法律・政治・経営2年	2

講義のねらい

中国語の読解力を高めるのが主な目的である。しかし、語学の学習である以上、発音・声調も重要な一部分であると考えてるので、それにもある程度の時間をかけることになる。

講義の内容・
授業スケジュール

教科書は「対話」と「閲読」の二部構成になっている。毎時間「対話」と「閲読」の両方を一定量学習する。各課に入る前に、毎回の予習すべき量を決めるので、それに従い予習する必要がある。

成績評価の方法

テスト：前後期一回ずつ／課題：中文和訳を前後期一回ずつ。

教科書

『ことばの旅』 好文出版 1,600円

担当者名	配当学科	単 位
お 小 川 <small>お かわ たかし</small>	禅・仏教・国文・英米文 地理・歴史・経済・商 法律・政治・経営2年	2

講義のねらい

「下海」・「大款」・「一家両制」・「股票熱」等々、最近の中国の急速な変貌を象徴する新語・流行語を採りあげ、それを中国語で解説した教材。本文の他、背景の解説（日文）とキーワードの紹介（中文）等を附す。文章はいずれも新聞や雑誌と共通の標準的な文章語体。文法の基礎がためをしつつ、新聞読解に必要な用語や文型を学んでゆく。中国語の読解力と現代中国に対する理解力との有機的な結合を目指したい。

履修上の留意点

毎回の予習と復習が不可欠。

成績評価の方法

年間の3～4回、大小のテストを行う。

教 科 書

『中文新編（時事編）』（白帝社 ￥1,800）

そ の 他

水曜・3限

担当者名	配当学科	単 位
まつ もと あつ とし 松 本 丁 俊	禅・仏教・国文・英米文 地理・歴史・経済・商 法律・政治・経営2年	2

講義の内容・
授業スケジュール

約4百字でまとめた中国語長文を読解する。毎課に語法のポイントがあり、基礎で学んだ文法、文型の復習をするとともに、例句で応用出来るように学ぶ。16課まであって、4課ごとに練習があり、中国語の実力アップのステップとなるであろう。

教 科 書

『中国語 四百字物語』（駿河台出版社 ￥1,600）

中国語ⅡB

I A - I B の学習を基礎としつつ、簡単な内容の文を言ったり書いたりすることのできるような、初歩的な表現力の獲得を目指す。長文読解中心のⅡ A に対し、Ⅱ B の教材は短文の会話体を主とするもので、内容理解だけならばほど難しくはないであろう。ここで目標とされているのは新たな知識の拡張よりも、むしろ既修の知識を血肉化させ、それを「使える」ようにすることなのである。つまり「発信型」の語学力の土台を築こうというわけである。そのため毎回の授業に休まず出席するのはもちろんのこと、教室で行われる練習に積極的に参加し、なるべく多くの反復練習をこなすように努めてほしい。成績評価の原則は、上記 I A - I B に準ずる。

担当者名	配当学科	単位
まつもと あつとし 松 本 丁 俊	禅・仏教・国文 歴史・経済・商2年	2

講義の内容・
授業スケジュール

本講義は『漢語入門40課』、上下2巻のうちの下巻、すなわち後半の第21課から第40課までを収めたものである。日常状況と中国の実情などを主とした会話が内容になるが、各課に練習とノートがあって、初級文法を復習しながら学習できる。

教科書

『漢語入門 下巻』（好文出版 ￥1,650）

担当者名	配当学科	単位
つるしま しゅんいちろう 鶴 島 俊一郎	禅・仏教・国文 歴史・経済・商2年	2

講義の内容・
授業スケジュール

教科書『北京旅行』の本文は中国に商用をかねて旅行した日本人夫妻とその知人の中国人の会話という設定で作成されており、実用旅行会話というべきテキストであるが、一年の基礎的学習をすませているとすれば理解できる対話であるので、これによって中国を訪れた際の簡単な対応をどうすればよいのかという具体的な会話を学んでもらうこととする。発音の復習は随時おこなうが、できるだけ対話練習をするように授業をくみためるので、積極的に練習に参加してほしい。

教科書

『北京旅行』（白帝社 ￥1,800）

担当者名	配当学科	単位
かまや おさむ 釜 屋 修	禅・仏教・国文 歴史・経済・商2年	2

講義の内容・
授業スケジュール

Ⅱ A とは異なり、このクラスでは今までの学習を活かしつつ、より実用的な運用能力を学ぶ。テキストは全14課、本文はすべて簡潔な会話体、徹底的に読みこなし、会話の主人公になりきる。同時に中国語文の論理的解析にも力をいれる。後期には追加教材として独自プリントを用いる。

成績評価の方法

成績は努力と工夫と熱意と手をつないでやってくるものである。出席と授業中の集中を重視するが、その中でたのしいクラスづくりをめざす。辞書は初級程度のもので結構、それ以上のものは授業の中で紹介する。

教科書

『中国語のエッセンス』（同学社 1,700円）

担当者名	配当学科	単 位
いわさき 岩 崎	ひろし 皇	禪・仏教・国文 歴史・経済・商2年
		2

講義の内容・
授業スケジュール

せっかく覚えた中国語も、発音が不明瞭で通じないと言うことがよくある。発音は常に練習していなければ身に付かない。この授業では、きちんと分かる中国語を言えるようにすることが第一の目標となる。そのためには、もう一度、気持ちを新たに「ピンイン」に取り組まなければならない。平仮名や片仮名で発音を書き留めたりしないでもよいように、大きな声で堂々と発音できるように、しっかり練習してほしい。

教 科 書

『北京恋情』 山下輝彦著 同学生社 (¥1,700)
テキストは、一人の日本人青年の中国人女性へのプロポーズが題材となっており、若者らしい会話が楽しいが、聞き取ったり、真似して言うのは簡単ではない。テープ等活用して十分練習することが望まれる。

担当者名	配当学科	単 位
まとう 佐 藤	ふみこ 普美子	禪・仏教・国文 歴史・経済・商2年
		2

講義の内容・
授業スケジュール

音声としての中国語を体得できるように、授業時の口頭練習を重視する。全16課。各課は短く平易な会話体(一部、文章体)の本文と、文法の「ポイント」及び「ドリル」から成る。本文では1年次に学んだ基礎的文法事項を応用した様々な表現を学ぶ。さらに「ポイント」や「ドリル」を通して、基礎文法の応用的用法や中級レベルの文法・文型なども学んでゆきたい。本文は授業時に音読をくり返し暗誦できるようにすることを目標としたい。

成績評価の方法

4課ごとに小テストを行う予定。

教 科 書

『ドリル式中国語テキスト——日本と中国』(くろしお ¥1,860)

中国語 I

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語 I	伊 ^い 禮 ^{れい} 智 ^ち 香 ^か 子 ^こ	短国・短英1年	2

講義のねらい

基本文法をおさえた上で、発音に留意しつつ応用会話を数多く習得する。

講義の内容・ 授業スケジュール

教科書に沿って行う。

履修上の留意点

自宅での学習として、暗誦を課す。くり返し、教材テープを聞いて正確に復唱できるよう努めること。

成績評価の方法

前期・後期試験と小テスト、授業中の解答状況や出席状況などで総合的に判断する。

教科書

相原茂，戸沼市子『入門・北京カタログ』朝日出版 ¥2,300

ス ペ イ ン 語

科目名	担当者名	配当学科	単 位
スペイン語 I A (1), (6), (8)	<small>ナバロ ポロ</small> L.S.Navarro-Polo	全学科 1 年	2

講義のねらい

スペイン語の基本的知識・能力をもとに、スペイン語の書き言葉および話し言葉の両面にわたって理解し、表現する実力を養う。文法・語彙については網羅的ではなく、必要と思われるものを集中的に練習する。

講義の内容・
授業スケジュール

1. 母音の文字と発音・子音の文字と発音
2. 名詞の性・冠詞（不定冠詞・定冠詞）・名詞の数・形容詞の語尾変化
3. 動詞SER・主語人称代名詞・疑問文
4. 動詞ESTAR・SERとESTARの相違点・HAYとESTARの相違点・指示詞・否定文
5. 動詞TENER・所有詞・TANBIÉNとTAMPOCO・数詞・時間についての副詞句
6. 直説法現在の規則動詞（AR動詞・ER動詞・IR動詞）・不定語
7. 直説法現在の不規則動詞 I ・TENER QUEとHAY QUE
8. 直説法現在の不規則動詞 II ・IR A +不定詞・不定詞とともに用いられる動詞・天候や天気
の表現・SABER・CONOCER
9. 直接目的の人称代名詞・間接目的の人称代名詞
10. 直接目的と間接目的の人称代名詞についての規則・動詞GUSTAR
11. 前置詞の後ろに置かれる人称代名詞・比較の表現・最上級
12. 再帰動詞・再帰代名詞の位置・過去を表す時制

履修上の留意点

定期試験—— 7月と1月——

教科書

コピー

科目名	担当者名	配当学科	単 位
スペイン語 I A (2), (5)	<small>なか やま なお じ</small> 中山直次	全学科 1 年	2

講義のねらい

スペイン語を初めて学習とする人を対象にして、「読み・書き・話す」力を総合的に身につけることをねらいとする。

講義の内容・
授業スケジュール

毎回テープを聞いて会話表現の反復練習をしたあと、構文の説明や応用練習をする。前期はおもに直説法現在形を用いた表現を中心に演習し、後期は過去形や未来形、さらに接続法までの範囲を学習したいと考えている。

履修上の留意点

大学で初めて学習する「初等科目」なので、なるべく欠席しないようにして欲しい。また、毎回予習をして授業に出席すると、学習効果が倍増する。

成績評価の方法

授業中の演習や応答の状況を記録しておき、その合計を数値化して成績の評価とする。
(いわゆる学期末定期試験は行わない。)

教科書

中山著「トレーサー一家の人たちと」(芸林書房)

参考書等

辞書・参考書等については、最初の授業のとき紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ス ペ イ ン 語 I A (3)	なか がわ きよし 中 川 清	全 学 科 1 年	2

講義のねらい

文法説明及び講読を中心とした初級スペイン語の学習を目的とする。前期・後期各期末テスト及び、平常の成績（毎回必ず1回以上あてられる）を加味して成績評価を行う。

教 科 書

中川 清・児玉悦子「新スペイン語読本 初級編」 アーバン・トランスレーション 2,000円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ス ペ イ ン 語 I A (4)	ルイス ティノコ Concepcion Ruiz Tinoco	全 学 科 1 年	2

講義のねらい

日本語とスペイン語は文法は違っても、両言語とも五つの母音を持ち、発音の面ではかなり似ている。初めてスペイン語を学ぶ学生にとっても、最初から聞き取りやすく、発音しやすいことはである。

この授業ではスペイン語の基礎的な文法を学び、応用練習をすることによって読解力、作文力や基本的な会話能力を身につけることを目的とする。

教 科 書

教科書、辞書については、最初の時間に指示する予定。

科目名	担当者名	配当学科	単位
スペイン語 I A (7), (9)	さ とう ひる こ 佐 藤 紘 子	全学科 1 年	2

講義のねらい

知識としてスペイン語より実際に使えるスペイン語の習得をめざす。基本の文法事項を学びながら、身近な事柄から表現できるよう指導する。

講義の内容・授業スケジュール

初級テキスト（20課）を終わらせるのを一応目標とするが、生徒の希望や理解度に合わせるので、必ずしもスケジュール通りに進むとは限らない。

履修上の留意点

外国語の習得には、根気よく少しずつ知識を積み重ねて行くことが大切である。それには、当然の事ながら、授業にできる限り出席すること、必ず復習をしてから次の授業に出ること、毎日少しずつ単語を覚えて語彙を増やす努力をすることを勧める。

成績評価の方法

毎回授業の始めに、前回の学習事項についての簡単なテストを行う。この小テストと後期試験で最終成績評価を決定する。

教科書

石崎優子, フェリサ・レイ「スペイン語世界への窓」芸林書房 1,854円

参考書等

最初の授業で指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
スペイン語 I B (1), (4)	さ とう ま り の 佐 藤 麻 里 乃	全学科 1 年	2

講義のねらい

初歩の文法を習得し、辞書を使って易しい文章を読んだり、簡単な表現をしたり出来るようにする。

履修上の留意点

授業中は私語を慎む、飲食をしない、無断で席を外さないことなど基本的なマナーを守ること。宿題は必ずやること。遅刻・欠席をしないこと。

成績評価の方法

筆記試験（通常の授業時に実施）・平常点・出席状況等の総合評価による。

教科書

開講時に指示。

参考書等

辞書（スペイン語－日本語）を必ず持参すること。新しく買うときはなるべく次のいずれかにするように。

小学館『西和中辞典』

“ 『プログレッシブ スペイン語辞典』

白水社『現代スペイン語辞典』

研究社『新スペイン語辞典』

科目名	担当者名	配当学科	単位
スペイン語 I B (2)	なか がわ きよし 中 川 清	全学科 1 年	2

講義のねらい

文法説明及び講読を中心とした初級スペイン語の学習を目的とする。

成績評価の方法

前期・後期各期末テスト及び、平常の成績（毎回必ず1回以上あてられる）を加味して成績評価を行う。

教科書

中川清・児玉悦子「新スペイン語読本 初級編」アーバン・トランスレーション 2,000円

科目名	担当者名	配当学科	単位
スペイン語 I B (3), (5)	よね だ ひろ み 米 田 博 美	全学科 1 年	2

講義のねらい

限られた時間の中で、すべてを網羅することは不可能である。このため、最低限必要な文法の基本を学び、発音には特に注意を払う考えである。

履修上の留意点

スペイン語は「神と話す言葉である」と形容されるように、美しい言語であり、20数カ国で話される国連の公用語の一つである。“QUERER ES PODER”（ケレール・エス・ポデール）という格言があるが、成し遂げようという意志があれば、何事も実現可能であるという意味である。スペイン語を学習するにあたり、「マスターしてやるぞ」とい意欲でのぞんでもらいたい。NHKのラジオ・TV講座など、すぐれた教材もあり、意欲のある人には併せて勉強することを勧める。

教科書

「英語からスペイン語へ」（細川幸夫著、芸林書房）を使用し、1～7までの範囲を学習する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
スペイン語 I B (6), (8)	^{うりたに} 瓜谷 アウロラ	全学科 1 年	2

講義のねらい

このクラスではスペイン語の初級文法を学ぶとともにかんたんな会話の練習にも力を入れたいと思います。語学の修得には地道な努力が不可欠なので出席も重視します。

教 科 書

宮本博司『Lecturas para empezar 楽しいスペイン語文法読本』大学書林 ￥1,236

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
スペイン語 I B (7), (9)	^{ホワン J ナバロ} Juan J. Navarro	全学科 1 年	2

講義のねらい

この一年を通して卒業後も実用可能なスペイン語の基礎学力を修得する。

講義の内容・
授業スケジュール

前期及び後期の約半分の時間は動詞の現在形、後期の残りの時間は動詞の過去形について、教師が一課毎に簡単な説明を行なう。その後学生諸子の動詞の活用練習を中心に、質疑応答形式の練習問題を解答して頂く。

履修上の留意点

毎回一課進むので必ず予習して頂きたい。この場合の予習とは、説明が理解でき練習問題をスムーズに行なう為の下調べ（辞書で調べるetc.）を意味する。疑問点は授業説明時、又は練習問題施行時に必要があれば質問し、確実に理解できるようにする。つまり授業自体が復習になるように心掛けて頂きたい。

成績評価の方法

練習問題の応答を通し、予習復習ができているか否かで成績評価する。

教 科 書

“Español en laboratorio” ￥1,000 Juan J. Navarro著
この講義の初回授業時に、教室にて配布する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
スペイン語 I C (会話)	^{うりたに} 瓜谷 アウロラ	経 営 1 年	2

講義のねらい

スペイン語で少しでも話せたら……という希望にこたえてかんたんな会話ができるように練習していきたいと思います。理解をたすけるために文法の説明もそれぞれの段階で行ないます。楽しい雰囲気の授業になるように、みなさんの積極的な参加を期待しています。

教 科 書

安富雄平『フリーウェイスペイン語』ナツメ社 ¥1,500

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ス ペ イ ン 語 II A	に お しょう いち 丹 羽 昌 一	禅・仏教・国文・英米文 地理・歴史・経済・商 法律・政治・経営 2年	2

履修上の留意点

動詞の活用など、1年次にくらべて文法内容かさらに難しくなるので、履習者諸君のより積極的な努力を期待したい。

成績評価の方法

期末テストの結果と同様、平常の学習態度も重視する。

教 科 書

宮本博司『ようこそスペイン語の世界へ』 大学書林

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ス ペ イ ン 語 II A	ふく もと くみこ 福 本 久 美 子	禅・仏教・国文・英米文 地理・歴史・経済・商 法律・政治・経営 2年	2

講義のねらい

基礎文法の充実とスペイン語圏の文化に触れることを目的とする。前期は文法を、後期は講読を中心とした授業とする。

履修上の留意点

- 出席が全授業回数の2/3以下の者には評価を与えない。始業時より30分以上の遅刻は入室を認めない。但し出席も遅刻も正当な理由がある時は考慮する。
- 授業を妨げるような振る舞い（私語・無断退出等）は慎むこと。場合によっては評価の対象から外す。

成績評価の方法

前・後期テストと授業中の平常点（宿題・小テスト）の合計に拠る。

教 科 書

教室にて指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
スペイン語ⅡA	おきの まさじ 荻野 雅司	禅・仏教・国文・英米文 地理・歴史・経済・商 法律・政治・経営 2年	2

講義のねらい

前年に学習した基礎的スペイン語Ⅰの概略を完結させることを基本的眼目とするが、授業では単に言葉の学習に限ることなく、スペインと中南米諸国の文化、歴史、そこに住む人々の物の考え方などについても一般常識程度の知識を習得する。そのために、テープ、ビデオ等を教科書と併用して授業を進めていく。

履修上の留意点

同じヨーロッパ系言語としてスペイン語と英語には共通する部分が多い。この授業は英語の語法との対比を行うことで、理解を早めることを大きな特徴としている。従って、英語に自信或いは興味を持っている学生の受講を特に希望する。

成績評価の方法

年2回の major なテストと小テストを1～2回実施する、成績評価に当たっては、出席状況と受講態度（含、日頃の受け答え）をも等しく重視する。

教科書

細川幸夫著「英語からスペイン語へ」芸林書房

科目名	担当者名	配当学科	単位
スペイン語ⅡB	みやち たつろう 宮地 達郎	禅・仏教・国文 歴史・経済・商 2年	2

講義のねらい

1995年までは、通年で直接現在形、性数一致を終了し、上級に進級した学生が過去、未来、接属法を学ぶことになっていた。従ってその方針で2年生に臨む。

講義の内容・授業スケジュール

文法中心の上記(1)にて述べた上級進学の生徒コースの授業を行う。

履修上の留意点

真にスペイン語に興味ある学生のみ参加を希望する。単位取得のみの目的の学生の受講は希望しない。

成績評価の方法

60点未満→進級できない。
61～69→良
70～79→良い
80以上→優

教科書

本年からは1年でひととおりの文法を終了させる必要があるため、簡単でまとまりのある大学書林の宮本博著「ようこそスペイン語の世界へ」 ¥1,648 を使用する。

参考書

細川幸夫著「英語からスペイン語へ」芸林書房 ¥2,400
佐藤玖美子「NHK楽しいスペイン語」芸林書房 ¥2,400

その他

講義を主とし、中南米諸国概要も補足説明し、スペインのスペイン語との相異にもふれてみたい。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ス ペ イ ン 語 Ⅱ B	うえ の かつ ひろ 上 野 勝 広	禅・仏教・国文 歴史・経済・商 2年	2

講義のねらい

ラテンアメリカ文化に関する平易な文章の講読を中心に、基礎レベルのスペイン語の理解力と表現力の向上を図る。

履修上の留意点

テキストの講読部分の予習は必須である。

成績評価の方法

出席を含む平常点および年間4回の試験の結果により総合的に評価する。

教 科 書

山崎真次『ラテンアメリカ散歩』（芸林書房）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ス ペ イ ン 語 Ⅰ	ま とう ひろ こ 佐 藤 紘 子	短国・短英 1年	2

講義のねらい

知識としてのスペイン語より実際に使えるスペイン語の習得をめざす。基本の文法事項を学びながら、身近な事柄から表現できるように指導する。

講義の内容・
授業スケジュール

初級用テキスト（20課）を終わらせるのを一応目標とするが、生徒の希望や理解度に合わせるので、必ずしもスケジュール通りに進むとは限らない。

履修上の留意点

外国語の習得には、根気よく少しずつ知識を積み重ねて行くことが大切である。それには、当然の事ながら、授業にできる限り出席すること、必ず復習をしてから次の授業に出ること、毎日少しずつ単語を覚えて語彙を増やす努力をすることを勧める。

成績評価の方法

毎回授業の始めに、前回の学習事項についての簡単なテストを行う。この小テストと後期試験で最終成績評価を決定する。

教 科 書

石崎優子、フェリサ・レイ「スペイン語世界への窓」 芸林書房 1,854円

参 考 書 等

最初の授業で指示する。

ロシア語

ロシア語 I A・ロシア語 I B

よく一國を理解するにはその国の言葉を学べば、一番よくわかると人々の口に伝えられているように、現代ロシアの秘められた部分を理解するには、ロシア語を学ぶことが一番手っとり早い方法です。一口にロシア語と言ってもそれはモスクワを中心とした東スラヴ語をさします。ロシア語と兄弟の関係のように近い、よく似た言葉には、ポーランド語、ブルガリア語、ウクライナ語、チェコ語、スロヴァキア語、セルビア語、マケドニア語等、多くの言葉があります。これらの中東欧語を理解するうえでも、ロシア語は、もっとも基本的な言葉となります。またこれらのスラヴ諸国を理解するうえでもロシア語が最も中心的な位置を占めていると言っても過言ではありません。しかもロシア語人口はヨーロッパの全人口に匹敵し得る程の数にのぼっているのです。これからの国際的時代にはどうしても見すごすことのできない言葉と言えます。21世紀に向かって、単にロシア語を学ぶことのみならず、その背後にある文化と広大な精神風土についても学ぶことは多に価値があることです。駒澤でのロシア語はこの国際化時代に向けて、実際に使えるロシア語の学習をめざします。ロシア語もどんどん変化しつつある昨今ですが、そのような流れにも常に敏感でありたいと願っています。駒澤での必修クラスのロシア語は1週間に2度しかありませんが、与えられた時間を最大限に有効に使うべく、次のような目標と年間スケジュールで授業はすすめられます。

科目名	担当者名	配当学科	単位
ロシア語 I A (1), (3)	クロチコフ, ユーリー	全学科 1 年	2
ロシア語 I A (2)	さ の あさ こ 佐 野 朝 子		
ロシア語 I A (4)	すぎ やま ひで こ 杉 山 秀 子		

講義のねらい

- 1) 母音、子音の基本的発音、アクセント記号（力点）の法則、イントネーションの5つ型をみっちりやります。
- 2) かんたんな挨拶の表現、日常つかわれるロシア語の独特な表現（ボデー・ラングラエジを含む）を身につけます。
- 3) 平易な内容をききとりによって理解できるようにします。
- 4) 基礎的な初等方法を学びます。
- 5) アルファベットを活字体、筆記体で書けるようにします。
はじめに絵やビデオをみながら、ロシア語のやさしい単語や短文を何回も繰り返し練習します。教員が質問した事を何回もくりかえしてもらい、うけ答えをします。少し音に馴れてきたらテープを使い更に理解度を深め、語尾変化に抵抗感のなくなるように何回もゆっくり、くりかえしながら発話してもらうようにします。授業では各人が何回も発話をさせられますが、全く恐れる必要はありません。全教員が優しく指導してくれますので恥しがらないことが大切。

講義の内容・授業スケジュール

4, 5, 6月でかんたんな単語や文章を復習しながら発音やイントネーションの型を学びます。やさしい語尾変化に馴れるようにし、7月頃から平易な文章を声を出して読めるようにします。9月には6, 7月頃に学んだ初歩の文法をまとめをします。10月頃からより複雑な文章を声を出して読み、内容を把握するように努めます。毎回授業の始めには楽しいクイズをしてできるだけロシア語に馴れてもらうようにします。

成績評価の方法

何よりも授業の出席を重視。
平常の受け答えの得点、ミニテストなどを総合的にプラスして評価点を出します。

教科書

ロシア語へのパスポート 中島由美他著 白水社 2,200円
やさしいロシア語読本 杉山秀子他著 大学書林 価格未定

参考書等

露和辞典

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ロシア語 I B (1), (2)	ひろ 廣 た 田 ひで 英 やす 靖	全学科 1 年	2
ロシア語 I B (3), (4)	き 木 むら 村 ひで 英 あき 明		

講義のねらい

- 1) 母音、子音の基本的発音、アクセント記号（力点）の法則、イントネーションの5つ型をみっちりやります。
- 2) かんたんな挨拶の表現、日常つかわれるロシア語の独特な表現（ボデー・ラングラエジを含む）を身につけます。
- 3) 平易な内容をききとりによって理解できるようにします。
- 4) 基礎的な初等方法を学びます。
- 5) アルファベットを活字体、筆記体で書けるようにします。
はじめに絵やビデオをみながら、ロシア語のやさしい単語や短文を何回も繰り返しかえし練習します。教員が質問した事を何回もくりかえしてもらい、うけ答えをします。少し音に馴れてきたらテープを使い更に理解度を深め、語尾変化に抵抗感のなくなるように何回もゆっくり、くりかえしながら発話してもらおうようにします。授業では各人が何回も発話をさせられますが、全く恐れる必要はありません。全教員が優しく指導してくれますので恥しがらないことが大切です。

講義の内容・授業スケジュール

4, 5, 6月でかんたんな単語や文章を復習しながら発音やイントネーションの型を学びます。やさしい語尾変化に馴れるようにし、7月頃から平易な文章を声を出して読めるようにします。9月には6, 7月頃に学んだ初歩の文法をまとめをします。10月頃からより複雑な文章を声を出して読み、内容を把握するように努めます。毎回授業の始めには楽しいクイズをしてできるだけロシア語に馴れもらおうようにします。

成績評価の方法

何よりも授業の出席を重視。
平常の受け答えの得点、ミニテストなどを総合的にプラスして評価点を出します。

教科書

ロシア語へのパスポート 中島由美他著 白水社 2,200円
やさしいロシア語読本 杉山秀子他著 大学書林 価格未定

参考書等

露和辞典

科目名	担当者名	配当学科	単 位
ロシア語 I C (会 話)	佐 野 朝 子 <small>さ の あさ こ</small>	経営 1 年	2

講義のねらい

このクラスはロシア語をはじめて学ぶ学生を対象とします。文法を学び、辞書を使ってテキストを読んでいくクラスよりロシア語をより身近に感じるよう、500ぐらいの単語だけを使って、発音、イントネーション、会話を学び、同時にやさしいテキストを読んできます。
会話クラスにありがちな簡単な日常会話以外のことはいっさいわからない、という結果にならぬよう努力するつもりです。

履修上の留意点

予習はまずいらないと思いますが、ロシア語の発音、イントネーションを少しでも多く耳にするよう、できるだけ授業には出席して下さい。

成績評価の方法

平常点を重視します。

教 科 書

絵や図がたくさん入っているロシアで出版された教科書を使って授業をすすめますが、手に入りにくい教科書ですので、コピーを用意します。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
ロシア語 II A	岡 沢 宏 木 村 英 明 <small>おか ざわ ひろし き むら ひで あき</small>	禅・仏教・国文・英米文 地理・歴史・経済・商 法律・政治・経営 2 年	2

講義のねらい

- アクセント記号のついた文章をすらすらと読めるようにします。
- 日常つかわれる会話のより複雑なヴァリエーションを学びます。
- やさしい文章を速読で大意がつかめる練習をします。
- かんたんな手紙文を正しい表記をつかって書く練習をします。
- 中等文法のエッセンスを勉強をします。

講義の内容・
授業スケジュール

岡澤 宏：1年次の文法事項練習と、声を出してロシア語がスラスラ読めるように練習します。
木村英明：ロシア語のかんたんな会話と、速読による文意の把握をめざします。

履修上の留意点

岡澤 宏：年2回のテスト
出席を重視します。
木村英明：出席を重視します
年数回のテストをします。

教 科 書

岡澤：和久利誓一『初等ロシア語読本』白水社 1,400円
木村：プリント配布

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ロシア語ⅡA	すぎやま ひでこ 杉 山 秀 子	禅・仏教・国文・英米文 地理・歴史・経済・商 法律・政治・経営 2年	2
ロシア語ⅡB	すぎやま ひでこ 杉 山 秀 子	禅・仏教・国文 歴史・経済・商 2年	2

講義のねらい

- アクセント記号のついた文章をすらすらと読めるようにします。
 - 日常つかわれる会話のより複雑なヴァリエーションを学びます。
 - やさしい文章を速読で大意がつかめる練習をします。
 - かんたんな手紙文を正しい表記をつかって書く練習をします。
 - 中等文法のエッセンスを勉強をします。
- 前期は、1年生で学んだロシア語らしい表現法のおさらいをし、後期は、ロシア語のより複雑な会話表現と聴きとりに重点をおきます。

講義の内容・
授業スケジュール

毎回全員の人に発話してもらうようにします。

履修上の留意点

出席とミニテスト、平常点の合計で評価を出します。

教 科 書

1年次の教科書を持参して下さい。
教室ではプリントを配布。

参 考 書 等

露和辞典

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ロシア語ⅡB	おかざわ ひろし さの あさこ 佐 野 朝 子	禅・仏教・国文 歴史・経済・商 2年	2

講義のねらい

- アクセント記号のついた文章をすらすらと読めるようにします。
- 日常つかわれる会話のより複雑なヴァリエーションを学びます。
- やさしい文章を速読で大意がつかめる練習をします。
- かんたんな手紙文を正しい表記をつかって書く練習をします。
- 中等文法のエッセンスを勉強をします。

講義の内容・
授業スケジュール

岡沢 宏：正しい文法理解によってロシア語の文意を正確に把握してもらうようにする。
佐野朝子：文法知識の練習と応用により、更にロシア語力を深めます。

成績評価の方法

岡沢 宏：毎回あらかじめ順番をきめて実際に訳してもらいその理解度を評価することと年1回のテスト
佐野朝子：出席、テストで評価をきめます。

教 科 書

岡沢：和久利誓一『初等ロシア語読本』白水社 1,400円
佐野：1年のときに渡した文法表とプリント配布

再履修クラス

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 I A 〔再 ク ラ ス 〕	お ぶ せ け さ ぞう 小 布 施 圭 佐 三	全 学 科 2 年	2

講義の内容・
授業スケジュール

この授業では、英語的な論理に基づいたパラグラフの概念、構成、書き方を中心に学ぶことになるであろう。従って、日本語の単文を英語に訳すという「和文英訳」ではなく、センテンス以上の単位でまとまりのある内容を英語で表現する力を身につけることが目標である。パラグラフを構成する文同士がどのように接続されているか、種々のパラグラフの特徴やどのような語いがよく使用されるか、各々の種類のパラグラフでアイデアがどのように発展されているかを、数多くの例に接しながら体験的に学習していく。

成績評価の方法

①出席点 ②平常点 ③レポート ④定期試験（年2回）などを加味して評価する。

教 科 書

「Basic English Paragraphs : Improving Reading and Writing Skills」
S.Kathleen Kitao and Kenji Kitao, Eichosha

そ の 他

視聴覚機材を使用するので、授業途中の入室は受講者の妨げになるのでお断りしたい。
毎時間、英語の辞書を持参すること。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 I A 〔再 ク ラ ス 〕	や じ ま な お こ 矢 島 直 子	全 学 科 2 年	2

講義の内容・
授業スケジュール

教科書に出てくる種々の表現から日常会話を学ぶ。予習を必要とする演習形式を取る。年間を通じて2冊の教科書を使う。1冊では簡単な言い回しを学ぶ練習問題を解く。もう1冊では、日常会話の例文と1頁弱の文章から様々な表現を読んで覚え、さらに会話表現を書いて覚える。目標は、基本的な表現から複雑な表現まで、言い表わしたり、書き表わしたりできるようになることである。

成績評価の方法

授業中にあてる回数が多いので、平常点が10%、前期中間テストと後期中間テストが30%、前期末試験と後期末試験が60%である。外国語の勉強には平常授業が大事なので、原則として、平常授業（前・後期の定期試験日、中間試験日は除く）の欠席率が3分の1を超えた場合は不合格とする。

教 科 書

- 1) 小池直己 「トーフル／トイック21アプローチ」 北星堂書店, 980円
- 2) 堀内克明・他 「発信する英語表現」 三修社, 1,700円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 I A 〔再 ク ラ ス〕	岸 本 茂 和 <small>きし もと しげ かず</small>	全学科 2 年	2

講義のねらい

再履修というクラスの性格からテキストはやさしい英語で書かれたものを選んだ。しかし易しい英語ではあるが、内容はかならずしも易しいというわけではない。基礎文法のいっそうの理解、基本的語彙および慣用語句の理解と習得など、英語学習のすべての分野における〈基本〉と〈基礎〉を念頭から離さずに授業を進めてゆきたい。

成績評価の方法

試験は中間試験と定期試験の年 2 回。60 点以上をパスサブルとする。年間授業時間の 3 分の 1 以上を欠席した場合は不合格とする。

教 科 書

マーク・フェリス 『異文化・理解と誤解』（三修社 定価1,600円）

参 考 書

授業にはかならず英和辞典を携行すること。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 I A 〔再 ク ラ ス〕	藤 島 喬 樹 <small>ふじ しま たか き</small>	全学科 2 年	2

講義のねらい

大学入学迄の学びにその後の英語力を基盤とし、主として英語運用能力の向上を目指す。

講義の内容・
授業スケジュール

学校英語教育界も全般的に従来の Reading や Writing 重視志向から Listening 及び Speaking 重視志向の昨今、それだけに運用力のある英語がますます求められている。また中学、高校では専ら standard English の習得が依然として中心になっている。勿論まずはそれが基本ではあるが、Native との実際の日常会話でのやりとりとなるとどうしてもそれだけでは不十分であり、むしろ更に一步進んだ informal English の習得も極めて大切である。そこで、この授業クラスではそうした informal English の習得により、コミュニケーション力の向上を狙いとする。

履修上の留意点

受講生諸君は必ず前以って一つの課本文の予習をし（少なくとも本文の文意位は把握しておくこと）、受講されたし。又、受講の際、各自英和辞典を必ず持参のこと。

成績評価の方法

- I 平常点
具体的には以下の如く
- ① 年間を通じ全授業回数の最低 2 / 3 以上の出席。つまり、平常授業の欠席率が 1 / 3 を越えれば、その時点でもう不合格。
 - ② 授業時の発表、質疑応答等
 - ③ MINI TEST（各授業前半の時間を使って施行。従って遅刻のゴマかしは絶対にきかず、もし不受験ならその分は 0 点。）
- II 前期定期試験・学年末試験（7 月と年度末にそれぞれ施行）
以上を総合的に算出して学年単位で評価する。尚、お断わりしておくが、特に卒業年次生は就職活動で止むを得ず授業を抜けざるを得ない場合が出てくるとは思うが、その際も、必ずその都度その旨を所定の書式に従い書面に記し、届け出ること。又卒業年次生に限らず授業無断欠席は（特に割り当て箇所発表当日など）授業進行上非常に支障をきたすので、呉々も慎むように。

教 科 書

金星堂 '95 年 1 月 21 日発行 ウィリアム・デア／武末義信共著 「フォーマル英語からロウキナル英語へ」 定価1,650円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 I A 〔再 ク ラ ス 〕	すぎむら はつえ 杉 村 初 枝	全 学 科 2 年	2

講義の内容・
授業スケジュール

日常会話に必要な語や表現を学ぶ。ややプラクティカルではあるが、旅に関する様々な場面をビデオで観て、Key sentenceや関連表現を練習する。旅行に関する表現を中心に、日常会話で使われる語や表現を身につけ、実際に使えることをめざす。

成績評価の方法

授業中における発表、小テスト（年10回程）、前・後期の定期試験に基づく。

教 科 書

First Step Abroad 旅——言葉と習慣（金星堂） ¥2,000

そ の 他

授業では、毎回ビデオ使用。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 I A 〔再 ク ラ ス 〕	はなわ みちこ 埴 三 智 子	全 学 科 2 年	2

講義のねらい

全学科の再クラスなので授業内容は分かりやすく基礎的なものを中心に行きたい。食べ過ぎて消化不良を起こすよりも、食べたものを十分消化して血肉にすることの方が大切という考えで進めていきたい。再クラスの学生は特に英語が嫌いという傾向が多いのではないかと思う。彼等のその原因の一つに難しいという事があるのではないだろうか。そのためにも精選された少量のものでくり返し学べる状態で楽しくなるものに行きたいと思う。毎回声を出して練習し、リズム、アクセントなど正しく読めるようにしたい。毎回出席は取り、繰り返しの大切さを知る。学生は毎回ノートに取り、忘れたらノートを見て練習する習慣をつけさせたい。書く練習も行いたい。

成績評価の方法

英語は積み重ねの学問なので出席率は重視する。普段の積極的な態度、前、後期の定期試験の結果等を合せて点数にする。

教 科 書

『ウィットを楽しむ総合英語』成美堂 ¥1,600
テープ、ビデオ教材なども取り入れたいと思う。

参 考 書 等

その都度説明していきたい。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 I B 〔再クラス〕	い せ むら さだ お 雄 伊勢村 定 雄	全学科 2 年	2

講義のねらい

リーディングの基本をマスターするために次の点を留意しながら授業を進める。

- ①辞書は家で引いてくる。
- ②きちんと出席する。
- ③音声も英語の一部であることを認識する。
- ④その上で正しい日本語に置きかえる。

講義の内容・
授業スケジュール

毎回4～6ページの範囲で進む。考查（ペーパーテスト）は年2回実施予定。

履修上の留意点

出席重視なので心して毎週出ること！

成績評価の方法

①出席状況・態度。②考查。

教 科 書

D.Trokeloshivili, T.Chiba, 『Everyday Economics [よくわかる経済英語]』他, 南雲堂

参 考 書 等

中型英和辞典（持参用）。他 『大英和辞典』（研究社）

そ の 他

毎回全員にあてるつもりであるので、全員が全て（4～6ページ）を予習してくるのを前提として進める。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 I B 〔再クラス〕	〔前期〕 なか お 尾 しげん こう 〔後期〕 はやし あき 明 と 人	全学科 2 年	2

講義のねらい

「タイム」「エコノミスト」「USニュース&ワールドレポート」に掲載された記事を読みます。授業は、予習を前提とした発表による演習形式によって進めます。英文の日本語への逐語訳をできるだけ避け、段落ごとの要旨、全文の主旨の把握に向けて、英文を語順に添って理解できるようにすることを目指します。なお、発音にも留意します。

成績評価の方法

基本的に授業出席と授業内での発表を重視します。

1) 発表, 2) 小テスト・レポート等, 3) 前期試験
以上の3点をもとに総合評価し、前期の成績をつけます。（前期担当・中尾）

教 科 書

「ジャーナリズム英語入門」 マクミラン・ランゲージハウス ￥1,700

そ の 他

履修者は、言語の持つ「意味」と同時に「音」の点についても十分な注意を払って下さい。授業内でのテープによるモデル・リーディングによってさらに音のチェックをして下さい。
なお、原則として、全授業回数の2/3以上の出席者を、成績判定を受ける有資格者とします。（前期担当・中尾）

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I B 〔再クラス〕	ほそ 細 の ひで 野 秀 子	全学科 2 年	2

講義の内容・
授業スケジュール

これまで学んできた英語を、文学作品を通じて、さらに正確に深く読み込んでいく訓練を行う。これと並行して、語彙面での充実もはかっていく。予習は必ず行い、課題も欠かさずこなすこと。前・後期とも、様々な小説上の技法を学びながら、豊かな英文学の世界を広げていきたい。

成績評価の方法

授業では、年10回以上の発表を基本とし、前・後期数回と、夏期に課題を課す。試験は各学期末に行う。出席重視。但し、年間3分の1以上欠席した者の単位は認めない。評価は試験の点数50%、課題25%、発表25%とする。

その他

日常、英語に接する機会を増やすよう希望する。

教科書

開校時に指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I B 〔再クラス〕	た なか 田 中 たもつ 保	全学科 2 年	2

講義の内容・
授業スケジュール

現代アメリカの生活を取り巻くバラエティに富んだトピックスを扱った速読用テキストを使用して、スピード・リーディングの基礎を身につける。また、リスニング用のサブ・テキストを使用して、リスニングの力を高めていくようにする。

成績評価の方法

以下の項目を検討して、総合的に評価する。

1. 定期試験
2. 小テスト
3. 授業時の発表
4. レポート
5. 出席状況

教科書

- 1) 『アメリカ裏話』（松柏社） ¥1,300
- 2) 『10分間ベーシック・リスニング』（桐原書店） ¥950

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 I B 〔 再 ク ラ ス 〕	ほん ま こう いち 本 間 孝 一	全 学 科 2 年	2

講義の内容・
授業スケジュール

入学時の英語を基礎として、より高度な講文の理解と speed reading の基礎を身につける事を目的とするが、語学の進歩は日に drilling にあるから、毎回の出席を重視し、又演習形式をとり成る可く多数の学生に当てて、テキストの語法の問題点を質疑応答し、組全体としての実力向上に資する様にしたい。訳読と相俟って、文法・並びに和文英訳との関連の下に、テキスト内容を base にした英語の speech, discussion 等をして、英語の総合的力をつける可く授業を進めたい。なお、再履修のクラス故、組の雰囲気を出来るだけ明るくする様心がけ、クラスとしての一体感をはかり、以って少しでも自信を持たせるべく、ユーモア豊かな授業を行って行きたい。

成績評価の方法

出席状況、レポート、普段行う小試験並びに前・後期の定期試験を以って之を行う。なお平常授業中の発表も大いに重視し、出席に関しては欠席率が3分の1を超えた場合は不合格とする。

教 科 書

未定。

そ の 他

履修者はテープ、ビデオ、映画等を利用して普段から口語の英語に慣れる様にして頂きたい。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 I B 〔 再 ク ラ ス 〕	み わ ひさ え 三 輪 久 恵	全 学 科 2 年	2

講義のねらい

今まで身につけた基礎力を更に向上させることを目的として、エッセイを中心にさまざまな英文を読む。精読に加えて、的確に大意を取ることをも重視する。

成績評価の方法

普段の努力を重視し、平常点および授業中の小テスト等で評価する。定期試験は行なわない予定。

教 科 書

教場にて指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 I B 〔再 ク ラ ス 〕	あん さい よしみ 安 斉 芳	全 学 科 2 年	2

講義の内容・
授業スケジュール

この授業では、科学をテーマにした事柄を取り扱う。例えば健康、医療、アメリカの企業、異常気象などに関して考える。各章には三つの演習問題があり、Brainstorming ではタイトルについて考える作業を行い、Focusing では長文を読みながら、段落ごとに記されている内容と全体の要旨をまとめる作業をする。次の Tasks では、本文の内容が理解されているかどうかを確認する問題、本文の内容に合致するように文章を完成させる問題、文章の書き換え問題、与えられた語句を用いて英語の表現能力を問う作業を行っていく。テープも使用し、聞き取り能力をも養っていきたい。

成績評価の方法

授業中における平常点、中間試験、期末試験等を総合して評価する。学生諸君が留意すべき点は授業に出席するにあたって、必ず下調べをすること。また、遅刻や不正行為は、一切認めないものとする。年間授業回数の三分の一以上欠席した場合には不合格となるので注意すること。

教 科 書

- 1) Aian Wainwright著 “Scientific View” 三修社 ¥1,200
- 2) 英和中辞典（大学生用のものであれば出版社は特に指定しない。）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 II A 〔再 ク ラ ス 〕	かわ また よう たろう 川 股 陽 太 郎	全 学 科 3 年	2

講義の内容・
授業スケジュール

一年時に取得した英語力をもとに、もう一段上のリスニング、コンプリヘンション、スピーキング、ライティングの能力を高める訓練をおこなう。と同時に、文化的背景を説明し、教養を身につけるようにする。言いかえると、

英語を耳でとらえ、その内容を理解し、耳でとらえたものを口から出す訓練をする。また、テキストに出てくる慣用句を参考にして、英語を書く練習をする。聞き取る能力がなければ、相手の言っていることを理解することは出来ない。従って最初からコミュニケーションは成立しないことになる。聞きとる力と話す力（リスニング・コンプリヘンション・スピーキング）は不可分の関係にある。二つの能力、すなわち、英文の内容を読み取る力、英語を聞き取り話す力、英語で文書を書く力、この三つは別々のものであり、個々に訓練し、能力を身につけるようにしたい。授業ではテープを極力用いる。発音、イントネーション、アクセントはもちろんのこと、大きな声で、内容にそくして、なめらかに読む練習も大切にしたい。

成績評価の方法

授業中における演習、発表、小テストによる。5段階評価で言えば、発表時の声小さい場合、発表がない場合、最終評価で5は有り得ない。授業中の演習・発表の合計（100点）、授業中の小テスト・レポートの合計（100点）とし、両者を等価に評価する。従って、出席と評価は自動的に連動することになる。欠席率が三分の一を越えた場合は不合格となる。

教 科 書

「ミステリーひと口話」（マクミラン・ランゲージハウス）
補助教材としてプリント使用、これは適宜配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語ⅡA 〔再クラス〕	佐竹龍照 さ たけ りゅう しょう	全学科3年	2

講義の内容・
授業スケジュール

「やれば出来る英作文」からクリエイティブ・ライティングへと授業を進めたい。前期は基礎的な口語表現の用法、例えば「名詞構文の生かし方」、「動詞の選び方」、「日本語と英語の比較構文」などを学びながら、後期はより複雑な表現法に進み、さらに自由英作文を試みたい。授業はつねに演習形式で進めるため、予習、復習は必ず行なうこと。

成績評価の方法

評価は授業中の各人の発表と小テスト、レポート、定期試験など総合して評価する。ただし平常授業の欠席率が3分の1を超えた場合は不合格とする。

教科書

『活きた英語の表現演習』 編著 長谷川潔 出版社 成美堂 (¥1,200)

参考書等

授業時に指示する。

その他

辞典は必ず持参すること。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語ⅡA 〔再クラス〕	〔前期〕 町田尚子 〔後期〕 林明人 まち た なお こ はやし めい ひと	全学科3年	2

講義の内容・
授業スケジュール

前期は、カセットテープ教材で毎回リスニングの訓練をします。またビデオ教材を使って、聞き取りと口頭練習もする予定です。
後期は教場で説明します。

成績評価の方法

毎回のリスニングテスト、聞き取りと口頭練習の平常点評価、前期末試験の成績を総合して前期は評価し、後期は教場で説明します。

教科書

J.V.Le Pavoux 『キャンパス・リスニング』 成美堂 ¥800, プリント教材

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 II A 〔再 ク ラ ス 〕	お が さ わ ら リ ョウ げん 小 笠 原 隆 元	全 学 科 3 年	2

講義のねらい

II Aの英語クラスは、「英語による意志伝達」の実力向上をめざすものである。このクラスは再履修クラスで受講生も全学部にわたるようなので、少なくともこれまで6～8年近くにわたる英語学習とその蓄積された潜在的実力が少しでも生かされることを念じたい。

成績評価の方法

諸君の関心事である単位認定・成績評価については、まず学生諸君は実績を示すことが必要であるが、授業出席、レポート、テープ提出等、あるいは試験と言った実力発揮の機会を何となく利用しなかった者が多いと思うので心してもらいたい。(例えば、次週のクラスでの演習に事前指名したのに、無断欠席するようでは困る。1頁程度の事前予習と発表の実績を示せば単位認定は心配することは無いものと心得よ。)

教 科 書

テキストは、「文化の潮流」1,400円(三修社)を選定した。一回で2～3頁の予定で進めたい。受講生は少なくとも一度は演習発表が出来るように覚悟していただきたい。

そ の 他

授業にはテキスト・辞書等、あるいはテープを必ず持参することを強調したい。空手の出席は大学生としてはあるまじき事と知るべし。

Ⓢ 第一回目授業には必ず出席して諸資料提出物を受取ること。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 II A 〔再 ク ラ ス 〕	お お か わ ひろし 大 川 浩	全 学 科 3 年	2

講義の内容・
授業スケジュール

一年次で培った語学力を土台として、さらなる英語の運用能力を高めるため、英語の口語表現の習得に努める。英語の連語表現を学習し、運用できる段階にまで、集中的に繰り返して訓練をして、英語学習の効果が高められることを目途とする。

成績評価の方法

前期・後期の試験結果を中心として、授業中に求められるレポートの提出、さらに夏季休暇中に出题される課題及び、随時、施行される小テストの成績を含めた平常点を加味して評価基準とする。

辞書を活用して事前に下調べを丹念に行なうこと。レポートは必ず提出する。提出なき時は減点対象になる。欠席・遅刻の回数の減少に十二分に心掛ける。授業回数の1/3以上の欠席は不合格と認定し、履修名簿から氏名を抹消されることのないように、充分、留意すること。年間を通じて座席を固定する。

教 科 書

『日常英語・作文演習』 Say it in Style 金星堂 ¥1,100

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 II A 〔再 ク ラ ス 〕	こ 古 富 たくし 猛	全 学 科 3 年	2

講義の内容・
授業スケジュール

現代社会は20世紀末を迎え、政治的、経済的に多様化を深めていく中で混沌としてきたことは我々みんなが肌身で感じていることではなかろうか。その中で日本人としてどの様に考え、行動しなければならないかを真剣に論じなければならなくなっている。複雑な時代的背景とともに過去の歴史に立ち返りながら我々が意識改革をしなければならない時が訪れたことを誰も否定はしないだろう。

ひとつにはイデオロギーの対立性が緩和された中で、民族的な対立が激化し、それぞれの国、それぞれの民族がその独自性を主張する中で、他方E UやA P E Cにみられる様に地域的、歴史的背景の中で、大きく統合しようとしている現実を学生として無関心でいるわれにはゆかないだろう。まさに生き残りをかけたゲームが始まっているのだ。

その状況の中でやはりこれからは考え、意見を主張する語学力が必要とされていることを認識し、対処することを再考して欲しい。その方法論等を含めて、授業を進めてゆく方針です。

成績評価の方法

口語表現に応用できるテキストを使用することによって、パターン・プラクティスを心がけてもらいます。そのために授業中に発表してもらうことを原則とします。平常点として加算し、前・後期の筆記試験を基本として成績評価。欠席率は3分の1を超えない事。ペーパー・テストに片寄らない様に配慮します。

教 科 書

『アメリカの青春像』 マクミラン・ランゲージ・ハウス社 ¥1,200

そ の 他

テープ、映画等により聞く力を身につけることを切望します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 II A 〔再 ク ラ ス 〕	いわ 原 やす お 夫	全 学 科 3 年	2

講義の内容・
授業スケジュール

インターネットが地球を駆け巡り、通信衛星が日常生活にまで及び、外国旅行も自国以外人々との接触も一般化してきた。人々は世界語とも言える英語をコミュニケーションの手段としてますます運用する力が求められている。そのために、このクラスでは英語の特性を基本的な動詞の表現法に認め、そのパターンを習得することを狙いにする。限られた範囲の動詞ではあるが、それが導く文型に従って英文を作る練習をする。それから、その英文に相当する別の表現法を別の形で求める。特に、同じ意味の文に関して、日本人にはなじみの少ない無生物や抽象名詞を主語にした英文表現を練習する一方、人を主語にした英文表現を練習する。そのことによって、意思伝達の英語表現の多様性を学び、英語独特の表現法に触れる。それはまた英語と日本語の相違を理解することでもある。このような学習から、英語の苦手な学生諸君でも話したり書いたりする面での英語の運用力が少しは高まると考える。このクラスは再履修でもあるので、できるだけ基礎力を鍛え直すことも配慮したい。

成績評価の方法

前期後期の試験60パーセント、平常点40パーセントを基準として、成績評価をする。平常点はクラスにおける participationとassignment によって判断する。

教 科 書

『基本動詞活用英作文』 金星堂

そ の 他

学生諸君の予習と積極的な学習姿勢を望む。辞書はかならずクラスに携帯すること。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 II A 〔再クラス〕	あさ かわ ま き 朝 川 真 紀	全学科3年	2

講義のねらい

英語による意志伝達：より高度な英語の運用能力を身につける。

講義の内容・
授業スケジュール

異質の文化を理解し、外国に対する好奇心を抱きながら、ライティング能力の向上を目指す。海外での生活や旅行に必要な英語、さらには自分の意見を述べるための英語が使いこなせるように和文英訳、口頭演習を行う。辞書を有効に使用して語彙を補強し、十分予習をして授業に備える。またuseful expressionsは暗記するように心掛ける。

成績評価の方法

レポートを前期後期それぞれ一回ずつ提出。小テスト、前期後期試験を実施して評価を出す。また、出席を重視し、欠席が3分の1を超えた場合は不合格とする。

教 科 書

『英語へのパスポート』 朝日出版社 ￥1,200

そ の 他

映画、音楽、英語ニュースなどを聞き、普段から英語に慣れておく。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 II B 〔再クラス〕	よこ もり まさ ひこ 横 森 正 彦	禅・仏教・国文・英米文 歴史・経済・商3年	2

講義の内容・
授業スケジュール

平易な英語で書かれている物語をよみ、人物の生活や性格、人間関係について分析し、内容の理解につとめる。内容理解と同時に文学・演劇・悲劇という言葉について考究する。

成績評価の方法

授業中における発表は年間5回以上、レポート提出は年間2回以上。前期・後期試験、定期試験の間に進捗状況によっては小テストを行う。出欠席については授業回数の2/3以上を必要とする。

教 科 書

『シェイクスピア物語・悲劇篇』 旺史社 ￥880

そ の 他

学生は授業意外にも多くの書物を読んでいただきたい。初日に詳細について述べる。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 II B 〔再 クラス〕	すぎもと まこと 杉 本 誠	禅・仏教・国文・英米文 歴史・経済・商3年	2

講義の内容・
授業スケジュール

新聞という人間生活のあらゆる面を取り扱う媒体をわたしたちの日常生活の情報源として活用することに視点を置いて、時事英語、特に新聞英語やメディア英語への理解を深めることを目的とする。前期は容易にしかも楽しく英字新聞が読める、ということを中心とし、しかも日常生活に密接な関わりのある記事を取り上げる。後期は政治・経済・文化・社会生活などの記事ができるだけ多く読み、大意を把握し、読む速度をあげるようにする。内容把握、語法、リスニング、英訳などの練習問題を通じて、総合的な英語力を身につけることを目的とする。

成績評価の方法

前期・後期試験、レポート、授業中における発表、小テスト、出席率などを総合して評価する。

教 科 書

『メディア英語入門』（北星堂） ¥1,400

そ の 他

テープを使用し、速読で進むので、かならず毎時間の予習が必要である。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 II B 〔再 クラス〕	かわうち けんりゅう 河 内 賢 隆	禅・仏教・国文・英米文 歴史・経済・商3年	2

講義の内容・
授業スケジュール

再履修合同クラスなので、多少易しいテキスト（『世界の衣生活』）を使う。人間生活の基本条件、衣・食・住の中には、それぞれの民族が長い間歩んで来た証である文化、歴史、宗教などがさまざまな形で凝縮されている。本授業では衣を通して、これらのものと人間生活の関わりに目を向ける。なお、内容の理解と同時に、語法的な面にも注意を払う。

成績評価の方法

授業中の発表（年約5回）、短い語法についての質問（約3回）、前・後期の定期試験の結果および出席点（但し、原則として出席は授業日数の3分の2以上でなければならない）などのそれぞれを加えて評価する。

教 科 書

『世界の衣生活』 成美堂 ¥1,600

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 II B 〔再 ク ラ ス 〕	やま ぎし じ ろう 山 岸 二 郎	禅・仏教・国文・英米文 歴史・経済・商3年	2

講義のねらい

一定量の英文を読んで、大意の把握ができるようにしたい。これができれば、テキストへの興味は増し、授業が一層楽しくなるだろう。

講義の内容・
授業スケジュール

VOA (the Voice of America) で放送された番組の中から、日常生活に係りの深い科学関係の読み物を講読する。講読に当っては、一回につき一Unitづつ読む。次回にはExercise A・B・Cをやり一Unitを完了する。受講者は十分な予習と、積極的な授業への取り組みが期待される。

読むという行為は、単に読んだものを情報・知識として記憶するのではない。それは今までに学んで身につけたものを総動員して、書かれている事柄をよく吟味し、その精神を理解することである。この過程で思考力の発達が進められる。その結果自ら考え、判断できる能力が養われるのである。大学での英語学習をこのような大きなパースペクティブの中で考えてみる必要もある。この授業では英語の総合力の向上を計ると同時に、思考力の向上も目指したい。

本文は読み易く、しかも意外な発見もあり、楽しみながら学習をすすめることができるだろう。

成績評価の方法

出席を最大限重視する。再クラスを履修するようになった経緯は問わない。努力する者は必ず報われることを信じて勉学に励んでほしい。授業中の発表・小テスト・提出物などで総合的に評価する。定期試験は行なわないので、くれぐれも一回毎の授業を大切に！

教 科 書

『VOA日常生活の科学』第一集 南雲堂
※『VOA日常生活の科学』には第一集と第二集があります。第一集の目次は 1. 色彩効果の話, 2. 健康によい魚の油, 3. 換気が大切……となっております。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 I 〔再 ク ラ ス 〕	み うら ま り 三 浦 眞 理	短国・短英2年	2

講義の内容・
授業スケジュール

比較的平易なテキストを用い、できるだけ量を多く読み、アメリカ人からみた日本を、日本の様相を、日本人として改めて考えていきたい。

必ず予習をすること（特に予習を重要視する）を前提に、単語力、イデオム力、作文・表現力を養うことを目的とする。一年間のうちに、文章が正確に読めるように、また用法、基礎的表現法をしっかりと身につけることを目標とする。

成績評価の方法

授業中の発表、出席、予習、レポート、クイズ40%、前・後期の定期試験60%で評価する。ただし、平常授業時間の欠席率が3分の1を超えた場合は不合格とする。

教 科 書

- 1) "Anne's Watching Japan" 南雲堂 ¥1,300
- 2) "The Black Cat and other Stories" 南雲堂 ¥880

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語〔再クラス〕	〔前期〕 <small>なか お 尾</small> 〔後期〕 <small>中 はやし 林</small> <small>しげん 俊 明</small> <small>こう 光 人</small>	短放 2 年	2

講義のねらい

「タイム」「エコノミスト」「USニュース&ワールドレポート」に掲載された記事を読みます。授業は、予習を前提とした発表による演習形式によって進めます。英文の日本語への逐語訳をできるだけ避け、段落ごとの要旨、全文の主旨の把握に向けて、英文を語順に添って理解できるようにすることを目指します。なお、発音にも留意します。

成績評価の方法

基本的に授業出席と授業内での発表を重視します。
1) 発表, 2) 小テスト・レポート等, 3) 前期試験,
以上の3点をもとに総合評価し、前期の成績をつけます。(前期担当・中尾)

教科書

「ジャーナリズム英語入門」 マクミラン・ランゲージハウス ¥1,700

その他

履修者は、言語の持つ「意味」と同時に「音」の点についても十分な注意を払って下さい。授業内でのテープによるモデル・リーディングによってさらに音のチェックをして下さい。
なお、原則として、全授業回数の2/3以上の出席者を、成績判定を受ける有資格者とします。(前期担当・中尾)

科目名	担当者名	配当学科	単位
ドイツ語 I A 〔再クラス〕	<small>しば の ひろ 子</small> 柴 野 博 子	全学科 2 年	2

講義のねらい

この授業は、ドイツ文法の最も基本的な事柄のみを集中的に教え、ドイツ語の大枠を掴ませることを目標にしています。

履修上の留意点

ドイツ語の文法は体系的に構成されていますので、ドイツ語の学習には、一步一步積み重ねて行くことが非常に大切です。従ってできるだけ休まずに出席することを希望します。

成績評価の方法

試験は、年に三回行います。この三回の試験と、平常の学習態度を総合して、成績評価を行います。

教科書

大岩信太郎 『ドイツ文法のかなめ』, 三修社, 1,400円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ド イ ツ 語 I A 〔 再 ク ラ ス 〕	やま ちとむ 山 本 務	全 学 科 2 年	2

講義のねらい

言葉の学習は、その言葉それ自体が一定の考え方を表したものであるという前提に立つと、単調な作業も楽しいものの一変してしまう。日本語でびっしりと染まってしまった感じ方と考え方を相対化するのに、ドイツ語との接触は大きな援助を与えてくれるであろう。今日のドイツ文化が世界に向かって発信できることのひとつに、ナチズムの過去との対決がある。その代表者であるヴァイツゼッカー前大統領の演説を、基本文法を学びなおしながら読み込んでゆきたい。

履修上の留意点

独和辞典と初級の文法書の準備を求める。

成績評価の方法

教室での口頭報告および前期と後期との試験により成績評価する。

教 科 書

高辻和義編 『40年目の5月8日に——大統領の演説——』 同学社刊, 773円。
R.v.ヴァイツゼッカー著 山本務訳著 『過去の克服・二つの戦後』 日本放送出版協会, NHKブックス705, ¥950。

そ の 他

はじめの4, 5回は私の方で重要な文法事項を説明し、練習問題を君たち自身に解いてもらい、そして、テキスト理解に入ってゆく。現代ドイツのテレビニュースのビデオも織り込み、魅力あるドイツ語教室づくりにしたいところ。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ド イ ツ 語 I A 〔 再 ク ラ ス 〕	し ま とみ え 志 真 斗美恵	全 学 科 2 年	2

講義のねらい

ドイツ語 I A をもう一度、というクラスです。ドイツ語を「知り」、言葉の根底にある規則的な面を把握し、理解することが目標です。
おもに、ドイツ語の基本的な文法事項を学び、基礎力を養い、次いでその知識を生かし、辞書がひきこなせるようになることを主眼とします。
こうした学習が現実と遊離しないように、言葉がそこで機能している生活と文化にも目を向けてゆきたいと思っています。

講義の内容・
授業スケジュール

基礎が大事なので、アルファベット、発音の規則から再スタートし、一年間の授業で接続法まで学びます。

履修上の留意点

真面目に授業に出席し、授業に参加していれば、ドイツ語の基礎的なことは理解できるよう授業をすすめてゆきます。
文法は特に積み重ねの要素が多いので、欠席が多くなると理解もままなりません。欠席はさけて下さい。

成績評価の方法

授業中小テストを実施し、成績評価の上で重視します。

教 科 書

宮本絢子他著 『たのしいドイツ語 読む・聞く・話す』 白水社刊 2,200円

科目名	担当者名	配当学科	単位
ドイツ語 I B 〔再クラス〕	まつもと よう 松本 洋子	全学科 2年	2

講義のねらい

ドイツ語の基本的な文法事項を反復練習しながら、平易な読物（ドイツの学生生活をテーマにした）を読むことで、学生がドイツ語の文章に親しめるようにしたい。また楽しくドイツ語が学べるように、教科書に出てくる単語や基本表現を用いて、簡単な会話の練習もしたいと思っている。

成績評価の方法

平常点、中間テストと定期試験の結果を総合的に判断して行なう。

教科書

「いかがですか、学生生活」朝日出版 2,000円

科目名	担当者名	配当学科	単位
ドイツ語 I B 〔再クラス〕	〔前期〕 もも ずみ いさむ 百 濟 勇 〔後期〕 の 野 とし 彰 野島 利彰	全学科 2年	2

講義のねらい

ドイツ語の基本的構造を理解するにはドイツ語による作文が重要である。このクラスでは主として簡単なドイツ語作文を中心にして授業を進める。成績は作文の成績によって判断する。

教科書

小塩著 「初級和文独訳」 郁文堂 ¥800

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ドイツ語 I B 〔再クラス〕	あづま けいじろう 吾 妻 雄 次 郎	全学科 2 年	2

講義のねらい

受験勉強時代の緊張感からの解放、英語と比べて少し複雑な文法構造をもつドイツ語への違和感、初めのちょっとした油断等から、なかなか追いつけずに、再度の履修となった学生諸君が多いかと思えます。従ってまずドイツ語に興味をもつことができるよう心掛けたく思えます。日常的な言葉のやりとり、基本文型をもとにして必要最低限の文法の知識は習得したいと思えます。

講義の内容・授業スケジュール

著者の一人がウィーン大学出身なので、教科書の内容が、どちらかと言えばオーストリアに関する内容が多く見られますが、しかし常にヨーロッパの視点で平易な文章が用いられています。会話やオーストリアそしてドイツの紹介記事を通して、読解力を養い、日常生活の簡単な表現を学びたいと思っています。

履修上の留意点

最初の部分は分かっていると思って出遅れますと、なかなか追いつけなくなるものですから、常に積極的姿勢で臨んで欲しいと思います。それには常に予習を欠かすことなく、単語のノートを作り、理解できなかったことを先送りしないで、質問も遠慮なくすることが大切だと思います。みんな楽しんで雰囲気を作っていきたいと願っています。

成績評価の方法

年に2回ほど試験を行います。また必要に応じて、小さなテストも行いたいと思っています。しかし何よりも積極的な授業への参加を重んじたいと思います。従って「評価」はどちらかと言えば、総合的な平常点評価と言うこととなります。

教 科 書

編者 W・ループレヒター／福本義憲著 『ヨーコとフランツ』 郁文堂 ¥1854

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ドイツ語 I B 〔再クラス〕	くり はら かず のぶ 栗 原 万 修	全学科 2 年	2

講義のねらい

文法は一応終わっているはずですが、再クラスなので、できるだけ分かりやすいように文法も最初から一緒にやっていきます。簡単な文章から複雑な文章へなだらかにすすむ配列になっています。基本的な単語が繰り返し使われていますので、終了時には無理なく力がつくはずですが、また、授業の中でドイツの現状についても理解できるようにしたいと思います。継続的な勉強を重視しますので授業を欠席しないこと。毎時間出席し、予習もしてもらいます。

教 科 書

大岩信太郎 『やさしいドイツ語初級読本』 (朝日出版社, 1,200円)

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ドイツ語ⅡA 〔再クラス〕	くり はら かず のぶ 栗 原 万 修	全学科3年	2

講義のねらい

知ってのようにヘッセはドイツの代表的な作家ですが、このテキストには彼の〈Märchen〉という題名の作品集から、表題作ともう1編が収録されています。ヘッセが生活の苦闘や深い思想の沈潜から、人生や人間の幸福の真義を愛によってとらえようとした感動的な名作です。相当な名文ですが、それでいて大変平易な分かりやすい文章です。語学は日常の勉強の積重ねでのみ習得されるものなので、出席を重視します。毎時間指名し、やってもらいます。授業にはかならず出席し、予習をしておくこと。欠席を重ねると名簿から名前を抹消します。

教 科 書

ヘルマン・ヘッセ（高橋編・注）の『アウグストゥス』（郁文堂、900円）

そ の 他

水曜・3限

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ドイツ語ⅡA 〔再クラス〕	もと はし う きょう 本 橋 右 京	全学科3年	2

講義のねらい

読解に重点を置きながら、ドイツ語の基本的な語彙や構文が理解できるよう指導します。

講義の内容・
授業スケジュール

みなさんは、映画『サウンド・オブ・ミュージック』のことを聞いたり、ひょっとしてご覧になったことがあるかもしれません。しかし、これが実話であることを知っている人は少ないのではないのでしょうか。オーストリアはザルツブルク近郊の修道院で尼僧になるはずだったマリアという女性が、妻を亡くした海軍大佐の子供たちを家庭教師として世話をすることになるのです。

この時間では、語学的なことだけでなく、物語の歴史的背景にまで言及する予定です。

履修上の留意点

みなさんの積極的な取り組みに期待します。

成績評価の方法

前・後期の定期試験や出席などで総合評価します。

教 科 書

『トラップ家物語』 入谷・小林編（三修社 1,200円）

参 考 書 等

W・T・アンダーソン 『サウンド・オブ・ミュージックの世界——トラップ一家の歩んだ道』（求龍堂）

科目名	担当者名	配当学科	単位
ドイツ語ⅡA 〔再クラス〕	くりはらかずのぶ 栗原万修	全学科3年	2

講義のねらい

もう一度最初から文法もやります。やさしい文章からだんだんと程度が高くなっていきますが、授業を休まず継続して勉強していけば、なるほどドイツは簡単だと思うかも知れません。ただし毎時間の継続的な勉強が絶対的条件です。再履修クラスなので特に日常の勉強と出席を重視します。

教科書

ヘルマン・トロール、福田幸夫 『ドイツはかんたんだ』 (第三書房, 1,700円)

その他

土曜・3限

科目名	担当者名	配当学科	単位
ドイツ語ⅡB 〔再クラス〕	もと はし う きょう 本橋右京	禅・仏教・国文 歴史・経済・商3年	2

講義のねらい

初級文法項目を確認しながら、比較的やさしいテキストを読むことで、読解力を養います。その際ポイントになるのは、基本的な語彙や講文の理解です。

講義の内容・
授業スケジュール

テキストは本来ドイツの Langenscheidt 社の刊行になるものですが、日本の学生用に編集してあります。内容は現在の社会事情を伝え、興味深いものになっています。

以下いくつかタイトルを挙げます。変化した人生の理想。休暇中のアルバイト。青少年とメディア。植物がバッハを聞き分ける。遺伝子工学は希望か脅威か。オゾン層の危機。マスメディアと青少年の読書。

各課の終わりに付された練習問題で、ウィークポイントを補ってゆきます。

履修上の留意点

皆さんの積極的な学習を希望します。

成績評価の方法

前・後期の定期試験や出席などで総合評価します。

教科書

松本嘉久編 『日常生活のドイツ語』 (郁文堂 1,600円)

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ドイツ語ⅡB 〔再クラス〕	まつ 松 おか 岡 すすむ 晋	禅・仏教・国文 歴史・経済・商3年	2

講義の内容・
授業スケジュール

ある日本人の青年が将来サッカーコーチになることを夢みてドイツにサッカー留学するという設定の教科書を用いて、基礎的なドイツ語の読解練習をおこないます。

履修上の留意点

毎回独和辞典を持参すること、および無断欠席をあまりしないことを望みます。

成績評価の方法

年数回おこなわれる試験、学習意欲などにより総合的に判断して、成績評価をおこないます。

教 科 書

伊藤小枝子(著):シュート/ドイツ語, 朝日出版社, ¥2,000

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ドイツ語ⅡB 〔再クラス〕	あ 吾 づま 妻 ゆう 雄 じろう 次郎	禅・仏教・国文 歴史・経済・商3年	2

講義のねらい

初めに中級クラスの「文法読本」を用い、ドイツの風物、自然、経済、交通等に触れた簡単な文章をもとに、もう一度文法の知識、基本的な文形を思い起こしながら、一定の量を読みこなしていきたい。さらにそれぞれの課の末尾に設けられた練習問題を用い、ドイツ語による表現、独作文に馴染んでいきたいと考えています。

講義の内容・
授業スケジュール

使用する予定の14課から成る教科書をできるだけ早く終え、その後はコピーによる教材を準備し、読解力や日常茶飯事の簡単な表現力を養っていきたく願っています。その他余力があれば、ドイツの新聞や週刊誌に載った日本に関する記事に少しでも目を通す機会を持つことができれば何よりです。

履修上の留意点

縁があってこのクラスで学ぶことになった学生諸君は、常に受け身の姿勢は返上して、積極的な姿勢で授業に臨んでいただきたい。教室の闊を高く感じることなく、気楽に学ぶためには、何とんでも予習・復習が大事ですし、疑問を先送りせずに、質問をどんどんするように心掛けて欲しく思っています。

成績評価の方法

一応「平常点評価」と言うことになります。しかし当然のことながら、年に2回ほどテストは行う予定です。授業の展開に、自分もその一員として積極的に参加しているかどうかを、重く見たいと思います。

教 科 書

松本嘉久著 『ドイツ語からドイツへ』 朝日出版社 ¥1,900

科目名	担当者名	配当学科	単位
ドイツ語 I 〔再クラス〕	やまもと つとむ 山本 務	短国・短英 2 年	2

講義のねらい

言葉の学習は、その言葉それ自体が一定の考え方を表したものであるという前提に立つと、単調な作業も楽しいものに一変してしまう。日本語でびっしりと染めぬかれた感じ方と考え方は一度は相対化されなければならない。それにはドイツ語との接触が大きな援助を与えてくれる。ところで今日のドイツ文化が世界に向かって発信できるもののひとつに、ナチズムの過去との取り組みがある。その代表者であるヴァイツゼッカー前大統領の演説を、基本文法を学び直しながら読み込んでゆく。

履修上の留意点

初級の文法書と独和時点の用意を。

成績評価の方法

教室での口頭報告を重視し、前期後期の試験と併せて成績評価。

教科書

ドイツ語テキストをコピー配布。
R.v. ヴァイツゼッカー著 山本務訳著 『過去の克服・二つの戦後』 日本放送出版協会、NHKブックス705、¥950

参考書等

三島憲一著『戦後ドイツ』（岩波新書）。

その他

はじめは、私の方で重要な文法事項を説明して、テキスト理解に入ってゆく。現在のドイツのテレビニュースをビデオを見るが、学生諸君は新聞でドイツ、ヨーロッパ関係の切り抜きを一年間通してやって貰います。

科目名	担当者名	配当学科	単位
ドイツ語 〔再クラス〕	まつもと ようこ 松本 洋子	短放 2 年	2

講義のねらい

ドイツ語の基本的な文法事項を反復練習しながら、平易な読物（ドイツの学生生活をテーマにした）を読むことで、学生がドイツ語の文章に親しめるようにしたい。また楽しくドイツ語が学べるように、教科書に出てくる単語や基本表現を用いて、簡単な会話の練習もしたいと思っている。

成績評価の方法

平常点、中間テストと定期試験の結果を総合的に判断して行なう。

教科書

「いかがですか、学生生活」 朝日出版 2,000円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
フランス語 I A 〔再クラス〕	まえ だ のり かず 前 田 祝 一	全学科 2 年	2

講義のねらい

まったく初めてフランス語を学習するものとして、初級の文法を中心に年間を通しておこなう。

成績評価の方法

- (1)出席状況
- (2)授業中に適宜おこなう小テスト
- (3)前後期末の定期的なテスト

教 科 書

川村克己編：新川村フランス語，駿河台出版社

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
フランス語 I A 〔再クラス〕	さ とう く み こ 佐 藤 久美子	全学科 2 年	2

講義のねらい

問題集を用いて基本的文法事項を初歩から復習し，1年間でフランス語の概略をつかみます。

講義の内容・
授業スケジュール

文法説明の後に実際に問題を解いてもらい，さらに毎回問題の一部の解答を提出してもらいます。

履修上の留意点

上記の方針から仏和辞典を毎回必ず持参すること。毎回の提出物を重要視しますので当然のことながら出席することが肝要です。全授業数の1/3以上欠席した者については単位を認めません。4年生でも条件は同じです。特に初回の授業を欠席しないこと。

成績評価の方法

提出物の有無が成績評価の第一ポイントです。それに前後期試験の結果を加えて総合評価とします。

教 科 書

斎藤昌三著 『アン・ドゥ・トロワ』 白水社，1,100円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
フランス語 I A 〔再クラス〕	はま さき せつ お 浜 崎 設 夫	全学科 2 年	2

講義のねらい

初級フランス語文法の再学習。時間が許せばフランスの歴史や文化についても語りたい。

講義の内容・
授業スケジュール

フランス語文法の説明と練習問題の解答（これは宿題として課す）。第1課から第5課までを前期分とし、第6課から12課までを後期分とする。

履修上の留意点

文法の説明は毎回授業の最初に行うので遅刻しないこと。教科書だけでなく、必ず辞書とノートを持参すること。

成績評価の方法

試験の結果。宿題（これはかなり大きな比重を占める）。出席回数。授業態度。レポート。

教 科 書

山田、内藤、山崎他編『初級フランス文法案内』第三書房 1,400円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
フランス語 I A 〔再クラス〕	と お や ま ひ ろ お 遠 山 博 雄	全学科 2 年	2

講義のねらい

限られた少な目の文法事項を、アルファベットからゆっくり練習問題中心に学び直します。授業の前半に説明、後半に練習、黒板で解答の形になりますので、遅刻すると自滅、脱落になります。毎回の出席を当然のことと考えて下さい。試験は筆記で年3回の予定。他に途中で動詞活用の書き取り等も行います。

教 科 書

『新初歩フランス語』 家島光一郎著 第三書房

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
フランス語 I B 〔再クラス〕	すが や さとる 菅 谷 暁	全学科 2 年	2

講義のねらい

教科書は、「空港にて」「カフェにて」「道をたずねる」など、フランスを旅したときに遭遇するさまざまな場面での対話によって構成されています。当事者になったつもりで読みかつ訳し、正確な発音、基本的・日常的な表現、フランスに関する種々の情報などを学びます。

履修上の留意点

休まずに出席することが大事です。

成績評価の方法

前期末と後期末の試験によります。

教 科 書

小倉他著 『エスカール』, 駿河台出版社, 1,800円

そ の 他

毎回数人の担当者をあらかじめ決めておきますので、その者は担当部分を正しく発音し、訳せるようにしておいてください。なお必要な文法事項は詳しく説明し、発音はカセットテープを利用して練習します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
フランス語 I B 〔再クラス〕	あし はら けん 芦 原 眷	全学科 2 年	2

講義のねらい

仏語の基礎を1年かけて確認します。具体的には、教科書の仏語が読めて、その内容が理解できることです。読解力をつけるためには、文法の知識がとても役立ちますから、文法の基礎を覚えなければなりません。それに辞書を上手に引くことが大切です。

講義の内容・
授業スケジュール

前期は仏語の読み方（発音）と文法の確認を重視します。後期は前期を土台にして、できるだけ多くの仏語の文章を読めるようにします。

履修上の留意点

教科書と同時に辞書を持参します。

成績評価の方法

毎回小テストか辞書を使う和訳のテストをします。それに、期末の総合テスト。ときどき、レポート。

教 科 書

安田悦子 『F・コム・ファッションル』 白水社 1,600円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
フランス語 I B 〔再クラス〕	たか はし 高 橋 かおる 薫	全学科 2 年	2

講義のねらい

フランス語の基礎的な構文を体得し、その応用を可能ならしめる。

講義の内容・
授業スケジュール

テープ・レコーダーを利用し、文章と音声、意味内容を総合的に理解・発信してもらう。授業内容を学生諸君に充分理解してもらうことを主眼とするので厳密な計画は立てられないが、動詞を例にとると、前期で現在時制（不規則動詞も含む）、後期でそれ以外の時制表現を目安とする。

履修上の留意点

語学の修得は積み重ねにあるので、毎回必ず出席し、意欲的に授業に臨むこと。反復練習を忘れず行うこと。

成績評価の方法

基本的には前期試験・後期試験の結果を見るが、毎時間書き取り小試験を行うので、それも参考にする場合がある。なお、出席回数が少ない学生には試験受験資格を与えない場合もある。

教 科 書

「《新装版》フランス文法耳から口へ」、第三書房。定価1,000円前後。

参 考 書 等

学生諸君の個性に合わせて指導する。

そ の 他

文法事項については解説。テープ・レコーダー使用。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
フランス語 I B 〔再クラス〕	いま ぜき 今 関 あ ん ア ン	全学科 2 年	2

講義のねらい

初歩からゆっくり進めるつもりです。欠席せずにつまづいた箇所を確実に習得してください。

教 科 書

『会話で始めるフランス語』 岩間直丈著、朝日出版社、1,800円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
フランス語ⅡA 〔再クラス〕	こ だま なり お 小 玉 齊 夫	全学科3年	2

講義のねらい

文法事項の再確認を中心に、やさしい文を読み進めていきます。「再履修」を行わざるを得なくなった原因は、たいていの場合、何かのきっかけで出席をしなくなり、その結果、内容についていけなくなったため、と推定されます。今年度は、そういうことのないように、心して、フランス語に向かい合ってみてください。

履修上の留意点

ⅠAの教科書をつねに参照しながら、授業に出ること。

教 科 書

鈴木豊 『二年生の新フランス語文法読本』 —— 改訂版 —— (駿河台出版社, 1,236円)

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
フランス語ⅡA 〔再クラス〕	い だ きよ こ 井 田 清 子	全学科3年	2

講義のねらい

初級の文法で習得した、基本的な動詞の活用をはじめとして、冠詞、名詞、形容詞の用法など忘れかけている事項を復習しながら、文章を理解するための文法事項を学び、フランス語の文章に親しむことを目標とする。基本的なフランス語の表現に慣れるように、語学的にもわかりやすい文章を選んで、できるだけ興味をもって読めるようにしたい。中には、会話を主体とした内容のものもあり、辞書を使えば自らその面白さを理解できよう。

成績評価の方法

成績評価には、通常点を加味する。

教 科 書

『フランス・ユーモア集』, 野内良三編, 第三書房刊

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
フランス語ⅡA 〔再クラス〕	いま せき あ ん 今 関 ア ン	全学科3年	2

講義のねらい

初級文法から復習していきます。ゆっくり進めるつもりですから、辞書を忘れずに毎回出席してください。

教 科 書

『基本1000語のフランス語』 加藤和孝著，駿河台出版社，1,500円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
フランス語ⅡB 〔再クラス〕	か とう せつ こ 加 藤 節 子	禅・仏教・国文 歴史・経済・商3年	2

講義の内容・
授業スケジュール

これは5篇のやさしいコトを集めたテキストで、今までに学んだ文法事項を短期間に復習整理しながらフランス語の構文に慣れていくことを目的としている。速読が可能なテキストなので、前期で終える予定であるが、その時点で次のテキストを考える。

教 科 書

数江譲治 『続・愉快的なコト』 第三書房 600円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
フランス語ⅡB 〔再クラス〕	井 田 清 子 <small>い だ きよ こ</small>	禅・仏教・国文 歴史・経済・商3年	2

講義のねらい

- フランス語の総合的な力が身につくようにしたい。そのために、三段階に分けて習得する。
1. まず、正しい発音を、わかりやすく学べるように、カセットテープを併用しながら実践的なレッスンを進める。
 2. つぎに、基本的なフランス語表現、特に、簡単なあいさつや自己紹介から始めて、幅広く会話習得を目指す。
 3. 忘れがちになりやすい文法事項をもう一度復習しながら、練習問題などで訓練した後、フランス語の文章を辞書を使って、しっかり読み理解することを目標としよう。

成績評価の方法

成績評価には通常点を加味する。

教 科 書

『フランス語 ホップ・ステップ・ジャンプ』、松岡達也、他著、白水社刊

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
フランス語ⅡB 〔再クラス〕	沼 倉 広 子 <small>ぬま くら ひろ こ</small>	禅・仏教・国文 歴史・経済・商3年	2

講義のねらい

初級文法を復習しながら読む、聞く、話す、書くという総合的な基礎力を養うことをこの講座の目的とします。日常よく使われるやさしい語彙、簡単な言い回しを用いて、習得できることに留意します。特に聞くことのチャンスは少なかったと思いますが、テープを用いて自習してほしい。ヨーロッパ連合、ユーロトンネル、ミニテル、地方と都市、チーズなどの話題を中心に電話の応対、手紙、雑誌の記事、さまざまな文体に慣れて、楽しみながらフランス語を学習してほしいと思います。練習問題の提出、書き取りなどにより平常点を重視します。

教 科 書

『コム・ボンジュール』 阿南婦美代ほか著 白水社 2,000円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
フランス語 I 〔再クラス〕	ぬま くら ひろ こ 沼 倉 広 子	短国・短英 2 年	2

講義のねらい

やさしい会話を中心に読む、聞く、話す、書くことができるように初級文法を勉強します。特に初心者には難しい発音練習、音と綴りの関係、聞き取りはしっかり練習したいと思っています。そのためカセットによる自習は不可欠となります。口頭練習も多用してフランス語を身近なものにしたいと思います。冠詞、所有形容詞等、文法事項の知識を確実にするとともに、パリの名所、買い物、フランスの通貨、地下鉄等、フランスの生活を知る機会としたいと思います。

教 科 書

『パサーパルトゥ』 高橋秀雄ほか著 早美出版社 1,600円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
中国語 I A・I B 〔再クラス〕	こう りん ひで もと 江 林 英 基	全学科 2 年	2

講義のねらい

授業は発音とピンイン表記を再学習後、各課の文法を解説しながら本文と会話を説明し、学生諸君に順番に朗読させ、正しい発音と声調を求める。年 2 回の定期試験と宿題がある。

教 科 書

『新版標準中国語 I』（上野恵司著、白帝社、¥1,400）
このテキストは中国人が日常生活でよく使用する単語と簡単な文型を内容とするものであり、全 20 課、各課の本文のあとに基礎文法の解説と会話の例文を付してある。その内容も易から難へと自然な順序で配列されている。

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語ⅠA・ⅠB 〔再クラス〕	未定	全学科2年	2

講義のねらい

会話文をテキストに、耳による中国語の理解を目指す。発音・文法を基礎的事項から復習する。

成績評価の方法

前後期各一回の定期試験の他に、授業時間内に数回の小テスト（聞き取りテストを含む）を行い、それにより評価する。

教科書

丁秀山『大学中国語テキスト 基礎漢語講座』（金星堂 ￥1,800）

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語ⅠA・ⅠB 〔再クラス〕	いわき 岩崎 ひろし 皇	全学科2年	2

講義のねらい

とにかく自分の口で中国語が言えるように、発音練習を主に授業をする。教室で声を出すことを厭う者には向かないが、例文は短く、日常的なものなので理解は容易だと思ふ。説明より練習が主となるので、出席は重視する。

試験には、筆記のほかに、聞き取りと暗唱がある。

教科書

「会話で学ぶ中国語」 植田渥雄著 金星社

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
中国語 I A・I B 〔再クラス〕	こ 寺 春 水 ちん てる はる み	全学科 2 年	2

講義のねらい

中国語のあらたなはじめの一步が踏み出せるように、簡単な会話を徹底的に練習する（もちろん発音の練習も）。そのため授業中大きな声を出して発音してもらいたい。一年後には自己紹介や自分の意志を表現できるようにしたい。

講義の内容・
授業スケジュール

定期テスト二回のほか、口頭テストを年二回実施する予定。

教 科 書

『中国語はじめの一步』（白水社 ¥2,000）
身近な会話のテキスト。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
中国語 I A・I B 〔再クラス〕	ちん 陳 しょう 洲 きよ 挙	全学科 2 年	2

講義のねらい

再履修のクラスなのでみんながある程度できる筈。ピンインの表記法と読み方を復習し、基本的な文法、文型を学んでゆく。

講義の内容・
授業スケジュール

テキストは山本という学生をモデルにして、日本の学生生活や中国旅行の様子が描かれた短い会話形式のものである。口と耳を使うことを重視するので毎回必ず前週学んだ内容の聞き取り小テストを行うし、前週学んだ内容を二人ずつ会話の型で暗誦してもらおう。全22課なので1回1課のペースで授業を行う。

履修上の留意点

予習は必要ないが、学んだ本文をまる暗記して欲しい。

成績評価の方法

年に4回くらいテストを行い、最後のテストの成績によって評価する。

教 科 書

陳洲挙，山田訓子著 『大学生漢語』 駿河台出版社 1,800円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
中国語 I A・I B 〔再クラス〕	まえ かわ とおる 前 川 亨	全学科 2 年	2

講義のねらい

中国語の発音（ピンイン字母と声調）、初級文法をもう一度やり直そうとする科目である。なぜ昨年つまづいてしまったのかをよく考えてから、しっかりした気持ちで授業に臨んでほしい。外国語の習得には復習が不可欠である。また、週一回の授業は特に進度が速いので、欠席はつまづきの元となる。評価は年2回の期末考査、同じく2回程度の小テストによる。欠席はその数の多少に応じて減点の対象とする。授業中に私語する者、授業に非協力的な者に対しては、以後の聴講を断ることがあるので心得ておいてほしい。当方も簡明な説明を心掛けるつもりである。

教 科 書

『基礎固め中国語』（同学社）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
中国語 I A・I B 〔再クラス〕	ね ぎし まさ こ 根 岸 政 子	全学科 2 年	2

講義のねらい

一人の中国人留学生と二人の日本人学生によるやさしい会話体の文章で、発音篇4課を含めて全20課。各課ごとに文法事項とエクササイズが付記されている。会話体を利用して、発音が正しく身につくように反復練習を行い、基本文型や挨拶などの日常表現を習得する。予習・復習をきちんと行い、自宅学習でも大きな声を出して練習すること。年間4、5回の試験以外に、理解度を確認するために小テストを行う。

教 科 書

西川優子 『中国語フォーシーズンズ』 朝日出版社（¥1,900）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
中国語 I A・I B 〔再クラス〕	ふ せ なお こ 布 施 直 子	全学科 2 年	2

講義のねらい

中国語の発音及び初級段階の語法を学ぶ。

講義の内容・
授業スケジュール

中国語の発音の特徴を知り、どのような規則によって発音が表記されるかを理解し、ピンインが読めるようになることが最初の段階の目標である。その上でテキストにより日常生活の場でかわされる会話を学び、中国語に特有の語法を理解する。繰り返し音読して理解が定着したのものとなることを目指す。

履修上の留意点

普通日常生活の中で中国語を発音する機会はきわめて少ない。だからこそ、授業時には大きな声で読み、反復練習し、理解をあいまいなままにしないことを望む。

成績評価の方法

出席状況、ならびに前後期各 2 回ずつのペーパーテスト及び随時おこなう小テストによって成績評価する。

教 科 書

荒川清秀他著 『中国語のエッセンス』 同学社 1,700円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
中国語 I A・I B 〔再クラス〕	り 季 うん 雲 李 雲	全学科 2 年	2

講義のねらい

ピンインが読めること、簡単な日常会話ができること、基本文型を身につけるのが、この講義のねらいである。

講義の内容・
授業スケジュール

教科書は、各課ともに、文法、練習問題、やさしい会話文の順で構成されている。授業では、まずピンイン学習のあと、本篇に入り、各課とも、文型を学んだあと、本文と練習問題を学んでゆく。

履修上の留意点

重要な文型の暗誦と本文の書き取りを要求する。

成績評価の方法

出席重視で、4 課に一回程度、小テストを行う。

教 科 書

『新訂、例文中心初級中国語』（同学社 1,545円）。

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語ⅡA 〔再クラス〕	ひら いし よし こ 平 石 淑 子	全学科3年	2

講義のねらい

初級で習得した文法事項を確認しながら読み進む一方、発音練習にも時間を割きたい。家での発音練習及び予習を課す。

履修上の留意点

授業には辞書を必ず携帯すること。また、初級時に使用したテキスト、ノートなどを参照しながら学習することが望ましい。

教科書

『中国と日本』（朝日出版社 ￥1,400）
中国人のものの考え方や習慣などを紹介することに力点を置いたテキスト。全22課。文章そのものは平易であるが、内容はなかなか興味深い。

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語ⅡA 〔再クラス〕	ひし かわ きよし 菱 川 清	全学科3年	2

講義のねらい

発音と文意の習得に力点を置き、社会一般が要望する実用的な中国語の力の習得を目標とする。発音の面では、繰り返し練習で口腔内の筋肉を中国語の発声に慣らし、会話可能な状態にする。なお、感情が割り込んできた場合に発生する強弱や長短を、十分に聞かせることで、自然かつ正確でしかもリズムカルな美しい中国語の習得に導きたい。
一方、文意の理解では、語法解説を混ぜつつ、単語の構造と用法、虚字の挿入、音韻の流変等にも留意して、幅の広い中国語理解をめざす。
語学は、「多く聞いて多く話す」のが上達のコツ、予習、出席を重視する。

成績評価の方法

成績は、前期・後期の成績を平均し、さらに出席状況を加味して決める。

教科書

『中国風俗文化簡介』 金星堂 1,200円

参考書等

指定しないが、相談には応じる。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
中国語ⅡA 〔再クラス〕	わた なべ はる お夫 渡 邊 晴 夫	全学科3年	2

講義の内容・
授業スケジュール

授業では作品の読解と関連する文法事項の学習を主とする。
テキストには文法項目の説明はないが、授業では例文をできるだけ多く挙げて説明する。詳細な注釈が巻末についているので、必ず予習して授業に臨むこと。前後に各2回程度テストをおこなう予定。読んだ作品について感想文を書いてもらうことも考えている。

教 科 書

『百字小説』（白帝社 ¥1,600）
現在の中国の人々の生活、習慣、風俗、流行、気風、ものの考え方などが、簡潔な言葉で印象深く描かれている短い小説を42篇収めたテキスト。作品によって長短があるので、受講生の習熟度に応じて進度（1回の授業で読む作品の数と説明の深淺）を調節しながら、授業をすすめることができる。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
中国語ⅡB 〔再クラス〕	しゅう ふほん 周 琳	禅・仏教・国文 歴史・経済・商3年	2

講義のねらい

中国語初級の基礎の上に、読み、書き、聞くの総合的な基礎語学力を身につける。とくに標準的な「普通話」で、やや複雑な会話ができる能力の養成を目標にする。

講義の内容・
授業スケジュール

前期は発音の復習と初級文法の補足に重点を置き、ゆっくり授業を進めるが、秋からは適当に進度を速めてゆく。

履修上の留意点

会話を中心にするので、平常点を大変重要視する。試験の代わりにレポートを提出することは認めない。授業には無断欠席せず、必ず予習していらっしやい。

教 科 書

『中国語と現代中国』（白帝社 1,600円）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
中国語ⅡB 〔再クラス〕	ひし かわ きよし 菱 川 清	禅・仏教・国文 歴史・経済・商3年	2

講義のねらい

発音と文意の習得に力点を置き、社会一般が要望する実用的な中国語の力の習得を目標とする。発音の面では、繰り返し練習で口腔内の筋肉を中国語の発声に慣らし、会話可能な状態にする。なお、感情が割り込んできた場合に発生する強弱や長短を、十分に聞かせることで、自然かつ正確でしかもリズムカルな美しい中国語の習得に導きたい。

一方、文意の理解では、語法解説を混ぜつつ、単語の構造と用法、虚字の挿入、音韻の流変等にも留意して、幅の広い中国語理解をめざす。

履修上の留意点

予習、出席を重視する。

成績評価の方法

成績は、前期・後期の成績を平均し、さらに出席状況を加味して決める。

教 科 書

『中国風俗文化簡介』 金星堂 1,200円

参 考 書 等

参考書は指定しないが、相談には応じる。

そ の 他

語学は、「多く聞いて多く話す」のが上達のコツ。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
中国語ⅡB 〔再クラス〕	わた なべ はる お夫 渡 邊 晴 夫	禅・仏教・国文 歴史・経済・商3年	2

講義の内容・
授業スケジュール

授業は文章、会話、ドリルを中心にすすめてゆくが、他の部分も適宜参照する。オーディオテープのほかに本テキストのもとになっているビデオもあるので、併用したい。ヒアリングと口頭による練習を重視し、会話の文はすべて口で言えるようになるまで、習熟させたい、と考えている。かなりくわしい語句説明もついているので、それを参照したり、テープを聞いたりして、予習して授業にのぞんでほしい。

教 科 書

『北京カタログー中国文化・中国事情』（朝日出版社 ¥2,000）
全10課。各課は一定の内容をもった文章（北京の説明）、短い会話、ドリル、アラカルト（さまざまな中国の生活に関する情報）、参考（いろいろな事物の図解、写真など）から成る。

そ の 他

前後期各2回のテストを予定している。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
中 国 語 I 〔 再 ク ラ ス 〕	李 雲	短国・短英 2 年	2

講義のねらい

ピンインが読めること、簡単な日常会話ができること、基本文型を身につけることが、この講義のねらいである。

講義の内容・
授業スケジュール

教科書は、各課ともに、文法、練習問題、やさしい会話文の順で構成されている。授業では、まずピンイン学習のあと、本篇に入り、各課とも、文型を学んだあと、本文と練習問題を学んでゆく。

履修上の留意点

重要な文型の暗誦と本文の書き取りを要求する。

成績評価の方法

出席重視で、4 課に一回程度、小テストを行う。

教 科 書

『新訂・例文中心初級中国語』（同学社 1,545円）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
スペイン語 I A・I B 〔 再 ク ラ ス 〕	丹 羽 昌 一	全学科 2 年	2

講義の内容・
授業スケジュール

プリントによる練習問題を主とする。

履修上の留意点

履修者諸君の自主的な努力を期待する。

成績評価の方法

期末テストの結果と同様、平常の学習態度も重視したい。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
スペイン語 I A・I B 〔再 ク ラ ス 〕	みや ち たつ ろう 宮 地 達 郎	全学科 2 年	2

講義のねらい

再履修者クラスなので、第一にスペイン語アレルギーを取除き、興味をもたせることを主眼とする。

講義の内容・
授業スケジュール

最初の性数一致、動詞の変化を中心とする。場合によってはビデオ使用も考慮したい。

履修上の留意点

スペイン語へ興味をもってもらいたい。

成績評価の方法

60点未満→進級不可
61—69→可
70—79→良
80 以上→優

教 科 書

宮本博著 「ようこそスペイン語の世界へ」 大学書林 ¥1,648

参 考 書 等

細川幸夫著 「英語からスペイン語へ」 芸林書房 ¥2,400
佐藤玖美子著 「NHK楽しいスペイン語」 芸林書房 ¥2,400

そ の 他

中南米諸国概要も補足説明し、興味が続行する内容にしたい。ビデオ使用も考慮したい。但し人数による。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
スペイン語 I A・I B 〔再 ク ラ ス 〕	なか やま なお し 中 山 直 次	全学科 2 年	2

講義のねらい

スペイン語やスペイン語圏世界に、関心や興味を見出すことをねらいとする。

講義の内容・
授業スケジュール

昔話「赤ずきんちゃん」や「シンデレラ」を材料としたスペイン語の自習参考書を読みながら、いろいろに脱線する（といっても、その脱線先はだいたいスペイン語圏内の事柄にとどめる）。したがって、ここであらかじめ年間の授業スケジュールを確定しておくことはできない。

履修上の留意点

スペインやその周辺（スペイン・中南米の地域や文化）に何らかの興味を見出してもらうことができれば幸いである。

成績評価の方法

授業の理解度や応答の状況を記録しておき、その合計を数値化して成績の評価とする。（いわゆる学期末定期試験は行わない。）

教 科 書

中山著 「スペイン語が面白いほど身につく本」（中経出版）

参 考 書 等

参考文献等については、もし必要になったらその都度紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
スペイン語 I A・I B 〔再 ク ラ ス 〕	^{うりたに} 瓜 谷 アウロラ	全学科 2 年	2

講義のねらい

このクラスではスペイン語の初級文法を学ぶとともにかんたんな会話の練習にも力を入れたいと思います。語学の修得には地道な努力が不可欠なので出席も重視します。

教 科 書

宮本博司 Lecturas para empezar 『楽しいスペイン語文法読本』 大学書林 1,236円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
スペイン語 I A・I B 〔再 ク ラ ス 〕	^{おき} ^の ^{まさ} ^じ 荻 野 雅 司	全学科 2 年	2

講義のねらい

スペイン語 I を今一度 ABC からやり直すことを中心に置いて、スペイン語 II へとスムーズにつなげられることを狙いとする。そして、外国語の学習が決して苦痛ではなく、それを通して異文化に接することができる手段であり、楽しいものであることを実感出来る授業内容とすることを目論んでいる。

成績評価の方法

原則として中間と期末の 2 回の major なテストを行うが、成績の評価に当たってはそれのみに限定しない。日ごりの出席状況と受講態度も等しく重視して評価を行う。

教 科 書

佐藤玖美子著 「NHK 楽しいスペイン語」 (芸林書房)

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
スペイン語ⅡA〔再クラス〕	ふくもと くみこ 福 本 久美子	全 学 科 3 年	2
スペイン語ⅡB〔再クラス〕		禅・仏教・国文 歴史・経済・商3年	

講義のねらい

基礎文法の復習と日常表現を学ぶ。

履修上の留意点

- 初心に戻りやる気で授業を受けること。
- 出席が全授業回数の2/3以下の者には評価を与えない。始業時より30分以上の遅刻者の入室は認めない。但し欠席も遅刻も正当な理由がある時は考慮する。
- 授業を妨げるような振る舞い（私語、無断退室）は慎むこと。場合によっては評価の対象から外す。

成績評価の方法

平常点（授業中の小テスト）60点と学年末試験40点の総合計で評価する。

教 科 書

教室で指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
スペイン語ⅡA〔再クラス〕	おぎの まさし 荻 野 雅 司	全 学 科 3 年	2
スペイン語ⅡB〔再クラス〕		禅・仏教・国文 歴史・経済・商3年	

講義のねらい

スペイン語ⅠとⅡを総合した基礎的スペイン語の概略を理解し、習得し直すことが基本的眼目となる。但し、スペイン語に限らず、文化のvehicleとしての外国語を学習し、これを活用することには、異文化に接する楽しみがあることを実感できる授業内容とする。

成績評価の方法

原則として中間と期末の2回のmajorなテストを行うが、成績の評価に当ってはそれのみに限定しない。日頃の出席状況と受講態度も等しく重視して評価を行う。

教 科 書

佐藤玖美子著 「NHK 楽しいスペイン語」（芸林書房）

科目名	担当者名	配当学科	単 位
スペイン語ⅡA〔再クラス〕	なか かわ きよし 中 川 清	全学科3年	2
スペイン語ⅡB〔再クラス〕		禅・仏教・国文 歴史・経済・商3年	

講義のねらい

初級スペイン語の復習からはじまって、中級スペイン語へとすすめる。前期・後期各期末テスト及び、平常の成績（毎回必ず1回以上あてられる）を加味して成績評価を行う。

教科書

中川清・児玉悦子
「新スペイン語読本 初級編」 アーバン・トランスレーション 2,000円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
スペイン語Ⅰ 〔再クラス〕	さ とう まりの 佐 藤 麻里乃	短国・短英2年	2

講義のねらい

文法の基礎を習得し、よく使う単語や表現を覚える。

履修上の留意点

再履修なので特に心して真剣に取り組むように。

成績評価の方法

筆記試験（通常の授業時に実施）・平常点・出席状況等の総合評価による。

教科書

開講時に指示。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ロシア語ⅠA・ⅠB 〔再クラス〕	あんたく 安徳ニーナ・木村 英明 きの 佐野 朝子・廣田 英靖	全学科2年	2

講義のねらい

1年次に授業に全く来なかった人、あるいは不幸にして落してしまった諸君、がっかりしないで下さい。どことが悪かったのか、じっくり考えてみましょう。自分で考えてわからなければ担当の先生に遠慮なく、訊いてみて下さい。まだまだ、十分に追いつくことができますので心配しないで下さい。1年間位でロシア語の勝負などつく筈はないのですから。ロシア語の再クラスはどれも少人数クラスですから、この機会をプラス思考で利用して下さい。先生方はいずれも心の優しいベテランの教員があたっていますから、家庭教師についたような気持ちで気長にやって下さい。諸君の気持一つで必ずや道は開けるものです。

講義の内容・授業スケジュール

もう1度基礎をみっちりやり直し、ロシア語という言葉がどんな特徴をもった言葉なのかを把握してもらいます。

履修上の留意点

- 前期・母音、子音の区別
- ウグリューニュの法則
 - インタナーツィアの法則
 - かんたんな名詞、形容詞、動詞の活用
- 後期・やさしいロシア語の挨拶をおぼえてもらいます。
- ロシア語の基本型を練習します。
 - やさしいロシア語文に馴れるようにします。
 - かんたんなロシア語の質問がロシア語で答えられるようにします。
 - ロシア語で時間とループリの表現方をおぼえます。

成績評価の方法

出席と毎回のミニテストとの総計

教科書

『ロシア語入門』 桑野隆 白水社 1,400円
 ※なお、担当の教員以外でも第1研究館6Fの1600号室に杉山がおりますから、何か相談ごと、質問のある方はいらして下さい。不在の時は、伝言メモを書いておして下さい。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ロシア語ⅡA〔再クラス〕	あん たく 安 徳 ニーナ	全学科3年	2
ロシア語ⅡB〔再クラス〕	ひろ た ひで やす 廣 田 英 靖	禅・仏教・国文 歴史・経済・商3年	

講義のねらい

1年次の基礎ロシア語をもう一度復習し、中級程度のロシア語の力をつけます。

講義の内容・授業スケジュール

- 格変化の復習をします。
- 形動詞の練習をします。
- 1年次に学んだ語い力を拡げます。
- 基本文型をつかった会話文を復習し、身につけます。

履修上の留意点

◦出席の重視。毎回提出してもらおうディクタント(ききとり)、その他のミニテストの総計で評価します。

教科書

教場にて指示します。

外 国 語 科 目

選 択 科 目

外 国 語 科 目

《選 択 科 目》

英 文 講 読	(清 水 祐 次)	387
英 文 講 読	(矢 島 直 子)	387
英 文 講 読	(前 田 脩)	388
ドイツ語外国書講読	(吾 妻 雄次郎)	388
フランス語外国書講読	(野 沢 協)	389
中国語外国書講読	(岩 崎 皇)	389
スペイン語外国書講読	(上 野 勝 広)	390
ロシア語外国書講読	(杉 山 秀 子)	390
時事英語研究	(河 内 賢 隆)	391
時事英語研究	(岸 本 茂 和)	391
時事英語研究	(町 田 尚 子)	392
時事ドイツ語	(柴 野 博 子)	392
時事フランス語	(遠 山 博 雄)	393
時事中国語	(釜 屋 修)	393
時事スペイン語	(上 野 勝 広)	394
時事ロシア語	(木 村 英 明)	394
マルチ・メディア	(落 合 和 昭)	395
マルチ・メディア	(大 庭 直 樹)	395
上級ドイツ語	(野 島 利 彰)	396
上級フランス語	(前期：加藤 節子) (後期：小玉 齊夫)	396
上級中国語	(李 雲)	397
上級スペイン語	(上 野 勝 広)	397
上級ロシア語	(クロチコフ, I. B.)	398
英 会 話 II	(ピアス, D. M.)	399
英 会 話 II	(ジグラール, P. M.)	399
英 会 話 II	(ウエイド, D. A.)	400
英 会 話 III	(ノーラン, D. J.)	401
英 会 話 III	(ウェルズ, J. K.)	402
英 会 話 III	(デンドウ, G.)	402
ドイツ語 LL I	(小林 ゲアリンデ)	403
フランス語 LL I	(ボダン, E.)	403
中国語 LL I	(小 川 隆)	404
スペイン語 LL I	(ナバロ, ホワン J.)	404
ロシア語 LL I	(安 徳 ニーナ)	405
英 語 LL II	(ベンディネリィ, P. A.)	406
英 語 LL II	(西 村 祐 子)	406
英 語 LL II	(風 間 則比古)	407
ドイツ語 LL II	(小林 ゲアリンデ)	407
フランス語 LL II	(ボダン, E.)	408

中国語 LLII	(松本 丁俊)	408
スペイン語 LLII	(ナバロ, ホワン J.)	409
ロシア語 LLII	(安徳 ニーナ)	409
英語 LLIII	(岩山 義春)	410
英語 LLIII	(西村 祐子)	410
英語 LLIII	(大澤 ひさ子)	411
ドイツ語 IA (選)	(清水 修)	411
フランス語 IA (選)	(竹田 正純)	412
中国語 IA (選)	(釜屋 修)	412
スペイン語 IA (選)	(ナバローポロ, L. S.)	413
ロシア語 IA (選)	(佐野 朝子)	413
ドイツ語 IB (選)	(柴野 博子)	414
フランス語 IB (選)	(遠山 博雄)	414
中国語 IB (選)	(小寺 春水)	415
スペイン語 IB (選)	(瓜谷 アウロラ)	415
ロシア語 IB (選)	(木村 英明)	416
ドイツ語 II (選)	(志真 斗美恵)	416
フランス語 II (選)	(浜崎 設夫)	417
中国語 II (選)	(布施 直子)	417
スペイン語 II (選)	(ナバロ, ホワン J.)	418
ロシア語 II (選)	(クロチコフ, I. B.)	418
英語 I	(田中 保)	419
英語 I	(大川 浩)	419
英語 I	(大川 浩)	419
英語 I	(町田 尚子)	420
英語 I	(高野 秀夫)	420
英語 I	(吉沢 栄治郎)	421
ドイツ語 I	(吉田 文子)	421
ドイツ語 I	(吾妻 雄次郎)	422
フランス語 I	(竹田 正純)	422
中国語 I	(伊禮 智香子)	423
スペイン語 I	(佐藤 紘子)	423
英語 II	(伊藤 幸一)	424
英語 II	(石原 孝哉)	424
英語 II	(大澤 ひさ子)	425
英語 II	(滝 静寿)	425
英語 II	(吉沢 栄治郎)	426
英語 II	(熊崎 久子)	426
ドイツ語 II	(松岡 晋)	427
フランス語 II	(伊藤 なお)	427
中国語 II	(李 雲)	428
スペイン語 II	(丹羽 昌一)	428

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 文 講 読 〔 英 語 聖 書 〕	し みず ゆう し 清 水 祐 次	全 学 科 1・2・3・4 選 (英 米 文・法 律・政 治・経 営 除 く) 短 国・短 英 1・2 選	4

講義のねらい

英語聖書を読み、とくにその文体の表現の美しさにふれることを主眼とする。
はじめに聖書の概念的知識から、英語聖書成立の歴史、その文化的・文学的意義などについて
数回講義したあと、英語聖書の原文の要所と思われる部分を中心に講読をすすめる。
聖書には無数ともいえるversionsがあるが、その中から欽定訳の香りを最も良く伝える現代
語訳であるRevised Standard Versionをテキストに用いたいと考えている。

成績評価の方法

前期後期の試験、レポート並びに平常点で総合的に評価する。
なお、欠席が授業時数の3分の1を超える場合には、原則として単位の修得はできない。

教科書

具体的なテキストについては未定。参考書等もあわせて教場で指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 文 講 読 〔 現 代 イ ギ リ ス 演 劇 〕	や じ ま な お こ 矢 島 直 子	全 学 科 1・2・3・4 選 (英 米 文・法 律・政 治・経 営 除 く) 短 国・短 英 1・2 選	4

講義のねらい

イギリスの現代劇作家の作品を前期1冊（少し後期にズレ込む）、後期1冊読む。前期に読む
オートンの作品はドタバタ喜劇である（1995年夏にロンドンの劇場でこの芝居を見て大笑いした）。
けれども、決して軽いものではなく、毒気も内容もしっかりあって、せりふもきちんとした英語
である。後期のラッセルの作品はやはり喜劇であるが、ドタバタではない。イキのよい現代英語
で書かれており、「教育」とは何かを考えさせる作品である。予習を前提とした演習形式を取る。
会話体ではあるが、かなりの量を読むことになる。イギリス現代戯曲の一端を読むことで、生き
生きとした会話を学ぶのみならず、イギリスの演劇がどのようなものか、学ぶことになる。

成績評価の方法

授業中にあてる回数が多いので、平常点が10%、前期中間テストと後期中間テストが30%、前
期末試験と後期末試験が60%である。外国語の勉強には平常授業が大事なので、原則として、平
常授業（前・後期の定期試験日、中間試験日は除く）の欠席率が3分の1を超えた場合は不合格
とする。

教科書

- 1) Joe Orton, What the Butler Saw (A Methuen Modern Play), Methuen.
- 2) Willy Russell, Educating Rita (Longman Literature), Longman.

科目名	担当者名	配当学科	単位
英文講読 〔19世紀イギリス文化〕	まえ だ おさむ 前 田 脩	全学科1・2・3・4選 (英文文・法律・政治・経営除く) 短 国・短 英1・2選	4

講義の内容・
授業スケジュール

19世紀イギリス文化を扱います。前期は、ヴィクトリア女王時代の時代背景を、絵画やテキストによって少しでも明らかにし、その時代についての知識をふやしてゆきます。後期は、ヴィクトリア時代の趣味を扱います。とりわけ庭園や建築に表われた同時代の趣味から家庭内の趣味へとどのように開花するのか、当時の図版や庭園論等のコピーを使って見てゆきたいと思います。

成績評価の方法

日常評価と出席率、前期・後期テストを総合評価します。

教科書

David Thomson 『England in the Nineteenth Century』 PENGUIN

科目名	担当者名	配当学科	単位
ドイツ語外国書講読	あ づま ゆう じ ろ う 吾 妻 雄 次 郎	全学科3・4選 (法律・政治・経営除く)	4

講義のねらい

1, 2年でドイツ語を学び、さらに一歩進んでドイツ語の文章に触れたいという学生諸君には、内容的にも、また言語としても十分刺激になり、満足のいくドイツ文が求められると思います。そしてある程度の量も消化しなければならないと思います。

講義の内容・
授業スケジュール

まず統一ドイツの出発点となった、ベルリンの壁崩壊直後のインタビュー記事から入ってみたいと思います。これは2, 3年前にイタリアで急死された、当時フンボルト大学教授でありベルリンの森鴉外記念館の館長を勤められたユルゲン・ベルント氏によって行われたものです。それから現代に拘わりをもったトーマス・マンの講演等も読みたいと思います。あるいはまた日本に関する週刊誌や新聞記事にも目を通したく思っています。

履修上の留意点

【履修上の留意点】や【成績評価の方法】等についてはいまさら多言を要しないと思います。参加する学生諸君と共に『外国書講読』の望ましい形態を探り当てたいと願っています。

教科書

吾妻雄次郎編著『インタビュー』朝日出版社 ¥1,200

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
フランス語外国書講読	野 沢 協 <small>の ざわ きょう</small>	全 学 科 3・4 選 (法律・政治・経営除く)	4

講義のねらい

初級（1年次）、中級（2年次）のフランス語を修了した学生の内、さらにひきつづき、より高度なフランス語の学習を希望する者を対象とした授業で、主に読解力の育成を目的とします。通常の大人向けの本を読むことになります。

履修上の留意点

受講生の語学力があまり不均等だと、授業が成立しませんので、中級修了者という前提条件に特に留意してください。また、毎回必ず学生に当てますので、全員の予習が欠かせないでしょう。

成績評価の方法

成績評価の方法は受講生の数によりますが、数名ならばあえて試験はせず、平常点で採点します。受講生の数が多く、日常の授業で学生個々の学力が十分把握できない時は、年に1度ないし2度、ペーパー・テストをせざるをえません。

教 科 書

全学科を対象とする関係上、受講生の学部・学科、関心の所在などが現段階では不明なため、教材はあらかじめ指定しません。第1回目の授業で、出席者と相談の上決定します。内容的には社会・政治関係よし、宗教関係よし、文学書よしで、授業担当者の専攻領域にはこだわりませんが、できれば、あまりジャーナリスティックなものではなく、何か古典的なテキストでも読めればと思っています。

候補のひとつとしては、19世紀末の大地理学者で無政府主義の思想家でもあったエリゼ・ルクリュ（1830-1905）が著わした地理学の啓蒙書で、文学的なエッセーとしても読める『小川の一代記』（1869）なども考えていますが、あくまでも受講生と相談の上で教材はきめるつもりです。

ただ、何を教材に選ぶにせよ、教科書版として日本で発行されていない本を使うことになるでしょうから、受講生の人数分だけ原書をコピーして、それを教材とします。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
中国語外国書講読	岩 崎 皇 <small>いわ さき ひろし</small>	全 学 科 3・4 選 (法律・政治・経営除く)	4

講義のねらい

本を読むとは、その内容を理解することが第一だが、外国書の場合その言語に慣れることも目的の一つである。内容の理解は経験がものをいい、経験から予測もできない内容は分かりづらく、さらにそれが外国語で書かれていたら、言葉そのものへの不慣れと相まって理解はかなり難しくなる。中国語という言葉に慣れるには、内容が分かりやすい説明文が良いと思う。さらにその説明の対象が身近なものほど分かりやすいはずである。内容の面白さは好みに左右されるので、何とも言えないが。

授業では、まず、陳建民著『言語文化社会新探』の第3章「人名」を読む。似ているようで違っている中国の理解にも役立つはずである。テキストはこちらでコピーを用意する。

参 考 書 等

陳建民著『言語文化社会新探』第3章「人名」

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
スペイン語外国書講読	うえ の かつ ひろ 上 野 勝 広	全学科3・4選 (法律・政治・経営除く)	4

講義のねらい

今世紀のメキシコ文学を代表する作家の一人、ファン・ルルフォの短編小説集『燃える平原』を講読する。基礎文法の補充とメキシコのスペイン語の表現に関する説明をまじえながら、17編の作品をじっくり味わってゆきたい。

講義の内容・
授業スケジュール

3回の授業で2つの作品を読みこなす予定である。

履修上の留意点

受講にあたっては、必ず下読み、下調べをした上での出席が要求される。

成績評価の方法

出席を含む平常点および年間2回（夏休み明けと学年末）提出のレポートで総合的に評価する。試験は行わない。

教 科 書

Juan Rulfo : El llano en llamas, Fondo de Cultura Económica.

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ロシア語外国書講読	すぎ やま ひで こ 杉 山 秀 子	全学科3・4選 (法律・政治・経営除く)	4

講義のねらい

1～2年次で得たロシア語の基礎力のうえに更に読解や表現力の応用を身につけることを目標とします。最新のロシア情勢をふまえた読みもの、セミナー、クロコディル等を毎回読み、何が書かれているか、ロシア語できますから、自分の知っている範囲の語いで答えるように努力してみてください。もちろん答えられないからといって、すべてダメではなく、だんだん馴れるようになりますから安心して下さい。ロシア語の文章を単に眼で追うだけではなく、その中に書かれている内容を正しく伝達することも重要です。このためには正しい力点、イントネーション、発音、表現が必要なことは言うまでもありません。

授業では簡単な読みものを読むだけではなく、ナチュラル・スピードで話しているロシア人の声をきき、発話の練習もしてもらいます。

成績評価の方法

出席を重視します。毎回オーラルの小テストを一人一人に課します。小テストと日常点、出席率との総合で評価を定めます。

教 科 書

プリント配布。

参 考 書 等

露和辞典。

科目名	担当者名	配当学科	単位
時事英語研究	かわ うち けん りゅう 河 内 賢 隆	全学科1・2・3・4選 (英米文・法律・政治除く) 短国・短英1・2選	4

講義の内容・
授業スケジュール

現代は、文字通り世界の歴史が書き換えられつつある激動の時代である。それだけに、我にはたえずしっかりした自己の確立を目指さなくてはならぬ。本授業では、新聞、雑誌などに取り上げられた科学、スポーツ、政治、経済などのテーマを扱い、英語を通して時代感覚を磨いていきたいと思う。なお、時事英語には倒置、省略、品詞の転換など興味深い語法が見られるので、それらを通してスクール・グラマーを越えた表現にも目を向けたいと思う。

成績評価の方法

授業中の発表(年約5回)、短い質問(約3回)、前・後期の定期試験の結果、および出席点(但し、出席は原則として授業日数の3分の2以上でなければならない)などのそれぞれを加えて評価する。なお定期試験に関し、やむを得ず欠席した場合、事情によってレポートを課す場合もある。

教科書

'96年度版 時事英語・世界展望 金星堂 ¥1,900

科目名	担当者名	配当学科	単位
時事英語研究	まし もと しげ かず 岸 本 茂 和	全学科1・2・3・4選 (英米文・法律・政治除く) 短国・短英1・2選	4

講義の内容・
授業スケジュール

1960年代以降のアメリカ合衆国を理解する鍵のことば。大学における「フリー・スピーチ」運動、ヒッピー、性革命、公民権運動、ウーマンリブ、ホモセクシュアリティ、嫌煙から禁煙へ、等々。そして1980年代後半以降のアメリカの政治的・文化的状況を理解するもっとも適切なキーワードが「ポリティカル・コレクトネス」=政治的妥当性=PC運動であると思われる。マジョリティーとマイノリティー。人種差別主義(racism)や性差別主義(sexism)から由来する広範な分野における差別用語の排除。等々。これらの「政治的に正しい」用語や態度が、現代アメリカにおいて真の美德になっているのか、括弧つきの<美德>にとどまっているのかを知ることによって、多民族国家=多文化主義国家であるアメリカ合衆国を理解する一助になれば……と思う。

履修上の留意点

授業にはかならず英和辞典を携行すること。

成績評価の方法

試験は中間試験と定期試験の年2回。60点以上をパスサブルとする。年間授業時間の3分の1以上を欠席した場合は不合格とする。

教科書

ジェイン・B・マック『現代アメリカの<美德>』(朝日出版社 定価1,400円)

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
時 事 英 語 研 究	まち だ なお こ 町 田 尚 子	全学科1・2・3・4選 (英米文・法律・政治除く) 短国・短英1・2選	4

講義のねらい

このコースは海外で発行されている英字新聞が読みこなせるようになることを第一の目的としています。ジャーナリズム、特に報道の英語は読み手に情報あるいは記者・論説者の意見を正確に伝えることを旨としているので、一定の約束事と特有の表現と文体に習熟すれば、ニューヨークタイムズでもそれほど苦勞せず読めるようになります。第二の目的は日本の経済・政治・社会に関する出来事や問題が海外の英字新聞でその国あるいは土地の読者にどのように紹介され、論じられているかを読み、外からの視点に接することです。日本で報道されている問題を「世界から見た日本」という観点からもう一度考えてみようと思うのです。さらに最終目標は与えられた報道情報を整理し、自らの見解を持つことです。

講義の内容・
授業スケジュール

前期（5月中旬まで）

1) 英字新聞概説（下記タイトルを中心に説明します。）

“Why do we have to read overseas English newspapers?”

“What are the elements of the English newspaper?”

“The form of news story”

“Never ever jump the headline!- its functions and grammar”

“The inverted pyramid”

2) 新聞英語の文体について

同格構文、埋込み文（関係節、補文）が多用される英語の読み方のコツとパラグラフ展開に焦点を当て説明します。

（5月中旬以降）

日本の市場開放問題、日本の国際協力・援助、アジアの近隣諸国との関係等に関連した記事を教材として準備し、渡します。各担当者が概要と問題点を発表する演習形式で授業を進めます。ニューヨークタイムズ、ロンドンタイムズ、サンデイタイムズ、ストレイツタイムズ（シンガポール）等から取る予定です。

後期

前期のニュース記事から、特に10月中旬以降は、論説・社説、特集記事を集中的に読みます。例えば“Four Pathways Japan Might Take” (The New York Times; Economic Scene), “Japan’s Better Example” (The New York Times; editorial) などに類するものを扱います。

成績評価の方法

担当発表の平常点と前期／後期の筆記試験で評価します。

教 科 書

記事・論説等のプリントとハンドアウト。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
時 事 ド イ ツ 語	しば の ひろ こ 柴 野 博 子	全学科3・4選 (法律・政治除く)	4

講義のねらい

1995年は第二次世界大戦終結からちょうど50年目にあたる節目の年でした。そこでこの授業では、前期は「ドイツの政治」をはじめ、「ドイツの文化」、「ドイツとヨーロッパ」などの問題について、ドイツの代表的な新聞に掲載された記事を読んで行きます。後期は「ドイツと日本」というテーマで、ドイツの新聞に取上げられた日本に関する記事を読みます。この授業を通じて、ドイツ語の報道文に慣れると同時に、ドイツの政治や文化についても理解を深めることができれば幸いです。

教 科 書

石井寿子編『時事ドイツ語』〈'95年トピックス〉 朝日出版社、1,600円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
時 事 フ ラ ン ス 語	と お 遠 や ま 山 ひ ろ 博 お 雄	全 学 科 3・4 選 (法 律・政 治 除 く)	4

講義のねらい

すでに学んできたフランス語の知識を確認しつつ生かし、さらに深めながら同時代のフランスやフランス語圏の社会の動きに関する短い記事を読んでいます。必ずしも平易なものばかりでもありませんが、注釈のある教材を用いて行ないますから特に心配はいりません。(もちろん、学習者が自分で辞書を調べてまず訳してみることが前提です。)1995年4月に発行された教科書ですが、「時事」という性格上すでに意味を失っているパラグラフもありますから、適当に間引いて読み進めていきます。また折にふれて、プリント、ニュースビデオ、担当者の経験談などで補足をしていきます。

教 科 書

『全方位50のヴェルシオン』 恒川邦夫編(朝日出版社)
(6～40までの項目の大部分を対象とします。)

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
時 事 中 国 語	か ま 釜 や 屋 お さ む 修	全 学 科 3・4 選 (法 律・政 治 除 く)	4

講義のねらい

今までの中国語学習経験(2年程度)をいかし、教科書文体ではなく、中国の新聞、雑誌などのナマ教材に挑戦するクラスである。①正確な読みから流暢な読みへ ②単なる文意の把握で終わらずにいきいきした精彩ある翻訳へ、をめざし、さらに、③原文からなまなましく読みとる最新情報を通して中国の民衆の感情に迫りたい。

教 科 書

教材はすべてピンインなし、辞書を多用する。『現代中国語辞典』(光生館)『中日大辞典』(大修館)『中日辞典』(小学館)のどれかを必要とする。

そ の 他

成績は努力とともについてくる、中国語のおもしろさを自分でたしかめる、そんな気持ちで挑戦してもらえる中国語冒険クラスである。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
時 事 ス ペ イ ン 語	うえ の かつ ひろ 上 野 勝 広	全 学 科 3・4 選 (法律・政治除く)	4

講義のねらい

スペインないしラテンアメリカの新聞・雑誌から政治・経済・社会・文化に関する記事を抜粋して講読する。生きのいい現代スペイン語の表現を学ぶとともに、スペイン語圏諸国が今直面している問題を考える契機としたい。

履修上の留意点

毎回の授業には、必ず下調べをした上で出席することが要求される。

成績評価の方法

出席を含む平常点および年間4回の試験の結果により総合的に評価する。

教 科 書

プリント使用。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
時 事 ロ シ ア 語	き むら ひで あき 木 村 英 明	全 学 科 3・4 選 (法律・政治除く)	4

講義のねらい

1991年のソビエト連邦崩壊以降、ロシアは混迷の淵にある。しかし、依然としてロシア情勢が世界の政治や経済の枠組みに及ぼす影響は多大なものがある。激動期を生きるロシアの動向に、じかにロシア語を通して触れることで、巨大な隣国の抱える様々な問題をより身近なものとして認識してほしい。

講義の内容・
授業スケジュール

ロシアの代表的な週刊新聞『論拠と事実』や週刊誌『ともしび』などの中から、政治、経済の新しい情報や民族問題を巡る議論をとりあげ、語彙、文法に十分留意しながらじっくり読んでいくことにする。テキストは随時プリントの形で配布する。

履修上の留意点

語彙的に比較的平易な記事を選ぶようにするが、みずから辞書を引いて予習することを心がけてほしい。語形変化が多いロシア語では、始めは辞書を引くのも容易ではない。何よりも、その苦勞を厭わないことを、このクラスに参加する学生には望みたい。

成績評価の方法

前期、後期の二回の筆記試験に、出席状況を加味して考慮する。

教 科 書

プリント配布。

参 考 書 等

日露辞典。

そ の 他

ビデオなどの視聴覚教材も折りを見て使用していきたい。また、ロシア語の記事内容に関連する英語や日本語の資料も出来るだけ紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
マルチ・メディア	おち 落 あい 合 かず 和 あき 昭	全学科1・2・3・4選 短国・短英1・2選	2

講義の内容・
授業スケジュール

この科目の講義名は「アメリカ映画——鑑賞と台本研究——」とし、ビデオで映画を鑑賞し、映画台本を使って台詞を確認する。その際に、台詞の第一義の意味だけでなく、台詞の第二義の意味・感情表現（怒り、嫉妬、喜び、悲しみ、笑い、ほのめかし等）の把握にも努める。この科目は徹底した演習形式を取るため、学生は毎回必ず下調べをしておくなければならない。学生数を40人に限定するため、ほぼ毎回当たる、と思われる。そして、学生には台詞の第二義の意味を重視した発表をもらい、その後、教師の側からさらに細かい点についていくつか質問をする。この科目は映画好きだけでなく、ヒアリング、会話表現を、さらに、身につけようと考えている人にも適している。しかし、この科目は単なる映画鑑賞の科目ではない、ということには心に銘記しておく必要がある。学生にとって、この科目は最も厳しい科目の一つになるだろう。

成績評価の方法

定期試験の形では行わず、毎回の「発表」、「課題」等で評価をする。
出席に関しては、全授業回数の3分の2に達しない場合は「不合格」とする。

教 科 書

『百万長者と結婚する方法』 英宝社 2,000円
『俺たちに明日はない』 ニューカレントインターナショナル 2,000円

そ の 他

この科目は「英会話」や「LL」を受講した学生を対象にしているため、受講者は「英会話」や「LL」の科目を履修したか、口語英語を一、二年学んだことのある学生が望ましい。そのため、映画の台詞をほぼ完全に理解できる学生にとっては、物足りない科目である。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
マルチ・メディア	おお 大 ほ 庭 なお 直 ま き 樹	全学科1・2・3・4選 短国・短英1・2選	2

講義のねらい

このクラスは、コンピューターを使って、英語を学ぶクラスである。
コンピューターに初めて触れることになる学生を対象に、まず受講者全員がソフトType Quick for Windowsを使ってブラインドタッチでキーボードが打てるように訓練する。この訓練を1年間続けることによって、受講者は、相当のスピードでキーボードを操作できるようになる。

第二の課題として、WordPerfect, Word for Windows 95 のソフトを使って、論文、公式文書、ビジネス文、手紙等の書き方を学ぶ。受講者は、自分で各種の英文を書き、自分で書いた英文のSpellやGrammarをコンピューターにチェックさせる訓練をする。更に、これらのソフトが持つ機能、アウトライン・プロセッサ、テンプレートの使い方も学び、コンピューターを「思考の道具」として利用することを体得する。

第三の課題として、マルチメディア語学教材「マイクロ・イングリッシュ Windows 版」を使って、学生がコンピューターを相手に、英会話、英文読解、英文作成、TOEFLの問題に挑む。このソフトは統計処理によって、全学習者・クラス・グループ・個人別に評価設定が可能なので、受講者は成績結果を分析して各自の英語力向上の指針として利用する。

最後に、電算室でインターネットの使用が可能になれば、世界の情報網へのアクセスやE-mailの交換などを体験する。

さあ、このクラスで「知のコンピューター」活用を楽しもう。

教 科 書

使用ソフト—— Type Quick for Windows
WordPerfect for Macintosh
Word for Windows 95
Micro English for Windows
受講者はフロッピーディスクのみ用意する—詳細は、教場で指示する。

成績評価の方法

試験、定期試験なるものは行わない。成績は、各学生の1年間の成果を評価する。

そ の 他

上記のソフトはすべて、電算機事務室（4号館2F）に置いてあるので、受講者は、教室以外、各自の必要度にあわせて自習室（朝9時より夜9時まで開館）で補習すること。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
上 級 ド イ ツ 語	の 野 じま 島 とし 利 あき 彰	全 学 科 3・4 選 (法 律・政 治 除 く)	2

講義のねらい

論理的な文章を読む（プリント教材）。次回の分を毎回文法的な事項を質問することで解説し、予習しやすくする。また基本的な構造を理解する助けとするため簡単な作文練習を30分程度行う。

成績評価の方法

成績評価は提出された訳と作文の成績で判断される。

教 科 書

大岩著『やさしい独作文』三修社 ¥1,250

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
上 級 フ ラ ン ス 語	(前期) か 藤 節 子 こ 小 だま 玉 なり 齊 お夫	全 学 科 3・4 選 (法 律・政 治 除 く)	2

講義のねらい

中級文法読本教科書によって、これまでの文法事項を再確認するとともに、さまざまな文章の読解を試みます。

講義の内容・授業スケジュール

おそらく小人数のクラスであることが予測され、その意味では授業の進展にもゆとりがとれますので、細部にわたっての説明も可能でしょうし、また文章領域にとどまらないフランス語・文化への接触も可能でしょう。

教科書は、第一部でやさしい物語を中心に、聞いて理解する力をのばす訓練、第二部では文法の知識を補うために、複文構造の理解力や条件法、接続法の復習を行い、第三部ではより高度な作品が読みこなせる力を養成するという構成になっています。

前期と後期では担当教員が代わりますが、後期には、受講者の希望にしたがい、フランス語検定試験の3級、2級受験のための授業も考えています。

履修上の留意点

せっかく始めたフランス語を、「もう少し完全に、もう少し上手に」したいと思う学生の積極的な参加を期待します。フランス語が「もっと楽しく」なるでしょうから。

成績評価の方法

教場で指示します。

教 科 書

福井芳男・丸山圭三郎『フランス語中級文法読本』5訂版（駿河台出版社 979円）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
上 級 中 国 語	李 雲	全 学 科 3・4 選 (法律・政治除く)	2

講義のねらい

日中語学の構造上の異同、特に表現法、発想法の相異を追求するのが、この講義のねらいである。

講義の内容・
授業スケジュール

授業では、日中語学の違いを説明する短かい文章を読みながら、一年、二年で習った中国語の文型・文法を系統的、総合的に学んでいく。

履修上の留意点

宿題として中文日訳を要求する。

成績評価の方法

出席重視で、2課に一回程度、訳の小テスト或いは感想文を要求する。

教 科 書

『中国語学講読 ことばのしくみ』（東方書店 1,010円）を主な教材として使うが、教材を購入する必要はなく、そのつど教室でプリントを配る。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
上 級 ス ペ イ ン 語	上 野 勝 広	全 学 科 3・4 選 (法律・政治除く)	2

講義のねらい

スペイン語 I・II で培ってきた基礎力を土台にして、語彙と表現力をさらに高めるための西作文演習クラスである。

講義の内容・
授業スケジュール

前期は基礎文法および語彙をチェックするため、比較的易しい短文の西訳練習に集中する。後期は手紙文などのコンテキストとまとまりをもった分量の作文に発展させてゆく。

履修上の留意点

出席はもちろんだが、毎回授業の中で一定の課題をこなすことが要求される。受講者は積極的に学習に取り組まなければ、決して成果をあげることができない。

成績評価の方法

出席を含む平常点および随時提出を求める課題の成果により総合的に評価する。特に試験は行わない。

教 科 書

プリント使用。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
上 級 ロ シ ア 語	クロチコフ, ユーリー	全 学 科 3・4 選 (法律・政治除く)	2

講義のねらい

初級・中級のロシア語を復習しながら、より高度なロシア語を学び、偏りのない語学力をつけるように訓練します。

講義の内容・
授業スケジュール

- ① 日本人が誤りやすい発音インターティアを抽出して集中的に練習します。
- ② 日本人が誤りやすいロシア語の単語の使用法、フレーズの用いられ方などを系統的に指摘し、正しい語法を学びます。
- ③ 日本人が誤りやすい文法の傾向をピック・アップしてどこがおかしいのか具体的に指摘し、正しい使い方を提示します。

成績評価の方法

出席と（ミニテストを含む）日常点、その他テストで評価します。

教 科 書

教場にて指示します。

英 会 話 II

〈英会話Ⅱの授業内容と履修上の留意点〉

英語を母語とする外国人教師が担当します。英会話Ⅰのレベルを修得しているか、またはそれに相当する力を持っていることを前提とします。関心のあるトピックを話したり、議論できることを目指した大学中級レベルの英語会話の授業です。達成目標の目安は英検準1級合格、TOEFLのスコア-500程度。各担当者の講義内容（syllabus）をよく読み、時間割表で曜日・時限を確認してクラスを選び、事前登録をしなければなりません。

担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ピアス, D. M.	全学科2・3・4選 短国・短英2選	2

講義の内容

This is an advanced class for English conversation, but if you are at the elementary level, it is still a good course for you. In this class we will continue the basic conversation practice of English Conversation I ; we will practice conversation patterns for everyday situations and practice elementary dialogues. We will also spend some time reviewing grammar, particularly for TOEFL, EIKEN, etc., some time on English composition, and some time practicing listening comprehension. Most of all we will also practice advanced conversation. Every week we will have conversation practice for holding "intelligent" dialogues about interesting topics instead of simple everyday conversation. I will also give short lectures on the differences between Japanese and American culture, and you will have practice talking to each other about what you think about these topics. The advanced conversation practice will give you very good preparation for the English III classes in the next year. You will love the course ; please join in!

担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
P. Ziegler	全学科2・3・4選 短国・短英2選	2

講義のねらい

The goal of this course is to teach students to recognize and produce high-frequency American idioms through natural conversation samples reflecting social customs. These are meant to serve as the basis for discussions. Newspaper articles may be introduced occasionally.

成績評価の方法

Student assessment will be based upon numerous homework assignments, weekly presentations, monthly quizzes and semester examinations.

教 科 書

All Clear! Idioms in Context, Heinle & Heinle ; copies

担当者名	配当学科	単 位
David A. Wade	全学科2・3・4選 短国・短英2選	2

講義のねらい

A selected conversation textbook could be usefully supplemented with current issues of English language newspapers that are readily available in Japan, such as *The Japan Times* and the *Asahi Evening News*.

I believe newspapers are one of the most helpful resources for getting students to speak up—whether it's to talk about a sumo tournament, the fashion news, a natural disaster, or the latest Beatles record. All too often, standard textbooks can be stuffy, intimidating and seemingly remote. Newspapers, even those in an unfamiliar language, are familiar objects packed full of information and opinions about matters that will immediately engage the students' interests.

講義の内容・ 授業スケジュール

The curriculum for a conversation class might be divided into three main areas :

1. Enlarging vocabulary and correct pronunciation.
2. Conversation strategies.
3. Conversation tactics.

Conversational strategies include the following :

Formal vs. informal discourse

Conversational tone and verbal 'good manners'

Starting a conversation-openings & introductions

Keeping conversation going

Organizing thoughts or arguments

Informational exchanges (e.g., asking for directions)

Commercial encounters (e.g., buying something in a store)

Persuasive conversations (e.g., asking someone to do something)

'Promotional' dialogues (e.g., talking at a job interview)

While Conversational tactics include such topics as :

Greetings-common phrases and formulas

Introducing oneself or others

Farewells

Verbal place-holders and time-buyers

Making sure one has been understood

Requesting clarification

Asking for confirmation

Making generalizations

Expressing personal opinions

Signs of agreement

How to disagree politely

Expressing likes and dislikes

Recognizing and signaling digressions

Tag questions-how to spot them & how to use them

Expressing hopes and desires

Stating one's reasons

Listening to & telling jokes

A typical class might be divided along the following lines :

- a. Short warm-up period of free conversation (this is also an opportunity to deal with any vocabulary or pronunciation problems that have arisen)
- b. Review of the previous week's assignments.
- c. Vocabulary and Pronunciation (key words for the week)
- d. Main topic-conversational strategy and/or tactics.
- e. Practice groups & pairings-arranged by the students' common interests (e.g. science and technology, current affairs, business, the arts, and so)
- f. Review summary (plus setting of assignment for next class)

Assignments could include such tasks as :

- * Finding new words to share with the group
- * Selecting a short text to explain in their own words
- * Expressing why they disagree with an article or editorial
- * Compiling a list of questions provoked by a particular piece
- * Preparing short talks about their own experiences in travel, sports, etc.

成績評価の方法

Methods of assessment and grading depend on the size of the classes and the facilities available. It could be chosen from an appropriate mix of the following :

- * Multiple choice quizzes to select correct words, phrases, and conversational tactics
- * Answering questions on tape (if language lab available)
 - answering short quizzes on set texts
 - personal responses to prerecorded questions
- * Short one-on-one interviews (if numbers make this practicable)
 - regarding a preset text or article
 - a mock job interview
 - about their own progress in this conversation class
- * Practice run-through of TOEFL-style questionnaires

教科書

Of the various textbooks that I've had the opportunity to review so far, one of the most promising appears to be :

CONVERSATION GAMBITS : Real English Conversation Practices

Eric Keller and Sylvia T.Warner

(LTP-Meynard Publishing : 03-3491-1331)

In the next couple of days I'm also going to assess a brand new text :

LET'S SPEAK (with cassettes, from Longman)

Perhaps these two books would work well hand-in-hand.

参考書等

Plus, I would like all students to have a dictionary such as the LONGMAN ACTIVE STUDY DICTIONARY on hand to expand their vocabulary.

英 会 話 Ⅲ

〈英会話Ⅲの授業内容と履修上の留意点〉

英語を母語とする外国人教師が担当します。英会話Ⅱのレベルを修得しているか、またはそれに相当する力を持っていることを前提とします。自分の専門分野のトピックを発表し、論じられる表現力を目指した大学上級レベルの英語会話の授業です。達成目標は英検1級合格、TOEFLのスコア550以上。各担当者の講義内容 (syllabus) をよく読み、時間割表で曜日・時限を確認してクラスを選び、事前登録をしなければなりません。

担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ノーラン, デニス J.	全学科2・3・4選 短国・短英2選	2

講義のねらい

中級レベルでlistening, speaking and reading skillsを向上する目的で指導する講座であると共に教科書の各章の課題とその課題と関係あるビデオを通して、多くの国の文化と価値観を紹介する。レッスンの第1編として、ある外国人学生の履歴的なデータを提供し、それを元にしてリスニング練習を行う。次に、同じ人物についての短いエッセイを読ませ、その内容の理解度を確かめるために質問に答えてもらう。また、本講座の受講生が自分自身のことについて話すように様々な練習が設けられている。第2編では、第1編で紹介した外国人の国に対する基礎的な知識を題材にしたリスニングと文章パターンの幾種類の練習をやることによって一つのレッスンが終わる。

講義の内容・ 授業スケジュール

大体、1時限で教科書の一章。

成績評価の方法

出席、授業参加、短いspeech、小試験、期末試験。

教 科 書

Speaking Internationally, Macmillan Language House, ¥1,600.

担当者名	配当学科	単 位
John Wells	全学科2・3・4選 短国・短英2選	2

講義のねらい

Welcome students to my class. I'm sure that 1996 will be an exciting school year for all of you!

My English conversation class will be an open class for those students who are able to follow English lectures, and are willing to participate in group discussions on a variety of subjects.

During the school year, you will be asked to make an oral presentation to the class as well as write an occasional report whether it be on a movie that we watch, or some world news event.

The class is designed so that you will get an excellent chance to communicate your ideas to others.

履修上の留意点

Course prerequisite : a good command of the English language

Attendance : No student will be allowed to miss more than three classes during the school year

成績評価の方法

Grading : You will be strongly graded on participation as well as speeches, reports, quizzes or tests if given.

教科書

Classroom material : textbook (undecided) newspaper/magazine articles and printouts.

その他

This class is not designed for the quiet student, but hopefully will be attractive for those students who would like to try to express themselves in English more aggressively.

担当者名	配当学科	単 位
Gary Dendo	全学科2・3・4選 短国・短英2選	2

講義のねらい

This challenging course will focus on improving students' ability to express themselves through discussion and speechmaking. Students will be given an opportunity to discuss current social, political and economic issues as well as listen to commentary from the lecturer and other sources. Students will also have a chance to discuss topics of particular interest to them.

講義の内容・授業スケジュール

There will be a weekly discussion of current events. Every week, selected students will be assigned to prepare topics for discussion and lead their discussion groups. Speeches will be assigned on a regular basis.

履修上の留意点

Regular attendance and participation are absolutely essential. Students will be expected to keep themselves abreast of current issues in order to effectively participate in this class.

成績評価の方法

Grades will be based on attendance, participation speeches and interviews. Final grades will be calculated by the following formula :

$$\frac{(100-A) + X + Y + Z}{4}$$

A = Absences

X = Participation

Y = Speeches

Z = interviews

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ド イ ツ 語 L L I	<small>こばやし</small> 小 林 ゲアリンデ	全学科2・3・4選	2

講義のねらい

生きたドイツ語に触れ、聴き取り能力をつけることをめざす。そして基本的な語彙や文型を身につけ、ドイツ語の基礎的な表現力を養成し、簡単な日常会話が出来るようにしたい。

教 科 書

テキストは教室で適宜配布する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
フ ラ ン ス 語 L L I	ボダン, エマニュエル	全学科2・3・4選	2

講義のねらい

この授業では、フランスで作られたビデオを使って生のフランス語を聞きとり、できるだけ多くの日常表現に慣れる事、また実際に同じようなシチュエーションで自己表現できる能力を身につけることを目標とします。

成績評価の方法

テスト

教 科 書

Anne Monnerie 著 : Bienvenue en France. Tome 1 (Hatier Didier 出版)

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
中 国 語 L L I	お 小 川 ^{がわ} たかし ^{たかし} 隆	全学科2・3・4選	2

講義のねらい

初級用のビデオ・テープ教材を使って、会話と聴き取りの訓練を行う。既に中国語 I A - I B の単位を取得しているか、それと同程度の学習経験が有る人を対象とする。

この科目で目指すのは、I A - I B で習う基礎的な文法・文型の徹底的復習であり、新しい知識の獲得よりも、基礎知識を口と耳に定着させることの方を重視する。予習は必要ないが、前の時間にやった会話文はすべて暗誦してもらおう。自主的な復習と反復練習がなければ、いかなる効果も期しがたい。逆にその時間と労力さえ惜しまなければ、1年間でかなり確実な基礎力を培うことができるであろう。

授業ではプリントで教材を配布するが、随時、基礎的な文法事項を復習する為、下記の教科書を毎回持参して欲しい。

教 科 書

山下輝彦『中国語の入門』白水社 ¥1,800

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ス ペ イ ン 語 L L I	ナバロ, ホワン J.	全学科2・3・4選	2

講義のねらい

授業対象者：基礎スペイン語終了者

※スペイン語を勉強したことがない方はご遠慮下さい。

授業目的：ビデオ教材を使用し、音と映像を通じて実際のスペイン語会話に触れると同時に、スペインの習慣や情景を知り、スペイン語修得の上での基礎知識を増して頂きたい。

教 科 書

“Viaje al español”
テキスト及びVTR教材

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ロ シ ア 語 L L I	あん とく 安 徳 ニーナ	全学科2・3・4選	2

講義のねらい

ビデオ教材をつかって、日常会話に役に立つやさしいロシア語の練習をします。発音やイントネーションに重点をおいた反復練習により、ロシア語の独特な表現を身につけることを目的とします。はじめはゆっくりしたスピードでも段々ナチュラル・スピードに馴れるようくり返し反復します。ロシア語に自信のない人でも大丈夫です。生のロシア語を耳ならしのつもりで聴きにいらして下さい。

成績評価の方法

出席を重視します。テストはもちろんオーラル・テストです。

教 科 書

教場にて指示します。

英 語 L L II

〈英語LLIIの授業内容と履修上の留意点〉

中級：LLI程度の基礎訓練を修得していることを前提とします。テープ教材またはビデオ教材を用いて、ニュース等の時事問題、やや専門的なテーマの英語スピーチ等の聴解力を集中的に訓練します。また、英語で要約・説明できる表現力を習得します。英検準1級合格程度をめざします。

担当者名	配当学科	単 位
Peter A. Bendinelli	全学科2・3・4選 短国・短英2選	2

講義のねらい

A CONTINUATION LANGUAGE LABORATORY COURSE FOR STUDENTS WITH CONFIDENCE IN THEIR ABILITY TO HEAR AND ANALYZE ORAL ENGLISH. A COURSE FOR AGGRESSIVE STUDENTS WHO ARE NOT HESITANT TO SPEAK UP IN THE CLASSROOM. HIGHLY RECOMMENDED FOR STUDENTS WITH KNOWLEDGE OF AND INTEREST IN SOCIOECONOMIC PROBLEMS.

講義の内容・ 授業スケジュール

VIDEOTAPED CLIPS OF CURRENT NEWS EVENTS WILL BE USED TO INTRODUCE SUBJECTS FOR EVENTUAL CLASSROOM DISCUSSION. MOST TOPICS WILL RELATE TO CURRENT ECONOMIC, POLITICAL AND SOCIAL PROBLEMS. SOME INDEPENDENT STUDY AND WRITING OF REPORTS TO FORTIFY KNOWLEDGE AND UNDERSTANDING OF TOPICS REQUIRED.

教 科 書

NO REQUIRED TEXT BUT READING A DAILY NEWSPAPER, EITHER IN ENGLISH OR JAPANESE, AND HAVING AN UNDERSTANDING OF CURRENT PROBLEMS FACING JAPAN AND THE WORLD IS NECESSARY.

担当者名	配当学科	単 位
にし むら ゆう こ 西 村 祐 子	全学科2・3・4選 短国・短英2選	2

講義のねらい

英語の基本表現の仕方を学習しながら聞き取りと発音の訓練を続ける、中級英語のLLクラス。英語によるエッセイ、サマリー等の課題が出るので英文ワードプロセッシングが出来ることが望まれる。授業はLL教場でのビデオとテープによる学習、更に後期はコンピューター教場でマルチメディアを用いた授業となる。尚、英語はBritish Englishを基本としている。参加者は最終的にTOEFLで450~480点、もしくは英検準1級程度の実力をつけることを目指す。

成績評価の方法

成績評価は平常点と宿題の提出、毎月の小テストによる総合評価による。

教 科 書

ブリテン・エクспロード (Britain Explored ; 英潮社)

参 考 書 等

Grapevines III (オックスフォード大学出版), Challenges (BBC)

担当者名	配当学科	単 位
かざま のりこ 風 間 則 比 古	全学科2・3・4選 短国・短英2選	2

講義のねらい

LL機器を使うことで正確な発音の勉強を行ない、同時に集中して教材を聞くことでヒヤリング能力の向上を図る。

講義の内容・
授業スケジュール

授業を通して英検やTOEFLなどの受験への対応をも考慮に入れた。

履修上の留意点

各自、空テープ（60～90分程）を用意して来て、家で聞いて復習すること。

成績評価の方法

前・後期の試験に加えて、小テストも重視する。

教 科 書

Communication Through English, 英宝社, 1,957円

科 目 名	担当者名	配当学科	単 位
ドイツ語 L L II	こばやし 小 林 ゲアリンデ	全学科3・4選	2

講義のねらい

LL IIでは、ドイツ語を読み、書き、聞く能力を養うほか、文法を学びます。また時には遊びも入ります。しかし何よりもドイツ語を話すことに重点をおきます。

履修上の留意点

ドイツ語FLLIを履修したすべての学生を対象とします。また、LL以外のドイツ語の授業ですでに文法と会話を学び、さらにドイツ語の日常会話を学びたいという学生も歓迎します。

教 科 書

テキストは“Themen neu 1”を使用し、今年度は語は第4課からはじめます。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
フランス語 L L II	ボダン, エマニュエル	全学科3・4選	2

講義のねらい

すでに学んだ初級文法の知識を確認しながらそれをコミュニケーションのための活きたフランス語へと少しでも前進させることがこの授業の目的です。そこで「聞く」力の養成をはかりながら、それを自ら「話す」力へと転化していくことを目標に、同時にさまざまな対話や文例に接することで、1) 表現パターンの習得, 2) 「聞く」ことも含めた理解力の養成, 3) 「語彙」の拡大を中心に授業を進めていきます。

成績評価の方法

テスト。

教科書

最初の授業時に指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
中国語 L L II	まつもと あつとし 松 本 丁 俊	全学科3・4選	2

講義のねらい

比較的高度な中国語会話・聞き取り等の授業を行うので、既に4科目8単位、LLI又は1C程度の音声学習経験を持ち、基礎中国語学力がある者を対象とする。中国映画ビデオを楽しみながら、生きた中国語会話を習得するのがねらいである。

講義の内容・授業スケジュール

字幕の付いている中国映画ビデオを見ながら講義を進める。最初は短かく2～3分程度で、完全に理解出来てから次の2～3分へ進む方式でやる。又必要に応じて句の説明・関連語句・文法・文型の解説なども行う。できれば前期に1本、後期に1本のビデオを終わらせたい。

履修上の留意点

LL教室を使用するので、教室で禁止している事項を遵守すること。会話の練習を行うので各自カラ・テープを持参すること。

成績評価の方法

出席は成績評価において重要な判断材料となる。又授業中に見られる実際の習熟度に基づいて評価する。

教科書

中国語映画ビデオ 「良家婦女」
貴州省の山奥の村へ嫁いできた杏仙の生・性・愛・目覚めを叙情的に描いて、中国最大の滝、壮麗な黄果樹瀑布を背景に“女の性”に大胆に取り組んだ異色作。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
スペイン語 L L II	ナバロ, ホワン J.	全学科3・4選	2

講義のねらい

授業対象者：中級スペイン語終了者
 ※スペイン語を勉強したことのない方及び初級程度の学力の方には困難，御遠慮頂きたい。
 授業目的：ビデオ教材を使用し，音と映像を通して上級スペイン語会話に接して頂く。

教 科 書

“Viaje al español” 上級編
 テキスト及びビデオ教材

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ロシア語 L L II	あん とく ニーナ 安 徳 ニーナ	全学科3・4選	2

講義のねらい

ロシア語を一年以上履修した人かまたはそれと同程度の学習歴のある人を対象にします。この講座ではロシア人のナチュラルスピードに馴れてもらおうと同時に，自らも発話をしてもらうように学生諸君にチャンスを与えます。自分が考えていることをきちんと相手に伝達できるかどうか基本的文型を復習しながら，能動的発話の訓練をします。また映画やビデオをとりあげ，ロシア語の独特な表現を暗記してもらいます。

成績評価の方法

授業への出席，オーラル・テストにより成績を評価します。

教 科 書

教場にてプリントを配布。

英語 L L III

〈英語 L L III の授業内容と履修上の留意点〉

上級：L L II を修得、またはそれと同等以上のレベルであることを前提とします。英語圏の大学の教養／専門科目等の授業が聞き取れ、演習で議論できる程度の英語の表現力を養成します。英検 1 級、TOEFL550 点以上を目指した訓練コースです。

担当者名	配当学科	単 位
いわ 岩 やま 山 よし 義 はる 春	全学科 2・3・4 選 短国・短英 2 選	2

講義のねらい

この授業は留学して大学の講義についていけるようになることを目標とする。授業の前半では文学・歴史・哲学等に関する講義ビデオを見て問に答えたり、アウトラインを書いたりする練習をする。後半は数人のディスカッションのテープを聞き、ノートの取り方を学ぶ。

履修上の留意点

毎回の出席が望まれる。

成績評価の方法

毎回 2 枚のペーパーを提出してもらい、A B C 評価をつけて返却する。これが全評価の 70% の成績となる。前期 2 回、後期 2 回テーマを決めて Speech をしてもらおう。これが定期試験となる。この 4 回の Speech が全評価の 30% の成績となる。欠席率が全授業回数のおよそ 1/3 を超えた場合は不合格となる。

教 科 書

プリント使用。『60 Minutes』(CBS) や The Open University の講義等を中心に学ぶ。

担当者名	配当学科	単 位
にし 西 むら 村 ゆう 祐 こ 子	全学科 2・3・4 選 短国・短英 2 選	2

講義のねらい

上級 L L のクラスとして、まず前期は英語のテープを聞き取りながらその流れを掴む練習をする。後期はビデオを見ながらの英語での説明の訓練、および英国の大学授業のテープ等を利用しながらの英語でノートを取り、内容をサマライズする訓練を積む。参加資格を限定する小クラスのため、第一回目に選抜の為の小テストを行う。最終的には英国の大学に留学可能な程度(英検 1 級程度)の実力がつくことを目指すため、参加者は日常的にかなりの量の英語の聞き取り訓練が求められる。

教 科 書

授業で指定する。

担当者名	配当学科	単 位
おお さわ 大 澤 ひさ子	全学科2・3・4選 短国・短英2選	2

講義のねらい

テープが聞きとれ、それについて意見が述べられるのをめざす。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1) テープの聞きとりとNew Michigan MethodによるExercise
- 2) ビデオとExercise

成績評価の方法

LL実習出席40点 前後期試験・練習問題計60点

教 科 書

English Language Institute
The University of Michigan,
Michigan Action English Step 6
World Times of Japan, Jnc.
その他 ビデオテープ

科 目 名	担 当 者 名	配当学科	単 位
ド イ ツ 語 I A (選)	し みず 清 水 おさむ 修	全学科1・2・3・4選 短国・短英1・2選	2

講義のねらい

ドイツ語の文法を、特に日本語、および英語と比較対照しながら理解し、身に付ける。また、基礎的な語彙を修得する。ドイツ語の学習においては、また実際の言語運用においても「話す・聞く・書く・読む」という要素のバランスが重要であることはいうまでもない。しかし、初めて、しかも第二外国語としてドイツ語を学ぶには、まず文法と語彙が重要である。この授業では、「書く・読む」に重点をおいて授業を進める。

また、大部分の学生が大学生になって、第二外国語として学び始めるということを考慮して、常に「なぜ」という問題意識を提起しながら、授業を進めていきます。そこでは当然、日本語や英語との比較対照が問題になります。そしてこれが日本語や英語に対する理解をさらに深めることになると思います。

成績評価の方法

年に2回実施する試験等で総合的に判断する。

教 科 書

早川東三 「ドイツ文法の入口」 朝日出版社

科目名	担当者名	配当学科	単位
フランス語ⅠA(選)	たけ だ まさ ずみ 竹 田 正 純	全学科1・2・3・4選 短国・短英1・2選	2

講義のねらい

フランス文法のおおよそを学ぶが、1年後には、簡単な文章を書き、辞書をつかってどんどん文章が読みすすめられる程度の応用力を身につける。

講義の内容・授業スケジュール

A B C から接続法までを学ぶ。初修言語に慣れるよう、発音・動詞変化の練習も頻繁に行う。

履修上の留意点

授業はかなりのスピードをもってすすむので予習復習を心がけなければならない。

成績評価の方法

前・後期の定期試験には、基礎力と応用力の二種のテストを行う。

教科書

土居寛之『新12課のフランス語』（朝日出版社）¥1,200

参考書等

朝倉季雄『朝倉初級フランス語』（白水社）¥1,300
竹田正純『おぼえるためのフランス語動詞変化表』（朝日出版社）¥1,000

その他

発音練習のため、指定するカセット・テープで自習すること。

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語ⅠA(選)	かま や おさむ 釜 屋 修	全学科1・2・3・4選 短国・短英1・2選	2

講義のねらい

選択科目の中国語入門クラスである。ⅠB(小寺)とセットになったクラスであるが、事情によってはこのクラスだけでも選択できる。ⅠBとあわせて学ぶことでより体系的な学習が可能となるが、このクラスだけを選択する人もいることを考慮して、この時間だけで完結するようなテキストを採用した。全15課、会話体の本文、文法ポイント、力だめし(練習問題)で構成されているが、順序通り週1回学んでいく。正確な発音、確実な基礎文法の学習と楽しい授業をめざす。

成績評価の方法

出席を重視し、成績は年間数回の試験・小テスト、平常点、出席点などで総合的に判定する。

教科書

『しなやかに中国語』（山下輝彦・李青・関根謙・新谷雅樹/同学社/1,700円）

参考書等

辞書、参考書については、授業時に紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
スペイン語ⅠA(選)	L.S. NAVARRO-POLO <small>ナバロ ポロ</small>	全学科1・2・3・4選 短国・短英1・2選	2

講義のねらい

スペイン語の基本的知識・能力をもとに、スペイン語の書き言葉および話し言葉の両面にわたって理解し、表現する実力を養う。文法・語彙については網羅的ではなく、必要と思われるものを集中的に練習する。

講義の内容・
授業スケジュール

1. 母音の文字と発音・子音の文字と発音
2. 名詞の性・冠詞(不定冠詞・定冠詞)・名詞の数・形容詞の語尾変化
3. 動詞SER・主語人称代名詞・疑問文
4. 動詞ESTAR・SERとESTARの相違点・HAYとESTARの相違点・指示詞・否定文
5. 動詞TENER・所有詞・TAMBIÉNとTAMPOCO・数詞・時間についての副詞句
6. 直説法現在の規則動詞(AR動詞・ER動詞・IR動詞)・不定語
7. 直説法現在の不規則動詞Ⅰ・TENER QUEとHAY QUE
8. 直説法現在の不規則動詞Ⅱ・IRA+不定詞・不定詞とともに用いられる動詞・天候や天気
の表現・SABERとCONOCER
9. 直接目的の人称代名詞・間接目的の人称代名詞
10. 直接目的と間接目的の人称代名詞についての規則・動詞GUSTAR
11. 前置詞の後ろに置かれる人称代名詞
12. 再帰動詞・再帰代名詞の位置
13. 比較の表現・最上級
14. 過去を表す時制

履修上の留意点

定期試験 —— 7月と1月 ——

教 科 書

コピー

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ロシア語ⅠA(選)	さ の あさ こ 佐 野 朝 子	全学科1・2・3・4選	2

講義のねらい

ロシア語の初級文法を学ぶと共にかんたんなロシア語らしい表現も身につけてもらいます。

講義の内容・
授業スケジュール

必修クラスⅠAに準じますが、このクラスでは初歩の文法を徹底的にやります。

成績評価の方法

出席、平常点、期末の二回のテストで評価します。

教 科 書

中島由美他著『ロシア語へのパスポート』白水社 2,200円
その他プリント配布。

科目名	担当者名	配当学科	単位
ドイツ語 I B (選)	しばのひろこ 柴野博子	全学科1・2・3・4選 短国・短英1・2選	2

講義のねらい

このクラスは、ドイツの日常生活を題材にしたやさしい文章からはじめますが、授業が進むにつれ、ドイツ的なものの美しい内面にも触れたいと思います。

履修上の留意点

ドイツ語の勉強には、特に初級では、一步一步の積み重ねが非常に大切です。従ってできるだけ休まずに出席することを希望します。

成績評価の方法

試験は年に三回行います。この三回の試験と、平常の学習態度を総合して、成績評価を行います。

教科書

小塩節『美しいドイツ語』初級，朝日出版社，1,236円

科目名	担当者名	配当学科	単位
フランス語 I B (選)	とおやまひろお 遠山博雄	全学科1・2・3・4選 短国・短英1・2選	2

講義のねらい

文法事項を解説しながら、フランス語の聴き取り、発音練習を行なっていく一方、辞書を使って読解を試みていきます。教材は口語的なフランス語でフランス人の日常生活にふれられるような内容です。

成績評価の方法

試験は年3回、筆記で行なう予定ですが、履修者の数が少なければ口述で行なうかもしれません。他に必要に応じて書き取り、小テストも。

教科書

『おち なびる』
渡辺誠一，川合信雄，玉井崇夫，平林和幸著，白水社

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語 I B (選)	こ 寺 春 水 こ 寺 春 水	全学科1・2・3・4選 短国・短英1・2選	2

講義のねらい

初級段階で必要な語法（文法）規則を簡便にまとめたもの。一年かけてこのルールを身につけ、簡単な会話ができることをめざす。前期は発音に重点をおき、毎回小テストを実施する。後期はテーマ別の会話練習を行う。毎回出席し、声に出して発音練習することが要求される。テストは、前期は毎回の小テスト、後期は定期テストの他に口頭によるテストを一回実施する予定。
I A (選) とあわせて学習することが望ましい。

教科書

『語法ルール66』（朝日出版¥1,545）

科目名	担当者名	配当学科	単位
スペイン語 I B (選)	うりたに 瓜谷 アウロラ	全学科1・2・3・4選 短国・短英1・2選	2

講義のねらい

このクラスではスペイン語の初級文法を学ぶとともにかんたんな会話の練習にも力を入れたいと思います。語学の修得には地道な努力が不可欠なので出席も重視します。

教科書

宮本博司 『Lecturas para empezar 楽しいスペイン語文法読本』 大学書林 ¥1,236

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ロ シ ア 語 I B (選)	き 木 むら 村 ひで 英 あき 明	全学科1・2・3・4選	2

講義のねらい

ロシア語の初級文法を学びながらかんたんなロシア語の文章を理解できるような力をつけてもらいます。

講義の内容・
授業スケジュール

必修クラスIBに準じますが、特にこのクラスは読みに力を入れます。後期の授業からは辞書の持参を忘れないで下さい。

成績評価の方法

出席、平常点、年二回のテストで評価します。

教 科 書

中島由美他著 『ロシア語へのパスポート』 白水社 2,200円
その他プリント配布。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ド イ ツ 語 II (選)	し 志 ま 真 と み え 斗美恵	全学科2・3・4選 短国・短英2選	2

講義のねらい

ドイツ語Iで学んだ文法を基礎として、その復習を兼ねながらやさしい読み物を読みます。それを通じて、ドイツ語の文章、とりわけドイツ語特有の語形変化や構文になれ、辞書をひきこなす力をつけ、辞書があれば簡単なドイツ語の文章を読めるようにしたいと思っています。
また、テープを通して生のドイツ語を聞き、ドイツ語の音声になじみ、口を動かす訓練をします。

履修上の留意点

辞書を持ってくること。欠席はさけてください。

成績評価の方法

定期試験および平常点で評価

教 科 書

ミヒヤエル・エンデ著 (高田博行編) 『オフェーリアの影一座』 白水社刊 1,400円
上記テキストの他に随時プリントを配布。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
フランス語Ⅱ(選)	はま さき せつ お 夫 浜 崎 設 夫	全学科2・3・4選 短国・短英2選	2

講義のねらい

中級フランス語の学習。特に記述文の読解。

講義の内容・
授業スケジュール

教科書は簡潔な文章で書かれたミニ・フランス史である。したがって、これは中級フランス語の講義であると同時に、波瀾万丈のフランス史の講義でもある。興味深い歴史上の逸話なども紹介したい。予定として、まず古代ヨーロッパ文明の成立過程を説明し、その上で第1課「古代ローマ時代」に入りたい。前期は第7課「十字軍」あたりまでにし、後期にフランス革命に至る流れをたどりたい。

履修上の留意点

予習を必ずすること(最低でも単語を調べてくること)。辞書は必ず持参すること。遅刻をしないこと。

成績評価の方法

試験の結果(和訳のみ)。予習(これは大きな比重を占める)。出席回数。授業態度。レポート(年に2回、テーマはフランス史)。

教 科 書

『フランス小史』。編者、安斉和雄。第三書房。1,200円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
中国語Ⅱ(選)	ふ せ なお こ 布 施 直 子	全学科2・3・4選 短国・短英2選	2

講義のねらい

一年間の初級段階の中国語学習の基礎の上に、文章にふれ、読解力を養うことを目指す。

講義の内容・
授業スケジュール

平易な現代文を読みとることを通して、中国に生活する人々の生活のありさまや、習慣、考え方に関心を向け、中国に対する理解を深めたい。

履修上の留意点

教科書の叙述は平易であるとはいえ、会話とは趣を異にし、1年目に劣らず新しい単語が次々と出てくる。辞書にあたり、既習の語法知識を応用して意欲的に取りくむことを望む。また、辞書を引いて意味が通ればこと足りる、という段階にとどまることなく、よく読めるようになるまで繰り返し音読することが大切であると考えている。

成績評価の方法

出席状況と、分担部分の発表にあたっては責任をもってなし遂げるというような、授業への主体的な参加を重視する。あわせて、前後期各2回ずつのペーパーテストによって学習の成果を評価する。

教 科 書

荒川清秀他著『中国——人と暮し』光生館 1,339円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
スペイン語Ⅱ(選)	ナバロ, ホワン J.	全学科2・3・4選 短国・短英2選	2

講義のねらい

この一年を通じ、卒業後も実用可能なスペイン語の基礎学力を修得する。

講義の内容・
授業スケジュール

動詞の過去形(不完了過去・不定過去)を中心に勉強する。各一課は、短い文章や会話及び練習問題で構成されている。

履修上の留意点

予習として単語の意味などは辞書で調べて頂きたい。

教 科 書

この講義の初回授業時間に教室にて配布するプリントを使用する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ロシア語Ⅱ(選)	クロチコフ, ユーリー	全学科2・3・4選	2

講義のねらい

初歩のロシア語を復習しながら、より複雑なロシア語の文型や、表現を耳より学習します。またロシア語の正しい表記や発音にも留意しながら、速読で文章の大意がつかめるように練習します。

成績評価の方法

出席を何よりも重視します。
年に一回、簡単なテストをします。

教 科 書

教場にて指示します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 I	たなか たもつ 田 中 保	短 国 1 選	2

講義の内容・
授業スケジュール

20世紀のアメリカ文壇を代表する作家たちの作品を講読しながら、より高度な構文の理解と大意の把握を身につけるようにする。また、リスニング用のサブ・テキストを使用して、リスニングの力を高めていくようにします。

成績評価の方法

以下の項目を検討して、総合的に評価する。

1. 定期試験
2. 小テスト
3. 授業時の発表
4. レポート
5. 出席状況

教 科 書

- 1) 『ピューリッツァー賞作家——傑作短篇集——』（朝日出版）¥1,236
- 2) 『10分間ベーシック・リスニング』（桐原書店）¥950

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 I	おおかわ ひろし 大 川 浩	短 国 1 選	2

講義のねらい

20世紀の偉大な英国の小説家の一人であるD. H. ロレンスの青春時代を描いた人、ジェシイ・チェーンバーズの「記録」を読み、英文の内容の把握と読解力の涵養に努める。辞書を活用して事前に準備を行なうこと。

成績評価の方法

前期・後期の試験結果を中心として、夏季休暇中に出題される課題、及び随時、施行される小テスト等の成績を含めた平常点を加味して評価基準とする。

教 科 書

J.Chambers : D.H.Lawrence
A Personal Record 「ロレンスの青春時代」 三修社 ¥1,100

そ の 他

金曜・3限

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 I	おおかわ ひろし 大 川 浩	短 国 1 選	2

講義のねらい

英国の作家、D.H.ロレンスとの生活を描いた、妻フリーダーの残した生活記録の英文を読み、ロレンスの世界、彼の思想、その生きざまなどへの理解を深め、あわせて英文の内容把握と読解力の涵養を意図する。

履修上の留意点

辞書を活用して事前に準備を行なうこと。欠席・遅刻の回数の減少に充分、留意する。年間を通じて座席を固定する。

成績評価の方法

前期・後期の試験結果を中心として、夏季休暇中に出題される課題提出、及び随時、施行される小テスト等の成績を含めた平常点を加味して評価基準とする。

教 科 書

“Not I But the Wind…” 弓プレス ¥1,009

そ の 他

金曜・4限

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 I	まち だ なお こ 町 田 尚 子	短 国 1 選	2

講義の内容・
授業スケジュール

文体の優れた小説を原文で読む楽しさを共有できればと願っています。手始めに、Kazuo Ishiguroの二つの短編 The Summer after the War と A Family Supper を取り上げます。Kazuo Ishiguroは1954年長崎で生まれ、1960年から英国に住んでいます。第一作、第二作の小説はいずれも英国の文学賞を獲得し、刊行第三作の The Remains of the Day (1989年)は最も優れた小説に与えられるBooker賞に輝いています。授業では二短編の音読をカセットテープで聞き取る練習もします。演習形式なので予習を前提とします。後期は皆さんの希望を聞きながら、作品を選ぶ予定です。

成績評価の方法

平常授業での担当発表、聞き取り小テストと前期・後期試験の成績を総合し評価します。

教 科 書

Kazuo Ishiguro, 深沢俊(編注)「カズオ・イングロ秀作短編二編」鶴見書店 ¥876

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 I	たか の ひで お 高 野 秀 夫	短 英 1 選	2

講義のねらい

「英作文・スピーチ、口語的表現等の基礎を養い、書く、聞く、話す能力を身につける。」
「……教養と実用の両面から読み書き話すこと、また……その国の文化、歴史、風俗、思考方法等を知ること。専門書を原書で読めるようになることを目標としています。」—— 外国語部英語科

講義の内容・
授業スケジュール

- ① 30~40分間 テープの英語 a short speech
- ② 50~60分間 教科書を逐字訳しながら、内容、文構造の基本理解を図り、19世紀英文学への理解を深める。

前 期

- ① Natural Speedで英語の読み、書き、聞く能力を高める。
- ② 教科書を読み進める。

19世紀英国ヴィクトリア朝後期の作家Thomas Hardyは、運命論者として知られ、「この宇宙にはImmanent Will (内在された意志)があり、人は小我を持ち、これに立ち向かい破れる」という筋で主人公の皮肉な人生を描くのが得意である。

悲劇的運命を辿る主人公に焦点を当て、いろいろな視点から人生とは、文学とは何かを考えて行く。

後 期

前期と同じ授業計画。

履修上の留意点

毎回教科書の逐字訳をするので必ず予習は欠かせないこと。

成績評価の方法

- ① 前期・後期一回づつテスト実施
 - a. テープの英語
 - b. 教科書
- ② a short speech (授業時間中)
- ③ 課題のレポート提出

教 科 書

- ① To Please His Wife And Other Stories
- ② Listening Capsules.

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I	よし ざわ えい じ ろう 吉 沢 栄 治 郎	短英 1 選	2

講義のねらい 英作文を主にやっていきます。和文の大意が表われておれば可、という心積もりで進めて下さい。

履修上の留意点 和英、英々辞典を活用のこと。

成績評価の方法 成績評価は1月の定期試験で行ないます。

教科書 第1回の授業時に指示します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
ドイツ語 I	よし だ ぶみ こ 吉 田 文 子	短国・短英 1 選	2

講義のねらい 同じ系統の言語である英語と比較しながらドイツ語という未知の言語の輪郭を掴み、それに慣れてゆくことを目標とする。ドイツ語圏の文化にも触れたい。

講義の内容・授業スケジュール 簡単な文法事項の説明の後、実際に短文を読む。前期はドイツ語の特徴に慣れることに重点を置く。後期は複合時称をはじめとする複雑な文を扱う。

履修上の留意点 何よりも一定量の語いを覚えるよう努めること。日々少しずつ積み重ねることをおこたらないこと。

成績評価の方法 単語をはじめ覚えていただきたい簡単な事項のショートテスト、期末テスト、授業態度を総合して評価する。

教科書 「グリムと旅して」三修社、2,000円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ド イ ツ 語 I	あ づま ゆう し ろ う 吾 妻 雄 次 郎	短国・短英1選	2

講義のねらい

週1度の授業を、楽しく効果的に行うことができるよう、教科書選びにも留意したつもりです。『基本対話例』『テキスト』そして『練習問題』から成るこの教科書を通じて、初歩的な文法の知識、日常の挨拶、生活に必要な簡単な会話等を学んでいきたいと思っています。

講義の内容・
授業スケジュール

外国語の理解には文法は不可欠ですが、初めはあまりこれに捉られる必要はありません。全16章から成るこの教科書は、文法項目の前に『基本対話例』1, 2が置かれていて、さらに『テキスト』『練習問題』等によって理解をいっそう確かなものにしようという意図で編まれています。カセットテープを利用しながら進めていき、秋の終わり頃までに一応完了の予定です。

履修上の留意点

従って縁あってこのクラスで学ぶことになった学生諸君は、常に積極的な姿勢で臨んで欲しいと思います。それにはたとえ短時間であっても集中的に予習・復習に時間を裂き、明るい、楽な気持ちで授業に参加することが第一です。

成績評価の方法

年に二度ほど試験を行います。また必要に応じてまめテストのようなものを行うこともあります。出席はとりますが、あくまでもこれは参考にするまでであって、授業の展開にいかに関心を持って参加しているかを重んじたいと思います。言わば「平常点評価」です。

教 科 書

関口一郎著『楽しくドイツ語を!』 郁文堂 ¥1,854

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
フ ラ ン ス 語 I	たけ だ まさ ずみ 竹 田 正 純	短国・短英1選	2

講義のねらい

文法に片寄らないで、バランスよく聴く・話すを中心にする。総合的な力が身につくようにする。読解力の涵養にも十分な時間を割いていく。

講義の内容・
授業スケジュール

コミュニケーションを中心にした教科書を使うので、不足気味の読解には、別に副教材を配布して補う。

履修上の留意点

実践的な授業なので積極的に参加しなければならない。

成績評価の方法

前・後期の定期試験には、基礎力のほか応用力のテストもおこなう。

教 科 書

野内良三『決まり文句・入門フランス語』（白水社）¥2,100

参 考 書 等

数江讓治『フランス語のABC』（白水社）¥1,600

そ の 他

発音練習のため、指定するカセット・テープで自習すること。

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語 I	伊 禮 智 香 子	短国・短英 1 選	2

講義のねらい

基本文法をおさえた上で、発音に留意しつつ応用会話を数多く習得する。

講義の内容・
授業スケジュール

教科書に沿って行う。

履修上の留意点

自宅での学習として、暗誦を課す。くり返し、教材テープを聞いて正確に復誦できるよう努めること。

成績評価の方法

前期・後期試験と小テスト、授業中の解答状況や出席状況などで総合的に判断する。

教科書

相原茂・戸沼市子『入門・北京カタログ』朝日出版社 2,300円

科目名	担当者名	配当学科	単位
スペイン語 I	佐 藤 紘 子	短国・短英 1 選	2

講義のねらい

知識としてのスペイン語より実際に使えるスペイン語の習得をめざす。基本の文法事項を学びながら、身近な事柄から表現できるように指導する。

講義の内容・
授業スケジュール

初級用テキスト（20課）を終わらせるのを一応目標とするが、生徒の希望や理解度に合わせるので、必ずしもスケジュール通りに進むとは限らない。

履修上の留意点

外国語の習得には、根気よく少しずつ知識を積み重ねて行くことが大切である。それには、当然の事ながら、授業にできる限り出席すること、必ず復習をしてから次の授業に出ること、毎日少しずつ単語を覚えて語彙を増やす努力をすることを勧める。

成績評価の方法

毎回授業の始めに、前回の学習事項についての簡単なテストを行う。この小テストと後期試験で最終成績評価を決定する。

教科書

石崎優子、フェリサ・レイ「スペイン語世界への窓」、芸林書房、1,845円

参考書等

最初の授業で指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語Ⅱ	伊藤幸一	短国2選	2

講義のねらい

木を見て森を見ない、ことのない様に、また自主的に「調べる」癖がつき、それを、「分からない」ことも含め、然るべく発表出来る様に、更に、以上が、何かの「基礎」になれば。

成績評価の方法

着席しているだけでは出席とはならない。毎回当てて、やってもらおう。予習だけでなく復習も大切、年3回（5月末/夏休み後/大学祭後）レポート提出を課し、最後に、締括りのテスト。評価は、以上3点、出席、レポート、テストによる。詳細は最初の授業時に説明。

教科書

『The Bridges of Madison County』

その他

授業は楽しくあるべし、それには、ある程度の予習をしないと。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語Ⅱ	石原孝哉	短国2選	2

講義のねらい

英文を読んで、大意を把握したうえ、テキストなしで映像を見ながら、Listeningの能力向上をはかる。英語を通してイギリス文化を理解する。

講義の内容・授業スケジュール

予習を前提にした演習方式で授業を進めるので、出席を重視する。レポート、小テストなど積み上げ方式の授業を行なう。

履修上の留意点

ある程度の基礎力はあるがListeningの能力向上を目指す学生の受講を望む。

成績評価の方法

中間テスト、学年末テストおよび、小テスト、レポート、平常点などによって総合的に判断する。

教科書

- 『Touring England』（ビデオで周遊・イングランド）北星堂、1,600円
- 『Basic Listening』観見書店 824円

参考書等

教科書準拠のビデオテープを利用する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語Ⅱ	おおさわ ひさ子	短国2選	2

講義のねらい

英語Ⅰを基礎として、運用能力を身につける。

講義の内容・
授業スケジュール

ビデオのdialogueを見て、Exerciseをする。

成績評価の方法

前後期各50点、free compositionの提出物有り。

教科書

Frank G Steele, Living in Washinton n.c.i, Longman

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語Ⅱ	たき せいじゅ	短英2選	2

講義のねらい

旧約聖書の「創世記」を輪読し、西洋文化の根底をなす世界観に接し、ユダヤ教、キリスト教、イスラム教の違いを概観してみる。平易な英語で書かれているので、速読に馴れることを目的にする。

講義の内容・
授業スケジュール

- (4月) 『聖書』、『聖書物語』について
- (5月) 「創世記」“天地創造”から“バベルの塔”まで
- (6月) “ノアの箱舟”
- (7月) “天地創造”のビデオ鑑賞
- (9月) “アブラハム”
- (10月) “ソドム”
- (11月) “イサク”
- (12月) “ヨセフ”から“モーゼの十戒”（出エジプト記）への導入と、ビデオ鑑賞
- (1月) 全体のまとめ

履修上の留意点

教員のみでなく学生からも常に問題を提起し、読むだけでなく、各ストーリーにもられた意味等を考えながら進めていく。
必ず予習し、積極的な意見の発表を義務づける。予習しない者は入室を拒否する。

成績評価の方法

授業を進めていく過程での平常点、出席率、小テスト、学年末テスト等の総合評価。

教科書

“The Story Bible” by Pearl S. Buck Vol. 1 英宝社

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 II	よし ざわ えいじ ろう 吉 沢 栄 治 郎	短 英 2 選	2

講義のねらい

エッセーを読んでゆきます。荘重なもの、軽妙なもの、ユーモアに富んだもの、等、さまざまな傾向のエッセーに親しんで、そのだいご味を味わってもらいたい。

履修上の留意点

辞典を大いに活用すること。

成績評価の方法

成績評価は1月の定期試験に行ないます。

教 科 書

プリントを配布します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 II	くま さき ひさ こ 熊 崎 久 子	短 英 2 選	2

講義のねらい

SF作家としても著名なアメリカの作家 I.アシモフ氏の著書“Words from History”中に収められた英単語にまつわる話を中心にさまざまな角度から英語力のレベル・アップを目指します。サンドイッチ、ゴシック、など身近な英語の由来や伝説を知り、同時に読解力の養成をし、また付加された練習問題により語の意味の把握、派生語、慣用句の用法、作文、ディクテーション等総合的な力の養成を図ります。

講義の内容・
授業スケジュール

- ① Native Speakerによって吹き込まれたテープを聞き、hearingと発音の訓練を行なう。
- ② 内容について意見の交換をする。内容の理解力を深める。
- ③ 練習問題を行う。
本文内容についての意見の発表、練習問題の回答、いずれの場合もクラス全員の自発的発表、参加を主体に授業を進めます。

履修上の留意点

活発な発言と意見の交換を求められますので出席者は十分な予習が必要です。あらかじめ内容を把握し、また語句の下調べ、英語表現に関しても事前に必ず独自の意見をまとめておいて欲しい。質問に対しては即答できるようにしておくこと。

成績評価の方法

前期、後期各一回行う試験の評価………60%
平常点………40%

教 科 書

“Words from History II” (Issac Asimov著 弓プレス)

科目名	担当者名	配当学科	単位
ドイツ語Ⅱ	まつ 松 岡 すすむ 晋	短国・短英2選	2

講義の内容・
授業スケジュール

一年次で学んだ文法知識を復習しながら、さほどむずかしくないドイツ語の文章を読んでゆくつもりです。同時にドイツの生活習慣などについても学んでいけたら、と思っております。

履修上の留意点

規則的出席と独和辞典の持参を切に希望いたします。

成績評価の方法

年数回おこなう予定の試験および出席状況などにより、総合的に判断して成績評価をおこないます。

教科書

信岡資生(著):ドイツの言葉・ドイツの生活〔改訂版〕,三修社 ¥1,900

科目名	担当者名	配当学科	単位
フランス語Ⅱ	い 伊 藤 なお とう	短国・短英2選	2

講義のねらい

ある国の言語を学ぶことは、その国の文化を学ぶことでもあります。本講では、フランス人の日常生活について書かれた平易なテキストを用いて、発音、読解力の向上、文法理解の定着を図るとともに、フランス文化の一端、およびフランス人の抱える問題にも触れたいと考えます。

講義の内容・
授業スケジュール

初級の少し難しい文法読本を用い、文法に関しては、最初は「フランス語Ⅰ」で学んだことの復習、以後は新しい事項の学習をしながら、テキストを読み進めていきます。最初の数課は簡単に読めると思います。いずれの場合にも、各課ごとに付された練習問題をすることで、学習事項の定着を図ります。

履修上の留意点

必ず指示された課題をして、授業に臨んでください。皆さんが積極的に授業に参加することを希望します。

成績評価の方法

平常点と、発音の試験も含めた前・後期の試験によって成績評価を行います。

教科書

『エメ・ヴ・ラ・フランス?』(第三書房 2,000円)

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
中 国 語 II	李 雲	短国・短英 2 選	2

講義のねらい

通常の日常会話ができることと基本文型を身につけるのが、この講義のねらいである。

講義の内容・
授業スケジュール

教科書は各課ともに本文、ポイント、ドリルの三つの部分から構成されている。まず一年で習ったピンインを復習して、本篇に入る。授業では、本文とポイントにウェイトをおき、ドリルは宿題とする。

履修上の留意点

出席重視で、4 課に一回程度、小テストを行う。

成績評価の方法

『ドリル式中国語 テキストⅡ－日本と中国』（くろしお出版）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ス ペ イ ン 語 II	丹 羽 昌 一	短国・短英 2 選	2

講義の内容・
授業スケジュール

一学期の前半は、一年次の復習にあてる。

履修上の留意点

動詞の活用など、一年次にくらべて文法内容はさらに煩雑になるので、履修者諸姉のより積極的な努力を期待したい。

成績評価の方法

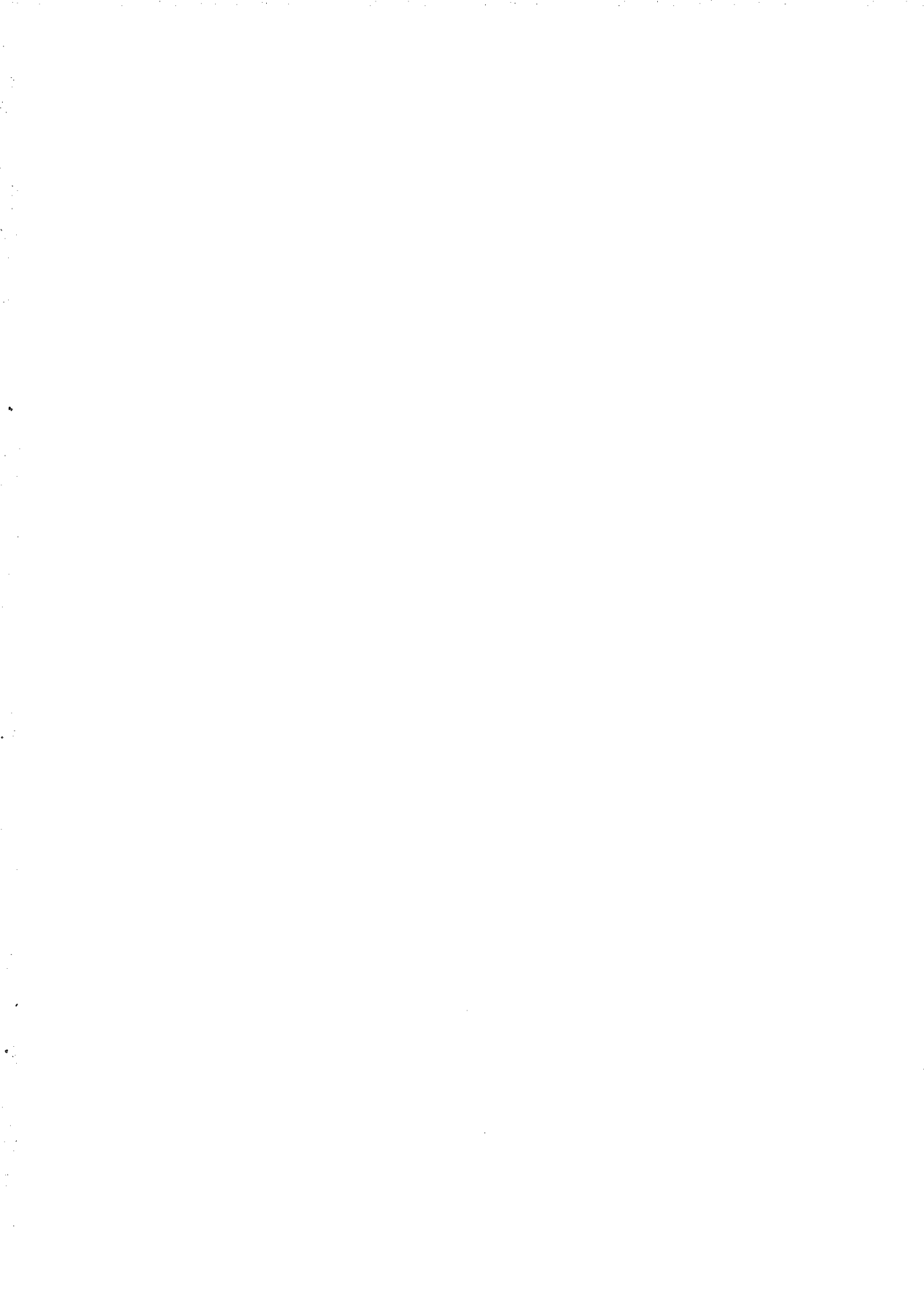
期末テストの結果と同様、平常の学習態度も重視する。

教 科 書

一年次に使用した教科書をそのまま引き継ぐ。

保 健 体 育 科 目





保 健 体 育 科 目

《必修科目》

健康・スポーツ実習, スポーツ実技	434
保健理論(前期)[短放] (吉田 稔)	436

《必修科目・再履修クラス》

健康・スポーツ実習〔再クラス〕 (長濱 友雄)	437
スポーツ実技〔再クラス〕	
健康・スポーツ実習(前期),(後期)〔再クラス〕	
スポーツ実技(前期),(後期)〔再クラス〕	
健康・スポーツ実習〔再クラス〕 (竹田 幸夫)	438
スポーツ実技〔再クラス〕	
健康・スポーツ実習(前期),(後期)〔再クラス〕	
スポーツ実技(前期),(後期)〔再クラス〕	
健康・スポーツ実習〔再クラス〕 (宮沢 栄作)	439
スポーツ実技〔再クラス〕	
健康・スポーツ実習(前期),(後期)〔再クラス〕	
スポーツ実技(前期),(後期)〔再クラス〕	

《選択科目》

生涯スポーツ実習 1・2・6・7 (前期),(後期)	
(長濱 友雄)	443
生涯スポーツ実習 3・4 (前期),(後期) (大石 武士)	443
生涯スポーツ実習 5 (前期),(後期) (大石 武士)	444
生涯スポーツ実習 8 (前期),(後期) (宮沢 栄作)	444
生涯スポーツ実習 9・10 (前期),(後期) (長濱 友雄)	445
生涯スポーツ実習 12・13 (前期),(後期) (牧野 茂)	446
生涯スポーツ実習 シーズン・スキー (竹田 幸夫)	447
生涯スポーツ実習 シーズン・ゴルフ (三幣 晴三)	448
生涯スポーツ実習(集中・前期) (江口 淳一)	449
生涯スポーツ実習(集中・後期) (江口 淳一)	451

健康・スポーツ論 1	(江口淳一)	453
健康・スポーツ論 1	(村松誠)	454
健康・スポーツ論 1	(田中佳孝)	455
健康・スポーツ論 1	(三幣晴三)	456
健康・スポーツ論 1	(高橋俊介)	457
健康・スポーツ論 1	(光永吉輝)	457
健康・スポーツ論 1	(館岡儀秋)	458
健康・スポーツ論 1	(大石武士)	459
健康・スポーツ論 1	(江口淳一)	460
健康・スポーツ論 1	(森本葵)	461
健康・スポーツ論 1	(館岡儀秋)	462
健康・スポーツ論 2	(大石武士)	463
健康・スポーツ論 2	(三幣晴三)	464
健康・スポーツ論 2	(宮沢栄作)	465
健康・スポーツ論 2	(牧野茂)	466
保健体育理論	(田中佳孝)	467
保健体育理論	(村松誠)	468
余暇学	(宮沢栄作)	469
余暇学	(竹田幸夫)	470

必修科目

健康・スポーツ実習 スポーツ実技 開講種目一覧

(於：玉川校舎)

		月 曜 日		火 曜 日		水 曜 日		木 曜 日		金 曜 日		
1	禪・ 仏教・ 国文	※江口	トレーニング	商	牧 野	室内球技	政 治	村 松	室内球技	短 国	※田中	ソフトボール
		村 松	ハンドボール		※田中	卓球		※竹田	体操		村 松	室内球技
		森 本	ジョギング		江 口	テニス		光 永	トレーニング		高 橋	テニス
		竹 田	体操		高 橋	空手道		大 石	空手道		三 幣	ゴルフ
		高 森	卓球		館 岡	ゴルフ		森 本	ジョギング			
		関 本	室内球技		光 永	トレーニング		江 口	テニス			
		矢 野	剣道		幸 前	ソフトボール						
		浅 野	テニス									
		内 山	ソフトボール									
2	英 文・ 地 理	田 中	トレーニング	経 済 1	※牧野	室内球技	法 律 1	村 松	室内球技	経 営 1	※光永	トレーニング
		※村松	ハンドボール		田 中	卓球		竹 田	体操		館 岡	ゴルフ
		森 本	ソフトボール		高 橋	空手道		光 永	トレーニング		森 本	ソフトボール
		竹 田	体操		館 岡	ゴルフ		大 石	太極拳		牧 野	室内球技
		高 森	卓球		光 永	トレーニング		森 本	ソフトボール		江 口	テニス
		関 本	室内球技		幸 前	ソフトボール		※館岡	ゴルフ		高 橋	空手道
		矢 野	剣道									
		浅 野	テニス									
		内 山	ジョギング									
3	歴 史・ 社 会	田 中	サッカー	経 済 2	※牧野	室内球技	法 律 2	村 松	室内球技	経 営 2	※光永	トレーニング
		※森本	ソフトボール		田 中	卓球		竹 田	体操		館 岡	ゴルフ
		竹 田	体操		高 橋	テニス		光 永	トレーニング		森 本	ソフトボール
		江 口	トレーニング		館 岡	トレーニング		江 口	テニス		牧 野	室内球技
		高 森	卓球		三 幣	ゴルフ		森 本	ソフトボール		江 口	テニス
		関 本	室内球技		幸 前	ソフトボール		※館岡	ゴルフ		高 橋	空手道
		矢 野	剣道									
		浅 野	テニス									
		内 山	ジョギング									

※は、科目の担当当事者。

科 目 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ実習	全学年 1 必	2
ス ポ ー ツ 実 技	短 大 1 必	

体育実技のねらい

本学の健康・スポーツ実習は、総合的人間性の形成を目指し以下の点に留意して開設されています。

人間がひととして生きて行くうえで、自己の身体について知り、理解を深めていくことは重要なことであり、健康の増進や体力の向上のための基本的な知識や習慣を、生涯を通じて知的・身体的遺産として獲得することは、あらゆる人間活動を支える基盤であります。スポーツは、単に楽しみとしてではなく、健康や体力づくりの手段として、また身体を認識する手段としても重要であると考えられます。本学の健康・スポーツ実習は、さまざまなスポーツ種目を通して展開し、その種目の特性に沿った活動や経験を通して、生涯を通じて健康の増進や体力の向上を図ると共に、スポーツを楽しむ能力を高め、ゆとりある人間社会の形成を実現する能力を学生自らが考え獲得することを目標としています。

さらに、人間疎外条件の多い現代社会において、運動実践の過程で習得される公正、協調、克己、決断、集中などのスポーツの本質的要素であるパーソナリティーを共通の体験を通して得ることで学生時代でなければ得られない人間関係を構築し、社会性を養い、人間愛豊かな人間を形成することを目指しています。

講義種目及び履修方法について

健康・スポーツ実習は1年次必修科目で玉川校舎にて行ないます。

通年で2単位が認められます。

クラス制をとっており各学部学科別に指定された曜日、時限の授業を受講しなければなりません。

開講種目は表の通りですが、前期、後期で同一の種目を選択することは出来ません。

種目毎の目標及び授業計画については、別冊の保健体育科目履修要項を参照すること。

(1) 受講種目の決定

前期第1回目の授業において前・後期の選択種目を決定します。当日の服装は、普段着で結構ですが、必ず出席してください。

(2) 履修届

教務部に提出する『履修届』の科目名・担当名は『授業時間表』の科目名・担当名を記入してください。選択した種目及び当該教員名ではありません。

(3) 評価について

評価の尺度は各教員によって異なります。保健体育科目履修要項を参照してください。

(4) 見学について

体調の悪いときは、指導教員の許可を得て授業を見学することが出来ます。

ア. 長期見学者：身体の生涯や病気のため長期にわたり運動が出来ないものについては、長期見学者として取り扱うことを基本とします。みんなのスポーツという観点から授業参加の形態については指導教官と良く相談して出来るだけ参加出来るよう心掛けるつもりです。

(5) 服装・更衣について

保健体育科目履修要項を参照してください。また、詳しくは、第1回目の授業時に説明がなされます。

(6) 盗難・事故・負傷について

ア. 盗難：貴重品の管理には十分注意して下さい。やむを得ず持参した場合には、指導教員または、事務所に管理を依頼することが出来ます。

体育実技の時間を狙った常習者が横行しているので十分注意して下さい。

イ. 負傷：実技の時間に事故や負傷が発生した場合には、直ちに指導教員に報告し指示を受けるようにして下さい。

(8) 掲示について

雨天等の指示など特別な連絡事項がある場合は、事務室前の掲示板または、玉川校舎入口の黒板に掲示しますので注意してください。

そ の 他

健康・スポーツ実習は、種目によっては、天候に左右され、本来計画していた学習内容が変更されることが少なくないと予想されます。また、受講する学生の能力によって学習の進度が変更されることも考えられます。保健体育科目履修要項に掲載される各種目の授業計画案はあくまでも目安であることに留意して下さい。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
保 健 理 論 (前期)	よし <small>だ</small> 吉 田 <small>みのる</small> 稔	短 放 1 必	2

講義のねらい

「健康とは、肉体的に、精神的および社会的に完全に良好（well-being）な状態であって、単に病気に罹患してないとか、病的ではないということではない」。これはWHO憲章によって定義された健康の概念である。今や我が国の平均寿命が世界一となり、健康状態は諸外国に比べ極めて良好といえる。しかしながら、我が国は21世紀には本格的な高齢化社会を迎えようとしており、老人問題が重要な課題となっている。今や時代のニーズに対応した保健活動のみならず将来を展望した保健活動が重要視されて来ている。ここでは現在そして将来の健康の確保に必要な諸問題について考える。

教 科 書

石川哲也他著「新編公衆衛生学（第2版）」（東京教学社）

参 考 書 等

『国民衛生の動向』（厚生指標 臨時増刊）厚生統計協会

科目名	担当者名	配当学科	単 位
健康・スポーツ実習 〔再クラス〕	なが はま とも お 長 濱 友 雄	全 学 科	2
ス ポ ー ツ 実 技 〔再クラス〕		短 大	2
健康・スポーツ実習 (前期),(後期)〔再クラス〕		全 学 科	(半期) 1
ス ポ ー ツ 実 技 (前期),(後期)〔再クラス〕		短 大	(半期) 1

講義のねらい

- (1) できるだけ授業に出席することを心掛ける。
- (2) 準備運動、練習およびゲームなどを積極的に行ない、体力や運動能力を高めるよう努力する。
- (3) バスケットボール・卓球・バドミントンの技術やルールを習得し、将来様々なスポーツに取り組むことができる基本的能力を身につける。
- (4) クラスの仲間と協力して練習やゲームを行なう中で強調性を養う。

講義の内容・ 授業スケジュール

1. オリエンテーション
2. } ドリブル・パス・シュートの練習
3. }
4. }
5. } 総合練習・ゲーム
6. }
7. }
8. 卓球の説明・サーブ・ラリー
9. サーブ・レシーブ・ラリー
10. }
11. } 総合練習・シングルスゲーム
12. }
13. }
14. }
15. } バドミントンの説明・ラケットとシャトルを使った遊び
16. }
17. }
18. } サーブ・レシーブ・スマッシュ
19. }
20. } 総合練習・シングルスゲーム
21. }
22. }
23. }
24. } 総合練習・ダブルスゲーム
25. }
26. }
27. }
28. }
29. }
30. }

履修上の留意点

- (1) 実技は本校第1体育館で行う。
- (2) 服装はできるだけ身軽に動作できるものがよい。
- (3) シューズは体育館専用のものを用意する。
- (4) 自分の荷物は各自で十分管理する。

成績評価の方法

出席80%、総合評価20%で行なう。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ実習 〔再クラス〕	たけ だ ゆき お 竹 田 幸 夫	全 学 科	2
スポーツ実技 〔再クラス〕		短 大	2
健康・スポーツ実習 (前期),(後期)〔再クラス〕		全 学 科	(半期) 1
スポーツ実技 (前期),(後期)〔再クラス〕		短 大	(半期) 1

講義のねらい

室内で行なう球技(卓球, バドミントン, バレーボール, バスケットボール)の基本技能の習得をベースにして, 各種目ともゲーム中心の授業を展開する。いずれの種目とも, 将来さまざまな場で「生涯スポーツ」として楽しむことができる種目である。したがって, それぞれの種目の基本的な練習方法や楽しいゲームの展開のしかたについての理解も深めたい。

講義の内容・授業スケジュール

【前期】

- 1時限 オリエンテーション, 前期授業内容の説明
- 2時限 卓 球 (ラケットの握り方, フットワーク, ミニゲーム)
- 3時限 " (サーブとリターン, ルールの解説, シングルスゲーム)
- 4時限 " (シングルスゲーム)
- 5時限 " (シングルスゲーム)
- 6時限 " (ダブルスゲームの進め方, ゲーム)
- 7時限 " (ダブルスゲーム)
- 8時限 " (まとめと評価)
- 9時限 バドミントン (ラケットの握り方, フットワーク, 半面コートでのミニゲーム)
- 10時限 " (ストローク, ドロップショット, スマッシュの練習, シングルス)
- 11時限 " (ルール解説, シングルスゲーム)
- 12時限 " (ダブルスゲームの進め方, ダブルスゲーム)
- 13時限 " (ダブルスゲーム)
- 14時限 " (ダブルスゲーム)
- 15時限 " (まとめと評価)

【後期】

- 1時限 オリエンテーション, 前期授業内容の説明
- 2時限 バレーボール (パスとサーブの技術, ミニゲーム)
- 3時限 " (アタックとブロックの技術, ルール解説)
- 4時限 " (フォーメーション, ゲーム)
- 5時限 " (ゲーム)
- 6時限 " (ゲーム)
- 7時限 " (ゲーム)
- 8時限 " (まとめと評価)
- 9時限 バスケットボール (パス, ドリブル, ショットの基本技術)
- 10時限 " (レイアップショット, ジャンプショットの技術, ルール解説)
- 11時限 " (ファウルの種類と罰則の解説, ゲーム)
- 12時限 " (ゲーム)
- 13時限 " (ゲーム)
- 14時限 " (ゲーム)
- 15時限 " (まとめと評価)

履修上の留意点

実技は, 本校第1体育館で行なう。一般的なスポーツウェア, ならびに室内球技に適した体育館シューズを用意する。なお, 卓球, バドミントンで使うラケットは, 貸与する。

成績評価の方法

基本的な練習方法や楽しいゲームの展開のしかたについて理解するためには, 毎回授業に出席して, 実技を实践することが重要である。したがって成績は, 出席点70%, 実技点30%の割合で評価する。実技点は, 各種目における個人別の技能, およびゲームの結果を加味して評価する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ実習 〔再クラス〕	みやざわ えい まく 宮 沢 栄 作	全 学 科	2
スポーツ実技 〔再クラス〕		短 大	2
健康・スポーツ実習 (前期),(後期)〔再クラス〕		全 学 科	(半期) 1
スポーツ実技 (前期),(後期)〔再クラス〕		短 大	(半期) 1

講義のねらい

文明発達著しい今日、日常生活における動的プログラムは益々減少しつつある。このような環境の中にあつての身体運動の意義を再認識し、生涯身体を動かす意識を育成し、その実践として開講する。

講義の内容・ 授業スケジュール

実施内容は室内球技として、バスケットボール、バレーボール、バドミントン、卓球の四種目を実施する。

原則的な展開としては、各々の種目を5～8時間づつ実施する。ただ受講者数によっては、2種目を同時に実施することもある。ここではとりあえず1種目づつの実施スケジュールを記して置く。

(1時間目)

オリエンテーション、授業目標の説明

(2～4時間目) バスケットボール

ボール扱いとしてパス、ドリブル、シュート技の基本技術

(5時間目)

3：3のバスケットゲーム

(6～9時間目)

5：5のゲーム

(10～15時間目) バレーボール

パス、トス、スパイク、サーブの基本技術を行った後に、6人制ゲーム。

(16～22時間目) バドミントン

コート4面を使用して、シングルス、ダブルスのゲームを主とする。

(23～28時間目) テーブルテニス

基本的技術と同時に、シングルス、ダブルスのゲームを行う。

(29～30時間目) テスト

履修上の留意点

- (1) 実技は本校第1体育館で行う。
- (2) 服装は運動の出来るもの、体育館用シューズを用意すること。
- (3) 用具は全て貸与する。

成績評価の方法

出席率、テストにより評価する。

選 択 科 目

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
生涯スポーツ実習1・2・6・7 (前期),(後期)(バドミントン)	なが はま とも お 長 濱 友 雄	全学科・短国・短英選	(半期) 1

講義のねらい

- (1) 補強運動、練習およびゲームなどを積極的に行ない、体力や運動能力を高める。
- (2) バドミントンの技術やルールを習得し、生涯スポーツとして取り組むことができる基本的能力を身につける。
- (3) バドミントンの楽しさをゲームや技術の習得などを通して体験することから、これからの活動欲求を高める。
- (4) クラスの仲間と協力して練習やゲームを行なう中で社会的態度を養う。

また、技術課題として、以下の点に留意して行う。

- (1) フォアハンド・バックハンドとも使うことが出来る。
- (2) スマッシュを打つことが出来る。
- (3) ゲームの中で各種技術を効果的に使えるようにする。

講義の内容・
授業スケジュール

1. オリエンテーション
2. サーブ、ラリー
3. サーブ・スマッシュ・ドロップショット
4. 半面での簡易ゲーム
5. } 総合練習・シングルスゲーム
9. }
10. } 総合練習・ダブルスゲーム
15. }

履修上の留意点

- (1) 実技は本校第1体育館で行う。
- (2) 服装はできるだけ身軽に動作できるものがよい。
- (3) シューズは体育館専用のものを用意すること。
- (4) その他のものは用意しなくてもよい。

成績評価の方法

出席率70%、総合評価30%で行なう。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
生涯スポーツ実習3・4 (前期),(後期)(トレーニング・ニュースポーツ)	おお いし たけ し 大 石 武 士	全学科・短国・短英選	(半期) 1

講義のねらい

体力づくりは、トレーニングマシンがなくてもできる。簡単な器具やペアーになって行う体力づくり、アイソメトリックトレーニングを正しく行い、現在および将来の健康・体力の維持増進を目的とする。またニュースポーツ、二十一世紀の自由スポーツ、簡単で安全、手軽にできるスポーツチャンバラを余暇ゲーム感覚として、自由奔放に楽しみながら、生涯スポーツとして取り組むことのできる基本的な姿勢を養う。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1 オリエンテーション
- 2 トレーニング・スポーツチャンバラ：基本姿勢
- 3 トレーニング・スポーツチャンバラ：受け、体捌きの基本動作
- 4 トレーニング・スポーツチャンバラ：足捌き、打の基本動作
- 5 トレーニング・スポーツチャンバラ：応用打法
- 6 トレーニング・スポーツチャンバラ：受打の基本動作
- 7 トレーニング・スポーツチャンバラ：審判規則・ゲーム
- 8 トレーニング・スポーツチャンバラ：ゲーム
- 9 トレーニング・スポーツチャンバラ：ゲーム
- 10 トレーニング・スポーツチャンバラ：ゲーム・小太刀護身道形
- 11 トレーニング・スポーツチャンバラ：ゲーム・小太刀護身道形
- 12 トレーニング・スポーツチャンバラ：ゲーム・小太刀護身道形
- 13 まとめ
- 14 まとめ
- 15 テスト

履修上の留意点

服装：一般的運動服装で身軽に動きやすいものがよい。シューズ・その他のものは不要。
教場：第二体育館2階

成績評価の方法

出席および実技試験で評価する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
生涯スポーツ実習5 (前期)・(後期)(簡化太極拳・太極推手)	おおいし たけし 大石 武士	全学科・短国・短英選	(半期) 1

講義のねらい

太極拳は中国古来の武術であるが、筋骨を鍛えるものではなく、屈伸運動・円運動を基本とした一種のバランス運動であり、呼吸法にのっとりおこなう健康体操である。起勢から収勢までの24の動作を行い、現在および将来の健康・体力の維持増進を目的とする。また、太極拳動作の活発性や反応能力、技術水準を高めるためにゆっくり円滑に二人で対になって行う一定の対抗性を具えた太極推手と組み合わせ、生涯スポーツとして取り組むことのできる基本的な姿勢を養う。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1 オリエンテーション
- 2 重心の移動・腹式深呼吸運動
- 3 第一組 起勢・左右野馬分鬃・白鶴亮翅
- 4 第二組 左右搂膝拗歩・手揮琵琶・左右倒卷肱
- 5 第三組 左撥雀尾・右擺雀尾
- 6 第四組 單鞭・雲手・單鞭
- 7 第五組 高探馬・右蹬脚・双峰貫耳・轉身左蹬脚
- 8 第六組 左下勢独立・右下勢独立
- 9 第七組 左右穿梭・海底針・閃通臂
- 10 第八組 轉身搬攔捶・如封似閉・十字手・収勢
- 11 総合・太極推手(基本動作)
- 12 総合・太極推手(単推手)
- 13 総合・太極推手(双手平円)
- 14 総合・太極推手(定歩推手)
- 15 テスト

履修上の留意点

服装：一般的運動服装で身軽に動きやすいものがよい。
 教場：第二体育館2階

成績評価の方法

出席および実技試験で評価する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
生涯スポーツ実習8 (前期)・(後期)(室内球技)	みや ざわ さい さく 宮 沢 栄 作	全学科・短国・短英選	(半期) 1

講義のねらい

文明発達著しい今日、日常生活における動的プログラムは益々減少しつつある。このような環境の中にあつての身体運動の意気を再認識し、生涯身体を動かす意識を育成し、その実践として開講する。

講義の内容・
授業スケジュール

実施内容は室内球技として、バスケットボール、バレーボール、バドミントン、卓球の4種目を実施する。

原則的な展開としては、各々の種目を3～4時間づつ実施する。ただ受講者数によっては、2種目を同時に実施することもある。ここではとりあえず1種目づつの実施スケジュールを記して置く。

- (1時間目)
オリエンテーション、授業目標の説明
- (2時間目) バスケットボール
ボール扱いとしてパス、ドリブル、シュート技の基本技術
- (3時間目)
3：3のミニバスケットゲーム
- (4時間目)
5：5のゲーム
- (5・6・7時間目) バレーボール
パス、トス、スパイク、サーブの基本技術を行った後に、6人制ゲーム。
- (8・9・10時間目) バドミントン
コート4面を使用して、シングルス、ダブルスのゲームを主とする。
- (11・12・13・14時間目) 卓球
基本的技術と同時に、シングルス、ダブルスのゲームを行う。
- (15時間目) 評価。

履修上の留意点

- (1) 実技は本校第1体育館で行う。
- (2) 服装は運動の出来るもの、体育館用シューズを用意すること。
- (3) 用具は全て貸与する。

成績評価の方法

出席およびテストで評価する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
生涯スポーツ実習9・10 (前期),(後期)(卓球)	なが はま とも お 長 濱 友 雄	全学科・短国・短英選	(半期) 1

講義のねらい

- (1) 補強運動、練習およびゲームなどを積極的に行ない、体力や運動能力を高める。
- (2) 卓球の技術やルールを習得し、生涯スポーツとして取り組むことができる基本的能力を身につける。
- (3) 卓球の楽しさをゲームや技術の習得などを通して体験することから、これからの活動欲求を高める。
- (4) クラスの仲間と協力的に練習やゲームを行なう中で社会的態度を養う。

また、技術課題として、以下の点に留意して行う。

- (1) フォアハンドドライブにより、連続打球ができる。
- (2) チャンスボールに対して、スマッシュによる高速な打球ができる。
- (3) ゲームの中で各種技術を効果的に使えるようにする。

講義の内容・
授業スケジュール

1. オリエンテーション
2. ラケットの握り方、ラケットとボールを使った遊び
3. サービス、レシーブ、フォアハンドドライブ
4. サービス、フォアハンドドライブ、スマッシュ
5. } 総合練習・シングルスゲーム
8. }
9. }
12. } 総合練習・ダブルスゲーム
13. }
14. まとめ
- 15.

履修上の留意点

- (1) 服装はできるだけ身軽に動作できるものがよい。
- (2) シューズは体育館専用のものを用意すること。
- (3) その他のものは用意しなくてもよい。

成績評価の方法

出席率70%、総合評価30%で行なう。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
生涯スポーツ実習12・13 (前期),(後期)(室内球技)	まきの野 しげる茂	全学科・短国・短英選	(半期) 1

講義のねらい

バスケットボールとバドミントンを教材とし、ゲームを楽しむための基本的な技術・ルール・審判法を学び、技術・体力の向上をはかるとともに、仲間づくりを通して、運動やスポーツを生涯にわたって、生活の中に取り入れ実践していく基礎的能力を養うことを目的とする。

講義の内容・
授業スケジュール

- (1) オリエンテーション、授業内容の説明(バスケットボール)
- (2) ボール・ハンドリング、ドリブル・シュート、ハーフコート2対1
- (3) ランニング・パス、ハーフコート3対2、ミニゲーム
- (4) フルコート3対2、モーション・オフense・ドリル、ゲーム(リーグ戦)
- (5) ハーフコート4対3、モーション・オフense・ドリル、ゲーム(リーグ戦)
- (6) ハーフコート2対2、3対3、ゲーム(リーグ戦)
- (7) モーション・オフense・ドリル、ハーフコート4対4、ゲーム(リーグ戦)
- (8) 実技テスト、ゲーム(トーナメント)(バドミントン)
- (9) ストロークの基本技術(回内、回外)
- (10) オーバー・ヘッド・ストローク
- (11) アンダー・ハンド・ストローク
- (12) サービス、ストロークの応用とミニゲーム、ダブルスのルール
- (13) 総合練習、ダブルスのゲーム
- (14) 総合練習、ダブルスのゲーム
- (15) 実技テスト、ダブルスのゲーム

履修上の留意点

実技は本校第1体育館にて行う。
服装は、一般的運動服装とする。体育館シューズを用意すること。

成績評価の方法

出席点(70点)、実技テスト(20点)、態度点(10点)

そ の 他

施設の関係により、受け入れ人数は、32名程度としたい。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
生涯スポーツ実習 (シーズンコース・スキー)	たけだ ゆきお 竹 田 幸 夫	全学科・短国・短英選	1

講義のねらい

実習は、スキーの技能レベルに応じて1班10名程度の班に分けて実施する。各班とも本学教員、および全日本スキー連盟指導員の指導によってスキーの基礎技術の習得を目指す。初心者、シュテムターンの修得、中・上級者はパラレルターン、ウェーデルン技術の習得および完成を目指す。わが国においてスキーは、国民のスポーツとまでいわれるまでに普及し、「生涯スポーツ」として楽しむことのできる種目である。将来においてもスキーを楽しむためにも、基礎技術や練習方法、ならびにゲレンデにおけるマナーについても理解を深めたい。

講義の内容・授業スケジュール

- 1日目 午前 湯沢パークスキー場集合、班分け
午後 各班に分かれての実習（初級、中級、上級）
- 2～4日目 午前、午後 “ ”
各レベルに応じた主な課題
初級：歩行、直滑降、ボーゲン姿勢、ブルークファーレン
ブルークボーゲン、シュテムターン
中級：ブルークファーレン、ブルークボーゲン、シュテムターン
ギルランデ、パラレルターン、ウェーデルン
上級：シュテムターン、パラレルターン、ウェーデルン
様々な斜面への対応技術
- 5日目 午前 各班における評価
午後 湯沢パークスキー場にて解散

履修上の留意点

- シーズンコース・スキーの授業は、下記の要領で実施する。
- 1) 日程：平成9年2月17日（月）～2月21日（金）の5日間
 - 2) 場所：湯沢パークスキー場
 - 3) 受講料：48,000円。受講料は宿泊費、昼食代、保険料、リフト代が含まれ、交通費は含まれない。
受講者は、費用を平成8年4月12日から4月27日までに経理部窓口にて納入すること。
 - 4) 定員：120名
履修希望者は、生涯スポーツ実習受講届け受付期間（平成8年4月9日、10日）に受付を済ませること。定員になり次第、受付を締め切る。
 - 5) 『履修届』に関する注意：教務部に提出する『履修届』には、シーズンコース用に設定された『土曜日、8時限（後期）』に記入すること。
 - 6) オリエンテーション：平成9年1月25日（土）12：10～12：40
事前の詳細な説明を行なう予定なので、受講生は教務部掲示板に注意しておくこと（教場は未定）。
 - 7) スキー用具ウェア：スキー用具は、現地でレンタル可能（有料）。
ウェアは、各自で事前に準備しておくこと。

成績評価の方法

実習に5日間参加すれば、単位は認められる。なお、各班において実施する実技テスト、実習参加態度も含めて成績評価がなされる。

そ の 他

都合で参加できなくなった場合は、早急に保健体育部に連絡すること。実習が始まってからは、湯沢パークホテルに必ず連絡を入れること。なお、実習に不参加の場合、受講料の一部は、返却されないことがある。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
生涯スポーツ実習 (シーズンコース・ゴルフ)	み ぬ さ はる み 三 幣 晴 三	全学科・短国・短英選	1

講義のねらい

ゴルフは、今や国民的スポーツになりつつある。本講義は、大学内で行われているゴルフ授業を一步進めて、自然の中での実際のゴルフを基本からラウンドまで体験することをねらいとする。したがって、初めてゴルフを体験しようとする初心者から、すでに大学内の授業やその他で体験している学生までを対象として実施する。

ゴルフの技術的な上達は、本講義の主たるねらいとなるが、それ以外のゴルフのもつ重要なねらいとしての、マナーやラウンドにおけるエチケット、さらに同伴競技者（パートナー）とのコミュニケーションも本講義の重要なねらいである。生涯スポーツ実習として、大学卒業後もゴルフの良さを十分に楽しみ、かつ社会人としてゴルフをとおして良き人間関係を作っていくための基本を学んでほしい。

講義の内容・授業スケジュール

- 1日目：オリエンテーション・班わけ・打席練習（7番アイアン／グリップ・アドレス・スイングの基本練習）／講義・ビデオ《ゴルフスイングの基本》
- 2日目：打席練習（7番アイアン・9番アイアン）、アプローチ練習、打席練習（ウッド）、パッティング練習／講義・ビデオ《ゴルフのエチケット・マナー》
- 3日目：打席練習（5，7，9番アイアン，ウッド）、アプローチ練習（PW，SW，7番アイアン）、パッティング練習／講義・ビデオ《ゴルフルール・ラウンドの注意事項》
- 4日目：ラウンド（本コース・ショートコース）／講義《ラウンドの反省と総括》
- 5日目：ラウンド（本コース・ショートコース）

場 所：宿 泊 軽井沢スケートセンターホテル ☎0267-46-1111
練習場 軽井沢ゴルフ練習場（アプローチ練習場を含む） ☎0267-48-1211
コース 馬越ゴルフコース／和美パー3コースその他

期 日：平成8年9月9日（月）～13日（金） 4泊5日

集合／解散：現地（軽井沢スケートセンターホテル）の予定／詳細（時間：道順など）は下記のオリエンテーションで説明するので必ず出席すること。

費 用：¥48,000円（予定）※上記費用には交通費は含まれない。

納入方法：上記48,000円を、経理部窓口で、平成8年4月12日から4月27日までに納入すること。

オリエンテーション：平成8年7月13日（土）12：10～12：40 2研-101教場
※必ず出席すること。

履修上の留意点

服 装：一般的なゴルフ服装（セーター・ウインドブレーカーも天候によって必要）
シューズ：練習は運動靴でもよいが、ラウンドはゴルフシューズが必要。特に経験者は、正式の本コースをラウンドするので、ゴルフシューズは各自で購入するか、知人に借りてくること。

ゴルフグローブ：各自で必ず用意すること。

※ゴルフクラブ・ボール・ティーは大学で用意するが、自分のものを持参してもよい。

成績評価の方法

出席を主体として、それに技術、ルール、マナーなどの理解度を加える。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
生涯スポーツ実習（集中・前期）	江 口 淳 一 <small>え ぐち じゅん いち</small>	全学科・短国・短英選	1

テニス集中・ビギナークラス 担当：江 口 淳 一
え ぐち じゅん いち

講義のねらい

テニスは、華やかなプロスポーツから、ファミリーテニスまで色々な技術レベルによって楽しむことができ、我が国の生涯スポーツとして完全に定着したスポーツの1つである。

本実習においては、フォアハンド・バックハンドグラウンドストローク、ボレー、サーブ、スマッシュなど基本的なテニスの技術の習得と、ゲームに関するルール、マナーを学ぶことによって、生涯を通じて楽しくテニスが行なえる能力と、態度を養うことを目標にしている。

また、テニスを教材にスポーツを楽しむという活動や経験を通して、スポーツのもつ価値を実感し、自分の能力や技術に合わせた楽しみ方を身に付け、スポーツを自律的に生活化する態度を養うことを目指す。さらに、5日間集中的に行なうことでテニスを通じた人間関係を広げ深めることの楽しさを知る。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1日目午前 ラケットティンク、フォアハンド・バックハンドグラウンドストロークの基本技術
- 1日目午後 ミニラリー、ラリーを楽しむ
- 2日目午前 フォア・バックハンドボレー、スマッシュ、サーブ、ストロークの応用
- 2日目午後 ラリーの応用とミニゲーム
- 3日目午前 半面でのシングルスゲーム（ゲームを楽しむ）
- 3日目午後 “ ” （戦術と応用）
- 4日目午前 ダブルスのルールとポジショニング
- 4日目午後 ダブルスのゲームを楽しむ
- 5日目午前 トーナメント形式の試合
- 5日目午後 まとめ

履修上の留意点

- (1) 基本的には初心者から中級者を対象とするが、上級者の受講も認める技術レベルは問わない。
- (2) 服装は一般的な運動服装とする。
- (3) テニスシューズ（白基調）を必ず用意すること。
- (4) ラケットは貸与する。

成績評価の方法

出席状況（出欠は午前午後の二回確認する。）、授業参加態度から総合的に判断する。

そ の 他

雨天の場合は、テニスの歴史、技術の化学的な解説、ビデオによる戦術の解説及び分析などの講義を行なうかまたは、テニスに必要なトレーニングを解説を交えながら行なう予定である。

集中コース実施について

- (1) 実施期間：7月20日（土）～24日（水）、7/20更衣の上、テニスコート集合
- (2) 実施時間：午前 10：00～12：00
午後 13：00～15：30
- (3) 実施場所：玉川グラウンド テニスコート
- (4) 定 員：40名程度とする
- (5) 申込方法：生涯スポーツ実習と同様。ただし、教務部への『履修届』は集中コース用に設定された下記の曜日・時限で提出すること。
土曜日・8時限（前期）

ゴルフ集中 担当：森^{もり}本^{もと}葵^{まおる}

講義のねらい

生涯スポーツとしてのゴルフのニーズは学生の間でたかまりつつある。対象は全員を初心者として、その歴史、用語の解説、マナー、実践を通して講座を進めてゆきたい。

講義の内容・授業スケジュール

7月20日 A.M. (10:00~12:00) 歴史
P.M. (13:00~15:30) クラブの名称、スイング理論
7月21日 A.M. ウェッジ練習
P.M. ミドルアイアン練習
7月22日 A.M. ドライバー練習
P.M. パター練習とマナー
7月23日 打ち放し練習場で総合練習
7月24日 " " テスト

履修上の留意点

実施場所は玉川校舎グラウンドであるが、施設不整備の為、一部打ち放し練習場を使用する。なお、玉川校舎グラウンドに於いても本ボールは一部としボールは穴あきボールとする。クラブは貸与するが、個人用のグローブ(手袋)は各自購入のこと。(女子は左右の手袋が望ましいが、男子はきき手の反対側の手袋を用意すること。)
服装は玉川校舎グラウンドでは、トレーニングウェア、トレーニングズボン、アップシューズ、ランニングシューズとするが、打ち放し練習場では、ゴルフウェア、ゴルフズボン、アップシューズが望ましい。

成績評価の方法

出席を最重視するが最終日のテストを加えて評価する。

その他

雨天の時はビデオによる解説、マット上でのパター練習、マナー、服装の解説。

(注)打ち放し練習場の貸しボール、入場料として二日間で4,000円位、必要である。

集中コース実施について

- (1) 実施期間：7月20日(土)~24日(水)、7/20更衣の上、玉川グラウンド集合
- (2) 実施時間：午前 10:00~12:00
午後 13:00~15:30
- (3) 実施場所：玉川グラウンド
- (4) 定員：35名程度とする
- (5) 申込方法：生涯スポーツ実習と同様。ただし、教務部への「履修届」は集中コース用に設定された下記の曜日・時限で提出すること。
土曜日・8時限(前期)

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
生涯スポーツ実習(集中・後期)	え ぐち じゅん いち 江 口 淳 一	全学科・短国・短英選	1

テニス集中・エキスパートクラス 担当：江 口 淳 一

講義のねらい

テニスは、我が国の生涯スポーツとして完全に定着したスポーツの1つである。本実習は、テニス経験者を対象に、フォアハンド・バックハンドグラウンドストローク、ボレー、サーブ、スマッシュなど応用技術の習得と、ゲームに関する戦術やセオリーを学ぶことによって、生涯を通じてより高度な次元でテニスに関わる能力と、態度を養うことを目標にしている。

また、テニスは、打球技術の習得ばかりでなく《あがり》や《プレッシャー》といったメンタル面を克服することが重要視される心理ゲームで、それゆえに奥が深く、勝敗の行方が読めないスポーツとなっている。本実習においては、このテニスにおけるメンタルトレーニングの重要性を実技と解説を交えながら理解し、さらなるステップアップを目指す。さらに、5日間集中的に行なうことでテニスを通した人間関係を広げ深めることの楽しさを知ることを目指す。

講義の内容・授業スケジュール

- | | |
|-------|---------------------------------|
| 1日目午前 | フォアハンド・バックハンドグラウンドストロークの基本技術の確認 |
| 1日目午後 | ラリーの応用練習 |
| 2日目午前 | より高度なフォア・バックハンドボレー、スマッシュ、サーブ |
| 2日目午後 | より正確でスピーディーなテニスを目指して |
| 3日目午前 | ダブルスのルールとポジショニング |
| 3日目午後 | ダブルス(平行陣への移行) |
| 4日目午前 | ダブルス・ゲーム(メンタル面を考慮した) |
| 4日目午後 | シングルス・ゲーム(メンタル面を考慮した) |
| 5日目午前 | 団体戦形式の試合 |
| 5日目午後 | まとめ |

履修上の留意点

- (1) 基本的には中級者から上級者を対象とするが、初心者の受講も認める技術レベルは問わない。
- (2) 服装は一般的な運動服装とする。
- (3) テニスシューズ(白基調)を必ず用意すること。
- (4) ラケットは貸与する。

成績評価の方法

出席状況(出欠は午前午後の二回確認する。)、授業参加態度から総合的に判断する。

そ の 他

雨天の場合は、テニスの歴史、技術の化学的な解説、ビデオによる戦術の解説及び分析などの講義を行なうかまたは、テニスに必要なトレーニングを解説を交えながら行なう予定である。

集中コース実施について

- (1) 実施期間：12月21日(土)～25日(水)、12/21更衣の上、テニスコート集合
- (2) 実施時間：午前 10:00～12:00
午後 13:00～15:30
- (3) 実施場所：玉川グラウンド テニスコート
- (4) 定 員：40名程度とする
- (5) 申込方法：生涯スポーツ実習と同様。ただし、教務部への『履修届』は集中コース用に設定された下記の曜日・時限で提出すること。
土曜日・8時限(後期)

ゴルフ集中 担当：三 幣 晴 三

講義のねらい

ゴルフは、今や国民的スポーツになりつつある。本講義は、初めてゴルフを体験しようとする初心者から、すでに体験している学生までを対象として実施する。

ゴルフの技術的な上達は、本講義の主たるねらいとなるが、それ以外のゴルフのもつ重要なねらいとしての、マナーやエチケット、さらに練習仲間とのコミュニケーションも本講義の重要なねらいである。

生涯スポーツ実習として、大学卒業後もゴルフの良さを十分に楽しみ、かつ社会人としてゴルフをとおして良い人間関係を作っていくための基本を学んでほしい。

講義の内容・授業スケジュール

- 1日目：オリエンテーション・打席練習（7番アイアン／グリップ・アドレス・スイングの基本練習）
講義・ビデオ：ゴルフスイングの基本
- 2日目：打席練習（7番アイアン・9番アイアン）、アプローチ練習、打席練習（ウッド）、パッティング練習
講義・ビデオ：マナーとエチケット
- 3日目：打席練習（5, 7, 9番アイアン, ウッド）、アプローチ練習（PW, 7番アイアン）、パッティング練習
講義：ゴルフルール
- 4日目：打席練習（5, 7, 9番アイアン, ウッド）／近隣のゴルフ練習場での打席練習
講義：ゴルフラウンドの基礎知識
- 5日目：グラウンドでのコースラウンド（6ホール）

場 所：玉川校舎グラウンド

期 日：平成8年12月21日（土）～25日（水）

集 合：平成8年12月21日（土）AM10:00 玉川校舎グラウンド

費 用：練習場での打席練習代として ¥1,000円（4日目に持参すること）

履修上の留意点

服装：一般的な運動服装（セーター・ウインドブレーカーも天候によって必要）
シューズ：運動靴（ゴルフシューズは禁止する）

成績評価の方法

出席を主体とし、それに技術、ルール、マナーなどの理解度を加える。

そ の 他

集中コース実施について

- (1) 実施期間：12月21日（土）～25日（水）、12/21更衣の上、玉川グラウンド集合
- (2) 実施時間：午前 10:00～12:00
午後 13:00～15:30
- (3) 実施場所：玉川グラウンド
- (4) 定 員：35名程度とする
- (5) 申込方法：生涯スポーツ実習と同様。ただし、教務部への『履修届』は集中コース用に設定された下記の曜日・時限で提出すること。
土曜日・8時限（後期）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ論1 (前期) (生涯学習社会と健康・スポーツ －運動生理学の立場から－)	え ぐち じゅん いち 江 口 淳 一	禅・仏教・国文 英米文・地理1選	2

講義のねらい

現代文明は、経済性、利便性、効率性の名の下に人間を身体運動から遠ざけ、結果として運動不足症候群と呼ばれる様々な現象を生んできた。本講義では、このような社会において、より良く、たくましく生きて行く為に人間生活の基本である健康、体力、身体運動に対する理解を科学的アプローチで深め、さらには身体運動を自律的に生活の中に位置づけていく態度と能力の育成を図ることを目的とする。また、運動・スポーツの文化的意義について学ぶことで、Quality of lifeを実践するための基礎を養うことを主眼に講義を進めるつもりである。

人が生きて行くためには、自らの身体について知り、理解を深めていくことは重要なことであり、健康の増進や体力の向上のための基本的な知識や習慣を、生涯を通じて知的・身体的遺産として獲得することは、あらゆる人間活動を支える基盤であると考えられる。スポーツを単に楽しみとしてではなく、健康や体力づくりの手段として、また身体を認識する手段としてとらえ、更に、スポーツを享受する能力とゆとりある人間社会の形成を実現する能力を学生自らが考え獲得することを本講義の目標とする。

講義の内容・ 授業スケジュール

- 1時限目 講義の目標の説明、学生の学習目標設定
- 2時限目 ゆとり時代のLIFE STYLE (To have or To be)
- 3時限目 生涯学習社会と大学保健体育科目の意義
- 4時限目 現代社会と健康・スポーツ (余暇社会、高齢化社会と健康阻害要因)
- 5時限目 健康と体力の概念
- 6時限目 人体 1) 骨格の構造
- 7時限目 2) 筋肉の構造
- 8時限目 3) 運動と呼吸循環器系
- 9時限目 4) 運動と代謝
- 10時限目 5) 運動エネルギー供給の仕組み
- 11時限目 スポーツ・トレーニングの筋、骨格に及ぼす効果
- 12時限目 スポーツ・トレーニングの呼吸循環器系に及ぼす効果
- 13時限目 運動処方計画のための基礎 (パワートレーニング、シェイプアップ)
- 14時限目 スポーツ科学分野におけるトピックス、21世紀に向けての健康づくり
- 15時限目 まとめ－学生自身による授業評価－

成績評価の方法

ミッドタームペーパーおよび学期末試験の結果にて判断する。

参 考 書 等

配布プリントにより授業を進めるため教科書はないが、以下の文献は参考図書となる。
 運動処方 朝倉書店 ￥3,500
 運動生理学20講 朝倉書店 ￥2,884
 「ゆとり」時代のライフスタイル 日本経済新聞社 ￥1,300

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ論 1 (後期)	むら まつ まこと 村 松 誠	禅・仏教・国文 英米文・地理 1 選	2

講義のねらい

現代は健康の時代の不健康な時代と言われる。健康に関する情報は、テレビに、雑誌にと、世に溢れている。健康情報が商品になる時代である。また、民間療法による健康法も数多く存在している。このような状況の中で、健康とは何であるかという、しっかりした健康観をもつことは、間違った選択をしないためにも大切なこととなる。そして、学生時代は人生の中でもっとも健康な時期と言われるが、現代の健康問題とされる成人病は、この学生時代より多くは始まると言われている。このような認識のもとに、現代における健康問題も話題に取り上げながら、生涯に渡っての健康を考えて行く。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 時限目 オリエンテーション
- 2 時限目 健康観の変遷
- 3 時限目 現代の健康観
- 4 時限目 健康の成立要因
- 5 時限目 健康の成立条件
- 6 時限目 病気の原因
- 7 時限目 疾病構造の変遷と病気の予防
- 8 時限目 現代の感染症
- 9 時限目 喫煙と健康
- 10 時限目 飲酒と健康
- 11 時限目 ストレスと健康
- 12 時限目 食べ物と健康
- 13 時限目 運動と健康
- 14 時限目 環境と健康
- 15 時限目 まとめ

履修上の留意点

原則として出席は取らないが、数回の小テストを行なう予定

成績評価の方法

定期試験とその他を加味して評価する。

教科書

教科書は特に指定しないが、保健体育概論（保健体育部編）を参考図書とする。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ論1 (前期) (健康と栄養)	たなか よし たか 田 中 佳 孝	歴史・社会1選	2

講義のねらい

日常生活に於いて健康な身体を維持する為に必要な5大栄養素の中で最近特に注目されているビタミンについての基礎知識を学び、日常の食生活の中でいかにそれらをうまく摂取し、病気から身体を守るかを識る。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1時限目 5大栄養素とは。
栄養不足の今昔。
- 2時限目 ビタミンの役割とその働き。
- 3時限目 ビタミンの生理作用と欠乏症
- 4時限目 ビタミンの薬理作用
ウイルスとビタミンC
- 5・6時限目 ささまざまなビタミンの薬理作用
- 7時限目 } 健康な学生生活を送る為のビタミン学。タバコの悪害, 睡眠, スポーツ, 外食, 飲酒,
} ダイエット, 妊娠, etc
- 11時限目 }
- 12時限目 } 身近にある身体に良い食べ物について
- 14時限目 }
- 15時限目 まとめ

履修上の留意点

遅刻は30分迄しか認めない。以後の入室は不可。授業途中の退室は認めない。

成績評価の方法

全授業(15回)中4回出席をとり、1回につき5点。学期末に100点満点のペーパー試験を行ない、合計で120点満点とする。成績は80点以上を「優」とする。但し100点以上は100点とする。

そ の 他

講義の補助としてビデオによる授業を2~3回行なう。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ論1 (前期) -エンジョイ ユア ライフ-	み ぬさ はる み 三 幣 晴 三	経 済 1 選	2

講義のねらい

健康は、人間が生きて、何かを実現していく上で最も重要な基本的前提条件である。本講義は、医学の見地からの健康だけに焦点をおくのではなく、人間として生きる上で身体的・精神的健康とはどんな状態であるのか、また、その実現にはどうすべきかを論ずるものである。したがって健康にとって障害となる現代の社会的状況からのさまざまな問題（食・住・ストレスなど）について、どう対処すべきかを、実際の観点から探らうとするものである。また、西洋医学と東洋医学の相異などから、心と体の関係などにも言及し、メンタルマネージメント・自律訓練法・ヨーガ・健康体操などの実際的な健康づくりによって学生としての、また生涯にわたっての健康の必要性を認識することをねらいとする。その際、これまで一般的に常識とされていた種々の考え方を、別の角度から検証し、新しい認識を作り上げることを目指すものである。

スポーツは、過去から長い間にわたって築きあげられてきたが、いまや現代の人々によって欠かすことのできない《文化》である。文化としてのスポーツを楽しむことは、いまや現代人にとって生活のひとつの要素になりつつある。それは、実践することを楽しむことだけにとどまらず、観ることを楽しむ、あるいはマスコミからの情報によってスポーツから幅広い視点を提供されるなど、現代人にとって広範囲の影響力をもちつつある。本講義では、スポーツを《文化論》あるいは《遊戯論》から論じることで、人間とは何か、生きるとは何かについても言及するものである。また、《スポーツの技術論》、さらに《スポーツ運動学》、《メンタルトレーニング》などにも触れることで、スポーツの狭い領域だけにとどまらず、生きがいをもって仕事・生活・趣味をしていく上での共通点を見いだしていこうとするものである。

講義の内容・ 授業スケジュール

- | | |
|-------|---------------------------|
| 1時間目 | オリエンテーション、授業の概要説明 |
| 2時間目 | 健康とは何か（世界の長寿村と短命村の比較）-そのⅠ |
| 3時間目 | 同 -そのⅡ |
| 4時間目 | 現代の生活と健康 |
| 5時間目 | ストレス学説（セリエ博士の学説）-そのⅠ |
| 6時間目 | 同 -そのⅡ |
| 7時間目 | 西洋医学と東洋医学の比較 |
| 8時間目 | 健康体操・メンタルトレーニング |
| 9時間目 | 遊戯論（ホモ・ルーデンス）-そのⅠ |
| 10時間目 | 同 -そのⅡ |
| 11時間目 | スポーツ論 |
| 12時間目 | スポーツ技術論 |
| 13時間目 | スポーツ運動学（カテゴリー論） |
| 14時間目 | 同（発達論・学習論） |
| 15時間目 | 日本のスポーツ（組織編・考え方）／まとめ |

履修上の留意点

教科書は指定するが、必ずしも教科書に沿って講義を進めるわけではない。教科書の内容は各自であらかじめ読んでおいてほしい。

成績評価の方法

ペーパーテストを基本とし、毎時間の出席を参考にする。

教 科 書

「保健体育概論」カヅサ出版部 1,700円

参 考 書 等

「ホモ・ルーデンス」中央公論社、「マイネル・スポーツ運動学」大修館書店

そ の 他

講義形式を基本とし、ビデオや実技も加える。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ論1 (前期)	たか はし しゅん すけ 高 橋 俊 介	経済・商1選	2

講義のねらい

健康スポーツ論学習の内容は健康で楽しい社会生活を送るためにもスポーツを行なうことは心身をリフレッシュさせ、体力の維持、健康の増進には欠かすことのできないことですが、体育とは何か、体育とは何をめざして行うのか、又現在のスポーツがどのような変革の道を迎えて今日に至ったのか、その歴史を知ることによって体育の意義を知り、健康を考えることに役立てるものである。

- I
 1. 運動はなぜ必要か
 2. 人類が生命を維持するのに必要な労働本能から生まれた運動
 3. 一人の人間の健康が、国家、社会、団体に与える問題と運動
 4. 体育によってどのような教育が考えられるか
 5. 学校体育による教育
 6. 社会体育による教育
 7. 生涯体育による教育
 8. 現在行なわれている運動がどのような経緯で生まれてきたか
 9. 実用の面から生まれてきた運動
 10. 健康の面から生まれてきた運動
 11. ホモルーデンスの面から生まれてきた運動
- II “レポート提出” 授業時間内に課題に対する独自の見解をレポートする。
 12. (例) スポーツの文化性、芸術性について
 13. (例) スポーツマン精神について
 14. (例) 大衆スポーツ論
 15. (例) スポーツと政治

成績評価の方法

出席を重視し、特にペーパーテストは行なわないが、レポート提出によって試験に代え評価する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ論1 (後期) (からだと障害)	みつ なが よし てる 光 永 吉 輝	経済・商1選	2

講義のねらい

保健分野の講義をします。人体解剖図やビデオ等を参考にしながら、文明先進国における、疾病や運動不足に起因するさまざまな、健康障害などの話を通して、人間の健康ということへの理解を深めてもらいます。

日常生活においては、自分が現在健康であることを意識して行動している人は少ないのではないだろうか。病気やけがをしてはじめて健康の重要性や有難さを知るのではなく、日頃から常に健康を意識し、健康に関心の目を向けることが必要であり、自己や他人の生命そして、健康は何物にもまして大切なものであることを講義します。

講義の内容・授業スケジュール

健康と長寿を願う心は、太古の昔より人類普遍の願望である。多くの人々がその時代の価値観と、それぞれに専門的な立場から、健康とは何かについて幾多の説を唱えている。この説を引用しながら健康を考え、日常生活の面から健康論を講義しようと思っています。その他、健康と体力・運動不足の害と効果・発育発達・トレーニングの問題・栄養・健康管理などにも触れたいと思っています。そして後半からは、人体解剖図などを参考にしながら、スポーツ医学の面から人体を運動器としてとらえ、骨格・筋肉・靭帯を中心に頭部(頭蓋)、胴(体幹)、手(上肢)、足(下肢)と分けて、各部分の身体的特長や、欠点を交えながら、スポーツ障害・文明先進国に多発している疾病・運動不足から起る健康障害の話をする予定です。

成績評価の方法

出席および筆記試験によって行なう。またレポートなど課題提出物によって、試験に変える場合もある。

教科書

保健体育概論、駒沢大学保健体育部編を引用しながら行ないます。人体解剖図など医学面の資料は、こちらで用意して授業時に配布します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ論1 (前期)	たて におか よし あき 館 岡 儀 秋	法 律 1 選	2

講義のねらい

健康を保持することは、すべての個人の願いにほかならないが、現代社会においては健康そのものの捉えかたが多様化している。また、運動やスポーツが健康増進の手段として考えられてきたが、その方法を誤ると健康を阻害する一面も内在している。健康管理を人に頼るのではなく、自主管理していくための基礎的知識を解説する。

人間の根源とも言える性と関連するエイズの諸問題を解説し、HIV感染者、エイズ患者を差別することなく、偏見を抱くことなく、エイズと共存する社会の実現のための知識・態度を解説する。

私たちは、いつ、どこで、どのような急病・事故・災害に出会うかわからない。このようなときに、医師以外の一般人でも、器具や薬品を使わずにできる一次救命処置の基礎的知識を解説する。

講義の内容・ 授業スケジュール

- 1 時限目 オリエンテーション
- 2 時限目 人間と健康 (体力と健康)
- 3 時限目 " (寿命と健康)
- 4 時限目 " (運動不足症)
- 5 時限目 " (健康管理法)
- 6 時限目 献血と血液製剤
- 7 時限目 エイズ (エイズの現状と推移)
- 8 時限目 " (エイズの予防・検査・治療)
- 9 時限目 " (人権と差別)
- 10 時限目 体力とトレーニング (トレーニングの方法・運動処方)
- 11 時限目 救命救急 (一次救命処置)
- 12 時限目 " (一次救命処置)
- 13 時限目 " (一次救命処置)
- 14 時限目 " (救急処置)
- 15 時限目 まとめ

履修上の留意点

出席は原則として取らないが、授業時間内に次のことを発表するので注意すること。

- ① 「小テスト」の期日 (1, 2 回実施する予定)
- ② 「レポート」の提出期日 (1, 2 回)

成績評価の方法

「小テスト」70%, 「レポート」30%で総合評価する。

教 科 書

特に指定しない。

参 考 書 等

保健体育概論 (駒澤大学保健体育部編)・学生のための性とエイズ (朝倉書店)
救命救急 (小学館)

そ の 他

授業は主に講義形式で行うが、ビデオ・OHP等も活用する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ論 1 (前期) (健康・救急処置)	おお いし たけ し 大 石 武 士	法律・政治 1 選	2

講義のねらい

生涯を通じての健康や体力・身体運動の効果，体育・スポーツの概念やエイズ問題にふれていき，スポーツ・レクリエーション時や日常生活において，我々はいつどこで，どのような急病や傷害に出会うかもしれない。このような時，救急車が来るまでにしなければならない処置，とっさの処置が生命の別れ目になる。また，小さい怪我でも最初の手当が悪ければ経過が長引く。救命救急のための知識や技術を身につける事によって，病人や怪我人の生命，病気や怪我の経過に大きな差が生じてくる。このことをよく理解し，主な病気・傷害に対する救急処置法について講義を行う。

講義の内容・ 授業スケジュール

- 1 講義内容の説明
- 2 体育の概念
- 3 身体運動と体育運動
- 4 健康の概念，身体運動の効果
- 5 人体構造の概略，エイズ問題
- 6 救急処置の目的，一次救命処置
- 7 一次救命処置
- 8 一次救命処置実習
- 9 出血多量，ショック
- 10 熱中症，やけど（熱傷），凍傷
- 11 R・I・C・E処置，創傷，創傷のない障害
- 12 挫滅傷，打撲，刺し傷
- 13 中毒，鼻出血，咬傷，虫や毒魚
- 14 体力について
- 15 テスト

成績評価の方法

出席および学期末試験で評価する。

参 考 書 等

- 1 駒澤大学保健体育部編「保健体育概論」（カズサ出版）¥1700
- 2 最新図解救命救急－応急手当の手引き－ 小学館¥700

そ の 他

救急処置法については，心肺蘇生訓練用マネキンを使った実習や，ビデオを交えながら講義を展開していく。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ論 1 (後期) (生涯学習社会と健康・スポーツ －運動生理学の立場から－)	え ぐち じゅん いち 江 口 淳 一	法律・政治 1 選	2

講義のねらい

現代文明は、経済性、利便性、効率性の名の下に人間を身体運動から遠ざけ、結果として運動不足症候群と呼ばれる様々な現象を生んできた。本講義では、このような社会において、より良く、たくましく生きて行く為に人間生活の基本である健康、体力、身体運動に対する理解を科学的アプローチで深め、さらには身体運動を自律的に生活の中に位置づけていく態度と能力の育成を図ることを目的とする。また、運動・スポーツの文化的意義について学ぶことで、Quality of lifeを実践するための基礎を養うことを主眼に講義を進めるつもりである。

人が生きて行くためには、自らの身体について知り、理解を深めていくことは重要なことであり、健康の増進や体力の向上のための基本的な知識や習慣を、生涯を通じて知的・身体的遺産として獲得することは、あらゆる人間活動を支える基盤であると考えられる。スポーツを単に楽しみとしてではなく、健康や体力づくりの手段として、また身体を認識する手段としてとらえ、更に、スポーツを享受する能力とゆとりある人間社会の形成を実現する能力を学生自らが考え獲得することを本講義の目標とする。

講義の内容・ 授業スケジュール

- 1 時限目 講義の目標の説明、学生の学習目標設定
- 2 時限目 ゆとり時代のLIFE STYLE (To have or To be)
- 3 時限目 生涯学習社会と大学保健体育科目の意義
- 4 時限目 現代社会と健康・スポーツ (余暇社会、高齢化社会と健康阻害要因)
- 5 時限目 健康と体力の概念
- 6 時限目 人体 1) 骨格の構造
- 7 時限目 2) 筋肉の構造
- 8 時限目 3) 運動と呼吸循環器系
- 9 時限目 4) 運動と代謝
- 10 時限目 5) 運動エネルギー供給の仕組み
- 11 時限目 スポーツ・トレーニングの筋、骨格に及ぼす効果
- 12 時限目 スポーツ・トレーニングの呼吸循環器系に及ぼす効果
- 13 時限目 運動処方計画のための基礎 (パワートレーニング、シェイプアップ)
- 14 時限目 スポーツ科学分野におけるトピックス、21世紀に向けての健康づくり
- 15 時限目 まとめ－学生自身による授業評価－

成績評価の方法

ミッドタームペーパーおよび学期末試験の結果にて判断する。

参 考 書 等

配布プリントにより授業を進めるため教科書はないが、以下の文献は参考図書となる。
 運動処方 朝倉書店 ￥3,500
 運動生理学20講 朝倉書店 ￥2,884
 「ゆとり」時代のライフスタイル 日本経済新聞社 ￥1,300

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ論1 (前期) (運動とからだ)	もり 森 もと 本 まもる 葵	経 営 1 選	2

講義のねらい

人生に於て『体力』は生涯ついてまわる財産である。その『体力』は20才前からのトレーニングに負う所が大きい。その方法を『体力づくり』として講座を進めてゆきたい。
又、タイムリーな話題として『近代オリンピック』を取り上げてみたい。

講義の内容・
授業スケジュール

〈体力づくり〉
1週 体力のメカニズム
2週 若年時に於ける体力づくりの必要性。
3. 4. 5. 6. 7週
体力づくりの方法 { 持久力
筋力
調整力
8. 9週 体力と疲労
10. 11週 疲労の判定法
〈近代オリンピック〉
12週 近代オリンピックの歴史
13週 " " の問題点
14週 " " の将来展望
15週 テスト

成績評価の方法

出席を重視する。

教 科 書

- ・保健体育理論 (科学書院)
- ・スポーツトレーナー教本 (日本体育協会)
- ・スポーツとからだ (岩波書店)
- ・オリンピックの回想 (B・Bマガジン社)

そ の 他

レポート提出・ビデオによる講義

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ論 1 (前期)	たて におか よし あき 館 岡 儀 秋	経 営 1 選	2

講義のねらい

健康を保持することは、すべての個人の願いにほかならないが、現代社会においては健康そのものの捉えかたが多様化している。また、運動やスポーツが健康増進の手段として考えられてきたが、その方法を誤ると健康を阻害する一面も内在している。健康管理を人に頼るのではなく、自主管理していくための基礎的知識を解説する。

人間の根源とも言える性と関連するエイズの諸問題を解説し、H I V感染者、エイズ患者を差別することなく、偏見を抱くことなく、エイズと共存する社会の実現のための知識・態度を解説する。

私たちは、いつ、どこで、どのような急病・事故・災害に出会うかわからない。このようなときに、医師以外の一般人でも、器具や薬品を使わずにできる一次救命処置の基礎的知識を解説する。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 時限目 オリエンテーション
- 2 時限目 人間と健康 (体力と健康)
- 3 時限目 " (寿命と健康)
- 4 時限目 " (運動不足症)
- 5 時限目 " (健康管理法)
- 6 時限目 献血と血液製剤
- 7 時限目 エイズ (エイズの現状と推移)
- 8 時限目 " (エイズの予防・検査・治療)
- 9 時限目 " (人権と差別)
- 10 時限目 体力とトレーニング (トレーニングの方法・運動処方)
- 11 時限目 救命救急 (一次救命処置)
- 12 時限目 " (一次救命処置)
- 13 時限目 " (一次救命処置)
- 14 時限目 " (救急処置)
- 15 時限目 まとめ

履修上の留意点

出席は原則として取らないが、授業時間内に次のことを発表するので注意すること。

- ① 「小テスト」の期日 (1, 2 回実施する予定)
- ② 「レポート」の提出期日 (1, 2 回)

成績評価の方法

「小テスト」70%, 「レポート」30%で総合評価する。

教 科 書

特に指定しない。

参 考 書 等

保健体育概論 (駒澤大学保健体育部編)・学生のための性とエイズ (朝倉書店)
救命救急 (小学館)

そ の 他

授業は主に講義形式で行うが、ビデオ・OHP等も活用する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ論 2 (前期),(後期) (健康・救急処置)	おお いし たけ し 大 石 武 士	全学科1・2・3・4選	(半期) 2

講義のねらい

生涯を通じての健康や体力・身体運動の効果、体育・スポーツの概念やエイズ問題にふれていき、スポーツ・レクリエーション時や日常生活において、我々はいつどこで、どのような急病や傷害に出会うかもしれない。このような時、救急車が来るまでにしなければならない処置、とっさの処置が生命の別れ目になる。また、小さい怪我でも最初の手当が悪ければ経過が長引く。救命救急のための知識や技術を身につける事によって、病人や怪我人の生命、病気や怪我の経過に大きな差が生じてくる。このことをよく理解し、主な病気・傷害に対する救急処置法について講義を行う。

講義の内容・ 授業スケジュール

- 1 講義内容の説明
- 2 体育の概念
- 3 身体運動と体育運動
- 4 健康の概念、身体運動の効果
- 5 人体構造の概略、エイズ問題
- 6 救急処置の目的、一次救命処置
- 7 一次救命処置
- 8 一次救命処置実習
- 9 出血多量、ショック
- 10 熱中症、やけど(熱傷)、凍傷
- 11 R・I・C・E処置、創傷、創傷のない障害
- 12 挫滅傷、打撲、刺し傷
- 13 中毒、鼻出血、咬傷、虫や毒魚
- 14 体力について
- 15 テスト

成績評価の方法

出席および学期末試験で評価する。

参 考 書 等

- 1 駒澤大学保健体育部編「保健体育概論」(カズサ出版) ¥1,700
- 2 最新図解救命救急-応急手当の手引き- 小学館 ¥700

そ の 他

救急処置法については、心肺蘇生訓練用マネキンを使った実習や、ビデオを交えながら講義を展開していく。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ論2 (前期),(後期) -エンジョイ ユア ライフ-	み ぬさ はる み 三 幣 晴 三	全学科1・2・3・4選	(半期) 2

講義のねらい

健康は、人間が生きて、何かを実現していく上で最も重要な基本的前提条件である。本講義は、医学的見地からの健康だけに焦点をおくのではなく、人間として生きる上で身体的・精神的健康とはどんな状態であるのか、また、その実現にはどうすべきかを論ずるものである。したがって健康にとって障害となる現代の社会的状況からのさまざまな問題（食・住・ストレスなど）について、どう対処すべきかを、実際の観点から探ろうとするものである。また、西洋医学と東洋医学の相異などから、心と体の関係などにも言及し、メンタルマネジメント・自律訓練法・ヨーガ・健康体操などの実際的な健康づくりによって学生としての、また生涯にわたっての健康の必要性を認識することをねらいとする。その際、これまで一般的に常識とされていた種々の考え方を、別の角度から検証し、新しい認識を作り上げることを目指すものである。

スポーツは、過去から長い間にわたって築きあげられてきたが、いまや現代の人々によって欠かすことのできない《文化》である。文化としてのスポーツを楽しむことは、いまや現代人にとって生活のひとつの要素になりつつある。それは、実践することを楽しむことだけにとどまらず、観ることを楽しむ、あるいはマスコミからの情報によってスポーツから幅広い視点を提供されるなど、現代人にとって広範囲の影響をもちつつある。本講義では、スポーツを《文化論》あるいは《遊戯論》から論じることで、人間とは何か、生きるとは何かについても言及するものである。また、《スポーツの技術論》、さらに《スポーツ運動学》、《メンタルトレーニング》などにも触れることで、スポーツの狭い領域だけにとどまらず、生きがいをもって仕事・生活・趣味をしていく上での共通点を見いだしていこうとするものである。

講義の内容・授業スケジュール

- | | | |
|-------|-----------------------|------|
| 1時間目 | オリエンテーション、授業の概要説明 | |
| 2時間目 | 健康とは何か（世界の長寿村と短命村の比較） | -そのⅠ |
| 3時間目 | 同 | -そのⅡ |
| 4時間目 | 現代の生活と健康 | |
| 5時間目 | ストレス学説（セリエ博士の学説） | -そのⅠ |
| 6時間目 | 同 | -そのⅡ |
| 7時間目 | 西洋医学と東洋医学の比較 | |
| 8時間目 | 健康体操・メンタルトレーニング | |
| 9時間目 | 遊戯論（ホモ・ルーデンス） | -そのⅠ |
| 10時間目 | 同 | -そのⅡ |
| 11時間目 | スポーツ論 | |
| 12時間目 | スポーツ技術論 | |
| 13時間目 | スポーツ運動学（カテゴリー論） | |
| 14時間目 | 同（発達論・学習論） | |
| 15時間目 | 日本のスポーツ（組織編・考え方） | ／まとめ |

履修上の留意点

教科書は指定するが、必ずしも教科書に沿って講義を進めるわけではない。教科書の内容は各自であらかじめ読んでおいてほしい。

成績評価の方法

ペーパーテストを基本とし、毎時間の出欠席を参考にする。

教科書

「保健体育概論」カヅサ出版部 1,700円

参考書等

「ホモ・ルーデンス」中央公論社、「マイネル・スポーツ運動学」大修館書店

その他

講義形式を基本とし、ビデオや実技も加える。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ論 2 (前期),(後期)	みやざわ えい さく 宮 沢 栄 作	全学科1・2・3・4選	(半期) 2

講義のねらい

健康としての具備すべき条件(13項目)の追求と、それに深くかかわる体育、スポーツの本質を見つめて、その科学的、医学的知識を持って、将来の社会的な生活拡充化の意識の育成を図る。

講義の内容・
授業スケジュール

- (1 時間目)
体育の発生と今日までの各々の時代的変遷と併わせて古代体育の目的と現代の体育の具体的目標について。
- (2 時間目)
健康のための条件を再確認し、健康と身体運動の意義を人間以外の動物の寿命等を例として認識させる。
- (3 時間目)
スポーツの発生経緯、発案者、命名の様相、各々の特長、分類について
- (4 時間目)
スポーツと体力の関係について
- (5 時間目)
運動能力発達の原因
- (6 時間目)
運動能力の領域
- (7 時間目)
運動能力の構造
- (8 時間目)
運動能力とスポーツ技能の分析
- (9 時間目)
総合体力の定義と要素
- (10・11時間目)
スポーツ実施上の功罪、その一つとしてのスポーツ障害について
- (12・13・14時間目)
トレーニング理論全般
- (15時間目)
まとめ

成績評価の方法

成績評価は学期末の筆記試験による

教 科 書

参考書は不用

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ論2 (前期),(後期) (生活と健康)	まきの野 <small>まきの</small> しげる茂	全学科1・2・3・4選	(半期) 2

講義のねらい

現代社会における健康の意義と認識を深めるとともに、ますます高齢化していく社会において、学生生活を含め生涯にわたって健康な生活を送るための基礎的な知識と、事故の健康管理能力を高めることを目的とする。

講義の内容・
授業スケジュール

- (1) 目的と課題の把握 全体ガイダンス, アンケートとその解説
- (2) 健康とは何か① 語源・定義・性格
- (3) 健康とは何か② WHOの健康の要素①
- (4) 健康とは何か③ WHOの健康の要素②
- (5) 恒常性と適応 ストレス学説
- (6) 健康の成立条件 健康を規定する条件
- (7) 健康の保持増進① 化学的研究, 健康教育
- (8) 健康の保持増進② 保健衛生サービス, 健康の獲得
- (9) 健康指標 WHOの総合健康指標
- (10) 日常生活と健康① 運動・栄養・休養①
- (11) 日常生活と健康② " " " ②
- (12) 日常生活と健康③ 嗜好品と健康
- (13) 感染症について① インフルエンザ, 結核
- (14) 感染症について② 性行為感染症
- (15) 筆記試験

成績評価の方法

筆記試験において、60点以上を合格とする。

教科書

教科書は使用しない。必要に応じてプリントを配布するが、主として黒板を用いるので、出席し、ノートを整理しておくこと。

参考書等

「保健体育概論」(カヅサ出版部) ¥1,700
他は、講義のなかで紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
保健体育理論（前期） （健康な生活の為に栄養学と正しいダイエットの知識）	たなかよし たか孝 田 中 佳 孝	短国・短英 1 選	2

講義のねらい

日常生活を健康に過ごす事の栄養学と正しい食生活の知識を学び、特に最近その重要性が話題になっているビタミンの働きについて識る。又、ダイエットの原理と正しい方法について学ぶ。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1 時限目 体に必要な栄養素
- 2 時限目 ビタミンの役割とその働き
- 3 時限目 ビタミンの欠乏症
- 4 時限目 ビタミンの薬理作用について
ビタミンCは何故風邪に効くのか？
- 5 時限目 さまざまなビタミンの薬理作用
- 6 時限目 タバコの悪害とビタミン
- 7 時限目 酒の悪害とビタミン
- 8 時限目 妊娠時の食べ物について
- 9 時限目 人間は何故太るのか？
ダイエットの基本
- 10時限目 ダイエット法各論
}
- 12時限目
- 13時限目 } 身近にある体に良い食べ物
- 14時限目 }
- 15時限目 まとめ

履修上の留意点

遅刻・早退・私語は認めない。

成績評価の方法

15回の授業中に4回の出席をとり、1回につき5点とする。学期末に100点満点のペーパー試験を行ない、合計で120点満点とする。成績は80点以上を「優」とするが、100点以上については全100点とする。

参 考 書 等

使った図書・文献等は授業中に知らせる。

そ の 他

講義の補助としてビデオを授業中に2～3回使用する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
保健体育理論（前期）	むら まつ まこと 村 松 誠	短国・短英1選	2

講義のねらい

現代は健康の時代の不健康な時代と言われる。健康に関する情報は、テレビに、雑誌にと、世に溢れている。健康情報が商品になる時代である。また、民間療法による健康法も数多く存在している。このような状況の中で、健康とは何であるかという、しっかりした健康観をもつことは、間違った選択をしないためにも大切なこととなる。そして、学生時代は人生の中でもっとも健康な時期と言われるが、現代の健康問題とされる成人病は、この学生時代より多くは始まると言われている。このような認識のもとに、現代における健康問題も話題に取り上げながら、生涯に渡っての健康を考えて行く。

講義の内容・授業スケジュール

- 1時限目 オリエンテーション
- 2時限目 健康観の変遷
- 3時限目 現代の健康観
- 4時限目 健康の成立要因
- 5時限目 健康の成立条件
- 6時限目 病気の原因
- 7時限目 疾病構造の変遷と病気の予防
- 8時限目 現代の感染症
- 9時限目 喫煙と健康
- 10時限目 飲酒と健康
- 11時限目 ストレスと健康
- 12時限目 食べ物と健康
- 13時限目 運動と健康
- 14時限目 環境と健康
- 15時限目 まとめ

履修上の留意点

原則として出席は取らないが、数回の小テストを行なう予定

成績評価の方法

定期試験とその他を加味して評価する。

参 考 書 等

教科書は特に指定しないが、保健体育概論（保健体育部編）を参考図書とする。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
余 暇 学 (前期),(後期)	みやざわ えい さく 宮 沢 栄 作	経営2・3・4選	(半期) 2

講義のねらい

現代社会は科学技術の急速な進歩にともない、産業構造の変化、所得水準の向上などによって、近年我が国における労働時間の短縮が急速に図られてきた。それにともなう余暇時間の増大や国民の生活意識の変化によって現代におけるレジャーやレクリエーションの普及や多様化はめざましい。

余暇をいかに過ごすかは21世紀において、健康で豊かな生活を送る上で益々重要なテーマとなってくると予想される。大学生の年代は、世界観やライフスタイルの基礎を確立する大切な時期でもある。講義と実技による授業を通じて、余暇とレクリエーション、スポーツに関する基礎的な知識と考え方についての理解を深めさせる。

講義の内容・
授業スケジュール

- (1時間目) オリエンテーション
- (2時間目) 現代社会における余暇
- (3時間目) 日本における社会体育の現状
- (4時間目) レクリエーション実習
- (5時間目) 生涯スポーツの在り方
- (6時間目) レクリエーション実習
- (7時間目) 地域、職場におけるスポーツ
- (8時間目) レクリエーション実習
- (9時間目) 生活におけるスポーツ
- (10時間目) レクリエーション実習
- (11.12時間目) ニュースポーツについて
- (13.14時間目) ニュースポーツの実践
- (15時間目) まとめ、テスト

履修上の留意点

講義は教室で、実習は主として第一体育館で実施する。用具等はすべて貸与する。実習時は運動着、体育館用シューズを用意。

成績評価の方法

評価は主として筆記テストによる。

参 考 書 等

参考書は不用

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
余 暇 学 (前期),(後期)	たけだゆきお夫 竹 田 幸 夫	経 営 2・3・4 選	(半期) 2

講義のねらい

現代社会の急激な変貌、とくに科学技術の進歩にともなう産業構造の変化、所得水準の向上などによって、近年わが国におけるレジャーやレクリエーションの普及や多様化はめざましい。「余暇をいかに生きるか」は、21世紀において健康で豊かな生活を送る上でますます重要なテーマとなってくると予想される。

大学生の年代は、世界観やライフスタイルの基礎を確立する大切な時期でもある。講義と実技による授業を通じて、余暇とレクリエーション、スポーツに関する基礎的な知識と考え方についての理解を深めてもらいたい。

講義の内容・ 授業スケジュール

- 1時限 オリエンテーション、授業内容の説明
- 2時限 現代社会における「余暇」
- 3時限 日本における社会体育の現状
- 4時限 レクリエーション実習
- 5時限 生涯スポーツ, Sports for all, 市民スポーツ
- 6時限 レクリエーションの多様化, ウォーキングエクササイズ
- 7時限 レクリエーション実習
- 8時限 地域・職場におけるスポーツ
- 9時限 生活におけるスポーツの楽しみ方
- 10時限 レクリエーション実習
- 11時限 公共スポーツ施設とスポーツクラブ
- 12時限 ニュースポーツ
- 13時限 レクリエーション実習
- 14時限 「余暇」の考え方, 将来の展望
- 15時限 試験

履修上の留意点

授業において扱う内容を、知識として聞くだけではなく、将来の自分の具体的な問題として捉えながら講義を聞いてほしい。実習については、第1体育館において球技やニュースポーツ、屋外においてウォーキングエクササイズ等を実施する。その際には、一般的なスポーツウェアとシューズを用意する。なお、体育館における実習の場合には、体育館シューズが必要となる。

成績評価の方法

授業の最後の時間に実施する試験と平素の学習態度で成績評価を行なう。

教 科 書

現代における余暇に関わりのあるトピックスを中心に扱うので、とくに教科書は用いない。

参 考 書 等

生涯スポーツに関する以下の書籍を参考図書として上げておきたい。
「実践・生涯スポーツ」 池田幸應ほか/不昧堂出版 3,000円
「スポーツは誰のために」 関春南・唐木國彦編/大修館書房 2,266円

專 門 教 育 科 目

法 律 學 科

專 門 教 育 科 目

法 律 学 科

法 学	概 論	(大久保 治 男)	1
法 学	概 論	(北 野 かほる)	2
憲 法		(齊 藤 寿)	3
憲 法		(西 修)	4
民 法	総 則	(河 野 弘 矩)	5
刑 法	総 論	(山 口 邦 夫)	6
刑 法	総 論	(松 村 格)	7
刑 法	総 論〔2年生用〕	(山 口 邦 夫)	8
刑 法	総 論〔2年生用〕	(松 村 格)	9
会 社 法		(山 田 泰 彦)	10
会 社 法		(荒 木 正 孝)	11
行 政 法	総 論	(齊 藤 寿)	12
国 際 法		(齋 藤 洋)	13
物 権 法		(鶴 井 俊 吉)	13
債 権 総 論		(青 野 博 之)	14
刑 法 各 論		(松 村 格)	15
有 価 証 券 法		(島 原 宏 明)	16
裁 判 法		(杉 浦 智 紹)	17
民 事 訴 訟 法		(杉 浦 智 紹)	18
刑 事 訴 訟 法		(小 木 曾 綾)	19
社 会 保 障 法		(大 場 敏 彦)	20
国 際 私 法		(笠 原 俊 宏)	21
行 政 法 各 論		(齊 藤 寿)	22
国 際 紛 争 解 決 法		(則 武 輝 幸)	23
担 保 物 権 法		(鶴 井 俊 吉)	23
劳 働 法		(藤 本 茂)	24
保 險 ・ 海 商 法		(山 田 泰 彦)	25
相 続 法		(叶 和 夫)	26
商 法 総 則 ・ 商 行 為 法		(関 口 雅 夫)	26
親 族 法		(叶 和 夫)	27
政 治 学 原 論		(福 島 政 裕)	27
政 治 史		(寺 崎 修)	28
経 済 原 論		(浅 野 克 巳)	28
法 思 想 史		(金 刺 亮 介)	29
比 較 憲 法		(齊 藤 寿)	30

日 本 法 制 史 (大久保 治 男)	31
西 洋 法 制 史 (北 野 かほる)	32
刑 事 政 策 (斎 藤 静 敬)	33
法 社 会 学 (小 林 弘 人)	34
マス・コミュニケーション論 (相 田 敏 彦)	34
行 政 学 (福 田 耕 治)	35
英 米 法 (北 野 かほる)	36
独 法 (山 口 邦 夫)	36
仏 法 (上 井 長 久)	37
債 権 各 論 (林 幸 司)	38
税 法 (岸 田 貞 夫)	39
財 政 学 (里 中 恆 志)	40
経 済 政 策 (森 岡 仁)	41
社 会 政 策 (金 子 征 史)	41
民 事 執 行 ・ 保 全 法 (梅 善 夫)	42
法 哲 学 (山 口 邦 夫)	43
倒 産 処 理 法 (馬 越 道 夫)	43
知 的 財 産 権 法 (盛 岡 一 夫)	44
経 済 法 (岡 田 外 司 博)	44
証 券 取 引 法 (春 田 博)	45
金 融 法 (川 田 悦 男)	45
国 際 取 引 法 (岡 田 外 司 博)	46
消 費 者 法 (青 野 博 之)	46
航 空 ・ 宇 宙 法 (関 口 雅 夫)	47
地 方 自 治 法 (梅 木 崇)	48
国 際 関 係 論 (首 藤 素 子)	48
外 交 史 (首 藤 素 子)	49
政 治 思 想 史 (小 林 正 敏)	49
外 書 講 読 [英 書] (青 野 博 之)	50
外 書 講 読 [英 書] (金 子 昇 平)	50
外 書 講 読 [独 書] (松 村 格)	51
外 書 講 読 [仏 書] (荒 木 正 孝)	51
外 書 講 読 [中 国 書] (3 選) (江 林 英 基)	52
外 書 講 読 [ス ペ イ ン 書] (上 野 勝 広)	52
演 習 (小 木 曾 綾)	53
演 習 (岡 田 外 司 博)	53

科目名	担当者名	配当学年	単位
法学概論	おおくほ はる お 大久保 治 男	法律1必	4

講義のねらい

法学部に入学して希望に胸ふくらんでいる学生諸君に失望や無関心を与えないように、法学とは社会にとって必要なものであると認識させる。善良な市民の最低の社会規範ルールを理解させるためにも最少限の法学の基礎的概念や理論を概説する。法学部と医学部は世界の大学における伝統ある専門学部の双壁であることを自覚させ法に対する興味と法を楽しく学ぶ喜びを講義を通じて学生に持ってもらおう。

講義の内容・授業スケジュール

前学期は総論的部分で、法とは何か、法の目的、法の根拠、法源、法の種類、法の解釈、法の効力、法と国家などを講ずる。抽象的にならない様になるべく具体例を多くとり入れて理解をしやすい工夫する。後学期は、民事法、刑事法の現行実定法のアウトラインを鳥瞰し、2年次以降の法学の各専門講義がスムーズに受け入れられる様に入門的、ガイダンスに力点を置くが、相当高度な専門的分野に迄立ち入ることもある。判例や具体的事例をふんだんにとり入れ、視聴覚教材等も多く使用してたまには法律クイズ合戦などして楽しい雰囲気作りを行う。

履修上の留意点

各個人と全体との調和のために最大公約数としての法秩序がいかに運用されているかを多角的に分析し、アップ・ツー・デイトの法律的諸問題にも関心がわき一応理解できるようにし、受講生に法学に対する興味と意欲を起させるようになればよいと念じている。

成績評価の方法

夏休みには法学に関する本を一冊読破し、その感想文を提出させる。また、法的事項の新聞の切抜とそれに対する意見、感想等を書いてもらって提出してもらう。テストは学期末一回かぎりであるが、予め重要ヶ所を20ヶ所位発表し、その中より出題される。また、必ず「法学概論」の講義に対する意見や感想を多く書いてもらって、講義へのフィード・バックを行なっている。

教科書

大久保治男著「法学概説」—— 芦書房 ——

参考書等

大久保治男著「家族関係」—— 芦書房 ——
水辺編大久保他共著「演習ノート法学」—— 法学書院 ——

その他

授業方法はOHP、書画TVカメラ、ビデオを毎時間のように使用し、学生の興味と理解に役立てるようにする。わたくしは多くの大学（上智大、中大、山梨大、創価大、国土大、川村女子大等）で講義し、教育学部で教育方法論も研究した者であるので講義は他の教官と一味ちがうユニークなものがある。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
法 学 概 論	きた の 北 野 かほる	法 律 1 必	4

講義のねらい

これから法学を学んで行くための基本的観点と感覚を養うため、「法」と社会と人間との関わりについての一般的考察、「法」の社会的機能の要点、を概観し、「法学」の全般的機能を考察した上で、「法学」を学ぶことの意味を改めて考える。また、今後の学習の指針として、現代日本の法学の諸分野とその大まかな特徴を解説する。

講義の内容・
授業スケジュール

- 第1部 社会と法
 - 第1章 一般的考察
 - 第1節 人間と法
 - 第2節 規範と権力
 - 第3節 正義
 - 第2章 集団生活と規範
 - 第1節 社会集団
 - 第2節 規範
 - 第3節 法的思考
- 第2部 近代日本の法
 - 第1章 近代日本法の系譜
 - 第1節 日本の法的近代化
 - 第2章 近現代日本法
 - 第1節 近代日本法の特徴
 - 第2節 日本近代法の分類
 - 第3節 現代日本法の動向

履修上の留意点

講義中の私語・騒音は厳しく規制する。予め十分留意すること。

成績評価の方法

論文式筆記試験（後期試験期間・年1回）

教 科 書

特に指定しない。

参 考 書 等

年度当初に指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
憲 法	さいとう ひさし 齊 藤 寿	法 律 1 必	4

講義のねらい

「憲法原理の究明」
1年間の全体を通して、極めて楽しい雰囲気の中で、憲法原理の解明を、興味深く行います。特にこの講義は、理論とともに生きた事例と判例を重視しながら行います。

講義の内容・
授業スケジュール

- 第1回 憲法概念－権力と国家と憲法－について
- 第2回 近代憲法と現代憲法の基本原理について
- 第3回 明治憲法の成立と特質について
- 第4回 日本国憲法の成立と制定法理について
- 第5回 日本国憲法の動向について
- 第6回 日本国憲法の体系と基本原理について
- 第7回 天皇の地位と権能について
- 第8回 国民の基本的人権について
- 第9回 平等権規定の態様と原理について
- 第10回 精神的自由権規定の態様と原理について
- 第11回 経済的自由権規定の態様と原理について
- 第12回 人身的自由権規定の態様と原理について
- 第13回 人身保護権規定の態様と原理について
- 第14回 救済権規定の態様と原理について
- 第15回 参政権規定の態様と原理について
- 第16回 社会権規定の態様と原理について
- 第17回 新しい人権について
- 第18回 国民の義務について
- 第19回 平和主義と日本国憲法について
- 第20回 統治機構と権力分立制について
- 第21回 国会の地位と構成と権能について
- 第22回 内閣の組織と権能と責任について
- 第23回 裁判所の地位と構成と権能について
- 第24回 憲法訴訟原理と違憲審査制について
- 第25回 財政の原則と予算と決算について
- 第26回 住民自治と団体自治の原理について
- 第27回 憲法保障の意義と方法について
- 第28回 国法の諸形式について
- 第29回 試験

履修上の留意点

- ※履修への対応 (Attitude of Your Lessons)
- ① Preparation (予習)
 - ② Marginal Note (余白ノート) の作成
 - ③ Review (復習)
- については、毎回指導します。

成績評価の方法

試験の成績とレポートの成績を合せて、学年の成績とします。

教科書

拙著の中から講義の際、選択・指示します。

参考書等

シラバス参照。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
憲 法	にし 西 おさむ 修	法 律 1 必	4

講義のねらい

何年前に発表された日米教育比較に関する米側専門家の報告書によると、日本の大学教育は完全に失敗している診断しています。「授業は貧弱で、大学生はいたって不勉強」というのがその結論です。日本の大学改革が叫ばれているいま、このような診断が誤りであることを証明する必要がありますと思います。

私は、次のような授業方針でのぞみますので、了解されたい。

- ① 私の教師になってからのモットーは「授業は休まず、遅く始めず、早く終わらず」というものです。したがって、受講生諸君は講義には必ず出席し、かつ授業時間に遅れないように。
- ② あらかじめ講義計画（シラバス）を立て、その計画にそって授業を進めます。この講義計画は別に配布しますが、キーポイントと参考文献が示してあるので、理想的には予習・復習するのが望ましい。
- ③ 授業中の私語・遅刻は、他人の迷惑になるので、絶対に慎んでほしい。私語をしている学生には退室してもらい遅刻者には入室を禁じることがあります。
- ④ 成績は平常点を重視。出席は毎時間とり、私が独自に作成した出席カードを利用し、双方向性を大切にした授業内容にします。
- ⑤ 授業内容は、コピーの配布、ビデオ、スライド、OHPなどの活用をはかり、できるかぎり理解を容易にするよう工夫をこらします。
- ⑥ 成績評価の目安は、おおむね以下のとおり。
前期試験30%、後期試験40%、出席・レポート30%
要するに、講義内容を生き活きたものにし、受講者から知的関心を引き出し、知的満足感をもって終了するというのが、最大のねらいです。

講義の内容・ 授業スケジュール

取り扱う主な項目は、以下のとおり。

- | | |
|---------------|---------------|
| ① 日本国憲法の制定過程 | ⑨ 憲法の改正と限界 |
| ② 国民主権と象徴天皇制 | ⑩ 基本的人権の歴史と意義 |
| ③ 日本国憲法と平和主義 | ⑪ 法の下での平等 |
| ④ 政治改革と憲法問題 | ⑫ 精神的自由権 |
| ⑤ 国会の組織と権能 | ⑬ 経済的自由権 |
| ⑥ 内閣の機能、議院内閣制 | ⑭ 社会権 |
| ⑦ 司法の構造と権限 | ⑮ 身体の自由 |
| ⑧ 憲法の保障 | ⑯ 財政・地方自治 |

教 科 書

- (1) 西 修編著「日本憲法25講」（八千代出版，1994年版，2,700円）
- (2) 西 修著「よくわかる平成憲法講座」（TBSブリタニカ，1995年，1,600円）

参 考 書 等

シラバス参照。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
民 法 総 則	こ 河 の ひ 野 弘 の り 矩	法 律 1 必	4

講義のねらい

民法とは、実質的意義においては、私法関係を規律する原則的・一般的な法を指し、形式的意義においては民法典を指している。民法典は、財産法領域を物権と債権に分け、それに家族法領域の親族と相続に関する規定を加え、それらの通則として最初に「総則」規定を置くといった五編から構成されている（「総則」規定は、財産法領域の総則であり、家族法領域にはそのまま適用されない）。民法典の編纂にあたり最初に抽象的命題を置き、次に具体的な法命題へと下降するといった手法を採用したため、最初の編である民法総則は、抽象的で、理解しにくい規定が多く、民法典の中では比較的難解な編であると言われている。本講義では、可能な限り具体的事例を通して、抽象的理論の理解をより容易にし、受講者の知的好奇心・学問的興味を深めていきたい。

講義の内容・授業スケジュール

民法総則は、その全体が「権利」を中心に、先ず「権利の主体」、「権利の客体」、続いて「権利の変動」といった順序による体系的な構成を採用している。本講義もその体系にしたがい進行する。一年間の前半で「権利の客体」までを終了し、「権利の変動」については夏休み以降に行う予定である。講義の中で、民法の条文は当然のこと、それ以外の特別法の条文をも参照する機会が多いため、必ず六法を持参して受講されたい。

講義は、民法総則の体系に従い次の順序で行う。

- 一 序論（民法の意義、基本原則、信義則と権利濫用）
- 二 権利の主体
 - (1) 自然人（権能力、意思能力、行為能力、無能力者の相手方の保護、住所、不在者）
 - (2) 法人（公益法人の設立、能力、機関、権能力のない社団）
- 三 権利の客体（物の概念、不動産と動産、主物と従物、元物と果実）
- 四 民法総則前半についての質疑応答
- 五 権利の変動
 - 1 法律行為（法律行為の意義、種類、法律行為の解釈）
 - 2 意思表示
 - (1) 意思と表示の不一致（心裡留保、虚偽表示、錯誤）
 - (2) 瑕疵ある意思表示（詐欺、強迫）
 - (3) 意思表示の効力発生時期
 - 3 法律行為の代理（代理の概念、代理権、代理行為、復代理、無権代理）
 - 4 法律行為の効力（無効、取消）
 - 5 法律行為の効力の制限（条件、期限）
- 六 時効（序論、取得時効、消滅時効）
- 七 民法総則全体についての質疑応答
（毎回の講義終了の教場か研究室一第二研2838においても質問を受ける。）

履修上の留意点

毎週、必ず出席をすること。継続しての受講が、理解の早道です。

成績評価の方法

期末試験の成績により評価する。評価に出席状況を加味するか否かは未定。

教科書

河野弘矩『民法総則講義』八千代出版、3,200円

参考書等

半田正夫「争点ノート民法Ⅰ」（法学書院）
 篠塚・前田編「新・判例コンメンタール」民法①・②（三省堂）
 基本コンメンタール「民法総則」（日本評論社）
 六法全書は、本講義に関する限り、ポケットサイズの六法全書でも、また年度の古いものでも良いです。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
刑 法 総 論	やま くち くに お 山 口 邦 夫	法 律 1 必	4

講義のねらい

一年次の専門科目として、高校時代の学習あるいは予備校時代の勉強方法から、一日も早くぬけ出し、大学における真の学問を学ぶ姿勢になってもらうことを主眼に講義をする。大学生の自覚をもって、講義や読書を通じて、みづから積極的に研究する態度を身につけるように諸君も努力してほしい。

講義の内容・
授業スケジュール

一年間を次の4期に分けて講義をする。Ⅰ期(4・5月)、Ⅱ期(6・7月)、Ⅲ期(9・10月)、Ⅳ期(11・12月)、1月の1回は、質問日とする。

Ⅰ期。学問とは何か。特に学問の限界について考える。それから、法律学とは何か。法律学の体系における刑法学の位置づけへと進む。

Ⅱ期。刑法における刑罰と犯罪概念を中心に、法治国家の原則として罪刑を法定しておくことの意味を検討する。

Ⅲ期。刑法学の構成要件を手がかりに、犯罪論の構築の仕方について、数種のパターンを考えて講義をする。その際、違法と責任との区別を峻別する立場から解説をする。

Ⅳ期。犯罪の既遂・未遂について、昔の学派の対立をひきあいしながら、未遂処罰の根拠、さらに過失犯に実行行為があるか否かを考えながら、故意犯と過失犯との区別について検討する。最後に二人以上の犯罪者が加わる共犯の問題について論究し、刑法学の概説を終る。

履修上の留意点

年間を通じて、出席はとらない。ただし、上記の各期ごとのまとめとして、小テストを時間内に行う予定である。

質問時間は、研究室2719号に掲示してある。毎週2～3時間は、毎年確保しているので、この時間内は、自由に質疑が可能である。

成績評価の方法

上記の小テストが実行できれば、その結果を、年一回の期末試験の成績と一緒に評価し、単位を認定する。

教 科 書

教科書は、原則として使用せずに講義をすすめ、参考書はその度に紹介するので、積極的に読書してほしい。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
刑 法 総 論	まつむら いたる 松 村 格	法 律 1 必	4

講義のねらい

刑法（刑罰法規）は、歴史的には支配者が市民を抑圧する最強の手段として長い間悪用されてきたし、近年に入ってからファシストたちから悪用された。今日、刑法は、市民の自由と権利を保障する機能をもつものとして把握されなければならない。そのためにも、刑罰権の発動と処罰の範囲をできる限り制限する理論操作が必要である。市民と行為者と被害者のそれぞれの人権保障を考えながら刑法理論を構築しなければならない。刑法総論はそのための基本的な視座にかかわる理論である。そういう視点から、学説・判例の動向を検討していくが、もちろん、刑法各論とのかかわりの中でできる限り具体的な事例を参考にしながら刑法総論を学び、刑法学の全体像を理解していきたい。更に、刑法教義学とその隣接科目との相互作用、刑法システムと他の法システムとの相互関係、法システムと経済・政治・文化システムとの交互作用も概観する。

講義の内容・授業スケジュール

前 期

- 第1回（刑法システムとその余のシステムとの関係）
- 第2回（刑法システムと隣接領域システムとの関係）
- 第3回（刑法および刑法学システムとその部分システムとの関係）
- 第4回（刑法総論とその部分システム）
- 第5回（刑法の意義と機能および犯罪の意義）
- 第6回（刑罰論と罪数論＝刑罰の本質と機能および目的／罪数論の意義）
- 第7回～8回（刑法の原理・原則論＝罪刑法定主義／責任主義／謙抑主義）
- 第9回～10回（行為と構成要件の理論＝行為論／犯罪の主体と客体／故意と錯誤の論／不作為犯論／因果関係論）
- 第11～12回（違法性の理論＝違法性の本質と実質／正当防衛と緊急避難／自救行為／正当業務行為とくに治療行為／臓器移植／安楽死・尊厳死）

後 期

- 第1回～3回（責任論＝責任の本質／責任能力／故意と違法性の意識／期待可能性）
- 第4回～5回（未遂論＝未遂の意義と処罰根拠／中止未遂／実行の着手／不能未遂）
- 第6回～9回（共犯論＝共犯の意義と形態／処罰根拠／正犯と共犯の区別と関係／共同正犯／共犯と身分／共犯の諸問題）
- 第10回～最終回（補足）

履修上の留意点

刑法総論は、きわめて体系的な学問なので、継続的に出席して講義を受けないと理解できなくなる。できる限り具体的な事例を利用して説明するが、それでも観念的思考が入りこむので、考える力を必要とする。教科書以外のことを沢山話しますので講義をよく聴き、必ずノートをとることが大切である。ただし、黒板に書くことは最小限度必要な事項だけであるから、それを筆記するだけでは意味がない。六法全書・教科書・ノートを毎回持参することが必要条件である。

成績評価の方法

成績の評価は、学年末の定期試験とその他の小テストの成績を総合して判断する。

教 科 書

松村格「刑法学への誘い」（八千代出版）および授業で指示する書。

参 考 書 等

別冊ジュリスト「刑判決例百選Ⅰ総論（第三版）」（有斐閣）
 齊藤誠二編「演習ノート刑法総論」（法学書院）
 福田／大塚編「現代青林講義・刑法総論」（青林書院）
 「刑法基本講座（全6巻）」のうち1～4巻（法学書院）

そ の 他

授業の方法は、すべて講義方式で行なう。必要に応じてプリントを配布することがある。その場合には、そのプリントに添って講義をする。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
刑 法 総 論	やま ぐち くに お夫 山 口 邦 夫	法 律 2 必 (2 年 生 用)	4

講義のねらい

2年生とはいえ、まだ学問をする姿勢が出来ていない人々が多い点に留意しつつ、大学生の自覚をうながしていきたい。すでに、憲法及び民法を学んできたことを前提に講義をすすめる予定である。

講義の内容・
授業スケジュール

一年間を次の4期に分けて講義をする。Ⅰ期(4・5月)、Ⅱ期(6・7月)、Ⅲ期(9・10月)、Ⅳ期(11・12月)、1月の1回は、質問日とする。

Ⅰ期。刑法学の学とは何か。憲法学との関連、民法学との関連などを手がかりに、法律学の体系における刑法の位置づけについて。

Ⅱ期。刑法における犯罪と刑罰の概念について。法実証主義の意味における罪刑法定主義の意味を検討する。

Ⅲ期。刑法学の構成要件論を中心に、犯罪論の体系のあり方について、数種検討しながら講義をする。違法と責任との区別を強調する立場に立つ。

Ⅳ期。犯罪の既遂と未遂について、いわゆる学派の争いを参考にしながら、未遂犯の根拠や過失犯の本質を検討しつつ、故意犯の考察に重点をおいて講義をする。次に二人以上の犯罪者が加わった共犯論の問題について総則規定の範囲内で講義をする(集団犯などの検討は刑法各論にゆづる)。

履修上の留意点

年間を通して、出席はとらない、ただし、上記の各期ごとのまとめとして、4回小テストを行う予定である。

質問時間は、研究室2719号に掲示してある時間内は、自由に質疑が出来る。毎週2～3時間は確保して、毎年待っているが、質問者は意外と少ない。積極的に質問する姿勢がほしい。講義の時間中は、質問を受けにくいから。

成績評価の方法

上記の4回の小テストに加えて、年1回の期末試験がある。期末試験を重視するが平常点として、小テストも考慮し、最終的な単位認定をする。

教 科 書

教科書は、使用せず、参考書をそのつど紹介するので、積極的に多数の本を読み実力をつけてもらいたい。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
刑 法 総 論	まつ 松 村 格	法 律 2 必 (2 年 生 用)	4

講義のねらい

刑法（刑罰法規）は、歴史的には支配者が市民を抑圧する最強の手段として長い間悪用されてきたし、近代に入ってからでもファシストたちから悪用された。今日、刑法は、市民の自由と権利を保障する機能をもつものとして把握されなければならない。そのためにも、刑罰権の発動と処罰の範囲をできる限り制限する理論操作が必要である。市民と行為者と被害者のそれぞれの人権保障を考えながら刑法理論を構築しなければならない。刑法総論はそのための基本的な視座にかかわる理論である。そういう視点から、学説・判例の動向を検討していくが、もちろん、刑法各論とのかかわりの中でできる限り具体的な事例を参考にしながら刑法総論を学び、刑法学の全体像を理解していきたい。更に、刑法教義学とその隣接科目との相互作用、刑法システムと他の法システムとの相互関係、法システムと経済・政治・文化システムとの交互作用をも概観する。

講義の内容・授業スケジュール

前 期

- 第1回（刑法システムとその他のシステムとの関係）
- 第2回（刑法システムと隣接領域システムとの関係）
- 第3回（刑法および刑法学システムとその部分システムとの関係）
- 第4回（刑法総論とその部分システム）
- 第5回（刑法の意義と機能および犯罪の意義）
- 第6回（刑罰論と罪数論＝刑罰の本質と機能および目的／罪数論の意義）
- 第7～8回（刑法の原理・原則論＝罪刑法定主義／責任主義／謙抑主義）
- 第9～10回（行為と構成要件の理論＝行為論／犯罪の主体と客体／故意と錯誤の論／不作為犯論／因果関係論）
- 第11回～12回（違法性の理論＝違法性の本質と実質／正当防衛と緊急避難／自救行為／正当業務行為とくに治療行為／臓器移植／安楽死・尊厳死）

後 期

- 第1～3回（責任論＝責任の本質／責任能力／故意と違法性の意識／期待可能性）
- 第4～5回（未遂論＝未遂の意義と処罰根拠／中止未遂／実行の着手／不能未遂）
- 第6～9回（共犯論の意義と形態／処罰根拠／正犯と共犯の区別と関係／共同正犯／共犯と身分／共犯の諸問題）
- 第10回～最終回（補足）

履修上の留意点

刑法総論は、きわめて体系的な学問なので、継続的に出席して講義を受けないと理解できなくなる。できる限り具体的な事例を利用して説明するが、それでも観念的思考が入りこむので、考える力を必要とする。教科書以外のことを沢山話するので講義をよく聴き、必ずノートをとることが大切である。ただし、黒板に書くことは最小限な事項だけであるから、それを筆記するだけでは意味がない。六法全書・教科書・ノートを毎回持参することが必要条件である。

成績評価の方法

成績の評価は、学年末の定期試験の成績とその他の小テストの成績を統合して判断する。

教 科 書

松村格「刑法学への誘い」（八千代出版）および授業で指示する書。

参 考 書 等

別冊ジュリスト「刑法判例百選Ⅰ総論（第三版）（有斐閣）
 斉藤誠二編「演習ノート刑法総論」（法学書院）
 福田／大塚編「現代青林講義・刑法総論」（青林書院）
 「刑法基本講座（全6巻）のうち1～4巻（法学書院）」

そ の 他

授業の方法は、すべて講義方式で行なう。必要に応じてプリントを配布することがある。その場合には、そのプリントに添って講義する。

科目名	担当者名	配当学年	単位
会社法	やま だ やす ひこ 山 田 泰 彦	法律 2 必	4

講義のねらい

会社——特に、株式会社は、現在の経済活動における不可欠の組織である。この講義では、株式会社の組織・運営に関する法規制、株式会社法を中心にその制度の体系および構造を概観する。会社法といっても、学生諸君にすれば、会社という場に身を置いていないこともあって、それは別世界のことであり、あまり身近に感じられない遠い世界でもあるかのようである。しかし、私たちの生活は、高度な経済社会の営みの上に展開しているものであり、それは、企業活動の単位としての株式会社によって支えられているといっても過言ではない。私たちは、会社に就職することで直接的な関係を持つ場合のみならず、この社会で生活していること自体、すでに会社と間接的に結ばれているといえよう。このような会社という存在に、法の側面から、この講義では接近する。

さて、株式会社とは、出資単位を均一の細分化した株式にして、社会に潜在している資本を効率よく集めるために、考案されたものである。したがって、立法制定者は、相当大きな資本を擁する複雑な構造をもった組織として、典型的な株式会社の姿を法典の上に描いて見せたが、現実には、個人企業や組合に等しいような株式会社が多い。このような株式会社にとって株式会社法は、身の丈に合わないだぶついた服となっており、法と現実との遊離といった問題が生じている（そもそも、こうした小さな企業がなぜ株式会社という選択をするのだろうか。講義ではこの点にも触れる）。他方、株式を証券市場に上場しているような会社は、その資本金も株主の数も多く、中にはそれ自体が一個の社会的権力にも比肩できるような巨大会社もめずらしくないが、これら会社にとって株式会社法は、むしろスモール・サイズの服となっている。株式会社法は、この両極において、困難な問題に直面しているといえよう。講義では、株式会社法の基本的な制度内容に十分配慮しながら、株式会社法制度の根幹にかかわる困難な問題が、株式会社法の個々の制度・規制について、どのように問題となっているかについても触れてみたい。同時に、現実の紛争において問題になってくる株式会社法の具体的な制度をめぐる判例および学説の錯綜する解釈上の論点についても、ポイントを押さえて、講義する。

講義の内容・授業スケジュール

講義内容は、会社法の中でも、最も重要な株式会社法を中心とする。そこでまず、①会社法総論として、会社の経済的機能、法的意義、法的特色を押さえた後、株式会社の特質を位置付ける。次いで、②会社の運営を観る。具体的には、機関総論、株主総会、取締役・取締役会、監査役を講義する。その後、③株式制度として、株式の意義、種類、株主平等の原則、株式譲渡自由の原則とその例外、株券、株主名簿、名義書換、株式金融、単位株制度・端株を順次、取り上げる。このようにして、株式会社の基本的内容を観た後、④株式会社の設立に入る。設立手続の内容、定款の作成、変態設立事項、出資の履行、設立登記とその効果とその具体的内容となる。余裕があれば、⑤資金調達にも入りたい。③株式の途中で、夏季休暇に入るものと予定している。

履修上の留意点

講義での私語は厳禁する。六法全書は、必ず持参すること。講義では、必ず条文を参照する必要が生じる。六法がないと、そこで理解がスムーズに行かなくなる。

成績評価の方法

成績評価は、期末試験での評価による。出席は、取らない。これまでの私の経験から言えば、不可を取る学生数は、およそ、出席していない学生数にほぼ相当すると感じている。大体、履修登録者数の半分前後が、出席しているが、この位の数が、単位を取得しているからである。

教科書

荒木正孝『企業法』（成文堂）2,800円

参考書等

長浜洋一『株式会社法』（有斐閣）3,914円 会社法判例百選（第5版）（有斐閣）1,800円。

その他

株式会社法を勉強するにあたっては、各種制度の目的を十分に理解することが大事である。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
会 社 法	あら き まさ たか 荒 木 正 孝	法 律 2 必	4

講義のねらい

この講義では、商法総則（法例、商人、商業登記、商号、商業帳簿、商業使用人、代理商）および会社法（総則、合名会社、合資会社、有限会社、株式会社）の基本的な事項について説明する。

商法は、民法を一般法とする特別法であるから、商法を学ぶ際には、その基礎となる民法総則、物権法、債権総論などの知識があると一層理解しやすいと思うが、講義の内容を理解するために必要な範囲で民法（財産法）の規定や考え方にも触れるつもりなので、財産法を履修していなくても差し支えない。ただ、民間企業を目指す学生諸君は、商法に関心を抱くかどうかは別にしても、やはり財産法を学んでおいた方が将来の役に立つことでしょう。

講義の内容・ 授業スケジュール

講義のやり方としては、限られた授業時間をできるだけ有効に使いたいと思うので、最も議論の活発な会社法に多くの時間を割き、会社法を理解するために必要な限りにおいて商法総則に触れることにしたい。また、会社法のなかでも現代社会において国民の経済生活に計り知れない影響を及ぼしている株式会社について、その生成、機能、構造、消滅などの私法的側面を規整する株式会社法に重点を置き、重要問題を中心に法規、学説、判例および実務の取り扱いなどを検討し、会社法の基本原理を理解できるようにする。

教 科 書

荒木正孝著『現代企業法』（商法総則・会社法）第2版（成文堂）

参 考 書 等

奥島・中島編『商法演習Ⅰ（会社法）第2版』（成文堂）
鴻・竹内・江頭編『会社判例百選』（第5版）（有斐閣）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
行 政 法 総 論	さい とう ひまし 齊 藤 寿	法 律 2 必 法 律 2 選	4

講義のねらい

「現代行政法原理の究明」

1年間・全体を通して、極めて楽しい雰囲気の中で、現代行政法の法理解明を興味深く行います。特にこの講義は、生きた行政法を重視しながら行います。

講義の内容・
授業スケジュール

- 第1回 行政とは何か。
- 第2回 行政法とは何か。
- 第3回 行政法の特徴は何か。
- 第4回 世界の行政法の類型と、行政法学について。
- 第5回 行政法の基本原理は何か。特に「法律による行政の原理」を中心として。
- 第6回 行政法の法源と効力について。
- 第7回 行政上の法律関係について。
- 第8回 特別権力関係と行政法関係の変動について。
- 第9回 行政作用法と行政立法について。
- 第10回 行政行為とその内容について。
- 第11回 行政行為の附款と成立について。
- 第12回 行政行為の効力について。
- 第13回 羈束行為と裁量行為について。
- 第14回 行政行為の暇疵と取消と撤回について。
- 第15回 行政契約について。
- 第16回 行政計画について。
- 第17回 行政指導について。
- 第18回 これまでの講義のreviewと、これからの講義のoutline について。
- 第19回 行政強制について。
- 第20回 行政罰について。
- 第21回 行政手続について。
- 第22回 行政救済について。
- 第23回 行政上の損害賠償について。
- 第24回 行政上の損失補償について。
- 第25回 行政争訟制度について。
- 第26回 行政不服審査について。
- 第27回 行政事件訴訟制度の沿革と類型について。
- 第28回 行政事件訴訟手続について。
- 第29回 試験

履修上の留意点

※学生への要望

この講義は、楽しくかつ役に立つ講義です。私といっしょになって、「行政法総論」を楽しく研究してみませんか。——私がおみなさんを、「水飲み場」へ、ご案内します。目には火を、顔には光をいだいて、ついてきて下さい。

Rouse up, O, Young Men of the New Age! (目覚めよ、新時代の若者たちよ!) ——との、イギリスの詩人、ウィリアム・ブレイクの叫びを、この際、みなさんに送りましょう。

成績評価の方法

試験の成績とレポートの成績を合せて、学年の成績とします。

教 科 書

拙著の中から、講義の際、選択・指示します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
国 際 法	さいとう ひろし 齋 藤 洋	法 律 2 必 法 律 2 選	4

講義のねらい

国際法学の基礎知識の修得を目指す。

講義の内容・
授業スケジュール

いづこの大学でも行われているようなオーソドックスな順序で講義する。国際法学の基礎理論、静的固定的秩序および動的秩序の説明が主な内容であり、受講生の理解度を観ながら、できるだけ広範囲に内容が及ぶようにしたい。

履修上の留意点

例えば数学でも加減乗除を知らないと微積分などができないように、国際社会秩序に関する法的基礎知識なしに現代国際社会を理解することはできない。いかなる学問でも基礎部分の習得は大変に退屈で苦勞するものであり、国際法学も例外ではない。しかし一度この基礎知識を修得したならば、日々生起する国際社会の様々な現象を法的視点をもって容易に理解することができ、何が問題の中心かを見いだすことができるであろう。受講生は苦勞の後の楽しさを思い描いて講義を受けてもらいたい。授業中に疑問のある点について、そのときの授業にかかわらず、気軽に質問してもらえれば、それに答えるなかで他の様々な国際法のルールが説明できるので、おおいに質問を歓迎する。

成績評価の方法

成績は主として年末の定期試験で決定するが、授業中の報告やレポートの提出も考慮に入れる。

教 科 書

島田征夫編著『ケースで学ぶ国際法』成文堂、¥2,987

参 考 書 等

特に指定しないが、市販されている条約集及び国際判例集があれば好ましい。

そ の 他

講義では板書はほとんどないので、受講生は自分自身で自分なりのノートを作成してもらいたい。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
物 権 法	つる い しゅん きち 鶴 井 俊 吉	法 律 2 必 法 律 2 選	4

講義のねらい

この講義では、民法典の第二編「物権」のうち総則、占有権、所有権、地上権、永小作権、地役権を対象とする。所有権を中核とする物権法は、今日の社会構造の法的土台をなしており、憲法上の私有財産制度の骨組を定めたものである。その意味で、物権法は民法の中で最も基礎的な重要な部分であるといえる。

講義の内容・
授業スケジュール

講義の主な内容は、不動産売買をめぐるトラブルがどのように解決されているのかなど、物権変動を中心に、不動産利用権、物権の支配の秩序維持についての制度を解説する。

講義では、物権法の基礎的な考え方を理解できるように、できるだけ判例等の具体例を入れ、図式してわかりやすいように心掛けるつもりである。

履修上の留意点

物権法は、解釈学上においても体系的理解が困難な分野であるといわれている。それは立法の沿革に基づいている。現行民法がドイツ民法を継受してできあがっているにもかかわらず、物権法の主要な部分については、フランス民法の影響を強く受けているからである。それゆえに講義に出席しないとなかなか興味を持てないし、理解しづらい分野であるので、毎時限の出席と予習を強く希望する。

教 科 書

遠藤・川井他編『民法(2) 物権』(有斐閣双書)を予定している。

参 考 書 等

講義の最初に指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
債 権 総 論	あおのひろゆきの 青野博之	法 律 2 必 法 律 2 選	4

講義のねらい

債権総論とは、民法典のうち第3編「債権」の第1章「総則」をいう。
 売買契約によって代金支払債権が発生し、賃貸借契約によって賃料支払債権が発生するが、両方とも金銭債権であるということでは共通する。売主が買主に代金を支払えというのも、賃貸人が賃貸人に賃料を支払えというのも金銭を払えということでは同じである。また、買主が売主に品物を引き渡せという引渡債権も、債権という点では、金銭債権と共通する。つまり、債権者が債務者に何かをせよと（またはしてはいけないと）請求するという点では共通する。
 このように、債権の共通点を中心にして、債権の性質、その効力などを考察するのが、債権総論である。

講義の内容・
授業スケジュール

序 論
 債権の目的（債権の内容）
 特定物債権・種類債権
 金銭債権
 債権の効力
 履行の強制
 債権不履行（契約責任の要件）
 損害賠償（契約責任の効果）
 受領遅滞
 責任財産の保全
 債権者代位権
 債権者取消権
 多数当事者の債権関係
 連帯債権
 保証債務
 債権譲渡
 債権の消滅
 弁 済
 相 殺

履修上の留意点

質問は大歓迎である。出席者がそれほど多くなければ、私から受講者に質問しつつ、受講者に民法の条文を読み上げていただくことになると思われる。

成績評価の方法

出席して質問をした回数、およびその質問の内容を重視する。出席者に対して私から質問をするので、これに答えてくだされば、これもカウントに入れる。正しい答えでなくともよく、自分で考えた答えであればよい。自分で考えることに意味がある。答えられなかったとしても不利には扱わないので、安心して質問に答えてほしい。

なお、受講生がそれほど多くなければ、質問および応答の平常点だけで成績を評価する。しかし、平常点で成績を評価することができないほど受講生が多ければ、年度末の試験も行う予定。なお、試験を行う場合には、いっさいの持ち込みを不可とする。

教 科 書

野村豊弘・栗田哲男・池田真朗・永田真三郎著『民法Ⅲ 一 債権総論 [第2版]』、有斐閣、1648円。
 教科書は上記のものを使うが、ほかに自分が気に入ったもの、手持ちのものがあれば、それでもよい。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
刑 法 各 論	まつ 松 村 いたる 格	法 律 2 必 法 律 2 選	4

講義のねらい

刑法各論は、各個別の犯罪構成要件の解釈が中心である。その場合に、当然ながら市民と行為者と被害者の人権保障を念頭におきながら、処罰範囲の縮小を常に考慮して解釈する必要がある。もっとも、1年間で77条から264条までのすべての犯罪類型について検討していくことは不可能なので、重要なものにしばって勉強していきたい。そこで、今日問題になっている犯罪についてその構成要件の解釈を検討していくことにする。つまり、科学技術の急激な進展に伴って生じる問題、個人の自由の保護から見なおすべき問題、従来から問題となっていてまだ解決されていない問題、などを検討していく。

講義の内容・授業スケジュール

- (1) 科学・医療技術と生命：①遺伝子工学と胚の問題／②胎児の生命の問題＝胎児性傷害の問題（チソ水保病事件）／③人の始期と終期の問題＝脳死と臓器移植の問題／④尊厳死と安楽死の問題（ターミナルケアとペインクリニックの問題）
- (2) コンピュータ関連犯罪
- (3) 近代建築と放火罪の問題
- (4) 犯罪報道と名誉毀損罪の境界の問題
- (5) 個人の自由と住居侵入罪の保護法益の問題
- (6) 性と犯罪の問題（妻に対して強姦罪は成立するか／その他）
- (7) 財産犯の問題点：①財産罪の保護法益の問題／②財物の概念／③窃盗罪に不法領得の意思は必要か／④刑法における占有概念と占有形態の問題／⑤権利行使と詐欺罪・恐喝罪／⑥不法原因給付と詐欺罪・横領罪／⑦詐欺罪の問題点＝成立要件・無銭飲食およびキセル乗車・三者間詐欺／⑧横領罪と背任罪
- (8) ひき逃げと遺棄罪・殺人罪
- (9) 賄賂罪の問題点
- (10) その他

履修上の留意点

教科書に書いてある内容をかなり越える最近の問題であるので、教科書以外のことを沢山講義する。したがって、毎回出席してノートをとっていかないと理解できない。黒板に書くことだけを筆記しては理解できない。

成績評価の方法

成績の評価は、学年末の定期試験の成績のほか、途中で不定期に実施する小テストやレポート提出などを総合的に判断して行なう。

教 科 書

松村格「日本刑法（各則講義案）」（八千代出版）

参 考 書 等

別冊ジュリスト「刑法判例百選Ⅱ各論（第三版）」（有斐閣）
「刑法基本講座」5・6巻（法学書院）
福田／大塚編「現代青林講義・刑法各論」（青林書院）

そ の 他

授業の形式は、すべて講義形式で行なう。必要に応じてプリントを配布する。履修者が少人数の場合には、適宜ゼミ形式や討論形式を併用する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
有 価 証 券 法	しま はら ひろ あき 島 原 宏 明	法 律 2 必 法 律 2 選	4

講義のねらい

現代の経済社会における企業間の取引では、手形や小切手等の有価証券が数多く使用されている。中でも手形と小切手は典型的な有価証券であって、その流通に関する法規制の多くは商法上の他の有価証券にも及んでいる。したがってその体系の理解は有価証券全般を理解する上で不可欠なものである。また、手形や小切手は金銭債権と結びついた証券であるため、これに関する法体系は債権法の一部として把握され、民法の債権総論と密接な関係にある。

講義の内容・
授業スケジュール

手形法は第一編為替手形と第二編約束手形の二編から成り立っており、為替手形についての規定の多くを約束手形に準用するという構成になっている。ただし、わが国においては為替手形がほとんど用いられていないという現実があり、また為替手形に比べて約束手形の方が仕組みが単純であるため、条文の順序とは一致しないが講義では約束手形を中心にして説明を行い、適宜為替手形、および為替手形と基本的な仕組みを同じくする小切手についての説明を付け加えていくという形をとる。

なお、企業活動に関わったことのない学生諸君には手形や小切手の世界は現実感が乏しく興味が起こりにくいため、なるべく具体的な判例を示して解説をしていくつもりである。

成績評価の方法

成績評価は期末試験による。

教 科 書

丸山秀平『手形法小切手法概論』中央経済社 ￥3,500

参 考 書 等

倉沢康一郎『手形判例の基礎』日本評論社 ￥2,600

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
裁 判 法	すぎ とうら ととも つぶ 杉 浦 智 紹	法 律 2 必 法 律 2 選	4

講義のねらい

現代社会では、人は裁判とかかわりなしに生きることが、むしろ難しくなっている。従って、国民1人1人が自分の権利を守っていく為にも、裁判に関心を持つことが必要である。そこで、この講義では、法が裁判によって自己実現をとげていく仕組みについて、裁判の担い手である人の側面、また国家制度としての側面、手続過程としての側面から、日本の裁判の特色を浮きぼりにしつつその解明を試み、また民事訴訟法や刑事訴訟法について三年次以後に具体的に勉強されるであろう学生諸君に、手続法の学習の基礎が形成できるようように、現代の裁判の抱えている問題を一つ一つ採り上げながら、出来るだけ分かり易くしかも的確に理解してもらえるよう講義を進めていきたいと考えている。

講義の内容・授業スケジュール

- I. 総論的に、
 - ①現代社会における裁判とのかかわりあい、裁判の役割と限界
 - ②現代裁判制度の沿革と特色
 - ③裁判所の機構論及び裁判官論
 - ④検察庁の組織及び検察官論
 - ⑤弁護士制度論
 - ⑥公証人制度
 - ⑦裁判過程論
 - ⑧法律扶助と国選弁護
 - ⑨法曹教育問題 —— 比較法的見地に立脚して ——
- II. 各論的に
 - ⑩民事裁判の手続論
 - ⑪刑事裁判の手続論
 - ⑫国民の司法参加の課題
 - ⑬違憲審査制度論
 - ⑭捜査の必要性、捜査機関、捜査の適正化に必要な方法論
 - ⑮裁判における証拠の重要性と証拠裁判主義並びに事実認定における証拠の扱い方
 - ⑯裁判の遅延と促進をめぐる問題
 - ⑰誤判とその救済制度論
 - ⑱日本人の裁判に対する特異性
 - ⑲裁判の目的と実現の方法論
 - ⑳裁判における判例の役割と機能
 - ㉑民事訴訟に関する新法へのアプローチ
 - ㉒行政訴訟、人事訴訟、家事審判制度、等を中心に、実務的体験をもとに、基本的課題は勿論のこと、各種手続法の up-to-date な問題点についても出来るだけ個別に採り上げて、手続法の基礎が形成できるように努力を傾ける。

履修上の留意点

活きた法律を学ぶには、裁判の傍聴は極めて有効な手段と思われるので、この講義を受講する学生諸君は、夏期休暇中に裁判の傍聴が義務づけられ、夏休み明けに、傍聴所見をレポートとして提出することが必要である。法学部の学生として、一回は現実の裁判を傍聴することは不可欠であろう。裁判を傍聴した学生は異口同音に、裁判を身近なものと感じ後期から法律の勉強に意欲的に取組む姿勢が感じられる。

成績評価の方法

出席、レポート及び定期試験を総合的に判断し評価する。

教科書

特に指定はしない。

参考書等

兼子一・竹下守夫著「裁判法（第三版）」（1994、有斐閣）
小島武司編「現代裁判法」（1988、三嶺書房）

その他

その他、講義項目に関連する詳細な文献については、講義の進行にあわせて、その都度紹介する。

科目名	担当者名	配当学年	単位
民事訴訟法	すぎ 杉 うら 浦 とも 智 つぐ 紹	法律3・4必 法律3・4選	4

講義のねらい

民事訴訟は、その対象が日常生活をめぐる法的紛争（民事紛争）である事から、その法的紛争を解決する方法としての民事訴訟法学の理論的考察には、取り分け実体法との関連性を重要視し、訴訟法理に実体法理を包摂するとの基本的構想を採る必要性があると考えている。また、講義では判決手続を中心に、憲法との関連性をも重視しつつ、適正且つ迅速な裁判をするには、裁判所と当事者との協働作業が不可欠であることを充分認識した上で、民事訴訟法の基礎理論からはじめて、訴訟構造論、訴訟主体論、訴訟客体論、訴訟過程論、裁判論、等について論及する。具体的には、訴提起の段階、口頭弁論、証拠調べの段階、訴訟終了の段階に対応した、民事訴訟法上の主要な論点について、「問題の所在」を示し、学説・判例の動向を整理・紹介し、どういう角度から問題にアプローチし、また結論を導くべきかに重点をおいて、考察・検討するという方法をとる。特に訴訟過程において、訴訟主体が主体的役割を果たしたか、また果たせたかが、裁判の効力に大きく影響することを、大きな課題として、講義を進める予定である。

講義の内容・授業スケジュール

- I 民事訴訟の基礎理論
 - ① 民事訴訟と民事紛争
 - ② 民事訴訟の基本原則 —— (1) 処分権主義、(2) 弁論主義 (3) 必要の口頭弁論の原則 (4) 民事訴訟の憲法の保障
 - ③ 訴訟の構造理論
 - ④ 現代型訴訟と問題の所在
- II 民事訴訟の主体論
 - ① 裁判所 (1) 構成と管轄 (1) 裁判所の除斥・忌避
 - ② 当事者 (1) 当事者概念 (2) 当事者をめぐる諸問題 (3) 当事者能力 (4) 訴訟能力 (5) 当事者の確定 (6) 当事者適格 (7) 訴訟における代理・代表
- III 訴訟客体論
 - ① 訴と請求
 - ② 訴訟における審判対象 (1) 審判対象の特定 (2) 訴訟要件の調査と審理順序 (3) 訴訟物の構成 (4) 訴訟物論争問題 (5) 訴提起の効果
- IV 訴訟過程論
 - ① 口頭弁論 (1) 裁判資料の収集 —— 主要事実と間接事実 (2) 口頭弁論の経過 (3) 当事者の訴訟行為
 - a) 意義と種類 b) 訴訟契約=訴訟上の合意 c) 訴訟行為と私法規定 d) 訴訟行為の瑕疵と治癒
 - e) 形成権の訴訟上の行使
 - ② 証拠
 - (1) 事実認定と証拠 a) 証拠の必要性 b) 要証事実・不要証事実 c) 証拠の意義
 - (2) 証拠調べの実施 a) 証拠調べ通則 b) 各種の証拠調べ c) 自由心証主義
 - ③ 訴訟における主張と証明
 - (1) 主張責任と証明責任 (2) 弁論主義による証明責任の機能の拡大 (3) 証明責任の分配基準 (4) 証明困難軽減の諸方法 (5) 証明責任における当事者の対等性の原則
- V 訴訟の終了
 - ① 訴の取り下げ、請求の放棄・認諾、訴訟上の和解
 - ② 判決 (1) 裁判の種類及び判決の種類 a) 中間判決 b) 終局判決 c) 訴訟判決と本来判決 d) 判決の成立
 - ③ 判決の効力
 - ④ 既判力 (1) 意義 (2) 既判力理論 (3) 既判力を有する裁判 (4) 既判力の作用 (5) 既判力の範囲
 - a) 時的範囲 b) 客観的範囲 c) 主観的範囲
 - (5) 執行力・形成力・附随的效果
- VI 訴訟における訴訟参加
 - ① 補助参加 ② 独立当事者参加 ④ 共同訴訟参加・共同訴訟的補助参加
- VII 訴訟における複数請求審理
 - ① 複数請求訴訟 (1) 訴の客観的併合 (2) 訴の変更 (3) 中間確認の訴 (4) 反訴
 - ② 訴の主観的併合=共同訴訟 (1) 通常共同訴訟 (2) 必要的共同訴訟 a) 固有必要的共同訴訟 b) 類似必要的共同訴訟 (3) 共同所有関係と必要共同訴訟
- VIII 訴訟における不服申立て制度
 - ① 裁判と不服申立て ② 控訴 ③ 上告 ④ 抗告 ⑤ 再審

履修上の留意点

手続法は実体法の理解とは異り、体系的に連続しているので、講義には必ず出席し、また講義が楽しくなるかは、予め問題意識をもっているか、または関心があるかにかかっているため、講義対象は前週に指示しておくので、参考書等に目を通して受講されることが望ましい。また法律の勉強は理解することにあるので、それには先づいて条文を読むことが大切なので、六法全書に親しむ習慣を是非つけてほしい。

成績評価の方法

民事訴訟法の試験は、(1)期末の定期試験でペーパーテストを行い、これを成績評価の重点項目とするが、(2)前期段階で小テストを行う。どの程度の理解が出来ているかを確認するため、講義をした主要な事項について、設問形式で結論と理由づけを三行以内で書かせる方式を採り、テスト終了後、設問に対する解答及び理由づけを開示し、答案は、採点の上各人に返還する。(3)学生との信頼関係の下、年間使用できる受講カードを配付し、毎時間の授業項目を記載させ、単位を必要とする者には、これを自己管理させ、期末に提出させる。以上の三点を総合判断して成績の評価を行う。

教科書

特に指定はしない。

参考書等

1. 中野/松浦/鈴木編「民事訴訟法講義」(有斐閣)
 2. 新堂幸司著「民事訴訟法」(筑摩書房)
 3. 三ヶ月章著「民事訴訟法」(弘文堂)
 4. 谷口安平著「口述民事訴訟法」(成文社)
 5. 上田徹一郎著「民事訴訟法」(法学書院)
 6. 民事訴訟法の争点(新版)ジュリスト(有斐閣)
 7. 民事訴訟法判例百選 I, II, ジュリスト(有斐閣)
- その他、講義の進行に応じて適宜、詳しい文献の紹介は行う。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
刑 事 訴 訟 法	おぎそ 小木曾 りょう 綾	法律3・4必 法律3・4選	4

講義のねらい

捜査から公判，上訴に至る刑事手続の流れを知り，それぞれの制度の趣旨・目的を理解することを狙いとする。

犯罪の予防，摘発と国家機関の権限の適正な行使によって個人の自由や市民社会の安全は維持される。外国法の動向も視野に入れつつ，前期は捜査活動について，その必要性和個人の自由のバランスをどのようにとるべきかを考察し，後期は公判の諸原則を学びながら，最も厳しい制裁である刑罰を科すための手続的な公正さ・手続的正義について考える。

履修上の留意点

社会で生起するさまざまな事件や法律問題に興味をもつと同時に，それを法律論として冷静にかつ真剣に学ぶ姿勢を求める。

成績評価の方法

年度末の筆記試験による。

教科書

渥美東洋「刑事訴訟法」有斐閣または田宮裕「刑事訴訟法」有斐閣
六法は必携である。

参考書等

渥美東洋編著「刑事訴訟法基本判例解説第三版」三嶺書房
ジュリスト「刑事訴訟法判例百選第六版」

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
社 会 保 障 法	おお ば とし ひに 大 場 敏 彦	法 律 3・4 必 法 律 3・4 選	4

講義のねらい

日常生活を営んでいく中で、我々はさまざまな「事故」に遭う危険を持っている。それは、病気や怪我であったり、その結果としての障害であったりする。こういった「事故」に遭えば我々は、療養費の支払いといった出費であるとか、療養中の不労や障害を持っていることからくる所得の停止・減少といった問題に直面する。また、出産・育児、高齢等も同様に、出費、所得停止・減少といった事態をもたらすことになる。さらに、高齢や障害によって、身の回りのことを自分でできなくなってしまうこともある。

こういった事態に対処するのが社会保障制度であり、それを法的に形作り、指導していくのが社会保障法である。

もっとも社会保障「法」といっても、そのような名称の統一法典が存在しているわけではなく、健康保険法、国民健康保険法、厚生年金保険法、国民年金法等々の、国民の生存権を直接的に保障しようとするさまざまな法律の集まりであるといえる。この、社会保障法がさまざまな法律の集合体であるという点が、比較的頻繁に行われる法改正とあまって、社会保障法を複雑なものとし、その理解を妨げることにもなっている。そこで講義では、これら社会保障法を構成する主な法律（制度）についてその概要の正確な理解を図り、その上でそれらが抱える問題点を検討していくこととする。

講義の内容・授業スケジュール

講義では、いわゆる医療保険、年金保険、児童福祉、老人福祉等々を扱っていく。

なお、医療保険と年金保険については、雇用される者か否かであるとか雇用先によって適用される法律が異なっているが、進捗の関係もあり、医療保険については健康保険法と国民健康保険法を、年金保険については厚生年金保険法と国民年金法のみを扱うこととする。

講義の進め方に関しては、複雑に絡まりあった制度をよりわかりやすく理解してもらうために、社会保障制度からの給付を、病気・怪我、出産・育児、高齢といった「生活事故」ごとに分類して、それぞれに対してどのような給付がなされるのかを、ライフサイクルにあわせて説明することとする。

その上で、これまでの議論や現行制度の法律上の論点を検討し、現行法制度が真に社会「保障」たりえているかを論じていく。

スケジュールは、次に掲げるとおりであるが、これはあくまでも予定・講義で取り上げる順番であって、進捗の関係等で割愛することもあり得る。

- ① 講義概要と方針の説明
- ② 憲法25条の解釈
- ③ 医療保険の被保険者・保険料
- ④ 医療保険被保険者（被扶養者）・保険料をめぐる法的問題点の検討
- ⑤ 年金保険の被保険者・保険料
- ⑥ 年金保険の被保険者（被扶養者）・保険料をめぐる法律問題
- ⑦ 傷病に対する給付
- ⑧ 傷病に対する給付の法的問題点
- ⑨ 出産・育児に対する給付
- ⑩ 出産・育児に対する給付の法的問題点
- ⑪ 高齢者に対する給付
- ⑫ 高齢者に対する給付の法的問題点

成績評価の方法

試験は、筆記試験とし、後期のみ実施する予定である。
なお、出欠の確認は、原則として行わない。

教科書

指定しない。

参考書等

講義時に適宜紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
国 際 私 法	かき はら とし ひろ 笠 原 俊 宏	法 律 3・4 必 法 律 3・4 選	4

講義のねらい

渉外的要素を有する私法問題の解決を目的とするのが国際私法である。それは、狭義において、準拠法の選定を主たる役割とする。その意味において、国際私法は、民法や商法のように私法問題の判断基準となる法律とは、規律する領域を異にしており、異なる次元に位置づけられるものとして、上位規範などと呼ばれることがある。講義においては、国際私法のこのような特質を明らかにしつつ、実質法における理念の変化が国際私法にとっても無縁でないことを実証的に論じたいと考えている。時として難解な科目であるといわれることがあるが、最近の身近な問題を具体例として取り上げるなどして、できる限りわかりやすいものとなるよう工夫したい。

講義の内容・
授業スケジュール

講義の内容およびスケジュールについては、ほぼ次のように予定している。

1. 国際私法総論（4月，5月）
2. 国際家族法（6月，7月，9月，10月）
3. 国際財産法（11月，12月）
4. 国際民事訴訟法（1月）

履修上の留意点

基礎となる他の科目，就中，家族法について，基礎知識を有することが好ましく，民法についても併せて学習することを期待する。

成績評価の方法

成績評価は，学年末の筆記試験によって行なう予定である。

教 科 書

教科書として，笠原俊宏著『国際家族法（新装版）』高文堂出版社，を使用する。

参 考 書 等

いずれかの六法を常に携帯することを望む。

そ の 他

授業は普段講義によって進行するが，時折，事例を設定して，皆で一緒に考えることも予定している。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
行 政 法 各 論	さいとう ひまし 齊 藤 寿	法律3・4必 法律3・4選	4

講義のねらい

「各種行政法原理の究明」

1年間・全体を通して、極めて楽しい雰囲気の中で、各種行政法の法理解明を、興味深く行います。特にこの講義は、生きた行政法を重視しながら行います。

講義の内容・
授業スケジュール

- 第1回 「行政組織法」の概要について。
- 第2回 国家行政組織法について。
- 第3回 内閣法について。
- 第4回 行政官庁について。
- 第5回 府・省・委員会・庁・地方支分部局について。
- 第6回 人事院と会計検査院について。
- 第7回 地方自治法について。
- 第8回 地方公共団体の種類と性質と区域と名称について。
- 第9回 大都市の特例と特別地方公共団体について。
- 第10回 公共組合と営造物法人について。
- 第11回 地方公共団体の議決機関と執行機関について。
- 第12回 地方公共団体の住民の諸権利と事務と権能について。
- 第13回 国と地方公共団体の関係について。
- 第14回 公務員法の概要について。
- 第15回 国家公務員法について。
- 第16回 地方公務員法について。
- 第17回 公物法について。
- 第18回 営造物法について。
- 第19回 「行政作用法」の概要について。
- 第20回 警察法・消防法・防衛法について。
- 第21回 警察行政における五大原則と規制手段について。
- 第22回 統制法について。
- 第23回 公企業法について。
- 第24回 公用負担法について。
- 第25回 公用収用について。
- 第26回 財政法について。
- 第27回 会計法について。
- 第28回 租税法について。
- 第29回 試験

履修上の留意点

※学生への要望

この講義は、楽しくかつ役に立つ講義です。私といっしょになって、「行政法各論」を楽しく研究してみませんか。

— 私が、みなさんを、「水飲み場」へ、ご案内します。

目には火を、顔には光をいだいて、ついてきて下さい。

Rouse up, O, Young Men of the New Age! (目覚めよ、新時代の若者たちよ!) —
との、イギリスの詩人、ウィリアム・ブレイクの叫びを、この際、みなさんに送ります。

成績評価の方法

試験の成績とレポートの成績を合わせて、学年の成績とします。

教 科 書

拙著の中から、講義の際、選択・指示します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
国際紛争解決法	のり たけ てる ゆき 則 武 輝 幸	法律3・4必 法律3・4選	4

講義のねらい

国際法の各論にあたる部分のうち、国際紛争の解決に関する法制度・手続について講義する。

講義の内容・
授業スケジュール

国家責任、紛争の平和的解決、戦争の違法化、集団的安全保障、平和維持活動（PKO）、軍縮、武力紛争法（交戦法規、中立法規、国際人道法）の順に、具体的な事例を挙げて講義する。

履修上の留意点

適宜プリントを配布して、教科書の内容を補足しながら講義を進めていくので、講義の最初と最後だけ出席するようないい加減な受講態度では、単位の取得は困難である。

成績評価の方法

中間試験やレポートは実施せず、学年末の筆記試験のみによって評価する。

教 科 書

松田幹夫編著『現代国際法』（八千代出版）、96年春出版予定。

参 考 書 等

講義中に適宜指示する。

そ の 他

すべて講義方式で行う。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
担保物権法	つる い しゅん まち 鶴 井 俊 吉	法律3・4必 法律3・4選	4

講義のねらい

この講義では、民法典の第二編「物権」のうちで、留置権、先取特権、質権、抵当権を中心に、譲渡担保、仮登記担保等が対象となる。担保物権制度は、資本主義経済の発展に伴って、その重要性がますます増大している。今日、財産法領域で最も変化の多いところであり、取引界の要請により、新しい法令が制定され、年々歳々進展し、著しく変動している。

講義の内容・
授業スケジュール

私たちが土地を買い、建物を建てる、あるいは自動車を買うという場合に、多くは金融機関から融資を受けることになるが、金融機関では何らかの担保を要求してくる。この場合に、抵当権や質権といった担保物権を金融機関に設定する。このように小は個人の資金調達のため、あるいは大は、企業の活動資金獲得のために担保は重要な役割を担っている。担保物権法のもつ経済的意義は極めて重要である。

しかし、学生にとって担保物権法は、民法の中で最も難解なところと感じられ、また比較的なじめない領域だと思われる。それは、多数の関係当事者が複雑に絡み合い、また解釈上でも技術的性格が強いことに原因がある。

そこで講義では、担保物権法の基礎的な考え方を理解できるように、できるだけ判例等の具体例をとりあげ、図解してわかりやすいように心掛ける予定である。

履修上の留意点

学期の初めには、担保物権法の主要な部分についての概略の説明を予定している。それによって担保制度の全体像がおおよそ把握できるであろう。それゆえ、最初から講義に出席しないと理解できなく、なかなか興味を持てなくなるので、毎時限の出席と予習を強く希望する。

教 科 書

教科書は、遠藤・川井他編『民法(3)担保物権』（有斐閣双書）を予定している。

参 考 書 等

参考書については、講義の最初に指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
労 働 法	ふじもと 藤本 しいげる 茂	法律3・4必 法律3・4選	4

講義のねらい

労働法とは、一般的には、労働保護法と労使関係法領域からなる。労働保護法は、労働者個人と使用者との労働契約関係を規整する法領域。労働保護法は、資本主義の形成発展と共に、年少者、女性に課された苛酷な労働の実際を背景に労働条件や労働環境を改善すべく、形成され、労働者一般に拡大され確立された。労使関係法は、労働組合と使用者（団体）との関係を規整する法領域をいう。また、労働組合の内部問題も対象とする。労使関係法は、第二次大戦にかけて、生成・発展してきた。わが国は、大正デモクラシー期にその必要が議論され、占領期にうまれた。わが国労使関係法は、アメリカの法制度の影響を強く受けている。

こうして生まれたわが国労働法も半世紀を迎え、一方で労使関係に日常的に定着し必要なものとなっているが、他方で法を支える状況は常に変っている。労働法も状況の変化と共に繰り返し、様々な領域でその意義、意味内容の再検討を行い、ブラッシュアップをはかっていかなくてはならない。今日、労働法は、大きな節目を迎えている。男女雇用機会均等法、労働時間法の改正、労働契約法の模索、紛争処理法の再検討など労働保護法分野が多いが、労働環境の大きな変化がこのような分野の法制に再検討をうながしているといえよう。又、法改正のような大きな変化ではないが、構築されてきた法理の再検討もまた行われている。

この授業では、必要に応じてこのような状況にも触れながら、基本事項を取上げて話をしていきます。受講する君たちが将来、会社との間で労働関係を形成することを念頭において、そこで接することになるであろう事項を採りあげ、検討していく予定です。単に、講学上の知識を得ることを目的にした授業とはしないつもりです。より実用的な解決策あるいは問題処理に当たって思考していくのに必要な基礎知識を修得することを目的とします。

講義の内容・授業スケジュール

労働保護法から入り労使関係法に進む。主に、労働者の定義、雇用平等、募集採用、採用内定、就業規則、解雇、賃金、労働時間、労働組合、団体交渉、労働協約、労使紛争。

履修上の留意点

労働関係を法の観点から眺めていくので、『六法』は、必要である。それも、新しくかつ『施行規則』が掲載されているものがよい。是非とも、新しいものを買って、受講して下さい。

成績評価の方法

成績評価は、試験と授業出席が基本であると考えます。

教科書

特に教科書は指定しません。しかし、勉強していくのに、手掛かりになる本は必要であると思います。参考書をいくつか掲げますので、それを参考に教科書を決めてください。

- ◎ 菅野和夫著「労働法」弘文堂
- ◎ 青木宗也・金子征史著「労働関係法」日本評論社
- ◎ 蓼沼他編「労働法の争点」別冊ジュリスト
- ◎ 萩澤編「労働判例百選」別冊ジュリスト

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
保 険 ・ 海 商 法	やま だ やす ひこ 山 田 泰 彦	法 律 3 ・ 4 必 法 律 3 ・ 4 選	4

講義のねらい

私たちの生活は、いろいろな危険に満ちている。私たちは、それにあまり気が付かず生活してたりするが、時には、不幸な事故に巻き込まれたり、あるいは逆に事故を引き起こしたりもする。こうした不幸への危険性は、この社会に生き、活動しているすべての人々（すなわち法主体、当然、会社も人である）に程度の差こそあれ、無縁ではない。危険が現実のものとなったとき、そこに通常、損害が発生する。この損害は、どのように処理すれば良いのだろうか。事故を引き起こした者がいるのであれば、この者が損害を負担すべきである。しかし、この者に資力がなかったならば、被害者の受けた損害は回復されずに酷いことになる。さらに、加害者も存在していないような場合には、どうすれば良いのだろうか。こうしたことへの不安は、人が生き活動して行く上での不安であり、今に始まったことではない。人類は、古くから、このための種々の方策を考えてきたが、複雑・高度化した現代社会は、かつてないほどの、不安と危険のジャングルとなっているのである。保険は、そのための方策の中で、最も高度に洗練された仕組みである。私の講義では、保険という仕組みが法的にどのように制度化されているかを見る。

ところで、保険は、他面において賭博に似ている（どちらも偶然の出来事により、多額の金銭を取得できるではないか）。そして、海の危険に満ち満ちた海上企業活動は、かつては、冒険企業の典型であった。保険が考案され発展したのは、中世地中海世界が育んだ海上企業活動においてであったということは、保険と海商との賭博的な共通の色彩の賜といえるのかもしれない（やがて保険制度は、海から陸にも上がり、今日見られるような隆盛を迎える）。当時の海上企業は、現在の海上企業とはかなり異なっていたし、（法的制度としての株式会社に先駆けていたのであるが、株式会社の登場は後年のことである）、その企業活動も海賊が立派な企業活動として認知されていたことから明らかなように、現在と大部隔っている面があった。しかし、近代的国家が形成される前から活発に行なわれていたイタリアの海港都市等に端を発する海事慣習は、その後一定の地域的広がりを得ながら、ヨーロッパのその他の港にもそれぞれの海事慣習の形成を促がし、それらがようやく確立する国家の法典に、取捨選択されつつ、結果し、その過程において、民商事法の源流の一つを形成したのである。

さて、そこで海商法である。海商法は、船舶を手段とする海上企業活動に関する法である。当然のことながら、船舶の活動する舞台ともいべき海は、世界へとつながっている。経済活動が、狭い一国の地域的空間にのみ終止するのであれば格別、現在のように、世界的基樑での市場が形成され、経済活動も世界的広がりを持つにいたると、原料やその加工品である商品の流通は、血管を流れる血液のように確保されなければならない。船舶による海上運送は、いわば、血液の中の血晶板のようなもの——または、血液そのものである。船舶を利用して遂行される海上運送は、その国々の経済体制を支えるものであり、世界経済に重要な貢献を果すものである。私の講義では、この海上企業活動を、商法の視点から捉え、そこに働らく基本的な法原則を見ることにしたい。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、保険法を中心にする。①保険制度と保険法、②保険契約の当事者・関係者、③保険契約の成立と終了、④保険契約の内容と効果、⑤損害保険契約の意義・内容、⑥損害保険に特有の効果、⑦保険担保、⑧火災保険と地震保険、⑨責任保険と自動車保険、を中心項目とする。

後期は、海商法を取り上げる。①海商法の意義と発展、②海上企業の物的組織、③海上企業の主体、④海上企業の責任と制限、⑤海上物品運送契約の意義と種類、⑥海上物品運送契約の履行（海上物品運送人の義務と権利）、⑦海上物品運送人の責任、⑧船荷証券の意義および種類と発行、⑨船荷証券の効力、⑩海上売買、を中心とする。

保険法および海商法も1項目につき1時間ないし2時間を予定する。

履修上の留意点

講義には、六法を持参して下さい。

成績評価の方法

出席は、毎時限、取ります。これは、期末試験での成績評価の際に考慮します。

教科書

教科書は、山野嘉郎・山田泰彦編著『現代保険・海商法30講』（中央経済社）3,800円

科目名	担当者名	配当学年	単位
相続法	かのお 叶 かず お 夫	法律3・4必 法律3・4選	4

講義のねらい

相続制度全般にわたって講義するが、遺言及び遺産分割を詳説したい。判例及び実務の経験をおりまぜて面白く楽しい講義にしたい。

教科書

遠藤浩他5名編集『民法(9)相続第3版』(有斐閣双書)

参考書等

島津一郎編『基本法コンメンタール相続』別冊法学セミナー(日本評論社)

科目名	担当者名	配当学年	単位
商法総則・商行為法	せき ぐち まさ お 夫 関 口 雅 夫	法律3・4必 法律3・4選	4

講義のねらい

専門科目としての商法学は、商法全体についての概観的な知識、商法に対する基本的な考え方、および個々の法律問題への取りくみ方など、商法についての最も基礎的であると考えられる問題の理論的そして体系的な解明を目的とする学問である。この講義は、商法学の内、商法総論、商法総則および商行為法を中心に行う。

講義の内容・授業スケジュール

商法総論においては、商法の意義、商法の特徴、商法の体系、商法の適用の四つのテーマを論考する。次に、商法総論においては、営業の主体、営業行為、営業の人的組織、営業の物的設備、営業の譲渡、商業登記の六つのテーマを論ずる。そして商行為法においては、商行為の概念、商行為法総則、商事売買、交互計算、匿名組合、仲立営業、運送取扱営業、運送営業、寄託の十の主要な問題を考察する。一年間で25回の講義を予定する。

履修上の留意点

ここに選ばれた20のテーマは、商法の特定分野に関するものではあるけれども、これから商法を体系的に学んで行こうとする諸君にとって、欠かすことの出来ないと思われる問題を取りあつかっている。もっとも、この講義は、全ての学生のニーズを満すものではない。この講義が特に必要であると考えられる学生は、将来自営業を志したいと考えている学生、会社員になりたいと考えている学生、および司法試験を受験したいと考えている学生である。この意味で、学生諸君は、自分で自分の将来計画を明確にし、受講すべきか否かを決定することが肝要である。

成績評価の方法

平常点と期末試験を重視する。

教科書

関口雅夫編著『現代商法I(総則・商行為)』八千代出版、2,800円を使用する。六法全書は、毎回持参すること。

科目名	担当者名	配当学年	単位
親族法	かの 叶 <small>か</small> ず 和 <small>お</small> 夫	法律1・2選	4

講義のねらい

婚姻制度等に関する民法改正要綱試案中の重要な問題点や内縁、養子制度等のほか、高齢者の扶養や財産管理をめぐる成年後見制度等を文明諸国家の法制度を視野に置いた上、現代の視点に立って論説する。判例及び実務の経験をおりませで、面白く楽しい講義にしたい。

教科書

遠藤浩他5名編集『民法(8)親族 第3版増訂版』(有斐閣双書)

参考書等

島津一郎編『基本法コンメンタール第3版 親族』別冊法学セミナー(日本評論社)

科目名	担当者名	配当学年	単位
政治学原論	ふく 福 <small>し</small> ま 島 <small>ま</small> 政 <small>さ</small> 裕 <small>ひろ</small>	法律1・2選	4

講義のねらい

現代政治理論の輪郭を描く。
現実の政治を正しく分析し、理解するために必要な理論的な枠組みを提供する。現代の政治を理解するための理論的な道具を検討、この分析道具が政治のいかなる側面の解明に有効であるか、この道具が現実の政治の解明に適用された場合にどのような結果や結論が導き出されるのか、そしてこの道具の限界はどこにあるか、が講義の視点となっている。

講義の内容・授業スケジュール

講義では、「政治とは何か」、「影響力——描写」、「影響力——解釈」、「影響力——説明と評価」、「政治体制——類似」、「政治体制——差異」、「差異——ポリアキーと非ポリアキー」、「ポリアキーと非ポリアキー——説明」、「政治的人間」、「政治的評価」、および「政策決定」、という11の大きなテーマが順次検討される。

履修上の留意点

政治の現実を一挙に展望し得るような便利な視点はまだ、発見されていない。したがって、政治現象を理解するためには、複数の政治理論の組み合わせが必要となる。複眼的視点こそが、現実を操作する自由をわれわれに与えるのである。諸君は、政治理論のこうした意味を理解したうえで、政治学原論の諸課題に取り組んでほしい。

成績評価の方法

学年末に実施する定期試験の得点により決定する。

教科書

毎回の授業時に論点メモを配布する。

参考書等

大塚桂『政治学原論序説——政治における制度と行動』(勁草書房、1994年)

その他

講義形式で授業を進めるが、講義中の質疑応答は歓迎する。OHPを活用し、統計・グラフ・図表を検討する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
政 治 史	てら さき おさむ 寺 崎 修	法律1・2選	4

講義のねらい 政治を歴史的にアプローチする立場から、近代日本の政治社会の形成と展開の過程を実証的に検討する。

講義の内容・授業スケジュール 本年度の講義内容は、おおむね次の通りである。
 I 立国の時代
 1. 大政奉還と明治政権の成立
 2. 自由民権運動とその裁判
 3. 明治憲法体制の成立
 4. 条約改正と法典編纂
 II 大正デモクラシーの時代
 1. 大正政変の政治過程
 2. 普通選挙制度の成立
 3. 大正デモクラシーの意義と限界
 III まとめ

履修上の留意点 履修にあたっては、とくに日本史の知識を必要としないが、「歴史」に興味を持っている諸君の受講を希望している。

成績評価の方法 成績評価は、学年のペーパー・テスト（持ち込み可）によっておこなうが、合格点をとるためには、講義内容をふまえた解答（賛否にはこだわらない）が要求される。

教科書 寺崎修『明治自由党の研究』下巻、慶応通信、3,200円

参考書等 中村菊男『日本政治史読本』（東洋経済社）
 手塚豊『自由民権裁判の研究』上・中（慶応通信）
 坂野潤治『明治憲法体制の確立』（東大出版会）
 松尾尊兌『普通選挙制度成立史の研究』（岩波書店）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
経 済 原 論	あさ の かつ み 浅 野 克 巳	法律1・2選	4

講義のねらい 現実の経済の動きを念頭におきながら、現代経済学の基礎理論を解説する。なお、公務員試験（その他の国家試験）の受験対策としても役立つよう必要に応じ問題練習も行うので、下記の問題集も用意されたい。

講義の内容・授業スケジュール I. マクロ経済学の理論
 1. 経済循環と国民所得の概念
 2. 国民所得の決定
 3. 経済の変動と成長
 4. 賃金・物価・インフレーション
 II. ミクロ経済学の理論
 1. 消費者行動の理論
 2. 企業行動の理論
 3. 市場と価格決定
 4. 市場・企業・産業
 III. 公共政策
 IV. 国際経済学
 <授業を受けるために必要な勉強>
 現代経済学の勉強で不可欠なことは、現実の経済問題に関心をもつことである。とくに『日本経済新聞』には毎日必ず目をおし、必要な記事はスクラップブックに整理しておくこと、授業だけでなく将来の就職試験などにも大いに役立つであろう。

成績評価の方法 成績は筆記試験とレポートによって行う。

教科書 浅野・荒木・浅田『エコノミクス』（成蹊堂）1995年。

参考書等 上記テキストの巻末には、各章ごとに必要な参考書が一括して掲げられているので参照されるとよい。

その他 〔問題集〕青山『経済原論の頻出問題』（実務教育出版）1995年

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
法 思 想 史	かね さし りょう すけ 金 刺 亮 介	法律1・2選	4

講義のねらい

本講義では、人間がいかなる秩序形成の原理に基づいて、いかに秩序を形成しようとしてきたかを、ギリシアから近代に至るまでの法思想を通じて、あとづけて考えてみようとするものである。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1回目 哲学の出現と秩序形成の原理
- 2回目 アテナイ民主制 —— 民主制を原理的に考えるために
- 3回目 プロタゴラス —— ギリシア最大の民主制論者
- 4回目 トウキュディデス —— ペロポネソス戦争と既成の価値の崩壊
- 5回目 ソフィスト —— ヒッピアス, カリクレス, クリティアス
- 6回目 ソクラテス —— 秩序づけの原理としての「精神（ヌース）」
- 7回目 プラトン(1) —— 「国家」
- 8回目 プラトン(2) —— 「法律」
- 9回目 アリストテレス —— 「政治学」
- 10回目 ストア派とエピクロス派 —— 自然法思想と契約としての法
- 11回目 ローマ法思想(1) —— 12表法から帝政成立まで
- 12回目 ローマ法思想(2) —— 帝政成立からユスティニアヌス法典まで
- 13回目 アウグスチヌス —— 「神の国」
- 14回目 トマス・アキナス —— 「神学大全」
- 15回目 封建社会の法思想 —— 古き良き法
- 16回目 ダンテ, マルシリオ —— 「平和の擁護者」
- 17回目 マキアヴェルリ —— 「君主論」
- 18回目 オッカムのウィリアム —— 「教皇権に関する8つの提題」
- 19回目 ホッブス —— 「リヴァイアサン」
- 20回目 ロック —— 「市民政府論」
- 21回目 ルソー —— 「社会契約論」
- 22回目 カント —— 「人倫の形而上学」
- 23回目 ヘーゲル —— 「法の哲学」
- 24回目 マルクス —— 「ドイツ・イデオロギー」

履修上の留意点

特になし。

成績評価の方法

学年末テスト及び夏休みのレポートにより判定する。

教科書

特になし。

参考書等

三島淑臣「法思想史」青林書院新社, この本が標準的であるが, 高価なので, 特にこだわらない。

その他

講義形式で進める。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
比 較 憲 法	さいとう ひさし 齊 藤 寿	法律1・2選	4

講義のねらい

人権保障制度、国会制度、内閣制度、司法制度、自治制度など、各国の憲法制度について興味深い講義を続けながら、楽しく研究します。また、西欧主要諸国の憲法にとどまらず、アジア・アフリカ諸国や中南米諸国の憲法にもふれ、その特色を楽しく研究します。これらの講義は、1年間・全体を通じて、極めて楽しい雰囲気の中でなされます。

講義の内容・授業スケジュール

- 第1回 イギリス憲法は、どのように歩んできたか。
- 第2回 アメリカ憲法は、どのように歩んできたか。
- 第3回 フランス憲法は、どのように歩んできたか。
- 第4回 ドイツ憲法は、どのように歩んできたか。
- 第5回 東ヨーロッパ憲法は、どのように歩んできたか。
- 第6回 中国憲法は、どのように歩んできたか。
- 第7回 発展途上国憲法（アジア・アフリカ・中南米諸国憲法）は、どのように歩んできたか。
- 第8回 世界各國の憲法は、どのような類型化が可能か。また、その特質は何か。
- 第9回 君主国憲法（イギリス・ベルギー・デンマーク憲法）の憲法上の特質は何か。
- 第10回 共和国憲法（アメリカ・フランス・ドイツ・イタリア・スイス憲法）の憲法上の特質は何か。
- 第11回 ロシア・中国憲法の憲法上の特質は何か。
- 第12回 発展途上国憲法の憲法上の特質は何か。
- 第13回 これまで（第1回～第12回）のreview。
- 第14回 世界各國憲法の人権保障制度は、どのようにになっているか。また、その科学的な比較研究の方法について。
- 第15回 世界各國憲法の平等権保障について。
- 第16回 世界各國憲法の自由権保障について。
- 第17回 世界各國憲法的人身保護権保障について。
- 第18回 世界各國憲法の救済権保障について。
- 第19回 世界各國憲法の参政権保障について。
- 第20回 世界各國憲法の社会権保障について。
- 第21回 世界各國憲法の統治制度は、どのようにになっているか。また、その科学的な比較研究の方法について。
- 第22回 世界各國憲法の国会制度について。
- 第23回 世界各國憲法の議院内閣制度について。
- 第24回 世界各國憲法の大統領制度について。
- 第25回 世界各國憲法の司法制度について。
- 第26回 世界各國憲法の自治制度について。
- 第27回 現代世界諸国の憲法上、人権保障制度と統治制度は、どのように運用されているか。また、今後は、どのように運用されるべきか。
- 第28回 これまで（第14回～第27回）のreview。
- 第29回 試験

履修上の留意点

※学生への要望

この講義は、楽しくかつ役に立つ講義です。私といっしょになって、「比較憲法」を楽しく研究してみませんか。—— 私が、みなさんを、「水飲み場」へ、道案内します。

目には火を、顔には光をいだいて、ついてきて下さい。

Rouse up, O, Young Men of the New Age! (目覚めよ、新時代の若者たちよ!) —— との、イギリスの詩人、ウィリアム・ブレイクの叫びを、この際、みなさんに送りましょう。

成績評価の方法

試験の成績とレポートの成績を合せて、学年の成績とします。

教科書

拙著の中から、講義の際、選択・指示します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
日 本 法 制 史	おおくほ はる お 大久保 治 男	法律1・2選	4

講義のねらい

法律文化の変遷の流れを上古より近代まで概説する。刑事法制、財産法制、家族法制（女性史や婚姻史）の各分野の歴史を幅広くふれ、さらに、わたくし達の意識や習俗や言語等に残っている法制史的事柄にまで展開する。また、現行の刑法や民法等の実定法との対比も常に行ない、その異同も視点に入れる。

講義の内容・授業スケジュール

前期は上古より近代までの刑事法制の変遷を各時代背景や各法源も含め、多くの具体的事例を紹介しつつ、また現行刑法との比較法制も行いつつ講義を行なう。

後期はまず、婚姻史について、上古より近代までその流れの特色を追っていく。群婚、妻間婚、婿取婚、嫁取婚、寄合婚、平等婚等を概説し、女性の地位や家族関係の変化等背景まで探究する。

後期の後半は、財産法、特に物権法的には土地制度の変遷、更に、各時代の契約や債権関係の特色あるもの等にも講述を展開していきたい。商人法制は現代に迄影響を有するものもある。

また、今日迄残っている、社会慣行や行事ことばや諺等もその根源までさかのぼってつながっている社会規範的、法的連続性についてもやさしく解説し、受講生への関心を起させることに努める。

授業方法はその他で述べるような視聴覚教材をフルに使用して、具体的に楽しい雰囲気でも多くの史料を使用して学生への理解を深める方法をとっている。

履修上の留意点

楽しい法制史にして学生の学習・研究意欲を起させるように工夫されている。「温故知新」であり世は「歴史ブーム」、テレビや映画の時代考証にも役立ち、多くの話題を提供する一味異なるユニークな法制史にしていきたい。歴史の好きな学生は法的側面よりスポットを当てて、法制史を気楽に聴講し、学習意欲を向上させて、楽しい雰囲気の中に、法制史的、時代考証に強くなっていく。

成績評価の方法

年に一回の期末テストを行うが、持ち込みはノート、教科書等OKである。但し、授業をよく聴いていないと答えられないように出題に工夫がなされている。法制史的淵源のある言葉等毎時間講義する中からよく出る。答案の裏面には必ず学生の意見や感想を書いてもらって講義に対するフィード、バックを毎年行って、自己点検、評価等も加えて次年度の講義に役立てることとしている。

教 科 書

大久保治男著「日本法制史」高文堂出版社 ￥2,650

参 考 書 等

大久保治男著「江戸の犯罪と刑罰」高文堂出版社 ￥1,100
石井良助博士著「江戸慢筆」

そ の 他

講義の方法は、毎時間の様に史料や写真をOHPや書画TVカメラで写し出し、又、関連のビデオを編集して写し、学生の理解を容易にし、興味をわかせるように工夫して行なう。歴史クイズやディベート等も行い、たまには、法制史の大久保ゼミの学生達とシンポジウムも行なう、史跡調査（史跡探訪）や海外旅行等の報告もある。本年はTVの歴史番組のトーク・ショー的授業形態も何回か行なう予定である。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
西 洋 法 制 史	きたの 北 野 かほる	法 律 1・2 選	4

講義のねらい

イギリスの法制度の歴史を、社会の法的構造と国家統治機構のかかわりを軸に解説する。イギリスの法制度の歴史を、特に注目される法的現象を挙げながら、各時代毎の法制度の全般的特徴と、基本的社会・政治構造との関連について考察する。

講義の内容・
授業スケジュール

- 第1部 総論
- 第1章 法制史学概説
 - 第1節 法制史学の方法と対象
 - 第2節 法制史学の目的と効用
 - 第3節 イングランド法制史学の対象と方法
- 第2章 イギリス歴史学の基本的知識
 - 第1節 時間的範囲
 - 第2節 空間的範囲
- 第2部 イングランド法制史
 - 第1章 古代
 - 第1節 歴史過程
 - 第2節 社会構造
 - 第3節 法構造
 - 第2章 中世(1066-1350)
 - 第1節 歴史過程
 - 第2節 社会構造Ⅰ 中世ヨーロッパの封建制
 - 第3節 社会構造Ⅱ イングランドの封建制
 - 第4節 統治構造 封建制の解体
 - 第3章 近世(1350-1650)
 - 第1節 歴史過程
 - 第2節 社会構造
 - 第3節 統治構造
 - 第4節 法構造

履修上の留意点

講義中の私語・騒音は厳しく規制する。予め十分留意すること。

成績評価の方法

論文式筆記試験(後期試験期間・年1回)

教科書

特に指定しない。

参考書等

年度当初に指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
刑 事 政 策	さいとう よしゆき 斎藤 静 敬	法律1・2選	4

講義のねらい

人間は、なぜ罪を犯すのであろうか。どうすれば、この世の中から犯罪を防止することができるのであろうか？。たしかに、この世の中から犯罪のない社会を実現させることは、非常に困難なことである。しかしながら、実現不可能であるとしても、ただぼうぜんと何の努力もせずには、何の解決策にもならない。われわれは、少しでも犯罪のない社会の実現にむけて、努力すべきである。

講義の内容・
授業スケジュール

刑事政策は、犯罪現象を対象として、犯罪の原因とその予防ないし防止対策を研究するものである。そこで、犯罪の原因と対策を理解する意味から、犯罪の原因としての素質や環境が犯罪成立に如何なる役割を演じているのか、また処遇、対策について概説する。

I 犯罪現象の類型的考察。

- ①少年犯罪 ②女性犯罪 ③性犯罪 ④暴力団犯罪 ⑤公務員犯罪 ⑥精神障害者の犯罪
⑦薬物乱用犯罪 ⑧交通犯罪 ⑨外国人犯罪

II 犯罪者（受刑者）の処遇

- ①受刑者の法的地位 ②刑務作用 ③独居拘禁制と雑居拘禁制 ④仮釈放

III 犯罪者に対する制裁

- ①死刑 ②自由刑 ③財産刑

IV 犯罪の司法的処理

- ①起訴猶予 ②執行猶予……など。

履修上の留意点

講義はできるかぎり欠席しないこと。

成績評価の方法

後期の筆記試験

教科書

開講の時期に指示する。

参考書等

開講の時期に指示する。

その他

講義形式。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
法 社 会 学	こ ばやし ひろ ひと 小 林 弘 人	法 律 1・2 選	4

講義のねらい	法社会学の概念についての理解、法社会学の対象と方法、具体的事例についての解説が授業の主たる内容である。
講義の内容・授業スケジュール	日本および諸外国の法社会学史について前期一杯講義する。具体的には、まず日本の法社会学の学説史について解説する。その後、ヨーロッパおよびアメリカの法社会学史について説明する（例えば、モンテスキュー、イェーリング、マックス・ウェーバー、マリノウスキーやギュルヴィッチ、ホームズ、パウンドなどの学説の紹介である。） 次いで、法社会学の方法論について解説する。また、法社会学に関連する法学の諸分野と社会諸科学との関連についても解説する。 後期からは、法と社会との関連性について全体社会と法、部分社会と法について、具体的事例をあげながら説明する。立法過程、司法過程、農村、都市のかかえる課題の対応には時間をさきたい。
履修上の留意点	とくになし。資料はかなり配布するが、該当日以外は、配布しないので、注意すること。
成績評価の方法	レポートと期末テストを勘案して行う。
教科書	及川伸著『新訂法社会学入門』¥2,163（法律文化社）を使用する。
参考書等	講義初日に説明する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
マス・コミュニケーション論	あい だ とし ひこ 相 田 敏 彦	法 律 1・2 選	4

講義のねらい	マス・コミュニケーションの機能、影響について、広い視野から検討する。
講義の内容・授業スケジュール	講義の主たる内容は次のとおりである。 (1) 報道の「客観性」 テレビニュースの「カメラはウソをつかない」かどうか、報道対象と報道内容、「現実」と記号との区別如何。 (2) マスメディアと民主主義 両者の関連にかかわる理論の検討。 (3) 意識培養分析 テレビが人びとの心に植えつける（「培養」する）「シンボリック現実」、そして「主観的現実」とは何か。 (4) 意味構築の理論 メディアによる、また、視聴者・読者による意味付与、意味解釈とは何か。 (5) ヤコブソンのコミュニケーション・モデル コミュニケーションとは単純に記号による一つの意味の受け渡しだろうか。通常、あまり意識されずに、いくつかの次元で意味の読みとりがなされている。ヤコブソンのモデルは、この問題を系統だてて考えるのに役立つ。 (6) フェミニズムとメディア メディアに関するフェミニズム的視点を検討する。
履修上の留意点	マスコミについて授業をききながら、自ら積極的に考える姿勢を強く望みたい。
成績評価の方法	前期：レポート 後期：試験
教科書	カラン・グレヴィッチ（編著） 『マスメディアと社会』勁草書房
参考書等	リップマン『世論』（主として上巻）岩波書店 田崎馬郎・児島和人（編著）『マス・コミュニケーション効果研究の展開』北樹出版。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
行 政 学	ふく だ こう じ 福 田 耕 治	法 律 1・2 選	4

講義のねらい

現代国家は「行政国家」といわれる。それは行政の量的拡大と質的变化、特に立法権に対する行政権の優越化を特徴とする。そこには官僚制をめぐる諸問題、テクノクラートの支配による民主主義や代議制の危機という問題が横たわっている。このような行政現象を的確に把握し、現代国家の機能や構造を明らかにするため、行政学の知識や考え方は重要かつ不可欠である。

講義の内容・
授業スケジュール

行政学の課題、対象と方法、ドイツ・オーストリア、フランス、アメリカ、日本における行政学発達の歴史、行政理論と組織理論の関係、行政管理論、行政組織論と官僚制論、日本官僚制論と政策決定過程、公共政策論、政策過程論、政策科学と政策分析論、行政改革論、行政責任・統制論、政府間関係論、地方自治論、わが国の公共政策の国際化論、国内行政と国際行政との関係論などを取り上げる。

履修上の留意点

政治学の基礎知識は必要。

成績評価の方法

定期試験の他、レポートまたは小テストを行なうことがある。

教 科 書

福田耕治『現代行政と国際化（第2版）』成文堂，1995年，2,800円。

参 考 書 等

参考文献は適宜紹介する。

そ の 他

講義の際に、講義計画（一年分）、レジュメ、資料等のプリントを配布する。各自ファイルして学習に役立ててもらいたい。なお、VTRやOHPなど視聴覚教材も利用する。

科目名	担当者名	配当学年	単位
英米法	きたの 北野かほる	法律2選	4

講義のねらい

近現代法治国家の主要法系のひとつである英米法系について、日本法を含む大陸法系と比較しての基本的特徴を概観し、その主要な理由をなすと考えられる、法形成における裁判の意味について、司法機構と判例法を中心に考察する。

講義の内容・授業スケジュール

- 第1編 概論
 - 第1章 法系論
 - 第1節 西洋近代法の法系
 - 第2節 英米法系の特色
 - 第2章 英米法の特徴
 - 第1節 法内客の歴史性
 - 第2節 法観念の社会性
 - 第3節 法思考の実務性
 - 第3章 判例法の理論
 - 第1節 総論：「判例法主義」
 - 第2節 先例拘束性の原理
 - 第3節 判決における「法」
 - 第4節 法形成作用
- 第2編 司法制度
 - 第1章 裁判所制度
 - 第1節 イギリス
 - 第2節 アメリカ合衆国
 - 第2章 訴訟過程
 - 第1節 英米訴訟制度の特徴
 - 第2節 陪審

履修上の留意点

講義中の私語・騒音は厳しく規制する。予め十分留意すること。

成績評価の方法

論文式筆記試験（後期試験期間・年1回）

教科書

特に指定しない。

参考書等

望月礼二郎『英米法（改訂第二版）』（青林書院 現代法律学全集55 ¥5,150）
その他の参考書：年度当初に指示する。

科目名	担当者名	配当学年	単位
独法	やまぐち 山口邦夫	法律2選	4

講義のねらい

外国法の一種類としてのドイツ法全般について講義をするのではなく、日本が明治以降政治上の理由から、先進国の外国法を多数継受してきたうちで、ドイツ法のはたした役割を中心に講義する。したがって、ドイツ法の歴史も近世以降に限定し、特に19世紀以降の立法と日本が継受する際に最も強く影響を受けた点を中心としたい。明治期の仏法・英法の影響については、各自学習することが望ましい。

講義の内容・授業スケジュール

- 一年を次の4期に分けて講義をする。
- I期 4/5月, II期 6/7月, III期 9/10月, IV期 11/12月。
- I期 プロイセン憲法と明治憲法との関連, 特に Kaiser と天皇との比較。次にドイツ民法第一草案と日本民法との関連。パンデクテンシステムの導入。行政法の分野について。
- II期 一般ドイツ商法典と日本の商法との関連。民商統一論。社会法、経済法など。
- III期 手続法（特に民事訴訟法と刑事訴訟法）の分野におけるドイツ法の日本法に与えた影響。
- IV期 ドイツの法思想家のうち、I期からIII期において対象とした分野で影響を与えた法学者の思想をドイツの原書を参考に解説する。

履修上の留意点

当然ドイツ語を履修した2年生以上の学生を念頭において講義をする。授業中にドイツ語の条文などが登場するので、他の外国語の履修者には不適當と考えるが、単位取得を目的としなければ聴講可能である。

成績評価の方法

毎年10人前後の小クラスなので、毎回出席をとり、平常点に、年2回のレポート提出によって単位の認定を行う。いわゆる学年末試験は行わない。
Gerd Klein Reyer/Jan Schröder, *Deutsche Juristen aus fünf Jahrhunderten*. 2. Aufl. 1983. (一版の和訳あり) (IV期用参考書)

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
仏 法	うえ い たけ ひさ 上 井 長 久	法 律 2 選	4

講義のねらい

本講義は、フランス法のうち、とくにフランス私法の根幹をなす諸問題を対象として、フランス私法の基底を理解することを目的とする。近現代の私法の基本的問題ばかりでなく、古代フランク時代と封建制度下の中世の法とにわけられる古法の時代、および自由と平等を旗印とした大革命に始まる革命期の法すなわち中間法の時代の私法をも本講義の課題としているのはそのためである。フランスの近現代法は、19世紀初頭に統一的な成文法により樹立され発展したが、それまでの法を基礎として統一・整備されたものである。フランスの近現代の私法を深く理解するためには、古法、中間法をも学ぶ必要がある。本講義は、そのようなフランスでいわゆるフランス私法の序論と歴史と称する領域を原典資料（法文、判例、学説、一般論述等）により理解しようとするものである。

講義の内容・ 授業スケジュール

本講義は、まず、近現代のフランス公・私法の基礎であるフランス人権宣言と19世紀におけるその開化を学び、次いでフランスの革命期および近現代の私法の基本的問題を検討し、後に、その基本的問題さらには近現代の私法の個別的問題と出来るだけ関係づけながら古法における私法の歴史を考察する。講義の内容は、具体的には以下の通りであるが、その各項目について原典資料を解説しながら講義を進める。なお、フランスの革命期から今日までの政治、行政、裁判制度についても、適宜折り込み説明する。

I 革命期および近現代の私法の基本的問題……（前期）

1. 人権宣言と自由の確立

①人権宣言の着想の背景・精神・性質・効力・趨勢 ②人権宣言の内容——基本的人権、各種自由権、法の下での平等、法律の支配、政治組織の原理（国民主権、権力分立） ③公的自由と私的自由

2. 法典編纂とその後の私法の変遷

①法典化の意義・目的 ②ナポレオンの5法典と王令・中間法 ③法典編纂の経緯と問題点 ④近現代における私法の変遷

3. 判例の効力

①判決の構造と判例 ②判例観の変遷（古法、中間法） ③判決の既判力、判例の拘束力と創造力 ④法律の解釈と法学の法律学化（注釈学派、科学学派）

II. 私法の歴史……（後期）

1. フランク王国の法

①法源（法の属人性） ②社会経済制度——人の身分、土地（個人、共同）所有形態、形式主義的契約、教会と家族財産（相続、贈与、遺贈）、フランクの家族共同体とローマの個人的家族制度 ③訴訟制度

2. 高期中世（制限王政期）の法

①法源（法の属地性、ローマ法の再生、教会法の編纂、慣習法） ②社会経済制度——階級制、封建的土地所有（分割所有権）と自由地、形式主義的契約と合意主義的契約、家族制度（教会婚、自由処分と家族遺留分、夫婦財産共有制） ③都市の社会経済制度——ブルジュア身分大市・市の組織と取引、同業組合の組織と規約

3. 絶対君主制（旧体制）の法

①法源（慣習法の編纂、ローマ法の第二の再生、王令） ②社会経済制度——階級制の変遷、封建的土地所有制度の変遷

履修上の留意点

フランス法とフランス語に興味があれば、楽しく受講してもらえますと思います。

成績評価の方法

成績評価は、学年末の定期試験で行う。

教科書

拙著プリント版「Introduction au droit privé」及び「Histoire du droit privé」（最初の講義の時に配付する予定）

参考書等

ジャン・アンベール著三井哲夫＝菅野一彦訳「フランス法制史」（白水社文庫クセジュ）、山口俊夫「概説フランス法 上」（東大出版会）

科目名	担当者名	配当学年	単位
債権各論	はやし 林 幸司	法律2選	4

講義のねらい

- 1: 民法, 特に債権各論について, 受講生に「基礎的な理解」が身につくよう目指すこと
- 2: この分野の諸テーマにつき, 「具体的な事例問題を通して理解を深める方法」を修得してもらい, それによって受講生の「民法に対する興味」を触発すること

講義の内容・授業スケジュール

債権各論は, 債権の「発生原因」を扱う分野であり, ①契約, ②事務管理, ③不当利得, ④不法行為がその主要な原因である。これらは全て, 諸君が日常生活で無意識のうちに触れているものばかりであり, 具体的な問題がほとんどである。これらについて研究し理解を深めることは, 民法の「具体的なイメージを把握するための突破口」となるはずである。

履修上の留意点

受講生に望むこと (受講に際しての注意)

- 1: 私語の厳禁 あまりにも当然過ぎて, ここで触れることすら情けないのだが, 大学生にもなって, 講義中の私語が許されると思っている者がいるようである。強く注意して, やっと静かになるというのが現状であるが, 不思議にも, 本人に全く反省の色がなかったり, 何か悪いことをしたのか (又は「なぜ俺だけが」) と言わんばかりに睨み返してくるということもある。このテの者にはその場で『登録抹消』を通告するという強い態度で臨むので覚悟してもらいたい。
- 2: 他の履修科目について できれば債権総論も受講してほしい。この分野は, 各原因によって発生した様々な債権に「共通する事項や性質」などを扱う領域で, 債権各論を理解する上でも重要な分野だからである。もちろん, 発生原因を扱う債権各論から先に手をつけようという人がいても一向に構わないし, 理論上何の問題もないが, いずれは債権総論も修得してほしいものである。

成績評価の方法

後期試験による評価が中心となるが, 講義後に回収する質問や意見などにも受講生の理解度や積極的な姿勢が現れていることが多い。これらに対しても若干のプラス評価を行うつもりである。

教科書

甲斐・乾・椿編『新民法概説(2)債権』(有斐閣) 1,957円
「少し薄いな」と感じられる向きもあろうが, ①意義・要件・効果を中心に整理を心掛けている点, ②判例・通説の立場からコンパクトにまとまっており, 「通読」しやすい点, ③講義中, 関連する債権総論分野の事項をも指示・解説できる点などを理由に採用した。このような利点を生かすため, できれば開講前までに債権各論の部分だけでも「通読」してほしい。

参考書等

川井 編著『判例マニュアル 民法IV債権各論』(三省堂) 1,400円
講義で解説が必要な判例のほとんどが掲載されている。コンパクトに過ぎて理解の困難な部分もあるが, その点は講義で補う。

その他

講義の方法

- 1: 板書中心の講義であること 私独自の観点からポイントを整理するため板書中心の講義を行い, 途中で適宜, 教科書・参考書の該当箇所を指示・解説するという方法を採用。その際, かなり多くの図や表を必要とするが, それも主に板書によってカバーする。
- 2: 意義・要件・効果の整理に重点をおくこと 私も学生の頃は, ただ闇雲に教科書や判例解説集に書いてあることをダラダラと覚えようとしたものである。しかし, それは, 山の中を, 地図も磁石盤もなく, ただ地面を見て石ころを数えている姿に似ていると感じ, むなしい気持ちに苛まれる結果となった。本講義で整理の中心に位置付ける「意義・要件・効果」は, 講義中, 諸君が立っている位置を知るための『座標軸』だと思ってほしい。そのことの意味はとてここでは書き切れない。詳しくは, 講義で聴いていただきたい。
- 3: 具体的な「事例問題」(または判例)を素材とすること 事例問題集をプリントして配布し, あるいは, 指定した参考書の中から判例を示し, 意義・要件・効果と結び付けて解説する。具体的な事例を想定しての理解以外に, 真に納得のいく理解はないと信ずるからである。
- 4: 受講生からの質問を講義に反映するよう努力すること 毎回講義前に用紙を全員に配布し, 質問・意見・感想・要望などを書いてもらい, その中で, 「これは!」と思うものを次の講義に反映することを心掛けるつもりである (質問への解答が中心となる)。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
税 法	ま し 岸 だ 田 さ だ 貞 お 夫	法 律 3・4 選	4

講義のねらい

税法の体系を法的な見地から検討し、所得税法等の規定の解釈を中心として、税法の意義、役割、問題点等を研究する。

講義の内容・
授業スケジュール

税法の意義、機能、体系、租税法律関係の特色、租税の確定手続き、所得税法における納税義務者、課税所得の意義、所得の種類、収入及び必要経費の範囲等について順次、講義する。

履修上の留意点

予習の上、問題意識をもって授業に参加されたい。

成績評価の方法

前期及び後期の試験の結果により評価する。

教 科 書

岸田貞夫等著「現代税法の基礎知識」,(株)ぎょうせい, 2,100円

参 考 書 等

金子宏著「租税法」弘文堂

そ の 他

講義方式で行う。なお、レジュメを配布する予定である。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
財 政 学	さと なか つね し 里 中 恆 志	法律3・4選	4

講義のねらい

(授業の主たる内容、基礎となる学問的傾向・問題意識)

経済生活の中で公共部門の占める比重は確実に増加しつつある。財政学は公共財政経済を対象とする学問であるが、そこでは市場経済原理とは異なる原理が作用する。国民が財政意志の形成に参加する方法は民主主義の手続きをとおしてであるから、有効な財政政策の実現のためには、国民が財政をコントロールするルールと、その背後に作用し合う諸力について理解していなければならない。また財政政策に対する基礎的な判断基準をもっていなければならない。このような観点から財政意志の形成過程、租税徴収による負担の配分、歳出の効率と合理性、財政の総管理政策について講ずる。

講義の進め方はまず財政意志の形成過程では予算の編成手続きの理解から入る。それから歳入面については租税収入を主要税種別に扱い、つぎに歳出面について主要経費別の考察を進める。さらに財政の総需要管理政策としてのフィスカル・ポリシーを論ずる。

講義の内容・授業スケジュール

- | | |
|-------------------------|----------------------|
| (第1週) 講義内容の紹介と年間授業計画の説明 | (第2週) 公共財と公共部門 |
| (第3週) 財政の歴史概略 | (第4週) 予算編成と主計局査定 |
| (第5週) 予算編成と政党政治 | (第6週) 予算政府案と議会審議 |
| (第7週) 予算の執行と競争入札 | (第8週) 会計検査、決算 |
| (第9週) 予算の政治過程 | (第10週) 租税原則学説 |
| (第11週) 給与所得税と普遍性 | (第12週) 申告所得税と累進課税 |
| (第13週) 法人税と徴税技術 | (第14週) 国際化と移転価格税制 |
| (第15週) 一般消費税 | (第16週) 地方財政制度 |
| (第17週) 地方税と地方歳出 | (第18週) 機関費と純粋公共財 |
| (第19週) 公共事業費と公共財産の形成 | (第20週) 社会保障関係費と所得再分配 |
| (第21週) 補助金とスピルオーバー | (第22週) 国債費と公債負担 |
| (第23週) フィスカルポリシー | (第24週) 乗数理論 |
| (第25週) 均衡予算定理 | (第26週) 国債による財源調達 |
| (第27週) 国債の限界 | (第28週) 財政投融资 |
| (第29週) 試験と評価についての説明 | (第30週) 試験 |

授業の配当曜日によって年度授業回数に若干の異動があり、予定どおりの時間数が組めないことがある。その場合は一部予定を割愛することがある。

履修上の留意点

法学部には「経済原論」及び「経済政策」の講義が設けられている。「財政学」は経済と政治の学際的な分野の科目であるから、こうした関連科目を履修することが望ましい。他学部履修の制度も活用が望まれる。

成績評価の方法

成績評価は学期末テストとして行われる試験による。試験は論述式による。自筆のノート持ち込み可

教科書

里中恆志・八巻節夫編著『新財政学』文眞堂、3,200円

参考書等

野口悠紀雄著『公共政策』モダン・エコノミックス12、岩波書店 ¥2,000
中谷巖著『入門マクロ経済学』日本評論社 ¥3,300

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
経 済 政 策	もり 森 おか 岡 じん 仁	法 律 3・4 選	4

講義のねらい

経済学の実践部門としての経済政策が自由主義経済に成立した過程と、そこではたす役割を明らかにする。人口高齢化や少子化の経済的帰結にも言及し、最後に高齢化社会における経済政策と人口政策の関係を論ずる。

講義の内容・
授業スケジュール

I. 現代経済と経済政策 II. 経済政策学の発展 III. 現代経済政策の課題 IV. 経済の成長政策 V. 経済の安定政策 VI. 産業組織政策 VII. 社会均衡化政策 VIII. 経済政策と人口政策

履修上の留意点

日常生活に生起する経済問題に日頃から関心を抱き、自分達の身の回りにある経済問題の解決手段として経済政策を考え、学ぶことが大切である。

成績評価の方法

学年末の定期試験、授業の出席状況

教 科 書

森岡他著『現代経済政策』千倉書房、1975年

そ の 他

講義

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
社 会 政 策	かね 金 こ 子 まさ 征 ふみ 史	法 律 3・4 選	4

講義のねらい

社会法全体の政策論をあきらかにすることをねらいとする。具体的には、わが国における社会政策学の歴史的展開を踏まえたうえで、いくつかの重要課題を検討する。当面、労使関係論、労働時間政策、賃金政策などを対象とした講義となる。

成績評価の方法

学年末試験以外に最低一度は授業時間内試験を実施するので注意すること。

教 科 書

使用せず、プリントを配布する。

参 考 書 等

中山和久ほか著『入門学働法』、有斐閣、1,854円
青木宗也・金子征史『労働関係法』日本評論社、3,296円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
民事執行・保全法	とが 樽 よし 善 お 夫	法律3・4選	4

講義のねらい

実際社会において、重要な役割を果たしている民事執行法と民事保全法について講義します。民事執行法は、権利の事実上の実現手続きです。民事保全法は、将来の権利実現を保全する手続きです。民事執行法、民事保全法の解釈と両法律の基本原則、重要判例についての理解を目的とします。

講義の内容・
授業スケジュール

講義は、以下のような順序と内容で行います。なお、より詳しい年間の予定表は、第一回目の講義のときに配布します。

- (1) 私法上の権利実現方法
- (2) 強制執行法の改正と民事執行法の成立
- (3) 仮差し押さえ・仮処分改正と民事保全法の成立
- (4) 民事保全法（仮差し押さえ・仮処分について説明する。）
- (5) 民事執行法総則（執行機関・執行当事者、執行抗告と執行異議等について説明する。）
- (6) 強制執行法総論（債務名義、執行文付与をめぐる救済方法、請求異議の訴え、第三者異議の訴え等について説明する。）
- (7) 強制執行法各論（金銭債権執行、非金銭債権執行、特に不動産の強制執行を中心として説明する。）
- (8) 担保権の実行としての競売（抵当権などの担保権の実行について説明する。）

履修上の留意点

民事訴訟法をすでに履修している人、あるいは並行して履修する人の履修を希望します。

成績評価の方法

成績の評価は、期末の筆記試験のみによって評価します。

教 科 書

住吉博編「演習ノート民事執行法・民事保全法」1992年、法学書院、1,890円

参 考 書 等

授業の際に、必要に応じてその都度紹介します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
法 哲 学	やまぐちくに お 山 口 邦 夫	法律3・4選	4

講義のねらい

法哲学は、科目名として存在しているが、はたして学として存在し得るかは疑問である。というのも、法学と哲学とは両者が独立して存在し得ても、その『かけ橋』たる法の哲学は、法学に属する学問なのか、哲学の一分野なのか、従来から争いがあるからである。しかし、諸君は法学部の学生として、当然、法学の方向からの興味でこの科目を履習するにちがいない。しかし、法学のみでなく、哲学や考えることに関心のある人の履習が望ましい。

講義の内容・授業スケジュール

一年を次の4期に分ける。Ⅰ期(4・5月)、Ⅱ期(6・7月)、Ⅲ期(9・10月)、Ⅳ期(11・12月)。1月の1回は質問日とする。

Ⅰ期、プラトンの「ソクラテスの弁明」や「クリトン」を中心に、国家と法との関連を考え、さらに可能ならば、アリストテレスの「政治学」にもおよび政治制度と法を考える。

Ⅱ期、トーマス・モーアの「ユートピア」の中のでてくる問題点、特に価値観の相違や、人間の尊厳、安楽死などについて哲学する。あるいは人権思想を哲学として、または憲法の思想として、Ⅲ期への予備段階として検討する。

Ⅲ期、近代市民社会の構造を解明するために、近代の政治思想家の作品を手がかりとして、はたして、近代と現代とを区別し得るメルクマールは何かを問う。人間観や制度に対する考えが変わったといえるのか否か、人間の意識の問題までほりさげて考える。

履修上の留意点

毎時間、予習として指定された本(文庫・新書版など)を読んできて、ゼミ形式で、対話中心の考える時間となる。したがって、毎回、積極的に訴論に参加して、考えることに楽しみを見い出そうとする諸君の履習を望む。

成績評価の方法

単位認定は、結果的に、毎時間出席できることを前提にしているのので、平常点に大きなウエイトがおかれる。最後にレポートを提出してもらい、期末試験は行わないで、単位認定をする。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
倒 産 処 理 法	ま 越 みち お 馬 越 道 夫	法律3・4選	4

講義のねらい

倒産処理法とは破産法・和議法・商法上の会社整理清算、特別清算に関する法規・会社更生法など倒産に関する諸法規の総称である。ここに倒産とは債務者が経済的に破綻し債務の弁済が極めて困難になった状況をさす。倒産処理法には主たる目的が異なる二種の法規が存在する。一つは債務者の財産を清算し債権者への平等弁済を図る制度であり(例・破産法)、他の一つは債務者の財産を全面的に清算することなく、取引関係を整理し企業の再建を計る制度である(例・会社更生法)。

講義の内容・授業スケジュール

講義のねらいはかかる倒産処理法の特徴をふまえ判例を挙げ具体的に講義したい。

4月・5月 倒産処理法一般について概説

6月・7月・9月・10月 破産法

11月・12月・1月 会社更生法・その他

履修上の留意点

受講者は民法・民事訴訟法の基礎知識を履修していることが望ましい。

教科書

桜井孝一編『演習ノート破産法』法学書院発行 ￥1,800

参考書等

石川明著『破産法』日本評論社発行 ￥2,800

科目名	担当者名	配当学年	単位
知的財産権法	もり盛 おか岡 かず一 お夫	法律3・4選	4

講義の内容・
授業スケジュール

知的財産権法は、工業所有権法（特許法、実用新案法、意匠法、商標法等）と著作権法とに分けることができる。知的財産権法は、知的所有権法または無体財産権法といわれることもある。財産には、動産および不動産のような有体物のほかに、発明、デザイン、商標、小説、音楽のような無体物がある。このような無体物を保護する法律を知的財産権法とっている。

前期は、特許法全般について解説するが、特許を受けるための要件、従業者が発明をした場合の法律関係、実施契約、特許権および営業秘密が侵害された場合の救済方法については詳しく説明する。

後期は、意匠法、商標法、不正競争防止法および著作権法の全般について講義する。

知的財産権法の基礎理論を正しく理解できるように、できるだけわかりやすく解説したいと考えている。

成績評価の方法

4年生は、就職活動のため前期は授業に出席できないこともあると思われるので、後期に行う2回の平常試験（11月と12月）によって評価する。

教科書

盛岡一夫『工業所有権法概説（新版）』法学書院 3,090円

参考書等

中山信弘『工業所有権法（上）』弘文堂
 特許庁編『工業所有権法逐条解説』発明協会
 鴻＝紋谷＝中山『特許判例百選（第2版）』有斐閣
 斉藤＝半田『著作権判例百選（第2版）』有斐閣

科目名	担当者名	配当学年	単位
経済法	おか岡 だ田 としひろ 外司博	法律3・4選	4

講義のねらい

独占禁止法は、資本主義社会において公正かつ自由な競争を確保することを通じて、市場メカニズムの機能を発揮させる役割を持つ重要な法律として最近注目を集めている。本講義は、この独占禁止法に関する学説と実務について、一通りの基本的知識を獲得することを当面の目標としている。また、受講者が実際に企業実務に携わる立場になった時に、独占禁止法上の問題を発見し、対応できるような能力を本講義によって得ることを期待している。

講義の内容・
授業スケジュール

授業のスケジュールについては別途予定表を配布する（前半と後半を分けて配布するつもり）ので、おおむねそれに従って授業を進める。ただし、場合によっては中途で変更することもありうる。

履修上の留意点

予定表に従って予め教科書の該当部分をよく読んで上で講義に出席することが望ましい。

成績評価の方法

試験による。

教科書

厚谷襄児『独占禁止法入門』（日本経済新聞社）750円

参考書等

授業時に随時参照する資料として、『独禁法審決・判例百選（第四版）』（有斐閣）2,400円を指定する。その他の参考文献としては、例えば次のようなものがある。

松下満雄『経済法概説（第2版）』（東京大学出版会）
 実方謙二『独占禁止法（新版）』（有斐閣）
 川越憲治『全訂独占禁止法——競争社会のフェアネス』（金融財政事情研究会）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
証 券 取 引 法	はる た ひろし 春 田 博	法 律 3・4 選	4

講義のねらい

証券取引法は会社の発行する株式・社債等の有価証券の発行・流通を規制の直接の対象とするが、その内容には、有価証券の定義、ディスクロージャーの規制、証券業と銀行業の業際問題、公開買付、5%ルール、インサイダー取引や相場操縦の規制等、数多くの現代的な問題が含まれており、また、実質的に会社法を補完する役割を担っていることもあって、今日その重要性を著しく増しつつある法分野である。本講義では、これら時事性のある問題にも可能なかぎり具体的に言及しながら、証券取引法による規制がどのような考え方や定義にもとづき、誰を名宛人とし何を目的に行なわれているかについて、わかり易く論じてゆくことにしたい。戦後に制定された若い法律であるため、母法であるアメリカ法の動向とも密接な関連を有しているが、こうした事情についても講義で伝えることができればと考えている。

講義の内容・授業スケジュール

ほぼ法律の規定の順序に即して進める予定である。

履修上の留意点

履修者は会社法の履修を終え、あるいは自習している等、会社法に関する一応の理解を有していることが望ましい。また、出席に際しては必ず六法全書を持参すること。

成績評価の方法

学年末に実施される教場試験の結果によって行なう。

教 科 書

近藤光男・吉原和志・黒沼悦郎著『証券取引法入門』商事法務局研究会刊 ￥3,500

参 考 書 等

必要に応じ教室においてその都度指示する。

そ の 他

授業は講義形式で行なう予定である。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
金 融 法	かわ た えつ お 川 田 悦 男	法 律 3・4 選	4

講義のねらい

現在わが国の金融界は、急速に進展する金融のグローバル化、自由化という大きな流れのなかで、不良債権問題などバブル後遺症からの早期脱却を図ることと、来るべき21世紀を展望して新しい金融サービスの提供など金融仲介機能の活性化を図るという、いわば相反する二つの重要な経営課題に直面している。このような変革激動の渦中において、金融機関は、その有する資金の仲介と支払手段の提供という基本的な機能を原点として、わが国経済社会の発展のために重要な責務を果たすことが求められているといえよう。

一方で利用者の側からみると、現代社会は企業も個人も金融機関と極めて密接な関わりあいをもっており、経済取引社会はもちろん個人の生活に至るまで銀行取引なしには成り立たないといっても過言ではあるまい。

このような認識のもとに、本講義は、一般市民として、また将来の金融人・企業人として必要な銀行取引に関する基礎的な法律知識と実務上の諸問題を、実社会の生きものとして学べるようにしたいと考えている。

講義の内容・授業スケジュール

講義内容は、まず銀行法等の関係業法の学習を通じて最近の金融制度のダイナミックな変遷を学び、そのうえで、金融機関の基本業務である預金、貸付、為替等の顧客との取引を銀行取引法として、その私法的な側面から学習する。そこでは各種銀行取引の仕組みや法的性質のほかに、現実には民法や手形法等制定法の規定が、どのように修正し補完されて実際取引に適用されているのかといった、実社会に生きた学問として学習できるよう心掛けたいと思っている。また、エレクトロニック・バンキングのもたらす新しい法律問題や、金融法領域の最近の判例や海外法制の動向など実務上の重要な問題についても明らかにするような講義としたい。

教 科 書

最初の講義のときに話します。

科目名	担当者名	配当学年	単位
国際取引法	おかだとしひろ 岡田外司博	法律3・4選	4

講義のねらい

本講義では、国際取引の実務を踏まえつつ、国際取引に関係する様々な法規範とその適用について概略を述べ、国際取引に関連してどのような法律問題が生ずるのか、また国際取引に関する紛争がどのように解決されるのか等を理解することを目標としている。なお、検討する対象としては、私法的な規範にとどまらず、講学上は国際経済法に分類される国際取引に関する公法的規制をめぐる諸問題についても多くの時間をさいて解説することにした。

講義の内容・授業スケジュール

内容的には、現在のところ、国際取引法序説、国際取引紛争の解決手続、国際売買法、国際知的財産権法、特約店契約の法的規制、国際貿易の規制と国際法的規律、等の項目を予定しているが、若干の変更もありうる。

履修上の留意点

教科書を予習した上で講義に出席することが望ましい。

成績評価の方法

試験による。

教科書

高桑昭＝江頭憲治郎『国際取引法』（青林書院）5,900円

参考書等

国際経済法に関する参考文献であるが、例えば次のものがある。
松下満雄『国際経済法（新版）』（有斐閣より近々出版予定）

科目名	担当者名	配当学年	単位
消費者法	あおのひろゆき 青野博之	法律3・4選	4

講義のねらい

消費者法は、今年新設された科目である。民法、行政法などこれまで履修した科目の考え方、知識をすべて使って、いろいろと受講生自身が考えてほしい。
担当する私の専攻の関係で、民法およびその特別法である割賦販売法、訪問販売法などを取り扱うことが多くなる。

講義の内容・授業スケジュール

(ア) 講義内容
消費者法の現在・過去・未来
消費者取引と法
消費者取引の適正化と法
訪問販売
割賦販売
消費者被害の救済と法
製造物責任

- (イ) 年に数回は、成績評価の方法に掲げるレポートに関連して講義・討論をしたい。
(ウ) 月に一度は、月刊誌「国民生活」から最近の記事を取り上げ、講義・討論をしたい。
(エ) (イ)(ウ)は、消費者法が日々変化する（現在進行形の）法であることに鑑みたものである。

履修上の留意点

質問は大歓迎である。出席者はそれほど多くないことが予想されるので、私から受講者に質問しつつ、また受講生からの質問に私が答えながら、私の講義を聞いていただくことになると思われる。

成績評価の方法

出席して質問をした回数、およびその質問の内容を重視する。出席者に対して私の方から質問をするので、これに答えてくだされば、これもカウントに入れる。正しい答えでなくともよく、自分で考えた答えであればよい。自分で考えることに意味がある。答えられなかったとしても不利には扱わないので、安心して質問に答えてほしい。
ほかに、年に数回、新聞記事から受講生自身が興味を持ったものを探し、その切抜き（またはコピー）とともにその感想、批評をレポートにして提出していただく。
発言（質問と応答）とレポートで、つまり、それだけで成績を評価する。

教科書

伊藤進・木元錦哉・村千鶴子著『テキストブック消費者法』、日本評論社、2,575円。

参考書等

平松毅・井上善雄・田上富信著『判例・事例で学ぶ消費者法』、有斐閣、2,163円。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
航 空 ・ 宇 宙 法	せき ぐち まさ お 関 口 雅 夫	法 律 3 ・ 4 選	4

講義のねらい

専門科目としての航空・宇宙法学は、航空法と宇宙法の全体についての概観的な知識、航空法と宇宙法に対する基本的な考え方、および個々の法律問題への取りくみ方など、航空法と宇宙法についての最も基礎的であると考えられる問題の理論的そして体系的な解明を目的とする。

講義の内容・ 授業スケジュール

航空法も宇宙法も新しい学問領域である。特に宇宙法は、航空法に比較しても極めて新しい学問領域である。学理的には、航空法も宇宙法も国内法としての航空法と宇宙法と、国際法としての航空法と宇宙法に分けられる。沿革的にみると、そこにはまず、一般的に国際法として成文化された航空法と宇宙法が生まれ、その内容が各国に浸透して国内法化される傾向がある。この意味で、航空法と宇宙法を体系的に学ぶためには、まずはじめに国際航空法と国際宇宙法の理解が不可欠になる。この講義の内容は、国際航空法と国際宇宙法を中心に進めて行く。

国際航空法は、国際航空公法と国際航空私法に大別出来る。国際航空公法の法源は、現在世界の170か国が批准しているシカゴ条約（日本の正式名称は「国際民間航空条約」）やヨーロッパ連合（EU）の理事会指令のような地域協定および現在世界に1500ほど存在すると言われる例えば日米間航空協定のような二国間航空協定よりなっている。本年は、アメリカのノースウエスト航空やフェデラル・エクスプレス航空がアジア市場に進出し、そこでいわゆる「過大な以遠権を行使すること」が、日米航空協定に違反するか否かというような具体的事例を通して、国際航空公法の基礎理論を理解してもらうことにする。国際航空私法は、三つのテーマを研究する。その第一は国際航空事故が生じて旅客に人身事故が生じた場合の国際航空運送人（航空会社）の責任問題について、中華航空機名古屋空港事故を例にとって論考する。第二のテーマは航空機事故が発生し、地上の第三者とその財産に損害を与える場合の解決策を考えてみることにする。第三のテーマは、航空機事故と保険制度の関係を検討することである。

国際宇宙法も、国際宇宙公法と国際宇宙私法に大別することができる。国際宇宙法の中核的法源は、別名基本的条約と称する宇宙条約である。本講義の第一のテーマは、この宇宙条約に定められた基本原理の内容を検討することに置く。次に、救助協定、登録条約、月条約を順次解説して行く。国際宇宙私法の中心には、「宇宙物体が引起した損害についての国際的責任に関する条約（責任条約）」が存在する。第二のテーマとして、この内容を解説する。第三のテーマは、現在そこには国際宇宙運送条約が存在していないが、何故存在していないのか、存在させるとしたらどの様な責任原理が採用されるべきかを検討する。第四のテーマは、宇宙物体・宇宙機の事故と保険との関係をみることにする。

履修上の留意点

この講義は、新しいかつ特殊な学問分野の講義であり、全ての学生が履修すべき科目とは考えられない。この科目を履修すべき学生は、何らかの意味で、航空機に関係する仕事につきたいと思う人、宇宙関係の仕事につきたいと思う人に適当なものである。

成績評価の方法

平常点と期末試験の結果により評価する。

教科書

本講義は、本年からの開講科目で教科書はいまだ作成されていない。もっとも筆者は、我が国のみならず、世界においても最も関連論文を公刊している一人である。必要に応じ論文をコピーして配布する。学生諸君は、年間を通じて1,000円以下のコピー代を負担してもらえばよい。

科目名	担当者名	配当学年	単位
地方自治法	うめ き木 たかし 梅 木 崇	法律3・4選	4

講義の内容・
授業スケジュール

地方自治法は、相当におおきな法律であり、その内容も多岐にわたっている。そして行政法を解説する具体例を豊富に提供している。また、われわれの日常生活に関係する部分がおおい。その意味で親しみやすい法律であるということが出来る。

講義では、行政法の具体的説明というかたちをとる。行政法総論では必ずしも理解がいきとどいたとはいえない点について、地方自治法を素材としながら解説するというかたちをとる。同時に、法律の性格上、改正がきめて多い点を考慮し、その沿革的な側面、地方行政そのものの内容についても言及しなければならないと思う。

地方自治法の内容が、とくに地方公務員試験で問われることが多い。とくに択一式の問題で、相当地に細かい点まで素材にしている。この点を考慮して、これまで出題された問題を検討することにも力点をおきたい。

教科書

現在のところ、こちらで推薦する教科書はない。近時、法律の改正があったためである。これまでは、こちらでレジメを用意している。適当な教科書が出版された場合にはそれを用いる。その際には指示する。

科目名	担当者名	配当学年	単位
国際関係論	しゅ とう もと こ 首 藤 素 子	法律3・4選	4

講義のねらい

現代の国際関係が抱える課題について、知識と理解を深めることを目的とする。

講義の内容・
授業スケジュール

次のような項目をほぼ3週分の授業を割当てながら進める予定。

1. 国際政治理論の展開
国際政治の冷戦後の新たな視座
2. 冷戦後の Globalism と大地域主義の生成
APECと覇権なき大地域主義? の課題
EU, OSCEと冷戦後の欧州の国際関係
3. 地域紛争と安全保障の課題
国連の安全保障分の機能
地域紛争と地域組織の機能
4. 国連の開発戦略と南北格差の問題
近代化理論の変遷と従属論の影響
国際的融資機関の機能と問題
5. 1970年代以降の経済の Globalization
政策協調と国際交渉の多様化
Global Governance の課題
6. 国際政治と人権保障の制度化
人権保障の法的枠組の展開と課題
人権と人権NGOと国際社会
7. 経済発展と途上国の政治体制
権威主義的政治体制と民主化の課題
経済的相互依存と informal sector
8. 地球環境と国際関係の課題
地球環境問題の現状と政策的対応
「発展の権利」と「持続可能な開発」
人口問題の現状と課題

成績評価の方法

定期試験および課題提出物により評価する。

教科書

とくに毎時間使用するというわけではないが、複数の文献を最初の授業で指示する。また、講義の内容ごとに参考文献等を指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
外 交 史	しゅう とう もと こ 首 藤 素 子	法律3・4選	4

講義のねらい

国民国家体系の成立後、主として19世紀後半から20世紀半ばの時代を対象に、西欧世界と東アジアで展開した近代外交の特徴とその変容について講義する。その主な目的は当時の外交政策を形成する主体がどのような政治勢力であり、また外交指導者を含めそれらの外交政策形成の主体がどのような外交認識をもち、さらにその時代の国際環境がどのような影響を与えたかを理解することにある。

講義の内容・
授業スケジュール

- おおよそ次のテーマを取り上げ、各テーマにつきほぼ2週分の授業を割り当てる予定。
1. 近代外交の成立と西欧国家体系の特質
近代におけるアジアの国際体系の特徴
 2. ドイツ帝国の成立とビスマルク外交の展開
フランス（1880年代～1900年代）外交の展開
 3. イギリスの外交政策の変遷（1860年代～1910年代）と大英帝国の植民地政策の展開
 4. 近代日本の大陸政策の形成と展開および日英同盟、日露協定の形成と更新
 5. 日米外交関係の課題（1910年代）
 6. アメリカ外交の伝統的特質と変容（1910年代まで）
 7. 第1次大戦期のアメリカ外交と講和会議
 8. 1920年代の独仏関係の変化、ワイマール共和制の憲法と政治過程
 9. ワシントン体制の形成と日米関係、1920年代日本の外交政策の特徴
 10. 1930年代の日本の大陸政策の形成と展開
 11. 1930年代のイギリスの外交政策
 12. 日本の南進政策と東南アジア軍政の展開および講和条約、戦争賠償交渉の経緯

履修上の留意点

受講者数によるが、小規模であれば外交文書等原典のコピーも適宜活用したい。

成績評価の方法

課題レポートや定期試験による。

教 科 書

特に固定的な使用はしない。

参 考 書 等

池井 優『日本外交史概説』、慶応通信、1992年、3,914円。

そ の 他

講義形式で行うが、少なくとも3～4回はビデオを併用する予定。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
政 治 思 想 史	こ ばやし まさ とし 小 林 正 敏	法律3・4選	4

講義のねらい

古代から現代に至る東洋的社会と西洋的社会の特質を比較し、なぜ「西洋」において多様な政治学説の発生を見るにいたったかという視点を重視する。また思想家の政治観の根底にある人間観、歴史観のもつ意味も併せて考察したい。

講義の内容・
授業スケジュール

プラトン、アリストテレスから現代に至る政治思想史、政治学説史について、思想家を中心に、その時代的背景にもふれながら論述する。前期はほぼN.マキャベリあたりまで、後期はJ.ボダン以後になると思われる。

成績評価の方法

学年末試験の成績を中心に評価する。

教 科 書

特定のテキストは用いない。

参 考 書 等

参考書、原典等は、講義の必要に応じて紹介していきたい。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
外書講読（英書）	あおのひろゆき 青野博之	法律3・4選	4

講義のねらい

英米法総論（たとえば、判例、裁判所制度、法曹）または英米私法（たとえば、契約法、不法行為法）に関する、著書（の一部）または論文を、受講生とともに読む。これにより、英米法の考え方・知識を学び、日本法のそれと比較する能力を養う。

講義の内容・授業スケジュール

講義のねらいに述べた範囲から、受講生と相談して決める。

履修上の留意点

英語、英米法、比較法に関心のある学生は、ぜひ受講してほしい。予習をしたうえでの出席が不可欠である。

成績評価の方法

平常点で成績を評価する。

教科書

プリントを配布する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
外書講読（英書）	かねこしょうへい 金子昇平	法律3・4選	4

講義のねらい

講義のねらいは、アメリカの憲法や法律、あるいは重要と思われる論文や判例を読むことによって、単なる法知識を得ることのみならず、その基本的な考え方をつかみとっていききたい。すなわち英語を読むだけでなく、考える講義をしていきたい。

そのためには、基礎的学習として法律英語を知ることであり、英単語やテクニカル・タームを豊富に身につけることである。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、主にアメリカ合衆国憲法等の基本的なものを選び講読する。憲法は、構成要素としての統治機構（立法権、行政権、司法権）や、基本的人権について、どの様に規定しているのか、それぞれの意義及び内容について検討してみる。

後期は、受講生の希望をとり入れて、法律・論文、最高裁判所の判例等、いずれかを選択し、講義する。

履修上の留意点

英和辞典（和英辞典）は、持参すること。英単語の意味がわからないからこそ、辞典が必要である。受講生は、出来るだけ多く、辞典に当たることを身につけて欲しい。

成績評価の方法

講義への出席状態と、発表の評価で成績評価を行う。

教科書

開講時にプリントを配布する。

参考書等

講義内容に応じて適宜指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
外書講読(独書)	まつ 松 村 格	法律3・4選	4

講義のねらい

外書講読の授業は、大学生活のなかで本格的な専門書に親しむことによって真の学問の妙味を味わうことにある。小中高の受験語学ではできない学問のすばらしさを体験する時間である。この授業では、ドイツ語の原書を読むことによってその体験をする。受講生の語学力に合わせて読み合せていくので心配はない。

講義の内容・
授業スケジュール

教材には、現在最も問題化している「企業犯罪」とか「組織犯罪」について、その刑事責任問題を扱った文献を使用する。

履修上の留意点

何よりも意欲と熱意と関心が肝要である。ドイツ語力を必要とするが、初めてドイツ語に接する学生でも2年間で飛躍的に上達して、大学院にドイツ語で受験して合格していった卒業生が過去数名いた。興味のある専門書を通して語学力をのばすこともできるのである。

成績評価の方法

成績の評価は、毎週の努力度によって行なうだけである。試験はしない。

教 科 書

教材は、上記のテーマに関係するものをコピーして渡す。

参 考 書 等

参考書はその都度指示する。

そ の 他

授業は、順番に翻訳部分を分担し、問題点を議論していく。原書の読み方は、丁寧に指導するから心配ない。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
外書講読(仏書)	あら 荒 木 正 孝	法律3・4選	4

講義のねらい

わが国の法制度は、その多くが欧米諸国の影響を強く受け、またはそれらに倣って作られたものであるから、母国における法制度の内容や法的思考等を学ぶことは、わが国の諸制度を理解するうえで重要な意味がある。この授業では、原書の読解によってフランス法の仕組みやその文化的・社会的背景などについて理解を深めてゆく。受講者は、毎回十分に下調べをして出席するように希望します。

成績評価の方法

出席点および平常点によって評価する。

教 科 書

受講生と相談して決める。

参 考 書 等

その都度、適当な図書を紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
外書講読（中国書）	こゝ うえ りん の ひで かつ ひろ もと 上 野 勝 広 英 基	法 律 3 選	4

講義のねらい

現在の中国は経済の改革・開放政策をとっており、これを実現するため、1982年に四回目の新憲法を制定・施行し、その後二回にわたる改正を行った。その他の法律もこの憲法に基づき、“雨後春筍”のようにつぎつぎ公布された。“一衣帯水”の隣国である中国を認識することが必要である以上、その法制から着手しなければならないのである。

講義の内容・授業スケジュール

この授業は中国憲法138条の条文に書かれている中国の内政と外交方針、国民の基本権利と義務、人民代表大会の権限、人民政府の組織など主な内容とする。

履修上の留意点

授業の進度は一週間5ページ程度である。学生諸君に朗読させ、法律用語、条文の構造（文型）を説明しながら立法理由と現在状況を論評する。

成績評価の方法

出席率、学習態度、レポートなどを判断基準として総合的に評価する。

教科書

「中国憲法」（江英居著・大学書林 ¥3,500）。

参考書等

「中華人民共和国法律滙編」（北京人民出版社）。

その他

学生への要望：授業中私語禁止。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
外書講読（スペイン書）	うえ の かつ ひろ 上 野 勝 広	法 律 3・4 選	4

講義のねらい

下記のテキストの講読を通して、スペイン語の読解力の向上を図るとともに、スペインの近現代政治史への理解を深めたい。

履修上の留意点

受講者は必ず予習をして授業に臨むことが要求される。

成績評価の方法

出席を含む平常点および年間4回の試験の結果により総合的に評価する。

教科書

Juan M, Benavides : *Ojeada a la España Actual* (Hakusuisha)

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
演 習	おぎそ 小木 曾 りょう 綾	法律3・4選	4

講義のねらい

刑事手続に興味が集まっているが、法を学ぶ者としては、それを単なる興味や大雑把な議論で終わらせるわけにはいかない。

本ゼミでは刑事手続のより深い理解を目指し、判例または刑訴法上の論点について参加者が報告し、レポート（論文200字×50～100枚）を作成する。前期にテーマを選択し、第一次口頭報告を行ない、参加者の質疑や教員の指導を踏まえて、後期に第二次口頭報告、レポート作成を行なう。

具体的な日程等は参加者と相談して決定する。

履修上の留意点

刑事法に興味をもち、積極的に議論に参加し、熱心に学ぶ学生の参加を求めたい。(10～15名)。

成績評価の方法

口頭報告とレポートの提出が単位認定の条件である。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
演 習	おか 岡 田 とし ひろ 外 司 博	法律3・4選	4

講義のねらい

独占禁止法についての理解を深めるために、独占禁止法分野において実務上重要と思われる公取委の審決（審判審決が中心となる）、及び判例を様々な角度から分析し、理論上及び実務上の問題点を探究し、解決策を共に議論する（結論は出ないこともありうる）作業が中心となる。このような基礎的な研究を行うとともに、可能であれば、公取委の審判の見学や、官僚・弁護士・企業実務家等の話を聞くことによって、独禁法についての見聞を広める機会を持つようにしたいと考えている。

履修上の留意点

事前に予習の上で演習にのぞみ、扱われた審決・判例についてとにかく自分の意見を述べ、積極的に議論をまきおこすことを期待する（饒舌をよしとする）。もとより、自分に割り当てられた審決・判例についてはきちんと報告することが前提である。

成績評価の方法

出席及び平常点によって評価する。

教科書

審決・判例のコピーはこちらで配布する。

参考書等

参考文献としては、次のものがある。
『独禁法審決・判例百選（第四版）』（有斐閣）
『教材独占禁止法（第五版）』（青林書院）

その他

報告と討論によって行う。

專 門 教 育 科 目

政 治 学 科

専門教育科目

政治学科

政治学概論	(浦田早苗)	55
政治学概論	(小林正敏)	55
政治学概論	(福田耕治)	56
憲法	(竹花光範)	57
政治学原論	(福島政裕)	58
日本政治論	(早川純貴)	59
東南アジア政治論	(首藤素子)	60
ヨーロッパ政治論(1)	(三竹直哉)	60
ヨーロッパ政治論(2)	(小林正敏)	61
アメリカ政治論	(小堀訓男)	61
中国政治論	(竹花光範)	62
日本政治史	(寺崎修)	62
行政法総論	(梅木崇)	63
国際法	(曾我英雄)	63
政治制度論	(前田英昭)	64
行政学	(福田耕治)	65
外交史	(首藤素子)	66
国際政治学	(小堀訓男)	66
政治社会学	(上條末夫)	67
政治思想史	(小林正敏)	68
マス・コミュニケーション論	(相田敏彦)	68
ヨーロッパ政治史	(浦田早苗)	69
行政法各論	(梅木崇)	69
地方自治法	(梅木崇)	70
国際関係論	(首藤素子)	70
議会関係法	(前田英昭)	71
比較政治学	(三竹直哉)	71
国際行政学	(福田耕治)	72
国際組織論	(青井千由紀)	73
情報社会学論	(上條末夫)	74
投票行動論	(上條末夫)	75
政治過程論	(早川純貴)	76
外交政策論	(小堀訓男)	77
社会学原理	(渡辺源樹)	77
財政学	(里中恆志)	78

国 際 經 済 学 (徳 永 俊 明)	79
經 済 原 論 (浅 野 克 巳)	80
日 本 法 制 史 (大 久 保 治 男)	81
西 洋 法 制 史 (北 野 か ほ る)	82
經 済 政 策 (森 岡 仁)	82
比 較 憲 法 (竹 花 光 範)	83
民 法〔総則・物権法〕(林 幸 司)	84
英 米 法 (北 野 か ほ る)	85
会 社 法 (荒 木 正 孝)	86
労 働 法 (藤 本 茂)	87
經 済 法 (岡 田 外 司 博)	88
時 事 英 語 (青 井 千 由 紀)	88
外 書 講 読 I・II〔英 書〕(三 竹 直 哉)	89
外 書 講 読 I・II〔英 書〕(前 田 英 昭)	89
外 書 講 読 I・II〔英 書〕(相 田 敏 彦)	90
外 書 講 読 I・II〔独 書〕(早 川 純 貴)	90
外 書 講 読 I・II〔仏 書〕(荒 木 正 孝)	91
外 書 講 読 I〔中 国 書〕(江 林 英 基)	91
外 書 講 読 I・II〔ス ペ イ ン 書〕(上 野 勝 広)	92
演 習 (岡 田 外 司 博)	92

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
政 治 学 概 論	うら た さ なえ 浦 田 早 苗	政 治 1 必	4

講義のねらい

世界は今、大きな転換期にある。冷戦構造の崩壊と社会主義体制の変革、高度産業化に伴う社会の変質などによって、国家や政党、制度や組織、国民や民族などの概念に基本的な再検討が迫られている。国内では政治改革、行政改革、税制改革が政治経済の緊急課題となり、これまでの政治のありかたに変更が求められている。本講座は、激動の現代政治を誤りなく把握する上で必要な基礎知識を概論し、併せて政治学の専門分野への導入をはかるものである。政治と政治学の基礎用語の解説、及び政治の機構、理論、過程を考察していくが、政治的視野拡大のため適宜時事問題も取り上げていく。96年度は以下の講義を予定している。

講義の内容・授業スケジュール

・伝統的政治学と現代政治学 ・政治権力とリーダーシップ ・投票行動と政治参加 ・近代社会における公共性 ・議会政治の諸原理 ・世界各国の政治制度 ・現代社会と官僚制 ・政治的コミュニケーション ・国際社会の構造 ・現代社会の問題点

成績評価の方法

年5～6回行う小テスト—簡単な政治論評—は出席点代わりとし、学年末試験に加算する。試験はあらかじめ指示した5問から2題出題する。(ノートの持ち込みは不可)

教科書

特に教科書は指定しないが、さらに詳細に研究を望む学生には適宜参考書を推薦する。

参考書等

参考書は必読でないが、常に新聞を「読む」ことが全員に義務づけられている。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
政 治 学 概 論	こ ばやし まさ とし 小 林 正 敏	政 治 1 必	4

講義のねらい

本講座は、1年次生の「政治学入門」のために設けられているものである。したがって、政治学がいかなる学問であるかを理解するとともに、専門的な政治の領域を学ぶ上で必要とされる基礎的知識を身につけることを目的としている。

講義の内容・授業スケジュール

この講座は、基礎的、一般的であると同時に、選挙制度、政治思想、民主政治論、国際機構などにも論及し、今後、政治学原論等の専門科目を学ぶためのステップとして役立つようにしたい。講義に際しては、随時、カレントな問題をも取りあげて、理論と現実との融合をはかるように努めたい。

成績評価の方法

学年末試験の成績、出席状況などを中心に評価する。

教科書

小林正敏他著『政治学講義』（成文堂）

参考書等

開講後に必要に応じて指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
政治学概論	福 田 耕 治	政治 1 必	4

講義のねらい

政治学の幅広い眺望を心得て、基礎的な政治学の概念や視点、考え方になじんでおくことは重要である。本講義では現代の政治現象を理解するため、国家論、デモクラシー論、政治制度や政治思想、政治権力論など伝統的な政治学の基礎概念を概説する。次に政治過程論、政治行動論、政治文化論など現代政治学の基礎的な分析手法についても解説する。

講義の内容・授業スケジュール

a) 政治学の対象と方法、学説史, b) 国家論, 政治権力論, デモクラシーの政治理論, c) ギリシャから現代までの政治思想, d) 各国政治制度論, 議会制度論, 官僚制論, 地方自治論, e) 選挙制度・投票行動論, f) 政治意識と政治参加論, g) 政党論と利益集団論, h) 大衆社会と政治的リーダーシップ論, i) 現代政治史と国際関係史, j) 国際関係論。

履修上の留意点

講義には積極的に参加し、政治学の基礎概念をしっかり身につけること。

成績評価の方法

定期試験およびレポートもしくは小テストも行うことがある。

教科書

講義の中で紹介する。

その他

講義の際に、年間講義計画とレジュメや資料等をプリントして順次配布するので各自ファイルして学習に役立ててもらいたい。またビデオやOHPなどの視聴覚教材も利用し、受講者数なども考慮して可能であれば、討論、パネル・ディスカッションなどの方式も取り入れてみたい。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
憲 法	たけ はな みつ のり 竹 花 光 範	政 治 1 必	4

講義のねらい

本講義は、憲法とは何か、憲法はどうあらねばならないかといった視点からの考察を中心に、日本国憲法の存在性格を明らかにすることを目的としている。すなわち、日本国憲法が、どのようにして存在するにいったのか（憲法の成立過程）、日本国憲法は、どのような憲法として存在しているのか（憲法の性格と特色）、日本国憲法の存在が、どのような結果を生ぜしめているのか（憲法の施行状況）といったことを明らかにしようというのである。

講義の内容・授業スケジュール

そのため、全体を二つに分け、前半は総論的講義、後半は各論的講義を行う。前半の総論的講義は、次のような章節から構成される。

第一章 憲法のご概念と歴史

- (一) 憲法とは
- (二) 憲法の種類
- (三) 憲法の歴史

第二章 日本国憲法成立の経緯と法理

- (一) 日本国憲法成立の経緯
- (二) 日本国憲法成立の法理

第三章 日本国憲法の特質

- (一) 日本国憲法の特異性
- (二) 日本国憲法の基本原理

各章節の内容は、それぞれの表題からほぼ明らかなのと思われるが、第一章では、憲法とはどのような規範か、憲法にはどのような種類があるのか、成文の憲法はどのようにして生まれ、どのような発展をとげて今日にいたっているのかについて述べる。なお、我が国における憲法の歩みということで、明治憲法の成立過程、同憲法の主な内容、成立後の展開についても概説する。

第二章では、現行日本国憲法が、どのようなプロセスをへて成立するにいったのか（アメリカの対日政策、極東委員会の動き、日本政府の対応、GHQ民政局の役割、第九〇帝国議会での審議状況等）、日本国憲法の成立を法理上どのように説明したらよいか（明治憲法との関係、占領下の改憲をどう考えるか、八月革命説、改正憲法説、無効論の是非等）を論じる。

第三章では、憲法の分類上から認められる日本国憲法の特異性（例えば、民定憲法なのか、欽定憲法なのか、協約憲法なのか、はたまた占領憲法とよぶべき憲法なのかといった、憲法を成立せしめた主体をめぐって争いがある点等）を指摘し、そのような日本国憲法が、どのような基本原理に依って立っているのか（国民主権の原理、象徴天皇制の原理、平和主義の原理、基本的人権尊重主義の原理）を明らかにする。

一方、後半の各論的講義は、本来なら、日本国憲法の逐条（日本国憲法は世界でも有数の簡略な憲法であるが、それでも全体で、前文と本文十一章 103カ条に及ぶ）解説ということであろう。しかし、限られた時間内では、それは、ほとんど不可能に近い。そこで、とりあえず、各章ごとに規定内容や問題点を整理し、一部に立法論的指摘（どこにどのような不都合があり、それをどのように改めたらよいかといった指摘）も加味しつつ、全体として、日本国憲法がどのような憲法か理解できるように講義としたい。

もちろん、第九条をはじめ、解釈上の対立が大きい条項や多くの問題を抱えている条項については、判例の紹介をはじめ、比較憲法的な考察を行うなど、特別に時間を割きたいと考えている。

履修上の留意点

講義は教科書を用いて進めるが、時事的な憲法問題を取り上げ解説するなど立体的な講義を心がける予定であり、「教科書を読む」ような講義ではまったくないので、でき得る限り講義に出席することが望まれる。

成績評価の方法

成績評価は、論述型（「について述べよ」ないし「について論じよ」といったタイプの問題）のペーパーテストによって行う。評価に際しては、問いに答えているか（出題された問題に関係のないことを書いた場合は大幅な減点とする）、必要なことが書き込まれているか（簡にして要を得た内容であること、余計なことを多く書いても加点されない）、論理展開に説得力があるか（単なる箇条書きでは論述型の問題に対する解答とはいえない、全体として一つの小論文となっていること）、誤字、脱字がどの程度か（専門用語の誤まりは大幅な減点となる）などをチェックする。

教科書

教科書として、竹花光範著『憲法学要論』成文堂（3,300円）を用いる。

参考書等

必要に応じて、参考書の紹介、資料の配布等も考えている。

その他

いずれにしても、学生諸君が、憲法に関心をもち、憲法問題を積極的に考えていくよすがとなるような講義を心がけるつもりである。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
政 治 学 原 論	ふくしま まさひろ 福 島 政 裕	政 治 2 必	4

講義のねらい

現代政治理論の輪郭を描く。

現実の政治を正しく分析し、理解するために必要な理論的な枠組みを提供する。現代の政治を理解するための理論的な道具を検討し、この分析道具が政治のいかなる側面の解明に有効であるか、この道具が現実の政治の解明に適用された場合にどのような結果や結論が導き出されるのか、そしてこの道具の限界はどこにあるか、が講義の視点となっている。

講義の内容・
授業スケジュール

講義では、「政治とは何か」、「影響力——描写」、「影響力——解釈」、「影響力——説明と評価」、「政治体制——類似」、「政治体制——差異」、「差異——ポリアキーと非ポリアキー」、「ポリアキーと非ポリアキー——説明」、「政治的人間」、「政治的評価」、および「政策決定」、という11の大きなテーマが順次検討される。

履修上の留意点

政治の現実を一挙に展望し得るような便利な視点はまだ、発見されていない。したがって、政治現象を理解するためには、複数の政治理論の組み合わせが必要となる。複眼的視点こそが、現実を操作する自由をわれわれに与えるのである。諸君は、政治理論のこうした意味を理解したうえで、政治学原論の諸課題に取り組んでほしい。

成績評価の方法

学年末に実施する定期試験の得点により決定する。

教 科 書

毎回の授業時に論点メモを配布する。

参 考 書 等

大塚桂『政治学原論序説——政治における制度と行動』（勁草書房、1994年）

そ の 他

講義形式で授業を進めるが、講義中の質疑応答は歓迎する。OHPを活用し、統計・グラフ・図表を検討する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
日 本 政 治 論	はや かわ よし き 早 川 純 貴	政治1・2・3・4必 政治1・2・3・4選	4

講義のねらい

1993年自民党の分裂によって終焉した五五年体制、そして政界再編時代の到来により日本の政治はいよいよ混迷の度を深めつつある。そうした中でわれわれはいかにして今の状況を的確に把握し、これからの展開を予測できるだろうか。日本政治の特質を明らかにするうえで今求められているのは、比較政治学や政策決定過程の研究成果を用いつつ、これまでの日本政治の流れとその過程で形成されてきた政治権力構造への理解を深めることである。

それゆえ本講義ではこれまでの研究成果を踏まえ、戦後の日本政治を理論的／時系列的に考察し、その構造と政治主体の比較論的分析を通して、従来の通俗的理解を超えた新しい評価を試みるものである。

講義の内容・授業スケジュール

- 政治史的アプローチ
 - 五五年体制以前：憲法制定から吉田内閣まで ⇒ 体制選択の時代
 - 五五年体制以後：自・社二大政党制から中道政党の登場まで ⇒ 高度経済成長の時代
 - 73年の転換：保革伯仲時代／革新自治体の終焉と自民党の復調 ⇒ 新中間大衆の時代
 - 80年代の行政改革と規制緩和：福祉国家の変容と新保守主義 ⇒ 総保守化の時代
 - 地方自治の現実／市民・住民運動の歴史
- 理論的アプローチ

戦前・戦後連続説／断絶説あるいは権力エリート論／権力多元主義論の立場からの日本政治の評価を紹介しつつ、官僚政治の諸問題、利益集団とりわけ経済団体・労働団体の役割について比較論的に論じる。
- ケース・スタディ（イシュー・アプローチ）

70年代から80年代における日本政治の特徴を、政策決定過程のいくつかのモデルを用いつつ代表的なケース・スタディを通して考える。

 - 米価決定過程
 - 国鉄の分割／民営化
 - 健康保健制度の改正過程
- 自民党論
 - 一党優位政党の検討：組織／政策／ネットワーク
 - 族議員の登場／派閥の組織化／後援会の役割
 - 田中角栄と中曽根康弘
- 総括：90年代の日本政治

履修上の留意点

本講義受講生は少なくとも70年代以降の政治の流れについての一定の知識を有し、特にこの時期からの歴代内閣の名前とその都度の重要な政策について事前に学習しておくこと。

成績評価の方法

中間試験および定期試験の結果により評価。

教科書

米原謙／土居充夫（編）『政治と市民の現在』（法律文化社，2,781円）

参考書等

講義のなかで随時紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
東南アジア政治論	しゅ とう ちと こ 首 藤 素 子	政治1・2・3・4必 政治1・2・3・4選	4

講義のねらい

東南アジア地域諸国が第2次大戦後国家建設を行う過程で、政治的、経済的にどのような問題をかかえていたかについて理解すること。および現在の東南アジア地域とりわけASEANを構成する7か国のうち、ブルネイを除く6か国について、その政治体制の変容、1960年代以降現在までの外交政策や経済政策の進展と現状の課題について理解を深めることを目的とする。

講義の内容・
授業スケジュール

- 次の諸項目についてはほぼ2週分の授業を割当てる予定で進める。
1. 第2次大戦後の国際関係における東南アジア地域の位置付け。東南アジアにおける地域主義の諸様相。
 2. ASEANの形成、設立の背景と当初の機能。ASEANの組織的拡張と機能の多様化。
 3. インドネシアの国家建設と国民統合の課題。政治的多元主義の挫折とスカルノ体制。
 4. スハルト政権下のインドネシアの政治体制の変化と特徴。法秩序と行政機構の性格。
 5. マラヤ連邦の結成と国民統合の課題。マレーシア連邦結成の背景と多民族社会。
 6. マレーシアの1970年代以降の政治制度と経済政策の課題。
 7. シンガポールの国家形成過程。人民行動党の諸政策と行政機構の特徴。
 8. タイの政治制度と政治機構の特徴（1932年の立憲革命から1950年後半まで）
 9. サリット・タノム体制下のタイの政治体制、官僚機構の特徴および外交政策。
 10. フィリピンの議会制度とコモンウェルスの形成。
 11. フィリピンの独立後の政治構造の特徴と経済外交政策。
 12. ベトナムの刷新路線とASEAN加盟。
 13. ASEAN諸国と日本との外交関係の課題。

教 科 書

とくに指定しない予定だが、開講時に参考文献等を示し、随時資料等配布する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
ヨーロッパ政治論(1)	み たけ なお や 三 竹 直 哉	政治1・2・3・4必 政治1・2・3・4選	4

講義のねらい

主に「西ヨーロッパ」と言われてきた地域の政治や社会について学びます。移民問題、極右の台頭、民族紛争、EUなどを扱う予定です。

講義の内容・
授業スケジュール

開講時に配布する授業案内（シラバス）を参照してください。授業案内は、オフィスアワーに研究室に取りに来ていただいても構いません。なお、最初の授業は、授業案内を配布し、その内容についての質疑応答のみを行います。

履修上の留意点

答案の返却と講評を行う予定のため、定期試験は、授業時間内に行う予定なので注意してください。

成績評価の方法

期末試験、発言点、小テスト、任意レポートの合計点によります。詳しくは授業案内を参照してください。

教 科 書

開講時に指定します。新書程度のものを2～3冊予定しています。

参 考 書 等

開講時に指示します。

そ の 他

受講人数にもよりますが、対話・討論形式を多く取り入れる予定です。また、ビデオを多用します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
ヨーロッパ政治論(2)	こ ばやし まさ とし 小 林 正 敏	政治1・2・3・4必 政治1・2・3・4選	4

講義のねらい

この講義は、ヨーロッパのなかでも東欧——つまり旧ソ連圏、旧ワルシャワ条約機構加盟諸国の政治、社会と国際関係を対象とするものである。この地域の政治の現状を主たるテーマとするが、歴史的経緯や対日関係をも視野に入れて講義を進めたい。

講義の内容・授業スケジュール

1989年以来の大変革によって、政治的概念としての「東欧」は変容した。各国は多様な道をたどっているが、今年度は混迷のなかにある「大国・ロシア」を中心に論述する予定である。

履修上の留意点

カレントな問題も少なくないので、東欧、ロシアなどに関する新聞、雑誌の報道、論評、解説等には注意して目を通すことを希望したい。

成績評価の方法

期末試験ばかりでなく、年間1～2回のレポート（書評などを含む）も参考にして成績の評価を行う。

教科書

特定のテキストは用いない。

参考書等

参考書、雑誌論文など、講義のなかで指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
アメリカ政治論	こ ぼり のり お 小 堀 訓 男	政治1・2・3・4必 政治1・2・3・4選	4

講義のねらい

本講義のねらいは、“アメリカ政治の特質”を理解することにある。そのため、最初にアメリカ史と合衆国憲法を概観する。つまり、アメリカという国家の成立過程を、ヨーロッパ近代革命の枠組のなかでとらえ、国家の成立過程と合衆国憲法を考えることにより、アメリカという国家の特殊性を考察する。

第二に、アメリカ政治の大きな転換期であるニューディール体制をとりあげ、ニューディール体制前のアメリカと、体制後のアメリカの政治が、どのように変化したのか、また、それ以後のアメリカ政治に、どのような影響を与えたのかを考える。殊に、フーバー大統領とローズベルト大統領の内政の比較をしながら見ていく。

第三に、トルーマン大統領の内政と外交を冷戦構造の開始との関係で見ながら、米ソのイデオロギー的対立のもとで、アメリカ政治がどのように変化したか、展開していったかを考える。

第四に、冷戦構造のもとでの、歴代大統領の内政・外交政策をみる。内政では、60年代の社会変動と人種差別問題、70年代の女性の社会進出を中心に、アメリカ社会の変化を考察する。外交では、ベトナム戦争がアメリカ政治をどのように変質させたかを考える。

第五として、冷戦終結後のアメリカの内政と外交を考える。レーガン、ブッシュ、クリントン各大統領の内政と外交を概観し、ソ連邦崩壊後のアメリカ政治の変化と世界政治の変化を考察する。

履修上の留意点

ローズベルト以後の各大統領の内政と外交政策については、受講生も研究発表をおこない、全員で討論しながら理解を深めていきたい。積極的に授業に参加することを望む。

成績評価の方法

研究発表30%、定期試験70%で評価。教科書、参考書は授業中に指示する。

教科書

授業中に指示する。

参考書

授業中に指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
中国政治論	たけ はな みつ のり 竹 花 光 範	政治1・2・3・4必 政治1・2・3・4選	4

講義のねらい

当科目は、地域研究入門講座的な性格をもって設けられたものであり、中国政治の歴史と現状について、正しい理解を得ることを目的としている。

講義の内容・授業スケジュール

授業内容は、中国の政治制度と政治事情の変遷（辛亥革命以後、最近に至るまで）が中心になるが、とくに（新中国建国後は）、そうした変遷が、国家の最高法規であるはずの憲法の上に、どのように反映しているかについて詳述する予定である。もちろん、いわゆる「中国の特色をもった社会主義」、すなわち社会主義市場経済体制の特色、並びに問題点についても論及する。

履修上の留意点

時事的な問題をとり上げて解説するなど立体的な講義を心がけるので、できる限り講義には出席すること。

成績評価の方法

成績評価は、原則として、年一回提出を求める（二度の場合もあり得る）レポートによって行う。テーマは、当然、中国政治に関するものであるが、主として憲法に関連したものになるものと思う。分量は普通サイズのレポート用紙五枚程度とし、必ず複数の参考文献を明示することを要求する。

教科書

教科書として、竹花光範著『中国憲法論序説』成文堂（3,600円）を用いる。

参考書等

参考書（とくに、中国政治史、中国共産党史や現代化路線に関するもの）は、必要に応じて講義の中で紹介する。

その他

中国は「近くて遠い国」であるといわれる。地理的には、まさに隣国といってよく、歴史的にも深い関わりがありながら、お互いの理解は、必ずしも充分とはいえない。そのことが両国の間に不必要な軋轢を生んでいるといっただけであらう。学生諸君が、正しい中国認識をもって、「あるべき日中関係」を考えるよすがとなるような講義を心がけるつもりである。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
日本政治史	てら さき おさむ 寺 崎 修	政治2・3・4必 政治2・3・4選	4

講義のねらい

近代日本の政治を歴史的にアプローチする立場から、わが国が過去に直面した諸問題に対し、当時の政治的リーダーや批判者たちがどのように対応したかを実証的に検証し、日本政治のたどった道筋をできる限り具体的に明らかにしていくつもりである。

講義の内容・授業スケジュール

- I 政治史と資料批判
- II 立国の時代
 - 1. 大政奉還と明治政権の成立
 - 2. 明治政府と批判勢力
 - 3. 明治憲法体制の成立と初期議会
 - 4. 明治末期の政治状況
- III 大正デモクラシーの時代
 - 1. 大正政変の政治過程
 - 2. 普通選挙制度の成立
 - 3. 大正デモクラシーの意義と限界
- IV まとめ

履修上の留意点

履修にあたっては、とくに日本史の知識を必要としないが、「歴史」に興味を持っている諸君の受講を歓迎する。

成績評価の方法

成績評価は、学年末のペーパー・テスト（持ち込み可）によっておこなうが、合格点をとるためには、講義内容をふまえた解答（賛否にはこだわらない）が要求される。

教科書

寺崎修『明治自由党の研究』上巻、慶応通信、3,200円

参考書等

中村菊男『日本政治史読本』（東洋経済社）
 笠原英彦『天皇親政』（中央公論社）
 坂野潤治『大正政変』（ミネルヴァ書房）
 松尾尊兌『普通選挙制度成立史の研究』（岩波書店）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
行 政 法 総 論	うめ き たかし 梅 木 崇	政治2・3・4必 政治2・3・4選	4

講義のねらい

- (1) 行政とはなにか。
 - (2) 行政はだれが、だれに対して行うか。
 - (3) 行政はどのようにして行われるか。
 - (4) 行政によって損害を被った場合、どのように救済されるか。
- これらの点について、従来から行われてきた行政法の内容を体系的に講義する。法に関する学問のうち、もっとも理解しにくいとされる行政法であるから、できるかぎり具体的な例を引きながら講義をすすめたい。諸君の将来の希望として公務員になることがあげられるので、そのための資料を提供することにも努める。単位の取得よりも、その将来の目的達成のために必要な、国あるいは地方の公務員試験の問題を頭におきながら講義をすすめる。その際に実際に行われた問題〔択一式公務員試験における行政法の割合は相当におおきい。それも択一式に重点がおかれている〕そのものの検討も、講義の進捗にあわせて、行ってみたいと思っている。

教 科 書

原田尚彦『行政法要論』を用いるが、講義を行うにあたって、講義者の著作を随時参照するつもりである。

そ の 他

最近、公務員試験は、国家2種、都道府県、市町村を問わず、相当な難関になっている。それに合格するための知識は、どろな方式では獲得できない。したがって、相当早期から、その準備にかかる必要がある。しかし、そのための方法があり、それを習得すれば成果はあげられるものである。目的をはっきりもって大学生活をおくるべきであるが、公務員試験への合格は、その目的に値するものである。講義者の経験からいって、努力した者は、必ずといってよいくらい合格し、それぞれの分野で活躍している。ただし、学がぬい者が、成功するわけがない。講義では、出題の頻度の高い基本的な問題を中心に解説する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
国 際 法	そ が ひて お 曾 我 英 雄	政治2・3・4必 政治2・3・4選	4

講義のねらい

この講義では、国際法の基本的な内容を学ぶことを目的とするが、国際法が現実の国際社会の中でどのような働きをしているのか、について理解を深めることに主眼をおく。

国際法は、憲法・民法・刑法などの国内法とは、法的性質や考え方の面でかなり異なる特質を持っている。とくに国際法違反行為に対する制裁は、国内法上の犯罪や不法行為に対する制裁とは異質点が多い。又、国際法は主として国家の行動を規律する規範であるために、国家間の政治関係が大きく関係してくる場合が多い。このような場合には、国際法のルールが常に守られるとは言えない。つまり、法としての国際法が政治との闘争に敗れる場合が、しばしば見受けられるのである。この講義では、こうした国際政治関係をも考慮しながら、国際法の本来の姿について学ぶ予定である。

講義の内容・授業スケジュール

1. 国際法の歴史、2. 国際法の法的性格、国内法との関係、3. 国際法の成立形成、4. 国際法の主体、5. 国家形態、6. 国家・政府の承認、7. 自決権をめぐる諸問題、8. 国家承継、9. 外交使節・領事、10. 国家・基本的権利義務、11. 国家責任、12. 国家領域、13. 海洋法、14. 空域法、15. 人権の国際的保障、16. 外国人の法的地位、17. 国際犯罪、18. 国際経済関係と国際法、19. 環境問題と国際法、20. 国際紛争の平和的解決、21. 平和と安全の維持、22. 武力紛争法、23. 中立法

以上の諸項目について、具体的事例をあげながら学んで行く予定である。

履修上の留意点

授業中に世界各国の地名が頻繁に出てくるので、世界地図を用意して参照して欲しい。また、条約集も必ず持参すること。

成績評価の方法

レポートおよび定期試験にもとづいて評価する。

教 科 書

松井芳郎ほか著『国際法〔新版〕』有斐閣Sシリーズ

参 考 書 等

- ① 曾我英雄著『自決権の理論と現実』敬文堂
- ② A. カッセーゼ著・曾我英雄訳『戦争・テロ・拷問と国際法』敬文堂

そ の 他

- 条約・資料集
- ① 小田・石本編『解説条約集』三省堂
 - ② 田畑ほか編『基本条約・資料集』東信堂
 - ③ 山本草二編『国際条約集』有斐閣

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
政治制度論	まえ だ ひで あき 前 田 英 昭	政治2・3・4必 政治2・3・4選	4

講義のねらい

講義では、政治制度のうち特に議会制度を中心に取り上げ、憲法上の議会制度に関する諸規定を前提にして、その背後にある議会運営の慣習とか原則や、それを動かすアクターを学び、その上で、多様に展開される議会政治の現実の生きた姿を理解することに力点を置く。

講義の内容・授業スケジュール

前期には、イギリスの議会政治を学び、次いでそれをモデルにして生まれた各国の議会制度・政治を学び、それらを比較研究しながら、後期には、前期で得た知識をもとに、我が国の議会制度の特色と議会政治の実態を学び、併せて、今日、我が国において当面する議会政治の諸問題を取り上げ、それについての正しい見方を学び、改革の方途を考える。

イギリス議会政治の発生・発展・現状、米・独・仏の議会政治の現状と特色、憲法と議会制度、政党政治、院内における言論の自由と規律、採決方法の種類、選挙制度（小選挙区制、大選挙区制、比例代表制、多数代表・少数代表）、金権政治と政治倫理、二院制、代表民主主義と国民投票制、開かれた国会、政治資金、政党への公的助成、政権交代論、立法過程、国政調査と証人喚問、政治改革、国会と地方議会、政治腐敗、その他（順不同）。

履修上の留意点

履修の仕方、単位取得方法については開講時に指示する。

参 考 書 等

- ラスキ（前田英昭訳）「イギリスの議会政治」（日本評論社）
 前田英昭「イギリス議会政治の研究」（溪林出版社）
 同 「世界の議会・イギリス編」（ぎょうせい）
 同 「イギリスの上院改革」（木鐸社）
 同 「エピソードで綴る国会の100年」（原書房）
 同 「政治腐敗防止法を考える」（信山社）
 バジヨット「イギリスの議会政治」（中央公論社『世界の名著』60）
 グリフィス、ハートレー（浦田、元山訳）「イギリス憲法」（三省堂）
 堀江 湛「国会改革の政治学」（PHP研究所）
 藤本一美「世界の議会改革」（東信堂）
 田口富久治、中谷義和「比較政治制度論」（法律文化社）
 佐藤 功「比較政治制度」（東京大学出版会）
 野村敬三「比較政治制度」（有信堂）
 水木惣太郎「議会制度論」（有信堂）
 辻 清明監修「世界の議会」（全12巻）（ぎょうせい）
 清水 望「西ドイツの政治機構」（成文堂）
 坪郷 実「統一ドイツのゆくえ」（岩波新書）
 平島健司「ドイツ現代政治」（東京大学出版会）
 奥島孝康、中村紘一「フランスの政治」（早稲田大学出版部）
 桜井陽二「フランス政治体制論」（芦書房）
 デュヴェルジュ（時本義昭訳）「フランス憲法史」（みすず書房）
 阿部 斎「アメリカの政治」（弘文堂）
 日本国際交流センター「アメリカの議会・日本の国会」（サイマル出版会）
 中村陸男「議員立法の研究」（信山社）
 比較立法過程研究会「議会における立法過程の比較法的研究」（勁草書房）
 G H Q 正史（前田英昭訳）「国会の民主的改革」（日本図書センター）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
行 政 学	ふく だ こう じ 福 田 耕 治	政 治 2・3・4 必 政 治 2・3・4 選	4

講義のねらい

現代国家は「行政国家」といわれる。それは行政の量的拡大と質的变化、特に立法権に対する行政権の優越化を特徴とする。そこには官僚制をめぐる諸問題、テクノクラートの支配による民主主義や代議制の危機という問題が横たわっている。このような行政現象を的確に把握し、現代国家の機能や構造を明らかにするため、行政学の知識や考え方は重要かつ不可欠である。

講義の内容・
授業スケジュール

行政学の課題、対象と方法、ドイツ・オーストリア、フランス、アメリカ、日本における行政学発達の歴史、行政理論と組織理論の関係、行政管理論、行政組織論と官僚制論、日本官僚制論と政策決定過程、公共政策論、政策過程論、政策科学と政策分析論、行政改革論、行政責任・統制論、政府間関係論、地方自治論、わが国の公共政策の国際化論、国内行政と国際行政との関係などを取り上げる。

履修上の留意点

政治学の基礎知識は必要。

成績評価の方法

定期試験の他、レポートまたは小テストを行なうことがある。

教 科 書

福田耕治『現代行政と国際化（第2版）』、成文堂、1995年、2,800円。

参 考 書 等

参考文献は適宜紹介する。

そ の 他

講義の際に、講義計画（一年分）、レジュメ、資料等のプリントを配布する。各自ファイルして学習に役立ててもらいたい。なお、VTRやOHPなど視聴覚教材も利用する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
外 交 史	しゅうとうもとこ 首藤素子	政治2・3・4必 政治2・3・4選	4

講義のねらい

国民国家体系の成立後、主として19世紀後半から20世紀半ばの時代を対象に、西欧世界と東アジアで展開した近代外交の特徴とその変容について講義する。その主な目的は当時の外交政策を形成する主体がどのような政治勢力であり、また外交指導者を含めそれらの外交政策形成の主体がどのような外交認識をもち、さらにその時代の国際環境がどのような影響を与えたかを理解することにある。

講義の内容・
授業スケジュール

- おおよそ次のテーマを取り上げ、各テーマにつきほぼ2週分の授業を割り当てる予定。
1. 近代外交の成立と西欧国家体系の特徴
近代におけるアジアの国際体系の特徴
 2. ドイツ帝国の成立とビスマルク外交の展開
フランス（1880年代～1900年代）外交の展開
 3. イギリスの外交政策の変遷（1860年代～1910年代）と大英帝国の植民地政策の展開
 4. 近代日本の大陸政策の形成と展開および日英同盟、日露協定の形成と更新
 5. 日米外交関係の課題（1910年代）
 6. アメリカ外交の伝統的特質と変容（1910年代まで）
 7. 第1次大戦期のアメリカ外交と講和会議
 8. 1920年代の独仏関係の変化、ワイマール共和制の憲法と政治過程
 9. ワシントン体制の形成と日米関係、1920年代日本の外交政策の特徴
 10. 1930年代の日本の大陸政策の形成と展開
 11. 1930年代のイギリスの外交政策
 12. 日本の南進政策と東南アジア軍政の展開および講和条約、戦争賠償交渉の経緯

履修上の留意点

受講者数によるが、小規模であれば外交文書等原典のコピーも適宜活用したい。

成績評価の方法

課題レポートや定期試験による。

教 科 書

特に固定的な使用はしない。

参 考 書 等

池井優『日本外交史概説』、慶応通信、1992年、3,914円。

そ の 他

講義形式で行うが、少なくとも3～4回はビデオを併用する予定。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
国 際 政 治 学	こほりのおりお 小堀訓男	政治2・3・4必 政治2・3・4選	4

講義のねらい

国際社会に展開する政治現象を、政治学的アプローチで論じ、国際政治の本質を理解することが、本講義のねらいである。

前期の講義は、国際政治とは、いかなるものか、分かり易く概説する。具体的には、国家、権力、民族、階級、国際政治における権力と道義、国内政治と国際政治等をテーマに“国際政治の本質”について考察する。つぎに、より理解を深めるために、“国際政治の基調”と題して、国際政治が展開し、現在に至るまでの、各時代の国際政治の基調を、歴史的に概観する。

後期では、“国際政治の問題”と題して、冷戦後の国際政治、ナショナリズム、地域的安全保障、エネルギーと環境問題、国連の使命と限界、地域統合と国家の役割の変化等の、国際政治学が取り組むべき課題を、理論的かつ実証的に解明しながら、受講生と共に考えたい。

履修上の留意点

講義のテーマ、内容については予告する。受講生は、必ず予習をして、講義に出ること。基本的な知識については、共通の理解を徹底したいので、全員で討論しながら授業をすすめたい。よって、積極的な参加を求める。

成績評価の方法

1年間に数回程度、授業中に30分のショートテストを実施する。これは講義の理解の程度を知るためであるが、このテストの評価を30%とし、定期試験を70%の評価とする。

教 科 書

必要に応じて講義のなかで紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
政 治 社 会 学	かみ じょう すえ お夫 上 條 末 夫	政治2・3・4必 政治2・3・4選	4

講義のねらい

近代政治学の中核をなす行動論政治学は、政治社会学、政治心理学および政治文化論から構成される。本講義は、そのうちの政治社会学であるが、当然、心理学および文化論的側面をも考慮し、その他の分化学としての過程論、行動論、政策論などの基礎をなす総合科学的性格をもっている。

政治社会学をきわめて簡潔に定義すれば、社会学的手法によって政治過程を実証的に分析し、デモクラシーの充実と発展に寄与することをめざす学問であるといえることができるであろう。しかし、この分析学は、その対象領域が広範にわたること、方法論が多様であることなどによって、幾多の研究パターンが生じている。

本講義は、日本政治に焦点を設定し、適度に国際比較を交えながら、戦後日本の社会的諸条件を独立変数ないし与件として、政治生活の体系的理解を促進することを意図するものとする。

講義の内容・
授業スケジュール

1. 国際環境と日本政治との相互関係（4月～5月）
 - ① 国際権力構造と日本政治
 - ② 国際経済環境と日本政治
 - ③ 国際社会構造と日本政治
 - ④ 国際文化環境と日本政治
2. 日本の政治文化の特質と政治的影響（6月～7月）
 - ① 日本の地理的・風土的条件と農耕文化
 - ② 西欧と日本の支配階級と権力構造の相違
 - ③ 封建制と鎖国による文化の集中と分散
 - ④ 天皇制と官僚制による権威主義の形成
3. 戦後日本の政治過程の特徴（9月～10月）
 - ① 日本的デモクラシーの形成過程
 - ② ビューロクラシーの実態と社会的背景
 - ③ 派閥政治の政治力学と心理学
 - ④ 国会議員の社会的構成と権力構造
 - ⑤ 経済発展および都市化の政治的影響
4. 政党と政治参加（11月）
 - ① 政党支持の構造
 - ② 政党システムと政党のアウトプット機能
 - ③ シルバー・デモクラシーとウーマン・パワー
 - ④ ガバナビリティの低下とアパシー
5. 経済成長とメディアクラシー（12月～1月）
 - ① 「第4権力」の形成とメディアの政治的機能
 - ② 高度経済成長と政治的社会化
 - ③ 圧力政治と大衆運動の社会的背景

履修上の留意点

教科書通りの授業ではないので、教科書はあらかじめ読んでおくこと。

成績評価の方法

定期試験のほか、レポート、小テストなどの成績を含めて評価する。

教科書

上條末夫『政治社会学概論』（北樹出版、2,700円）

参考書等

その都度指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
政 治 思 想 史	こ ばやし まさ とし 小 林 正 敏	政治2・3・4必 政治2・3・4選	4

講義のねらい

古代から現代に至る東洋の社会と西洋の社会の特質を比較し、なぜ「西洋」において多様な政治学説の発生を見るにいたったかという視点を重視する。また思想家の政治観の根底にある人間観、歴史観のもつ意味も併せて考察したい。

講義の内容・授業スケジュール

プラトン・アリストテレスから現代に至る政治思想史、政治学説史について、思想家を中心に、その時代的背景にもふれながら論述する。前期はほぼN. マキヤベリあたりまで、後期はJ. ボーダン以後になると思われる。

成績評価の方法

学年末試験の成績を中心に評価する。

教科書

特定のテキストは用いない。

参考書等

参考書、原典等は、講義の必要に応じて紹介していきたい。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
マス・コミュニケーション論	あい だ とし ひこ 相 田 敏 彦	政治2・3・4必 政治2・3・4選	4

講義のねらい

マス・コミュニケーションの機能、影響について、広い視野から検討する。

講義の内容・授業スケジュール

- (1) 報道の「客観性」
テレビニュースの「カメラはウソをつかない」かどうか、報道対象と報道内容、「現実」と記号との区別如何。
- (2) マスメディアと民主主義
両者の関連にかかわる理論の検討
- (3) 意識培養分析
テレビが人びとの心に植えつける（「培養」する）「シンボリック現実」、そして「主観的現実」とは何か。
- (4) 意味構築の理論
メディアによる、また、視聴者・読者による意味付与、意味解釈とは何か。
- (5) ヤコブソンのコミュニケーション・モデル
コミュニケーションとは単純に記号による一つの意味の受け渡しだろうか。通常、あまり意識されずに、いくつかの次元で意味の読みとりがなされている。ヤコブソンのモデルは、この問題を系統だてて考えるのに役立つ。
- (6) フェミニズムとメディア
メディアに関するフェミニズムの視点を検討する。

履修上の留意点

マスコミについて授業をききながら、自ら積極的に考える姿勢を強く望みたい。

成績評価の方法

前期：レポート
後期：試験

教科書

カラン・グレヴィッチ（編著）『マスメディアと社会』勁草書房

参考書等

リップマン『世論』（主として上巻）岩波書店
田嶋馬郎・児島和人（編著）『マス・コミュニケーション効果研究の展開』北樹出版

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
ヨーロッパ政治史	うら た さ なえ 浦 田 早 苗	政治2・3・4必 政治2・3・4選	4

講義のねらい

現代西ヨーロッパの政治は、そこから多くのことを学んできた我々の先達が描いたほど理想的な状態で機能しているわけではなく、数々の矛盾にみちている。自由、平等の精神なり、『華やかにし議会政治』の概念は、激動の現代政治のなかにあっては時として空虚な響きを投げかけてくることは否定できない。しかし、国家や政党、国民や民族といった西洋で生まれた近代政治の概念に再検討が迫られている今ほど、そうした概念の本質を成立した歴史過程のなかで考察することの重要性が問われたときはなかった。本講義では、近代ヨーロッパの歴史全般を概説しながら、ヨーロッパが抱える問題の本質を明らかにすること及び、現代政治を誤りなく把握する上で必要な基礎概念を検討することに視点がおかれている。

講義の内容・
授業スケジュール

- ・近代の始点—ルネサンス期と18世紀
- ・英国革命とIRA
- ・ジャコバイトと英国王室
- ・議院内閣制の成立変遷過程
- ・英国における政治腐敗防止過程
- ・フランス革命と国家の概念
- ・フランス政治におけるジャコバン主義
- ・「後発国型近代化」の問題点—ドイツの場合—
- ・統合ヨーロッパの源流

成績評価の方法

前期レポート—7～8×400字—は任意ではあるが、年5～6回とる出席点とともに学年末試験に加算する。試験はあらかじめ指示した5問から2題出題する。(ノートの持ち込みは不可)

教 科 書

特に教科書は指定しないが、さらに詳細な研究を望む学生には適宜参考書を推薦する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
行政法各論	うめ き たかし 梅 木 崇	政治2・3・4必 政治2・3・4選	4

講義のねらい

行政法各論とは、行政作用を典型的に分類して、その各分野を解説するものである。従来から「警察法」「経済統制法」「公企業規制法」「公用負担法」「給付行政法」などに分けられ、それぞれを概説的に講義してきた。しかし、本講義においては、このような形式はとらない。なぜならば、従来から「各論」とされてきた内容はそれぞれが独立した分野を形成しているからである。経済法、環境法、秩序維持法、防衛法、国際行政法、等々である。そのすべてを講ずることは、能力的にも時間的にも無理である。

そこで、本講では、行政法総論でとりあげられた概念の具体的な説明を目的とする。行政作用を、権力的行政、給付行政、その他の行政と、いわば便宜的に分け、体系的な精密性は追わない。それよりも、学生諸君と行政法との関係、すなわち何故、学生諸君が行政法を履修するのかということ考えた結果、公務員試験の受験を重視し、それも、端的にその出題形式からみて、択一式の問題の対策にあるとした。そこで、この便宜的な分類を頭におきながら、行政法の内容を説明したい。

成績評価の方法

科目の性格上、少数の履修者が予定されるので、相当綿密な指導ができると思う。従来から、全員参加の課題研究形式を採用している。したがって、出席を重視する。

教 科 書

開講にあたって指示する。

そ の 他

知識の有無よりも熱心さを期待する。

科目名	担当者名	配当学年	単位
地方自治法	梅木 崇 <small>うめ き たかし</small>	政治2・3・4必 政治2・3・4選	4

講義のねらい

地方自治法は、相当におおきな法律であり、その内容も多岐にわたっている。そして行政法を解説する具体例を豊富に提供している。また、われわれの日常生活に関係する部分がおおい。その意味で親しみやすい法律であるといえることができる。

講義の内容・
授業スケジュール

講義では、行政法の具体的説明というかたちをとる。行政法総論では必ずしも理解がいきどいたとはいえない点について、地方自治法を素材としながら解説するということである。同時に、法律の性格上、改正がきわめて多い点を考慮し、その沿革的な側面、地方行政そのものの内容についても言及しなければならないと思う。

地方自治法の内容が、とくに地方公務員試験で問われることが多い。とくに択一式の問題で、相当に細かい点まで素材にしている。この点を考慮して、これまで出題された問題を検討することにも力点をおきたい。

教科書

現在のところ、こちらで推薦する教科書はない。近時、法律の改正があったためである。これまでは、こちらでレジメを用意している。適当な教科書が出版された場合にはそれを用いる。その際には指示する。

科目名	担当者名	配当学年	単位
国際関係論	藤素子 <small>しゅ とう もと こ</small>	政治2・3・4必 政治2・3・4選	4

講義のねらい

現代の国際関係が抱える課題について、知識と理解を深めることを目的とする。

講義の内容・
授業スケジュール

次のような項目をほぼ3週分の授業を割当てながら進める予定。

1. 国際政治理論の展開
国際政治の冷戦後の新たな視座
2. 冷戦後の Globalism と大地域主義の生成
APECと覇権なき大地域主義? の課題
EU, OSCEと冷戦後の欧州の国際関係
3. 地域紛争と安全保障の課題
国連の安全保障分野の機能
地域紛争と地域組織の機能
4. 国連の開発戦略と南北格差の問題
近代化理論の変遷と従属論の影響
国際的融資機関の機能と問題
5. 1970年代以降の経済の Globalization
政策協調と国際交渉の多様化
Global Governance の課題
6. 国際政治と人権保障の制度化
人権保障の法的枠組の展開と課題
人権と人権 NGOと国際社会
7. 経済発展と途上国の政治体制
権威主義的政治体制と民主化の課題
経済的相互依存と informal sector
8. 地球環境と国際関係の課題
地球環境問題の現状と政策的対応
「発展の権利」と「持続可能な開発」
人口問題の現状と課題

成績評価の方法

定期試験および課題提出物により評価する。

教科書

とくに毎時間使用するというわけではないが、複数の文献を最初の授業で指示する。また、講義の内容ごとに参考文献等を指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
議 会 関 係 法	まえ だ ひで あき 前 田 英 昭	政 治 2・3・4 必 政 治 2・3・4 選	4

講義のねらい

議会政治を取り巻く枠組みとしての法状況を取り上げ、議会政治の理解を深めることを目的として行われる。「立法過程論」と隔年講義である。

講義の内容・
授業スケジュール

憲法第4章（国会）、国会法、議院規則、議院における証人の宣誓及び証言等に関する法律、国会議員の歳費、旅費及び手当等に関する法律、国会における各会派に対する立法事務費の交付に関する法律、公職選挙法、政治資金規正法、政党助成法、政党交付金の交付を受ける政党等に対する法人格の付与に関する法律などを対象として、それぞれの法律の主要な事項と問題点を中心にして、順次説明する。

憲法における選挙の基本原則、選挙制度（小選挙区制、大選挙区制、比例代表制）、選挙法の歴史的変遷、政治資金の規正、政党助成、憲法における国会運営の基本原則、政党法、選挙犯罪、議員立法、国会テレビ、その他（順不同）。

参 考 書 等

前田英昭「憲法Ⅰ（統治機構）」（高文堂出版社）
同 「エピソードで綴る国会の100年」（原書房）
同 「政治腐敗防止法を考える」（信山社）
同 「選挙法・政治資金法の手引」加除式（ぎょうせい）
松沢浩一「議会法」（ぎょうせい）
浅野一郎「国会事典」（有斐閣）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
比 較 政 治 学	み たけ なお や 三 竹 直 哉	政 治 2・3・4 必 政 治 2・3・4 選	4

講義のねらい

国民国家の変容、民族紛争などに関わる諸問題を扱います。本年は、事例として、オランダ語とフランス語の言語集団間の対立で知られるベルギーを詳しく取り上げる予定です。

講義の内容・
授業スケジュール

開講時に配布する授業案内（シラバス）を参照してください。授業案内は、オフィスアワーに研究室に取りに来ていただいても構いません。なお、最初の授業は、授業案内を配布し、その内容についての質疑応答のみを行います。

履修上の留意点

答案の返却と講評を行う予定のため、定期試験は、授業時間内に行う予定なので注意してください。

成績評価の方法

期末試験、発言点、小テスト、任意レポートの合計点によります。詳しくは授業案内を参照してください。

教 科 書

開講時に指定します。

参 考 書 等

開講時に指示します。

そ の 他

受講人数にもよりますが、対話・討論形式を多く取り入れる予定です。また、ビデオを多用します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
国 際 行 政 学	ふく だ こう じ 福 田 耕 治	政 治 2・3・4 必 政 治 2・3・4 選	4

講義のねらい

国際化時代において行政機能の拡大傾向は顕著である。国家行政の国際化とともに国際組織の行政が国家行政に大きな影響を与え、国内行政と国際行政の相互浸透が起こりつつある。そこで、その体系的な理解が不可欠となってきている。本講義では学部レベルでわが国最初の国際行政学の講座として、国際行政の理論と実際について、UN・EU・WTOその他多くの国際組織の具体例をあげながら国際行政学の全体像とその問題点を体系的に分かりやすく解説する。国際公務員やODA関係機関の職員、国家公務員や地方公務員の国際課等の志望者、外交官や貿易関係・商社等を目指す諸君、国際開発系大学院もしくは国際公共政策系の独立大学院志望者にも役立つ内容となろう。

講義の内容・授業スケジュール

a) 国際行政学の対象と方法及び学説史, b) 国際行政の歴史と理論, c) 国際組織の構造と機能, d) 国際行政組織と各国行政組織との関係, 調整過程, e) 国際組織における人事行政と国際公務員制度, f) 国際組織の予算構造, 財源調達制度, 財務行政と財務統制, g) 国際公共政策過程と政策科学, h) 国際協力行政と国境を越える政府間関係論, i) 国際行政統制論, 国際行政情報論, 国際オンブズマン制度論, j) 国際統治論, 国際組織の行財政改革論などを取り上げる。

履修上の留意点

「行政学」を既に履修済みか同時に履修することが望ましい。また政治学、国際組織論や国際政治学、国際関係論の基礎知識も必要となろう。

成績評価の方法

定期試験、およびレポートもしくは小テストを行うことがある。

教 科 書

講義の中で紹介する。

参 考 書 等

参考文献等は適宜紹介する。

そ の 他

講義の際に、年間講義計画とレジュメや資料等をプリントして順次配布するので各自ファイルして学習に役立ててもらいたい。またビデオやOHPなどの視聴覚教材も利用し、受講者数なども考慮して可能であれば、討論、パネル・ディスカッションなどの方式も取り入れてみたい。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
国 際 組 織 論	あお い ち ゆ き 青 井 千 由 紀	政 治 2・3・4 必 政 治 2・3・4 選	4

講義のねらい

本講義は国際組織の構造と機能、発展の歴史、また国際組織の諸活動を支える理念に関する基本的な理解を促すことを目的とする。また、国際組織分析に役立つ基本的な政治学理論も概観する。国際組織の存続の目的と果たすべき役割について議論する機会を与える。

講義の内容・
授業スケジュール

前半は国際組織の発達過程と国連並びに地域機構の構造について説明する。後半は国際組織の活動、機能について説明する。おおよそ以下の順序で論じる。

- 1 序章：国際組織の捉え方－現実主義／制度主義／グローバルガバナンス
- 2 国際組織発展の歴史－主権／機能主義／法的規制
- 3 国際組織の構造－世界主義と地域主義／主権と超国家主義
- 4 非政府組織と市民－国連との関わりと独自の役割
- 5 国際組織の諸機能と理念－集団安全保障／平和維持／開発／人権と人道／情報研究
- 6 まとめ：課題と今後

履修上の留意点

独自の判断に基づき参考文献を読むことが望まれる。

成績評価の方法

論述試験（学期末）

教 科 書

開講時に指定する。

参 考 書 等

開講時、また各テーマごとに指定する。

そ の 他

講義形式。各時間の終りに質問、討議の時間を設ける。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
情 報 社 会 論	かみ じょう すえ お夫 上 條 末 夫	政治2・3・4 必 政治2・3・4 選	4

講義のねらい

科学技術の進歩にともなって、情報伝達媒体としてのメディアが発達し、その巨大化は多種多様な情報を大量にかつ同時に伝達している。またメディア自体の多様化によってマルチメディア時代を招来している。こうした情報化社会においては、社会のあらゆる分野において情報の役割がますます増大し、情報の選択と処理が決定的重要性をもっている。

殊にマス・メディアによって形成される擬似環境は、政治意識を規定する重要な要因の一つとなっている。情報と政治とのかかわりを分析し、それに如何に対応するかを探るのが本講義のねらいである。

講義の内容・
授業スケジュール

1. 情報化社会（4月～5月）
 - ① 情報と人間の対応
 - ② メディアの発達と情報の大量化
 - ③ 情報量と受容キャパシティ
 - ④ マルチメディア化と情報の選択
 - ⑤ 情報処理能力の必要性
2. 政治的社会化と情報（6月）
 - ① 学習における情報の機能
 - ② パーソナル・コミュニケーションの機能
 - ③ マス・コミュニケーションの機能
 - ④ 回避本能とディスプレイ
3. 擬似環境とステレオタイプ（7月）
 - ① 擬似環境の形成過程
 - ② 権威主義的パーソナリティとマス・メディア
 - ③ 世論の形成とマス・メディア
 - ④ オピニオン・リーダーの役割
4. 政治的コミュニケーションと情報（10月）
 - ① 政治情報と受容の実態
 - ② 知識量と政治行動との相関
 - ③ 群衆心理と情報操作の効果
 - ④ 情報の拡大化と歪曲化
5. 広報活動と政治宣伝（11月）
 - ① 政府の広報活動と説得
 - ② 政党の宣伝と支持の獲得
 - ③ 政治家と政治指導
 - ④ 国家の広報活動と国際的コミュニケーション
6. 政治報道とその影響（12月～1月）
 - ① マス・メディアの権力的性格
 - ② 画一的報道と選択の自由
 - ③ 選挙報道の問題点
 - ④ 知る権利と知らせる責務

成績評価の方法

定期試験の成績およびレポートなどによって評価する。

教 科 書

富田信男・岡沢憲英編『情報とデモクラシー』（学陽書房，1,800円）

参 考 書 等

その都度指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
投 票 行 動 論	かみ じょう すえ お夫 上 條 末 夫	政 治 2・3・4 必 政 治 2・3・4 選	4

講義のねらい

民主政治は参加政治といわれるが、その制度的政治参加の典型としての選挙は、決定的な重要性をもっている。そのため、現代の政治学においては最も重視されている研究課題である。その選挙を投票行動に焦点をおいて分析し、政治参加のあり方を検討するのが本講義のねらいである。

講義の内容・
授業スケジュール

1. 選挙制度（4月～5月）
 - ① 選挙制度の歴史
 - ② 選挙制度の理論
 - ③ 選挙制度の国際比較
 - ④ 選挙制度と政権形態
 - ⑤ 選挙制度と政党システム
2. 投票制度（6月）
 - ① 単記投票と連記投票
 - ② 1票制と2票制
 - ③ 住所要件と海外在住者
 - ④ 選挙区と投票価値
3. 投票意思の決定（7月）
 - ① 意思決定の時期と習慣的投票
 - ② 意思決定の類型
 - ③ 意思決定の基準
4. 政党志向と候補者志向（9月～10月）
 - ① 政党支持の類型
 - ② 投票政党の変更と交差投票
 - ③ 集票組織と個人重視
 - ④ 候補者イメージと投票基準
 - ⑤ 政策争点と政策投票
5. 選挙運動と投票の解釈（11月）
 - ① 選挙運動の効果
 - ② マス・メディアと投票行動
 - ③ 小選挙区と比例代表との関係
 - ④ 棄権の選挙におよぼす影響
6. 選挙結果の評価（12月～1月）
 - ① 権力構成と政権のあり方
 - ② 政治・政党・代表の評価
 - ③ 政治システムにおける選挙
 - ④ 国民の政治的責任

履修上の留意点

多少とも数学的素養と統計学の知識を必要とする。

成績評価の方法

定期試験と出席点によって評価する。

教 科 書

三宅一郎『投票行動』（東京大学出版会，1,957円）

参 考 書 等

堀江・富田・上條編著『政治心理学』（北樹出版，2,300円）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
政 治 過 程 論	はや かわ よし き 早 川 純 貴	政治 2・3・4 必 政治 2・3・4 選	4

講義のねらい

現代の複雑な政治を自分なりに整理し、体系的にとらえるにはどうしたらよいだろう。そのためにもまず必要なのは、政治の諸局面を構成するいくつかの要素に注目し、それらの機能/目的あるいは相互作用の過程を観察・分析できること、そして政治過程のダイナミクスをいくつかのモデルに系統立て、単純化していくことである。本講義ではさまざまな観察・分析方法とモデルの応用を通じて現代政治の理解を試みる。

講義の内容・授業スケジュール

【前 期】

- 1) 「権力」「影響力」の概念
行動論政治学/動態モデルとしての政治過程論/パワーエリート論と多元主義論
- 2) 政 党
機能/組織/政党政治の終焉?
- 3) 官 僚
官僚と官僚機構: 行政と政策立案/官僚主義: 逆機能/福祉国家: 予算政治と官僚
- 4) 利益集団
「利益」の概念/「利益」の組織化/ネオ・コーポラティズム
- 5) 多元主義と「市場」
経済学と政治/ポリアーキー/多元主義論の限界

【後 期】

- 1) 政策決定過程: 特に前決定過程について
アジェンダ・セッティング/非決定形成/ゴミ缶モデル: キングダム・モデル
- 2) 意思形成の諸局面Ⅰ: 分析モデル
多重観察法/新制度論: 国家論の再評価/心理学的アプローチ
- 3) 意思形成の諸局面Ⅱ: インシュー・アプローチの検討
R. ダールの限界/政策類型論/官僚政治モデル(政府内決定モデル): 外交政策
- 4) 日本の政治過程Ⅰ: パワーエリート論
基底レベルと政治アリーナ/戦前戦後連続説: 官僚優位論/三角同盟論
- 5) 日本の政治過程Ⅱ: 多元主義論
大獄・山口論争/村松モデルと断絶説/議会の優位

履修上の留意点

本講義は政治学科の専門科目であり、専ら「理論」の講義である。政治学の専門知識を有していなければ理解は困難である。そのため受講生は最低限「政治学原論」(ないしそれに該当するもの)を履修していることが望ましい。

成績評価の方法

中間試験および定期試験の結果により評価。

教 科 書

使用しない。

参 考 書 等

講義の中で随時紹介。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
外 交 政 策 論	こ ぼり のり お 小 堀 訓 男	政 治 2・3・4 必 政 治 2・3・4 選	4

講義のねらい

国家の外交政策が、いかなる過程で、決定されるのかを、理解することが本講のねらいである。国家の外交政策を研究するとき、二つの側面から、考える必要がある。第一の側面は、政策決定をおこなうシステムを考えるべきである。政策決定のシステムと決定の過程は、国家によって大きく異なる。本講では、日本と米国の決定のシステムを分析・比較しながら、両国の決定過程を考察する。第二の側面として、取りあげなくてはならないのは、いかなる国家にも普遍的に認められる、本質論である。つまり、政策決定者と国民との関係である。政策決定者の身勝手さと、それに不満をもちながらも、許してしまう国民の許容範囲との関係には、どのような原則があるのだろうか。本講では、国家の枠組のなかに成立する、階級意識と民族意識（または、国家の一員としての国民意識）との関係から、国家の意思決定の原則を考察する。

履修上の留意点

政治学の基礎知識を整理しておくこと。殊に、国家、民族、階級についての予備知識を必要とする。講義を聞いたら質問をして欲しい。正確な理解のためには、質問をし、討論することが大切であると思っている。

成績評価の方法

成績の評価基準や答案作成上の注意は、定期試験直前の授業で説明する。

教科書

特に使用しない。

参考書等

必要に応じて講義のなかで紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
社 会 学 原 理	わた なべ もと き 渡 辺 源 樹	政 治 2・3・4 選	4

講義のねらい

社会学の主要な対象である社会的人間、集団、組織を柱に据え、加えて社会変動の問題を加味させた社会意識論を配置し、その各々を構成する主要な問題を講述する。そのためのものとして社会学の概念や理論を用いて、身近な社会現象をとらえ、社会的な理解や認識を深めさせたい。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
財 政 学	さと なか つね し 里 中 恆 志	政治2・3・4必 政治2・3・4選	4

講義のねらい

経済生活の中で公共部門の占める比重は確実に増加しつつある。財政学は公共財政経済を対象とする学問であるが、そこでは市場経済原理とは異なる原理が作用する。国民が財政意志の形成に参加する方法は民主主義の手続きをとおしてであるから、有効な財政政策の実現のためには、国民が財政をコントロールするルールと、その背後に作用し合う諸力について理解していなければならない。また財政政策に対する基礎的な判断基準をもっていなければならない。このような観点から財政意志の形成過程、租税徴収による負担の配分、歳出の効率と合理性、財政の総管理政策について講ずる。

講義の進め方はまず財政意志の形成過程では予算の編成手続きの理解から入る。それから歳入面については租税収入を主要税種別に扱い、つぎに歳出面について主要経費別の考察を進める。さらに財政の総需要管理政策としてのフィスカル・ポリシーを論ずる。

講義の内容・ 授業スケジュール

- (第1週) 講義内容の紹介と年間授業計画の説明
- (第2週) 公共財と公共部門
- (第3週) 財政の歴史概略
- (第4週) 予算編成と主計局査定
- (第5週) 予算編成と政党政治
- (第6週) 予算政府案と議会審議
- (第7週) 予算の執行と競争入札
- (第8週) 会計検査, 決算
- (第9週) 予算の政治過程
- (第10週) 租税原則学説
- (第11週) 給与所得税と普遍性
- (第12週) 申告所得税と累進課税
- (第13週) 法人税と徴税技術
- (第14週) 国際化と移転価格税制
- (第15週) 一般消費税
- (第16週) 地方財政制度
- (第17週) 地方税と地方歳出
- (第18週) 機関費と純粋公共財
- (第19週) 公共事業費と公共財政の形成
- (第20週) 社会保障関係費と所得再分配
- (第21週) 補助金とスピルオーバー
- (第22週) 国債費と公債負担
- (第23週) フィスカルポリシー
- (第24週) 乗数理論
- (第25週) 均衡予算定理
- (第26週) 国債による財源調達
- (第27週) 国債の限界
- (第28週) 財政投融资
- (第29週) 試験と評価についての説明
- (第30週) 試 験

授業の配当曜日によって年度授業回数に若干の異動があり、予定どおりの時間数が組めないことがある。その場合は一部予定を割愛することがある。

履修上の留意点

法学部には「経済原論」及び「経済政策」の講義が設けられている。「財政学」は経済と政治の学際的な分野の科目であるから、こうした関連科目を履修することが望ましい。他学部履修の制度も活用が望まれる。

成績評価の方法

成績評価は学期末テストとして行われる試験による。試験は論述式による。自筆のノート持ち込み可。

教科書

里中恆志・八巻節夫編著『新財政学』文眞堂 ¥3,200

参考書等

野口悠紀雄著『公共政策』モダン・エコノミックス12, 岩波書店 ¥2,000
中谷巖著『入門マクロ経済学』日本評論社 ¥3,300

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
国 際 経 済 学	とく なが とし あき 徳 永 俊 明	政 治 2・3・4 必 政 治 2・3・4 選	4

講義のねらい

学問への出発点は「私はどこにいるのか?」という問いがあります。実際、私たちはアマゾンの密林で生活しているわけではありませんし、江戸時代の農村に生きているわけでもありません。では「どこ」にいるのでしょうか。

「世界の中にいる」と言っても、「日本にいる」と言ってみても、これらは答えにはなりません。どのような世界なのか、どのような日本にいるのか—少なくともこれをつかまなければ先の問いに対する答えにはなりません。今日の世界社会、今日の日本社会の〈内容〉を理解しなければなりません。

ところで、世界経済は、今日、世界社会・日本社会の〈土台〉をなしているものです。世界経済という〈土台〉なしには、世界社会も日本社会も成り立ちません。世界と日本を理解するカギは世界経済を理解することにあります。この講義では、このような位置にある世界経済の〈基本構造〉の解明をめざします。ただし、私の力量からして、“社会主義”経済に十分言及することはできません。資本主義世界経済に限定して検討します。

この講義のキーワードは〈階級的支配関係〉と〈民族的支配関係〉です。世界経済は、資本主義という社会の誕生とともに成立し始め、資本主義社会の〈土台〉として、またその〈産物〉として推移してきました。資本主義社会は、言うまでもなく、〈階級的支配関係〉を命綱としていますが、同時に、世界の諸民族の間の〈民族的支配関係〉をもう一つの命綱としていることが重要な特徴です。これら二つの支配・従属の関係は資本主義社会のいわば2本柱をなすものです。そして、〈民族的支配関係〉こそ世界経済の〈基本構造〉として機能してきたのです。

そこで、この講義では、この〈民族的支配関係〉の問題を座標軸にして世界経済の基礎的な理論と歴史、現状そして展望を検討したいと思います。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、世界経済の歴史を跡づけ、今日の世界経済の歴史的段階を確認します。

後期は、歴史的知識を念頭において、今日=第2次世界大戦後の世界経済の〈基本構造〉を形づくっている主な柱を一つずつ検討します。

〈国際化〉の問題がいよいよ重大になっているいま、多くの諸君が主体的な受講を期待します。
〈講義テーマ(予定)〉

前期—世界経済の歴史的推移

- (1) 〈講義の趣旨〉および〈講義テーマ〉の説明
- (2) 資本の本源的蓄積と重商主義植民地体制
- (3) 産業革命と自由貿易植民地体制
- (4) 帝国主義と帝国主義植民地体制
- (5) 第1次世界大戦と世界経済
- (6) 戦間期の世界経済

後期—今日の世界経済

- (1) 第2次世界大戦と世界経済
- (2) 「アメリカ中心体制」
- (3) 新植民主義と世界経済
 - ・貿易 ・国際通貨制度 ・資本輸出—(「援助」と多国籍企業)
 - ・〈南北問題〉と新国際経済秩序
- (4) 世界経済の現段階
- (5) 日本経済と世界経済
- (6) われわれの選択

〈講義の方法〉 参考書は下記のとおりですが、教場では毎回資料をプリントして配布し、それを説明するという形で講義をすすめます。

成績評価の方法

成績は世界経済の基本事項—世界経済の“枝葉”ではなく、“幹”の理解度をミニレポート(3回予定)および学年末レポートで評価します。(追・再試験は行ないません。)

参 考 書 等

徳永俊明『世界経済と第三世界』(大月書店) ¥1,800

そ の 他

私の研究室は第2研究館4階、電話は直通03-3418-9353です。気軽に立ち寄って下さい。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
経 済 原 論	あさの 浅野 かつみ 克巳	政治2・3・4選	4

講義のねらい

現実の経済の動きを念頭におきながら、現代経済学の基礎理論を解説する。なお、公務員試験（その他の国家試験）の受験対策としても役立つよう必要に応じ問題練習も行うので、下記の問題集も用意されたい。

講義の内容・授業スケジュール

- I マクロ経済学の理論
 - 1. 経済循環と国民所得の概念
 - 2. 国民所得の決定
 - 3. 経済の変動と成長
 - 4. 賃金・物価・インフレーション
- II ミクロ経済学の理論
 - 1. 消費者行動の理論
 - 2. 企業行動の理論
 - 3. 市場と価格決定
 - 4. 市場・企業・産業
- III 公共政策
- IV 国際経済学

履修上の留意点

現代経済学の勉強で不可欠なことは、現実の経済問題に関心をもつことである。とくに『日本経済新聞』には毎日必ず目をとおり、必要な記事はスクラップブックに整理しておくこと、授業だけでなく将来の就職試験などにも大いに役立つであろう。

成績評価の方法

成績は筆記試験とレポートによって行う。

教科書

浅野・荒木・浅田『エコノミックス』（成蹊堂）1995年。

参考書等

上記テキストの巻末には、各章ごとに必要な参考書が一括して掲げられているので参照されるとよい。

その他

〔問題集〕 青山『経済原論の頻出問題』（実務教育出版）1995年

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
日 本 法 制 史	おおくほ はる お 大久保 治 男	政 治 2・3・4 選	4

講義のねらい

法律文化の変遷の流れを上古時代より近代まで概説する。刑事法制、財産法制、家族法制（女性史や婚姻史）の各分野の歴史を幅広くふれ、さらに、わたくし達の意識や習俗や言語等に残っている慣制史的な事柄にまで展開する。また、現行の刑法や民法等の実定法との対比も常に行ない、その異同も視点に入れる。

講義の内容・授業スケジュール

前期は上古より近代までの刑事法制の変遷を各時代背景や各法源も含め、多くの具体的事例を紹介しつつ、また現行刑法との比較法制も行ないつつ講義を行なう。

後期はまず、婚姻史について、上古より近代までその流れの特色を追っていく。群婚、妻間婚、婿取婚、嫁取婚、寄合婚、平等婚等を概説し、女性の地位や家族関係の変化等背景まで探究する。

後期の後半は、財産法、特に物権法的には土地制度の変遷、更に、各時代の契約や債権関係の特色あるもの等にも講述を展開していきたい。

また、今日迄残っている、社会慣行や行事ことばや諺等もその根でさかのぼってつながっている社会規範的、法的連続性についてもやさしく解説し、受講生への関心を起させることに努める。

授業方法はその他で述べるような視聴覚教材をフルに使用して、具体的に楽しい雰囲気でも多くの史料を使用して学生への理解を早める方法をとっている。

履修上の留意点

楽しい法制史にして学生の学習・研究意欲を起させるように工夫されている、「温故知新」であり世は「歴史ブーム」、テレビや映画の時代考証にも役立ち、多くの話題を提供する一味異なるユニークな法制史にしていきたい。歴史の好きな学生は法的側面よりスポットを当てて、日本法制史を気楽に聴講し、学習意欲を向上させて、楽しい雰囲気の中に法制史的、時代考証に強くなっていく。

成績評価の方法

年に一回の期末テストを行うが、持ち込みはノート、教科書等OKである。但し、授業をよく聴いていないと答えられないように出題に工夫がなされている。法制史的淵源のある言葉等毎時間講義する中からよく出る。答案の裏面には必ず学生さんの意見や感想を書いてもらって講義に対するフィード・バックを毎年行って、自己点検・評価等も加えて次年度の講義に役立てることとしている。

教科書

大久保治男著「日本法制史」高文堂出版社 ¥2,650

参考書等

大久保治男著「江戸の犯罪と刑罰」高文堂出版社 ¥1,100
石井良助博士著「江戸慢筆」

その他

講義の方法は、毎時間の様に史料や写真をOHPや書画TVカメラで写し出し、又、関連のビデオを編集して写し、学生の理解を容易にし、興味をわかせるように工夫して行う。歴史クイズやディベート等も行ない、たまには、法制史の大久保ゼミの学生達とシンポジウムも行なう。史跡調査（史跡探訪）や海外旅行等の報告もある。

科目名	担当者名	配当学年	単位
西洋法制史	きたの 北野かほる	政治2・3・4選	4

講義のねらい

イギリスの法制度の歴史を、社会の法的構造と国家統治機構のかかわりを軸に解説する。イギリスの法制度の歴史を、特に注目される法的現象を挙げながら、各時代毎の法制度の全般的特徴と、基本的社会・政治構造との関連について考察する。

講義の内容・
授業スケジュール

- 第1部 総論
 - 第1章 法制史学概説
 - 第1節 法制史学の方法と対象
 - 第2節 法制史学の目的と効用
 - 第3節 イングランド法制史学の対象と方法
 - 第2章 イギリス歴史学の基本的知識
 - 第1節 時間的範囲
 - 第2節 空間的範囲
- 第2部 イングランド法制史
 - 第1章 古代
 - 第1節 歴史過程
 - 第2節 社会構造
 - 第3節 法構造
 - 第2章 中世 (1066-1350)
 - 第1節 歴史過程
 - 第2節 社会構造Ⅰ 中世ヨーロッパの封建制
 - 第3節 社会構造Ⅱ イングランドの封建制
 - 第4節 統治構造 封建制の解体
 - 第3章 近世 (1350-1650)
 - 第1節 歴史過程
 - 第2節 社会構造
 - 第3節 統治構造
 - 第4節 法構造

履修上の留意点

講義中私語・騒音は厳しく規制する。予め十分留意すること。

成績評価の方法

論文式筆記試験（後期試験期間・年1回）

教科書

特に指定しない。

参考書等

年度当初に指示する。

科目名	担当者名	配当学年	単位
経済政策	もり 森岡 じん 仁	政治2・3・4選	4

講義のねらい

経済学の実践部門としての経済政策が自由主義経済に成立した過程と、そこではたす役割を明らかにする。人口高齢化や少子化の経済的帰結にも言及し、最後に高齢化社会における経済政策と人口政策の関係を論ずる。

講義の内容・
授業スケジュール

- I 現代経済と経済政策 II 経済政策学の発展 III 現代経済政策の課題
- IV 経済の成長政策 V 経済の安定政策 VI 産業組織政策 VII 社会均衡化政策
- VIII 経済政策と人口政策

履修上の留意点

日常生活に生起する経済問題に日頃から関心を抱き、自分達の身の回りにある経済問題の解決手段として経済政策を考え、学ぶことが大切である。

成績評価の方法

学年末の定期試験、授業の出席状況

教科書

森岡他著『現代経済政策』千倉書房、1975年

その他

授業の方法：講義

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
比 較 憲 法	たけ はな みつ のり 竹 花 光 範	政 治 2・3・4 選	4

講義のねらい

比較憲法が、一つの学問領域を構成しているかどうかについては議論があるといわなくてはならない。それは、むしろ、科学としての憲法学を確立するための「方法」であると考えべきではないかと思う。そこで、本講義では、なぜ、「科学としての憲法学」にとって、比較憲法的な考察が重要であるのかについて理解を得ることに重点をおきたい。

講義の内容・
授業スケジュール

講義は以下の順序で進める予定である。

- ① 比較憲法とは
 - ② 憲法の概念と分類
 - ③ 国体と元首（共和制と君主制，元首，国のシンボル等）
 - ④ 統治の原理と構造（民主政治の基本原則，議院内閣制と大統領制，一院制と二院制，社会主義国の統治機構等）
- もちろん②以下については、いずれも比較憲法的な考察を加えるのであるが、場合によっては、そのような考察を通じて「通説のウソ」を指摘することもあるものと思う。

履修上の留意点

本講義は、各国憲法の個別解説的な内容ではない。そのような講義は、例えばアメリカ憲法論であり、ドイツ憲法論であって、比較憲法ではないということについて留意してほしい。

成績評価の方法

成績の評価は、論述型のペーパーテストによって行う。前もって数題提示し、その中から出題することになるものと思う。

教 科 書

教科書は用いないが、章、節により、準教科書的な文献を示すことはある。

参 考 書 等

必要に応じて講義の中で紹介する。

そ の 他

講義の理解度を高めるために、できれば世界の主要国の憲法が集録された憲法集を用意していただきたい。もっともハンディなものとして、宮沢俊義編『世界憲法集』（岩波文庫）を紹介しておく。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
民 法 (総則・物権法)	はやし 林 こうじ 幸 司	政治2・3・4選	4

講義のねらい

1. 民法の総則と物権法の分野につき、受講生に「基礎的な理解」が身につくよう目指すこと。
2. 簡単な事例を通して「受講生の日常生活と民法がいかにかかわっているか」を理解してもらうこと。

講義の内容・
授業スケジュール

民法は、我々の日常生活において「個人と個人の間を生じる権利や義務」を定める法律であるが、これを二つに分けると①経済生活（主に取引）にかかわる財産上の権利義務を定める『財産法』と②家族生活にかかわる夫婦・親子など身分上（および相続）の権利・義務を定める『家族法』に分かれる。このうちの『財産法』をさらに分けると、①『総則』（財産法全般に「共通する事項」がまとめられている）と②『物権法』（所有権など「物に対する権利」を規定する）及び③『債権法』（借金の返済を求める権利など「特定人に対する権利」を規定する）の三分野に分かれる。本講義ではこのうち、①総則と②物権法を解説する。

履修上の留意点

受講に際しての注意（『私語の厳禁』）。あまりにも当然過ぎて、ここで触れることすら情けないのだが、大学生にもなって、講義中の私語が許されると思っている者がいるようである。強く注意して、やっと静かになるというのが現状であるが、不思議にも、本人に全く反省の色がなかったり、何か悪いことをしたのか（又は「なぜ俺だけが」）と言わんばかりに睨み返してくるということもある。このテの者には、その場で『登録抹消』を通告するという強い態度で臨むので覚悟してもらいたい。

成績評価の方法

後期試験による評価が中心となるが、講義後に回収する質問や意見などにも受講生の理解度や積極的な姿勢が現れていることが多い。これらに対しても若干のプラス評価を行うつもりである。

教 科 書

甲斐・乾・椿 編『新民法概説(1)総則・物権』（有斐閣）1,957円
①意義・要件・効果を中心に整理を心掛けている点、②判例・通説の立場からコンパクトにまとまっており、「通読」しやすい点などを理由に採用した。

そ の 他

- (授業の方法)
- 1: 板書中心の講義であること。私独自の観点からポイントを整理するため板書中心の講義を行い、途中で適宜、教科書の該当箇所を指示・解説するという方法を採用。その際、かなり多くの図や表を必要とするが、それも主に板書によってカバーする。
 - 2: 意義・要件・効果の整理に重点をおくこと。私も学生の頃は、ただ闇雲に教科書に書いてあることをダラダラと覚えようとしたものである。しかし、それは、山の中を、地図も磁石盤もなく、ただ地面を見て石ころを数えている姿に似ていると感じ、むなしい気持ちに苛まれる結果となった。本講義で整理の中心に位置付ける「意義・要件・効果」は、講義中、諸君が立っている位置を知るための『座標軸』だと思ってほしい。そのことの意味はとてここでは書き切れない。詳しくは、講義で聴いていただきたい。
 - 3: 簡単な「事例」を素材とすること。事例集をプリントして配布し、意義・要件・効果と結び付けて解説する。具体的な事例を想定しての理解以外に、真に納得のいく理解はないと信ずるからである。受講生諸君がめざす各種資格試験にも役立つよう留意していきたい。
 - 4: 受講生からの質問を講義に反映するよう努力すること。毎回講義前に用紙を全員に配布し、質問・意見・感想・要望などを書いてもらい、その中で、「これは!」と思うものを次回の講義に反映することを心掛けるつもりである（質問への解答が中心となる）。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
英 米 法	きたの 北野かほる	政治2・3・4選	4

講義のねらい

近現代法治国家の主要法系のひとつである英米法系について、日本法を含む大陸法系と比較しての基本的特徴を概観し、その主要な理由をなすと考えられる、法形成における裁判の意味について、司法機構と判例法を中心に考察する。

講義の内容・
授業スケジュール

- 第1編 概論
 - 第1章 法系論
 - 第1節 西洋近代法の法系
 - 第2節 英米法系の特徴
 - 第2章 英米法の特徴
 - 第1節 法内容の歴史性
 - 第2節 法観念の社会性
 - 第3節 法思考の実務性
 - 第3章 判例法の理論
 - 第1節 総論：「判例法主義」
 - 第2節 先例拘束性の原理
 - 第3節 判決における「法」
 - 第4節 法形成作用
- 第2編 司法制度
 - 第1章 裁判所制度
 - 第1節 イギリス
 - 第2節 アメリカ合衆国
 - 第2章 訴訟過程
 - 第1節 英米訴訟制度の特徴
 - 第2節 陪審

履修上の留意点

講義中の私語・騒音は厳しく規制する。予め十分留意すること。

成績評価の方法

論文式筆記試験（後期試験期間・年1回）

教科書

特に指定しない。

参考書等

主要参考書：望月礼二郎『英米法（改訂第二版）』
（書林書院 現代法律学全集55 ￥5,150）
その他の参考書：年度当初に指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
会 社 法	あら き まき たか 荒 木 正 孝	政 治 2・3・4 選	4

講義のねらい

この講義では、商法総則（法例、商人、商業登記、商号、商業帳簿、商業使用人、代理商）および会社法（総則、合名会社、合資会社、有限会社、株式会社）の基本的な事項について説明する。

商法は、民法を一般法とする特別法であるから、商法を学ぶ際には、その基礎となる民法総則、物権法、債権総論などの知識があると一層理解しやすいと思うが、講義の内容を理解するために必要な範囲で民法（財産法）の規定や考え方にも触れるつもりなので、財産法を履修していなくても差し支えない。ただ、民間企業を目指す学生諸君は、商法に関心を抱くかどうかは別にしても、やはり財産法を学んでおいた方が将来の役に立つことでしょう。

講義の内容・
授業スケジュール

講義のやり方としては、限られた授業時間をできるだけ有効に使いたいと思うので、最も議論の多い会社法に多くの時間を割き、会社法を理解するために必要な限りにおいて商法総則に触れることにしたい。また、会社法のなかでも現代社会において、国民の経済生活に計り知れない影響を及ぼしている株式会社について、その生成、機能、構造、消滅などの私法的側面を規整する株式会社法に重点を置き、重要問題を中心に法規、学説、判例および実務の取り扱いなどを検討し、会社法の基本原理を理解できるようにする。

教 科 書

荒木正孝著『現代企業法』（商法総則・会社法）第2版（成文堂）

参 考 書 等

奥島・中島編『商法演習Ⅰ（会社法）第2版』（成文堂）
 鴻・竹内・江頭編『会社判例百選』（第5版）（有斐閣）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
労 働 法	ふじもと しげる 藤 本 茂	政治2・3・4選	4

講義のねらい

労働法とは、一般的には、労働保護法と労使関係法領域からなる。労働保護法は、労働者個人と使用者との労働契約関係を規整する法領域。労働保護法は、資本主義の形成発展と共に、年少者、女性に課された苛酷な労働の実際を背景に労働条件や労働環境を改善すべく、形成され、労働者一般に拡大され確立された。労使関係法は、労働組合と使用者（団体）との関係を規整する法領域をいう。また、労働組合の内部問題も対象とする。労使関係法は、第二次大戦にかけて、生成・発展してきた。わが国は、大正デモクラシー期にその必要が議論され、占領期にうまれた。わが国労使関係法は、アメリカの法制度の影響を強く受けている。

こうして生まれたわが国労働法も半世紀を迎え、一方で労使関係に日常的に定着し必要なものとなっているが、他方で法を支える状況は常に変っている。労働法も状況の変化と共に繰り返し、様々な領域でその意義、意味内容の再検討を行い、ブラッシュアップをはかっていかなくてはならない。今日、労働法は、大きな節目を迎えている。男女雇用機会均等法、労働時間法の改正、労働契約法の模索、紛争処理法の再検討など労働保護法の分野が多いが、労働環境の大きな変化がこのような分野の法制に再検討をうながしているといえよう。又、法改正のような大きな変化ではないが、構築されてきた法理の再検討もまた行われている。

この授業では、必要に応じてこのような状況にも触れながら、基本事項を取上げて話をしていきます。受講する君たちが将来、会社との間で労働関係を形成することを念頭において、そこで接することになるであろう事項を採りあげ、検討していく予定です。単に、講学上の知識を得ることを目的にした授業とはしないつもりです。より実用的な解決策あるいは問題処理に当たって思考していくのに必要な基礎知識を修得することを目的とします。

講義の内容・授業スケジュール

労働保護法から入り労使関係法に進む。主に、労働者の定義、雇用平等、募集採用、採用内定、就業規則、解雇、賃金、労働時間、労働組合、団体交渉、労働協約、労使紛争。

履修上の留意点

労働関係を法の観点から眺めていくので、『六法』は、必要である。それも、新しくかつ『施行規則』が掲載されているものがよい。是非とも、新しいのを買って、受講して下さい。

成績評価の方法

成績評価は、試験と授業出席が基本であると考えます。

教科書

特に教科書は指定しません。しかし、勉強していくのに、手掛かりになる本は必要であると思います。参考書をいくつか掲げますので、それを参考に教科書を決めてください。

- ◎ 菅野和夫著「労働法」弘文堂
- ◎ 青木宗也・金子征史著「労働関係法」日本評論社
- ◎ 蓼沼他編「労働法の争点」別冊ジュリスト
- ◎ 萩澤編「労働判例百選」別冊ジュリスト

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
経 済 法	おかだとしひろ 岡 田 外 司 博	政治2・3・4選	4

講義のねらい

独占禁止法は、資本主義社会において公正かつ自由な競争を確保することを通じて、市場メカニズムの機能を発揮させる役割を持つ重要な法律として最近注目を集めている。本講義は、この独占禁止法に関する学説と実務について、一通りの基本的知識を獲得することを当面の目標としている。また、受講者が実際に企業実務に携わる立場になった時に、独占禁止法上の問題を発見し、対応できるような能力を本講義によって得ることを期待している。

講義の内容・授業スケジュール

授業のスケジュールについては別途予定表を配布する（前半と後半を分けて配布するつもり）ので、おおむねそれに従って授業を進める。ただし、場合によっては途中で変更することもありうる。

履修上の留意点

予定表に従って予め教科書の該当部分をよく読んで上で講義に出席することが望ましい。

成績評価の方法

試験による。

教科書

厚谷襄児『独占禁止法入門』（日本経済新聞社）750円

参考書等

授業時に随時参照する資料として、『独占禁法審決』・判例百選（第四版）』（有斐閣）2,400円を指定する。その他の参考文献としては、例えば次のものがある。
 松下満雄『経済法概説（第2版）』（東京大学出版会）
 実方謙二『独占禁止法（新版）』（有斐閣）
 川越憲治『全訂独占禁止法－競争社会のフェアネス』（金融財政事情研究会）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
時 事 英 語	あおいちゆき 青 井 千 由 紀	政治2・3・4選	4

講義のねらい

国際政治学、国際組織を学ぶ、あるいは実務に入るために欠かせない実践的な英語の理解力を身につける。専門用語、表現を重視し、理解力を養う。ジャーナリズム、学術書、国連文書の三種類のスタイルに親しむ。特に読解、作文に重点をおくこととする。

講義の内容・授業スケジュール

予習に基づく読解を中心とするが、新しく学んだ表現、専門用語を駆使した言いたいことを表現する練習をするために、和文英訳の練習も行う。文書の意味を総合的に短時間で把握する訓練として、簡単な要約も練習する。

履修上の留意点

予習が重要。英語の文法を知っていることが前提。国際組織、国際時事問題に興味があることが望ましい。

成績評価の方法

期末テスト。

教科書

適宜教材指定。

参考書等

適宜指定。

その他

質疑応答形式。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
外書講読Ⅰ（英書）	み たけ なお や 三 竹 直 哉	政 治 3 選	4
外書講読Ⅱ（英書）		政 治 4 選	

講義のねらい

比較政治学関連の専門的文献を読みます。

講義の内容・
授業スケジュール

開講時に配布する授業案内（シラバス）を参照してください。授業案内は、オフィスアワーに研究室に取りに来ていただいても構いません。なお、最初の授業は、授業案内を配布し、その内容についての質疑応答のみを行います。

履修上の留意点

ゼミ生は必ずとることになっていますが、ゼミ生でない方の参加も歓迎です。ただし、ある程度専門的な文献を読む準備が必要です。

成績評価の方法

平常点によります。必要と思われる場合には、個別にテストを行うことがあります。

教 科 書

開講時に指定します。

参 考 書 等

開講時に指示します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
外書講読Ⅰ（英書）	まえ た ひで あき 前 田 英 昭	政 治 3 選	4
外書講読Ⅱ（英書）		政 治 4 選	

講義のねらい

英語の原書または論文による議会政治に関する文献を取り上げ、議会政治に関する多様な考え方を理解し、我が国議会政治を考える上での参考にする。

講義の内容・
授業スケジュール

今年度は、英語による戦後日本の国会改革に関する論文を読み、それを素材にして、国会の仕組みを考え、国会の現状について自由な意見交換をする。最初のうちは、やさしい英語であっても、1回に数行しか読めないかもしれないが、慣れるにつれて読む速度は次第に速くなる。ゼミ形式で行うので、常時出席できて、かつ議会政治に関心を持ち、「開かれた国会」実現を望む学生の参加を期待する。

使用する文献は事前にコピーして配付する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
外書講読Ⅰ（英書）	あい だ とし ひこ 相 田 敏 彦	政 治 3 選	4
外書講読Ⅱ（英書）		政 治 4 選	

講義のねらい

英文で書かれたマスコミに関する分析，理論に関する読解力を向上させること。

講義の内容・
授業スケジュール

はじめ数回は，英字の新聞・雑誌などで腕ならし・イントロダクションとしたい。
ついで，多方面にわたるマスコミ理論，メディア分析のなかから，読みやすさ，理解しやすさに留意して教材を提示する。
教材は適宜コピーを配布する。
マスコミ自体はいかにも身近な対象だが，常識的理解を打ち破る，深く鋭い分析が少なくない。
マスコミに関し，考え，分析することの楽しさが多少とも理解される場としたい。

履修上の留意点

英語が好き，あるいは比較的得意な人であればよく，「マス・コミュニケーション論」の授業をとっている，いないとは関係なく，内容を理解できるようにしたい。

成績評価の方法

ふだん点による。
試験，レポート等はない。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
外書講読Ⅰ（独書）	はや かわ よし き 早 川 純 貴	政 治 3 選	4
外書講読Ⅱ（独書）		政 治 4 選	

講義のねらい

現代政治に関するドイツ語文献を読むことで，ドイツの現実政治をより深く理解し，あわせてドイツ語の読解能力を高める。

講義の内容・
授業スケジュール

96年度はドイツ社会民主党SPDが89年に採択した基本綱領いわゆる「ベルリン綱領」を講読する。ベルリン綱領は現在，世界の先進諸国における主要政党の基本綱領のなかでは最も進んだ綱領といわれる。それではこの綱領は他の政党のそれとどこが違うのか。そして社会民主主義の新しい理念はどのように表現されているのか。このような問題を講読を通じて考えていきたい。

履修上の留意点

受講生はドイツ語の新聞・雑誌を十分理解できるレベルであること。
毎回出席し，予習（日本語訳）を欠かさないこと。

成績評価の方法

試験は行わないで平常点で評価する。

教 科 書

講読開始前に「SPD基本綱領」のコピーを配布。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
外書講読Ⅰ（仏書）	あら き まさ たか 荒 木 正 孝	政 治 3 選	4
外書講読Ⅱ（仏書）		政 治 4 選	

講義のねらい

わが国の法制度は、その多くが欧米諸国の影響を強く受け、またはそれらに倣って作られたものであるから、母法国における法制度の内容や法的思考等を学ぶことは、わが国の諸制度を理解するうえで重要な意味がある。この授業では、原書の読解によってフランス法の仕組みやその文化的・社会的背景などについて理解を深めてゆく。

履修上の留意点

受講者は、毎回十分に下調べをして出席するように希望します。

教 科 書

受講者と相談して決める。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
外書講読Ⅰ（中国書）	こう りん ひて もと 江 林 英 基	政 治 3 選	4

講義のねらい

現在の中国は経済の改革、開放政策をとっており、これを実現するため、1982年に四回目の新憲法を制定・施行し、その後二回にわたる改正を行った。その他の法律もこの憲法に基づき、“雨後春筍”のようにつぎつぎ公布された。“一衣帯水”の鄰国である中国を認識することが必要である以上、その法制から着手しなければならないのである。

講義の内容・
授業スケジュール

この授業は中国憲法 138条の条文に書かれている中国の内政と外交方針、国民の基本権利と義務、人民代表大会の権限、人民政府の組織など主な内容とする。

履修上の留意点

授業の進度は一週間5ページ程度である。学生諸君に朗読させ、法律用語、条文の構造（文型）を説明しながら立法理由と現在状況を論評する。

成績評価の方法

出席率、学習態度、レポートなどを判断基準として総合的に評価する。

教 科 書

「中国憲法」（江 英居著・大学書林・¥3,500）。

参 考 書 等

「中華人民共和国法律滙編」（北京人民出版社）。

そ の 他

学生への要望：授業中私語禁止。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
外書講読Ⅰ（スペイン書）	うえ の かつ ひろ 上 野 勝 広	政治 3 選	4
外書講読Ⅱ（スペイン書）		政治 4 選	

講義のねらい

下記のテキストの講読を通して、スペイン語の読解力の向上を図るとともに、スペインの近現代政治史への理解を深めたい。

履修上の留意点

受講者は必ず予習をして授業に臨むことが要求される。

成績評価の方法

出席を含む平常点および年間4回の試験の結果により総合的に評価する。

教 科 書

Juan M, Benavides : *Ojeada a la España Actual* (Hakusuisha)

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
演 習	おか た と し ひろ 岡 田 外 司 博	政治 3・4 選	4

講義のねらい

独占禁止法についての理解を深めるために、独占禁止法の分野において実務上重要と思われる公取委の審決（審判審決が中心となる）、及び判例を様々な角度から分析し、理論上及び実務上の問題点を探究し、解決策を共に議論する（結論は出ないこともありうる）作業が中心となる。このような基礎的な研究を行うとともに、可能であれば、公取委の審判の見学や、官僚・弁護士・企業実務家等の話を聞くことによって、独禁法についての見聞を広める機会を持つようにしたいと考えている。

履修上の留意点

事前に予習の上で演習にのぞみ、扱われた審決・判例についてとにかく自分の意見を述べ、積極的に議論をまきおこすことを期待する（饒舌をよしとする）。もとより、自分に割り当てられた審決・判例についてはきちんと報告することが前提である。

成績評価の方法

出席及び平常点によって評価する。

教 科 書

審決・判例のコピーはこちらで配布する。

参 考 書 等

参考文献としては、次のものがある。
『独禁法審決・判例百選（第四版）』（有斐閣）
『教材独占禁止法（第五版）』（青林書院）

そ の 他

報告と討論によって行う。

日本語・日本事情科目

日本語・日本事情科目 (対象：外国人留学生・海外帰国子女)

「日本語科目」

日本語Ⅰ	(佐野典子)	1
日本語Ⅰ	(多田羅哲子)	1
日本語Ⅱ	(佐野典子)	2
日本語Ⅱ	(多田羅哲子)	2
日本語Ⅲ	(多田羅哲子)	3
日本語Ⅲ	(湯村礼子)	3
日本語Ⅳ	(石川守)	4
日本語Ⅳ	(湯村礼子)	4
日本語Ⅴ	(石川守)	5
日本語Ⅴ	(多田羅哲子)	5
日本語Ⅵ	(石川守)	6
日本語Ⅵ	(多田羅哲子)	6

「日本事情科目」

日本事情Ⅰ〔地理〕	(前期)	(茭口善美)	7
日本事情Ⅱ〔自然〕	(後期)	(清水善和)	7
日本事情Ⅲ〔歴史〕	(後期)	(宮本由紀子)	8
日本事情Ⅳ〔思想〕	(前期)	(赤羽由規子)	8
日本事情Ⅴ〔社会〕	(後期)	(金丸由雄)	9
日本事情Ⅵ〔政治・法律〕	(前期)	(大久保治男)	9
日本事情Ⅶ〔文学〕	(前期)	(木村晟)	10
日本事情Ⅷ〔文化・芸術〕	(後期)	(赤羽由規子)	10
日本事情Ⅸ〔経済〕	(後期)	(曾我信孝)	11
日本事情Ⅹ〔経営〕	(前期)	(北村健之助)	12

日 本 語 科 目

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日 本 語 I	佐 野 典 子 <small>さ の のり こ</small>	全学科・短国・短英	2

講義のねらい

聴解能力の向上を目的とするクラスである。

講義の内容・
授業スケジュール

時事問題についてのビデオを見、同時にそのビデオの音声テープを聴きながら内容を把握する。さらに把握した内容を文字化する。

履修上の留意点

日本語Ⅱとともに履修することが望ましい。

成績評価の方法

試験、提出物、出席状況、授業への集中度、参加度等により、総合的に評価する。

教 科 書

単語表、内容把握問題を毎週配布する。ビデオ、テープ類の貸し出し、ダビング等はいっさい行わない。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日 本 語 I	多 田 羅 哲 子 <small>た た ら あき こ</small>	全学科・短国・短英	2

講義のねらい

日本語の知識を強化する。(前半)
文系教科の概論、入門書等から抜粋した例文、および語彙集を通して、常用漢字の読み書き、語彙、その意味や使い方、文法事項、表現等を復習・練習し、専門教科への橋渡しとする。

講義の内容・
授業スケジュール

- 常用漢字の音訓をマスターする。
- 学生生活に必要なと思われる語句の基本的、派生的意味・使い方を知る。
- 助詞、機能語、慣用的表現、文法事項等の復習をする。

履修上の留意点

小テストは毎回80%をクリアするまで受け直すこと。

成績評価の方法

平常点と試験の成績で評価する。

参 考 書 等

プリント教材を使う。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
日 本 語 II	佐 野 典 子	全学科・短国・短英	2

講義のねらい	読解能力の向上を目的とするクラスである。
講義の内容・授業スケジュール	日本語の生の教材つまり新聞、総合雑誌、文学作品等を、輪読形式で読み進め、同時に問題点について討議を行う。
履修上の留意点	日本語 I とともに履修することが望ましい。
成績評価の方法	試験（毎週行う漢字試験、適宜行う内容把握試験）、提出物、出席状況、授業中の態度等を考慮し、総合的に評価する。
教科書	教材は、毎週担当者がコピーし、配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
日 本 語 II	多 田 羅 哲 子	全学科・短国・短英	2

講義のねらい	日本語の知識を強化する。(後半) 文系教科の概論、入門書等から抜粋した例文、および語彙集を通して、常用漢字の読み書き、語彙の様々な意味・使い方、文法、表現等を復習・練習し、専門教科への橋渡しとする。
講義の内容・授業スケジュール	<ul style="list-style-type: none"> ◦ 常用漢字の音訓をマスターする。 ◦ 学生生活に必要と思われる語句の基本的、派生的意味・使い方を知る。 ◦ 助詞、機能語、慣用的表現、文法事項等の復習をする。
履修上の留意点	小テストは毎回80%をクリアするまで受け直すこと。
成績評価の方法	平常点と試験の成績で評価する。
参考書等	プリント教材を使う。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日 本 語 Ⅲ	た た ら あ き こ 多 田 羅 哲 子	全学科・短国・短英	2

講義のねらい

- 口頭表現を中心に、日本語の運用能力を養う。
- 発音・イントネーション等自分の日本語を自的に見直す習慣をつける。
- 話し言葉と書き言葉の違いに気づく。

講義の内容・
授業スケジュール

- 当番が準備をしてスピーチをし、その内容について質疑応答、意見交換、討論等を行う。
- そのあと、質問・意見・感想・アドバイスなどをスピーチ担当者あてに書く。
- スピーチ担当者は、それぞれに返事を書く。また自分のスピーチをテープで聞いたあと、その内容を文章に書き、朗読してテープに録音したものを提出する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日 本 語 Ⅲ	ゆ む ら れ い こ 湯 村 礼 子	全学科・短国・短英	2

講義のねらい

- これまでに習得してきた日本語能力をさらに強化し、文献を読む、レポートを書く、発表をするなど、大学生活に必要な読解力、作文力、発表力の養成をめざす。
- 読解材料として、新聞、雑誌、文学作品、専門書などから、教材を選び使用する。そして、教材を通し、考え、自分の意見を発表したり、討論を行なったりする。
- 授業中の発言を重視するので、当然、授業には毎時間の出席を原則とする。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日 本 語 IV	いし <small>かわ</small> 石 川 <small>まもる</small> 守	全学科・短国・短英	2

講義のねらい

日本語の「会話文型」を中心に、より高度な日本語の日常会話の表現について分析する。

講義の内容・
授業スケジュール

講義は I C J (intermediate) の会話部分を用い、そこに出現する会話文型、会話特有の文型、アクセント等について分析をしながら進める。

履修上の留意点

講義は教師が一方的に講義するというのではなく、常に学生に質問をしながら進めるため、自分の意見をはっきりもってもらいたい。また、本講義は、日常会話の文型や文法的要素を分析するもので、実際の会話をしたり、会話練習をするものではない。

成績評価の方法

成績評価は、筆記試験と平常点（出席、授業への参加度）の二つで評価する。

教 科 書

コピーを配布する。

参 考 書 等

特になし

そ の 他

授業は講義形式ではなく、常に教師から学生に質問をする形で行っていく。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日 本 語 IV	ゆ <small>むら</small> 湯 村 <small>れい</small> 礼 子	全学科・短国・短英	2

講義のねらい

日本語Ⅲに続くもので、さらに日本語能力を高めることをめざす。
学生が主体性もち学習し、それぞれの専門分野の学習を辞書を十分に使いこなし、自学自習できるような読解力、作文力を養う。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日 本 語 V	いし かわ まもる 石 川 守	全学科・短国・短英	2

講義のねらい

日本語の「基礎文法」についてより深く理解するために詳しく分析し、そこに潜む日本語文法の特徴を考え、ひいては話し、聞き、書き、読む際により正確に深く日本語が理解できるようになることを目指したい。したがって、基礎的な文法に特に自信のない学生に受講してもらいたい。

講義の内容・授業スケジュール

講義は、テキスト「日本語基礎文法」を使って、そこに出てくる項目を中心に、ともに考え分析しながら進めていきたい。始めは、初級レベルから始め、時間が許せば中級レベルのものも分析してみたい。

履修上の留意点

扱う学習項目は主に初級文法であるが、文法的な問題は基本的なものほど難しく、また深く掘り下げて分析して行くので、内容は単なる初級であると考えないでもらいたい。

成績評価の方法

成績評価は、筆記試験と平常点（出席、授業への参加度）の二つで評価する。

教 科 書

教材は、授業中にプリントを配布する。

参 考 書 等

特になし

そ の 他

授業は講義形式ではなく、常に教師から学生に質問をする形で行っていく。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日 本 語 V	た た ら あき こ 多 田 羅 哲 子	全学科・短国・短英	2

講義のねらい

作文演習

レポート・論文等を正しく適切な表現を用いてわかり易く書くための基本的な練習をする。

講義の内容・授業スケジュール

- 。「は」と「が」などの助詞、接続語、指示語、自他動詞の使い分け、ねじれ文、接続のおかしな文、長すぎる一文など留学生の作文に多く見られ問題箇所について、文作りを通して練習する。
- 。話し言葉と書き言葉の使い分け、事実と意見の述べ方、要約・引用の仕方、表・グラフの説明等の作文技術を身につける。
- 。単文作りから複文作りへ、小段落作りから全体の構成を考えた文章作りまで、書く作業を通して練習する。

成績評価の方法

平常点（提出物）＋試験の成績

教 科 書

プリント配布

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日 本 語 VI	いし かわ 石 川 守	全学科・短国・短英	2

講義のねらい

日本語の中・上級のさまざまな文型の用法を分析して、理解するばかりでなく、会話や作文で使えるようにしていきたい。

講義の内容・授業スケジュール

講義の進め方は、テキスト「日本語中上級文型」を使って、そこに出てくる文型や、文法事項、語彙、表現、アクセントの問題などをともに分析して進めていきたい。

履修上の留意点

授業は一方的な講義の形ではなく、教師の側が、学生に質問をしながら進めて行く。教師から教えてもらうのではなく、自分で考え、自分で準備し、積極的に参加するようにしてもらいたい。

成績評価の方法

成績評価は、筆記試験と平常点（出席、授業への参加度）の二つで評価する。

教 科 書

教材は、授業中にプリントを配布する。

参 考 書 等

特になし

そ の 他

授業は講義形式ではなく、常に教師から学生に質問をする形で行っていく。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日 本 語 VI	た た ら あ き こ 多 田 羅 哲 子	全学科・短国・短英	2

講義のねらい

- ・ニュース関連番組や新聞記事等を通して、様々な表現を学びながら、くせのある話し方や速いスピードの話聞くことに慣れる。
- ・今、話題になっていることについて日本語で説明したり自分の考えを述べたりする力を養う。

そ の 他

ビデオ・テープレコーダー、新聞等を用いる。

日本事情科目

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本事情Ⅰ 〔地理〕(前期)	こも ぐち よし み 菱 口 善 美	全学科・短国・短英	2

講義のねらい

本講義では、わが国の一般的「地理学」を学習することによって、留学生の日本理解を推進させることを目的とする。

講義の内容・
授業スケジュール

講義は、日本の文化地理学的課題、すなわち、(1)文化、(2)文化景観、(3)文化史(誌)、(4)文化生態について概観し、次に日本の村落及び都市の発達、経済活動の空間的配置とその発達をもたらす資源利用と管理、環境保全など世界的に共通する諸問題について議論する。各国からの留学生の日本語理解の程度を考慮して、「日本語」を主としながらも「英語」での解説を加える。

履修上の留意点

受講生は予め配布したプリント類を精読すること。

成績評価の方法

期末テストによって評価する。

教科書

教科書は用いないが、各種プリントを配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本事情Ⅱ 〔自然〕(後期)	し みず よし かず 清 水 善 和	全学科・短国・短英	2

講義のねらい

日本はアジア大陸の東端に位置する島国であり、亜寒帯の北海道から温帯の本州を通り、亜熱帯の沖縄まで約3,000kmの細長い国土を有している。また、国土の67%は山地であり、複雑な海岸線とあいまって多様な地形を形成している。また、日本は複数のプレートの境界域に当たり、世界でも有数の火山・地震地帯となっている。このような多様な環境を反映して、日本には独特の動物・植物が多数生息・生育している。

本講義では日本の自然を気候、地形・地質、生物の3分野に分けて解説する。その際に次の3つの視点に留意する：(1)アジアの自然の中での日本の位置づけ、(2)現在の状態と過去の歴史とのつながり、(3)自然と日本の文化との関係。すなわち、できるだけ時間的、空間的に広い視野から日本の自然をとらえることによって、留学生の母国の自然とのつながりも確認できるようにしたい。また、講義の最後には日本の自然破壊の歴史とその保護の在り方についても言及する。

成績評価の方法

レポート(2, 3回)と出席回数に基づいて評価する。

教科書

特定の教科書はなし、参考書は適宜紹介する。

その他

毎回配付する補助教材のプリントを用いて講義する。適宜スライドによる事例紹介を行なう。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日 本 事 情 Ⅲ 〔 歴 史 〕 (後 期)	みやもと ゆきこ 宮 本 由 紀 子	全学科・短国・短英	2

講義のねらい

日本の歴史を学ぶことで日本民族の持つ民族性を理解する手掛りとしたい。

講義の内容・
授業スケジュール

特に江戸時代に至る過程を講義し、鎖国制度の完成までを目安にする。

履修上の留意点

板書を中心とし、わかり安く楽しい講義をこころがけるので、ノートを取り、理解できないところは質問するなどして疑問を残さないようにすること。

成績評価の方法

出席日数を評価の参考とし、レポートで成績の評価とする。

教 科 書

なし

参 考 書 等

なし

そ の 他

講義のみ

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日 本 事 情 Ⅳ 〔 思 想 〕 (前 期)	あかば ゆきこ 赤 羽 由 規 子	全学科・短国・短英	2

講義のねらい

日本人が古くから伝承してきた民俗音楽の中に、日本人の精神世界を見ていく。
民俗音楽とは、古来、人々が生きていく上で、衣食住と同じように必要としてきた音楽で、それは、例えば信仰、祭り、作業、遊びなどに伴う形で存在している。ほとんどは作者不詳であり、楽譜もなく、普通の人々の間で口頭伝承されていく性質のものである。テープやビデオを用いて、実際に音楽を視聴しながら講義を進めていきたい。

履修上の留意点

第一回目にオリエンテーションを行うので必ず出席すること。

成績評価の方法

出席数、筆記試験によって採点する。

参 考 書 等

その都度知らせる。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本事情Ⅴ 〔社会〕(後期)	かな まる よし お 金 丸 由 雄	全学科・短国・短英	2

講義のねらい

聴講者の生まれ育って来た社会と、現代日本の社会とを、各々の体験をもとに比較検討してみたい。

成績評価の方法

成績は平常点と、レポートの評価により決める。

参考書等

参考文献はその都度指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本事情Ⅵ 〔政治・法律〕(前期)	おお く ほ はる お 大久保 治 男	全学科・短国・短英	2

講義のねらい

留学生が対象であるので、まず日本の法の変遷の大きな流れを理解してもらい、その背景にある社会の状況や人々の生活をやさしく述べてみたい。日本政治史の教官と隔年のローテーションであるので、本年は主に法的側面より日本事情を講ずる。

講義の内容・
授業スケジュール

半年の回数であるので、まず8世紀頃から19世紀頃迄の日本の犯罪や刑罰の刑事法制史の話し、後年は、土地制度や契約や結婚や家族の民事法制史を講ずるが、毎時間のように書画TVで史料や絵さらにビデオ等を写しながら視覚にも訴え理解を深め楽しい雰囲気です授業を進めていきたい。

履修上の留意点

授業に出ることが楽しくなり、自然と日本の法の歴史がわかっていくことうけあいであるので、まじめに出席はすること。

成績評価の方法

平常点と簡単なレポートを書いてもらう程度である。

教科書

特に指定しません。レジメやコピーをくばります。

参考書等

大久保治男著「江戸の犯罪と刑罰」高文堂出版社 ¥1,100

その他

ビデオ、書画TVカメラ、ゼミで自作したビデオ等も多く使用。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日 本 事 情 VII 〔文 学〕（前期）	きむら あきら 木 村 晟	全学科・短国・短英	2

講義のねらい

外国人留学生のために、特に日本の文化・文学・演劇などについて、その特徴をわかりやすく講義する。それぞれの留学生には自国（母国）の文化・文学・演劇などと比較させ、日本の文化・文学・演劇などに興味をもたせるよう努める。

講義の内容・授業スケジュール

前期（半年）だけの授業であるので、4月と5月には、日本の文化、特に文学と演劇について、豊富に用例（具体例）を示しながら解説する。6月と7月にはそれぞれの留学生がもつ興味を調査し、それに基づいて実際に調査・見学などもさせて、それを交替で研究発表させ、討議もして、必要な助言を与える。質疑応答も十分に行なうつもりである。

履修上の留意点

欠席をせず、よく読書もし、興味をもって研究してほしい。

成績評価の方法

平常点によって評価する。具体的には発表させたり、調査研究の資料も提出させて評価の対象とする。出席点を加味する。

教科書

特になし。

参考書等

授業中に紹介する。

その他

授業の方法——講義形式をとるほか、研究発表、質疑応答、討議なども必要に応じて行なう。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日 本 事 情 VIII 〔文化・芸術〕（後期）	あか ば ゆきこ 赤 羽 由 規 子	全学科・短国・短英	2

講義のねらい

いわゆる「伝統邦楽」といわれている、日本の古くからの和楽器による音楽や芝居の中に、日本人の義意識を探っていく。
また、日本の伝統音楽は、そもそもアジア諸国の音楽を学ぶことから始まり、そこから次第に日本人に合った独特のものを生み出していったのであり、更に明治以後には西洋音楽からも多くの触発を受け、戦後には「現代邦楽」を目差している。そのような過程をも合わせて見て行きたい。テープやビデオを用いて、わかりやすく講義を進めていく。

履修上の留意点

第一回目にオリエンテーションを行うので必ず出席すること。

成績評価の方法

出席数、筆記試験によって採点する。

参考書等

その都度知らせる。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日 本 事 情 IX 〔 経 済 〕 (後 期)	そ が のぶ たか 曾 我 信 孝	全学科・短国・短英	2

講義のねらい

これまで日本経済を支えてきた自動車産業が、今日では経営困難に陥り、その危機を乗り越えるためにさまざまな方法で合理化がすすめられている。もちろんその合理化の全てを問題にするわけではないが、多くが労働者や中小の下請企業を犠牲にすることに向けられていることに大きな問題がある。今日、日本に存在する自動車メーカーは、非常に大規模化しており、それを取り巻く利害関係者は膨大な数になっている。それは、それらの企業の社会的責任にを非常に重くしていることはいままでもない。とりわけ、社会的に弱者の部類に入る労働者や中小の下請企業に対する責任は、もっとも重いものであると理解すべきである。しかし、実際はそれらの弱者から先に合理化の対象にし、経営基盤の再構築のための犠牲にしている。このような傾向は、自動車産業だけではなく現代の日本企業の特徴ともいえる。

今日の自動車産業の経営困難は、経済不況だけに原因があり、経営的な戦略に原因はないのかを明確にする必要がある。経営的な戦略に大きな間違いがあれば、経営責任を末端の労働者や中小の下請企業が押しつけられていることになる。近年の日本の大規模企業では、社会的責任の薄らいだ経営者で構成されつつある。とりわけ、銀行など金融機関が経営に関与した企業においてはいっそうその傾向が強くなっている。そこで96年度新卒者を全く採用しなかった自動車メーカーである「マツダ」に限定して、経営責任を明確にするため、これまでのマーケティング展開の動向を説明し、問題点を指摘する。

講義の内容・ 授業スケジュール

留学生を対象とした講義であることから、語学障壁を考慮に入れ、次の3点に留意しながら講義をすすめていく。

- ①教科書を指定し、教科書に沿った講義にする。
- ②スローペースで、できるかぎりわかりやすい講義にする。
- ③毎時間、質問時間をもうける。(時間内に答えられない質問によっては次の時間に講義する)

履修上の留意点

- ①教科書を指定しているので、十分な予習をしてもらいたい。
- ②理解できないことがあれば、どんなことでも積極的に質問してもらいたい。
- ③研究室へ質問にくることも歓迎する。

成績評価の方法

定期試験、出席などで評価する。

教 科 書

曾我信孝編著『マツダ マーケティング戦略』白桃書房、¥2,700

参 考 書 等

参考書は学生諸君の要望があれば紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日 本 事 情 X 〔 経 営 〕 (前 期)	きたむら 北 村 健之助	全学科・短国・短英	2

講義のねらい

日本における商業および商人資本は、徳川時代、ことに中期以後から著しい発展をみた。商業では大阪の間屋、江戸では小売商に発展の典型を見出し、商人資本においては間屋資本と商替資本に典型を見出すことができる。このような時代に商品取引資本と貨幣取引資本が現われたのは当然のことであった。

商業および商人資本の発達は、商業経営思想に影響しないはずはない。封建制度は土地に立脚し、農本主義を基本思想とせざるをえなかった。ところが生産が諸藩財政または商人資本に依存せざるをえなかったため、経済上の事実上の支配権はことに商人に帰っていたのである。重農主義に属する人々は、商業および商人を非難し、重商主義に属する人々は商業の致富上の重要な役割をたたえて、商人を一種の主権者とさえ呼んだ。

この間、商人必携の知識や商人の処世訓を説き、商業使用人の出世のために知識を授け、商略を教えんとする労作が現われている。

1. 徳川時代における商業経営論

なかでも、西川求林著「町人夔拜底」享保4年。上川氏某「商人夜話草」享保12年。難波氏某「商人平生記」元文3年。岩垣光定「商人生業鑑」宝暦7年。江陵山人述「立身招福商人軍配記」文化15年。著者不明「商家心得草」。提正敏「商道九篇」文化丙子。等が主要な文献としてあげられる。

これらの文献は、商業を営業もしくは商取引の立場から取扱っている。商人学であったということができる。その内容を解説し、商人の利益は常に価格の変動、価格差に求められていることを指摘したい。

2. 明治・大正時代の商業経営論

安政開国以後は、日本の諸学問は全く面目を一新して欧米的な考え方が影響力をもつようになった。商業に関する研究も同様であった。概括的にみれば、国民経済的商業論が主流をなしていた。その主要な文献は次の如くである。

前田利器訳「百科全書商業編」明治7年。甲斐織衛・三原国一郎纂「市街読本 商業入門」明治12年。塚原苔園「小学商業書」明治13年。佐久間健寿「日本商業類鑑」明治15年。松永道一「商業汎論」明治20年。関西敬史「商業の骨」明治21年。松本栄三郎編「商業要論」明治22年。須永金三郎「商業学校」明治23年。祖山・原田・亀井共著「商業話法」明治23年。高槻純之助「商業全書商業経済学」明治24年。岩村茂訳「商業経済論」明治28年。永田健助「商業経済」明治28年。平田重助他共訳「ロッシェル商工経済論」明治28年。岩村茂訳「レキンス商業経済論」明治28年。関一「商学経済大意」明治31年。祖山鐘三「内外商業大意」明治31年。清水泰吉「商業経済学」明治32年。三浦新七「商業経済学」明治36年。河野鶴三郎「商業経済要義」明治39年。内池康吉「商業学概論」明治39年。阪本陶一「商業通論及経営」明治41年。中村茂男「商学原論」大正9年。戸田海市「商業経済論」大正13年。

商学の経営論研究が問題なのであるから、国民経済学者たちの商業経営論に対する態度が問題になる。金井延「社会経済学」(明治35年)は商業経営論に経済科学における地位を与えている。三浦新七「商業経済学」は商業学について論じ、商業経済学、商業経営学、商業政策学に分けており、商業経営学を商人の経営方法や商人の利益獲得方法について論じている。関一「商業経済政策」(明治36年)は、商業経営学と称し商業経営論を論じている。商業学を企業経営学に高めたのは上田貞次郎であり、「国民経済雑誌」(第7巻第1号)明治42年7月号、における「商事経営学とは何ぞや」という論文でそれが説かれている。

大正元年には、土屋長吉「商業経営論」が公刊された。金井と上田の両論を綜合したものであった。当時、ドイツでは私経済学が激しく議論されており、日本にもとり入れられた。渡辺鉄蔵は大正11年に、私経済学に関する研究をふまえて「商業経営論」を公刊している。

徳川中期以後の商業および商人資本に関する研究を時折の経済状況にそくして説明し、大正末期に、ドイツ経営学の影響をうけて、日本の経営学がどのように基礎作りが行われたかを話しするつもりである。

他学部履修科目

(全学部・短大共通)

※他学部履修科目の講義内容が掲載されていますが、受講できる科目は各学部・短大によって異なります。(履修についての詳細は、「履修要項の他学部履修科目の履修方法」を参照してください。)

他 学 部 履 修 科 目

禅学特講 I	(原田弘道)	1
禅学特講 II	(石井清純)	1
禅学特講 III	(大谷哲夫)	2
禅学特講 IV	(青竜宗二)	2
西洋哲学史	(中村友太郎)	3
インド仏教史	(田上太秀)	3
中国仏教史	(岡部和雄)	4
日本仏教史	(石川力山)	4
日用経典	(皆川広義)	5
仏教美術	(中島亮一)	6
現代哲学概説	(久保陽一)	6
上代文学研究 I	(小野 寛)	7
中世文学研究 I	(村上光徳)	7
近世文学研究 I	(富士昭雄)	8
近代文学研究 I	(畑 実)	8
中国文学	(南雲 智)	9
イギリス文学特講 I	(石原孝哉)	9
イギリス文学特講 II	(高野正夫)	10
イギリス文学特講 III	(岡崎寿一郎)	10
イギリス文学特講 IV	(中岡 洋)	11
イギリス文学特講 V	(高松雄一)	11
イギリス文学特講 VI	(丸小哲雄)	12
演劇特講 (イギリス・アメリカ)		
	(落合和昭)	12
アメリカ文学特講 I	(東 雄一郎)	13
アメリカ文学特講 III	(原川恭一)	13
時事英語	(坂本 武)	14
地形学	(小池一之)	14
現代地理学特論	(貝塚爽平)	15
人口地理学	(上坂修夫)	16
応用地理学	(高木正博)	17
文化地理学	(菱口善美)	17
地理思想史	(竹内啓一)	18

日本史特講 VII (近代)

	(佐藤元英)	19
考古学特講 III	(飯島武次)	19
歴史哲学	(麻生建)	20
哲学史	(山口祐弘)	20
日本民俗学	(谷口貢)	21
マス・コミュニケーション論	(川本勝)	21
産業・職業社会学	(安藤喜久雄)	22
社会福祉発達史	(林千代)	22
ロシア・東欧経済論	(山縣弘志)	23
社会政策	(光岡博美)	24
国民所得論	(吉野紀)	25
中国経済論	(小杉修二)	26
アジア経済論	(小林英夫)	27
日本経済史	(古庄正)	28
中小企業論	(三井逸友)	29
教育経済論	(谷敷正光)	30
アメリカ経済論	(瀬戸岡紘)	31
日本経済論	(森武麿)	33
財務会計論	(遠藤孝)	34
管理会計論	(中原章吉)	35
会計監査論	(飯岡透)	36
商業政策	(未定)	37
貿易論	(古沢紘造)	38
マーケティング	(曾我信孝)	39
原価計算論	(加藤利安)	40
労務管理論	(石井脩二)	41
経営管理論	(名取修一)	42
行政法各論	(斉藤寿)	43
親族法	(叶和夫)	44
相続法	(叶和夫)	44
比較憲法	(竹花光範)	45
経済法	(岡田外司博)	46
地方自治法	(梅木崇)	46
ヨーロッパ政治史	(浦田早苗)	47

國際經營論	(茂垣 広志)	48
經營統計	(張 国強)	49
保險經營論	(石名坂 邦昭)	50
財務會計論	(渡邊 惠一郎)	51
稅務會計論	(高木 克己)	52
商業史	(山田 勝)	53
經營情報論	(高井 徹雄)	54
情報理論	(西村 和夫)	55
經營勞務論	(中村 真人)	56
經營分析論	(片桐 伸夫)	57
国文講読 I (上代)			
	(佐原 作美)	57
国文講読 II (中古)			
	(鈴木 裕子)	58
国文講読 III (中世)			
	(坂口 博規)	58
国文講読 IV (近世)			
	(清田 啓子)	59
国文講読 V (近・現代)			
	(大室 英爾)	59
国文講読 V (近・現代)			
	(笹瀬 王子)	60
国文特講 V (近・現代)			
	(笹瀬 王子)	60
時事英語	(岡本 誠)	61
英語演習 I	(岡本 誠)	61
応用計測学	(櫃尾 英次)	62

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
禅学特講 I	はら だ ひろ みち 原 田 弘 道	国文・英米文・地理・歴史 社会・経済・商・経営・短大	4

講義のねらい

禅宗と公案
公案は禅宗における經典観と深いかわりを持つ。そこで公案の成立とその歴史的展開を通し、その意義と機能について考察する。
中でも中国禅宗史上あるいはその思想史の上で、大きな課題は「看話禅」の成立の問題の究明である。看話禅は公案（趙州無字）の工夫によって見性を果たす特殊な禅である。
これについて中国の文化的背景を通して、叢林の体質変化を見、それに伴う学道の形態の変化を考察し、それらを通して看話禅成立の問題の解明を行う。
それと共に黙照禅の意義を明らかにし、更に、道元禅を通して、公案、現成公案の意義を明らかにしてゆく。

講義の内容・
授業スケジュール

一、公案の起源と歴史 二、看話禅の成立 三、曹洞禅と公案 四、公案の諸相 五、公案の意義と機能。以上の順序で講義をすすめる。

履修上の留意点

講義の始めに、禅宗全般に亘る基本思想である、不立文字、教外例伝、直指人心、見性成佛の意義を明らかにするが、これの理解が講義全般に亘って重要になる。であるから先づ明確に理解するよう努めること。

成績評価の方法

平常点（出席）と試験（又はレポート）による総合評価。

参 考 書 等

柳田聖山『初期禅宗史書の研究』、『禅の歴史——中国——』（講座禅第三巻）、
荒木見悟『大慧書』

そ の 他

随時プリント資料配布。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
禅学特講 II	いし い せい じゅん 石 井 清 純	国文・英米文・地理・歴史 社会・経済・商・経営・短大	4

講義のねらい

禅思想の理解は、個々の祖師達の「言葉」の記録を読み解くことから始まる。本講義は、それらに対する読解力を養うために、著名な「公案」の解釈法について、種々の角度からの解説を試みるものである。

講義の内容・
授業スケジュール

『永平広録』（道元禅師撰述）の巻九に収録される「永平頌古」を使用し、第1則より順次読み進めてゆく。

履修上の留意点

別になし。

成績評価の方法

講義時間内に行う小テスト（年数回）と年度末の筆記試験をもって判定する。

教 科 書

プリント配布。

参 考 書 等

『道元禅師全集』下巻（大久保道舟編，筑摩書房）
『道元禅師全集』第四巻（鏡島元隆校注，春秋社）

科目名	担当者名	配当学科	単位
禅学特講Ⅲ	おお 谷 たに てつ お 夫 大 谷 哲 夫	国文・英米文・地理・歴史 社会・経済・商・経営・短大	4

講義のねらい

『従容録』を中心にして“禅”の神髄を参究する。

『従容録』は、詳しくは『万松老人評唱天童覚和尚従容庵録』という。

これは、宏智正覚(1091~1157)が古徳の妙則100則を収集し、それに頌古したものが『宏智頌古』として存在し、後に万松行秀が嘉定16年(1223)到北京の報恩寺にて従容庵を築いて幽居中に、元の太祖の西域親征に従っていた湛然居士(耶律楚材)の懇請によって、先の『宏智頌古』に示衆・評唱・著語を付し、庵名をもって書名としたからである。

本書は、『碧巖録』とともに禅林において並び行われ、その頌古は風格が高く、宏智の技倆古今越格と称されている。『碧巖録』が看話禅の臨済宗で用いられるのに対して、『従容録』は黙照禅の曹洞宗の宗風を挙揚したものであるとして広く用いられているので、本講座では、その成立から詳細に参究する。

講義の内容・授業スケジュール

『容録録』を演習の形式をとりながら、講義を進めるので、予習は必ず行なってもらいたい。

成績評価の方法

出欠・レポート・期末試験による。

教科書

教科書は『従容録』を用いるが、開講時にコピーを配布する。

参考書等

参考書については、適宜に指示し、参考文献などはその都度配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
禅学特講Ⅳ	せい りゅう ひな つぐ 二 青 竜 宗 二	国文・英米文・地理・歴史 社会・経済・商・経営・短大	4

講義のねらい

道元禅師の思想と行動

鎌倉新仏教の祖師と仰がれる道元禅師が、政治的にも文化的にも移り変わる激動の中世社会において、公家の家庭に生まれ育ちながら、無常の意識から生涯を宗教者として生き貫いた、その思想と行動を文化史的に再検討し、宗教者としての道元禅師の人間像を発掘してみたい。

講義の内容・授業スケジュール

講義は次のような内容で進める。

1. 鎌倉新仏教とは
2. 宗教思想の形成について
3. 京都時代の思想と行動
4. 越前時代の思想と行動

履修上の留意点

講義は限られた時間で行うわけであるから、上記の項目の内、従来全く問題にされていない主要課題を中心にノートで進めるが、直接その思想を味得してゆくために原典講読をも併用する。

教科書

原典はその都度指示する。

参考書等

参考書は教場で指示するが、次に掲げる参考書は比較的手に入り易いと思われる。
川添昭二『鎌倉文化』教育社
今枝愛真『道元—行動と思想』評論社
水野弥穂子『道元禅師の人間像』岩波書店

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
西 洋 哲 学 史	なかむらともたろう 中 村 友 太 郎	国文・英米文・地理・社会 経済・商・経営・短大	4

講義のねらい

現代思想の背景ないし基盤を成す西洋古代および中世における哲学思想の形成を概観しつつ、その中に現われた古典的な哲学思索に主体的に取り組む機会を持つことを主眼としたい。

講義の内容・
授業スケジュール

前期には古代ギリシアにおけるフィロソフィアの形成の探究を行い、後期にはその成果としてのヘレニズムとヘブライ思想との総合のかたちで展開する中世キリスト教哲学の生成過程をあとづける。

履修上の留意点

毎時間の授業に自身で積極的に思考する覚悟で参加することを期待する。

成績評価の方法

期末の試験のほか、レポート課題ならびに授業時に応じたりアクションペーパーによる平常の学習成果を含めた総合的な成績評価を行う。

教 科 書

教科書等の指示は開講時および講義の進行に応じて行うが、授業に配布するプリント（含授業予定）を活用する。

そ の 他

リアクションペーパーを踏まえた討論の機会も設けるようにしたい。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
イ ン ド 仏 教 史	たがみたいしゅう 田 上 太 秀	国文・英米文・地理・歴史 社会・経済・商・経営・短大	4

講義のねらい

インド仏教史はたんに仏教の歴史の講義に止まらず、インド哲学思想やインド文化史の中に位置づけられた仏教の様相を時代を追って講義しようと考えている。
たんに歴史の叙述だけでなく、それぞれの事象を残された彫刻や絵画などで紹介したり、植物や動物の関わりにも触れて説明をしたい。

講義の内容・
授業スケジュール

昨年の講義に順じて本年の講義は進めるが、多くはプリントを配布し、それを資料にして講義する。

講義内容・目次

- 第1章 ゴータマ・ブッダ以前のインド
- 第2章 ゴータマ・ブッダの生きた時代の社会環境
- 第3章 ゴータマ・ブッダの生涯
ブッダの系譜 ブッダの誕生、ブッダの少年時代、出家の動機、修行生活、菩薩樹下の開悟、45年間の伝道活動、死への旅
- 第4章 ブッダの根本思想
四諦八正道
- 第5章 仏教の分類
地域的区分、教理展開の時代的区分
修行の価値的区分
- 第6章 アシュールカ王と仏教
- 第7章 教団分裂と部派の仏教
- 第8章 経典の成立
- 第9章 大乘仏教の起源
- 第10章 大乘仏教の思想の流れと特色
- 第11章 主な仏教文献の類型と思想

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国仏教史	おか べ かず お 雄 岡 部 和 雄	国文・英米文・地理・歴史 社会・経済・商・経営・短大	4

講義のねらい

中国における仏教の歴史的発展を時代に分けて概説的にたどり、その道すじや特色を明らかにする。いうまでもなく中国仏教という語は Buddhism in china の意味で一般に用いられているが、chinese Buddhism (「中国人の仏教」または「中国の仏教」)をも意味するであろう。そして後者の意味するところは、インド仏教や日本仏教とは異なる“中国独自の仏教”ということになる。この観点に立てば中国仏教史とは、中国独自の仏教の形成史にはかならない。

中国仏教史を正しく理解するには、二つの前提が必要と思われる。一つはいうまでもなく仏教についての知識である。仏教はインド起源であるから、インドのオリジナルな仏教についての予備知識が不可欠である。他の一つは中国史とくに中国思想史についての大まかな知識である。中国では紀元前にすでにインドに劣らない多彩な古典哲学（諸子百家の思想、とくに儒家と道家の思想）が開花した。インドから伝来した仏教は、それらの中国固有の伝統思想と出会い、抗争し、融合した。中国は新しい外来の宗教である仏教を受容して仏教化した。他方、受容された仏教は、それまでの仏教（インドや西域の仏教）とは相態を異にするほど著しく中国化されてしまった。このように考えれば、中国仏教史とは「中国の仏教化」と「仏教の中国化」を同時に一つの歴史過程のなかにふくむものであり、この二つの契機を思想のダイナミズムとしてたえず注目していきたい。

講義の内容・授業スケジュール

年度はじめに全体を十二章に分けた講義内容を提示する。

履修上の留意点

特に教科書を指定しない。しかし中国仏教史の通史、概説書、研究書は、内外にわたって豊富なので、必要に応じて、それを紹介し、学説が対立している場合は、その問題点を集約し論評を試みる。中国史については『中国史研究入門』上下（山根幸夫編、山川出版社、1983）がすぐれている。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本仏教史	いし かわ りき さん 石 川 力 山	国文・英米文・地理・歴史 社会・経済・商・経営・短大	4

講義のねらい

日本における「佛教伝来の意義」と、その「社会的機能」の二点をテーマとして、日本に佛教が伝来した当初からの歴史を辿りつつ、思想史・宗教史・社会史上において果たしてきた佛教の役割を明らかにしたい。

講義の内容・授業スケジュール

インドに起こった佛教が日本にまで伝えられるに至る背景、特に東アジア世界の国々の相互の交流と、文化史・政治史的諸条件を踏まえ、先ず佛教の日本伝来の意味と奈良・平安佛教の展開を前期の課題とする。

後期は、中世鎌倉期以降における新佛教の成立と展開が、急速に佛教が社会の底辺にまで浸透する契機となり、それにともなって様々な社会問題にも関与することになった事実を確認し、佛教が日本の社会で果たした正・負の両面の機能を明らかにしたい。

この授業では、仏教思想の流れとともに、その社会的な機能の面についても、人間と佛教の関係を解きあかす重要な課題として問題提起し、これを検討していきたい。

履修上の留意点

佛教史上の重要な事件・思想等に関しては、その都度資料を配布して授業を行うので、必ず出席し、欠席した場合は研究室（第2研2708）まで資料を受け取りに来ること。予習は各自の自主性に委ね、出席は重視する。

成績評価の方法

夏季休暇中の課題、学年末の定期試験、および平常に随時実施する小テストによって成績を評価する。欠試者については、面接口試を実施し、追試験・再試験は行わない。

教科書

随時、プリント配布。

参考書等

辻善之助『日本仏教史』（全10巻、岩波書店刊）
家永三郎等『日本仏教史〈古代篇〉〈中世篇〉〈近世・近代篇〉』（全三巻、法蔵館刊）
川岸宏教・速見侑等篇『論集・日本仏教史』（全11巻、雄山閣出版刊）

その他

講義を主にした授業であるが、仏教史や思想史関係の文献をプリントにして配布し、合わせて講読しながら、より具体的な客観的な資料による仏教史の事実認識を深めたい。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日 用 経 典	みな かわ ひろ よし 皆 川 広 義	国文・英米文・地理・歴史 社会・経済・商・経営・短大	4

講義のねらい

般若心経・法華経・修証義

現在、礼拝の場などでよく読まれている代表的仏教経典を、教理を正しくふまえてわかりやすく講義したい。

はじめに、仏教の開祖・釈尊の悟りの世界を述べている『般若心経』を学び、仏教の教えの根本を明らかにする。

次には、釈尊の人々への思いやりより生まれた伝道の心を述べている『法華経』を学び、仏教の説く慈と安心を学び得たい。

最後には、明治時代、我国で新しく編纂された経典である『修証義』を学ぶことによって、自己の生死の苦悩を超越して、悟りと安心をつくりだしたい。

以上の般若心経、法華経、修証義の三経典は、多くの日本人に影響を与え、安心と生きがいをつくりだした、日本仏教の根本聖典である。

講義の内容・ 授業スケジュール

I 仏教の経典

1. インドの経典（パーリー語経典，サンスクリット語経典）
2. 中国の経典
3. 日本の経典

II 般若心経

1. 般若経について
2. 般若心経について
3. 本文解読
4. 般若心経に説示された悟りの世界

III 法華経

1. 法華経について
2. 本文解釈 ①寿量品偈 ②普門品偈
3. 法華経に説示された慈の世界

IV 修証義

1. 正法眼蔵と修証義
2. 修証義について
3. 本文解釈
4. 修証義に説示された安心と生きがい

履修上の留意点

積極的に聴講し、学習することを希望する。経典を主体的に学んで、自己の思想を確立し、人格を完成していただきたい。

成績評価の方法

聴講の態度（出席率など）、レポート、年度末の定期試験などによって、総合的に評価する。

教科書

『日用経典テキスト』プリント代 500円 教室で配布する。

参考書等

紀野一義著『般若心経を読む』講談社現代新書 定価 420円
 紀野一義著『法華経を読む』講談社現代新書 定価 420円
 桜井秀雄著『修証義をよむ』名著普及会 定価 1,500円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
仏 教 美 術	なか じま りょう いち 中 島 亮 一	国文・英米文・地理・社会 経済・商・経営・短大	4

講義のねらい

テーマは「仏教美術の興亡の迹を見る」こととする。
その発生と表現をインドに見る。(無仏時代、仏像の起源、その思想と信仰)、そして中国への伝播(敦煌はじめ石窟芸術)、その熟成、道教(特に神仙思想)との和合、水墨山水画の発生とその思想などを、比較文明学的手法などで究明する。
それらを迎えた日本側の消極的(受身的)・積極的受容の経過とその理解度を、精神史の面でもとらえる。

講義の内容・授業スケジュール

講義はインドの部、中国の部、日本の部と大別し、世界史的な流れに沿い、ときに問題点についてはスライド、ビデオなどを使って夫々のポイントをとらえる。
特に地理的条件、民族性にも留意し夫々の表現の差の根拠をとらえるようにつとめたい。
日本の仏教美術の受容において、その主役となった権力者側とそれに迎合した僧侶達の政治的意志、知識などにも注目し、日本的仏教美術の深層をも見きわめたい。

履修上の留意点

美術史の学習には、実物を見るのが先決だが、授業では不可能なので自からも極力、すぐれた図版やカラー写真版などを見てほしい。

成績評価の方法

スライドなどの感想文、小テスト、出席状況などで総合的に評価する。

教 科 書

佐和隆研『仏像案内』吉川弘文館 ￥1,900

参 考 書 等

その都度紹介する

そ の 他

スライドなどを多用する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
現 代 哲 学 概 説	く ぼ よう いち 久 保 陽 一	国文・英米文・地理・歴史 社会・経済・商・経営・短大	4

講義のねらい

主に19～20世紀の哲学を概説し、現代における人間の生き方を考える手掛りとして。現代の哲学的状況の特徴の一つは、英米系の言語分析的な哲学と独仏系の観念論や弁証法の伝統に基づく哲学との対立にあると云われる。最近ではこの対立は確かに緩和されつつあるが、しかし依然として相互の不信や軽視は続いている。だがこの対立は根本的には近代の知の在り方に根ざしているように思われる。それは、科学的に捉えられるもの(「真実」)が必ずしも同時に「善」や「美」を意味しなくなり、それ故科学と形而上学、事実認識と価値判断の峻別が前提されるようになったためと思われる。このような視点から現代の哲学の状況を捉え、同時に現代文明に直面させられた人間の諸問題を考察することにして。

講義の内容・授業スケジュール

講義では次のような内容を扱う予定である。
(イ) 近代知の在り方
(ロ) ドイツ観念論、マルクス主義、実存主義、分析哲学等
(ハ) 現代文明の諸問題

履修上の留意点

講義への積極的な取りくみが要件。哲学史についての予備知識を持つようにしてもらいたい(その為に、例えば『ソフィーの世界』等を読むことを勧める)。

教 科 書

開講時に指示する。

参 考 書 等

シュテークミュラー『現代哲学の主潮流』(法政大学出版社)、
渡辺二郎『構造と解釈』(日本放送出版協会)

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
上代文学研究Ⅰ	おのの 野 寛	禅・仏教・英米文・地理・歴史 社会・経済・商・経営・短大	4

講義のねらい

万葉集をよむことから、上代文学の特質を考える。

講義の内容・
授業スケジュール

万葉集巻二から、名作・問題作を選び、その作品について原文の検討、その訓みの確定、語句の研究、ことばの原義・語法、歴史的・社会的・地理的背景を詳細に調べる。授業は全面的講義方式による。毎時出欠をとる。

履修上の留意点

講義はその都度、新しく調査研究してまとめた独自のものであるから、必ず出席して、ひたすらノートをとること。講義でわからないことはそのままにせず、チェックし、メモして、自分で調べてみることを。

成績評価の方法

学年末の筆記試験（持込一切なし）によって評価する。

教 科 書

小野寛著『新選万葉集抄』（笠間書院刊）1,600円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
中世文学研究Ⅰ	むら 村 上 光 徳	禅・仏教・英米文・地理・歴史 社会・経済・商・経営・短大	4

講義のねらい

『隠者文学』—— 隠者（隠遁者）によって作り出された文学作品—— 西行あたりからはじまり、長明、兼好、心敬などの作品群を指すわけであるが、わが中世文学の代表と考えられている『平家物語』などの軍記物語と双へきを成す作品群である。したがって『隠者文学』を取りあげることが、けだし意味深いものがあるわけである。

講義の内容・
授業スケジュール

本講では「徒然草」を通してト部兼好の物の考え方、人間性、教養等を学ぶ。また歌人としての兼好や、兼好の生き方、伝記等も合わせて検討する。

履修上の留意点

過去の研究をふまえ、深く読むこと。

成績評価の方法

定期試験及び出席。

教 科 書

『徒然草 注釈・論考』（双文社）

科目名	担当者名	配当学科	単位
近世文学研究Ⅰ	ふ 富 じ 士 あ あき 昭 お お雄	禅・仏教・英米文・地理・歴史 社会・経済・商・経営・短大	4

講義のねらい

芭蕉の『おくのほそ道』の読解を通して、芭蕉の俳諧文学の特質を講ずる。『おくのほそ道』は、奥羽地方の名所（歌枕）・旧跡を探訪する旅の叙述と、その旅の途上で詠む発句とがこん然融和した俳諧紀行文である。そこには芭蕉の「さび」の境地の心情など、高次の文学観が吐露されている。本作の丹念な読解を通して、芭蕉文学の特色を考察する。

講義の内容・授業スケジュール

芭蕉は奥羽地方の歌枕・旧跡を探し訪ねながら、時にはその変貌を嘆き、時には昔のまま現存するのに感動し、その苦難な旅の体験の中から不易流行の文学観を産み出しているが、そのような旅の背景などにも論及する。また『おくのほそ道』には、芭蕉の実際の旅の日程・行程と、作品の叙述との間にはいくつか相違があることが知られている。授業では『曾良旅日記』や地図類を参照しながら、文学の虚構性の意味などを考察する。時間の関係では、本年度は平泉の段あたりで終了となる。残りは次年度に回す。

履修上の留意点

本作品には参考書等が多く備わるので、履修に当っては、なるべく予習をしておくこと。

成績評価の方法

学年末の定期試験で理解度を評価する。

教科書

岩波文庫『おくのほそ道』（ワイド版）岩波書店 1,000円

参考書等

- 阿部喜三男『詳考奥の細道』（増訂版）日栄社 昭和54年度改訂版
- 麻生磯次『奥の細道講読』明治書院 昭和36年初版

科目名	担当者名	配当学科	単位
近代文学研究Ⅰ	は は 畑 み の る 實	禅・仏教・英米文・地理・歴史 社会・経済・商・経営・短大	4

講義のねらい

明治の末に文壇の中心的存在であった自然主義文学をとりあげる。その当時に出た小説、評論類を考察して日本の自然主義文学の特色をあきらかにすると共に、文壇の主流を占めた理由、およびその限界等を考えていくことを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

前後期とも講義を中心とするが、必要に応じてプリントを配付し小説や評論の一部を読むことにより理解を深めたいと考えている。

成績評価の方法

学年末に試験を行い出席状況等を考慮しながら総合的に評価する。

教科書

使用しない。

参考書等

授業時に随時指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
中 国 文 学	南 雲 智 <small>な くも さとる</small>	禅・仏教・英米文・地理 社会・経済・商・経営・短大	4

講義のねらい

詩や文がどのようにして生まれ、定着し、人びとに読みつがれていったのかを考えていきたい。

講義の内容・
授業スケジュール

長い歴史を持つ中国文学のすべてを見渡すことは難しいと思われるが、代表的なジャンルと作品に触れながら、それらを生み出した社会をあわせてみておきたい。

成績評価の方法

評価はレポートによっておこなう。

教 科 書

講義を進めるなかでプリントを配布する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
イギリス文学特講Ⅰ	石 原 孝 哉 <small>いし はら こう さい</small>	禅・仏教・国文・地理・歴史 社会・経済・商・経営・短大	4

講義のねらい

ルネッサンス期のイギリス文学を、広くヨーロッパ文学の流れの中で講じる。ノースロップ・フライの批評理論を軸に、他の方法も必要に応じて取り入れながら幅広く論じる。

講義の内容・
授業スケジュール

主としてとりあげる内容は：①神話と文学 ②文学の源流 ③詩・民話・劇 ④ルネッサンスと新学問 ⑤トマス・モアと新しい流れ ⑥エドモンド・スペンサーと『妖精の女王』 ⑦クリストファー・マーロウとヒューマニズム ⑧ウィリアム・シェイクスピアの世界 ⑨獄中作家ジョン・バニヤン ⑩ミルトンの世界 ⑪文学とイギリスの文化

履修上の留意点

完全な講義形式で行なうので予習は必要ないが、トマス・モア、エドモンド・スペンサー、クリストファー・マーロウ、ウィリアム・シェイクスピア、ジョン・バニヤン、ジョン・ミルトンなどの主要作品を、(必ずしも原文とはいわないが)、読んでいることが前提となる。このため3・4年生の受講を希望する。

成績評価の方法

成績はレポート、期末試験で評価する。

教 科 書

『ノースロップ・フライのシェイクスピア講義』三修社 3,800円

参 考 書 等

『同一性の寓話』法政大学出版局、『シェイクスピア喜劇とロマンスの発展』三修社 その他教場にて指示。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
イギリス文学特講Ⅱ	たかのまさお夫 高野正夫	禅・仏教・国文・地理・歴史 社会・経済・商・経営・短大	4

講義のねらい

18世紀後半までの英詩の世界では、秩序のある洗練された詩が好まれ、自然に対してはそれほど強い関心が持たれなかった。「理性の時代」と呼ばれた18世紀であったからこそ、詩人は秩序を尊び、粗野で洗練されていないものを拒絶したのであろう。その結果として、ある意味では快適で居心地のよい都会が、人の近づき難い荒々しい自然よりも好まれたのである。

もちろん、Dryden や Pope などに代表される、古典主義的な詩の特徴である洗練された秩序に逆らった詩人もいた。James Thomson のように、人間を研究することなく、自然そのものの素朴な美しさを描いた詩人もいれば、また、Edward Young や Robert Blair そして Thomas Gray などのように、主に「死」を主題として陰うつな詩を書いた墓地派の詩人たちもいた。しかしながら、彼らのほとんどは18世紀の詩の特徴である、不自然で形式的な言葉遣いや技巧から脱け出すことはできなかった。

そして、1798年に William Wordsworth と Samuel Taylor Coleridge によって出版された *Lyrical Ballads* という、一冊の詩集によってこのような古典主義的で因襲的な詩の流れが大きく変わってしまったのである。いわゆるロマン主義の時代の到来を告げるこの詩集に表現された素朴な言葉や主題は、保守的な批評家たちにとってはまったく受け入れ難い、あまりにも革新的なものであったが、この小さな流れは、その後19世紀の前半まで英詩の主流となっていた。

イギリスの北西部に位置する湖水地方を愛し、そこに住んだこの二人の詩人の中でも、特に自然を愛したのがワーズワスであった。ワーズワスの詩に描かれた美しい、しかし時には厳しい姿を露にする自然をうたった詩や、彼が得意とした、普通の人々の様々な人生の絵模様をうたった物語詩などを中心に読みながら、ワーズワスの詩の世界を見ていくことにする。

教 科 書

教場にて指示します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
イギリス文学特講Ⅲ	おかさきとしいちろう 岡崎寿一郎	禅・仏教・国文・地理・歴史 社会・経済・商・経営・短大	4

講義のねらい

おそらく、過去のいかなる瞬間もまた現在であったことの認識をもつことなく「現代」modernity という言葉の感覚を理解することは講義では、むづかしいとおもいます。この認識の方法によって、19・20世紀の英詩について、その現代的な意味を確認します。

講義の内容・授業スケジュール

講義の進行については、前期では、ワーズワス、コールリッジ、バイロン、シュリー、そしてキーツのロマン派詩人たちの詩について、フランス革命・イギリスの産業革命という時代的背景を捨象することなく論究してみたい。後期では、ヴィクトリア朝の時代と詩人たちについて、テニスン、ブラウニング、スウィンバーン、そしてマシュー・アーノルドの詩を検証した後、イギリスの近代文学を拓いたオスカー・ワイルドの詩と批評を出発として、近代詩人イエーツ、エズラ・パウンド、T. S. エリオットの現代詩（モダニズム）、さらにD. H. ロレンスの詩の論究を経て、現代イギリスの詩人たちの詩にと到達したいとおもいます。

成績評価の方法

成績評価については、平常評価としての出席（50%）、前期試験に代わる夏季レポート（25%）、後期試験（25%）による総合評価とします。

教 科 書

講義では、とくに教科書は指定せず、毎回、対象とした詩人と詩について必要なプリントを配布します。

参 考 書 等

参考書・文献については講義中に適宜言及します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
イギリス文学特講Ⅳ	なか おか ひろし 中 岡 洋	禅・仏教・国文・地理・歴史 社会・経済・商・経営・短大	4

講義のねらい

イギリスの偉大な小説について学びながら、小説芸術を総合的に理解することをねらいとする。

講義の内容・
授業スケジュール

19世紀中葉から20世紀にかけて書かれたイギリスの数編の小説を取り上げテキストとビデオによって、作品をどのように理解していけばよいかをさぐる。短い批評を読んでその助けとする。たとえば Charles Dickens (1812-70) の *Great Expectations* (1860-1), Charlotte Brontë (1816-55) の *Jane Eyre* (1847), Emily Brontë (1818-48) の *Wuthering Heights* (1847), Thomas Hardy (1840-1928) の *Test of the D'Urbervilles* (1891), Edward Morgan Forster (1879-1900) の *Howards End* (1910), James Joyce (1882-1941) の *The Dead* (1914) を取り上げる。Dickens, the Brontës, Hardy は19世紀を代表する作家であり、他は20世紀における重要な作家である。Dickens は下層社会の涙と笑いを扱い、the Brontës はイギリス小説にロマンティックな要素をもたらした情熱的作家であり、Hardy は宇宙の盲目の意志に操られる人間の弱さを描いている。Joyce は意識の流れ小説の作家で、勉強には心理学の素養が必要であろう。Forster は自然と文明、相対立しあう二つの価値観とその超絶をテーマとする。

履修上の留意点

テキストをよく予習しておくこと。出席に励むこと。

成績評価の方法

レポートと試験、および出席回数によって評価する。

教 科 書

『イギリス小説入門』（開文社、¥1,442）

参 考 書 等

上記に関連のある作品、あるいは参考書を適宜教場で指摘するので、その都度読んでもらいたい。

そ の 他

授業は講義、講読、ビデオなどによって進めていく。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
イギリス文学特講Ⅴ	たか まつ ゆう いち 高 松 雄 一	禅・仏教・国文・地理・歴史 社会・経済・商・経営・短大	4

講義のねらい

本講義ではイギリスにおけるモダニズム文学の種々相を考察する。モダニズムとは20世紀の初め、1910年前後に、英米およびアイルランドに出現した若い文学者たち、たとえば小説のジェムズ・ジョイス、ヴァージア・ウルフ、批評のT.E.ヒューム、詩のエズラ・パウンド、詩と批評のT.S.エリオット、それに年長の詩人イェイツなどが、それぞれの分野で新しい実験的な表現法による作品を生みだし、従来の伝統的な手法を革新した一つの文学運動というべきものである。

彼らはこの運動の存在理由を自らの批評活動によって論理づけ主張することを怠らず、1920年代から40年代の初めまでイギリス文学の主流を占めるに至ったが、今日のいわゆるポストモダニズムの時代にも、有形無形の影響を残していると言っている。

講義の内容・
授業スケジュール

この運動は、しかしながら、唐突に生じたのではない。当時の社会的な変動や、19世紀から20世紀にいたる一連の文学的な展開と密接に結びついている。本講義では19世紀初めのロマン主義文学運動、および世紀末の唯美主義批評との関連をさぐり、モダニズムの特質を明らかにしてゆきたい。ただし主義主張を羅列するのではなく、上記の詩人や作家の作品から適宜抜粋して具体的に読み、分析しながら考察を進める。まずモダニズム文学の全体を概観してその特徴をつかみ、ロマン主義詩人ワーズワースの主張や世紀末の文学者ワイルドの批評と比較することによって関係を探り、ついで個々の作家詩人の場合を考えることにしたい。

教 科 書

講義内容に応じてプリントアウトした作品や批評を読む。

参 考 書 等

高松雄一編『イギリス文学』（放送大学教育振興会）。イギリス文学の流れをつかむのに役立つであろう。

高松雄一編『想像力の変容』（研究社出版）。主としてモダニズム関係の論考を集めたもの。内容は専門的。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
イギリス文学特講 VI	まるこてお 丸小哲雄	禅・仏教・国文・地理・歴史 社会・経済・商・経営・短大	4

講義のねらい

文学テキストの読みについての論議が必要なのは、やみくもに文学テキストを読んでもそれほど大きな効用がなく、テキストの読み・解釈・批評の交通整理が必要であるからです。批評行為は人間の本能でもあります。テキスト間の相違に折り合いをつける枠組は、いわば、作者の「方法」を読みとるためであり、読み手自身のテキストを作ることでもあります。その「方法」は一般化、普遍化できるものですが、人間の不合理や不条理を取り扱う文学論はテキストの神秘的な解釈から脱神秘的な解釈へいたる回路をいかに創り出してゆくかが問題となります。とりわけ批評行為は、テキストの読み・解釈・批評の過程にあって、テキストの構造の織り目をゆるめて、テキストの持つ価値や姿勢に対して対立し、そのイデオロギーと対決する最後の機会であり、テキストに対してどのようにして責任をとるかを見出すことです。文学批評は個人の嗜好ではなく、集団的な判断になってきますので、本講義は文学批評のさまざまな方法に親しみつつ、テキストの印象や感想に価値を見出せるように講義してゆきます。

講義の内容・ 授業スケジュール

テキストの読み方と研究の仕方を覚えるためにさまざまな文学テキストを利用して、レポートを作成してゆきます。従って、テキスト理論とテキスト実践を平行的に作業することになります。

1. 初めに；虚構の世界とその根拠と必要性について
2. 文学的言語とは何か；日常言語と虚構言語の差異
3. 文学テキストの機能と力
4. 英文学研究の成立過程；文学制度の問題
5. 伝統的方法とテキスト演習
6. ロシア・フォルマリズム
7. ニュー・クリティシズムとテキスト演習
8. 受容理論（読者論の立場）
9. 「精神分析批評と原型批評」とテキスト演習
10. 構造主義
11. 記号論
12. 「構造主義と記号論」とテキスト演習
13. ポスト構造主義
14. ニュー・ヒストリシズム
15. 終わりに；「批評の精神」について

教 科 書

教科書・参考書は開講時に指示します。読書のためのプリント・リスト、および適宜必要に応じてプリントを配布します。

成績評価の方法

試験等による成績評価については、平常点30%、前期・後期のターム・ペーパー（レポート作成）70%。クラスでの発表者には別途評価。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 劇 特 講 (イギリス・アメリカ)	おちあいかずあき 落合和昭	禅・仏教・国文・地理・歴史 社会・経済・商・経営・短大	4

講義のねらい

劇の要素（筋、登場人物、テーマ、台詞、音楽、背景）について詳しく学ぶ。さらに、悲劇、メロドラマ、喜劇における劇の要素の違いについても学ぶ。例えば、筋は悲劇、メロドラマ、喜劇のそれぞれにおいて、どこがどのように違うか。また、登場人物はそれぞれのジャンルで、どこがどのように違うか、など。その後、実際に、悲劇作品、メロドラマ作品、喜劇作品を劇の要素の面から分析してもらう。

講義の内容・ 授業スケジュール

授業は講義形式であるが、教師側から学生への一方通行に終わらないように、学生には、しばしば、課題を与え、教室で学んだことを応用したレポートの提出を義務づける。レポートの回数は五回（一回が400字詰め原稿用紙5枚程度）前後である。

成績評価の方法

定期試験の形では行わず、レポートで評価する。出席は全授業の3分の2以上を満たさないと「不合格」にする。

教 科 書

- 1) 『一幕ものドラマ傑作選』（マクミラン・ランゲージハウス）¥3,000
- 2) プリント

そ の 他

受講者には、課題として、実際に、一劇幕（場面が一つの短い劇）を読んで分析してもらうので、劇作品を読んだことがある人や口語体の英語になれている人が望ましい。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
アメリカ文学特講Ⅰ	あづま 東 ゆう いち ろう 雄 一 郎	禅・仏教・国文・地理・歴史 社会・経済・商・経営・短大	4

講義のねらい

アメリカ詩を通時、共時的に概観する。植民地時代のピューリタンの宗教的色彩の濃い作品（永罪や救済等のテーマを扱う教訓、啓蒙的作品）から始まり、独立革命を経て、19世紀のアメリカ土着文学の揺籃と成長（荒野の開拓、バイオニア、フロンティアの広大な超絶ロマン主義的自立）、ウォルト・ホイットマン、エドガー・アラン・ポー、ハーマン・メルヴィル、エミリー・ディキンソン等の詩を経て、アメリカの世紀末詩人（イギリスの審美主義を意味しない）であるロビンソン、マスターズから脱却し、第一次大戦前後のモダニズム（詩においてはエズラ・パウンドが主導したイマジズムを核とする）の詩人、例えばウィリアム・カーロス・ウィリアムズ、マリアン・ムアー、ヒルダー・ドゥリトル、ウォレンス・スティーヴンズ、ハート・クレイン等のアメリカ詩の謂わば黄金時代を、前期は考察してゆく。アメリカにおいて創刊された初めての詩の雑誌『ポエトリ』で活躍したシカゴ・ルネッサンス（中西部出身の詩人たち、ロビンソン、マスターズを含め、カール・サンドバーグ等）の作品も味読してゆく。エリオットの影響を受けたアレン・テイトやジョン・クロウ・ランサム、リチャード・ウィルバーの新批評（ニュークリティシズム）の形式主義も考察する（但し、エリオットはJ.A.リチャーズに代表される新批評に固執してはいなかったが）。後期は、この形式主義的モダニズムの反動として、第二次大戦後のアメリカに生まれたポストモダニズム（同時にポスト・モダニズム）の詩人たち、告白詩人のロバート・ロウエル、スノッド・グラス、シルヴィア・プラス、ビート派詩人のアレン・ギンズバーグ、レクスロス、ゲイリー・スナイダー等を取り上げる。ラングストン・ヒューズのハーレム・ルネッサンスに始まりアリス・ウォーカーに到るアフロ・アメリカン詩人の作品も読む予定である。

履修上の留意点

他の学生の邪魔となる講義中の私語は厳禁。予習をして出席すること。

成績評価の方法

2回のレポート提出等。

教科書

新倉俊一『アメリカ詩入門』（研究社）

参考書等

講義内にて指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
アメリカ文学特講Ⅲ	はら かわ きょう いち 原 川 恭 一	禅・仏教・国文・地理・歴史 社会・経済・商・経営・短大	4

講義のねらい

有史最大の内乱、南北戦争（The Civil War, 1861-65）は、南部に衰退と解体をもたらし、その終結とともにいわゆる旧南部はほとんど崩壊し、北部産業主義は滔々と南部の肥沃な大地に流れ入ってきた。それは旧南部の繊細華麗な貴族文化を蹂躪し、Mark Twainの言う「夢のようで平穏な」社会を踏みにじりながら、歳月を重ねるに従ってますますその暴威をふるい、南部人を貧困と頹廢の中に置き去りつつ、20世紀の機械文明の主流となっていった。

本講義は南部人にとって宿命とも言える南北戦争を作品の背景に構え、共に1936年に刊行された2つの小説、William Faulkner, Absalom, Absalom! と Margaret Mitchell, Gone With the Wind を通して、〈南部人と南北戦争〉を考へて行きたい。ちなみに、この両作家とも南部人である。

講義の内容・授業スケジュール

前期に Absalom, Absalom!、後期に Gone With the Wind を扱う予定。

履修上の留意点

南北戦争の概略は、初めの2、3週間をかけて説明をするが、受講者はあらかじめ、参考書等で調べておくと良い。

成績評価の方法

成績評価はレポートによるが、講義への出欠状況も加味する。

教科書

プリントを作成してテキストとする。

参考書等

参考書は教室で指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
時 事 英 語	さかもと たけし 坂 本 武	禅・仏教・国文・地理・歴史 社会・経済・商・経営 短 国 ・ 短 放	4

講義のねらい

時事問題等を扱った教科書、英字新聞によって、一般の散文とは異なる英語表現万般について中広く講義する。この種の英語には、仲々思うような学習機会が得られないのではないかと、従って、本講義を通じてそのチャンスをつかめば、既習の英語文体・表現に独特のそれらを加えることとなり、各自の知識のより豊かな向上となろう。

講義の内容・授業スケジュール

上述の通り新聞英語等の内容訳読、また、時事日本語の英訳を主体とする。なお、国名・人名・地名等に関する発音についても、より正確度に注意を払うよう留意している。本講義は通年であるが、前・後期とその内容に変化を与えることも、考慮外ではない。

履修上の留意点

進度予定等は、予め受講者に発表・予告するので、該当分の予習が望まれる。

成績評価の方法

出・欠を十分加味した平常点評価によるが、必要あれば学期末の各試験も視野に入れてはいる。

教 科 書

教場にて指示する。また教材用プリントは、時間的な余裕をもって、都度事前に配布する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
地 形 学	こいけ かず ゆき 小 池 一 之	禅・仏教・国文・英米文 歴史・社会・経済・商・短大	4

講義のねらい

地形学は、地表の形態とその形成過程を研究する学問で、山がちで変化に富む日本列島には種々の地形が分布している。このため、日本列島は地形研究の上では、世界的にみても都合な場所である。世界の最先端の研究が多く排出している。まず、地形学の基礎的な概念から説明し、時に最先端の研究成果や地形変化事変（各種の災害など）にも言及する。

講義の内容・授業スケジュール

年間の授業スケジュールの概要は次の通りである：
 1. 地形学の成り立ち、 2. 地表を変化させる種々の営力と地形の分類、
 3. 地表水の働きと地表の変化（マスウェスティング、種々の河成地形、組織地形）
 4. 海水の働きと地形 5. 地球内部の力によって形成される地形（火山地形など）
 6. 地形発達

履修上の留意点

地理学の中ではかなり理学的（地球科学の1分野でもある）な色彩の強い学問分野である。高校時代に地学を履修していることが望ましい。

成績評価の方法

基本的には、学年末試験の成績で評価する。出席など平常点はあまり加味しない。

教 科 書

小池一之・坂上寛一ほか著「新版地学教育講座9『地表環境の地学——地形と土壌』」、東海大学出版会、¥2,575

参 考 書 等

貝塚爽平・小池一之ほか編「写真と図でみる地形学」、東京大学出版会、¥4,532
 小池一之ほか訳「一般地質学Ⅱ」、東京大学出版会、¥3,708

そ の 他

授業は講義形式で、最新の情報を知らせるプリント類を多く配布するとともに、スライド、ビデオなどを使用する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
現代地理学特論	かい づか そら へい 貝 塚 爽 平	禅・仏教・国文・英文・歴史 社会・経済・商・経営・短放	4

講義のねらい

日本の自然と世界各地の自然を理解し、あわせて人類が自然にどう対してきたかを知ることは、大気・水・大地・生物が微妙なバランスのもとにある地球表層部に生きる人間にとって必要なことであろう。

そのような観点から、日本と世界の自然、とくに大地の地形・地質と人間の土地利用について考える。

地形や地質は、千年・万年・十万年・百万年・千万年・億年で数えられる年月で形成されてきたのに対し、人類の自然との共生は百年ほど前に始まり、農耕という土地利用法は1万年ぐらい前から開始され、最後に大地・水・大気を含めた地表自然の改変がわずかに百年ほど前から始まった。

この講義では、地理的感性とともに時間的・歴史的感性も養いたい。

講義の内容・ 授業スケジュール

前半では、東京—関東—日本の地形・地質・土地利用を、後半では世界各地の土地自然と人類—土地関係を主題とする。夏季には10ほどの書目の中から選んで読書し、コメントをレポートとして提出してもらおう。

履修上の留意点

出席し、目・耳と頭を働かせ、重要と判断した事項をメモすること。地図帳（中・高で使ったものでよい）を持参することをすすめる。

成績評価の方法

毎回紙片に質問・コメントなどを書いて提出。それとレポートおよび学年末の定期試験で成績を評価。

教 科 書

使わない。

参 考 書 等

貝塚爽平「富士山はなぜそこにあるのか」（丸善，1,500円）

そ の 他

OHP・スライド・プリントなどを使いながらの講義を主とするが、討論も歓迎する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
人 口 地 理 学	こう 上 さか 坂 なが 修 お夫	禅・仏教・国文・英文・歴史 社会・経済・商・経営・短放	4

講義のねらい

ある地域の人口の状態やその変化の状況は、その地域の社会経済的特性やその変化と密接に関連している。このような前提の上に、この講義では主として次の(1)～(4)の点を明らかにしたいと考えている。

- (1) 地域の特性、特にその地域の経済活動の特性と人口とはどのように関連し、一方の変動は他方にどのような影響を与えるか。
- (2) 各地域の結びつき方、特に経済的相互関係は、それぞれの地域の人口とどのように関連しているか。一方の変化は他方にどのような作用を及ぼすか。
- (3) 地域の人口との関連で考えた場合、より良い居住環境を実現するためには、どのような地域政策が必要なのか。
- (4) 人口という比較的把握の容易なデータを、どのように加工し、活用すれば、地域の特性や地域相互の結びつき方を理解する上での有効な手がかりが得られるか。
そして、最終的には、
- (5) 以上の諸点を通じて、人口地理的な「ものの見方」を身につけ、今後さまざまな社会現象をそのような見方から考えてほしいと思っている。
以上の(1)～(5)が、この講義の目標である。

講義の内容・授業スケジュール

1年間の講義を次の6項目に分け、それぞれ4～6回の授業時間で進めていきたいと考えている。

- (1) 人口と経済活動
人口と経済活動とは、相互にどう関係するのか。また、両者を結びつける中間項はどのような意味をもっているのかを考える。その際、人口に関する基本的データやその扱いについても述べる。
- (2) 人口の変化と地域
人口の自然増加・社会増加の状態は、各地域にどのような影響を及ぼし、また各地域の状況が人口の変化にどのように反映するのかを考える。
- (3) 人口増加と資源
食料や水をはじめ、人間の生存や活動に必要な資源と人口との関わりについて考える。長期的な視野に立った節度ある資源開発はどうあるべきかについても検討したい。
- (4) 人口構成と社会
人口は「量」としての存在であるばかりでなく、さまざまな種類の「構成要素」からなる存在でもある。高齢化のような重要な問題や、民族紛争など現代のきわめて困難な問題を考えるに当たって、まず必要となる正確な現状分析について考えていく。
- (5) 経済活動の変化と人口移動
学年の最初に扱った人口と経済との関係を、人口移動という点に絞って考える。国内の過密・過疎問題や、国際的移動の問題についても考えていきたい。
- (6) 都市の構造と居住環境
前項で扱ったテーマの中で、過密地域である都市について居住環境を中心に考えたいと思う。

履修上の留意点

この授業の目標を達成するためには、まず具体的事例によって現状を把握し、それについて種々検討することが必要である。そのための事例は、例えば地球的規模や国ごとの状況というような広域をとりあげることが必要な場合もあり、村落や都市内の小区域をとりあげることが理解を深める上で有効な場合もある。いずれにしても、これらの事例は見方や考え方を身につけるための素材として扱うのであって、個々の現象を丸暗記するようなことで終わってしまうのでは、無意味な勉強法でしかない。そのために大切なことは、当たり前のことなのだが授業に出席して「いま、何を明らかにするためにこの講義が行われているのか」に注意しながら聴くことであるといえる。

成績評価の方法

基本的に学年末試験による。ただし、これにレポートの点を加味する。学年末試験に関しては、単に学習した事項を覚えるのではなく、それをもとに出題された問について十分考えて記述する力をもつことを期待している。

教科書

特定の教科書を通年使用する方法とはらない。参考文献はその都度指示する。

その他

年数回のレポートを課すことを予定している。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
応 用 地 理 学	たか き まさ ひろ 高 木 正 博	禅・仏教・国文・英米文・歴史 社会・経済・商・経営・短放	4

講義のねらい

この科目は、地理学と他の研究分野を視野に入れた学際的なテーマが求められよう。講義では河川をテーマとし、これの専門分野である河川工学や農業水理学などの成果をふまえて、河川を河道だけでなく、流域として捉えることを基本とし、流域（地域）の自然とその土地の住人とのかかわりについて、利水・災害・自然環境などの視点から河川特性を明らかにする。また、水と人とのかかわりあいを論じる場合、水の基本的な特性である環境を常に意識し、それぞれの地域に固有な地域水循環システムと行政への応用を考えてゆきたい。さらに、河川に対する行政などの取り組みについて、欧米を中心に外国の事例も紹介する。

講義の内容・
授業スケジュール

まず、河川の基本特性について水文学的（降水量、流量などを中心として）に講ずる。次に、具体的な河川（主として一級河川を取り上げるが、場合によっては中小河川や都市河川について述べることもある）の事例をもとに、それぞれの河川固有の特性を、利水・災害・環境などの視点から考え、現実的な課題なども明らかにしたい。

履修上の留意点

講義が中心になるが、受講者にも意識を持ってもらうため、夏休み中に現地調査を伴う課題を提示する。

成績評価の方法

学年末試験と夏休みのレポートの他、授業中の課題など平常点も加味して行う。

教 科 書

授業時間に配布するプリントを使用。

参 考 書 等

高橋裕著『河川工学』、東京大学出版会
岡太郎・菅原正孝編著『都市の水環境の新展開』、技法堂出版。その他随時紹介する。

そ の 他

講義中心。事例紹介のためのスライドやOHP、ビデオも使用する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
文 化 地 理 学	こも ぐち よし み 菱 口 善 美	禅・仏教・国文・英米文 歴史・社会・経済・商 経 営 ・ 短 放	4

講義のねらい

本講義は、「現代地理学」の主要分野である「文化地理学」の一般概念を修得すると共にこの学問の応用として世界各地に頻繁にみられる民族問題・環境問題・差別問題など一般社会・経済的諸問題との関係も学習することを目的とする。

講義の内容・
授業スケジュール

まず文化地理学の中心的課題、すなわち(1)文化、(2)文化領域、(3)文化景観、(4)文化史（誌）、(5)文化生態について概観する。さらに内・外の研究事例を紹介しながら、文化地理学的手法による地域分析について議論する。

履修上の留意点

受講生は、予め配布したプリントなどを精読しておく必要がある。

成績評価の方法

2回のテストの成績によって評価する。

参 考 書 等

〔参考書〕白田雅之・ほか（編著）
『もっと知りたいバングラデシュ』（弘文堂） 2,800円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
地 理 思 想 史	たけのうち けいいち 竹 内 啓 一	禅・仏教・国文・英米文・歴史 経済・商・短国・短英	4

講義のねらい

地理学史ではなく、地理思想史の講義であり、本年度は、日本人の土地、場所、環境さらに世界・コスモスに関する考え方、そして日本において、自分たちの国土、および外部世界に関する知識がどの様に形成され、発展してきたかを検討する。古代、中世、16、17世紀の宣教師との接触、幕府による国際交流の独占（鎖国）時代、漂流者の記録についてもふれるが、講義の大部分は開国後の話になる。

講義の内容・授業スケジュール

- 今（1995年11月）のところ以下の内容を考えているが、若干の変更があるかもしれない。
- 1 日本人の伝統的コスモロジー, geomancy
 - 2 地理と風土記
 - 3 16世紀以降における新しい世界認識
 - 4 洋学における地理と地理的知識（地図制作に焦点をあてて）
 - 5 幕末・明治初期における外国紹介（いくつかのミッションの記録、とくに福沢諭吉、久米邦武による岩倉使節団の『欧米回覧実記』に焦点をあてて）
 - 6, 札幌農学校出身者の農学を基礎とした地理思想（新戸部稲造, 内村鑑三, 志賀重昂に焦点をあてて）
 - 7 「皇国地誌」編纂事業挫折の意味（地理的情報の近代化に焦点をあてて）
 - 8 公教育における地理学の制度化（文部省中等教員検定試験制度, 師範学校, 高師, 文理大の役割, 帝国大学における地理学の制度化まで。牧口常三郎はこのテキストのなかで考察される）
 - 9 軍隊における地理学の役割, とくに国土図の作製。
 - 10 Nation Building, そのためのnational identity 形成にとっての地理教育の役割（地理教科書記述の内容およびイデオロギーの変遷）
 - 11 南進論, 北進論との関連における地理的知識の形成（密偵, 商人・芸人・唐ゆきさん, 仏僧, 冒険家など）
 - 12 帝国主義段階における組織的地理的知識の形成（満鉄調査部, 東亜同文書院に焦点をあてて）
 - 13 アカデミシヤンの貢献と限界（大谷探検隊の事績, 鳥居龍藏の業績そして矢内原忠雄の著作に焦点をあてて）
 - 14 アカデミー地理学の成立（山崎直方, 小川琢治, 小田内通敏など）
 - 15 アカデミー地理学の第二次世界大戦までの発展（石橋五郎, 辻村太郎, 石田龍次郎, 飯本信之, 佐藤弘, 田中啓爾など）
 - 16 土着的地理思想と近代科学としての「地理」との接連と断絶（柳田などの日本民俗学派との接触, 交流, そして地理学派の限界について）
 - 17 日本における政治地理学の展望
 - 18 第二次世界大戦後の日本のアカデミー地理学50年史。
 - 19 第二次世界大戦後の地理教育と問題点
 - 20 地理のプラクショナーの系譜

履修上の留意点

授業は講述の形式をとるが、受講者が、テキストを読み、吟味し、自分なりの理解をすることをめざす。入手しがたい文献についてはコピーして配布するが、文庫本になっているもの（例えば、福沢諭吉『世界国尽』, 久米邦武『米欧回覧実記』, 志賀重昂『日本風景論』, 河口慧海『チベット旅行記』など）は、できるだけ購入するようにしてもらいたい。これらのテキストに関するレポートを何回か提出してもらおう。レポートの課題は授業の中で提示する。提出期限に遅れたレポートは一切受理しない。

成績評価の方法

上記のレポートおよび学年末の持ち込み自由の筆記試験による。

教科書

特定の教科書は用いない。

参考書等

文献・参考書等は講義中に提示する。

その他

来年度、私がこの講義を担当する場合には、内容をまったく変えて、西洋の地理思想史を取り上げる。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本史特講Ⅶ 〔近代〕	さとう もとえい 佐藤元英	禅・仏教・国文・英米文・地理 社会・経済・商・経営・短大	4

講義のねらい

明治初年より終戦までの外交史を講義形式で論ずる。
歴史のある段階が、いつ何を転機に次の段階に発展転化したかを明らかにすることや、それぞれの段階の歴史的特徴がどのようなものであったかを明確にすることは、歴史研究の重要な課題であり、また、個々の歴史的事実の評価や位置づけを行うにも、それがいかなる歴史的發展段階の中で生じたのかを明らかにすることも当然重要な課題となる。このような課題を解明するには、まず歴史の正確な時期区分の認識が必要になる。従って、近代日本外交史の時期区分によって明らかにしようとするのは、第一に、明治維新による近代国家の成立から1945年の終戦に至る約80年の外交史の發展段階を明らかにし、区分した各時期の歴史的特徴を明確にすることであり、第二に、外交史の發展段階と各時期の特徴を明確にすることによって、個々の外交史上の事実の歴史的性格ならびに位置づけを確定する枠組をつくりあげることである。

講義の内容・授業スケジュール

前期は幕末維新时期における列国の対日政策と日本の対応、明治初年の領土問題、条約改正運動、日清戦争及び日露戦争と国際関係などについて講述し、外交主体の確立と近代国家系への参加から大陸膨張政策という外交路線を検討する。後期は第一次大戦とパリ講和会議、1920年代の国際関係と極東新秩序の模索、ワシントン体制と幣原外交及び田中外交、満州事変と国際的孤立化、国際体制の現状打破、日中戦争、太平洋戦争などについても講述し、国際協調から現状打破による世界秩序の形成という対外路線を検討する。

参考書等

池井優『日本外交史概説』（慶応通信）、信夫清三郎編『日本外交史Ⅰ・Ⅱ』（毎日新聞社）

科目名	担当者名	配当学科	単位
考古学特講Ⅲ	いじま たけつぐ 飯島武次	禅・仏教・国文・英米文・地理 社会・経済・商・経営・短大	4

講義のねらい

中国青銅器時代文化の研究。夏・殷・周の考古学研究に関して講義を行う。

講義の内容・授業スケジュール

特講でなので、講義担当の飯島が現在行っている研究を講義する。もっか『中国両周文化考古学研究』と題する著書の出版を目指しているので、その原稿の執筆にあわせて授業をすすめていく。

履修上の留意点

遅刻・欠席をしないこと。

成績評価の方法

成績評価は学年末の試験。持ち込み可。

参考書等

飯島武次『夏殷文化の考古学研究』（山川出版社、1985年）
飯島武次『中国新石器文化研究』（山川出版社、1991年）

その他

教場の一般的講義であるが多くの資料を配布する予定。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
歴 史 哲 学	あそ 麻 生 けん 建	禅・仏教・国文・英文文・地理 社会・経済・商・経営・短大	4

講義のねらい

「歴史とは何か」、「歴史認識はいかにして可能か」という問題は単なる歴史学の問題ではなく、広く人文科学一般の問題である。講義は、この二つのテーマを中心に行われる。

講義の内容・授業スケジュール

前半はいわゆる「歴史哲学」の変遷をギリシア時代から19世紀に至るまで概括し、そこで展開された諸問題を検討する。後半は主として歴史認識の問題を解釈学を中心に講義する。教科書として下記のものを使う。

履修上の留意点

前半は純粋な講義の形をとるので、きちんとノートを取り、自分なりに問題を整理する努力をすること。後半は教科書に基づいて行なう。

成績評価の方法

学年末の試験による。

教 科 書

麻生建著「解釈学」世界書院 2,500円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
哲 学 史	やま 山 くち まさ 口 祐 ひろ 弘	国文・英文文・地理・社会 経済・商・経営・短大	4

講義のねらい

現代世界がヨーロッパ近代の影響を強く受けて成立していることは言うまでもない。従って、現代において生き思索しようとする時、近代ヨーロッパの思想を無視するわけにはいかない。近代哲学史を学ぶことを通して近代思想ならびに近代の孕む問題を照射し、現代において取り組むべき課題を考える。

講義の内容・授業スケジュール

- 次のテーマに従って講義する。
1. 哲学史とわれわれ
 2. デカルトと大陸合理論の課題
 3. 方法的懐疑と懐疑論への道
 4. 啓蒙主義と啓蒙の弁証法
 5. 近代哲学とカント
 6. カント哲学の発展
 7. ドイツ観念論の課題
 8. ヘーゲルと近代批判
 9. 現代への視点

履修上の留意点

哲学史は、表面的に見ると、ヘーゲルの言うように「阿呆の画廊」と映りがちだが、講義に集中し問題の展開に注意するとともに、重要事項については正確な知識を得ることに努め、哲学する態度を養って貰いたい。

成績評価の方法

テストによる。

教 科 書

桂寿一・山崎正一『西洋近世哲学史』（岩波書店）

参 考 書 等

山口祐弘『意識と無限』（近代文芸社）、『ドイツ観念論における反省理論』（勁草書房）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日 本 民 俗 学	谷 口 眞 <small>たに ぐち みつき</small>	禅・仏教・英米文・地理 社会・経済・商・経営・短大	4

講義のねらい

日本民俗学は世代をこえて伝承されてきた習俗・慣習の考察を通して、日本社会に展開する生活文化を究明する学問である。民俗はよく「民族」と混同されるので注意を要する。本講義は、民俗学をはじめて学ぶ人のための入門編として、基礎的知識をしっかりと把握できるようにしたい。また近年、国際的視野をもった人材の育成が叫ばれているが、真の国際理解の前提には、自国の伝統文化に対する一定の素養をもつことが益々大切になってきている。講義では、こうした点にも配慮していく予定である。

講義の内容・授業スケジュール

本年度は「日本人の一生」をめぐる民俗文化に焦点をあてながら、生活文化において何が変化し、何が持続しているのかを検証し、われわれの現在の生活のありようを再考していくことにしたい。年間の講義予定は以下に掲げるとおりで、各々2回に分けて行う。

- 第1講 家族と社会
- 第2講 産育儀礼 — 出産と子育て —
- 第3講 子どもと遊び
- 第4講 若者の民俗文化
- 第5講 成人儀礼
- 第6講 婚姻儀礼
- 第7講 女性の民俗文化
- 第8講 交際と贈答
- 第9講 老人の民俗文化
- 第10講 日本人の靈魂観
- 第11講 葬送儀礼
- 第12講 墓と先祖祭祀

成績評価の方法

夏休みの課題としてレポートの提出を求める。したがって受講者の成績評価は、夏期レポートと学年末の筆記試験の合計をもって行うものとする。

教科書

本講義では教科書は使用しない。

参考書等

参考書については、授業の中で必要に応じて紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
マス・コミュニケーション論	川 本 勝 <small>かわ もと まさる</small>	禅・仏教・国文・英米文・地理 歴史・経済・商・経営・短大	4

講義のねらい

社会的コミュニケーションの特質を整理し、マス・コミュニケーションの社会的機能を考察する。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、社会生活とコミュニケーションの関連を考える。私たちの社会生活は、コミュニケーション活動による他者との相互作用によって成り立っている。現代社会におけるメディア状況を整理し、メディア環境の変容とそれらを利用してどのようなコミュニケーション活動が営まれているかを考察する。パーソナル・コミュニケーション、マス・コミュニケーションなど社会的コミュニケーションの特質を講義する。

後期は、マス・コミュニケーション活動が社会や人びとに対してどのようなインパクトや社会的機能を果たしているか、問題点は何かについて論じる。特に、マス・コミュニケーションの受容過程研究を扱いながらその効果、影響について考える。

履修上の留意点

他学部・学科履修ができる科目であるが、他学部・学科の学生は、社会学の科目をすでに履修しているなど社会学の基礎知識を修得しておくことが望ましい。

成績評価の方法

講義中に課する小レポート、出席を配慮し、試験によって行う。

教科書

用いない。

参考書等

適宜紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
産業・職業社会学	あん どう き く お 安 藤 喜 久 雄	禅・仏教・国文・英米文 地理・歴史・経済・商 法律・政治・経営・短大	4

講義のねらい

産業・職業社会学の対象の中、本講義では経営と従業員との関係としての従業員関係を規定している雇用システム、経営と労働組合の関係としての労使関係、産業社会や職業社会の構造などについて概観する。日本社会を中心に考えるが、その特質を明らかにする上からも諸外国との比較を交えて講義を進める予定である。

講義の内容・
長業スケジュール

最初に、日本の雇用慣行について述べる。終身雇用制や年功制を柱とするいわゆる日本の雇用システムの特徴と動揺について述べる。次いで、日本の労働組合の組織活動や労使関係の特質とともに課題について述べる。以上のことは産業社会の構造変動によって生じることから、日本の産業社会や職業社会の構造的変化を中心に述べる。すなわち、経済のサービス化、情報化、雇用の流動化、ホワイトカラー化（専門職化）、高令化、女子の職場進出などの進展により、どのような変貌をとげつつあるかを明らかにし、その課題と展望を述べる予定である。

成績評価の方法

出席点と試験の両者によって評価する。

教 科 書

安藤喜久雄他『産業社会学』学文社、2,500円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
社会福祉発達史	はやし 林 千 代	禅・仏教・国文・英米文 地理・歴史・経済・商 法律・政治・経営・短大	4

講義のねらい

いつの時代にも生活不安はあった。それは、自然の変化と社会の変動によって生み出されてきたといえる。常に多くの社会問題が生じ、人々は生活困難におちいった。それらに慈善や救済が対応し、近代社会は社会事業を生成した。生存権の確認は、社会福祉という方法に到達し、福祉国家の実現となったが、いま福祉社会という新たな局面を迎えている。

このプロセスの理解と、社会福祉は一定の歴史的産物であるという認識こそ、社会福祉の学習には不可欠である。

講義の内容・
長業スケジュール

資本主義の発達と社会福祉の生成は、英国が典型である。日本については当然ではあるが、時間のある限り米国や北欧諸国などにもふれたい。

〔英国〕

- ① 前史
- ② 中世封建社会と慈善
- ③ 絶対王制下の救貧制度
- ④ 旧救貧法と近代的慈善事業の生成
- ⑤ 産業革命と新救貧法のスタート
- ⑥ 社会事業近代化への動向
- ⑦ 社会保障制度の成立と諸技術の発展
- ⑧ 今日状況と諸問題

〔日本〕

- ① 前史
- ② 日本における救貧法の系譜と公的救済
- ③ 封建社会と慈善・慈恵
- ④ 資本主義の成立と救済事業
- ⑤ 社会事業の成立と組織化
- ⑥ 昭和期の社会事業と厚生事業
- ⑦ 戦後の社会福祉（事業）
- ⑧ 現在の状況 ― 福祉社会について

そ の 他

教科書は決めないが、参考書は開講初日に提示の予定。単位の認定は、年一回のリポートによる。知識や考察を内在化させ、学生個々の自己認識を深めていくことをめざしたい。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ロシア・東欧経済論	やま がた ひろ し 山 縣 弘 志	禅・仏教・国文・英米文 地理・歴史・社会・法律 政治・経営・短放	4

講義のねらい

外国経済研究の課題を、その経済事情に通じることという形で、狭く設定する必要はないので、各自の問題意識に引きつけてとらえてもらえばよいが、とりわけ、独特のソ連経済からロシア的・資本主義的・市場経済への転換を、資本主義世界経済のあり方、日本経済のあり方を念頭に置きつつ講義する予定である。その際、ソ連経済史の評価のためには社会主義論の捉え直しが不可欠であり、他方で政策も含めた経済現象の総体を文化的基盤と切り離して論じることはできないから、常に総合的視点と批判精神を伴った受けとめを期待する。

講義の内容・授業スケジュール

ソ連邦が解体し、東欧諸国も再編成されて、一つの歴史的移行過程にあるが、「どこからどこへ？」の問題は必ずしも決着済みではない。この地域が従来の歴史的経緯を背負って今後も多少とも独自の経済圏を形成していくことは確かであろう。

ロシア・東欧圏は、ヨーロッパとアジアにまたがりオリेंटと接するユーラシア地域として、独自の、また内部的には多様な文化を醸成してきた。この地域は、帝国主義の時代に入って、第1段階としてロシア革命、第2段階として第2次大戦を契機に社会主義をめざすことになった。そしてその歴史は通例まぎれもない社会主義の歴史として通俗的に理解されてきたが、本来は社会主義の模索として開始されたものであり、社会主義に到達しえたか否か自体が吟味の対象である。これは同時代史の問いかけに答えるために必要な認識であろう。

社会主義論の原理的な捉え直しの上に立って、1930年代にソ連邦で形成され40年代に東欧に移植された独特の体制への認識が深まれば、「どこからどこへ？」の問題の第1段階に答える可能性が生まれるであろうし、その第2段階を検討することは、我々の時代の当面している課題を明らかにすることに通じるであろう。

〈授業予定〉

1. 社会主義とロシア革命
 - (1) 社会主義論とマルクス
 - (2) ロシア革命のめざしたものーレーニン時代ー
2. ソ連経済体制の成立とスターリン時代
 - (1) 1920年代から30年代への転換
 - (2) ソ連型「社会主義」の特質と行きづまり
3. 「計画経済」と経済管理システム
 - (1) 「計画経済」の成立と実態
 - (2) ソ連型経済管理システム
4. ソ連経済の生産力水準
 - (1) 経済構造の特質と軍事生産
 - (2) 工業生産力と工業技術
 - (3) 農業問題
5. 停滞からベレストロイカへ
 - (1) 経済改革の時代
 - (2) ブレジネフと停滞の時代
 - (3) ベレストロイカとその挫折
6. ロシア・東欧経済の現状と課題
 - (1) ロシア・東欧の文化と社会
 - (2) 資本主義化の諸問題

履修上の留意点

トピックスにコメントすることが多いと思われるので、必ずしも授業計画通り、またその全てを網羅して進むとは限らないが、部分から全体を照射するように心がけたい。敢えて挑発的な講義にしたいので、学生諸君にはステレオタイプから脱して自分自身の頭で考えることを期待する。

成績評価の方法

成績評価はレポート（9月提出、40点配点）と定期試験（自筆ノート持込み可、60点配点）によって行う。模範答案等の丸写しは認めない。オリジナリティを評価する。

教科書

教科書はない。参考書は適宜指示する。歴史の見直しが必要とされ、変化の激しい時代に、万全の教科書はありえない。

その他

教科書はないので、授業中にノートを取るのとは当然のことになるだろう。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
社 会 政 策	みつ おか はく み 光 岡 博 美	禅・仏教・国文・英米文 地理・歴史・経営 短 国 ・ 短 放	4

講義のねらい

社会政策とは、資本主義社会で発生する社会問題や労働問題を体制内において解決する思想や政府の政策を意味している。この社会政策という学問は19世紀の中葉に、その当時のヨーロッパでは後進国であったドイツで発生したが、やがて近代化をめざす日本に紹介された。この意味で、戦前から社会政策学は日本の経済学のなかでも重要な位置を占めてきたが、それは戦前日本の経済学がドイツ経済学から大きな影響を受けてきたからであった。

戦前の時代になると、社会問題や労働問題の処理は、政府の政策によってだけでなく、国民の権利を前提にして、その解決が意図されるようになってきた。殊に、労働問題は政府の介入を避け、労使の自主的な団体交渉によって事態に対処していくという方向に向かった。労働基準法、労働組合法、労働関係調整法といった労働法体系は、このような体制を作り出すために制定された法律だったのである。

このような現実世界の変化は、社会・労働問題へのアプローチの方法として、労使関係論の学問的発達を促すこととなった。戦後の日本においても欧米社会で開拓された労使関係論を吸収し、労使関係をその実態に即して理解しようという研究が大きな影響を及ぼしている。

なお、全体の講義を通じて、その時々社会政策や労働運動・社会運動によってどのような問題が解決され、どのような問題が未解決のまま残されその解決が迫られているのかを考えてみることにする。

講義の内容・授業スケジュール

そこで、上に述べたような社会政策論や労使関係論の動向を視野に置いたうえで、本年度は、次のような講義内容で授業を行うこととしたい。

- (1) 社会政策の思想と理論
- (2) 労使関係論の思想と理論
- (3) 日本における社会政策・労働問題（戦前）
- (4) 日本における社会政策・労働問題（戦後）
- (5) 戦後日本における労使関係の展開
- (6) 現代福祉国家の生成と展開
- (7) 日本的労使関係の現実と未来

上に述べた(1)～(7)のテーマについて、各々約3回程度の講義を予定している。しかし、時には、社会政策や労働問題を勉強するための専門書の解説、最近注目されている外国人労働問題やフェミニズム論、また私が専門的に研究してきた問題なども解説したいと考えている。

履修上の留意点

特にないが、これまでは毎年かなりの数の履修者がいるために教場も比較的大きな教場であった。そのためか、時として後部座席での私語が目立った。教場での私語は慎むこと。また私の講義では黒板をフルに利用するので、受講者はなるべく黒板の近くで聞いてほしい。

成績評価の方法

本年度は前期末に試験を行うかあるいはレポートの提出を求める。どちらにするかは適当な時期に講義のなかで指示する。年度末試験については2～3週間前の授業で詳しく解説する。成績評価は前期末の試験かレポートと年度末試験の成績による。

教科書

特にないが、講義の内容と関連して参考書を適時指示する予定である。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
国民所得論	よしの 吉野 おさむ 紀	禅・仏教・国文・英米文 地理・歴史・社会・法律 政治・経営・短放	4

講義のねらい

わが国には法人企業だけで277万(平成3年)あり、就業者6,400万人のうちの約68%にあたる4,380万人がここで働いている。この生産活動からさまざまな財(商品)やサービスが産出されてくるが、その種類や数量たるや膨大なものとなる。この大きさを1年という単位期間内で集計し、金額表示にしたものが大雑把に言ってGDP(国内総生産)にあたる。生産された財・サービスは、誰かが貨幣を支払って支出・購入してくれるからこそ、また次の年の生産活動を実現可能にしてくれる。その誰かは、一つは4,070万に昇る家計世帯であり、二つは他の企業であり、その他に政府もあり、日本からの輸出を引き受けてくれる海外の購入者であったりもする。ここには、財・サービスの売渡しの見返りにあたる円や外貨で支払われる貨幣の流れがみられる。これを称して経済循環とよぶが、わが国の1年間の規模は平成5暦年のGDPによって466兆円に達すると評価されている。

一つの国民経済を眺めようとするれば、このように大きな集計量と接することが不可欠となる。このことは、数かぎりない取引が日々結ばれていることを考えればむしろ当然といえよう。こうした取引関係は複雑に入りこんでおり、その1つ1つを追跡すると、国民経済全体という大きな森の中に迷い込むことにもなりかねない。そこで、森の上に舞い上がって、これらの取引を上空から眺める工夫が生まれてくる。このような視点に立つ経済の分析手法が、巨資的(マクロ)分析とよばれ、経済全体の活動の成果を集計量でとらえようと編み出された国民経済計算の整備とともに発展してきたのである。そこでは、無数の複雑に絡みあった諸取引を、いくつかの類似した性質を共有するグループ(経済主体)毎に分け、それぞれの取引額を記録し、そして経済主体のさまざまな取引相互間の依存関係を説明しようとするところに狙いがさだめられている。

講義の内容・
授業スケジュール

1. 「国民経済計算の話」……………5回
GDP, GNPなどの経済指標や消費, 投資, 輸出入などの国民経済全体をとらえる単位を理解すること, さまざまな諸取引間の相互関係を日本経済の循環図を通してとらえることが主題である。
《参考》経済企画庁「平成6年日本経済の循環図」(配布資料)
2. 「総需要・均衡産出量・均衡所得」……………4回
いわゆる単純なケインズ派の所得決定理論が, モデル分析に則って説明され, 次の第3講で活躍するIS曲線の基礎理解を得ることが目標となる。このテーマの終了後, 練習問題を解くレポートが課される。解答は配布され, 解説は授業の中で行われる。
《参考》中谷蔵『人間マクロ経済学』(日本評論社)第3章
3. 「貨幣・利子および同時均衡」……………8回
この段階で貨幣の果たす役割が明示的に導入され, 前講までの主題との接合がはかられて, IS曲線とLM曲線を主な武器とする分析が進められてゆく。モデルを用いた説明が中心となるが, 日本経済の現況との関連が説明の中に登場する機会も増えてゆくであろう。また, 利子率に触れるとき, 預貯金の利率に加えて有価証券の利回りにも馴染んでもらうことになるであろう。その他, 国家公務員, 地方公務員, 国税専門官などの専門科目試験の例題を示すこともある。本テーマの終了時にも, 簡単な練習問題がレポートの課題として課される。正解と解説は授業中で示す。
《参考》伊達邦春(編)『マクロ経済学』(八千代出版)第9章
4. 「金融政策, 財政政策」……………4回
前講までの内容が理解されれば, 金融政策と財政政策の発動によって, 望ましい所得水準を達成するプロセスは比較的容易に理解できるものと思われる。その上で, 国内のおよび国際的クラウディング・アウト効果が取り扱われる。アメリカのベトナム戦争時に生じた国内的クラウディング・アウト効果に関するケース・スタディは興味をよぶのではあるまいか。
《参考》ドーンブッシュ・フィッシャー『マクロ経済学(上)』(CAP出版)第4章
5. 「労働市場を組み込んだ総需要・総供給分析」……………5回
ここまで扱われてきたのは, 財・サービスの市場と貨幣市場であったが, これに労働市場が明示的に組み合わされる。さらに, 物価の変動が重要なテーマとして加わる。

成績評価の方法

基本的には期末試験による。2回の練習問題に対するレポートは一定の評価対象となりうる。

教 科 書

R.J.ゴードン『現代マクロエコノミクス(上)』(多賀出版)

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
中国経済論	こ すぎ しゅう じ 小 杉 修 二	禪・仏教・国文・英米文 地理・歴史・社会・法律 政治・経営・短放	4

講義のねらい

この講義は中国の長期的動態をとらえる。
現在の中国は対外開放、経済成長と生活の向上の結合、経済改革の試み等、新たな活気が増えるようになった。また、企業自主権の拡大、株式会社、個人営業の公認、失業・倒産の制度化、「1国2制度」「6・4天安門事件」等々話題に事欠かない状況である。
本講義ではこのような目前的変化をとらえると同時に、より長い視野と射程で問題を論じることとする。即ち、本講義のキー・ワードは、超大国志向、社会主義、発展途上国である。この三点で中国の長期的動態を論ずる。

講義の内容・授業スケジュール

この講義は3つのキー・ワードで歴史的説明をはかる。
前期授業のはじめに、キー・ワードを3週間分けて説明する。ここでは、地域研究が本来もっている特徴である、問題のさまざまな面をとらえる、ということと、そのうち比重の大きい側面は何であるかをつかむ、といった点に留意する。特に、私独自の見方である中国の超大国志向について詳しく説明する。
これについて、中国経済の解明に取り組むが、それは一言でいえば歴史的方法をとる。すなわち、中華人民共和国の成立（1949年）から今日までを、3つの特徴的な時期に分けて、(1)ソ連モデル（1949～57年）、(2)毛沢東モデル（1958～78年）、(3)鄧小平モデル（1978～）として、それぞれの時期の特質とその変化の動因を説明する。
このような方法をとるのは、今現在の目先の出来事も何かの方向へ向かって動いている訳だが、その方向というものは、あまりに近くで見ているとわかりにくいものだからである。つまり、現在および将来というのは、過去の何らかの延長であると考えからである。それが単純な延長である場合もあろうし、新しい条件に見合った微修正の延長である場合もあろうし、また全く過去の否定的総括に立った転換である場合もあろう。その場合も、過去の何が否定的に総括されたのかを知らねば、将来への延長線は引かれないであろう。そこで歴史的方法をとるわけである。
上記の3つのモデルを超大国志向、社会主義、発展途上国の3つのキー・ワードを軸にして説明していくが、そこでの中国は著しく軍事大国志向、経済成長志向である。世界の他の国々がそのような志向性をもっている中で、また、中国が途上国であることからして、やむを得ない面もあるが、世界が環境問題で行き詰まりつつある中で、このような志向性のもつ問題点をも相対化し得る見方をもてるように留意したいと思う。

履修上の留意点

授業の進め方は、教科書に沿った講義とビデオ（1-201または1-301教室）上映による説明の二本立てで行っている。
教科書は専門家向けに書かれており、自明のことや初歩的なことは書かれていない。したがって、中国経済に全くの初心者であると思われる学部学生に対しては、自明とされていることや、初歩的な知識の説明を補いながら講義を行う。
また、何分にも外国のことなのでイメージがわきにくいといった問題があるので、年に数回、中国関係のビデオを見る。例えば、新日鉄宝山製鉄所、天津の用水路、長春第1自動車工場、江南億元郷、天安門激動の40年等。

成績評価の方法

受験勉強の本質は正解当てクイズである。しかし、このような方法は実社会では通用しない場合が多いし、正解も変わっていく。諸君が物事（中国経済）を自前の頭で理解し判断できるための勉強が高等教育の場である。そのために、無数にいる専門家の意見の比較、優劣判定、取捨選択、時間による検証、といった作業が必要になる。その前提になるのが、各専門家の学説の正確な理解である（学説の受入れとは異なる）。テストは基準となる一つの学説（とりあえず、私の説）の正確な理解ができたかどうかを見るものである。

教科書

小杉修二著『増補 現代中国の国家目的と経済建設 — 超大国志向・低開発経済・社会主義』（龍溪書舎）¥4,000

その他

学習が正解当てクイズに終わるかどうかは諸君の学習意欲にも係わっている。教科書の脚注引用文献や同第5章「諸学説の検討」あるいは授業中にその都度指摘する文献を積極的に読むことを希望する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ア ジ ア 経 済 論	こ ばやし ひで お 夫 小 林 英 夫	禅・仏教・国文・英米文 地理・歴史・社会・法律 政治・経営・短放	4

講義のねらい

本年度は、アジアの経済成長の歴史と現状を論ずる。周知のように、この10年間、アジアは、目ざましい経済成長で、世界の注目を集めた。年平均5%を下らない高い成長率を記録した東アジアの国々は、世界からニーズ（NIES）と称されるにいたったのである。
本年度は、こうした成果を生みだした東アジアに焦点をあてて、その成長の秘密をさぐる。

講義の内容・
授業スケジュール

4月 イントロダクション
5月～7月 東アジアの経済成長の歴史を明治、大正、昭和（戦前）の日本の歴史と関連させて論ずる。
9月～12月 東アジアの経済成長の歴史を戦後の日本の経済成長との関連で論ずる。
1月 まとめ

履修上の留意点

毎回出席をとるといふことはしないが、年に4回ほど小テストを実施する。これをもって出席にかえるが、事前に予告するので、必ず出席し受けること。

成績評価の方法

出席点……………20%
2月テスト…………80%

教 科 書

追って指摘する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日 本 経 済 史	こしょう ただし 古 庄 正	禅・仏教・国文・英文・地理 歴史・社会・法律・政治 短 国 ・ 短 放	4

講義のねらい

開港前の日本は、極東の一封建国家にすぎなかった。1853年（嘉永3年）のペリー（M. C. Perry）来航に始まる鎖国体制の解体と欧米列強による領事裁判権・協定関税率・最恵国条項を内容とする安政条約の強制は、政治的にも経済的にも軍事的にも、幕末日本を植民地化の危機に陥れた。にもかかわらず、開港後わずか数十年の間に、日本は工業化を達成し、アジアにおける唯一の工業国家になった。この講義では、幕末開港後のこうした工業化過程とその歴史的条件をできるだけ系統的に、また分かり易くお話してみたいと思っている。

講義の内容・授業スケジュール

日本経済史の対象はすこぶる広いが、時間的・能力的制約から今年度はこの問題に限定した。お話の中身としてはいまのところ次のテーマを予定している。ただし、年度内に生起する事件の中で、経済史との関連で特に重要なものについては、適宜取り上げてお話するよう心掛けたい。生きた具体的な現実との緊張関係を抜きにした講義は、社会科学の講義としては適切なものではないと思うからである。

- (1) 幕藩体制の動揺
- (2) 開港と植民地化の危機
- (3) 明治維新
- (4) 明治政府の工業化政策
- (5) 政商と天皇・華族の資本蓄積
- (6) 農民の分解と士族の没落
- (7) 自由民権運動と天皇制国家
- (8) 産業革命と工業化
- (9) 紡績と製糸業
- (10) 工業化と在来産業
- (11) 重工業と鉱山業
- (12) 工業化と公害
- (13) 資本主義と地主制
- (14) 鉄道業と海運業
- (15) 外国貿易の発展と構造
- (16) 工業化財政・金融
- (17) 植民地の領有とその矛盾
- (18) 工業化は民衆にとって何であったか。

経済史を含めて、いま、なぜ歴史を学ぶ必要があるのだろうか。講義要綱を書くたびに、いつも気になるのはこの点である。大学の教員のような研究を商売にしている人間は一応別として、一般の学生や市民にとって、果たして歴史を学ぶ必要などあるのだろうか。結果論に言えば、私はやはりその必要があると思っている。戦後補償裁判に事例をとって、その理由を若干述べておきたい。

第2次大戦中、日本政府と日本企業は百万を越える朝鮮人を軍人・軍属・従軍慰安婦として、あるいは労務要員として日本に連行し、酷使虐待の果てに多くの人々を死傷させた。にもかかわらず、日本政府も関係企業もこれに対して何の補償もしなかっただけでなく、未払金さえ支払わずに戦後処理に決着をつけた。

こうした理不尽な戦後処理の再検討を求めて、被害者たちはいま東京地裁その他に提訴し、裁判を始めてる。しかし、日本政府も関係企業も強制連行・強制労働・差別待遇の事実を一切認めず、未払金問題は1965年の日韓協定で解決済として、被害者の要求を突っぱねている。

日本政府と関係企業はなぜこういう傲慢な態度を取り続けているのだろうか。それは、研究者であるわれわれの怠慢と資料不足（敗戦後、国と企業は関係資料を徹底して焼却した）のために、事実の究明が充分でなく、多くの日本人が無知・無関のままに放置されているからであろう。歴史を学ぶことの意義は、現在を知り未来を洞察する武器を仕入れることにあるといわれるが、それは、具体的にはこういうことをいうのではなからうか。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
中 小 企 業 論	三 井 逸 友	禪・仏教・国文・英米文 地理・歴史・社会・法律 政治・経営・短放	4

講義のねらい

「中小企業」を論じるということは、意外に容易ではない。なぜなら、「社会科学的概念」を抽象的に論じるのではなく、慣れ親しんでおり、それなりの「固定観念」や「イメージ」が「言霊」としてつきまとっているのが、日本語の慣用語の一つとしての「チューショーキギョー」だからである。しかしそんな「日用語」を一年もかけて論じようというのがここでのねらいではない。ねらいはむしろ、「中小企業は経済のきわめて重要な(critical)構成要素である」(クリントン米大統領)と評される事実を、客観的総合的にとらえ、考えていくことにある。

日本の中小企業はその数約600万、企業の99%、従業者数の80%を占め、製造業中小企業に限っても80万を数え、付加価値の50%以上を生み出している。まさしく、『日本は「中小企業国」だから強い』(森清著、ダイヤモンド社刊)のである。しかしこのことは、中小企業の地位が安定し、そこに働く人々が十分その成果の恩恵にあずかっていることを示すものではない。中小企業をめぐる格差・不利・経営不安などの「問題状況」も依然広く見られ、度重なる円高」と長期不況の中でまた深刻ともなっている。しかもこのように「期待」と「困難」が交錯するという事態は、いずれの国々でも共通して確認できる。

中小企業をめぐる現実をとくカギを、その実態と当面する問題、そしてこれに対する経済学的な理解の方法を検討し、中小企業の役割・可能性とこれを妨げる諸問題への政策的対応の意味を通じて明らかにしていくのが、この講義のねらいである。

講義の内容・ 授業スケジュール

第一部 中小企業論の課題と対象、規定と構成、問題状況

ここでは、「中小企業論」の性格と方法を示し、その対象としての中小企業の存在の実態を、国際比較を含めて概観する。その上で、中小企業が直面している問題状況や、中小企業の新生・成長と転廃業・退出の経済社会的メカニズムを具体的に検討し、「日本の中小企業問題」の位相と今日性を再確認する。

第二部 「中小企業論」研究の理論と方法

ここでは、中小企業の存立と問題性をめぐる従来の理論・研究を振り返り、新たな方法を提起する。「中小企業存立論」「問題論」や「貢献論」だけでなく、今日の「企業家論」、さらに、いわゆる「ベンチャー企業論」や「企業家精神論」、「ポストフォードイズム論」もここでの批判的検討対象である。それらの限界性をふまえて、現代経済における中小企業の「構造論」的位置づけの方法を指摘する。

第三部 中小企業の現代的存在形態と「経済システム」「経済的関係」

ここでは、うえの研究方法にもとづいて、中小企業の存在の実態を構造的に解明する。「下請制」「地場産業産地」「大都市中小企業」などといった、我が国の中小企業群の形成する分業と協働・集団の諸形態の特徴と最近の動向を追う。結合生産力の「効率性」と、競争と統制・管理の原理の貫徹がもたらす「経済的関係」のうちの問題状況とが、基本的な視覚となる。

第四部 中小企業政策の展開と国際比較

ここでは、「中小企業問題」の展開とこれに対する各国の「中小企業政策」の国際比較研究を行う。ポイントは「生産力的」に成功を収めてきた我が国の「中小企業近代化政策」の評価であるが、これに対する欧米の政策の相違、そして世界経済の一体化、地域経済圏の形成のもとでの、近年の「収斂傾向」を検討し、特にEU欧州連合の政策の特徴にふれる。また、我が国についても、近年の「構造転換」対応策、創業促進策なども検討する。

履修上の留意点

中小企業の研究は、ナマの企業の実態から始まるものであり、その意味で現実感覚が大切である。講義の中では、「教科書をなぞる」ようなことはなるべく避け、今日的現実的な話題を重視したいので、教科書くらいは事前に読んでおくようにしてほしい。また、夏休みには補足的資料として、『中小企業白書』を読んでもらい、希望者にはレポートを書いてもらっている。

成績評価の方法

基本的には、他の専門科目同様、学年末定期試験を中心とする。「出席」を取るという空しい作業をするつもりはないが、「出席状況」は加味する。

教科書

三井逸友『現代経済と中小企業』青木書店、¥2,800(税抜)
同 『EU欧州連合と中小企業政策』白桃書房、¥2,330

参考書等

巽・佐藤編『新版 新中小企業論を学ぶ』有斐閣、中小企業庁編『中小企業白書』〔各年次〕

そ の 他

「講義」形式を基本とするが、企業のナマの現場を理解してもらうため、ビデオ、スライドの上映、企業経営者や行政関係者の方々の話なども取り入れたい。その中で、企業の経営実態、産業動向等についての、担当者の世界各地や全国での見聞も豊富に活用していく。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
教 育 経 済 論	や 谷 しき 敷 ただ みつ 正 光	禅・仏教・国文・英米文 歴史・社会・法律 政治・経営・短放	4

講義のねらい

この講義は経済発展に産業教育が果たした意義とその役割について明らかにするのがねらいである。

日本は近年、「経済大国」として世界的に認められるようになったが、この発展を築いた基礎に日本の高い教育水準と人材養成があるといわれている。そして欧米各国では経済面での国際競争力の低下が教育水準の低下と密接に関連しているとの観点から日本の産業教育政策を説明するとともに、2000年に向けて一斉に教育改革に着手している。アメリカの「危機に立つ国家」「全米教育サミット」「2000年アメリカ」、イギリスの「教育改革法」「二十一世紀に向けての教育・訓練」、フランスの「ジョスパン法」など各国の改革の中心は厳しい経済競争に勝ち残るための教育水準の向上、教育に市場原理の導入、高等教育の質的充実、教育投資の拡大など教育を「国の最優先課題」と位置づけている。

そこで本年度は、こうした欧米先進国の経済再建と教育改革の動向、日本の現状をまず明らかにする。

次に、外国からは高く評価されている日本の高い教育水準、人材養成教育を戦前は産業資本確立期を中心に、戦後は朝鮮戦争を契機に復興した復興期から平成景気までを中心にそれぞれの経済発展段階の特徴とそれに応じた産業界の教育要求と国の教育政策、産業教育政策を明らかにしたい。

講義の内容・授業スケジュール

(1) 欧米先進国の経済の現状と教育

- ① アメリカ
- ② イギリス
- ③ フランス
- ④ ドイツ
- ⑤ 日本

(2) 戦前日本の経済発展と実業教育の振興

- ① 学制時代（明治10年前）
- ② 教育令時代（明治10年代）
- ③ 学校令時代（明治20年代）
- ④ 実業学校令時代（明治30年代）

(3) 戦後日本の経済発展と産業教育の振興

- ① 復興期
- ② 1960年代
- ③ 1970年代
- ④ 1980年代
- ⑤ 1990年代

(1)は前期に、(2)(3)は後期に講義する予定

履修上の留意点

- ① 欠席しないこと。
- ② 現実的理解のため視聴覚教室でビデオを使用することが多いので教室には注意すること。
- ③ 年間数十枚のプリントを配布する予定ですが、一度配布したプリントは、後の時間では配布しないので、必ずその授業時間中に受け取ること。

成績評価の方法

定期試験の成績

教科書

年間25～30枚のプリントを講義資料として配布するので、教科書は特に使用しない。

参考書等

豊田俊雄編『わが国産業化と実業教育』（東大出版）
文部省『産業教育百年史』（ぎょうせい）

科目名	担当者名	配当学科	単位
アメリカ経済論	せとおか 瀬戸岡 ひろし 紘	禅・仏教・国文・英米文 地理・歴史・社会・法律 政治・経営・短放	4

講義のねらい

- ◆ 現代のアメリカ経済事情を幅ひろくわかりやすく解説します。

最新のアメリカ情報と、過去の私のアメリカ生活および研究活動でのエピソードを多数まじえながら、今日のアメリカ経済事情について、幅ひろく、トータルな解説をするのがこの講義です。それとともに、アメリカのできごとと関係のふかい世界の情勢を、ひろく検討します。

- ◆ 特別な経済学の予備知識がなくても理解できる授業です。

この講義を受講するためには、特別な経済学の予備知識などは必要ありません。経済学部以外の学生でも十分に理解できるように、理路整然と、わかりやすく話をすすめます。しかし同時に、アメリカ経済につよい関心をもつ学生諸君には、さらにふかめた研究をしていく動機をつかめるような学問的挑発を試みようかとも考えています。他方、講義でとりあげるニュースとキーワードは、就職などでの試験を受けようとする者にも役にたつものとなるでしょう。全体として、この講義は、いわゆる専門的な特定領域の探究をこころみるものではなく、奥深く興味をつきないアメリカ経済の世界に諸君を道案内するものなのです。受講者のみなさんが、アメリカ経済について自分の力で学習研究していくための動機をつかみ、その基礎的能力をつけることが、この講義の目標です。この講義は、新入生から卒業年度生まで、いずれの年度でも受講できることはいまでもありませんが、以上のべたこの講義の性格からして、3年生までに、あるいはもっと早い時期に受講することをすすめます。

- ◆ 1回の講義でひとつのテーマをとりあげます。

1回ごとに独立したひとつのテーマをとりあげ、完結させるように話します。年間をとおしとくと現代のアメリカ経済の全体の輪郭がわかるように講義を組んでいます。とりあげるテーマには、おおむねつぎのようなものを予定しています。

講義の内容・ 授業スケジュール

《導入の話題》

- ◇ 大統領の今年の経済政策とアメリカ経済の近況

《総論》

- ◇ アメリカの建国の理念と現代の経済 ◇ アメリカ経済の歴史的過程

《アメリカ経済各論》

- ◇ アメリカの農業 ◇ アメリカの工業
- ◇ アメリカの企業家とベンチャービジネス ◇ アメリカの雇用と労働者
- ◇ アメリカの商業とサービス ◇ アメリカの交通・通信・情報
- ◇ アメリカの金融 ◇ アメリカの教育と経済
- ◇ アメリカの科学技術 ◇ アメリカの先端産業
- ◇ アメリカ経済と環境問題 ◇ アメリカ社会とヴォランティア
- ◇ 女性・マイノリティーとアメリカ経済

《世界とアメリカ》

- ◇ 国際通貨ドルの地位とIMF ◇ アメリカと貿易（GATTとWTO）
- ◇ アメリカ軍の世界的ネットワークと経済的意義 ◇ アメリカの海外援助
- ◇ アメリカの多国籍企業 ◇ 多国籍企業とアメリカ経済

《アメリカと世界の諸地域》

- ◇ アメリカとEC ◇ アメリカと日本
- ◇ アメリカとアジア・太平洋 ◇ アメリカとカナダ・メキシコ

《むすびの話題》

- ◇ アメリカの経済学（あたらしい学派の見解）

毎回の講義では、まずテーマに即した最新のニュースを話題にするところから話をはじめ、ついでそれぞれのテーマを理解するための基礎的な事実とキーワードを具体的な資料やデータにもとづいて解説します。各講義のしめくりには、受講者諸君との対話を大切にしながらテーマの本質について考えてみます。

- ◆ あたらしい情報やトピックスを、解説つきで、つねに受講者に紹介します。

年間予定とは別に、あたらしいニュースや情報は、随時、解説をつけて、お話しします。ただし、ただあたらしいことを追うばかりにおちいらぬで、ことの真相や本質的なことがらを、ちょっとたちどまって考えることができるような、多少とも理論的な視角をもちこみます。

- ◆ アメリカの諸大学にみられる長所をとりいれた授業です。

講義は、極力、受講者諸君の希望をいかして、たのしくすすめるつもりです。とくに、この講義には、アメリカの大学に見られる望ましい習慣をとりいれるようにこころがけています。たとえば、ながい時間の講義に諸君がつかれて集中力をおとさないように、講義の途中で小休止をおくようにしています。講義のなかでの受講者諸君の発言や質問は大歓迎です。講義にたいする受講者の側からの評価や採点、改善提案などは、もちろん今年も実施します。

教科書

- ◆ 最新の情報をもとに講義をすすめます。だから特定のテキストは使用しません。

この講義では、特定の図書を教科書として使用しません。アメリカ経済をあつかった文献はあまりにたくさんあって、しかもどの一冊も、これさえ読めばアメリカ経済が把握できるというほどアメリカ経済は単純ではないからです。講義では、その都度よい文献などを紹介していきます。日々のニュースと諸君の周囲にあるさまざまなアメリカものの本の全体が、この講義の教科書ですが、今、どうしてもといわれれば、グリーンバーグ著『資本主義とアメリカの政治理念』（瀬戸岡訳、青木書店、1994年）をおすすめします。

成績評価の方法

- ◆ 熱心な受講者には楽勝の、単位だけがほしい学生には恐怖の科目です。

この講義については、いわば単位をかすめるとることなど考えないほうが無難でしょう。すすんで受講しようとする者には、退屈させない楽しい講義をするつもりですし、また、そういう受講者がよい成績をおさめられるように評価のしかたを工夫しています。たとえば、この講義では、一発の年度末試験よりも平常点や時間をかけて書きあげたレポートを重視する予定です。近年では、受講者との協議により、この講義のなかでいただくようになった問題意識をもとに、アメリカ経済にかんする自由論題で、小論文を年度末に提出してもらうようにしています。今年度も受講者との合意が成立すれば、平常点を考慮にいれつつ小論文を中心に成績評価をすることにしたいと考えています。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日 本 経 済 論	もり 森 たけ 武 まろ 鷹	禅・仏教・国文・英米文 地理・歴史・法律・政治 短 国 ・ 短 英	4

講義のねらい

1980年代の後半には、日本のGNPは世界の14%を占めるまでになった。1950年が1%であることと比べるとこの間いかにすさまじい経済成長であったかがわかる。また、1950年代には世界のGNPの40%を占めていたアメリカはこの間に25%までに低下し、貿易赤字と財政赤字に苦しみ1985年には初めて債務国に転落した。しかし、日本経済も1980年代の好景気、バブル経済を謳歌したが、1990年代には一転して本格的な不況局面に突入し、出口はいまだ見えない状態である。驚くべき経済成長とゆたかさの背後に、日本社会は公害・環境破壊、企業内の長時間労働、少ない休暇とサービス残業、高地価による貧困な住宅条件、長い通勤時間など社会的な矛盾もまた累積していった。

このような社会変動をもたらした日本経済の成長はどのようにして生まれたのであろうか。その成長の軌跡と矛盾を、日本株式会社論や1940年体制論などの現代経済システムの源流論や、企業主義・会社主義、日本型フォードイズムなど最近の日本型経営論や日本的労使関係論を視野に入れながら論じてみたい。

講義の内容・授業スケジュール

1930年代の世界大恐慌から第2次世界大戦をへて1945年の敗戦による日本経済の崩壊から、戦後改革と高度経済成長をへて「経済大国」化した1980年代までの日本経済の段階的変化と構造的特徴を把握することをねらいとする。

講義の進め方は、1930年代から1990年代にいたる日本経済の軌跡を5期に区分してそれぞれの時期を資本構造、労使関係、農業問題、対外関係の4つの視点から明らかにしていく。

年間の講義スケジュールは以下の通りである。

- 1 財閥資本と金融資本
- 2 昭和恐慌と高橋財政
- 3 恐慌下の労資関係
- 4 戦時統制経済
- 5 戦時下の農業問題
- 6 大東亜共栄圏
- 7 財閥解体と再編成
- 8 戦後資本主義の再建
- 9 労働改革
- 10 農地改革
- 11 高度経済成長とは何か
- 12 企業集団と法人資本主義
- 13 日本的労使関係
- 14 高度成長下の農業問題
- 15 石油危機と高度成長の終焉
- 16 経済大国化への道
- 17 日本型企业社会の確立
- 18 現代経済と労使関係
- 19 現代の農業問題
- 20 世界の中の日本

履修上の留意点

履修に関していえば、日本経済の最新の新聞情報を毎回解説し、講義内容もだれでも理解できるように、そのつど参考資料(図表)を配布し、補助教材としてビデオを利用する。

成績評価の方法

成績評価は期末試験を中心に採点する。さらに中間テストとして夏休みにレポートを課す予定である。出席状況も評価に加える。

教科書

森武鷹ほか『現代日本経済史』(有斐閣)1,700円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
財 務 会 計 論	えん どう 遠 藤 孝	禪・仏教・国文・英米文 地理・歴史・社会 法律・政治・短大	4

講義のねらい

会計学、とくに企業の活動内容を外部に伝達開示することを目的とする財務会計（FINANCIAL ACCOUNTING）について、その伝達、開示の手段である貸借対照表（BALANCE SHEET）、損益計算書（INCOME STATEMENT）を中心に、その性格、内容、役割について講義する。

講義の内容・
授業スケジュール

前 期

- ① 4月第1週
企業会計、財務会計とは何か。
会計学、財務会計論とか何か。その企業会計、財務会計の何を学ぶのか。
- ② 4月第2週
先週に引続き、企業会計、財務会計とは何か。企業会計、財務会計がわれわれの生活とどのように関係しているのかを中心に講義。
- ③ 5月第1週
財務会計の制度性について。
企業会計制度とは何か。日本の企業会計制度、各国企業会計制度のタイプ。
- ④ 5月第2週
貸借対照表論。貸借対照表とは何か、実際に企業が作成した貸借対照表で説明。貸借対照表の役割、貸借対照表学説。⑤ 5月第3週
資産評価について。流動資産 — 棚卸資産の評価、有価証券の評価、現行評価制度の問題点。
- ⑥ 6月第1週
資産評価について。固定資産の評価、土地評価、減価償却について。
- ⑦ 6月第2週
繰延資産について。繰延資産の特殊性、繰延資産項目とその償却。
- ⑧ 6月第3週
引当金について、引当金とは何か。引当金の設定基準 — 商法、「企業会計原則」の引当金、引当金会計の問題点。
- ⑨ 6月第4週
同上
- ⑩ 7月第1週
資本会計について。

後 期

- ⑪ 9月第1週
損益計算書とは何か。費用収益の認識。
- ⑫ 9月第2週
連結財務諸表とは何か。
- ⑬ 9月第3週
同上
- ⑭ 10月第1週
セグメント会計について。
リース会計について。
- ⑮ 10月第2週
企業内容、会計内容の開示について。
注記 財務諸表附属明細表（書）
- ⑯ 10月第3週
同上
- ⑰ 10月第4週
財務諸表の監査、商法上の監査。
- ⑱ 11月第1週
財務諸表の監査、証券取引法上の監査。
「企業会計原則」について。
- ⑲ 11月第2週
会計の国際化、会計基準の国際的調整。
- ⑳ 11月第3週
同上
- ㉑ 11月第4週
日本、世界企業会計の最新動向。
- ㉒ 12月第1週
同上
- ㉓ 12月第2週
会計学を学ぶについて考えるべきこと。 — 総括
- ㉔ 最終週
予備。

以上のスケジュールは、学会出張、大学祭など大学の行事によって変更することがある。

履修上の留意点

講義には必ず出席すること。

成績評価の方法

試験による。（前期、後期2回実施の予定）

教 科 書

講義の際指示。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
管 理 会 計 論	なか はら しょう きち 中 原 章 吉	禅・仏教・国文・英米文 地 理 ・ 歴 史 ・ 社 会 法 律 ・ 政 治 ・ 短 放	4

講義のねらい

「管理会計」という分野は、多くの人にとって、大学に入って初めてお目にかかるものです。どの分野でも、ある段階に達するまでには、何段もの階段を一段一段昇ってゆかねばなりません。この「管理会計論」は、その二段目にあたる科目です。一段目の科目は「会計学総論」です。「管理会計論」は、企業の「ことば」である会計、その知識体系である会計学の学習に必須な会計学の主要な2領域である「財務会計」と「管理会計」のうちの一つであるということができると思います。「財務会計」が企業の外への「ことば」であるのに対して、「管理会計」は企業の内での「ことば」です。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、管理会計の本質、体系その中での意思決定会計と業績管理会計をキーとして管理会計の基礎的概念を説明すると共に予算管理や原価管理との関連についても講義していきたいと思えます。

後期は、管理会計の豊富な各論のなかから、「財務諸表分析」と「付加価値管理会計」をキーとして管理会計の問題点を検討します。「財務諸表分析」については、その企業の健康診断としての役割を、方法とその留意点、収益性の分析、生産性の分析、安全性の分析、総括的方法を内容として説明します。「付加価値管理会計」については、経営計画とくに要員計画と付加価値会計、経営管理のための付加価値生産性を内容として説明します。

履修上の留意点

1年生で「会計学総論」を選択しなかった経済学科の学生は会計学の入門書を読んでおく講義が理解しやすいと思います。例えば、『企業会計の基礎知識』（創成社）

教 科 書

講義の際、指示します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
会 計 監 査 論	い い 飯 お か 岡 と お る 透	禪・仏教・国文・英米文 地 理・歴 史・社 会 法 律・政 治・短 放	4

講義のねらい

会計監査の目的は、企業の作成した財務諸表がその企業の財務状態や経営成績を適正に表示しているかどうかについて、監査人が意見を表明することであり、企業規模の拡大、利害関係者の多様化、企業活動の複雑化、一部企業における不正問題の発生などに伴い、近年、その役割はますます重要になってきている。そこで、この講義では、こうした会計監査の発展過程、制度、社会的役割などを中心に会計監査について受講者の理解を深めることを目的としている。

講義の内容・
授業スケジュール

〔前 期〕

- 4月 会計監査の目的と種類
- (1) 会計監査の目的
 - (2) 会計監査の種類
 - (3) 監査基準の必要性和その構造
- 5月 わが国監査制度の展開
- (1) 第2次世界大戦前におけるわが国監査制度の展開
 - (2) 第2次世界大戦後におけるわが国監査制度の展開
監査人の要件と責任
 - (1) 監査人の要件
 - (2) 監査人の選任と解任
 - (3) 監査人の職務権限と責任
- 6月 監査要点と監査手続の選択適用
- (1) 監査要点の意義と種類
 - (2) 通常実施すべき監査手続とその内容
- 7月 監査証拠の種類と内容
- (1) 監査証拠の意義と分類
 - (2) 十分な監査証拠と分理的な基礎

〔後 期〕

- 9月 内部統制と監査リスク
- (1) 内部統制の構成要素
 - (2) 内部統制の評価
 - (3) 監査リスクと重要性
- 10月 監査計画と組織的監査
- (1) 監査契約と予備調査
 - (2) 監査計画の目的とその設定
 - (3) 組織的監査の重要性と審査機能の整備
 - (4) 他の監査人の監査結果の利用
- 11月 監査調査の目的と種類
- (1) 監査調査の目的と作成要件
 - (2) 監査調査の種類と保存
経営者確認書の意義と記載内容
 - (1) 経営者確認書の意義と目的
 - (2) 経営者確認書の記載内容
- 12月 監査報告書と監査概要書
- (1) 監査報告書の意義と機能
 - (2) 監査報告書の種類
 - (3) 短文式監査報告書の記載内容
 - (4) 特記事項の記載内容
 - (5) 監査概要書の目的と記載内容
- 1月 この講義の総括と年度末試験の説明
なお、以上のスケジュールは、学会出張、大学祭などにより変更することがある。

履修上の留意点

会計監査は、財務諸表の適正性についての意見表明を目的とするものであるから会計学総論、簿記論及び財務会計論の講義を履修し、財務諸表について十分に理解していることが望まれる。

成績評価の方法

レポート（30%）及び年度末のテスト（70%）の結果によって評価する。

教 科 書

飯岡・市村・島崎共著『会計監査概論』中央経済社 3,500円

参 考 書 等

飯岡透著『中間財務情報制度論』中央経済社 3,800円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
商 業 政 策	未 定	禪・仏教・国文・英米文 地理・歴史・社会・法律 政治・経営・短放	4

講義のねらい

近年、産業構造が著しく変化し、第3次産業、特に流通産業のウェイトが産出量においても就業構造においても高まっている。従来、新聞紙上において流通に関する記事はあまり見かけなくなったが、最近では経済紙はのみならず、一般紙においても毎日なんらかの流通および流通産業、流通企業についてのニュースが掲載されている。また、わが国は諸外国から産業政策そのものが非関税障壁だと非難を浴びているように政策的誘導が著しい。流通産業も例外ではない。

この講義ではこのような流通産業について、小売業を中心にして大手小売商業資本の資本蓄積構造とそれを可能にする公共政策を資本主義の現段階のなかで考える。

講義の内容・授業スケジュール

序 商業政策入門 —— 国民生活と流通・流通政策

文献解題

1. 現代資本主義論
 - 1) 資本主義の成立と発展
 - 2) 90年代資本主義の特徴
2. 小売商業構造と大手小売商業資本の資本蓄積構造
 - 1) 小売商業構造
 - 2) 80年代の大手小売商業資本の資本蓄積構造
 - 3) 90年代の大手小売商業資本の資本蓄積構造
3. 流通政策論
 - 1) 中小小売商業保護政策論
 - 2) 流通近代化政策論
 - 3) 流通システム化論
 - 4) 流通革命論
4. 流通ビジョンと流通政策
 - 1) 70年代の流通
 - 2) 80年代の流通産業ビジョン
 - 3) 90年代の流通ビジョン
 - 4) 21世紀へ向けての流通ビジョン
5. 小売商業調整政策の展開過程
 - 1) 百貨店法 —— ①第1次百貨店法（1936年）②第2次百貨店法（1956年）
 - 2) 中小小売商業振興法
 - 3) 小売商業調整特別措置法
 - 4) 大規模小売店舗法（大店法） —— ①1973年法②1979年改正法
③現行法（1991年改正法）
 - 5) 地方自治体による独自規制 —— ①条例②指導要綱③凍結宣言
 - 6) 通産省による行政指導
6. 規制緩和と流通政策
 - 1) 日米構造問題協議と大店法
 - 2) 大店法の運用適正化措置
7. 特定商業集積法と街づくり
 - 1) 特定商業集積法
 - 2) 街づくりと都市計画
8. 海外の流通政策
 - 1) イギリス —— ①出店調整政策②営業時間規制政策
 - 2) フランス —— ロワイエ法
 - 3) ドイツ —— 土地利用計画
 - 4) アメリカ —— ゾーニング規制
9. 流通問題と消費者保護政策
10. 流通問題と独禁政策

成績評価の方法

出席、レポート、試験等により評価する。

教科書

特に指定しない。

参考書等

必要に応じてその都度指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
貿 易 論	ふる さわ こう そう 古 沢 紘 造	禅・仏教・国文・英米文 地理・歴史・社会・法律 政治・経営・短放	4

講義のねらい

オゾン層破壊，熱帯林破壊，温暖化，酸性雨，放射能汚染など地球を取り巻く環境はますます深刻になっています。一方，私たち生命体は水・大気・土壌の汚染により生存を脅かされるところまで来ています。本講義では，こうした危機的状況を踏まえ，生命系の経済学の立場に立って，貿易問題，さらには国際分業のあり方について深く考えてみたいと思います。その中で，経済学，生態学，倫理学からなる総合的視覚の重要性を認識しつつ，私たちの生活のありようを問うことにも力を注ぎたい。

生命系の経済学とは，人格をもった人間としてのニーズ，環境，資源，地球のすべての生命との共存，などを基準とした主体的な指標の確立と，それを実現し保証する政策と運動を具体的に提出する経済学です。詳しくはポール・エキンズ編著『生命系の経済学』（御茶の水書房）を読まれるとよいでしょう。

講義の内容・ 授業スケジュール

- I 生産・消費と貿易
 - 1 農産物と貿易
 - 2 水産物と貿易
 - 3 林産物と貿易
 - 4 鉱物資源と貿易
 - 5 工業製品と貿易
- II 政治・経済・社会と貿易
 - 1 開発援助と貿易
 - 2 環境と貿易
 - 3 公正と貿易
 - 4 地域統合と貿易
 - 5 総括：貿易と暮らしを問う
具体的な内容については，最初の講義のときに話したい。

成績評価の方法

ペーパーテスト，レポート，討論，報告発表など，できれば多面的な評価を試みたい。答案やレポートを書くとき，論点を明確にし，自分の考えをしっかりと出すように努力してもらいたい。思考の跡がうかがえないものは，評価の対象とはならないでしょう。

教 科 書

とくにこれといった教科書は使いません。専門用語などむずかしいことは，そのつど説明しますので，授業に出てもらえれば内容は充分理解できると思います。

参 考 書 等

講義の中で特に興味をもち，もう少し掘り下げてみたいことがありましたら，遠慮なく相談に来て下さい。参考になる本など教えます（研究室，第2研究館，4階34号室）。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
マーケティング	曾 我 のぶ たか 曾 我 信 孝	禅・仏教・国文・英米文・地理 歴史・社会・法律・政治 短 国 ・ 短 放	4

講義の内容・
授業スケジュール

前期はマーケティングの基本的な政策である4つの政策を、現状をふまえながら講義をする。その概略は次のとおりである。

- (1) 製品政策……マーケティングで展開される製品にかかわる政策の内容を説明し、それらが需要創造にどのように作用しているかも同時に説明していく。その内容は、①製品の差別化、②市場の細分化と製品の細分化、③製品のライフサイクルの短縮化と陳腐化政策の関係などである。
 - (2) 価格政策……現代の価格は需要と供給で決定されているとはいえない。また、小売価格は生産原価と必ずしも因果関係があるとはいえなくなっている。一般的には購買環境を前提にして価格は設定されているといっても過言ではない。そのような価格設定がマーケティングの政策のひとつである。そこで、①価格設定の方法、②差別価格と消費者との関係、③価格による消費者支配などを説明する。
 - (3) チャネル政策……自己の製品の流通経路の選定の政策について説明する。企業にとって、自己の製品の特性にあわせて、もっとも合理的な流通経路を選択しようとしている。それはたんに流通コストの問題だけではなく、販売チャンスや需要創造の問題にもかかわるからである。そこで①商業の排除と系列化、②流通支配の形態、③新業態への対応などを説明する。
 - (4) 促進政策……上記の3つの政策も販売促進政策の効果があるが、それらに含まれない販売促進政策について説明する。その内容は①販売員管理、②広告の方法と実態についてである。
- 後期はマーケティング理論の応用と国際マーケティングについて説明する。とりわけ、日本企業が国際マーケティングを展開するようになった背景を説明し、日本企業の多国籍化の過程について説明する。その内容は、次のとおりである。
- (1) 国際経済環境の変化と日本企業の対応……NAFT、EUなどブロック経済化に日本企業が現地法人化で対応してきた過程を説明する。その内容は①アメリカでの現地化の過程、②EUへの現地化の方法と過程、③日本企業の現地化と総合商社の役割などである。
 - (2) 国内市場の変化と国際化……とりわけ価格志向品の現地生産とその製品の輸入について説明する。その内容は、①日本の規制緩和と製品輸入、②途上国・共産国での現地生産と輸入、③中小企業の現地化と総合会社との関係などである。
 - (3) 日本企業の多国籍化と財務……日本の多くの企業が多国籍化を展開したのは、外的要因によるどころが大きい。しかもそれは急速に展開しなければならない状態であった。それを実現できた日本の企業は、膨大な資金調達が可能であったからである。その内容を①資金調達の多様化、②エクイティ・ファイナンスと金利などの面から説明する。
 - (4) 総合会社と国際マーケティング……日本の多国籍企業の典型である総合会社のマーケティングの展開について説明する。これまで総合会社は素材を中心とした貿易業務を主体としてきたが、日本企業を取り巻く環境の変化によっていっそう排除の傾向が強くなってきた。それに対応する政策として、自ら生産や小売部門に進出しマーケティングを展開している。そこで、①総合会社の子会社戦略、②総合会社のマーケティングの特性などについて説明する。

成績評価の方法

定期試験、小テスト、出席等によって評価する。定期試験に大きなウェイトをおいていることはいままでもないが、ここでは講義内容の理解はもちろん、問題に対する自分なりの解決の力と応用力を期待している。

教 科 書

曾我信孝『総合会社とマーケティング』白桃書房、¥4,000

参 考 書 等

必要に応じて紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
原 価 計 算 論	かとうとし やす 加 藤 利 安	禪・仏教・国文・英米文 地 理 ・ 歴 史 ・ 社 会 法 律 ・ 政 治 ・ 短 放	4

講義のねらい

19世紀中葉において確立した原価計算は、目的手段体系として、その成立の当初から現在に至るまでさまざまな実践の場から提起され、時代とともに変容する各種の目的に応えることが期待されてきた。わが国の「原価計算基準」は原価計算の果たす目的を5つ列挙している。換言すると、財務諸表作成目的（財務会計目的）と経営管理目的という包括的な2つの目的を達成すべきものとして設定されている。しかしながら、基本的には、財務会計的側面に強く傾斜しており、全部原価計算による製品原価の計算に主眼が置かれている。しかし他方において、戦後における原価計算の研究は、その経営管理的利用面において大いに開発されてきている。標準原価計算、直接原価計算そして貢献利益計算等が提唱され、さらに最近に至ってはプロジェクト・プランニングや戦略的な経営管理の計数的技法として関連原価計算や活動基準原価計算が論議されている。このように、一定の時代的、環境的状况の認識の下で、ある特定の社会的役割を果すべく設定されてきた原価計算制度・「原価計算基準」も、その変容した今日的な経済的、社会的な環境下で、現実的な課題への適合性が問題とされるに至り、原価計算システムの再構築や管理会計基準設定等の提言が数多くみられるようになっている。それは、「異なる目的には異なる原価計算システム」の開発可能性という様相を表わしている。一定の環境状況の下で、企業経営の現実的課題と関連して計算目的が設定され、目的達成の手段であるとすれば、原価計算の目的手段体系の因果的理解ができるのではないか。このような趣旨で本年度の授業内容は、わが国の原価計算基準を所論展開の中心としながらも、その後展開された各種委員会の研究成果を踏まえつつ、それらを一過性の会計現象として捉え、それをできるだけ系統的に分析し、原価計算の展開過程を論理的に説明することを心掛ける。

講義の内容・授業スケジュール

前期では、原価計算の基礎的考察を行う。原価の諸概念の検討や「原価計算基準」設定の意義そしてその構成上の特質について検討を加える。

後期では、近年における原価計算の展開過程の特徴を「原価計算基準」と関連させながら解明する。そこでは主として、意思決定指向的な原価計算としての関連原価計算、活動基準原価計算について検討を加える。

履修上の留意点

原則として、学年末の定期試験の成績に基づいて評価するが、夏期休暇前の最終授業時において簡単な試験も行う。

教 科 書

最初の授業時に指示する。

参 考 書 等

授業時に適宜挙げる。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
労 務 管 理 論	いし い じょう じ 石 井 脩 二	禅・仏教・国文・英米文 地理・歴史・社会・法律 政治・短 放	4

講義のねらい

日本企業を取り巻く経営環境は、急激に変化しつつある。国際的にはいわゆる冷戦体制の崩壊の中で、欧州・アメリカ・アジアを中心とする世界三極経済体制への動き、そのような動きの中で依然として激しく展開される国際市場での企業間競争や貿易摩擦のくすぶり、国内的には杞憂則に進展する情報技術革命を背景とした経済基調の変化、豊かさを背景とした市場の不透明度の高まり、競争戦略の変化など従来までの経営理念・経営政策ではもはや立ち行けない状況が生み出されている。さらに、近年の日本企業を特徴づけている政官財癒着による倫理性のかけらもない企業犯罪の頻発、いわゆるバブル崩壊後の企業業績の悪化を背景として中高年層を中心とした首切り政策や若年層・新規学卒者への採用抑制の実施といった企業の存在意義そのものが問われる状況をも作りだしている。このような経営環境の変化や企業の社会的存在意義への疑問は、日本企業が今後どのような方向に進んでいくのかというその「将来予測」を難しいものにしていく。社会の進む方向も企業の将来もきわめて不透明な時代に必要とされることは、現実に生起している事実に関する情報を可能な限り収集し、事実情報に基づいて次なる時代の方向性を自分なりに読み見定めることである。この講義では、日本企業を取り巻く環境変化や日本企業の現実に関する最新の情報に基づきながらこれから到来する社会がどのようなものであるのか、そこでは人々の職業生活がどのように変化し、どのような人材が活躍することになるのかを考えていく。

講義の内容・授業スケジュール

企業は、一般にヒト・モノ・カネ、さらに情報といった有形・無形の経営資源を組み合わせ、企業目的の実現を図ってきた。日本企業が世界でも注目されるほどの強い競争力を発揮しえたのは、これら経営諸資源の中でもヒト資源の活用の巧みさによるものと言われてきた。このヒト資源の有効活用に関わる経営活動は、「人事労務管理」といわれるもので、日本企業の強さは、日本企業の人事労務管理の卓越性にあり、また日本企業の人事労務管理こそ「日本の経営」の別名でもあると言うことが出来た。ところが、現在では日本企業が作り上げてきた効率優先の競争力が疑問視されはじめると共に競争力そのものに翳りが見えはじめていく。このことは、従来まで日本企業の競争力の源泉であった人事労務管理すなわち日本の経営がその妥当性を失いはじめていくということを示している。その理由は、この講義のキーワードでもある工業化社会から情報化社会への転換である。この講義では、日本企業が工業化社会の中で築き上げてきた「人事労務管理」が情報化社会の到来の中で急速にその妥当性を失い「人材資源管理」という新しい名称の下に内容を新しくしている状況を極力最近の日本企業の動きを追いつつ検討を加えると共に、それらの新しい人材政策が働く側から見たときにどのような影響をもたらすものかということも考察する。このような検討や考察に基づいてどのような企業の将来像が浮かび上がってくるかを考える。講義は、新規学卒者とりわけ大卒者の企業内での職業経歴を中心として従来までの方式・制度とその変化の様相について情報を提供する。次のような順序で進める。

- 序 章 人事労務管理から人材資源管理へ
- 第1章 企業内従業員秩序の編成原理と変化
- 第2章 採用管理
- 第3章 教育訓練と能力開発
- 第4章 配置・配置転換
- 第5章 報酬管理
- 第6章 労働時間管理
- 第7章 退職管理
- 結 章 21世紀日本企業の人材管理

成績評価の方法

定期試験（後期）にて評価。評価は、答案の論理性と説得性を基準として採点する。

教科書

菅野康雄／石井脩二『人材資源管理論』中央経済社（予定）。
このテキストを利用するつもりだが、当分の間は授業時間中に配付するプリントを中心として講義を行う。

参考書等

日本経済新聞社編『ゼミナール現代企業入門』日本経済新聞社、2,800円
津田真澄『新・人事労務管理』有斐閣、1,957円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
経 営 管 理 論	な とり しゅう いち 名 取 修 一	禅・仏教・国文・英米文 地理・社会・短国	4

講義のねらい

企業は、特定の目的を達成するために、ヒト・モノ・カネ・情報の諸資源が体系的に統合化された維持継続体であるといえる。それは、人間が目的を設定し、企業という組織的力に諸資源を結集される。目的達成の過程にあつては、物的資産、資本、情報に人間が機能的にして生命を与え、活用し、消費する。そこでの主役は人間の活動にある。

企業の目的達成過程では諸資源が体系化され、参加者の行動は統合化され、統制される。そこには、組織から与えられた目的達成活動と各個人々の個人的欲求や動機の満足度が問題となる。組織的活動にはこの二面性が含まれる。

企業経営における管理者は、個人々の多様性を組織全体としての目的達成への個々の行動を調整し、全体行動として統合化する必要がある。管理者はその立場にあつて、メンバーの個人的側面を認識したうえで、個人々の行動を組織目的に規定する役割をもっている。

本講義では、このような考え方に基づいて、管理とは何か、管理作用のもつ意味を考え、個人的また人々の集合としての社会的状況との相互作用を具体的に示しながら管理問題を考察する。

成績評価の方法

年度末試験により評価する。

教科書

伊藤収編著『経営管理論』、建帛社、¥1,800

参考書等

バーナード、C. I 著『経営者の役割』ダイヤモンド社
鈴木幸毅著『企業と管理の理論』、税務計理協会
その他講義のなかで適宜指導する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
行 政 法 各 論	さいとう ひさし 齊 藤 寿	禅・仏教・国文・英米文 地理・歴史・社会・経済 商・経営・短放	4

講義のねらい

「各種行政法，原理の究明」
1年間・全体を通して，極めて楽しい雰囲気の中で，各種行政法の法理解明を，興味深く行います。特にこの講義は生きた行政法を重視しながら行います。

講義の内容・ 授業スケジュール

- 第1回 「行政組織法」の概要について。
- 第2回 国家行政組織法について。
- 第3回 内閣法について。
- 第4回 行政官庁について。
- 第5回 府・省・委員会・庁・地方支分部局について。
- 第6回 人事院と会計検査院について。
- 第7回 地方自治法について。
- 第8回 地方公共団体の種類と性質と区域と名称について。
- 第9回 大都市の特例と特別地方公共団体について。
- 第10回 公共組合と営造物法人について。
- 第11回 地方公共団体の議決機関と執行機関について。
- 第12回 地方公共団体の住民の諸権利と事務と権能について。
- 第13回 国と地方公共団体の関係について。
- 第14回 公務員法の概要について。
- 第15回 国家公務員法について。
- 第16回 地方公務員法について。
- 第17回 公物法について。
- 第18回 営造物法について。
- 第19回 「行政作用法」の概要について。
- 第20回 警察法・消防法・防衛法について。
- 第21回 警察行政における五大原則と規制手段について。
- 第22回 統制法について。
- 第23回 公企業法について。
- 第24回 公用負担法について。
- 第25回 公用収用について。
- 第26回 財政法について。
- 第27回 会計法について。
- 第28回 租税法について。
- 第29回 試験。

履修上の留意点

※この講義は，楽しくかつ役に立つ講義です。私といっしょになって，「行政法各論」を楽しく研究してみませんか。
—— 私が，みなさんを，「水飲み場」へご案内します。
目には火を，顔には光をいだいて，ついてきて下さい。
Rouse up, O, Young Men of the New Age! (目覚めよ，新時代の若者たちよ!) —— との，イギリスの詩人，ウィリアム・ブレイクの叫びを，この際，みなさんに送りましょう。

成績評価の方法

試験の成績とレポートの成績を合せて，学年の成績とします。

教科書

拙著の中から，講義の際，選択・指示します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
親 族 法	かの 叶 かず 和 お 夫	禅・仏教・国文・英文・文 地理・歴史・経済・商 政治・経営・短大	4

講義のねらい

婚姻制度等に関する民法改正要綱試案の中の重要な問題点や内縁、養子制度等のほか、高齢者の扶養や財産管理をめぐる成年後見制度等を文明諸国家の法制度を視野に置いた上、現代の視点に立って論説する。判例及び実務の経験をおりませて、面白く楽しい講義にしたい。

教 科 書

遠藤浩他 5名編集
『民法(8)親族 第3版増訂版』(有斐閣双書)

参 考 書 等

島津一郎編『基本法コンメンタール第3版 親族』別冊法学セミナー (日本評論社)

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
相 続 法	かの 叶 かず 和 お 夫	禅・仏教・国文・英文・文 地理・歴史・社会・経済・商 政治・経営・短大	4

講義のねらい

相続制度全般にわたって講義するが、遺言及び遺産分割を詳説したい。判例及び実務の経験をおりませて面白く楽しい講義にしたい。

教 科 書

遠藤浩他 5名編集『民法(9)相続 第3版』(有斐閣双書)

参 考 書 等

島津一郎編『基本法コンメンタール相続』別冊法学セミナー (日本評論社)

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
比 較 憲 法	たけ はな みつ のり 竹 花 光 範	禅・仏教・国文・英米文・地理 歴史・社会・経済・商・経営 短 国 ・ 短 放	4

講義のねらい

比較憲法が、一つの学問領域を構成しているかどうかについては議論があるといわなくてはならない。それは、むしろ、科学としての憲法学を確立するための「立法」であると考えべきではないかと思う。そこで、本講義では、なぜ、「科学としての憲法学」にとって、比較憲法的な考察が重要であるのかについて理解を得ることに重点をおきたい。

講義の内容・
授業スケジュール

講義は以下の順序で進める予定である。

- ① 比較憲法とは
- ② 憲法概念と分類
- ③ 国体と元首（共和制と君主制，元首，国のシンボル等）
- ④ 統治の原理と構造（民主政治の基本原則，議院内閣制と大統領制，一院制と二院制，社会主義国の統治機構等）

もちろん②以下については、いずれも比較憲法的な考察を加えるのであるが、場合によっては、そのような考察を通じて「通説のウソ」を指摘することもあると思う。

履修上の留意点

本講義は、各国憲法の個別解説的な内容ではない。そのような講義は、例えばアメリカ憲法論でありドイツ憲法論であって、比較憲法ではないということについて留意してほしい。

成績評価の方法

成績の評価は、論述型のペーパーテストによって行う。前もって数題提示し、その中から出題することになるものと思う。

教科書

教科書は用いないが、章、節により、準教科書的な文献を示すことはある。

参考書等

必要に応じて講義の中で紹介する。

その他

講義の理解度を高めるために、できれば世界の主要国の憲法が集録された憲法集を用意していただきたい。もっともハンディなものとして、宮沢俊義編『世界憲法集』（岩波文庫）を紹介しておく。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
経 済 法	おか だ と し ひろ 岡 田 外 司 博	禅・仏教・国文・英米文 地理・歴史・社会 経営・短放	4

講義のねらい

独占禁止法は、資本主義社会において公正かつ自由な競争を確保することを通じて、市場メカニズムの機能を発揮させる役割を持つ重要な法律として最近注目を集めている。本講義は、この独占禁止法に関する学説と実務について、一通りの基本的知識を獲得することを当面の目標としている。また、受講者が実際に企業実務に携わる立場になった時に、独占禁止法上の問題を発見し、対応できるような能力を本講義によって得ることを期待している。

講義の内容・授業スケジュール

授業のスケジュールについては別途予定表を配布する（前半と後半を分けて配布するつもり）ので、おおむねそれに従って授業を進める。ただし、場合によっては途中で変更することもありうる。

履修上の留意点

予定表に従って予め教科書の該当部分をよく読んで上で講義に出席することが望ましい。

成績評価の方法

試験による。

教科書

厚谷襄児『独占禁止法入門』（日本経済新聞社）750円

参考書等

授業時に随時参照する資料として、『独禁法審決・判例百選（第四版）』（有斐閣）2,400円を指定する。その他の参考文献としては、例えば次のものがある。

松下満雄『経済法概説（第2版）』（東京大学出版会）

実方謙二『独占禁止法』（新版）（有斐閣）

川越憲治『全訂独占禁止法——競争社会のフェアネス』（金融財政事情研究会）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
地 方 自 治 法	うめ き たかし 梅 木 崇	禅・仏教・国文・英米文・地理 歴史・社会・経済・商 経営・短国・短放	4

講義のねらい

地方自治法は、相当におおきな法律であり、その内容も多岐にわたっている。そして行政法を解説する具体例を豊富に提供している。また、われわれの日常生活に関係する部分がおおい。その意味で親しみやすい法律であるといえることができる。

講義の内容・授業スケジュール

講義では、行政法の具体的説明というかたちをとる。行政法総論では必ずしも理解がいきとどいたとはいえない点について、地方自治法を素材としながら解説するということである。同時に、法律の性格上、改正がきわめて多い点を考慮し、その沿革的な側面、地方行政そのものの内容についても言及しなければならないと思う。

地方自治法の内容が、とくに地方公務員試験で問われることが多い。とくに択一式の問題で、相当に細かい点まで素材にしている。この点を考慮して、これまで出題された問題を検討することにも力点をおきたい。

教科書

現在のところ、こちらで推薦する教科書はない。近時、法律の改正があったためである。これまでは、こちらでレジメを用意している。適当な教科書が出版された場合にはそれを用いる。その際には指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ヨーロッパ政治史	うら た さ なえ 浦 田 早 苗	禅・仏教・国文・英米文・地理 歴史・社会・経済・商 法律・経営・短放	4

講義のねらい

現代西ヨーロッパの政治は、そこから多くのことを学んできた我々の先達が描いたほど理想的な状態で機能しているわけではなく、数々の矛盾にみちている。自由、平等の精神なり、『華やかなりし議会政治』の概念は、激動の現代政治のなかにあっては時として空虚な響きを投げかけてくることは否定できない。しかし、国家や政党、国民や民族といった西洋で生まれた近代政治の概念に再検討が迫られている今ほど、そうした概念の本質を成立した歴史過程のなかで考察することの重要性が問われたときはなかった。本講義では、近代ヨーロッパの歴史全般を概説しながら、ヨーロッパが抱える問題の本質を明らかにすること及び、現代政治を誤りなく把握する上で必要な基礎概念を検討することに視点がおかれている。

講義の内容・ 授業スケジュール

今年度は以下のような講義を予定している。

- ・近代の始点 —— ルネサンス期と18世紀 —— 。英国革命とIRA
- ・ジャコバイトと英国王室 。議院内閣制の成立変遷過程
- ・英国における政治腐敗防止過程 。フランス革命と国家の概念
- ・フランス政治におけるジャコバン主義
- ・「後発国型近代化」の問題点 —— ドイツの場合 —— 。統合ヨーロッパの源流

成績評価の方法

前期レポート —— 7～8×400字 —— は任意ではあるが、年5～6回とる出席点とともに学年末試験に加算する。試験はあらかじめ指示した5問から2題出題する。
(ノートの持ち込みは不可)

教 科 書

特に教科書は指定しないが、さらに詳細な研究を望む学生には適宜参考書を推薦する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
国際経営論	もがきひろし 茂垣広志	禅・仏教・国文・英文・地理 歴史・社会・経済・商 法律・政治・短放	4

講義のねらい

国際経営論とは、「国境を越えて事業展開しているその各拠点の諸活動をどのようにマネジメントするのか?」という課題に取り組んでいる経営学の一領域である。したがって、既存のドメスティックな経営理論を基礎として、各事業拠点を高度に海外に分散化した多国籍企業(MNC)特有の問題を扱っている。本講義のねらいとしては、経営戦略論、マネジメント論、組織論等をベースとして、比較経営論ないし異文化経営論の視点を加味して、多国籍企業の戦略行動とマネジメントを考える際の基本的フレームワークについて、種々の理論(アプローチ)、データ、ケースを採用し考察していきたい。つまり、企業の国際化、多国籍化にまつわる諸現象を企業経営の観点から多面的に捉え、検討することを通じて、国際経営に関する理解を深めることを目的としている。

講義の内容・授業スケジュール

周知のように1985年のプラザ合意以降と急速な円高の進行と貿易摩擦による相手先国からの政治的プレッシャーにより、それまでの輸出中心の国際競争戦略から現地生産、第3国生産を加味した戦略へと移行し、さらに近年では東南アジアへの部品メーカー、組立てメーカーの進出が加速化し、日・米・欧・亜の4極的体制が構築されはじめている。これらのことは企業の戦略と分散化した諸活動の調整をますます複雑なものとしており、そのマネジメントのあり方が、国際経営上の大きな課題となっている。

海外に拠点を高度に分散化しているMNCにとっての大きな課題は、それら拠点の現地化(適応性)の要請とグローバルな統合化(効率性)の要請のバランスないしその同時達成である。日本企業の場合、急速な海外展開と日本的マネジメントの特徴から、アメリカ系および欧州系MNCと異なる様相を示している。授業では、その日系MNCの戦略およびマネジメント上の特徴を理論、欧米系MNCとの比較、ケースを通じて理解し、課題ないし問題点を理解することに主眼を置くことにする。より具体的には、以下のような内容を予定している。

- I. 国際経営のフレームワーク(隣接領域との異同と関連性)
- II. 企業の多国籍化を説明する諸理論の検討(IPLC仮説、寡占反応仮説、差別化優位仮説、内部化優位仮説、経営資源優位仮説、折衷仮説等)
- III. 国際経営/企業多国籍化の発展段階モデル(ロビンソン・モデル、小林モデル、マッキンゼー・モデル、ルートの海外市場参入段階モデル、EPRGモデル等)
- IV. 国際競争戦略(国際戦略の基本パターンないしタイプ)
 1. 国際競争優位性(規模の経済・範囲の経済・連結の経済・比較優位・国家特殊優位性)
 2. 国際競争戦略の類型(ホーター・モデル、ドズ=ブラハラード・モデル、バートレット=ゴジャール・モデル等)
 3. 国際マーケティング戦略(マルチナショナル・パラダイムとグローバル・パラダイム、グローバル・マーケティング・ミクス、製品ポジショニングとグローバル市場細分化戦略)
- V. 国際戦略と組織構造
 1. マクロ構造(国際事業部制、世界的地域別構造、世界的製品別構造、世界的マトリックス構造)
 2. ミクロ構造および内部ネットワーク(トランスナショナル・モデル、ヘテラルキー・モデル)
- VI. 日本企業の国際化と人的資源管理
 1. 欧州系MNCとアメリカ系MNCの戦略及びマネジメント上の特徴(経営伝統と現状)
 2. 日系多国籍企業の海外子会社マネジメントの特徴(その必要性と問題点、進出地域別特徴)
 3. 海外派遣社員の選抜、教育、給与問題
 4. 異文化マネジメント
- VII. 在日外資系企業の経営上及び人事管理上の特徴

以上が講義内容の項目であるが、講義では単なる理論の紹介のみならず、各種調査データや具体的な企業のケースを通じて理解を深めていきたい。なお、毎時間レジュメおよび資料を配布し、それに基づいて授業を進めていく。

履修上の留意点

経営学、経営戦略論の知識があった方が理解しやすいので、そのような関連科目を既に履修しているか、現在している方が望ましい。ただ、授業中にも簡単には説明します。

成績評価の方法

成績は出席状況および期末試験の結果により判断します。

教科書

根本孝・諸上茂登『国際経営の進化』学文社、¥2,800

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
経 営 統 計	ちよう 張 こっ 国 きよう 強	禅・仏教・国文・英米文・地理 歴史・社会・経済・商 法 律 ・ 政 治 ・ 短 放	4

講義のねらい

総合的な経営管理や経営計画を遂行するには、販売、生産、仕入、経理、人事などの各部門においてデータを収集し、収集されたデータを目的にあった情報という形に整理して初めて実行可能となる。そして、情報化社会における今日の「経営統計」の役割は上述の各部門の単なるデータの記述だけでなく、経営の各レベルの意思決定にも極めて重要になっている。

本講義は経営と統計のかかわりについて重視し、統計技術を身近な例や企業に関する経営数値例を数多く取り入れてわかりやすく説明していく。また、数学苦手な学生を配慮し、講義の内容説明は微積分の計算をいっさい用いずに、数式の使用も必要最小限に止める。

講義の内容・ 授業スケジュール

テーマ	内 容	回数
統 計 に つ い て	経営と統計、基礎概念（母集団と標本、数量値と計数値、母数と統計量）	2
統計資料の収集と整理	統計調査（調査の技術、標本設計の技術）、度数分布表、グラフ表現	4
統 計 特 性 値	標本平均、標本分散、正規分布	3
経 営 時 系 列	平均値、増加率、季節指数	4
	前期復習と中間試験（7月中旬）	2
経 営 指 数	相対指数、総合指数、物価指数	2
統 計 推 測	標本分布、区間推定、仮説検定	3
相 関 分 析	相関係数、最小2乗法	3
統 計 的 決 定 理 論	意思決定基準、期待効用理論	2
	後期復習と定期試験	2

履修上の留意点

年間4回程度（前期と後期各2回）の練習問題を適時に配布し、それを独自に解けば、中間試験と定期試験に心配する必要はありません。

成績評価の方法

講義への出席状況を重視し、中間試験と定期試験の結果を参考に総合的に判断します。

教 科 書

使用しませんが、プリントは適時に配布する。

参 考 書 等

西田俊夫・田畑吉雄共著『経済・経営の統計学』（培風館）、1992
守口栄一・竹田仁共著『経営数学：経営統計とその応用』（日本理工出版社）、1992

そ の 他

関連科目：統計原論

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
保 險 経 営 論	いしなざか くに あき 石名坂 邦 昭	禅・仏教・国文・英米文 地理・歴史・社会 法律・政治・短放	4

講義のねらい

本講義においては、保険のアプローチとして近年一般化しつつあるリスク・マネジメントの基本的事柄につき理解した後に、保険理論の基本的知識を正確にし、わが国の保険事業並びに一般企業がかかえているリスクに関する諸問題にどのように対処したらよいかの応用能力が持てるようになることを目標とする。

講義の内容・
授業スケジュール

保険学の研究は、保険法学的アプローチ、保険経済学的アプローチ、保険経営学的アプローチとそれぞれの時代を背景に論じられてきた。今日、保険学研究については保険経営学的研究をより発展させた「危険管理論」(リスク・マネジメント)研究が主流となっている。本講義においては、最初にリスク・マネジメントの基本的体系について論じ、リスク・マネジメントの理論、歴史的発展について見た後に、リスク・マネジメントの中心となる保険の機能、保険本質、保険技術について詳しく見ていきたい。

前期はリスク・マネジメントを中心とした講義を行い、後期に保険論を中心とした講義を行う。講義はOHP等を使用し、理解しやすいように工夫をこらしていく。教科書は使用するが、それは本講義を理解するための基本的共通知識として使用し、講義は教科書に書かれている事柄が理解されていることを前提として進めていく。

履修上の留意点

保険およびリスク・マネジメントを理解するためには使用される専門用語を理解されていなければならない、学ぶことも広範囲にわたるため、講義を受ける前に必ず教科書を読み講義後の復習も忘れないようにしてほしい。学生諸君の積極的な授業への参加を望む。

成績評価の方法

講義への出席状況及び授業時の態度と定期試験の結果を総合して成績評価を行う。

教 科 書

石名坂著『リスク・マネジメントの理論』白桃書房 3,500円

参 考 書 等

石名坂著『ファミリーリスク・マネジメント』白桃書房
石名坂著『リスク・マネジメントの基礎』白桃書房

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
財 務 会 計 論	わた なべ えい ち ろ う 渡 邊 恵 一 郎	禅・仏教・国文・英米文 地 理 ・ 歴 史 ・ 社 会 法 律 ・ 政 治 ・ 短 放	4

講義のねらい

財務会計論は会計学の一分野であり、企業の経営成績と財政状態を明らかにするという基本的職能を取り扱っている。財務会計の目的は、企業経営に責任を負う経営者が、投資者、債権者、その他企業に利害関係を持つ外部の人々に対して、適切な企業情報を提供することにある。この主たる提供手段が、損益計算書、貸借対照表などの財務諸表である。

講義では、財務諸表を作成するための会計処理と表示方法を中心の課題とし、また、これに関するわが国の商法、税法などの会計法規も取り上げ、さらに国際会計基準との関連にも触れる。

講義の内容・
授業スケジュール

講義の内容は、おおむね下記の教科書により、この授業スケジュールは次のとおりである。

- ① 4～5月 財務会計の概念（財務会計の定義、課題、制度など）、財務会計の計算構造（損益計算書と貸借対照表との関係）及び会計公準と会計原則（財務会計の前提、債的特徴及び一般原則など）
- ② 6～7月、9～10月 財務会計の測定論（収益、費用、資産、負債及び資本の各構成要素に関する会計処理の具体的展開）
- ③ 11～1月 財務会計の伝達論（個別・中間・連結の各財務諸表の作成と開示、外貨換算、財務分析、財務諸表の国際比較、会計基準選択の社会経済的影響など）

履修上の留意点

毎時間の出席率と宿題提出（年2回）を重視する。

成績評価の方法

成績評価は、出席率、宿題提出及び期末試験点数の総合による。

教 科 書

染谷恭次郎著『現代財務会計（改訂増補4版）』中央経済社

参 考 書 等

嵐村剛雄編『体系会計諸則集（最新版）』、白桃書房
日本公認会計士協会編『監査小六法』、中央経済社

そ の 他

授業の方法は、講義による。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
税 務 会 計 論	たか き かつ み 己 高 木 克 己	禅・仏教・国文・英米文 地理・歴史・社会 法律・政治・短放	4

講義のねらい

今日、租税は我々個人にとっては、所得税、相続税等の問題として、また、企業にとっては、法人税の問題が大きな関心事として存在している。消費税についても何かと話題にのぼっている。本講義では、普通法人（株式会社等）を前提とした法人税の算定過程を中心に講義を進めていく。税務会計とは、一般に企業における課税所得の算定過程を研究する分野をいう。この課税所得は、商法あるいは企業会計原則等によって算出された利益にもとづいて算定される。ここでは、法人税法固有の規定（いわゆる別段の定め）が適用され、負担の公平、簡便性、あるいは政策的配慮等さまざまな考え方が反映されている。講義では、こうした税法固有の考え方の根拠、背景等を出来るだけやさしく説明しながら、今日、法人税法の抱えている問題点を明らかにしていきたいと考える。

講義の内容・ 授業スケジュール

講義の内容の概要は次のとおりである。

1. 法人の種類及び課税所得の範囲等
2. 同族会社と青色申告
3. 課税所得の計算構造
 - (1) 企業利益と課税所得の関係
 - (2) 益金の額及び損金の額
 - (3) 公正処理基準及び資本等取引
4. 収益の計上基準についての原則的な考え方
 - (1) 引渡基準
 - (2) 特殊販売収益の計上基準
 - (3) 役務、請負、譲渡収益等の計上基準
5. 受取配当金益金不算入
6. リース取引
7. 給与（報酬、給料、賞与）の税務処理基準
8. 交際費及び寄付金
9. 有価証券、棚卸資産、固定資産、繰延資産等の税務処理
10. 圧縮記帳
11. 引当金と準備金
12. 企業を巡る国際課税の問題
 - (1) 移転価格税制
 - (2) タックス・ヘイブン対策税制
 - (3) 外国税額控除制度
13. 法人税額の計算

履修上の留意点

「簿記学」「会计学」等の基礎的な会計科目を修得した上で履修した方がより理解が深まると思われる。

成績評価の方法

原則として学年末の試験によって評価する。レポートは年1回程度提出を求める。

教 科 書

講義で使用する教科書、参考書等については開講時に指示する。

そ の 他

毎回出欠をとるかどうかは、初回の講義の中で受講生諸君と相談して決めたい。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
商 業 史	やま だ 山 田 勝	禅・仏教・国文・英米文・地理 歴史・社会・経済・商 法律・政治・短国・短放	4

講義のねらい

商業経営の歴史的発展の過程を、文化との関係に留意しながら講義する。

講義の内容・
授業スケジュール

講義内容の主なテーマは次のとおりである。

- (1) 商業史の視点
- (2) 歴史研究とパラダイム論
- (3) 利潤
- (4) 商品
- (5) 市場
- (6) 継続性
- (7) 流通量
- (8) 大衆消費社会の特質
- (9) 価格革命
- (10) 情報社会と商業

履修上の留意点

講義を聴くことのみが学習の方法ではないが、講義は各自の学習の導きとしては有益であると思う。出席はとらないが、聴講に努めて欲しい。質問は歓迎する。
教場での私語は他人の迷惑となるので厳禁とする。必要があれば教場から出て話すこと。

成績評価の方法

成績評価は定期試験による。

教 科 書

山田勝著『商業発展史論』（創成社）¥3,200

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
経 営 情 報 論	たか 高 井 徹 雄	禪・仏教・国文・英米文 地理・歴史・社会・経済 商・法律・政治・短国	4

講義のねらい

経営スタッフの役割は、意思決定を支援すること、すなわち、意思決定者が適切な意思決定を行えるよう、決定の指針となる情報を提供することに外ならない。

本講義では、将来、企業や官庁における経営スタッフを目指す諸君のために、経営情報に関するシステムの観点と、情報利用技術の基礎について解説する。

講義の内容・ 授業スケジュール

I. 総論：経営情報とシステムの観点（前期）

(1) 科学とシステムの観点（4月～5月：4週）

情報学のバックグラウンドにある考え方や知識について整理する。科学の方法とシステムのもの見方、それに基づく問題へのアプローチとはどのようなものかについて理解を深める。

(2) 情報学の基礎と周辺領域（5月～6月：5週）

情報処理技術に関わる基礎的な勉強をする。主としてコンピュータベースのシステムによる情報の取り扱いに関し、知っておくべき基礎的事項について整理する。

(3) 情報環境の発展と経営における利用（6月～7月：5週）

経営の場における意思決定と情報利用技術の関わりについて学ぶ。企業における情報利用の形態の変遷を概観し、インターネットなど、現在から近未来における情報インフラストラクチャの整備と、そうした環境における、戦略的な情報の利用とはどうあるべきかについて考察する。

II. 各論：情報の利用技術（後期）

(1) 多変量データ解析（9月～10月：7週）

調査収集された生のデータは、そのままでは情報としての価値はない。データを加工・分析し、それが表す意味を解釈することで初めて意思決定のための情報が得られる。ここでは、定量的データを分析するための、重回帰分析、主成分分析、判別分析法を、またアンケート調査などで得られる定性的データを分析するための数量化Ⅰ、Ⅲ、Ⅱ類法について、その原理と適用方法を学ぶ。

(2) シミュレーション（11月～12月：4週）

複雑な対象の動的な特徴を分析するための有力な方法としてシミュレーション技法がある。ここでは、モンテカルロ法など乱数を用いる基礎的方法に触れた後、離散型シミュレーションモデルの構築方法を学ぶ。

(3) DSSとES（12月～1月：3週）

人工知能の原理と、その経営の場での応用として期待されるDSS（意思決定支援システム）、ES（専門家システム）の概要について学ぶ。

※ なお、適宜（5～6回程度）、情報教育センターのコンピュータルームを利用して授業を行う。

成績評価の方法

前期、後期に1回ずつ、それぞれの授業範囲について筆記試験を実施する。いずれも参照不可の客観テストで行う。当然であるが、授業に出席しないで取れる単位ではないので、そのつもりで履修申告すること。

教科書

高原康彦・高津信三編、高井徹雄他著『経営情報システム』（日刊工業新聞社）¥3,200
上記教科書の他に、適宜プリントで補足する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
情 報 理 論	にしむら かずお 西村和夫	禅・仏教・国文・英米文・地理 歴史・社会・経済 商・法律・政治・短国	4

講義のねらい

近年では日常的に使われる言葉となっている“情報”の本質を探ります。主に、情報の量（情報量）を定義したシャノン（C.E.Shannon）流の情報理論について講義します。

この授業を受講すれば、ある通報や記号のもっている情報量を、具体的な数値として（ビットという単位で）計算できるようになります。これによって、たとえばDNAの情報量をフロッピーディスクに記録するために十分な枚数が、たちどころに計算できるようになります。

また、情報量の期待値（平均値）であるエントロピーという概念も理解できます。これは、経営情報論、符号理論、通信理論、暗号理論などで利用される重要な概念です。

講義の内容・ 授業スケジュール

月 回 数	内 容
4 3	授業内容概説，情報とは，情報量への要求
5 3	対数の原理と性質，計算練習
6 4	情報量の定義，練習，情報量の利用
7 3	暗号系と用語，古典的な暗号
9 2	現代的な暗号，暗号技術を使ってできること
10 2	符号化（JISコード，万国共通文字符号），対数・情報量の間試験
10 2	確率過程およびマルコフ過程
11 2	遷移確率と同時確率
11 1	エントロピーの定義
12 2	冗長度，言語のエントロピー
12 1	価格以外の情報がない場合の市場占有率予測
1 1	チェック桁，情報の圧縮と乱数，デジタルとアナログ

履修上の留意点

4年生が履修するのは困難です。2～3年生のうちに履修しておくように強く奨めます。また、毎回出席して計算練習に参加していないと、試験問題を解くことは無理でしょう。

内容の性質上、確率と対数に関する多少の数学的知識が必要になりますが、これらについて全く知らなくても理解できるように配慮しています（上表5月参照）。

成績評価の方法

10月の中間試験（30％）と定期試験（70％）との合計点によります。

教 科 書

クイズと計算練習を適宜とりいれます。また、OHPとプリントを使います。適当な教科書はありません。各種の参考書をそのつど紹介します。

そ の 他

〔関連科目〕 → 経営情報論

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
経 営 労 務 論	なかむらまさと 中 村 眞 人	禪・仏教・国文・英米文 地理・歴史・社会 法律・政治・短放	4

講義のねらい

経営労務論は、企業経営と労働生活との関わりについて考察する学問である。この問題については、経営学領域では企業労働論、労務管理論などとして研究蓄積が進められて来た。しかしそれだけでなく、社会政策・労働経済論領域における労使関係研究・労働市場研究や、産業社会学領域における経営と労働の研究など、隣接分野でも豊富な研究蓄積があり、それらを無視してこの問題を論ずることはできない。また、インダストリアル・リレーションズ研究、人的資源管理論といった新分野もこの周辺で開拓されてきた。本講義では、企業経営と労働生活の問題について、古い学問領域の縄張りを超越した視野をもって進めてきた私の研究をもとにして話をすすめる。

講義の内容・授業スケジュール

- ① 労働市場と雇用
- ② 教育訓練と「人的資源」
- ③ 賃金と賃金構造
- ④ 労働時間とその短縮
- ⑤ 労使関係と労働組合
- ⑥ 生産管理と労働
- ⑦ 労働安全衛生と健康
- ⑧ 企業福祉と労働人生

成績評価の方法

学年末試験による。

教 科 書

教場で指示する。

参 考 書 等

教場で指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
経 営 分 析 論	かたきりのぶ お 桐 伸 夫	禅・仏教・国文・英米文・地理 歴史・社会・経済 商・法律・政治・短放	4

講義のねらい

経営分析とは、文字どおり「企業の経営を分析すること」であり、かなり多方面にわたる内容をもっています。

皆さんが将来を託そうとする会社は、

- 1 財政的に安定しているだろうか（安定性分析）、
 - 2 「儲け」はどうだろうか（収益性分析）、
 - 3 経営活動の成果はきちんと配分されているだろうか（生産性分析）、
 - 4 長期的な会社の「伸び」はどうだろうか（成長性分析）、また、
 - 5 社会に対してどのように貢献しているだろうか（社会性分析）、
- といった内容です。

講義の内容・
授業スケジュール

前期は、企業の毎期の経営活動を報告する「貸借対照表」や「損益計算書」などの「財務諸表」の読み方をまず説明し、安定性・収益性分析を学習します。

後期は生産性・成長性・社会性分析や、さらに、損益分岐点・利益増減その他の分析を取りあげます。

「各自が企業の経営を分析できるようになる」ため、教科書で必要最小限の理論を学び、ただちに、新聞などの最新のトピックによって企業の現実にふれます。

履修上の留意点

この授業の目的は、「財務諸表分析」を中心に、各人が就職を希望する、あるいは興味を持っている会社の「分析」をしていただくことにあります。つたなくても、ささやかでも、その成果は皆さんの貴重な「財産」です。

成績評価の方法

そのため、成績評価はレポートと授業時間中のテストなどの平常点で行います。

- ① 前・後期、計2回のレポート提出と、
 - ② 前・後期、計2回のテストで評価し、
- 学年末試験は行わないので、十分注意下さい。

* レポート・テーマ：前期「各自が関心を持っている企業の収益性・安定性分析」
後期「各自が関心を持っている企業の成長性その他の分析（続）」

* テ ス ト 範 囲：前期「収益性・安定性分析」、後期「生産性・損益分岐点分析など」財務諸表数値を用いた経営比率の算出問題。

☆質問は授業以外にも研究室2307号室で随時受け付けますので、遠慮なくおい下さい。

教 科 書

教科書は、開講のとき、指示します。

参 考 書 等

参考書は、開講のとき、指示します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
国 文 講 読 I (上 代)	さ ばら さく み 佐 原 作 美	禅・仏教・英米文・地理 歴史・社会・経済 商・経営・短英・短放	4

講義のねらい

授業では『万葉集』を対象にその講読を行う。『万葉集』は承知のごとく、舒明朝（629-641）の頃から奈良朝の天平宝字3年（759）までの約120年間の和歌約4500首が収められてなる、わが国最大の和歌集である。そこで授業では、『万葉集』の中から代表的な歌人や個性豊かな特色ある歌人を選び、それらの和歌を中心に講読していきたい。

講義の内容・
授業スケジュール

『万葉集』を理解するには、作品を読解し作者を知るのほかに、当時の歴史や社会的文化的な背景を視野に入れながら読んでいくことが大切である。そうした点を考慮に入れ踏まえながら、作品を読んでいきたい。

成績評価の方法

成績評価は、レポートや筆記試験をもって判断する。

教 科 書

土橋 寛編『作者別 万葉集』おうふう（桜楓社）刊 ￥1,800

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
国文講読Ⅱ(中古)	すずき ひろこ 鈴 木 裕 子	禅・仏教・英米文・地理・歴史 社会・経済・商 経 営 ・ 短 英 ・ 短 放	4

講義のねらい

『源氏物語』は、それが書かれた平安の昔からたくさんの人々に読み継がれて来た日本文学の傑作です。『源氏物語』のどこにそのような価値があるのでしょうか。受講者一人一人に答を見つけてもらいたいと思います。そのためには、とにかく原文を自分の力で読まなくてはなりません。作品を正確に読み、理解し、感じ、考え、といったことを授業を通して繰り返し、最後には、他者の評価を鵜呑みにするのではない、自分自身の『源氏物語』評価がもてるようになるとよいと考えています。

講義の内容・授業スケジュール

今年は、明石の巻から読みます。光源氏という架空の人物は、在原業平をはじめ古代の英雄のさまざまな要素を総和して創造された「理想像」とも言われています。そういう光源氏の人生史において、須磨・明石でのさすらしい体験は、どのように意味をなしていくか、青春の疾風怒濤をぐりぬけてゆくおもしろさを味わいましょう。

履修上の留意点

授業は、テキストを用いての講義を中心に行ないます。が、教師の一方通行にならないように、受講生の積極的な質問や感想・意見など建設的な発言は歓迎します。

成績評価の方法

期末に試験を行ないます。(前期一回・後期一回) その他、授業中に適宜小テストを実施し、出席状態などの平常点を加味して評価します。

教科書

全文が出ているものなら何でもよく、手元にある本を活用して下さって結構です。ただし、抄本は不可。もし、新たに購入するのであれば、玉上琢弥『源氏物語三』(角川文庫)、新日本古典文学大系『源氏物語二』(岩波書店)、新潮日本古典集成『源氏物語二、三』(新潮社)などが扱いやすいでしょう。

参考書等

授業で指示します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
国文講読Ⅲ(中世)	さか ぐち ひろき 坂 口 博 規	禅・仏教・英米文・地理 歴史・社会・経済・商 経 営 ・ 短 英 ・ 短 放	4

講義のねらい

鎌倉時代初期に成立した私家集の『建礼門院右京大夫集』を読む。平家一門全盛の世、高倉天皇中宮となった平清盛の女徳子(安徳天皇の母として建礼門院の院号を授けられる)の宮廷に女房として仕えた、右京大夫と称された女性の個人歌集である。他人詠も含めて361首の歌が全体年代順に配列されており、その半生の回想の記の体を示していることから、日記文学としての自照精神を問うことも出来る。徳子の宮廷に仕えていた折に、平清盛の孫に当たる貴公子資盛と恋愛、以後平家一門都落ちに伴う資盛の流転、壇ノ浦での死を体験し、その追想の日々を過ごす。動乱期の戦乱に運命を翻弄された作者の人生を考えてみたい。

講義の内容・授業スケジュール

開講時、女性の手になる自照文学の流れを概観し自照精神を考え、作者の父・母の伝記に触れ、作者が中宮女房として仕出した資質を明らかにする。作者はまた一時似絵(肖像画)名手であり歌人でもあった藤原隆信との実らぬ恋も体験する。授業では、資盛・隆信二人の男性との交渉時に詠まれた歌を中心に作品を読み進めていく。

履修上の留意点

『平家物語』の裏面史、裏話的内容を示すものでもあり、『平家物語』そのものへの関心をも喚起したいと思うので、是非『平家物語』も読み進めて欲しい。特に恋愛交渉時に詠まれた作者の歌に、和歌本来の抒情性を味わって欲しい。

成績評価の方法

学年末の定期試験の成績をもとに評価する。

教科書

久徳高文編『建礼門院右京大夫集』(おうふう刊) ¥1,800

参考書等

本位田重美著『建礼門院右京大夫集全釈』(武蔵野書院刊)、村井順著『建礼門院右京大夫評解』(有精堂刊)、富倉徳次郎著『王朝の悲歌』(弘文堂書房刊)等

科目名	担当者名	配当学科	単 位
国文講読Ⅳ(近世)	せい だ けい こ 清 田 啓 子	禅・仏教・英米文・地理 歴史・社会・経済・商 経営・短英・短放	4

講義のねらい

江戸時代中期の異才の小説家上田秋成を研究する。読本というジャンルのみでなく、興味ある作品を残したこの作家は、丁寧に一生をたどってみるに足りる存在だと思う。諸作品に触れて作者を知り、関連する事柄を知ってこの時代を理解してほしいと思う。

講義の内容・
授業スケジュール

テキストに収録される作品を、参加者に分担、読解してもらう。導入時には秋成とその前後の文学状況も解説する。作品読解がある程度進んだ後は、テキスト収録作品以外にも及んで、参加者各自のテーマを深めてもらう。

履修上の留意点

積極的に多量の作品を読む覚悟が必要。

成績評価の方法

読解段階の発表内容、各自のテーマのレポート(夏期・期末)を勘案する。

教科書

浅野三平他編『秋成作品選』(おうふう) ¥1,900

参考書等

教場で指示。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
国文講読Ⅴ (近・現代)	おお むろ えい じ 大 室 英 爾	禅・仏教・英米文・地理 歴史・社会・経済・商 経営・短英・短放	4

講義のねらい

近代詩を読む。「明治ノ歌ハ、明治ノ歌ナルベシ、古歌ナルベカラズ」として伝統的な和歌、俳句、川柳の思想と様式を離れ、いわゆる「新体」の詩の実現をはかった「新体詩抄」からはじめて、現代にいたるまで、その時々を代表する完成度の高い詩をとりあげて読み、考え、鑑賞する。併せて近代詩の流れにも検討を加える。

講義の内容・
授業スケジュール

個々の詩の味読が中心となろう。毎時1～3作のペース。時に感想、印象の類をペーパーに書いて提出してもらい、それをもとに鑑賞を深めていくことも考えている。

履修上の留意点

その時間に取り扱う作品は必ず読んでくること。

成績評価の方法

レポート提出

教科書

「展望・近代詩——その歴史と作品」(双文社)

参考書等

授業にてその都度指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
国 文 講 読 V (近・現代)	ささ せ おう し 笹 瀬 王 子	禅・仏教・英米文・地理 歴史・社会・経済・商 経営・短英・短放	4

講義のねらい

泉鏡花の作品を一年間かけてじっくりと読む。講義では、特に作者特有の言い廻しや語法に着目し、作品毎の丁寧な読みを行う。基礎的な読解力を養うことを主眼とし、その上で鏡花文学の多面性や特質を考えていく。

履修上の留意点

作品を前もって読み、自分なりの問題意識を持って講義にのぞむこと。

教 科 書

泉鏡花『外科室・海城発電』（岩波文庫）¥520
『鏡花短篇集』（岩波文庫） ¥520
その他、必要な教材はプリントを配布する。

参 考 書 等

国語辞典、漢和辞典等

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
国 文 特 講 V (近・現代)	ささ せ おう し 笹 瀬 王 子	禅・仏教・英米文・地理 歴史・社会・経済・商 経営・短英・短放	4

講義のねらい

大正から昭和にかけて評論家・小説家として活躍した広津和郎の回想小説集『同時代の作家たち』を教材として扱う。刊行当時、「読んだ人は、どの小説を読んでもどんな悲しいことを述べたものでも、いかにみじめな話が書かれたものでも楽しい気持ちになる」と評された本書を通して、大正文学の魅力をあらためて考えてみたい。

講義は、作中に実名で登場する島村抱月、田山花袋、徳田秋声、芥川龍之介、菊池寛、宇野浩二、近松秋江といった文学者たちの文学の考察を中心に進める。

履修上の留意点

講義が広汎にわたるので、各自が自主的に対象とする作家の作品を一つでも多く、あらかじめ読んでおくことが望ましい。

教 科 書

広津和郎『同時代の作家たち』岩波文庫 ¥620
文庫本が品切の際は、こちらでコピーを用意する。
その他、必要な教材は適宜指示、或はプリントを配布する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
時 事 英 語	おかもとまこと 岡 本 誠	禅・仏教・地理・歴史 社会・経済・商放 経営・短国・短放	4

講義のねらい

「時事英語」とは Current English という英語に訳せる。従って、新聞・雑誌・放送といった媒体としての最新の英語にふれることを本講義のねらいとする。

講義の内容・
授業スケジュール

その日の朝のアメリカからの短波放送のニュース、または昨夜のイギリスからのニュースを聞き、ニュースキャスターの原稿を作ってみるが、英字新聞もその際併用する。
TIME, NEWSWEEKなども折にふれ利用する。

成績評価の方法

期末試験。受講中の発表。出席状況。

教 科 書

特定の教科書等は利用しない。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 演 習 I [ディクテーション]	おかもとまこと 岡 本 誠	禅・仏教・国文・英米文 地理・歴史・社会 短国・短放	4

講義のねらい

慣用句の成立背景を見してみる。例えば、「OK」という言い方はどのようないきさつで言語生活に入ってきたのか。あるいは「maverick」という語はどのようにして「一匹狼」の意味になってしまったのか。これらをテープを聞きながらディクテーションで行なう。つまり、並行して Listening comprehension の力を養うことも本講義のねらいとする。聴いて書き上げるという作業はその人の英語の実力をずばりと表す。この能力を高めないかぎり発話能力は備わらない。TOEFL500点以上を達成したいむきは来たれ。

講義の内容・
授業スケジュール

前期はスピードの比較的にゆっくりしたもの、後期は比較的に速いものを聴くようにこころがける。

履修上の留意点

遅刻して物音をたてながら入ってくるは迷惑至極。受講者は耳を掃除して早めに来ること。

成績評価の方法

発表状況。出席状況。

教 科 書

テープ使用。プリント使用。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
応用計測学(前期)	かし お えい じ 櫃 尾 英 次	禅・仏教・英米文 地理・歴史・社会 経済・商・経営	1

講義のねらい

診療放射線技師の国家試験では、放射線機器工学としてX線診断装置や加速器のほか、核医学機器、X線CTおよびMRI装置も出題されている。

医用画像診断装置を中心に、装置の基礎技術が習得できるよう講義する。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1) 核医学診断装置
 - 放射性核種および放射線計測の基礎
 - ガンマカメラ
 - SPECT
 - PET
 - 核医学データ処理装置とソフトウェア
- 2) X線CT装置
- 3) MRI装置
- 4) CR装置
- 5) DSA
- 6) PACS
- 7) 超音波診断装置

履修上の留意点

履修上あらかじめ放射線物理、放射線計測および機器工学を習得していること。他学科にあっては、高校で物理を習得していることが望ましい。

教 科 書

教材としてプリントを使用する。

随 意 科 目

随 意 科 目

英 語 (海外演習) 1

比 較 思 想 特 講 (国 嶋 一 則) 1

科 目 名	配 当 学 年	単 位
英 語 (海外演習)	1 年 次 ~	2

講義のねらい

この科目は本学の姉妹校であるクインズランド大学（オーストラリア）、ブリティッシュ・コロンビア大学（カナダ）、エクセター大学（イギリス）、カリフォルニア大学アーバイン校（アメリカ）における短期留学セミナーでの四週間におよぶ現地での集中演習を中心としておこなわれる英語随意科目である。受講対象学生は全学部・短大の一年次生から卒業年次生までとする。

成績評価の方法

現地演習後に四大学より受講生の成績・評価等が出される。受講生には単位の認定がなされる。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
比 較 思 想 特 講	くに しま かず のり 国 嶋 一 則	2 年 次 ~	4

講義のねらい

日本思想史の特性は、日本固有の古代思想としての神道、奈良朝以来の仏教、江戸時代のシナ思想、明治以来のヨーロッパ思想が、それぞれ伝統をなし、混在していることにある。ヨーロッパ思想の原理と構造を手がかりとして、日本、朝鮮、シナの思想の特性を取り出すべく試みる。

講義の内容・
授業スケジュール

前期は西洋思想の原理と論理を考察し、後期は文献を読むことによって思想の比較をする。

成績評価の方法

出席回数、筆記試験、レポートによる。

教 科 書

学期のはじめに発表する。

教職及び資格講座

教 職 課 程
学校図書館司書教諭講座
社会教育主事講座
博物館学講座
社会福祉主事 講座
社会福祉士基礎

※上記の教職及び資格講座授業科目の講義内容が掲載されていますが、各学部において受講できる課程及び講座は以下のとおりです。
(履修についての詳細は、「教職課程・資格講座の履修要項」を参照すること。)

課程・講座名	資格取得学部
教 職 課 程	全 学 部
学校図書館司書教諭講座	全 学 部
社会教育主事講座	全 学 部
博物館学講座	仏教学部・文学部
社会福祉主事 社会福祉士基礎 講座	全 学 部

講義内容目次

[注意] 頁 () は、他の課程・講座と兼用科目のため、講義内容は、主たる課程・講座にのみ掲載し、その頁を表示しています。

I 教職課程

(1) 教職に関する専門科目 (必修)

教育原理 (豊田千代子)	1
教育原理 (北村三子)	1
教育原理 (田中智志)	2
教育原理 (村山輝吉)	2
教育原理 (坂本信昭)	3
教育心理学〔教育方法論を含む〕 (大浜幾久子)	3
教育心理学〔教育方法論を含む〕 (遠藤 司)	4
教育心理学〔教育方法論を含む〕 (北島歩美)	4
教育心理学〔教育方法論を含む〕 (国眼真理子)	5
教育心理学〔教育方法論を含む〕 (角野善司)	5
青年心理学〔教育方法論を含む〕 (大浜幾久子)	6
青年心理学〔教育方法論を含む〕 (川田三夫)	6
青年心理学〔教育方法論を含む〕 (小宮山 要)	7
青年心理学〔教育方法論を含む〕 (常田秀子)	7
道德教育の研究 (中野目直明)	8
特別活動 (中野目直明)	8
生活指導 (遠藤 司)	9
生活指導 (佐藤尚人)	9
宗教科教育法 (小山一乗)	10
国語科教育法 (神谷道倫)	11

書道科教育法	(那須隆吉)	11
英語科教育法	(佐藤真二)	12
社会科・地理歴史科教育法	(中島義一)	13
社会科・地理歴史科教育法	(長野 覺)	13
社会科・地理歴史科教育法	(野呂肖生)	14
社会科・公民科教育法	(橋爪 敏)	14
社会科・公民科教育法	(谷敷正光)	15
社会科・公民科教育法	(大久保治男)	16
商業科教育法	(谷敷正光)	16
職業科教育法	(前田幸一)	17
教育実習	(豊田千代子)	17
教育実習	(坂本信昭)	18
教育実習	(村山輝吉)	18
教育実習	(北村三子)	19
教育実習	(田中智志)	19

(2) 教職に関する専門科目 (選択)

教育関係法規	(広沢 明)	20
教育評価	(大浜 幾久子)	20
教育法規研究	(神田 修)	21
教育哲学	(汐見稔幸)	21
教育情報学	(小倉康仁)	22
教育臨床心理学	(牟田隆郎)	22
教育社会学	(高島秀樹)	23
教育史	(北村三子)	23
教育調査	(鈴木規夫)	24
児童文化	(香川良成)	24
現代社会の諸問題と教育	(高島秀樹)	25
青少年問題研究	(讃岐真佐子)	25
宗教教育	(小山一乘)	26
社会教育の基礎〔社会教育概論〕		
	(村山輝吉)	(27)
視聴覚教育	(飯森彬彦)	(27)
社会教育施設	(村山輝吉)	(27)
図書館学 I	(山崎慶子)	(27)
図書館学 II	(源 昌久)	(27)

(3) 教科に関する専門科目

【社会・地理・歴史・公民】

東洋思想史	(舘野正美)	28
美術史概説	(中島亮一)	(28)
民間信仰論	(谷口貢)	29
人文地理学概説	(小池とみ子)	29
自然地理学概説	(柳田誠)	30
自然地理学概説	(高木正博)	30
地誌学概説	(土谷敏治)	31
地誌学概説	(中島義一)	31
地誌学概説	(宮口侗廸)	32
日本仏教史	(廣瀬良弘)	32
日本文化史Ⅱ	(廣瀬良弘)	(33)
歴史哲学	(麻生建)	33
日本史概説	(小松寿治)	33
日本史概説	(遠藤廣昭)	34
世界史概説	(井村行子)	34
世界史概説	(渡辺惇)	35
社会学原論	(渡辺源樹)	35
宗教人類学	(佐々木宏幹)	(35)
経済原論	(大石雄爾)	36
経済原論	(浅田統一郎)	37
経済原論	(小野俊夫)	38
民法Ⅰ	(青野博之)	39
民法Ⅰ	(林幸司)	40
政治学原論	(上條末夫)	41
日本宗教文化史	(松田文雄)	42
民衆宗教成立史	(津城寛文)	42
宗教学概説	(松田文雄)	43
宗教学概説	(佐藤憲昭)	43
宗教学概説	(津城寛文)	44
哲学概説	(国嶋一則)	44
哲学概説	(末木恭彦)	45
倫理学概説	(久保陽一)	45

【職業】

産業概説	(前田幸一)	46
------	--------	----

職業指導 (山田 勇治)	46
商業実習 (前田 幸一)	47
【商業】	
職業指導 (山田 勇治)	(48)

II 学校図書館司書教諭講座

必修科目

図書館学 I (山崎 慶子)	49
図書館学 II (源 昌久)	49

III 社会教育主事講座

(1) 必修科目

社会教育計画 (村山 輝吉)	50
社会教育の基礎 [社会教育概論]	
(村山 輝吉)	50
社会教育実習 (豊田 千代子)	51
社会教育実習 (村山 輝吉)	51

(2) 選択必修科目

社会教育行政 (東 寿隆)	52
社会教育施設 (村山 輝吉)	52
成人学習論 (東 寿隆)	53
婦人問題と社会教育 (矢口 悦子)	53
企業内教育・職業訓練 (塩川 正人)	54
社会体育 I (古田 潤子)	55
社会体育 II (古田 潤子)	55
図書館学 I (山崎 慶子)	(56)
教育原理	(56)
教育心理学 [教育方法論を含む]	(56)
青年心理学 [教育方法論を含む]	(56)
視聴覚教育 (飯森 彬彦)	(56)
教育社会学 (高島 秀樹)	(56)
教育史 (北村 三子)	(57)
教育調査 (鈴木 規夫)	(57)
児童文化 (香川 良成)	(57)
現代社会の諸問題と教育 (高島 秀樹)	(57)
青少年問題研究 (讃岐 真佐子)	(57)

青少年指導演習 (平野 学)	58
博物館学 I (倉田 芳郎)	(59)
博物館学 II (竹内 順一)	(59)

IV 博物館学講座

(1) 必修科目

視聴覚教育 (飯森 彬彦)	60
考古発掘実習 (飯島 武次)	60
博物館学 I (倉田 芳郎)	61
博物館学 II (竹内 順一)	61
博物館実習 I [館務] (倉田 芳郎・太田 喜美子)	62
博物館実習 II [収集] (倉田 芳郎・所 理喜夫・葉貫 磨哉・恵津森 智行・太田 喜美子)	62
博物館実習 III [見学] (倉田 芳郎・松本 信道・太田 喜美子)	63
教育原理	(63)
社会教育の基礎 [社会教育概論] (村山 輝吉)	(63)

(2) 選択必修科目

インド仏教文化史 (奈良 康明)	64
中国仏教文化史 (永井 政之)	65
日本仏教文化史 (袴谷 憲昭)	65
禅美術 (海老根 聰郎)	66
仏教美術 (中島 亮一)	66
仏教民俗学 (谷口 貢)	67
日本民俗学 (谷口 貢)	67
美術史概説 (中島 亮一)	68
現代美術 (矢野 陽子)	68
地形学 (小池 一之)	69
考古学概説 I [日本] (倉田 芳郎)	69
考古学概説 II [外国] (飯島 武次)	70
西洋文化史 II (佐々木 真)	70
日本文化史 II (廣瀬 良弘)	71

考古学特講Ⅰ	(高 浜 秀)	71
考古学特講Ⅲ	(飯 島 武 次)	72
西域美術史	(松 平 美和子)	72
宗教人類学	(佐々木 宏 幹)	73
現代地理学特論	(貝 塚 爽 平)	73

V 社会福祉主事・社会福祉士基礎講座

(1) 必修科目

※社会福祉原論	(前期:伊藤 秀一) (後期:坂田 周一)	74
※社会福祉原論	(原 田 信 一)	75

(2) 選択科目

※法 学〔福祉〕	(鷄 徳 啓 登)	76
社会福祉発達史	(林 千 代)	77
リハビリテーション論	(原 田 信 一)	78
※社会保障論	(坂 田 周 一)	79
家庭福祉論	(高 橋 重 宏)	79
保健福祉論	(安 梅 勅 江)	80
※公的扶助論	(前期:伊藤 秀一) (後期:船 水 浩 行)	81
※障害者福祉論	(原 田 信 一)	82
※老人福祉論	(東 條 光 雄)	83
児童福祉論	(柏 女 靈 峰)	83
女性福祉論	(林 千 代)	84
医療福祉論	(春 見 静 子)	85
※地域福祉論	(和 田 敏 明)	86
※社会学〔福祉〕	(橋 爪 敏)	87
※心理学〔福祉〕	(高 橋 良 博)	87

上記科目のうち、※印は、社会福祉主事、社会福祉士基礎に兼用する科目、それ以外は社会福祉主事のみを対象とする科目です。

I 教 職 課 程

(1) 教職に関する専門科目 (必修)

科目名	担当者名	配当学年	単位
教育原理	豊田千代子	教職2必 (禅・仏教)	4

講義のねらい

1965年に、ユネスコのポール・ラングランによって「生涯教育」が提唱されて以来、教育を生涯教育・生涯学習という観点で捉えることが、教育改革の国際的動向となっている。わが国でも、今日、生涯学習の観点からの教育の見直しが課題となっている。

そこで、授業では、自分自身の成長過程で経験した教育をふり返ることをとおして、教育について考えていきたい。取り上げるテーマとしては、次のものを考えている。

講義の内容・授業スケジュール

- ・現代の教育問題
- ・「子どもの権利条約」
- ・人権教育
- ・生涯教育論
- ・教師論
- ・国際理解教育
- ・教育改革の方向性

教科書

大学教育実践研究会編『教育を考える』相川書房

参考書等

篠田弘編『資料でみる教育学』福村出版

科目名	担当者名	配当学年	単位
教育原理	北村三子	教職2必 (国文・英米文・社会)	4

講義のねらい

第二次大戦後、民主主義と科学の精神を掲げて出発した日本の教育学は、今日の教育をめぐる様々な問題に十分に対応できなくなっている。また、誰もが環境問題に無関心ではいられない今日において、教育学も、それにふさわしい新たな人間観や、自然や自分や他者との関わりのある方を模索しなければならない。この授業では、教育の新しい方向を見いだすための一つの試みとして、(日本の教育学の源流である)西洋近代の教育学にとっては傍流であった、ゲーテやシュタイナーに焦点をあて、その可能性を探ってみたい。

講義の内容・授業スケジュール

R・シュタイナーは、近代教育学の中では極めて特異な存在であった。しかし、近代の矛盾が顕在化してきた今日では、シュタイナー学校への支持の高まりが見られるばかりでなく、欧米の公教育にも大きな影響を与え始めている。また、シュタイナーは、ゲーテの認識論を基礎にその思想を築いている。近代文明や近代科学によって見失われてきた、人間の身体性や全体性の追求がそこに思い出せるであろう。授業では、シュタイナーの著作をテキストに、その教育思想や教育方法を検討するが、今日の子どもや若者をめぐる問題も、それと関連させて、取り扱いたい。

履修上の留意点

多人数のためゼミ形式は取れないが、共に感じたり、考えたりできる時間にしたい。

成績評価の方法

年度末にレポート(4,000字程度)提出。また、授業時に資料についてのコメントを何回か求めるが、それも出席点として加算する。

教科書

R・シュタイナー『教育術』、みすず書房、1,957円

参考書等

高橋巖『シュタイナー教育入門』角川選書。子安美知子『ミュンヘンの小学生』中公新書。同『ミュンヘンの中学生』朝日文庫、など。詳しくは、教場で指示。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
教 育 原 理	たなかさとし 田中智志	教 職 2 必 (地理・歴史・法律・政治)	4

講義のねらい

本講義の目的は、教育現実（とりわけ教育問題）を洞察できるような、学問的な思考方法を示すことにあります。内容についていえば、とくに個人的経験をこえた、社会・教育・人間の構造的・歴史的な関係をあきらかにすることをめざします。

講義の内容・授業スケジュール

とりあげるトピックスは、①子どもと時間、②学校の象徴性、③遊びの教育化、④教育関係の構造、⑤学歴社会の構成、⑥文化資本（以上、前期）、①不登校、②試験と平等、③教育評価の構造、④いじめと秩序、⑤人間形成と道徳（以上、後期）などです。より詳細な授業予定は、授業初日に配布します。

成績評価の方法

受講者の成績評価は、基本的に、①出席点、②授業期間中になんとか行う小レポート、③年度末に行うレポートによって決めます。

教科書

教科書は、田中智志編著『〈教育〉の解読』（世織書房）です。

参考書等

参考書は、松浦良充編著『いま教育を考えるための8章』（川島書店）です。

その他

基本的に講義形式ですが、可能であれば、後期はゼミ形式をとりたいと思います。また、月に一ないし二回、小レポートを課します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
教 育 原 理	むらやまてるよし 村山輝吉	教 職 2 必 (経 済)	4

講義のねらい

教育事象にかかわる学生自身の個人的経験やおもいを出発点としながらも、テキストにそい、下村湖人の著作等をも参考にしながら、人間の形成と教育・文化・社会のかかわりについて原理的・総合的な考察をおこなう。人間形成にかかわる諸事象を狭い個人的見地を超え広く開かれた社会的視野から攻究できる能力を育てることをめざしている。

講義の内容・授業スケジュール

- 第1ステップ 教育にかかわる学生自身の体験やおもいの発表（口頭・作文）とその理論的な整理の作業
- 第2ステップ 第1ステップで整理された諸問題について、テキストその他の資料を参考にしながら、考察を深める作業
- 第3ステップ 夏休み中、関連する資料の読みとりとそのレポート作成
- 第4ステップ レポートを基に、日本の教育の現状についてその課題を明らかにし、望ましい改革の方向を探究する作業

成績評価の方法

出席点、レポート、口頭発表、試験等により総合的に判定する。

教科書

堀尾輝久『教育入門』岩波新書 ¥480

参考書等

『下村湖人全書』全10巻。
その他についてはそのつど紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
教 育 原 理	さか もと のぶ あき 坂 本 信 昭	教 職 2 必 (商・経営)	4

講義のねらい

教育は、一面においては理論的研究を必要とするが、それだけに止まっていることができない。他面において、実際に被教育者をいかにして教育していくか、という実践的・技術的研究が必要とされる。したがって教育は、狭い専門領域に立てこもっているわけにはいかず、人間生活の万般に関係をもつことになる。このため、教育という現象を対象として、一つの学問分野を独立させることが、19世紀はじめ、ドイツの哲学者J.F.Herbart (1776-1841) の出現によって、ようやく可能になった。Herbart は、教育学を倫理学と心理学とを基礎として、一つの科学として体系づけようとしたのであるが、その後の研究の進歩により、教育は社会学や政治学などの諸学とも密接な関係をもつものであることが解明されるようになったため、今日に至るまで、他の科学のような自立性をもっていないといわれている。

教育原理は、このような教育学の研究成果をとり入れることはもちろんであるが、それとともに、これらの成果を、どのように実践に生かして行くかをも探究する。教育学は教育を対象として理論的研究を進めるものであるが、教育原理は、教育に従事しようとする人たちに教育についての理解を深め、実際に教育にあたる場合の技術や心得を培うことについても検討しなければならない。

履修上の留意点

講義と並行して、参考書欄に記した②「きょういく VISUAL NOTE」を、自学自習のテキストとして活用し、各自で作業（ノート）を完成させ、完了次第提出してもらいます。

成績評価の方法

課題レポート、自主レポート、ビジュアルノートきょういく及び年度末のテストなどによって、総合的に評価します。

教科書

西村絢子他著『現代教育を考える』、昭和堂 ￥2,600

参考書等

田村皖司他著『きょういく VISUAL NOTE』、エイデル研究所 ￥1,800

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
教 育 心 理 学 (教育方法論を含む)	おお はま き く こ 大 浜 幾 久 子	教 職 2 必 (禅・仏教・国文・英米文)	4

講義のねらい

前半では、発達心理学・学習心理学・人格心理学など現代心理学の諸分野の研究から、教育にかかわるものを学ぶ。後半では、学校教育を中心に、中学生・高校生の様々な問題を取りあげ、教育心理学的な考え方と、それに関連した最近の心理学研究をみていく。なお、基礎的な研究演習を随時おこなう。

履修上の留意点

マルチメディア室を使用する。教室や機器の制約から、受講生数を制限する必要が生じるかもしれない。新学年の、初めの2回は必ず出席のこと。なおパソコンも使用するが、予備知識は必要としない。

成績評価の方法

年4回程度のレポート提出を含めた平常点による評価の予定である。

教科書

必要な資料は随時、準備し指示する。ビデオ教材等、多様な教材を活用したい。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
教育心理学 (教育方法論を含む)	えん どう 遠 藤 つかさ 司	教 職 2 必 (国文・英米文・法律・政治)	4

講義のねらい

現在の教育の世界において、心理学の様々な知見が影響力を持ち得ている様子を概観し、将来、教職に就こうとしている人間として、心理学的なものの方に対してどのように考えていくべきか、自分なりの見方を確立することをテーマとする。

講義の内容・
授業スケジュール

まず、「学ぶ」ということに注目する。教育心理学の中で「学ぶ」ことをどのように考えてきたか、それに伴って「教える」ことをどのように考えてきたかを概観したい。また、「意欲」、「評価」、「教師-生徒関係のあり方」等の問題にも触れながら、現在の学校において「学ぶ」ということを改めて問いなおしていきたい。

成績評価の方法

試験を予定している。

教 科 書

用いない。

参 考 書 等

授業中に随時紹介する。

そ の 他

ビデオ等を用い、できるだけ実際の授業の場面などを見ながら、実践に即して様々な問題について考えていきたい。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
教育心理学 (教育方法論を含む)	きた じま あゆ み 北 島 歩 美	教 職 2 必 (地理・歴史・社会)	4

講義のねらい

人生のライフサイクルの各段階における心の発達に焦点を合わせる。ハルトマンの発達課題、エリクソンの心理社会的危機などを中心に取り上げ、それぞれの段階について、認知的発達、情緒的発達、社会的発達についてまとめる。そのことによって、一人の人間の人生全般にわたる発達観が得られることを目的とする。また、各段階（年齢）によって発生しやすい心の問題を、具体的な事例をとりあげながら検討し、そのことについての対処方法を考えてゆく。

講義の内容・
授業スケジュール

乳児期から老年期までを9段階に分け、各段階における発達課題、心理社会的危機について、順を追って講義する。

成績評価の方法

学年末試験

参 考 書 等

B. M. ニューマン & P. R. ニューマン著 「生涯発達心理学」 川島書店
E. H. エリクソン著 「幼児期と社会（上、下）」 みすず書房

科目名	担当者名	配当学年	単位
教育心理学 (教育方法論を含む)	こく がん まり こ 国 眼 眞 理 子	教 職 2 必 (地理・歴史・社会)	4

講義のねらい さまざまな教育現象を心理学の視点から理解する。あわせて取得免許状の対象である中高生の心理的な特徴を理解し、彼らの心の健康を促すために必要な視点を学ぶ。

講義の内容・授業スケジュール ベースとなる基礎心理学を学んでいない人が多いので、①行動の基礎である人間の知覚のメカニズム、②発達や学習の概念、③対人関係の心理（対人認知やコミュニケーションを含む）、④青年期の発達の意味等を学び、その中で適宜さまざまな教育現象を考える。なお授業は講義が中心であるが、理解を助けるために指定図書を通読やビデオ・OHP等の視覚教材を利用する。

履修上の留意点 最近人間の行動に関するさまざまな優れた放送番組があるので、関心をもって見ることを勧める。

成績評価の方法 指定図書の中から3冊を選び、中高校生と接するときの留意点を自分の具体的な経験を交え、論評する。この3回のレポート提出をもって、成績の評価を行うので、提出することが単位取得の条件である。なお不十分な内容のときには再度提出を求めることがある。定期試験は、筆記試験ないしレポート試験のいずれかを課す。

教科書 詳細は、はじめの授業のときに配布する。必要な資料はそのつど配布する。

科目名	担当者名	配当学年	単位
教育心理学 (教育方法論を含む)	すみ の ぜん じ 角 野 善 司	教 職 2 必 (経済・商・法律・政治・経営)	4

講義のねらい 教育心理学は、教育場面对して心理学的にアプローチする学問である。すなわち、教師が、児童・生徒を理解し、効果的な教育を行うために役立つ知見を、心理学的な観点から示そうとするものである。
この講義で学び、そして考えたことを、教育場面で児童・生徒と接するにあたっての一助とされたい。

講義の内容・授業スケジュール 通年講義の前半は、以下の4つを中心テーマとして進める。
①発達：児童期・青年期の発達に重点をおくが、生涯にわたる発達についても考える。
②学習：児童・生徒の学習について、および学習に対する教授過程について考える。
③人格・適応：人格形成、人格の理解、心理的健康などについて考える。
④測定・評価：教育場面における評価の目的やあり方について考える。
後半には、必ずしもこれらの枠にとらわれず、教育場面で重要となるトピックスを広く採りあげていきたい。
なお、前半－後半は、必ずしも前期－後期を意味しない。

履修上の留意点 教職科目は、教員になるために必要な素養として設けられたものである。自らの意志で教員免許取得を目指す以上は、毎回講義に出席し、主体的な態度で臨むように。

成績評価の方法 評価は、平常点およびテスト得点に基づいて行う。

教科書 教科書は、特に指定しない。

参考書等 参考書は、講義の進行に合わせ、随時紹介する。

その他 特記事項なし。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
青年心理学 (教育方法論を含む)	おお はま き く こ 大 浜 幾 久 子	教 職 2 必 (禅・仏教・国文・英米文)	4

講義のねらい

はじめに青年期に限らず一般に、人間の発達とは何か、について考える。その上で青年期の様々な問題を取りあげ、それらに対する心理学的な分析の方法と最近の研究を学んでいく。また、性格テストなどの実習や、基礎的な研究演習も可能な限り行っていきたい。

成績評価の方法

年4回程度のレポート提出による平常点評価の予定である。出席はとらないが、実習や演習の機会をいかにするために、毎回の講義を大切にしてほしい。

教 科 書

必要な参考資料は随時、準備し指示する。また、ビデオ教材なども活用していく。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
青年心理学 (教育方法論を含む)	かわ だ みつ お 川 田 三 夫	教 職 2 必 (国文・英米文 地理・歴史・社会)	4

講義のねらい

今日、中・高校生の置かれている状況は、例えば私の頃と同じ様でありながら、心理的には、かなり異なってきた。

不登校やいじめにしても、似た様な要因や状況はありながらも、最近程は多くなかった。何が違ってきたのか考えてみる必要がある。

そのせいか、かつて自閉症に対する考え方が母親の養育の不良といったとらえ方をされていたのが、認知障害説に変ってきた様に、不登校児やその原因に対する考え方も、大きく変わってきている。

若者を発達や心理的な側面からとらえ、理解しようとするのが青年心理学である。いくつかの観点・領域に分けて概論的な知識や理解を深めてもらいたい。

講義の内容・
授業スケジュール

前期は主に以下の様な内容である。

- ① 思春期の身体的変化、性的成熟
- ② 自我の芽ばえ、自己形成
フロイト理論やアイデンティティ理論、自己愛人格、依存性人格etc
- ③ 家族・友人・対人関係
愛着理論、デプリベーションの問題
徒党的集団、役割学習
準拠集団、比較・規範機能
- ④ 恋愛と性意識
- ⑤ 若者文化
- ⑥ 非行・問題行動

後期は、前期の概論的な知識や概念理解をもとにして、トピック別に、調査資料や事例等を使いながら理解を深めていく。

履修上の留意点

前・後期を通して、テーマにそった心理テストや調査を行ない、結果を示している。

前期の試験以外にも、演習的な課題を出している。やってもらったことは全て評価や考慮の材料にしている。通年科目だが、中間報告もしているのので、参考にして欲しい。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
青年心理学 (教育方法論を含む)	こみやま 小宮山	かなめ 要 教職 2 必 (地理・歴史・社会)	4

講義のねらい

- 1 中学・高校の教師になるために必要不可欠な青年心理学についての知識と、今日の中学生や高校生が示している、いろいろな問題行動についての理解とその指導法を習得する。
- 2 現在青年期の中にある大学生自身の自己理解を深め、対人関係能力の向上と社会性の発達に役立てる。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1 青年心理学の目的、課題、方法、問題点
- 2 中・高校生の問題行動の様相
- 3 青年理解と適応指導
- 4 人間関係の展開と改善
- 5 青年期の危機とのりこえ

成績評価の方法

授業中の小テスト 60%、レポート 40%

そ の 他

授業は主として講義形式とするが、課題に対する発表討議等も加える。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
青年心理学 (教育方法論を含む)	つね た ひで 常 田 秀 子	教 職 2 必 (経済・商・法律 政治・経営)	4

講義のねらい

青年期とは児童から成人への移行の時期である。身体的にも精神的にも、また社会的にも大きな変化が起きる「疾風怒濤の時代」といわれる。この変化に富んでいるとされる青年期の心理的な発達の特徴について、様々な側面から検討することを、本講義の目的とする。

本講義では、最近注目されつつある生涯発達心理学的視点に立つ。すなわち、人間の人生全体の中に青年期を位置づけながら、乳幼児期・児童期が青年期にどのような影響を与えるか、青年期がその後成人期・老年期にどのような影響を与えるかについて考えたい。

なお、本講義は、教員免許・社会教育主事資格取得のために必要な単位である。だが、単にこれらの仕事の対象者としての「青年」の心理を理解するためものとするのではない。それと同時に、自分や自分の仲間を理解することをも目標としたい。この講義を受ける学生の大部分もまた青年期にあるのだから。

講義の内容・
授業スケジュール

前期：テキストを参照しながら、人間発達の全体像を把握しつつ、青年期の心理の特徴について知る。

後期：いくつかのトピックについて、青年期の発達の特徴について考える。トピックは受講生の興味に応じて決定する。トピックの例としては a) 現代青年の対人関係、b) 親子関係の変化と親になること、c) 性役割意識の発達などを考えている。

履修上の留意点

受講生の多くは、おそらく自らも青年期にあるだろう。授業の内容を、単なる事実、知識として受けとめるのではなく、自分自身の問題として考えてほしい。また、青年像そのものが、時代や社会状況に応じて敏感に変化するものであるため、「現代の」青年がどのようなものであるかは、むしろ受講生の方がよくわかっているとも言えよう。

このようなことから、受講生のみなさんの活発な意見交換を期待しています。

成績評価の方法

成績は以下の点を考慮して評価する。(1)授業への出席状況 (2)授業への参加状況 (3)ゼミ発表の内容 (4)夏休み、および学年末のレポートの内容。

特に、(2)(4)を重視します。

教 科 書

神谷美恵子 「こころの旅」みすず書房 1,545円

参 考 書 等

授業中に随時紹介する

そ の 他

基本的にはゼミ・討論形式をとりながら、必要に応じて講義を行う。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
道徳教育の研究（半期）	なかのめ なお あき 中野目 直 明	教 職 2・3 必	2

講義のねらい	道徳の本質、道徳教育の歴史、学校における道徳教育の現状等を明らかにし、これからの道徳教育のあり方をさぐる。
講義の内容・授業スケジュール	①道徳の本質 ②学校における道徳教育の歴史 ③戦後の道徳教育 ④学校における道徳教育 ⑤これからの道徳教育の展望と課題
履修上の留意点	講義に積極的に参加し、研究発表は十分に学習して実施し、レポートは必ず提出すること。
成績評価の方法	出席状況、研究発表、レポート提出、試験により総合的に判定する。
教科書	前期 長田三男他著「道徳教育の研究」酒井書店 1,900円 後期については未定 授業にて指示する。
参考書等	講義の際に紹介する。
その他	授業の方法として、講義を中心とするが、学生の研究発表をとり入れて、それぞれの学生が選択したテーマについて研究したことを講義時に発表させる。この発表したものをレポートにまとめて提出させ、成績評価の対象とする。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
特 別 活 動（半期）	なかのめ なお あき 中野目 直 明	教 職 2・3 必	2

講義のねらい	将来、中学校や高校の教師として、特別活動を指導するに際して必要とされる知識や技能について講義する。講義の学問、研究的背景として、人間関係論、心理学、生徒指導論、教育相談、進路指導、教育経営学の各分野にわたる学問や研究の成果を活用する。
講義の内容・授業スケジュール	①これからの学校教育と特別活動の意義 ②特別活動の変遷 ③特別活動の特質と目標、内容 ④指導計画・指導案の作成 ⑤学級活動、ホームルーム活動の指導 ⑥児童会、生徒会活動の指導 ⑦クラブ活動、部活動の指導 ⑧学校行事の指導 ⑨特別活動の評価 ⑩特別活動と学級・学年・学校経営 ⑪学校週5日制時代における家庭、地域との関わり ⑫これからの特別活動の展望と課題
履修上の留意点	講義に積極的に参加し、研究発表は十分に学習して実施し、レポートは必ず提出すること。
成績評価の方法	出席状況、研究発表、レポート提出、試験により総合的に判定する。
教科書	中野目直明、小川一郎編著「要点 特別活動の理論と実践」酒井書店 2,000円
参考書等	特になし。
その他	授業の方法として、講義を中心とするが、学生の研究発表をとり入れて、それぞれの学生が選択したテーマについて研究したことを講義のとき発表させる。これをレポートにまとめて提出させ、成績評価の対象とする。

科目名	担当者名	配当学年	単位
生活指導(半期)	えん とう つかさ 遠 藤 司	教職2・3必 (禅・仏教・国文・歴史・社会)	2

講義のねらい

教師が生徒の生活面を指導することは現在の学校において様々な形でされている。将来、教職に就こうとする人間として、生徒(他者)の生活を指導することの意味を改めて問いなおし、無意識のうちにもっている自らの生活指導観を自覚的にとらえなおすことが本講義の目的である。

講義の内容・授業スケジュール

学校の中で適応的に生きることができない人、いわゆる不適応を起こしている人に対して、自分としてどのような見方をし、またどのような態度でのぞむかを考える。併せて、現在の学校において深刻な問題となっている、例えば、登校拒否、いじめの問題等についても、現状を概観しながら、自分としてそのような状態にある生徒に対して、どのような態度でのぞむかを考えることを通して、最終的には自分自身の生活指導観を問いなおしていくことにつなげていきたい。

成績評価の方法

試験を予定している。

教科書

教科書は用いない。

参考書等

授業中随時紹介する。

その他

講義中心になることは含めないが、参加者の指導観を自覚化し問いなおすための機会を様々な形で作りたいと考えている。

科目名	担当者名	配当学年	単位
生活指導(半期)	さ とう なお と 佐 藤 尚 人	教職2・3必 (英米文・地理・経済 商・法律・政治・経営)	2

講義のねらい

学校教育において、教科の学習や集団生活への参加が、一人ひとりの児童生徒でスムーズにいくよう指導することを教師は求められる。しかしながら、子どもは決して等質・均一存在ではない。画一化された教師の指導方法や対応では日々起こりうる種々の問題の解決がうまくいかない、あるいはむしろ問題を引き起こしてしまうことすらあるであろう。

本授業では、昨今教育問題として取り上げられる機会が多い「いじめ」「不登校」「非行」などについて、そのような問題行動を示す子どものこころのありようの理解や対応の仕方、さらには問題行動を未然に防ぐための教師としての心構えなどを考えてゆく。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 X はじめに 学校教育の歴史と目的 教師のなすべきこと
- 2 X 子どもの理解 問題行動について医学的・工学的な理解と教育的な理解
- 3 X E. H. エリクソンの発達段階・課題の考え方(その1)
- 4 X E. H. エリクソンの発達段階・課題の考え方(その2)
- 5 X E. H. エリクソンの発達段階・課題の考え方(その3)
- 6 X E. H. エリクソンの発達段階・課題の考え方(その4)
- 7 X さまざまな問題行動とその理解「いじめ」
- 8 X さまざまな問題行動とその理解「不登校」
- 9 X さまざまな問題行動とその理解「非行」
- 10 X こころの病・不適応「神経症」「精神病」
- 11 X 問題行動への対応の方法「学習理論にもとづくもの」
- 12 X 問題行動への対応の方法「心理療法にもとづくもの」
- 13 X まとめ 生活指導において大切なこと

履修上の留意点

原則として出席はとらないが単位を取得することを希望する学生は毎回出席すること。さらに、授業中に質問や意見などを積極的に表明することが望ましい。
参加学生に対してはすべて公平にあつかう(さまざまな事情があっても特別扱いはしない)。

成績評価の方法

原則として定期の筆記試験(ノート等の持ち込みは一切不可)の結果により成績を評価する。ただし、授業中の発言(質問・意見)や宿題等の課題の提出を試験の成績にプラスして評価する。

教科書

特に使用しない。講義ノートをもとに授業を進めてゆく。

参考書等

大貫・佐々木 編著『心の健康と適応』福村出版 2,200円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
宗 教 科 教 育 法	こ 小 やま 山 かず のり 一 乗	教 職 3 必 (禪 ・ 仏 教)	4

講義のねらい

講義と模擬授業とで構成する。
 教育関係法規下での「宗教科教育」の位置づけを概観する。憲法、教育基本法、学校教育法、学習指導要領、教育職員免許法を概観する。
 特に、各教科と宗教科との関係、「宗教科教育」と「宗教教育」との異同点にも留意する。
 我が国にかかわる第2次世界大戦後の、対日米国占領教育改革施策に看取される「宗教教育」の諸問題を例示しつつ、日本国憲法20条と教育基本法9条との関係、基本法9条と初期社会科学学習指導要領の文言との関係等を検証する。
 その上で、「宗教の定義集」への着目をし、「『宗教に関する寛容の態度』の涵養」への展開を検討する。そこからさらに「宗教の社会生活における地位」に関する「宗教的無知」解消を図る授業展開を考える。
 宗教一般知識教育、宗教的情操教育、宗派教育の学習指導方法を具体的に探究して、異文化理解の課題にも備えるようにしたい。適宜、童歌なども、導入し、幼稚園教育から高等学校教育までの接続も考察に含めたい。

講義の内容・授業スケジュール

『仏教概論 — 分かりやすい仏教 —』をテキストにして、原則として模擬授業（50分）を課します。教材研究の実際、学習指導要領、学習指導案の基礎的・基本的事項を講義する。その上で、具体的に、学習指導案の様式と教育観との関係が思量でき、主体的に選択した様式に基づいて実際に学習指導案を作成してもらおう。
 模擬授業は、その様子をビデオに収録し、再生して、爾後の授業分析の鏡利用とし、自己分析に供する。

履修上の留意点

学年、他教科との関連を常に勘案すること。社会科・地理歴史科・公民科における宗教の教育、宗教科教育における宗教の教育、宗教教育における宗教の教育の異同点、及び、訳語としての用語「宗教」に関し熟考して欲しい。

成績評価の方法

年度末課題レポート、模擬授業、中間レポート、宿題提出、出席点などにより評価する。特に出席を重視する。

教科書

小山一乗著『社会科における宗教の教育と寛容 — 「告げる」と「教える」をめぐる —』（宣協社）¥2,700
 『仏教概論 — 分かりやすい仏教 —』（曹洞宗事務庁 ¥800）
 小中高各『学習指導要領』（各 ¥230 ¥250 ¥370）
 『仏教・キリスト教・イスラーム・神道 どこが違うか』（大法輪閣） ¥1,600
 『教職教養ランナー』（一ツ橋書店） ¥1,020
 『教育小六法』（学陽書房） ¥2,200

参考書等

井上順孝監修『宗教教育資料集』（すずき出版） ¥3,900
 『宗教教育の理論と実際』（鈴木出版 1985年）
 その他適宜紹介する。

その他

講義を基調とするが、実際には、講義と模擬授業（演習）を折衷した形態となろう。定例教場での講義を中心とするが、必要に応じ、視聴覚教室でのビデオ、スライド、OHPの視聴をするので視聴覚教場の掲示に注意しておくこと。なお可能なら、受講生と調整の上で調査見学もしたい。
 プリントを配布するのでファイル表紙を用意して欲しい。

科目名	担当者名	配当学年	単位
国語科教育法	かみ や みち のり 神 谷 道 倫	教 職 3 必 (国 文)	4

講義のねらい

中学校・高等学校の国語科教育の意義・目標・内容、さらに各領域・教材に応じたそれぞれの指導方法等について概観したのち、実際の教材にあたって、基礎学力を点検するとともに、教材研究のあり方、指導事項、指導方法、指導過程等について、主に模擬授業の形式で具体的に研究を深め、実践に際しての指導力を養成する。

講義の内容・授業スケジュール

重点的に以下の三点を中心に進める。

- ① 国語科教育の現況の確認
- ② 国語科教育の方法、実践等について先人の試みの意義を探る。
- ③ 教育実践の準備

以上のうち①②については、教科書・プリント等を用いて講義形式で行う。③については、教材研究の実際、指導案の作成など課題形式のものの提出と、実際の教材による模擬授業の形式（グループ分けにより全員が何らかの形で必ず参加）で行う。基礎学力の点検にも配慮する予定。

履修上の留意点

科目の性質上、出席は当然重視する。（なお、中学校・高等学校時代使用の国語の教科書・副読本があれば、手元に整理して必要な場合参照できるようにしておくことが望ましい。）

成績評価の方法

定期試験の成績を主とするが、提出物、模擬授業の成果、授業参加（出席）の状況等の観点も加えて総合的に評価する。

教科書

倉澤栄吉他編 新中学校・高等学校『国語科教育法概論』有精堂 ￥1,600

参考書等

国語科教育法に関するもの、特に後半使用する教材に関するもの等少なからずあるが、その都度指示する。

科目名	担当者名	配当学年	単位
書道科教育法	な す たか よし 那 須 隆 吉	教 職 3 必 (国 文)	4

講義のねらい

長い歴史を持つ書道の特質を考察し、その指導法を学習する。そして将来の教師としての自覚を促し、その指導力を養う。

講義の内容・授業スケジュール

文部省の芸術科学習指導要領を理解し、芸術科書道の指導計画の作成についての基本的な考え方や、学習指導のあり方、指導法の工夫などについて事例を挙げながら講じたい。

履修上の留意点

遅刻をしないように、又教場での私語を慎むように。

成績評価の方法

出席及び随時レポートの提出により評価する。

教科書

高等学校芸術科書道指導資料「指導計画の作成と学習指導の工夫」文部省編著，教育図書㈱ 990円

参考書等

随時紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
英 語 科 教 育 法	さ とう しん じ 佐 藤 真 二	教 職 3 必 (英 米 文)	4

講義のねらい

中学校及び高等学校において、英語教師として授業を行うために必要な事項を学ぶとともに、実際に教壇に立ち、教えることに慣れることを目標とする。

講義の内容・
授業スケジュール

主に取り上げる内容は以下のとおりである。

- 1) 英語科教育の目標
- 2) 主な教授法 (文法訳読式教授法, 直接教授法, オーラル・メソッド, グレイデッド・ダイレクト・メソッド, オーラル・アプローチ, 認知学習理論, ヒューマンスティック・アプローチ, コミュニカティブ・アプローチ)
- 3) 言語材料と指導 (音声, 文字, 文法, 語彙)
- 4) 言語活動 (聞く, 話す, 読む, 書く)
- 5) 授業の展開 (授業計画, 授業の構成, 指導案, 中学校の授業, 高等学校の授業)
- 6) 指導形態 (一斉指導, グループ指導, ペア指導, 個別指導, 学習習熟度別指導, ネイティブ・スピーカーとのティーム・ティーチング)
- 7) 評価とテスト
- 8) 教具・視聴覚機器 (ピクチャー・カード, フラッシュ・カード, OHP, テープ・レコーダー, LL, VTRなど)
- 9) 教師と学習者

履修上の留意点

自分が、近い将来、実際に教壇に立ち、生徒を前にして授業を行うことになるのだということを念頭におき、積極的に取り組んで欲しい。欠席は慎むこと。

成績評価の方法

前期末・後期末の試験のほか、授業内の発表も評価に加える。

教 科 書

塩沢利雄他著『新英語科教育の展開』英潮社

参 考 書 等

教場において指示する。

そ の 他

授業の方法は、教壇に立ち、授業を行うことに慣れるという目標を踏まえ、模擬授業を多く取り入れてゆく。また、本講義の中で学ぶ事項に関しても、担当の学生が、予習をしてまとめたうえで、他の学生に発表し、説明するという形式をとる予定である。それによって、人前で話し教えることに馴染んで欲しいと願う。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
社会科・地理歴史科教育法	なか しま き いち 中 島 義 一	教 職 3 必	4

講義のねらい

理論的な面は教職課程の先生方の講義にゆずり、この科目では20余年間中学校と高等学校で地理と歴史の授業を担当した経験をふまえて実際的な面を扱う。

講義の内容・
授業スケジュール

教育法というのは本を読んだり人の話を聞いたりしただけでは駄目で、自分でやってみることが必要である。4年生になると教育実習があるが、その前に大学の教室内で予行演習を行う。学生1人が1時間宛授業をするわけである。私の講義はそれに先だち行なうが何時間やれるかは受講学生数によってきまってくる。

履修上の留意点

出席を重視する。遅刻、欠席の多い人は教師として不適格である。

成績評価の方法

学生の授業の折に評価するが、都合でやれなかった人は年度末にレポートを提出。

教 科 書

使用しない。

参 考 書 等

授業時に紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
社会科・地理歴史科教育法	なが の ただし 長 野 覚	教 職 3 必	4

講義のねらい

中学校社会科・高等学校地歴科教員免許の修得に必要な教育科目指導の実践方法を指導する。具体的には特に中学校地理、高等学校地理A・Bの教育実習に備えた、模擬授業の準備と実施に重点をおく。

講義の内容・
授業スケジュール

- ① 履修者は必ず模擬授業を行うことを前提とする。そのためには教科書内から指導課題を自由に選び、その教案（導入・展開・まとめ）を作成し、期限内に提出し、教案内容の指導を受けること。
- ② 教案提出者について模擬授業の期日を決定する。決定後の期日の無断変更は認めない。また、決定日に欠席した場合は模擬授業資格を放棄したものとし、単位の認定は認めない。
- ③ 模擬授業に際しては、教案に対応する資料（地図・統計・写真など）を準備し併用すること。
- ④ 模擬授業当日は、必ず教場に掛地図を準備し利用すること。
- ⑤ 夏休み課題を始業時、指示する。

成績評価の方法

教案・資料の内容、模擬授業の要領、夏休み課題、授業の出席日数などを総合して評価する。

教 科 書

『中学校社会科地理教科書および地図帳』、『高等学校地理A・地理B教科書および地図帳』、『文部省学習指導要領』。(一般の書店では取り扱わないので、購入方法は始業時に説明する。)

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
社会科・地理歴史科教育法	野 呂 肖 生 <small>の る たが おい</small>	教 職 3 必	4

講義のねらい

中学校社会科、高等学校地歴科の授業を自らくみため、実践できる能力を養う。とくに個性を重視したい。

講義の内容・授業スケジュール

前半は講義（社会科から地歴科への変遷、学習指導要領の分析、学習指導計画と指導案の作成、評価の方法、社会科をめぐる諸問題など）。後半はグループ別に模擬授業を実践する。

履修上の留意点

安易な単位取得のための受講をしないこと。出席・提出物はきわめて重視する。

成績評価の方法

出席・提出物・期末テスト等によるが、とくに勤勉さと創意工夫とに力点を置く。夏期休暇中の課題もある。

参 考 書 等

文部省学習指導要領、中・高歴史教科書（開講時に指示）。

そ の 他

社会科・地歴科全体にも論及するが、とくに歴史の指導法に焦点をあわせる。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
社会科・公民科教育法	橋 爪 敏 <small>はし つめ さとし</small>	教 職 3 必	4

講義のねらい

この授業は、社会科・公民科教師に必要な基礎的認識や知識の習得などを主たる目標とする。

講義の内容・授業スケジュール

授業の内容としては、上に記したような目的を実現すべく、また、学生諸君の能動的参加が可能な形式で行ないたい。したがって、受講学生数によって、その方法は変わらざる得ない少人数（15名位迄）の場合は社会科・公民科に関わる文献講読を主としたい。15名以上の受講生の場合は、学生自身の自主研究の発表を主にしたい。いずれにせよ、模擬授業の意味を持たせ、学生の報告を主とする形式で行なう。

履修上の留意点

教師に成ることを目指すか否かにかかわらず、積極的に授業に参加する学生の受講を望む。

成績評価の方法

成績の評価は、前期・後期のレポート提出ならびに普段の研究報告、授業参加状況、出席状況などを総合して決定する。

教 科 書

教科書は、文献講読の場合は、授業開始後に指示する。

参 考 書 等

参考書等は適宜、授業中に紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
社会科・公民科教育法	や 谷 しき 敷 ただ 正 みつ 光	教 職 3 必	4

講義のねらい

社会科は民主主義の発展と平和的な国家・社会の形成者をめざす上で、重要な使命を負って誕生した教科であり、日本の将来を担ったと言っても過言ではない教科である。この社会科教育も戦後の政治・経済の発展とともに大きく変遷し、動揺を続けてきた。学習指導要領は1989年に第6回目の改訂が行われた。今回の改訂は単なる教科内容の改訂にとどまらずに小学校低学年の社会科と理科を廃止し、新たに生活科を設け、高等学校の社会科を再編し、新たに地理歴史科と公民科を設けたことの意味を考えなければならない。

この授業のねらいは、しっかりとした社会科教育を樹立するため、単なる授業方法の技術論ではなく、より基本的な「教育とは何か社会教育とは何か」といったところまでさかのぼって検討してみることにある。その上で、社会科教育の歴史、社会科教育の基本原則とその内容・方法の把握につとめ、教科担当の専門職としての認識を深めるとともに教員としての資質の養成につとめたい。

講義の内容・ 授業スケジュール

1. 日本教育の現状
2. 教育の基本概念
3. 社会科の成立
4. 社会科学習指導要領の変遷
5. 中学校の教育課程と社会科
6. 高等学校の教育課程と公民科
7. 社会科の学習指導計画
8. 社会科学習指導案の意義と作成
9. ビデオによる社会科教師の授業研究
10. 4年生による模範授業
11. 模擬授業を通じての社会科の学習指導、授業実践の研究
12. 中学校社会科の目標・内容・取り扱い
13. 高等学校公民科の目標・内容・取り扱い
14. 教育評価
15. 社会科教育実習の意義
16. 社会科教師論
17. 社会科教師と教員採用試験
(教員採用試験の受験希望者は授業とは別に指導する。)

履修上の留意点

- ① 教科書の補充として年間かなりのプリントを配布するので、必ずその時間に受け取ること。
- ② 現実的理解のためビデオなどで視聴覚教室を利用するので、常に教場には注意しておくこと。

成績評価の方法

授業での課題の提出、学習指導案の作成、模擬授業実践などで総合的に評価する。

教 科 書

大森・谷敷共著『社会科教育研究』梓出版

参 考 書 等

社会科・公民科の『教科書』、『中学校・高等学校学習指導要領』

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
社会科・公民科教育法	おおくほ はる お 久 保 治 男	教 職 3 必	4

講義のねらい

現下山積する教育上の諸問題を意識しつつ、社会科の教科教育法のより効果的実践方法を探究する。学校教育における高校の「政治・経済」「現代社会」中学の「公民」など社会科系列の検定教科書や学習指導要領を分析しつつ社会科教育法の目標、構成、内容等について考究する。さらに具体的に指導計画、指導案、指導方法、教材研究、教育評価については、受講生をグループ別に模擬教育実習を通じて実践させることで合目的教育方法を発見させるよう努める。OHP、スライド、8ミリ、ビデオ等視聴覚教育器機も使用しつつ一方的講義でなく受講生にも積極的に学習参加させ、将来の教師としての自覚や意欲を持たせ楽しい講義となるよう配慮する。

成績評価の方法

成績評価は平常点特に模擬実習の発表内容・態度に重点を置き将来の理想の教師像への訓練とする。

教科書

その都度指示する。

参考書等

『学習指導要領』（中学・高校の社会）。各自が使用した社会関係の教科書。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
商業科教育法	やしきただ みつ 谷 敷 正 光	教 職 3 必 (経済・商・経営)	4

講義のねらい

「産業教育」（職業教育）の一つである商業教育は、日本の経済をささえる重要な一環としてつねに重視され、産業構造の高度化、経営革新にともなうめまぐるしく変遷してきた。先端産業化、国際化、情報化時代をむかえ、大きく改善されている。さらに1994年度からは、「普通科」と「職業科」の中間形態ともいえる「総合学科」が誕生し、高等学校教育の改革が急速に進んでいる。従って、この講義のねらいは、「職業教育」のあり方そのものが問われている現在、しっかりとした商業教育を樹立するために、この「教科教育法」を商業教育の単なる技術論に終わらせることなく、より基本的な「教育とは何か」「商業教育とは何か」といったところまでさかのぼり、本来的な意味での商業教育論を展開し、教科担当の専門職としての認識を深めるとともに教員としての資質の養成につとめたい。

講義の内容・授業スケジュール

1. 日本経済の発展と産業教育
2. 商業教育の現状と課題
3. 職業教育・商業教育の概念
4. 高等学校における商業教育の変遷
5. 高等学校の教育課程
6. 商業科の教育課程
7. 商業科の学習指導計画
8. 商業科学習指導案の作成
9. ビデオによる商業科教師の授業研究
10. 4年生による模範授業
11. 模擬授業を通じての商業科の学習指導、授業実践の研究
12. 商業の各科目の個別目標・内容・取り扱い
13. 教育評価
14. 商業科教育実習の意義
15. 商業科教師論
16. 商業科教師と教員採用試験
(教員採用試験の受験希望者は授業とは別に指導する。)

履修上の留意点

- ① 教科書の補充として年間かなりのプリントを配布するので、必ずその時間に受け取ること。
- ② 現実的理解のためビデオなどで視聴覚教室を利用するので、常に教場には注意しておくこと。

成績評価の方法

授業での課題の提出、学習指導案の作成、模擬授業実践などで総合的に評価する。

教科書

岡田修二他『新商業教育論』多賀出版

教科書

高等学校商業科の『教科書』、『高等学校学習指導要領』

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
職 業 科 教 育 法	まえ だ ゆき かず 前 田 幸 一	教 職 3 必 (経 済 ・ 商)	4

講義のねらい

基本的には以下の項目に沿って授業を進めていきます。

- ① 「技術・家庭のあり方」について，新聞の切り抜きを通して考えていく。
 - ② 「中学校学習指導要領」の技術・家庭科について，その新旧の違い，変化などを比較検討していく。
 - ③ 職業教育について考えていく。
- ①，②は前期授業，③は後期授業で行う予定です。

履修上の留意点

自分や周りの人の家庭や職業について改めて考えてきてほしい。

成績評価の方法

筆記試験はせず，平常点かレポートで成績評価をします。

教 科 書

『中学校学習指導要領』（文部省平成元年3月）。他については授業の際指示します。

参 考 書 等

中学校で使用していた『技術・家庭』の教科書など。

そ の 他

授業を受ける人は少人数なので，ゼミ形式で授業を進めていきます。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
教 育 実 習	とよ た ちよ こ 豊 田 千代子	教 職 4 必 (禅 ・ 仏 教 ・ 社 会)	3

講義の内容・
授業スケジュール

- 事前指導——・実習の心がまえ
・生徒指導について
・教科指導について
・指 導 案 作 成
・模 擬 授 業
- 訪問指導——・研究授業訪問指導
- 事後指導——・授業実習の検討（ビデオ検討）

教 科 書

適宜指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
教 育 実 習	さか もと のぶ あき 坂 本 信 昭	教 職 4 必 (国文・法律・政治・経営)	3

講義のねらい

失敗を未然に防ぎ、あるいはできるだけ少なくするというよりも、むしろ、不必要な先入観を捨て、持ち合わせている力で、全身で意欲的に向う姿勢に高め、教育実践の場で、間違いや失敗したことについて悩み、苦しむことを通して、自覚的に主体的に一つ一つの教育事象について考える機会にしたい。そのためには、いわゆる事前指導も大事であるが、事後指導（教育）に重点を置きたいと考えている。

講義の内容・
授業スケジュール

教育実習前の段階では、教育実習の意義・目標・内容（領域）に関する講義とビデオ教材なども視聴し、実習に際しての事前指導を行う。

教育実習期間中は、できるかぎり実習校を訪問したいと思っている。

教育実習後は、各自の教育実習報告、レポート作成（提出）、教育問題にかかわるビデオの視聴、ディスカッションなどから教育への理解を深め、教育とは何か—どうあるべきか—について、各自の教育観を明示できるようにし、さらに、望ましい教師像についても一緒に考えたいと思う。

履修上の留意点

授業の出欠は厳密にとる。

成績評価の方法

①実習校からの教育実習評及び教育実習ノート、②教育実習報告（口頭報告）及び報告レポート、③ビデオ視聴のコメント（感想）、④年度末試験（または、課題レポート）によって、総合的に評価します。なお、①～④について重視する度合は、全て同グレードに考えています。

教 科 書

栗原敦雄他編『教育実習ガイド』、宣協社、¥1,500

参 考 書 等

寺崎昌雄他編『教育実習57の質問』、学文社、¥1,000

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
教 育 実 習	むら やま てる よし 村 山 輝 吉	教 職 4 必 (英米文)	3

講義のねらい

学生が教育実習に主体的にとりくみ、教育実践について理解を深めることを目的とする。

講義の内容・
授業スケジュール

年間を通じておおむね次の事項をとりあげる。

- 教育実習の意義と心がまえ
- 学習指導について
- 生徒指導について
- 学校と教師に関する諸問題

実習校における実習体験をはさんで、講義、討議、レポート作成、面接指導等、適宜の方法と形態で進めていく。

成績評価の方法

実習校からの評価、口頭発表、レポート、試験、出席点等により総合的に評価する。

教 科 書

教科書・参考書等はそのつど指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
教 育 実 習	きた ちむら かつ こ子 北 村 三 子	教 職 4 必 (地理・経済・商)	3

講義のねらい

二週間にわたって行なわれる中学・高校での実習は、教員免許を得るために乗り越えなくてはならない最大の課題であろう。教生とはいえ、教師であることを求められる、責任の重い課題でもある。この授業は、その実習のための準備と、実習後、その体験を他の人々と共有し、深めることを目的とするものである。実習がスムーズに進み、また、実り多いものとなるように、講義の内容・授業のスケジュールで述べるような様々なことを試みたい。また、実習後は、教える立場から新たに覚えてきた、学校や教師、生徒の問題や、それらの存立基盤としての、社会や文化の問題を、考え合いたい。

講義の内容・
授業スケジュール

実習の準備としては、全般的な諸注意、ビデオによる実習の概要把握、学習指導案の作成に関する指導、模擬授業などを行なう。実習後は、実習体験を語り合い、その中から、後期に検討すべきテーマを考えていく。夏休み明けには、それにそった資料を用意し、討議を中心とした授業を進める。具体的内容は、話し合いの上で決めたいが、今まで扱われたテーマは、いじめや体罰といった学校内での暴力、不登校、若者の文化や人間関係に関連するものなど、多岐にわたる。

履修上の留意点

実習の準備としては、教材研究を各自、よくやること。後半は、積極的に参加すること。教場を変更する場合がありますので注意すること。

成績評価の方法

実習ノート・評価表などの実習の記録、授業への参加度、最終授業時のまとめのテスト。

教 科 書

特になし。

参 考 書 等

文献・資料については、話し合いの上決定。

そ の 他

講義、ビデオ、討論など。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
教 育 実 習	た なか さと し 田 中 智 志	教 職 4 必 (歴 史)	3

講義のねらい

この科目の基本的なねらいは、実習校での実習の準備、そして実習校での実習経験をもとにした、教育についての認識力・実践力の形成です。たんに知識を教える技術を培うだけでなく、現代のさまざまな教育問題・青少年問題の根源を洞察し、それらを解決する意欲を養いつつ、教育の本質を反省する力を身につけてほしいと思います。

講義の内容・
授業スケジュール

前期は、履修者一人ひとりの模擬授業を中心に、実践的な教授技術についての指導を行います。後期は、各自の実習経験をもとに、個別指導(ないしグループ)指導を行います。実習経験を今後どう生かすか、ともに考えたいと思います。

履修上の留意点

模擬授業については、実習科目・担当箇所が、各自異なりますので、それぞれ早めに準備しておいてください。

成績評価の方法

成績評価は、①各自の模擬授業の内容、②実習校実習の結果、③実習後に提出するレポートによって、行います。

教 科 書

栗原敦雄ほか編『教育実習ガイド』宣協社 1,500円

そ の 他

前期の事前指導は、履修者の模擬授業を中心に、実践的な指導を行います。後期の事後指導は、個別指導(ないしグループ指導)となります。事後指導の日程については、後期の最初の授業時に、詳細を決定しますので、かならず出席してください。

(2) 教職に関する専門科目（選択）

科目名	担当者名	配当学年	単位
教育関係法規	ひろさわ 広 沢 明	教 職 2 選	4

講義のねらい

憲法、教育基本法、学校教育法など教育に関する基本法規につき、具体的事例に触れながら講義を行う。校則、体罰、いじめ、内申書、日の丸、君が代、宗教、教科書検定、障害児、民族教育など今日的な教育問題について、法的観点から検討をしたい。

講義の内容・授業スケジュール

1. 校則(1) — 丸刈訴訟
2. 校則(2) — バイク裁判
3. 校則(3) — 生徒会
4. 懲戒(1) — 退学・停学
5. 懲戒(2) — 体罰・精神罰
6. 教育情報(1) — 家庭環境調査書
7. 教育情報(2) — 内申書・指導要録
8. 教育と宗教(1) — 日曜日訴訟
9. 教育と宗教(2) — エホバの証人事件
10. 日の丸・君が代
11. 教科書裁判(1) — 検定の事実
12. 教科書裁判(2) — 法律上の争点
13. 戦後教育政策の変遷
14. 教育と平等(1) — 民族教育
15. 教育と平等(2) — 性差別
16. 教育と平等(3) — 障害児
17. 義務教育（登校拒否を含む）
18. いじめ

履修上の留意点

ただ漠然と聴講するだけでなく、授業で取り上げたテーマにつき、自ら調べたり考えたりする前向きな姿勢を求める。

成績評価の方法

試験と出席状況によって評価する。毎回出席をとり、その結果は成績にかなり反映される。

教科書

広沢明『憲法と子どもの権利条約』エイデル研究所、¥2,800

参考書等

授業中に指示する。

科目名	担当者名	配当学年	単位
教育評価	おおはま 大 浜 幾 久 子	教 職 2・3・4 選	4

講義のねらい

狭義の教育評価にとらわれず、人間の能力とは何か、学力とは何かについて、様々な側面から討論し、研究することを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

初めに、教育心理学の研究手法（実験・観察・調査・テスト）の基礎を学ぶ。その上で、発達や学習の測定、評価にかかわる研究演習を行なう。演習においては、必要に応じパソコンも使用する。

履修上の留意点

ゼミ形式で進める。討論、演習への積極的参加が不可欠である。パソコンについては全くの初心者でも可。

成績評価の方法

平常点での評価。

教科書

必要な資料等は随時、準備し指示する。また受講生からの提案も歓迎する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
教育法規研究	かん だ おさむ 神 田 修	教職2・3・4選	4

講義のねらい

教育法規とか教育法の研究というと、とかく実際の教育とはかけはなれた「きまり」を研究することだと考えられ易い。しかし、こんにちの教育については、関係する法や法規をさしおいては正しく理解できませんし、教育を改革していくこともできません。教育に関する法や法規は、教師になろうとする者はもちろんのこと、そうでない者でも、しっかり学習しておく必要のある分野です。

今年度は、下記のテキストと六法を使用し、いろいろな教育情報や問題にもふれながら基本的なことから学ぶとともに、生きた法ないし法規の学習をします。できるだけわかり易く、教育関係の仕事に入って行く学生をはじめ、広く教育と法について学びたい学生諸君のためになる授業にしたい。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 教育法、教育法規とは何か
- 2 教育法の発表
- 3 教育法の基本原理について
- 4 教育裁判の展開と判例の形成
- 5 学校と組織・運営
- 6 教育行財政のしくみ
- 7 教職員の地位と権利
- 8 学校事故の問題
- 9 教育情報の公開と個人情報保護
- 10 子どもの権利条約と教育法

成績評価の方法

年度末にレポートにより行う。

教科書

神田・兼子『ホーンブック教育法』、北樹出版、1995年、2,200円

参考書

『解説教育六法』、1996年版 三省堂、2,400円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
教育哲学	しお み のり ゆき 汐 見 稔 幸	教職2・3・4選	4

講義のねらい

科目名は「教育哲学」などといういかめしいものになっているが、内容は教育の実際に生じる諸問題をできるだけ教育の原点に帰って考えてみようということになっている。

大学時代の教員になるための勉強は、一方で教員採用試験の準備のための形式的なものがあり、他方で教育の実際を無視した観念的な言説に終始するものが多くなりがちである。採用されるとただちに生徒の前に立たねばならぬ者の勉強としてはこれは不十分と言わねばならない。

本科目は、そのことを意識して、受講者と相談しながら、できるだけ教職の実際問題を技術論ではなく、原理論の立場から考えることをめざしてきた。具体的には、「学ぶとはどういうことか」「教えるとは何か」「不登校問題の背後とその教育理論上の問題は何か」「いじめを学校からなくせるのか。教師の対応はいかにあるべきか」「生徒指導は必要か、必要としたらその目標は何か」「日本の学校の特質は何か」などなどがテーマになってきた。これらはいずれも受講者（参加者）が希望を出し合うことによって定めてきたものである。参加者の中からは、これまで自明と思っていた教育上の慣行が自明ではなく、ひとつの選択されたやり方にすぎなかったということがよく見えてきたという主旨の感想が多い。すぐれた教師になるために自分をつき離して見られる力価をもってほしいと願っている担当者としてはうれしいことである。

本年度もあらかじめテーマを特定せず、参加者の希望を出し合いながら、教職上の実際問題を原理的に考え合う授業としたい。

なお、例年4年生が中心の少人数講義のため、形式はゼミ形式に近い形をとっている。卒論や採用試験を控えている人も多いため、毎週の継続講義ではなく、何回かまとめて合宿、集中講義（ゼミ）で行なっている。それも参加者の希望をきいて決めたい。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
教 育 情 報 学	お ぐら やす よし 小 倉 康 仁	教 職 2・3・4 選	4

講義のねらい

今日の情報化社会における教育分野でのコンピュータ利用方法について多角的に検討・考察するとともに、実際的な活用能力・センスの育成を行う。

講義の内容・
授業スケジュール

〈前期〉
前半：コンピュータの基礎知識 [講義]，パソコン (Macintosh) の基本操作 [実習]，教育分野でのコンピュータ利用形態の分類・整理 [講義]，ワープロソフトの基本操作 [実習]
後半：表計算ソフトの基本操作 [実習]，自作CAIソフトの作成および活用方法について [講義]，オーサリングソフト (自作ソフトを作るためのソフト) の基本操作 [実習]
〈後期〉
前半：オーサリングソフトを利用した自作CAIソフトの製作 [実習]，各種CD-ROMソフトの活用方法について [講義]
後半：ネットワークコンピューティング (LAN, パソコン通信, インターネットなど) について [講義]，LAN機能の体験利用 [実習]

履修上の留意点

パソコンに初めて触れるという初心者も歓迎するが、コンピュータ操作の学習は継続と蓄積が必要であり、操作経験の有無に関わらず遅刻/欠席を繰り返すと授業の進行から取り残されるので注意すること。また自習室を積極的に利用して、授業時間外での学習 (復習や課題作成) を進めること。

成績評価の方法

ペーパーテストは行わず、平常点と提出物 (レポートや作品) によって成績評価を行う。

教 科 書

特定の教科書は使用せず、プリントを使う。

参 考 書 等

参考書は必要に応じて授業時に紹介する。

そ の 他

授業は常にコンピュータ教室で行い、講義と実習を組み合わせる授業を進める。なお使用するコンピュータ (パソコン) はマッキントッシュ (Power Mac) を用い、1人1台ずつ割り当てる。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
教 育 臨 床 心 理 学	む た たか お 牟 田 隆 郎	教 職 2・3・4 選	4

講義のねらい

人間 (青少年) の不適応・逸脱行動の、主として心的側面からの理解を施す。

講義の内容・
授業スケジュール

今日生じている人間にまつわる種々の出来事を、新聞・雑誌・書籍等の媒体をテキストとし、その「人間心理」的側面の解説を目指す。

履修上の留意点

知識伝達型の講義ではなく、学生諸君との活発な討論をとり入れたい。また、年度後半においては、自発的な話題提供を期待する。

成績評価の方法

出席点を基本とする。

科目名	担当者名	配当学年	単位
教育社会学	たかしま ひでき 高島 秀樹	教職2・3・4選	4

講義のねらい

教育社会学は教育を社会的な事象としてとらえ、社会学の方法をもって実証的に明らかにして
いこうとする教育科学の一部門である。

教育が個人の発達をめざす営みであることはいまでもないが、同時に教育は個人にその社会
固有の文化を伝達し、その社会の構成員にふさわしい人間へと形成し、さらに社会的な選抜・配
置を行うものである。それは同時に社会にとっては、次代の社会の担い手を育成することを通し
て社会の存続と発展を可能にするということであり、これらの点から教育はきわめて社会的な営
みでもあるととらえられる。それゆえ、教育のあり方は社会のあり方に規定され、教育のあり方
が社会のあり方を規定していくという相互規定関係が成立しているのである。この講義ではこう
した教育社会学の基本的な考え方を十分理解してもらうとともに、このような考え方に立って教
育の実態を解明していくことをめざす。

講義の内容・ 授業スケジュール

1年間の講義の内容は、大別して次の3点からなる。

- I. 教育社会学…教育社会学の概念と基本的な考え方、研究方法などについて明らかにする
- II. 社会集団と教育…社会集団と教育について基礎的な考察をした後に、家族、仲間集団、近隣
集団、地域社会など、具体的な社会集団の教育について明らかにする。
- III. 学校の教育社会学的考察…教育のために作られた社会的存在として最も重要な存在である学
校を、教育社会学の視点から総合的に明らかにする

成績評価の方法

前期末、後期末の2回の筆記試験により評価する。

教科書

福永安祥・高島秀樹『教育社会学』、明星大学、¥2,000

科目名	担当者名	配当学年	単位
教育史	きたむら かつこ 北村 三子	教職2・3・4選	4

講義のねらい

教育史の通史的研究は、制度史が中心で、生き生きとした事実がつかみにくいうらみがある。
そこで、今年度は、個別的なテーマを扱いたい。本学では、今年から「教養教育科目」がスター
トしたが、「教養」というのは、今日では、かなり漠然とした概念でしかない。また、人間の全体
性を回復するという希望を「教養」に託すということも、今では少し大きさに聞こえてしま
うだろう。しかし、「教養」が大きな意味を持った時代が、日本にもかつてはあったのだ。近代日本
の学生の教養に限定して、その意味内容や実態を辿ってみたい。

講義の内容・ 授業スケジュール

近代日本の学生の教養について、通史的な理解を得た後、教養書としてよく読まれたものや、
そのような教養を身につけた人物の自伝などを読む。また、「教養」と「修養」の関係なども検討
したい。

履修上の留意点

教育史のいわゆる「教科書」を授業で扱うことはないが、文献などに関して、個別の相談には
応じたい。授業は、毎回、レポーターを決め、文献の内容の要約を発表後、質問や討議をする予
定である。

成績評価の方法

平常点。ただし、発表回数が少ない場合には、レポート提出もありうる。

教科書

筒井清忠『日本型「教養」の運命 歴史社会学的考察』、岩波書店、1,800円

参考書等

中野孝次『ブリューゲルへの旅』河出文庫、520円。その他は授業中に指示。

その他

ゼミ形式。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
教 育 調 査	すず きの のり お 夫 鈴 木 規 夫	教 職 2・3・4 選	4

講義のねらい

人間の行動について科学的な方法によるリサーチの技術と推論の論理を身につけるため、教育にかかわる身近な問題について具体的に調査を実施する。

講義の内容・
授業スケジュール

具体的な調査内容は受講者自身が主体的に提案するものとし、授業ではその内容について議論するとともに調査を実施するにあたっての必要な基本プロセスを学習する。また、実際に調査を実施し、コンピュータを利用して調査結果をまとめる。その際、結果を要約するために不可欠なデータの解析法や推論の論理についても分かりやすく解説する。

履修上の留意点

調査内容は受講者自身が提案することになるので、受講前に何を調査したいのか予め考えておくことが望ましい。また、コンピュータを利用して分析を行うので多少のコンピュータに関する知識を有していることが望ましい。

成績評価の方法

成績評価は提出された調査結果報告書によって行う。

教 科 書

講義要旨および資料のコピーを授業当日配付する。

参 考 書 等

特に指定しない。

そ の 他

授業は討論中心の形態をとる。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
児 童 文 化	か がわ よし しげ 香 川 良 成	教 職 2・3・4 選	4

講義のねらい

「教育において果す演劇の役割」について考察するのが本講座の主要テーマである。しかし、常に広く児童文化の中での演劇の役割（その相関関係）を念頭において考えてみたい。

講義の内容・
授業スケジュール

日本の児童青少年演劇史（大人が子供のために創った舞台）と、演劇教育史（子供自身による演劇活動）の両側面から、明治以後の児童青少年と演劇との関わり方を歴史的にたどってみたい。具体的にはその時代時代の代表的な諸作品も取り上げて皆で読んでみたい。

成績評価の方法

成績評価はレポートと試験による。

参 考 書 等

滑川道夫著『児童文化論』（東京堂出版）
菅忠道著『日本の児童文学』総論（大月書店）
富田博之著『日本児童演劇史』（東京書籍）

そ の 他

皆で実際に芝居を観たり、批評したりしてみたい。子供自身がやっているものも含めて。

科目名	担当者名	配当学年	単位
現代社会の諸問題と教育	たかしま ひでき 高島 秀樹	教職2・3・4選	4

講義のねらい

現代日本の社会とそこでの私たちの生活は、今日大きく変動しつつあり、それにとまって教育に要求されるものも変化するとともに、社会や生活の変化に対応しえないことなどから教育の分野においても多くの問題が発生している。この科目では、教育社会学を基礎としながら、一方において現代社会の諸相を明らかにし、それとの関連の下で現代日本における教育の実態と問題点を明らかにすることをめざすが、それによって教職や社会教育主事をめざす諸君がより広い視野から教育について考えることができるようになることを意図している。

講義の内容・授業スケジュール

現代社会の諸問題と教育について、この科目では具体的には個人のライフコースに沿って、各ライフステージ（乳幼児期、児童期、青年期、成人前期、成人後期、高齢期）ごとに考察していくこととする。そのため講義の初めにおいて基礎的な概念や現代日本社会の概況について明らかにした後は、各ライフステージごとに、そのメルクマール、特徴、生活世界、発達課題について説明し、その上で各ライフステージに密接な関係を持つ教育の問題について明らかにしていくことになる。各ライフステージごとの教育の問題については、基本的なことを説明した上で、関連する課題について受講生に発表してもらい、話し合うことを取り入れて授業を進めていくので、単に講義を聞くだけではなく、自ら積極的に学習に取り組む気持ちをもって参加してもらいたい。

成績評価の方法

筆記試験は行わない。前期、後期各1回以上、上述の発表を行い、前期末（夏休み課題）、後期末（冬休み課題）各1通のレポートを提出することが単位取得の条件となる。

教科書

高島秀樹・岩上真珠・石川雅信共著『生活世界を旅する——ライフコースと現代社会』、福村出版、2,400円

科目名	担当者名	配当学年	単位
青少年問題研究	さぬま まさこ 讃岐 真佐子	教職2・3・4選	4

講義のねらい

この講義では、「青少年」つまり児童期、青年期（小学生～20代前半頃）に生じ得る諸問題について、主に発達の、臨床心理学的視点から学ぶ事を目的とする。現代は不適応状態や問題が低年齢化し、またその質的側面も、従来の自己葛藤型から漠然とした無気力型の増大、さらに言語で訴えるよりも身体化の傾向等、様々な変化が見られるように思う。そういう意味でも「青少年」に関わる諸現象は、その時代を映し出す1つの鏡のようにも思われる。またこの時期は、一般に親や兄弟、友人、学校や地域等の多くの人との関わりを通して子どもが大人に成っていく、まさしく自分自身を作っていく時である。それだけにこれら人々といかなる質の関係をもてるか、そしてそこからどう自分を育てていけるかという事が、この時期の中心的テーマになると思われる。講義では、このような問題意識を基に、この期間に発現する諸問題の実際を、発達にそって具体的に学んでいきたい。

講義の内容・授業スケジュール

まず人間の精神的発達に関する知見を、これまでの発達心理学や臨床心理学的見地から概観し、その中で青少年の発達段階の意味や位置づけを考えていく。そしてこれを踏まえ、主にテキスト記載の事例を中心に、児童期、青年期に生じる様々な状態（不登校、非行、対人緊張、思春期やせ症、無気力状態等々）について深く掘り下げて学んでいく。

履修上の留意点

出席を重視する予定。授業は講義中心となるだろうが、何らかの形で受講生のフィード・バックを得る方法を考えていきたい。

成績評価の方法

出席状況と定期試験の両方を考慮する。

教科書

氏原寛・東山絃久編「発達とカウンセリング」、別冊「発達」第18巻、ミネルヴァ書房、2400円

その他

馬場謙一・小川捷之他編「子どもの深層」「青年期の深層」（「日本人の深層分析」第9巻と10巻）、有斐閣
佐藤清公編著「臨床心理学ハンドブック」八千代出版
河合隼雄著「あなたが子どもだったころ」楡出版、「子どもの宇宙」岩波新書386

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
宗 教 教 育	こ 小 やま かず のり 山 一 乗	教 職 2・3・4 選	4

講義のねらい

命題「法は風土の産物」(モンテスキュー『法の本質』)を問題意識の根柢におく。世界各国の風土、風習、習慣、慣習、法、比較さの知見に示唆されつつ、いわゆる「宗教(の)教育」の法的思考(Legal mind)、そこに看取れるいわゆる宗教的思考(religious mind)、教育的思考(educational mind)の総合的考察をし、各国の宗教教育の実態も眺めつつ、これからのいわゆる宗教教育での、教授概念検討を経て、意味、目的、目標、内容、方法について具体的なデザインを試みる。特に宗教の教育における寛容の態度育成について広く深く考察したい。

いわゆる「宗教教育」論議は、政策・法律論議で、「何を教えることができないのか」の禁止事項に注意が傾斜した論議が久しく盛んでその喧しさは大である。だが、この論議に反して、同じ現行憲法・法規下で、「何を教えることができるのか」の肯定的事項に注意を向けた教育方法上の教授概念検討論議が極めて少ない。これはいわゆる戦後教育の盲点でさえある。この不均衡を醸成してきた歴史的背景を検証する。幕末、明治維新、対日米国占領宗教教育政策、憲法・教育基本法・教育関係法規立法審議制定過程を検証し、手垢の付いた用語としての「宗教教育」論を見直す。用語「宗教教育」は解釈者により一様ではない。本講義では、手垢の付いた先入観を回避し白紙から議論を構想したく、そのために、しばらくの間「宗教の教育」と指定したい。その上で、tell(告げる)とteach(教える)との差異、<religious education>と<education about religion>との差異につき、教授概念を検討する。

講義の内容・
授業スケジュール

種々様々な事柄を取り上げ考察を試みる。用語・訳語としての宗教教育、宗教、religion、畏敬、注意深く観察する、(再)結合、宗、教、育、education、誓願、アニミズム、アニメーション等の字源・語源をさぐる。更に、何〜何事、what〜whatness、児童生徒の疑問態(の調査研究)、内外の種々の童謡、節分、雛祭り、節句、七夕、盆祭り、七五三、合格祈願、お守り、羽田空港長の朝、クリスマス、ターミナル・ケアー等を粗上に載せる。憲法20条・教育基本法9条・初期社会科学学習指導要領との絡みの中に、対日米国占領教育改革政策が胚胎していた異文化理解問題の史実を見る。宗教を文化現象の一形態として考えるか否かについて、諸説を見ておきたい。道徳教育の内容項目上の宗教的用語が「宗教の定義集」・「現代日本の諸家の宗教観」の二典中では、どう規定されているか、その脈絡を意味論的に概観する。多民族多文化多宗教共存社会のうねり、隣人は異邦人等がいわれ日常生活化しつつある国際化社会時代の問題・課題解決に与する宗教教育の目的論・目標論・内容論・方法論を具体的に考えたい。今後は例えば、国際結婚等にもより、混血児も学級には数人は存在するとの推計もある。家庭教育・学校教育・社会教育のいずれの教育の場面も、まさに、に迂闊ではいられなくなる。宗教的無知は宗教的偏見よりも致命的な悲劇を生もう。無知解消の教育が要る。

履修上の留意点

社会科・地理歴史科・公民科における宗教の教育、宗教科教育における宗教の教育、宗教教育における宗教の教育の異同点、及び、訳語としての用語「宗教」に関し熟考して欲しい。

成績評価の方法

年度末課題レポート、中間レポート、出席点、口頭発表等による。特に出席を重視する。

教科書

小山一乗著『社会科における宗教の教育と寛容——「告げる」と「教える」をめぐる』(宣協社) ¥2,700; 小中高各『学習指導要領』(各¥230, ¥250, ¥370), 『仏教・キリスト教・イスラーム・神道どこが違うか』(大法輪閣) ¥1,600, 『教職教養ランナー』(一ツ橋書店) ¥1,020, 『教育小六法』(学陽書房) ¥2,200

参考書等

指定図書 → 『宗教教育の理論と実際』(鈴木出版, 1985年); 土持ゲリー法一著『米国教育使節団の研究』玉川大学出版部, ¥9785; 井上順孝監修『宗教教育資料集』, すずき出版, ¥3,900; 杉原誠四郎『教育基本法の成立「人格の完成」をめぐる』, 日本評論社;

参考図書 → Kyouko INOUE.1991.MACARTHUR'S JAPANESE CONSTITUTION. THE UNIVERSITY OF CHICAGO PRESS

その他

定例教場での講義を中心とするが、必要に応じ、視聴覚教室でのビデオ、スライド、OHPの視聴をするので視聴覚教場の掲示に注意しておくこと。なお可能なら、受講生と調整の上で調査見学もしたい。プリントを配布するのでファイル表紙を用意して欲しい。

科目名	担当者名	配当学年	単位
社会教育の基礎 (社会教育概論)	むら 村 やま 山 てる 輝 よし 吉	教職2・3・4選	4

(P.50) 参照

科目名	担当者名	配当学年	単位
視聴覚教育	い飯 もり 森 あき 彬 ひ彦	教職2・3・4選	4

(P.60) 参照

科目名	担当者名	配当学年	単位
社会教育施設	むら 村 やま 山 てる 輝 よし 吉	教職2・3・4選	4

(P.52) 参照

科目名	担当者名	配当学年	単位
図書館学 I	やま 山 ぎ崎 けい 慶 こ子	教職2・3・4選	4

(P.49) 参照

科目名	担当者名	配当学年	単位
図書館学 II	みなもと 源 しょう 昌 きゅう 久	教職2・3・4選	4

(P.49) 参照

(3) 教科に関する専門科目

【社会・地理・歴史・公民】

科目名	担当者名	配当学年	単位
東洋思想史	たてのまさみ 館野正美	教職教科	4

講義のねらい

主に中国古代の思想史を講ずる。とはいえ、ただ単に中国古代の諸思想を時代順に並べて概観するのではなく、“運命論”という問題に焦点を当てつつ、その有機的な流れを明らかにしてゆきたい。

講義の内容・ 授業スケジュール

まず“運命論”そのものについて、哲学的に概観したのち、孔子の定命論（determinism）について論究する。次いで、その理論の形態は孔子と全く同じではあるが、意識の内容を異にする孔子の定命論を垣間見て、これと最も鋭く対立した孟子の宿命論（fatalism）について講ずる。しかるのち、それらの全体を理論的には統合し、まとめ上げた荀子の定命論を取り上げ、最後に“運命”の深層に迫り、中国古代の運命論の流れに一応の結着をもたらした『易経』の哲学を概観してまとめとする。

履修上の留意点

いちいち出席は取りませんが、休まずに出席して講義を聞くこと。

成績評価の方法

年に数回の小テストを行ない、その総合点で評価する。

教科書

館野正美著『中国古代思想管見』、汲古書院、1200円

参考書等

『論語』・『孟子』・『荀子』・『易経』いずれも文庫本（数種類）あり。

科目名	担当者名	配当学年	単位
美術史概説	なかじま 中島 亮一	教職教科	4

(P.68) 参照

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
民 間 信 仰 論	たに ぐち みつぎ 谷 口 貢	教 職 教 科	4

講義のねらい

日本社会の各地に展開している神祭りや信仰行事の具体的な調査事例を紹介しながら、神と人が織り成すさまざまな世界には、どのような意味があるのかを探っていくことにしたい。そして、民間信仰の性格や機能、あるいは現代的意義といった問題に考察を加えていきたい。

講義の内容・
授業スケジュール

本年度は、「人と神との交流」をテーマとしてとりあげ、東京都青ヶ島の神祭り、福島県会津地方の神社参拝を中心とした講集団、東北地方の巫俗文化、死霊結婚の習俗、山岳信仰と修験道、憑霊信仰などを題材にしながら、民間信仰の基層性を明らかにしていきたい。そして、民間信仰と成立宗教との関係や、成立宗教が地域社会に受容されて土着化していく過程で民間信仰がどのような機能を果たすのかについても分析の目を注いでいくことにしたい。

成績評価の方法

学年末に課題に基づくレポートの提出を求めて成績評価を行う予定で、筆記試験は実施しない。

教 科 書

とくに教科書を使用しないが、参考書として、桜井徳太郎著『日本民俗宗教論』（春秋社）、官家準著『日本の民俗宗教』（講談社学術文庫）、桜井徳太郎・他編『シャーマニズムとは何か』（春秋社）の3冊を紹介しておきたい。

そ の 他

授業は講義形式で行う。講義に必要な資料等については、そのつどコピーで配付する。また、講義に関連したビデオを2回ほど見る予定にしている。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
人 文 地 理 学 概 説	こ いは とみ子 小 池 とみ子	教 職 教 科	4

講義のねらい

地理学における人文地理学分野をとり扱う。人文地理学とは何か、自然環境と社会環境、地域をどう捉えるかを考察したうえで、世界の諸地域が現在どのような問題をかかえているのかについて検討し、地理的認識を深めることによって、現代世界の現状と課題を明らかにしたい。

講義の内容・
授業スケジュール

最初に、人文地理学、環境論、地域論などについて検討する。次に現代世界の概観をふまえたうえで、世界の農業、工業地域の現状、産業の国際化と情報化の実態等について、具体的に各地域をとりあげながら、系統的に概説を試みる。

履修上の留意点

地図帳と最新地理統計を持参していただきたい。

成績評価の方法

試験を行う。また平常時のレポートや作業提出物も参考にする。

教 科 書

教科書は特に指定しない。

参 考 書 等

高校用地図帳（「新詳高等地図」帝国書院¥1,200など。高校時代に使用したものがあればそれでもよい。）
地理統計要覧 二宮書店¥350
その他の参考書は講義の中で順次紹介する。

そ の 他

講義形式、ときどきビデオ、スライドなどをとり入れる。

科目名	担当者名	配当学年	単位
自然地理学概説	やなぎ 柳 だ 田 まこと 誠	教職教科	4

講義のねらい

教職に関する専門科目としての自然地理学について講義してゆく。

講義の内容・
授業スケジュール

前半は自然地理学の各分野（地形学、陸水学、気候学など）の概要を説明する。それぞれの分野について身近な場所（駒沢、等々力、渋谷など）をとりあげて、具体的な説明を行なう。将来教職についた時に役立つようにしたい。

後半は高校の地図帳などによっている図表をとりあげる。受講生それぞれにテーマをあたえ、発表してもらう予定である。それぞれの発表について指導する。

成績評価の方法

試験は原則として行わず、発表内容で評価したいと思う。

教科書

教科書はないが、参考書はそのつど紹介する。

科目名	担当者名	配当学年	単位
自然地理学概説	たか 高 ぎ 木 まさ 正 ひろ 博	教職教科	4

講義のねらい

この科目は、自然地理学の分野のうち特に河川・水文学に関係する内容を中心に講ずる。講義内容は河川をテーマとし、それぞれの流域（地域）の自然とその土地の住人とのかかわりについて、水災害・利水・自然環境などの視点から個々の河川特性を明らかにする。また、外国の河川と比較するため、主としてヨーロッパの河川についても比較検討する。

講義の内容・
授業スケジュール

まず、河川の基本特性について水文学的（降水量、流量などを中心として）に講ずる。次に、具体的な河川の事例をもとに、治水・利水・環境などの視点から捉え、河川固有の特性を明らかにする。場合によっては、地域の状況を詳細に把握するため、地形図や空中写真などを利用して地域調査の基礎についても講ずる。

履修上の留意点

講義が中心になるが、受講者にも問題意識を持ってもらうため、夏休み中に現地調査を伴う課題を提示する。

成績評価の方法

学年末定期試験と夏休みの課題の他、授業中の課題など平常点も加味して行う。

教科書

授業時間にプリントを配布する。

参考書等

高橋 裕著『河川工学』、東京大学出版会
中西 準子著『水の環境戦略』、岩波新書
その他随時紹介する。

その他

講義中心。事例紹介のためのスライドやOHP、ビデオも使用する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
地 誌 学 概 説	つち たに とし はる 土 谷 敏 治	教 職 教 科	4

講義のねらい

教職教養として、さらに地理の授業を担当する上で必要と考えられる地理学・地誌学上の知識、解釈・分析能力を身につけることを目的とする。

講義の内容・
授業スケジュール

下記のようなテーマにしたがって授業を進める予定である。前期は、一方的な講義だけではなく、地理学で用いられている分析方法のうち基本的なものを実習する。後期は、地理学の都市や交通に関する理論やモデルについて日本やヨーロッパの事例を中心に講義し、地誌的理解を深める。

- ①自然環境のみか
- ②地図の利用方法
- ③地域概念とはどんなものか
- ④地理の統計はどう使うか
- ⑤都市の内部はどうなっているのか
- ⑥都市間を移動するにはどのような方法があるか
- ⑦旅行と地誌学

履修上の留意点

出席をとるかわりに毎回レポートを求めるので、出席することはもちろん、授業内容や課題についてよく把握しておく必要がある。ただし、レポートの内容は極端に高度なものや、長い記述を必要とするものではない。

成績評価の方法

毎回のレポート内容を得点化し、出席状況を加味して評価する。出席が7割に満たない場合は、単位を認定しない。試験は実施しない。

教 科 書

とくに指定しない。

そ の 他

前期は、かなりの実習時間を設ける予定である。後期は、具体的な事例を示すため、スライドと一部ビデオ（2回程度）を使用する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
地 誌 学 概 説	なか しま ぎ いち 中 島 義 一	教 職 教 科	4

講義のねらい

歴史の先生が地理の授業も担当するというのは中学でも高校でも珍しくない。逆の立場だが私も高校在職当時、地理のほか日本史も担当した。その意味でお役に立てるような、兼ねて歴史の学習に側面から参考になるような授業をして行きたい。

講義の内容・
授業スケジュール

対象地域は国内に限る。まず地図の利用法、行政区画の変遷を述べ、次いで地方別に重要課題の解説をして行く。

履修上の留意点

地理の学習には地図に親しむこと、つとめて旅行をして見聞を広めることが望ましい。授業の折は地図帳を持参すること。

成績評価の方法

レポート

教 科 書

矢守一彦『空からみた歴史景観』、大明堂、2,400円

参 考 書 等

授業時に紹介する。

そ の 他

関係学会に出席し第一線研究者の発表を聞くことは勉強になるだけでなく卒論作成の参考にもなる。その傍聴記を成績方法のレポートに宛てることができる。歴史の学生にも親しめる地理の学会に歴史地理学会があり、歴史の学会で地理に関係深い発表が多いのは交通史研究会と地方史研究協議会である。なお講演会は学会ではない。念の為。

科目名	担当者名	配当学年	単位
地誌学概説	みやぐちとしみち 宮口侗迪	教職教科	4

講義のねらい

地誌学は地理学界において、地域を一つのまとまりとして総合的に調査研究し、その成果を伝える学問的作業に冠せられてきた名称である。この講義では、地誌学を地理学の中心課題としていかに位置づけるかを理解してもらい、その延長に、日本という地域の個性をいかに説明するかを考えたい。

講義の内容・授業スケジュール

時々スライドを使用し、その場で短い教場レポートの提出を求めることがある。

履修上の留意点

教科書・参考書等は特に使用しないので、出席しなければ講義内容は理解できない。

成績評価の方法

原則として最終の講義の時間に試験を実施する。

科目名	担当者名	配当学年	単位
日本仏教史	ひろせりょうこう 廣瀬良弘	教職教科	4

講義のねらい

日本の歴史の中で仏教の占める位置は、現代の我々が想像する以上に大きい。それは文化財や古文書などの多くが寺社に残されていることから理解できよう。神社も明治の神仏分離以前は仏教とほとんど一体であったものも少なくない。そこで、日本の歴史と深くかかわった仏教に視点を据え、仏教の歴史から日本の歴史を見つめなおすことを考えてみようと思う。

本講座では、仏教の歴史の流れを概観し、のちに平安期の仏教の展開の中から、いかに鎌倉仏教が成立して来るのか、鎌倉期・室町期における諸宗派の僧侶の活動と地域社会とのかかわり、朝廷・幕府・守護勢力とのかかわり、一向一揆・無縁所寺院と戦国大名、僧侶の村むらの中での活動が江戸期の寺請制度を生み出す基礎となった過程、寺院と檀家等について考える。その際には各地の寺院が所蔵する古文書・過去帳・授戒会帳・墓石史料等も提示しながら行う。

講義の内容・授業スケジュール

講義はつぎのような順序で進めていく。

①仏教史概観。②奈良・平安期の仏教と聖たちの活動。③平安期の仏教の展開と鎌倉仏教の成立(連続面と非連続面について考える)。④諸宗派の展開と地域社会と国家。⑤景観と寺院(都市・港湾・村など)。⑥一向一揆。⑦寺院と戦国大名の領国支配。⑧下克上の社会と寺院。⑨僧侶の活動と民衆。⑩寺請制度の成立過程。⑪寺院と幕府の統制。⑫本末制度の成立。⑬近世の村・町と寺。⑭近世仏教の思想。

履修上の留意点

仏教を抜きにしては、とくに前近代社会は理解できない。けっして、難しい分野ではないので、視野を広げるつもりで受講してほしい。

成績評価の方法

レポート提出、出席状況など。

教科書

関連史料は随時コピーして配布。

参考書等

黒田俊雄著『寺社勢力』(岩波新書)、網野善彦著『無縁・公界・楽』(平凡社選書)

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
日 本 文 化 史 Ⅱ	ひろ せ りょう こう 廣 瀬 良 弘	教 職 教 科	4

(P. 71) 参照

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
歴 史 哲 学	あ そ う けん 麻 生 建	教 職 教 科	4

講義のねらい

「歴史とは何か」、「歴史認識はいかにして可能か」という問題は単なる歴史学の問題ではなく、広く人文科学一般の問題である。講義は、この二つのテーマを中心に行われる。

講義の内容・
授業スケジュール

前半はいわゆる「歴史哲学」の変遷をギリシア時代から19世紀に至るまで概括し、そこで展開された諸問題を検討する。後半は主として歴史認識の問題を解釈学を中心に講義する。教科書として下記のものを使う。

履修上の留意点

前半は、純粋な講義の形をとるので、きちんとノートを取り、自分なりに問題を整理する努力をすること。後半は、教科書に基づいて行なう。

成績評価の方法

学年末の試験による。

教 科 書

麻生建著「解釈学」世界書院 ￥2,500

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
日 本 史 概 説	こ ま つ とし はる 小 松 寿 治	教 職 教 科	4

講義のねらい

「日本史」が日本国の歴史について学ぶ学問であることは承知のことと思いますが、日本国に住みながら「日本史」を知らない人たちが多くないと思いますか。日本という国に住んでいる人間ならば、日本で起こったこと、特に国際化が叫ばれる昨今、外国とどのようにかかわっていたかを知っていることは、必要なことと思います。国際社会の中で、自分の住んでいる国の歴史を知らないことは、恥かしいことではないでしょうか。社会科の教員免許を目指す皆さんは、それがたとえ歴史の免許でなくても、関連する専攻の状況を理解するために、歴史に関する目を持つことは重要なことと思います。

講義の内容・
授業スケジュール

そこで、日本の歴史を現在国際問題となっている日本の歴史認識と関連づけながら講義をしたいと思っています。そのため通常の歴史の授業とは違い、若干、時代的には前後する話になるかもしれません。

教 科 書

特に教科書は用意しません。必要な資料は、授業の際に配布いたします。

参 考 書 等

授業の時、随時話します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
日 本 史 概 説	えん とう ひろ あき 遠 藤 廣 昭	教 職 教 科	4

講義のねらい

各時代の特徴をおさえ、研究成果と論点を含め講義する。特に、中世の宗教・文化史については、詳述するつもりである。

教 科 書

教科書は特に用意しない。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
世 界 史 概 説	い むら ゆき こ 井 村 行 子	教 職 教 科	4

講義のねらい

西欧を中心に世界史を概説する。しかし西欧を中心にとはいふものの、とりわけ「世界の一体化」以降、洋の東西を区別することは不可能である。「世界史の意識」をもたない限り、近現代の西欧の歴史を理解することはできない。従って、この講義でも「世界史的に」近現代を扱っていく。この講義は教職教科科目であるので、世界史の知識を前提として、それぞれのテーマについて教授法を検討するのが、本来この講義に期待された役割であろう。しかし高校において世界史未修の受講者が大半を占めることが予想されるので、本年に関しては例年通り、概説を主とし、できるだけ最近の研究動向などにふれていきたい。

講義の内容・授業スケジュール

授業の進め方としては、ごく簡単に西欧の古代・中世を概観した後、近現代を中心に講義を進めていく。具体的な講義の予定は以下の通りである。第1回 世界史の見かた、第2回 古代、第3回 中世、第4回 中世から近代へ、第5回 スペイン・ポルトガル・オランダの盛衰、イギリスとフランスの絶対主義、第6回 イギリス革命、ドイツとロシアの絶対主義、第7回 イギリス産業革命、第8回 アメリカ独立革命、第9回 フランス革命、第10回 ナポレオンとウィーン体制、第11回 1848年の革命、ラテン・アメリカの独立、第12回 イタリアとドイツの統一、第13回 南北戦争、ロシアの農奴解放、第14回 ドイツ第二帝政、フランス第三共和制、第15回 イギリス選挙法改正、第16回 帝国主義と植民地争奪、第17回 世紀初頭のヨーロッパ、第18回 第一次世界大戦、第19回 ロシア革命とヴェルサイユ体制、第20回 1920年代のヨーロッパ、第21回 アメリカの資本主義社会とロシアの社会主義建設、第22回 ファシズムの抬頭、第23回 第二次世界大戦、第24回 戦後処理と冷戦。

成績評価の方法

試験は前期末と後期末に履修の範囲について行う。

教 科 書

大下尚一他『西洋の歴史』〔近現代編〕（ミネルヴァ書房 1987）

参 考 書 等

参考書については授業中に適宜紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
世界史概説	わた なべ あつし 渡 辺 惇	教 職 教 科	4

講義のねらい

1. 世界史概説は担当者の関係により、東洋史と西洋史の二つの部分に分けて行われます。受講者はこのいずれか1つをとればよい。

上記のうち、私は東洋史の部分を担当します。東洋史はアジア全体を対象とするもので、その領域は非常に広く、かつ多元的です。この授業は教職科目であり、また時間の関係から、以下に記すような順序で、広く浅く行うことになります。換言すれば“アジア歴史散歩”とでもいえましょう。

講義の内容・授業スケジュール

(1) 世界史教育の歩み

学校教育における世界史という科目は戦後の教育の中で新しく成立したもので、はじめは東洋史と西洋史を束ねたようなものであったが、やがてヨーロッパ中心主義、大国（中国）中心主義が批判され、よりグローバルな世界史が求められるようになった。以上の経緯を文部省の世界史指導要領の変遷等を折り込んで説明したい。

(2) アジアの歴史世界は多元的でモザイクである。それゆえ、以下のような5つの世界に分けて、それぞれの世界の歴史の舞台となった自然環境、風土、そして歴史展開の特色などについて概観する。

a. 東アジア世界；中国を中心とし、その周辺を含む地域。農耕生活。

b. 中央（内陸）アジア；海への出口をもたない砂漠と草原の地域。遊牧とオアシス農耕の生活。

c. 西アジア世界；オリエント及び地中海の一部を含む乾燥風土の地域。オアシス農耕と遊牧生活。

d. 南アジア世界；インドを中心とした地域。農耕生活。

e. 東南アジア世界；半島部と世界最大の多島海よりなる地域。海洋生活。

履修上の留意点

出席は必ずとります。

成績評価の方法

評価は定期試験、平常点に出席点を加味する。

そ の 他

またビデオを活用して、各地域の特色を視覚を通して把握することも行いたい。その際感想文を書いてもらいます。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
社会学原論	わた なべ もと き 渡 辺 源 樹	教 職 教 科	4

講義のねらい

社会学の主要な対象である社会的人間、集団、組織を柱に捉え、加えて社会変動の問題を加味させた社会意識論を配置し、その各々を構成する主要な問題を講述する。そのためのものとして社会学の概念や理論を用いて、身近な社会現象をとらえ、社会的な理解や認識を深めさせたい。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
宗教人類学	さ さ き こう かん 佐々木 宏 幹	教 職 教 科	4

(P.73) 参照

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
経 済 原 論	おお いし ゆう じ 大 石 雄 爾	教 職 教 科	4

講義のねらい

経済原論Ⅰ（マルクス経済学）では、資本主義経済の一般法則について講義します。このことは、ふつう市場経済と呼ばれているシステムの諸法則について勉強することを意味します。では、そのような資本主義経済に関する一般理論を学ぶ意義はどこにあるのでしょうか。

現代世界は、これまで「社会主義」と呼ばれてきた体制が崩壊したこともあって、混沌として見えるように見えます。しかし、旧来の社会主義諸国は市場経済への移行を目ざしているわけですから、これは社会主義の資本主義化の動きであるといえます。他方、戦後50年をへてN I E Sやアセアン諸国も資本主義としての発展を軌道に乗せるに至りました。これらの動きをまとめると、世界はいまこそ資本主義社会として、同じ原理にしたがって運動している、ということになります。このような世界の運動の原理として、まず、資本主義経済の一般法則を学ぶことがますます重要になっている、とあってよいでしょう。

しかし、だからといって資本主義が調和的に発展し、人々の生活が豊かで幸せなものになったかと言えば、必ずしもそうとは言い切れません。たしかに、アメリカ、日本などの先進資本主義国に人々の所得は多くなりましたが、それだけに北の先進国と南の貧しい発展途上国の間の経済格差はむしろ拡大しています。先進国どうしの間にも貿易摩擦の問題があります。そして、先進国の内部をのぞいてみると、財政の赤字、高い失業率に悩まされているという実態があり、特に日本では、労働者の長時間労働が解決されていません。

資本主義の成長をもってしても、これらの問題は解決されないばかりか、成長のゆえに地球環境の破壊は急速に進行しつつあるといえます。世界が資本主義社会として一元化の傾向を示しつつあるだけに、私たちはなぜ資本主義がこうした諸問題を生み出すのか、資本主義はそれを解決する手段を持っていないのだろうか、という問いかけをしてみなければなりません。それは、資本主義の一般法則とは何かその展開がどのような具体的諸問題として現象するのか、を追究することと同じです。以上のような意味において、資本主義の一般的運動法則を認識することが、私達の一人ひとりに求められているといえるのです。

では、資本主義の原理＝一般法則の主要な特徴はどこにあるのでしょうか。誰もが知っているように、資本主義社会では富が商品として生産され、貨幣を用いて売買されています。すなわち、商品生産社会なのですが、富が商品として生産されるということは歴史上いつでも見られたことではなく、社会の一定の発展を前提にして成り立ったものなのです。いったい生産物が商品という形態をとり、貨幣が取り引きの手段になるような社会とは、どのような社会なのか、これが最初に把握されるべき重要な問題です。

さらに、資本主義社会では、この商品生産が資本＝企業によって実行されており、企業は利潤を得ることになります。また、銀行は利子を土地所有者は地代を手に入れています。では、これらの所得はどのようにして生まれてくるのでしょうか。他面、商品を実際に生産するのは資本家ではなく労働者ですが、彼らは賃金の形態で所得を得ています。一般的に言えば、資本は成長していても労働者の暮らしはなかなかよくなりません。資本家のもとで労働者が働くということはどういうことなのか、が分析される必要があります。

この講義は、以上述べた点に焦点を当てながら、次のようなテーマに沿って進めてゆく予定です。

- 1 商品と商品生産社会
- 2 資本の生産過程
- 3 資本の流過程
- 4 剰金価値と分配諸形態
- 5 資本主義の一般法則
- 6 現代資本主義把握のために

講義の内容・授業スケジュール

最初の授業の時間に前期の「講義予定表」を配布します。経済原論は一つのみとまりをもってしますので、毎回出席し、ノートもよく取る必要があります。時間的に余裕があれば、現代社会の諸問題についてお話してみたいと考えています。

成績評価の方法

前期はレポートを課します。6月上旬に出題し、7月中旬に提出していただきます。後期は定期試験（記述）を行ないます。成績評価は、レポートと定期試験の点を合計することにより行なうことにします。

教科書

金子ハルオ編著『資本主義の原理と歴史』（青木書店）、1,854円

参考書等

大石雄爾著『商品の価値と価格』（創風社）、3,700円
山中隆次他著『マルクス資本論入門』（有斐閣新書）、824円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
経 済 原 論	あさ だ とう いち ろう 浅 田 統 一 郎	教 職 教 科	4

講義のねらい

本講義は、近代経済学の基礎理論をわかり易く体系的に解説し、『価格理論』および『国民所得理論』の一層進んだ内容を理解するための橋渡しをすることを目的にしています。また、本講義を受講することによって得られた基礎知識は、現実の経済問題を解釈し、その解決策を考えるための指針としても役立ちます。

近代経済学の理論体系は、「マイクロ経済学」と「マクロ経済学」という二大分野に分けられます。マイクロ経済学は、19世紀のジェボンズ、マーシャル、メンガー、ワルラス、20世紀に入ってからはヒックス、サムエルソン、アロー、ドブリュー等によって発展させられてきた理論分野で、経済を構成する個別的な消費者や企業の行動にまでさかのぼって市場における価格決定の問題を分析し、完全競争、独占、独占的競争、寡占等の市場形態の相違が資源配分の効率性や所得分配にどのような影響を及ぼすかを分析します。(駒沢大学経済学部では、『価格理論』という科目がこれらの問題を専門的に扱っています。)他方、マクロ経済学は、20世紀前半にイギリスの経済学者ケインズによってその基礎が築かれた経済学の重要な一分野で、国民所得、物価水準、失業率、政府財政余剰、国際収支等の「集計概念」(様々な細かい個別的な変数を合計して、あるいは平均して得られる概念)を用いて、経済全体の動きを大づかみに把握することを目的としています。(駒沢大学経済学部では、『国民所得理論』という科目がこれらの問題を専門的に扱っています。)マクロ経済学の理論は、現在、政府による経済政策が経済全体に対して及ぼす影響と効果を分析したり論じたりする際に必要不可欠な思考の枠組を提供してくれますが、同時に、この分野は、正統派ケインジアン、ポスト・ケインジアン、マネタリスト、サプライサイドの経済学、合理的期待学派等、様々な学派が並存して各学派の間で活発な論争が行われている分野でもあります。また、ハロッド、ドーマー、ロビンソン、ソロー等によって発展させられた経済成長理論、ヒックス、カルドア、グッドウィン等によって発展させられた景気循環理論も、マクロ経済学から派生した分野とみなすことができます。

本講義では、これら二つの理論体系の基礎知識を以下の順序に従ってわかり易く解説します。

I. ミクロ経済学

1. 消費者行動の理論
2. 企業行動の理論
3. 市場均衡の理論
4. 不完全競争の理論

II. マクロ経済学

1. 国民所得の概念
2. 国民所得決定の理論
3. 貨幣と利子率 (IS・LM分析)
4. 財政・金融政策の効果

なお、教科書は、浅野・荒木・浅田『エコノミックス』改訂版(成蹊堂)を使用しますが、本講義の範囲を越えてもっと詳しくマイクロ経済学とマクロ経済学を勉強したい受講者や本講義の修了者のために、下記の「指定図書」を推薦しておきます。

成績評価の方法

成績は年2回(前期・後期)を行う筆記試験によって評価します。

教科書

浅野克巳・荒木勝啓・浅田統一郎著『エコノミックス』(成蹊堂)

参考書等

(指定図書・文献等)
 武隈慎一 著『マイクロ経済学』(新世社)
 中谷巖 著『入門マクロ経済学』(日本評論社)

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
経 済 原 論	おのとしお 小野俊夫	教 職 教 科	4

講義のねらい

経済は現代社会の基本であり、経済学、特に経済学原論は広く社会諸科学を学習し理解するためには必須の学問である。この講義では、現代経済社会の仕組みと運行の仕方を理解し、正しく分析し得る力を身につけるためには不可欠な理論の基本を、いわゆる近代経済学の立場から体系的に解説する。

講義の内容・授業スケジュール

講義は次の順序で行う。

1. 経済学発展史要説
2. ミクロ経済学：ミクロ的経済循環とミクロ経済学、消費者行動の理論、企業行動の理論（企業の生産技術と生産費、完全競争下の企業行動、独占企業の行動）、完全競争市場と独占市場、現代企業と市場の理論。
3. マクロ経済学：マクロ的経済循環とマクロ経済学、国民所得の諸概念、ケインズの有効需要原理と理論体系要説、ケインズ経済学体系（消費関数と貯蓄関数、国民所得の決定と投資乗数の理論、投資決定の理論、利子率決定の流動性選好理論、ケインズ理論体系とIS-LMモデル）、経済成長と景気変動、政府および外国貿易を考慮する一般的分析。

履者上の留意点

講義を理解するために経済に関する予備知識は必要としないが、学問はそもそも一つの体系であるから、常に出席して講義の順を追って理解して行かねばならない。

成績評価の方法

成績は次の3点の総合評価による。(a)講義への出席率、(b)後期の適当な時期に課するレポート提出、(c)後期の最終講義時間に行う教場試験。

教 科 書

教科書：小野俊夫編著『現代経済学の基礎』（学文社）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
民 法 I	あおのひろゆきの 青野博之	教 職 教 科	4

講義のねらい

生活に関連するものとして、民法を学ぶ。民法の最初ということで、民法入門という性格も有する民法総則が中心となるが、物権法も、もちろん講義対象である。民法全体のイメージをつかむためにも、できれば、民法二部も受講してほしい。

講義の内容・履修スケジュール

4月、序説（たとえば、自分の土地はどういうふうに使ってもいいとはどういう意味か、他人に迷惑をかけても自分の自由に使ってもいいか）。
5月、自然人（たとえば、未成年者と契約をするときにどんな問題があるか）。
6月、法人（たとえば、法人という制度を認めることによってどんな利点があり、どんな弊害が発生するか）、物。
7月、法律行為（たとえば、契約は自由であるとはどういう意味か）。
9月、法律行為（たとえば、契約を取り消すことができるのはどんな場合か、契約を取り消すとどういう結果になるか）、期間、時効（たとえば、時効という制度はなんのために認められているか）。
10月、物権総論（たとえば、物権は債権とどこが違うか）、物権変動（たとえば、マンションを買った場合には何をしなければいけないか）。
11月、占有権、所有権、用益物権（たとえば、土地を借りるとどんな権利が発生するか）。
12月、担保物権（たとえば、土地を買うためにお金を借りやすいのはなぜか）。
1月、質問に答える（受講生からの質問には毎回の講義時間のはじめとおわりに答えるが、それとは別に質問時間を設ける）。

履修上の留意点

質問は大歓迎である。出席者はそれほど多くないことが予想されるので、私から受講者に質問しつつ、受講者に民法の条文を読み上げていただきながら、私の講義を聞いていただくことになると思われる。

成績評価の方法

出席して質問をした回数、およびその質問の内容を重視する。出席者に対して私の方から質問をするので、これに答えてくだされば、これもカウントに入れる。正しい答えでなくともよく、自分で考えた答えであればよい。自分で考えることに意味がある。答えられなかったとしても不利には扱わないので、安心して質問に答えてほしい。
受講生がそれほど多くないことが予想されるので、質問および応答の平常点だけで、成績を評価する。

教科書

甲斐道太郎・乾昭三・椿寿夫編『新民法概説(1)総則・物権』有斐閣、1,957円
昨年使用した、我妻栄・有泉亨著（川井健補訂）『民法1（総則・物権法）』（一粒社）でもよいし、ほかに自分が気に入ったもの、手持ちのものがあれば、それでもよい。

参考書等

六 法
憲法・民法・刑法・商法・民事訴訟法・刑事訴訟法を中心として法律を集めて編集したものを六法と呼んでいる。受講する際にはぜひとも六法を持ってくること。外国語を学ぶ際に辞書が欠かせないように、法律科目を履修する際には六法は不可欠である。
六法は、『ポケット六法』（有斐閣）、『コンパクト六法』（岩波書店）、『デイリー六法』（三省堂）などの大きさ（厚さ・値段）のもので十分である。少し解説がついているものとして、『三省堂新六法』がある。判例がついているものとして、『コンサイス六法』（三省堂）、『判例基本六法』（岩波書店）があり、少し進んだ勉強をしたい受講生、講義の際に紹介する判例についてもう少し知りたい受講生に勧める。『判例六法』（有斐閣）は、判例がついていると同時に、カタカナの条文を平がなに書き換えており、読みやすい。さらに進んだ勉強をしたい受講生には、『模範六法』（三省堂）を勧める。なお、『口語～』という書名のついたものでもよい。読みやすさからいえば、一番であろう。
六法は毎年出版されるので、新しいものの方が望ましいが、多少古くても少なくとも受講する上では支障はない。

科目名	担当者名	配当学年	単位
民法 I	はやし 林 こうじ 幸 司	教職教科	4

講義のねらい

- 1: 民法の総則と物権法の分野につき、受講生に「基礎的な理解」が身につくよう目指すこと
- 2: 簡単な事例を通して「受講生の日常生活と民法がいかにかわっているか」を理解してもらうこと

講義の内容・授業スケジュール

民法は、我々の日常生活において「個人と個人の間を生じる権利や義務」を定める法律であるが、これを二つに分けると①経済生活（主に取引）にかかわる財産上の権利義務を定める『財産法』と②家族生活にかかわる夫婦・親子など身分上（および相続）の権利・義務を定める『家族法』に分かれる。このうちの『財産法』をさらに分けると、①『総則』（財産法全般に「共通する事項」がまとめられている）と②『物権法』（所有権など「物に対する権利」を規定する）及び③『債権法』（借金の返済を求める権利など「特定人に対する権利」を規定する）の三分野に分かれる。本講義ではこのうち、①総則と②物権法を解説する。

履修上の留意点

受講に際しての注意（『私語の厳禁』）あまりにも当然過ぎて、ここで触れることすら情けないのだが、大学生にもなって、講義中の私語が許されると思っている者がいるようである。強く注意して、やっと静かになるというのが現状であるが、不思議にも、本人に全く反省の色がなかったり、何か悪いことをしたのか（又は「なぜ俺だけが」）と言わんばかりに睨み返してくるということもある。このテの者には、その場で『登録抹消』を通告するという強い態度で臨むので覚悟してもらいたい。

〈講義の方法〉

- 1: 板書中心の講義であること 私独自の観点からポイントを整理するため板書中心の講義を行い、途中で適宜、教科書の該当箇所を指示・解説するという方法を採用。その際、かなり多くの図や表を必要とするが、それも主に板書によってカバーする。
- 2: 意義・要件・効果の整理に重点をおくこと 私も学生の頃は、ただ闇雲に教科書に書いてあることをダラダラと覚えようとしたものである。しかし、それは、山の中を、地図も磁石盤もなく、ただ地図を見て石ころを数えている姿に似ていると感じ、むなしい気持ちに苛まれる結果となった。本講義で整理の中心に位置付ける「意義・要件・効果」は、講義中、諸君が立っている位置を知るための『座標軸』だと思ってほしい。そのことの意味はとてもここでは書き切れない。詳しくは、講義で聴いていただきたい。
- 3: 簡単な「事例」を素材とすること 事例集をプリントして配布し、意義・要件・効果と結び付けて解説する。具体的な事例を想定しての理解以外に、真に納得のいく理解はないと信ずるからである。受講生諸君がめざす各種資格試験にも役立つよう留意していきたい。
- 4: 受講生からの質問を講義に反映するよう努力すること 毎回講義前に用紙を全員に配布し、質問・意見・感想・要望などを書いてもらい、その中で、「これは！」と思うものを次回の講義に反映することを心掛けるつもりである（質問への解答が中心となる）。

成績評価の方法

後期試験による評価が中心となるが、講義後に回収する質問や意見などにも受講生の理解度や積極的な姿勢が現れていることが多い。これらに対しても若干のプラス評価を行うつもりである。

教科書

『新民法概説(1)総則・物権』 甲斐・乾・椿 編（出版社 有斐閣）1,957円
 ①意義・要件・効果を中心に整理を心掛けている点、②判例・通説の立場からコンパクトにまとまっており、「通読」しやすい点などを理由に採用した。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
政治学原論	かみ しろう すえ お 上 條 末 夫	教 職 教 科	4

講義のねらい

政治学は伝統的・静態的な政治学と近代的・動態的な政治学とに大別できるが、教職につくにあたっては、その双方の理解が必要である。また、国内政治だけでなく、国際政治についても体系的な知識がなければならない。

本講義は、それらの要件を満たすような内容となる。特に政治学の基礎的理論の修得に力点をおき、教職についた場合に、生徒たちに対して民主政治を理解せしめ、主権者として責任ある政治行動を促進するための教育ができるよう配慮する。

講義の内容・ 授業スケジュール

1. 政治の概念（4月～5月）
 - ① 政治の発生と社会的要件
 - ② 社会の発展と政治形態の変遷
 - ③ 政治の意義とその目的
 - ④ 民主政治の形態と組織
2. 国家と権力の概念（6月）
 - ① 国家の概念と国民との関係
 - ② 国内政治と国際政治
 - ③ 権力の概念とその変遷
 - ④ 国家意思の決定と政治参加
3. 政治制度とその機能（7月）
 - ① 基本組織法（憲法）と法治主義
 - ② 議会制度（立法権）とその機能
 - ③ 内閣制度（行政権）とその機能
 - ④ 司法制度（司法権）とその機能
 - ⑤ 地方公共団体と地方自治
 - ⑥ 君主制と共和制ならびに議院内閣制と大統領制
4. 民主政治（9月）
 - ① 自由と平等の原理
 - ② 代表と多数決の原理
 - ③ 民主政治の条件
 - ④ 大衆民主主義
5. 政党（10月）
 - ① 政党の概念と分類
 - ② 政党の歴史
 - ③ 政党の組織と機能
 - ④ 政党システム
6. 選挙（11月）
 - ① 選挙の意義と歴史
 - ② 選挙制度とその特徴
 - ③ 日本の選挙
 - ④ 世界の選挙
7. 国際政治（12月～1月）
 - ① 国際社会の特徴
 - ② パワー・ポリティックス
 - ③ 組織化と分極化
 - ④ 平和の維持と国際連合

成績評価の方法

定期試験の成績と小テストおよび出席点によって評価する。

教 科 書

上條末夫他『改訂・政治学概論』（北樹出版，2,600円）

参 考 書 等

その都度指示する。

科目名	担当者名	配当学年	単位
日本宗教文化史	まつ だ ぶん ゆう 松 田 文 雄	教職教科	4

講義のねらい

人間生活の営為としての宗教を、文化現象の一つとして位置づけることができる。この意味では宗教史は、そのまま宗教文化史である。本講義では、日本固有の宗教文化を取りあげ、ついで外来文化（儒教・仏教）の伝来にともなう、その受容課程を、特に仏教に焦点を合せて講述する。

講義の内容・授業スケジュール

凡そ次のような点からテーマを設定し、講義をすすめていく。1) 人間生活と文化（宗教）、日本人固有の精神文化について宗教学的研究方法を用いて考察する。2) 仏教の伝来とその受容過程を検討する。特に本地垂迹説や山岳信仰を取りあげる。3) 当分の間、平安末期まで（古代）を講義内容とする。

履修上の留意点

受講生の人数にもよるが、ゼミ形式で、古文書、研究論文等を解読していきたい。

成績評価の方法

課題を与え、そのレポートで評価する予定である。勿論、出欠状況を考慮する。

教科書

特に指定しない。プリントを配布する。

参考書等

随時指示する。

科目名	担当者名	配当学年	単位
民衆宗教成立史	つ しろ ひろ ふみ 津 城 寛 文	教職教科	4

講義のねらい

深層文化論と宗教学の接点にたつて、民間信仰、民俗宗教、民衆宗教などの成立と基盤とを扱います。大伝統に対する小伝統、エリートに対する民衆、イデオロギーに対する非イデオロギー的な習慣習俗などに焦点を当てて、われわれの文化や社会の心の深層にある、民衆的な宗教性を浮き彫りにしたいと思います。

講義の内容・授業スケジュール

主要テーマは下記の4つであり、前期は深層文化論を軸に、後期は民衆宗教論を軸に、講義を進めます。

前 期

- ① 深層文化論の整理
- ② 深層文化論と宗教研究

後 期

- ③ 民俗主義的な深層文化
- ④ 新宗教の発生と展開

履修上の留意点

とくにありませんが、私語だけは慎んで下さい。

成績評価の方法

出席を参考に、主に前期後期のレポートで行います。

教科書

教科書はもちいません。

参考書等

深層文化論に関しては、拙著『日本の深層文化序説——三つの深層と宗教』（玉川大学出版部、1995年）を用います。

その他

数回ビデオを用います。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
宗 教 学 概 説	まつ だ ぶん ゆう 松 田 文 雄	教 職 教 科	4

講義のねらい

人間社会にはさまざまな宗教があるが、それらの宗教には“宗教的な”といわれる営為がある。前半にはそれらについて、宗教学的研究方法で検討する。後半には日本仏教に焦点をしばり講義する。

講義の内容・授業スケジュール

- 凡そ次のような順序で講義をすすめる。
- 1) 人間生活と文化(宗教), 宗教起源論, 宗教現象の諸相, 宗教の類型等
 - 2) 宗教儀礼, 宗教と呪術, 修行, 回心, 神秘主義等
 - 3) 日本仏教, 当分の間, 鎌倉期に焦点を合ませて, いわゆる鎌倉新仏教といわれる浄土宗, 浄土真宗, 時宗, 臨済宗, 曹洞宗, 日蓮宗について考察する。

履修上の留意点

受講し, ノートを取ること。

成績評価の方法

定期試験の成果と受講の度合い(出欠)によって評価する。

教科書

特に指定しない。

参考書等

随時指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
宗 教 学 概 説	さ とう のり あき 佐 藤 憲 昭	教 職 教 科	4

講義のねらい

宗教学は, 宗教文化について価値中立的立場から研究する学問である。だが, その方法論は多岐にわたっている。宗教学の専門領域に, 例えば, 宗教史学, 宗教社会学, 宗教人類学, 宗教民俗学, 宗教心理学などがあるのは, そのことを示しているといえよう。この講座では, こうした宗教学の現状を踏まえながら, 宗教人類学的視点と方法から, 民俗宗教に焦点を合わせて考察し, 「人間とは何か」という問題に接近することを目指している。

講義の内容・授業スケジュール

まず, 宗教学の成立と展開, 特徴, 対象, 領域などについて具体的に解説し, つぎに個別の問題を取り上げて考察する。本年度は, 民俗宗教について取り上げる。日本人の多くは, 宗教を信じていないとみずから認識している人たちが, その一方で必要に応じて諸宗教と関わっていることが少なくない。いいかえれば, 生活に合った形で諸宗教と関わっているのである。こうした生活場面で展開している宗教を民俗宗教と呼ぶ。私たちの生活の中に生きているさまざまな事例を取り上げて, 諸民族との比較において考察し, 民俗宗教を通して人間理解の可能性を考えてみたい。なお, 民俗宗教と教義宗教との関わり合いについても追求する。

履修上の留意点

この講座は, 教職科目であることを考慮して出席を重視する。したがって, 毎回出席をとるので, 欠席をした場合(または欠席をする場合)には, 欠席届(形式は任意)を提出することが望ましい。

成績評価の方法

基本的にはレポート点で評価するが, 59点以下の場合には出席点を考慮して総合的に評価する。

教科書

佐々木宏幹『宗教人類学』講談社

参考書等

授業中に適宜紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
宗 教 学 概 説	つ じ ろ ひろ ふう 文 津 城 寛 文	教 職 教 科	4

講義のねらい

世界宗教史と日本宗教史を軸にして、原始宗教・古代宗教から現代の宗教現象まで、宗教としての共通点と、それぞれに固有の特性が明らかになるような講義にしたいと思います。

講義の内容・授業スケジュール

前期は世界宗教を軸に、後期は日本宗教史を軸に、講義を進めます。日本宗教史は概説ではなく、仏教関係の話題も重複のないように省き、興味深い話題に焦点をあてた各論にします。おおまかなスケジュールは次のとおりです。

前 期

比較宗教数学の前提、呪術と宗教、アニミズム・シャーマニズム、原始宗教・古代宗教、ヒンドゥー教と仏教、ユダヤ教・キリスト教・イスラム教、世界の新宗教運動

後 期

固有信仰、神と仏、宗教者の群像、近代化の中の宗教、宗教と国家、宗教と教育

履者上の留意点

とくにありませんが、私語だけは慎んで下さい。

成績評価の方法

出席を参考に、主に前期後期のレポートで行ないます。

教 科 書

教科書は用いません。

参 考 書 等

参考書はその都度紹介します。

そ の 他

数回ビデオを用います。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
哲 学 概 説	くに しま かず のり 国 嶋 一 則	教 職 教 科	4

講義のねらい

われわれは、生きてゆくための支えとなるものを求めざるをえない。「支え」となるものは、価値のあるものである。価値とはいかなるものかを明らかにするには、まず価値が、自然や人間や歴史などの存在するものと、いかなる関係にあるかを、さらにその前に、存在するものが、いかなるものであるかを、明らかにしなければならない。

ところで、世界、人間、歴史などの存在するものが、いかなる仕方で存在するかという存在論の問題を考えるためには、われわれは何を、いかに認識しうるかという認識論の問題について知っておかねばならない。そしてまたそのためには、認識の真偽を論ずる真理問題が明らかにされておらねばならない。

以上、価値、存在、認識（知識）、真理という哲学思索を進めるべき段階を辿ったが、その段階は哲学の体系でもある。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、哲学の基礎概念と思索を進めるための論理の学習後期は体系的立場から現代の主義を哲学的に考察する。

成績評価の方法

出席回数、筆記試験、レポートにより成績評価する。

教 科 書

学期のはじめに発表する。

科目名	担当者名	配当学年	単位
哲学概説	すえ き やす ひに 末 木 恭 彦	教職教科	4

講義のねらい

我々日本人を含めて東アジアの人々の思想、特にその言説に多大な影響を残したのは、中国の学術思想であり、その言説である。我々日本人がものを考える時、この事に無自覚であってはならないであろう。又、中国の学術思想は非西欧近代の思想として、最も高度な発展を成遂げた一つである。西欧的近代が行き詰まりを見せる現在、非西欧近代の思考の一つのあり方として、中国の学術思想に目を向けることは意義があるであろう。このような問題意識にたつて、本講義は中国思想を考察し、それへの理解の深化を求める。更に、現代がかかえる諸問題を解決する智慧をそこから汲み取ることを目指す。

講義の内容・授業スケジュール

今年度は、金谷治『中国思想を考える』を手がかりにして、金谷説に注釈・論評を加える形で講義を行う。講義の進捗や受講生諸君の関心（希望）によっては、後期には代表的な中国思想の文献を講読することを採入れることも考えている。

履修上の留意点

上記の様に、テキストをたたき台にして講義を行うので、教科書は必ず一読して講義に臨むこと。又、講義中に漢文資料を用いることが多いので、漢文が読めることが望ましい。

成績評価の方法

試験あるいはレポートによる。尚、質問を歓迎する。すぐれた質問は講義中に取りあげる、又、加点材料とする。（質問のしかたについては、開講時に指示する。）

教科書

金谷治『中国思想を考える』（中央公論社、720円）

参考書等

授業中に適宜指示する。

科目名	担当者名	配当学年	単位
倫理学概説	く ほ よう いち 久 保 陽 一	教職教科	4

講義のねらい

古代から現代にいたる倫理学の主な学説を学び、現代社会における人間の生き方の手掛かりを得ることをめざす。現代はしばしば「ポスト・モダン」の時代だと云われる。それは、近代の科学技術文明や社会制度が様々な問題を露呈し、その解決が求められているからだろう。けだし近代では、それまで結びついてきた経済と政治、政治と宗教、個人と社会、人間と自然、学問（真）と道徳（善）と芸術（美）とが相互に分裂し、それぞれ独立の権限を主張するようになる一方、その前提から新たな総合が求められてもいる。けれども、いまだ——かつての宗教や国家に代る——有効な統合原理は見出されえないでおり、そのため種々の混乱が生じている。そこで本講義では、近代の理論学説を、一方で古代・中世の倫理学説との連関で取り上げると共に、他方で現代の倫理学説との連関で、批判的に考察することにする。

講義の内容・授業スケジュール

- (イ) 古代・中世の倫理学——プラトン、アリストテレス、キリスト教等。
- (ロ) 近代の倫理学——快樂主義、功利主義、理性主義、カント等。
- (ハ) 現代の倫理学——ヘーゲル、マルクス、ニーチェ、ハイデガー、ハーバーマス等。

履修上の留意点

講義に対する積極的な取組みが受講の要件であり、そのために一年間で少くとも古典を一冊読了するようにすること。

成績評価の方法

成績は、中間試験と期末試験、レポート等で評価する。

教科書

テキストについては開講時に指示する。

参考書等

読むべき古典を含め、参考書等は授業中に紹介する。

【職 業】

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
産 業 概 説	まえ だ ゆき かず 前 田 幸 一	教 職 教 科	4

講義のねらい

授業は'85（昭和60）年以降の日本の産業界の動向を業種別に流れをつかんでいく。

講義の内容・ 授業スケジュール

（総論）バブル経済と平成不況
（各論）非鉄金属、建設、食品、紙・パルプ、化学、繊維、石油、エネルギー、鉄鋼、産業機械、造船、重電、家電、コンピューター、半導体、自動車、商社、流通、銀行、生損保、証券、住宅、不動産、運輸、サービス、レジャー、外食産業、通信、ノンバンク、なお、受講者の要望を聞きながらですが、今年度は工場見学などを授業に組んで、実施したいと考えています。

履修上の留意点

できるならば、日経新聞などの経済・産業欄に目を通して授業に望んで欲しい。

成績評価の方法

当授業は多分に受講者が少ないと思いますので、ペーパーテスト等はしません。平常点で決めます。

教 科 書

高村寿一・小山博之編『日本産業史4』日本経済新聞社 1,500円

参 考 書 等

参考書等は授業の際に提示します。

そ の 他

授業での受講者は恐らく少人数であろう。そこで授業の初段階では私が講義をしていきますが、その後はゼミ形式で、皆で議論しながら授業をすすめていきます。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
職 業 指 導	やま だ ゆう じ 山 田 勇 治	教 職 教 科	4

講義のねらい

職業指導（進路指導）は教職科目であるから、将来教員として役立つような講義内容にするように心掛け、なるべく教育現場の現状をふまえた上で、実践的な授業にするつもりである。

講義の内容・ 授業スケジュール

前期は、職業指導の基礎的概念である「職業」についての理解を深めるとともに、職業の中でも特に公認会計士を中心にした会計専門職業についてアメリカの場合と比較しながら、特に教育面を中心にして講義していきたいと考えています。

後期は、中学・高校を中心とした学校進路指導の現状とその問題点について文部省が過去3回にわたって実施した実態調査を中心にしてその現状と問題点を考えていくような授業をするつもりである。なお、時間的な余裕があれば学校で実施されている心理テストについて説明したいと考えています。

履修上の留意点

受講する学生は、積極的に問題意識をもって教育問題を考えるようにしてほしい。

成績評価の方法

授業中における課題などの提出や出席状況を考慮しながら、期末のレポート提出によって評価します。

教 科 書

開講時に指示。

参 考 書 等

有本章・近藤大生編『現代の職業と教育』福村出版 ¥2,000
寺田晃・佐藤玲監修『進路指導』中央法規出版 ¥2,500
仙崎武・野々村新・渡辺三枝子編著『進路指導論』福村出版 ¥2,300

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
商 業 実 習	まえ だ ゆき かず 前 田 幸 一	教 職 教 科	4

講義のねらい

国内よりも対外企業との商品取引の実務について授業を進めていきます。

講義の内容・
授業スケジュール

授業は基本的に以下の項目で進めていきます。

1. 輸出実務の概要
2. 取引関係の創設
3. 取引条件の取決め
4. 売買条件の取決めと契約成立
5. 輸出信用状の照合
6. 約定品の調達
7. 輸出保険
8. 輸出承認と認証の取付け
9. 運送契約の締結
10. 為替の予約
11. 海上保険契約
12. 輸出検査と包装
13. 輸出通関
14. 船積み
15. 船積書類
16. 輸出決済
17. 貿易クレーム

成績評価の方法

筆記試験はしない。評価は平常点かレポート提出等によって行います。

教 科 書

開講時に指示します。

参 考 書 等

石田貞夫『貿易取引の実務』（教出版）
 波谷源蔵『貿易実務』（同文館）
 藤田栄一『貿易取引の英語』（勁草書房）

【商 業】

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
職 業 指 導	やま だ ゆう じ 山 田 勇 治	教 職 教 科	4

(P.46) 参照

II 学校図書館司書教諭講座

必修科目

科目名	担当者名	配当学年	単位
図書館学Ⅰ	やま ぎき けい こ 山 崎 慶 子	図書(司)2・3必	4

講義のねらい

生涯学習社会の到来とともに、人格形成期にある児童生徒を預かる学校教育の現場は、精神面及び学習経験の基盤を形づくるためにその責任は一層に重くなっている。

教育過程の展開に寄与し、児童生徒の健全な教養を育成することを目的とした学校図書館の管理運営、読書活動の推進や学び方の技能を指導する司書教諭の職務内容への理解を深め、自らも豊かな読書人としての人材の育成を目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

テキスト使用による講義形式ならびに必要なに応じて演習授業を併用する。

図書館学Ⅰ	図書館学Ⅱ
前期 学校図書館通論 1単位	図書の整理(分類と目録) 2単位
学校図書館の管理と運用 1単位	
図書館資料の選択 1単位	
後期 図書以外の資料の利用 1単位	
児童生徒の読書活動 1単位	
学校図書館の利用指導 1単位	

履修上の留意点

司書教諭資格取得に必要な8単位を図書館学Ⅰ及びⅡにおいて履修する。

なお司書教諭は教諭をもって充てる(学校図書館法第5上の2)ため、それぞれの教職課程の科目を履修しなければならない。

成績評価の方法

図書館学Ⅰ及びⅡのいずれも原則として定期試験時に筆記によるテストを行い、日常の出席点を加味して評価する。

教科書

『新編 学校図書館通論』(図書館教育研究会 学芸図書 ¥1,442)
『図書館学演習 後編』(全国学校図書館協議会演習資料編集委員会)

参考書等

参考図書については授業時に紹介する。

科目名	担当者名	配当学年	単位
図書館学Ⅱ	みなもと しょう きゅう 源 昌 久	図書(司)3・4必	4

講義のねらい

本講義は、主として前期には資料分類法、後期には資料目録法を修得することを目的とする。演習を随時、実施する。

講義の内容・授業スケジュール

〈前期〉Ⅰ分類の概念的フレーム・ワーク、Ⅱ日本十進分類法(NDC)の解説、Ⅲデューイ十進分類法(DDC)の解説、Ⅳその他の分類法の解説、Ⅴ分類とコンピュータ。
〈後期〉Ⅰ目録の概念的フレーム・ワーク、Ⅱ日本目録規則(NCR)1987年版改訂版の解説、Ⅲ英米目録規則(AA CR 2)の解説、Ⅳ目録とコンピュータ。

履修上の留意点

予習・復習をしっかりと行ってほしい。

成績評価の方法

平常点および試験の成績を併せて評価する。

教科書

〈前期〉『日本十進分類法 改訂9版』, 日本図書館協会, セット定価6,000円
〈後期〉『日本目録規則 1987年版 改訂版』, 日本図書館協会, 3,500円

参考書等

講義中に指示する。

その他

必要に応じて、ビデオを利用する。

Ⅲ 社会教育主事講座

(1) 必修科目

科目名	担当者名	配当学年	単位
社会教育計画	むら やま てる よし 村 山 輝 吉	社教主事2必	4

講義のねらい

将来、社会教育主事として社会教育計画を立てる際に必要な事項に関して基礎的な理解をはかる。

講義の内容・授業スケジュール

- ・社会教育主事の職務と要請される能力
- ・学習者の理解と組織化
- ・地域社会と社会教育
- ・社会教育調査とデータの活用
- ・社会教育計画と社会教育事業計画
- ・学習情報の提供と学習相談
- ・社会教育と広報・広聴
- ・社会教育施設の経営
- ・社会教育の評価
- ・その他

履修上の留意点

本学では社会教育主事資格を取得したい学生には原則として出身市町村での社会教育実習（2週間以上）を必修として課しており、その事前学習の意味を含めて、各自夏休み中に出身市町村の行政社会教育の実情を調査しレポートを提出すること。

成績評価の方法

出席点、レポート、試験等により総合的に判定する。

教科書

酒匂・千野・那須野・村山・谷貝共編著
『生涯学習の方法と計画』国土社 ￥2,800

参考書等

社協編『社会教育・生涯学習ハンドブック』エイデル研究所
文部省内生涯学習・社会教育行政研究会編『生涯学習・社会教育行政必携』第一法規 ￥4,000

科目名	担当者名	配当学年	単位
社会教育の基礎 (社会教育概論)	むら やま てる よし 村 山 輝 吉	社教主事2必	4

講義のねらい

歴史的アプローチを軸に、社会教育についての基礎的・基本的な理解を深めることをねらいとする。「生涯学習」を含め、社会教育の望ましいあり方を考える手がかりを把ませたい。

講義の内容・授業スケジュール

- ・社会教育とは何か
- ・生きること・学ぶこと・教育・社会教育の原理的、本質的な連関、現代日本の社会教育の概念とその制度、その歴史的な性格、学校教育と社会教育、民主主義と社会教育など。
- ・社会教育の法と行財政
- ・社会教育の内容と方法
- ・戦後社会教育実践の歴史をたどりながら、その内容・方法の特徴について一定の整理をする。
- ・学習者の理解についてもふれる。
- ・社会教育施設
- ・施設についての総論と公民館・図書館・博物館等についての各論、ならびに社会教育関連施設を含むネットワーク論等最近の動向についてもふれたい。
- ・21世紀に向けて
- ・多様な学習機会の展開、生涯学習振興政策の推進という動きの中で、国民主体の社会教育はどうあるべきかを考えさせたい。

成績評価の方法

出席点と試験等により総合的に判定する。

教科書

碓井正久・倉内史郎編著『新社会教育』学文社 ￥2,000

参考書等

社協編『社会教育・生涯学習ハンドブック』エイデル研究所
その他は適宜紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
社会教育実習	とよ た ち よ こ 豊 田 千代子	社教主事3必	4

講義の内容・
授業スケジュール

事前指導——社会教育の具体的なイメージをつかむために、様々な社会教育実践を取りあげ、グループで報告する。
訪問指導——実習先訪問指導。
事後指導——実習をとおして学んだこと・疑問に思ったことなどについて報告する。

教 科 書

小林文人編『公民館の再発見——その新しい実践』国土社

参 考 書 等

適宜紹介する。

そ の 他

適宜、公民館などの施設見学を行なう。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
社会教育実習	むら やま て る よ し 村 山 輝 吉	社教主事3必	4

講義のねらい

学生が社会教育実習に主体的にとり組み、社会教育実践について理解を深めることを目的とする。

講義の内容・
授業スケジュール

- ・社会教育実習の意義と心がまえ——これまでの実習の経験に学ぶ事前指導
- ・実習期間——個別の訪問指導
- ・実習後——個別の体験の整理・検討と共通する課題の追求。
〔例〕社会教育職員の専門性とはなにか。

成績評価の方法

平常の受講態度（出席、口頭発表、レポート、討議の質等）や実習先の評価等により総合的に判定する。

教 科 書

そのつど紹介する。

そ の 他

社会教育実習を受講する学生は、前年11月中におこなわれるガイダンスに必ず出席すること。

(2) 選択必修科目

科目名	担当者名	配当学年	単位
社会教育行政	ひがし 東 とし 寿 たか 隆	社教主事2・3・4選	4

講義のねらい

憲法・教育基本法体制に沿った社会教育行政の本質について具体例を示しながら説明する。戦前・戦後の社会教育行政の歴史・社会教育法の成立の頃の実情、その後の社会教育行政の発展の状況、生涯学習行政の現情などを通して社会教育行政とは何かについて、社会教育主事などになった時に役に立つような内容を明らかにしたい。

授業外に社会教育施設などに赴いてボランティア活動を積極的にやって欲しい。

教科書

「生涯学習時代の社会教育をつくる」月刊社会教育編集部編，国土社，1,800円

参考書等

「社会教育・生涯学習ハンドブック」社会教育推進全国協議会編，エイデル研究所，3,500円

科目名	担当者名	配当学年	単位
社会教育施設	むら やま てる よし 村 山 輝 吉	社教主事2・3・4選	4

講義のねらい

社会教育の方法や形態を考えるうえで、戦後のわが国では公民館をはじめとする図書館・博物館社会教育施設の重要性があらためて認識された。本講ではその社会教育施設の歴史と現状について考察を深め、それが抱える諸問題について、望ましい展望を拓きたいと考えている。

講義の内容・授業スケジュール

- ・社会教育施設とは何か
- ・社会教育施設にかかわる人々
- ・公民館の歴史と現状
- ・図書館の歴史と現状
- ・博物館の歴史と現状
- ・社会体育施設の歴史と現状
- ・その他の社会教育施設・関連施設
- ・社会教育施設をめぐる最近の動向と課題

それぞれできるだけ具体例・実践例を挙げて理解をはかるようにしたい。

履修上の留意点

できればいくつかの施設見学を実施したいと考えているが、学生自身もすすんで適宜、施設の利用見学、施設で行われている学級・講座・サークル活動等に参加して施設体験を豊かにしてほしい。

成績評価の方法

出席・受講態度等の平常点，試験，レポート等により総合的に判定する。

教科書

適宜指示または紹介する。

科目名	担当者名	配当学年	単位
成人学習論	ひがし 東 とし 寿 たか 隆	社教主事2・3・4選	4

講義のねらい

成人が学習をすることによって発達することを各地の社会教育の事例を通して明らかにする。はじめに社会教育の本質について語り、公民館・図書館・博物館などの社会教育施設等で行う学習活動の事例について、さらに地域づくりについて、また国際問題などの実践について学習させたい。

授業外に社会教育施設などのボランティア活動を積極的に行うことをすすめる。

教科書

「地域にくらしと文化をひらく」島田修一編、国土社、1,700円

参考書等

「生涯学習の方法と計画」酒匂一男・千野陽一・那須野隆一・村山輝吉・谷貝忍共編著、国土社、2,800円

科目名	担当者名	配当学年	単位
婦人問題と社会教育	や ぐち えつ こ 矢 口 悦 子	社教主事2・3・4選	4

講義のねらい

そもそも女性問題（婦人問題）とは何か、ということ、女性学の成果等に学びながら明らかにする。そのうえで、社会教育の場で当問題がどのような位置付けを与えられてきたのか、現在の実践はどのように展開されているのかを述べる。このことを通じて女性問題解決にむけての社会教育実践の方法を明らかにすることが、講義のねらいである。

講義の内容・授業スケジュール

講義は大きく二部から構成される。一部では、女性問題を様々な角度から捉え、その本質に迫る作業をする。ジェンダー、ライフスタイル、ファミリー、性、職業、主婦などの鍵概念を提示し、理論を紹介すると共に、受講者との意見交換の場を常に用意したいと考えている。

二部では、社会教育の歴史のなかで女性問題がどのような位置にあったのかを述べるところから始め、世界的潮流の中であって現在どのような実践が展開されているのかを明らかにしたい。さらに、今後にむけての課題を明確にし、その解決にむけた方法論を一緒に考えてみたい。

履修上の留意点

夏休みを利用してレポートを作成してもらう予定。後期にはそれを発表して皆からのコメントをもらう場を用意する。

成績評価の方法

レポート、発表、コメントのとりまとめを一連の課題とし、これら全体から判断して評価を出す予定。

教科書

教科書などは特に用いない。必要な資料は授業時に配布する。参考文献も授業の中で進行に合わせて紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
企業内教育・職業訓練	しお かわ まさ と 塩 川 正 人	社教主事2・3・4選	4

講義のねらい

この授業は、就職氷河期を生きる学生諸君が、社会教育主事や企業への就職戦線に勝ち、志望の進路を開くための作戦を、自力で開発するための授業である。

授業を担当する私は、24年に渡って200社以上で企業人教育と経営指導を担当している経営教育コンサルタントである。コンサルタントの現場から、現代の企業の実態を正しく学生諸君に伝え、就職試験に勝つ作戦を、学生諸君と構築したい。

講義の内容・ 授業スケジュール

以下の内容から選択し「講義→討議→発表→まとめ」と進める全員参画の授業で展開する。

- ・いかにして自己を分析するか
- ・学生生活と社会人生活の違い
- ・現在までの学生生活への自己評価
- ・現代社会の期待する大学生像とは
- ・企業はどのように社員教育を行っているか
- ・業種種別に見た企業の特徴と社員教育
- ・規模別に見た企業の特徴と社員教育
- ・職能別に見た企業の特徴と社員教育
- ・公務員の世界と会社人世界の違い
- ・自分の魅力を履歴書にどう表現するか
- ・就職試験に勝つ小論文の書き方
- ・面接に成功するチェックポイント
- ・自分の長所や強みをいかにアピールするか
- ・大学で身に付けたことをどうアピールするか
- ・自分の人生観や信念をどのようにアピールするか
- ・自分の職業観をどのようにアピールするか

授業のすべてを、具体的かつ就職への「実践課題」そのものを取りあげ、指導したい。

履修上の留意点

この授業を成功するか否は、学生諸君の「本気」にかかっている。本気を出せば、必ず道は開かれる。本気の出ない学生は、結局脱落する。本気を出すため、私が学生諸君と共に実現したい授業の柱は次の3つである。

- ①本気で就職を考える授業
 - ・大学生生活の考え方を本気で考える
 - ・卒業後の進む道を本気で考える
- ②本気で自分を表現する授業
 - ・毎回講義の後、対話と討論を行い、自己表現技術を向上する
 - ・就職試験での面接と小論文の作成技術を、授業の中で習得する
- ③本気で課題を実行する授業
 - ・授業で得た各種情報を、社会生活の中で実行する
 - ・授業で得た知識や技術を、就職試験で実践する

教 科 書

教科書は使わず、講義と討議をまとめつつ、全員で手作りの教科書を作成する授業となる。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
社会体育Ⅰ（前期）	ふる た じゅん こ 古 田 潤 子	社教主事2・3・4選	2

講義のねらい

人間に関わる諸問題を，“からだの内的実感”を通して探求していくことをめざす。

講義の内容・授業スケジュール

自然の原理に基づく動きにより，自己能力を再発掘し，それを活性化し，個性を伸ばし，必要に応じて常に最高の状態が生み出せる「からだ」造りを主眼とする。
 ※前期の授業では，全ての動きの基本となる [3要素]
 1) 余分な緊張を取り去る。
 2) 自分のからだの最下部に全体重を任せ切る。
 3) 動きに最適な自然な呼吸ができる。
 以上の習得を重点的に，寝た姿勢，立った姿勢，歩く，走る，跳ぶ…などのいろいろな姿勢で，また道具などを使って実感する。可能性の芽を育てていく方向へ導く。

履修上の留意点

体の内的感覚に基づく履修内容なので連続受講が必要不可欠。

成績評価の方法

平常授業（レポートも含む）

参 考 書 等

「原初生命体としての人間」野口三千三著 三笠書房
 「野口体操 からだに貞く」野口三千三著 柏樹社
 「野口体操 重さに貞く」野口三千三著 柏樹社
 雑誌「ひと」「からだのレッスン」池田潤子執筆（連載1993年5月号～1994年2月号）太郎次郎社

そ の 他

授業の方法
 実技（主）と講義。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
社会体育Ⅱ（後期）	ふる た じゅん こ 古 田 潤 子	社教主事2・3・4選	2

講義のねらい

後期の授業の内容は，
 からだの視点から「関係」という問題に取り組み，そこから，人間（自分）の在るべき姿，また望ましい方向を追求していく。
 方法は前期と基本的なところでは変わらないが，自と他の交流，広がり（時間，空間，エネルギー感覚）バランス感覚，リズム感覚，イメージ（思いと動きとが統合された状態）などをいろいろな動き，また道具などを使って実感し，さらに可能性を深めていく。

科目名	担当者名	配当学年	単 位
図 書 館 学 I	やま ぎさき けい こ子 山 崎 慶 子	社教主事2・3・4選	4

(P. 49) 参照

科目名	配当学年	単 位
教 育 原 理	社教主事2・3・4選	4

(P. 1) 参照

科目名	配当学年	単 位
教 育 心 理 学 (教育方法論を含む)	社教主事2・3・4選	4

(P. 3) 参照

科目名	配当学年	単 位
青 年 心 理 学 (教育方法論を含む)	社教主事2・3・4選	4

(P. 6) 参照

科目名	担当者名	配当学年	単 位
視 聴 覚 教 育	しい もり あき ひこ 飯 森 彬 彦	社教主事2・3・4選	4

(P. 60) 参照

科目名	担当者名	配当学年	単 位
教 育 社 会 学	たか しま ひで き 高 島 秀 樹	社教主事2・3・4選	4

(P. 23) 参照

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
教 育 史	北 村 三 子 <small>きた むら みつ こ</small>	社教主事2・3・4選	4

(P.23) 参照

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
教 育 調 査	鈴 木 規 夫 <small>すず き のり お</small>	社教主事2・3・4選	4

(P.24) 参照

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
児 童 文 化	香 川 良 成 <small>か がわ よし じげ</small>	社教主事2・3・4選	4

(P.24) 参照

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
現代社会の諸問題と教育	高 島 秀 樹 <small>たか しま ひで き</small>	社教主事2・3・4選	4

(P.25) 参照

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
青少年問題研究	讃 岐 真 佐 子 <small>さ ぬき ま さ こ</small>	社教主事2・3・4選	4

(P.25) 参照

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
青少年指導演習	ひらの 平野 学	社教主事2・3・4選	4

講義のねらい

青年期を生きる学生諸君が“青少年指導”について学ぶには微妙な難しさが伴う。まずかかわる側自身、自らを見つめ、またかかわりを通して更に見つめる作業が大切になってこよう。ここではこうした認識を土台に、青年心理学や臨床心理学、カウンセリング学等の立場から、現代の青少年の状況等論じつつ、その援助や指導のあり方について互いに学びたい。

講義の内容・
授業スケジュール

“演習”科目でもあることから、できるだけ体験学習や討議の時間を多くとって行ってきたい。一応年間予定としては下記の通りだが、受講者の希望も適宜取り入れて進めるつもりでいる。

《前期》

1. 互いに知り合うための、また自己理解を深めるためのエクササイズを実施。(3回)
2. 青少年について、主に発達観から自らのことを振り返りつつ学ぶ。(3回)
3. 援助の基本としてのカウンセリングについて、小グループ形式で主にロールプレイを通して体験的に学ぶ。(5回)
4. 講師自身の援助例(不登校や非行に陥った青少年及び親へのカウンセリング)の提示と討議。(2回)

《後期》

5. 夏休みレポートをもとに、受講者の様々な体験(ボランティア活動他)の報告と討議。(5回)
6. 1年間をまとめる意味で、河合隼雄氏の文献のいくつかを輪読(分担発表)すると共に自由討議を行う。特にカウンセリングと仏教との接点等についても互いに理解を深めたい。(8回)

履修上の留意点

出席して討論に加わり、感想等も適宜記してもらい、いわばコミット型の共に築き上げる授業にしていきたい、意欲的な学生の参加を望みたい。

成績評価の方法

学年末レポート(年間授業を振り返る形でのもの)、夏休みレポート(体験報告または読書感想)、平常点(出席等)の三本柱で行う予定。

教科書

河合隼雄『カウンセリングを語る(上,下)』創元社 各1,300円

参考書等

河合隼雄『カウンセリングを考える(上,下)』創元社 各1,300円
 同 『大人になることのむずかしさ』岩波書店
 同 『ユング心理学当と仏教』岩波書店 1,800円
 他にも授業の中で随時紹介していきたい。

その他

授業という限られた場ではあるが、受講者それぞれに自らの成長に資するものとなるよう、心がけて参りたい。

科目名	担当者名	配当学年	単 位
博物館学Ⅰ（前期）	くら た よし ろう 倉 田 芳 郎	社教主事2・3・4選	2

（P.61）参照

科目名	担当者名	配当学年	単 位
博物館学Ⅱ（前期）	たけ うち じゅん いち 竹 内 順 一	社教主事2・3・4選	2

（P.61）参照

IV 博物館学講座

(1) 必修科目

科目名	担当者名	配当学年	単 位
視 聴 覚 教 育	いいもり あき ひこ 飯 森 彬 彦	学芸員2・3必	4

講義のねらい

視聴覚教室の背後にある基本的な考え方を理解する。
個々の視聴覚教材の基礎的な技法（教材の制作，利用の両面）を習得する。
変動する社会に即応し，メディアを活用する態度と能力を養う。

講義の内容・授業スケジュール

視聴覚教室の歴史とその思想的背景
コミュニケーションの理論と視聴覚教室
視聴覚教材の制作と利用
情報化社会における視聴覚教育
生涯教育時代とメディア
以上のような内容を各4～6回程度講義する予定

履修上の留意点

年に2回程度課題を出し，作品の提出を求める。作品製作に要する経費の負担をあらかじめ予定しておくこと（OHPシート代，マーカー代，35ミリフィルム代，現像代など）。

成績評価の方法

提出作品と試験の成績に出席状況を加味して評価する。

教科書

使用しない。

参考書等

浅野孝夫・堀江固功編著「新視聴覚教育」（日本放送教育協会）
秋山隆志郎・岩崎三郎編著「視聴覚教育」（樹村房）
野津良夫編「視聴覚教育の新しい展開」（東信堂）
赤堀正宜・中野照海・佐賀啓男編著「メディアと教育」（小林出版）

その他

ビデオや写真などを多用して講義する。

科目名	担当者名	配当学年	単 位
考 古 発 掘 実 習	いいじま たけ つぐ 飯 島 武 次	学芸員3・4必	2

講義のねらい

発掘技術の習得を目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

考古発掘実習の授業は，通常の教場での授業と夏休みの野外考古発掘実習からなっている。

履修上の留意点

夏休みの野外考古発掘実習は実習先の都合もあり，夏休み直前まで場所と日程が決定しないのが例年である。従って履修者は，博物館実習との関係等をよく考えあわせ，夏休みの計画の中に，発掘実習と館務実習以外の計画を先行して予定しないこと。夏休みの私的な計画は，発掘実習と館務実習の期間が決定した後に計画を作ること。

授業と野外考古発掘実習においては，授業連絡・授業教程の関係から無届けの欠席・遅刻は一切認めない。またいかなる理由があっても年度の第1回の授業には出席すること。以上の件に反した学生に対しては，教師側の時々の判断で履修を禁止することがある。これは勝手な欠席・遅刻が該当年度の野外考古発掘実習の計画・実行を妨げるからで，履修学生の協力をお願いする。

成績評価の方法

成績評価は平常点。

教科書

『考古学調査ハンドブックス1 野外編』（雄山閣，2,800円，1984年）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
博物館学Ⅰ（前期）	くら 倉 田 芳 郎	学 芸 員 2 必	2

講義のねらい

博物館学芸員課程の必修科目である博物館法施行規則では、「博物館学」4単位が必修である。この「博物館学Ⅰ」は2単位であり、4単位を充たすためには、もうひとつの「博物館学Ⅱ（竹内講師）、2単位」も履修していただかないと役に立たないので注意を要する。この講義では、「博物館法」をテキストにして、博物館の意義、学芸員の仕事等を理解してもらい、いっぽう「博物館学Ⅱ」では、実際の学芸員の仕事や博物館の事業について、竹内順一講師に講義していただいている。竹内講師は、同じ世田谷区内の五島美術館の現役の学芸部長であられ、非常に厳しくご指導いただいているので、欠席しないようがんばってほしい。

履修上の留意点

この「博物館学Ⅰ」は、年度初めの第1週の授業で、駒沢大学にあって、学芸員資格を取得する手続きと方法について、細かく説明するので、必ず出席すること。途中で（2回や3回目）出席して、手続きその他質問に來ても、第1回目の教室で説明したことを、欠席者に特に丁寧に説明することはしないので注意しておいてほしい。

この授業は前期2単位の授業であるから、後期には無いはずであるが、実は後期になっても、数回教室に出席してもらおうことにしている。したがって、水曜日3限目の後期については、「履修届」に書きこまないことをお勧めしたい。けれども、学科の必修科目にぶつかってしまうこともあるだろう。そういう方は、相談に來てほしい。

この「博物館学Ⅰ・Ⅱ」計4単位は、社会教育主事の選択科目にもなっているが、この場合も4単位履修していなければならないので、ⅠとⅡの両方を履修しないと通用しないので注意しておきたい。

そ の 他

学芸員資格を取得しようとしていながら、途中で、棄権する（あるいはせざるえないという）場合、社会教育主事に切り換えることは比較的易しいので、これまた相談されたい。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
博物館学Ⅱ（前期）	たけ 竹 内 順 一	学 芸 員 2 必	2

講義のねらい

博物館の学芸員としての職務を、実践にそくしてつぎの項目にわたってたどる。

- ①レジストレーションとは何か
- ②我国における学芸員の実態
- ③本来の学芸員とは何か
- ④特別展の実施要項
- ⑤学芸員の「文章読本」
- ⑥博物館学関係文献の紹介

履修にあたっては、博物館への見学を必ず事前にすませておくこと。したがって博物館見学に関するレポートを要求する場合がある。また講義はスライドを可能なかぎり投影し、現場の学芸員の仕事を知らせてもらうよう配慮するので、注意深く見てほしい。

成績評価の方法

成績評価は、筆記試験と見学レポートを総合評価する。なお筆記試験はすべて持ち込み可である。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
博 物 館 実 習 I (館 務)	倉 田 芳 郎 あした たい ほう じょう 太 田 喜 美 子	学 芸 員 3・4 必	2

履修上の留意点

この授業は4月第1週から、明年の最終講義まで、1回でも欠席・遅刻・早退すると、単位が取得不可能なので注意してほしい。この方法は、本学の博物館講座開設以来20数年間不変であるので、君だけ特別に単位を出しましょう、というわけにはいかない。

この講義時間に出るということは、君が企画専任者である特別展の開幕日開幕時に君がきちんと会場にいるかどうかということと同じに考えなさい、ということである。

この洗礼に対応してくださるお陰だと思うが、本学卒業生の学芸員就職率は、都内大学で、断然高く、また、学芸員としても、非常に高く評価されている。

毎週の授業の他に、主として、夏期休暇中に、一つの博物館で、学芸員実習を行う。この実習は、他の大学の実習といっしょに行うので、他流試的な楽しみももっているのですが、日頃の授業時と同じように、絶対に遅刻・欠席してはいけない。一度、そういうことをすれば「駒大には遅刻した学生がいる」と、10年ぐらいいは言われ続けるので、注意してほしい。また、多くの実習博物館に本学出身の学芸員の方がいらっしやるので、その先輩に迷惑をおかけすることにもなる。実習は夏期に行く館が80%を占めるが、別の時期に行く館もあるので、夏休みに海外短期留学などする方も相談に来てほしい。

この科目は、本学の博物館講座の締括りになる実習なので、特に心を引き締めて履修していただきたい。「博物館学Ⅰ」・「博物館実習Ⅲ（見学）」に先だって、この科目を履修することはできない。つまり、この「博物館実習Ⅰ（館務）」を3年生次に履修して、「博物館学Ⅰ」あるいは「博物館実習Ⅲ（見学）」を4年生次に履修しては不可ない、ということである。履修にあたっての細かい事柄は、その都度、教室で話をする。後期には実習した館の実習内容につき報告会をするので、きちんとまとめることを忘れぬよう。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
博 物 館 実 習 II (収 集)	倉 田 芳 郎・所 理 喜 夫 は ね ぎ ま さ い え つ ち り と も ゆ き 業 貫 磨 哉・恵 津 森 智 行 あした たい 喜 美 子	学 芸 員 3・4 必	2

講義のねらい

博物館活動の主たる3本柱のうちの「博物館資料の収集」の方法の勉強をする。博物館学芸員は、学芸員の個性を活かさなければならぬ面と、個性を殺さなければならぬ面がある。「博物館実習Ⅱ（収集）」では、一つの博物館が何年あるいは何十年にもわたって資料を収集し続けていても、恰かも、常に一人の人が収集してきたかともみえるような統一性が必要である。また、一つの展示をするにしても、その企画に参画する数人のスタッフの成果は、バラバラであってはならないのである。

その意味では、この「博物館実習Ⅱ（収集）」あまりに個性豊かな人・あるいは協調性の乏しい人には、かなりきつようなのである。この実習は、必ず合宿して実施しているので、共同生活を知らうとする意欲の有無がかなり影響をもっているらしい。

博物館学芸員を目指して履修している学生が、学芸員課程を断念するきっかけは、たいてい、この実習の直後であることが多い。つまり、合宿して収集実習を終えた時点で、これほど協調性が必要なら、自分には不向きである、と思いこんでしまうのであろう。そう自覚したら、確かに、君は学芸員に不向きなのかもしれない。そうした場合には、どんどん、個人的に相談に来てほしい。

また、本学で学芸員資格を取るための実習は、「Ⅰ（館務）」・「Ⅱ（収集）」・「Ⅲ（見学）」の3つが必修であるが、「Ⅱ（収集）」の代わりに、「考古発掘実習」を履修しても、学芸員課程の「実習2（収集）」に読みかえることができる。ただし、発掘は、真夏の炎天下で1か月間参加することが必要なので、この科目を必修とする、考古学専攻生以外の方には勧められない。

この実習で、今年度予定しているのは、

1. 長野県北佐久郡望月町での近世文書調査。
2. 同上町での石仏収集調査実習。
3. 埼玉県比企郡小川町での青石基石調査である。

履修上の留意点

年度第1回目の授業に必ず出席のこと。

科目名	担当者名	配当学年	単位
博物館実習Ⅲ (見学)	倉田 芳郎・松本 信道 太田 喜美子	学芸員2・3必	1

講義のねらい

本学での博物館実習は、2年次に行うこの実習と、3年次で行う、「Ⅰ(館務)」と「Ⅱ(収集)」の3つが規定されている。

つまり、この実習は、君がこの課程で、初めて行なう、学外での実習ということになる。都内あるいは周辺の博物館で見学をするのであるが、基本的には、見学館は10館。見学の度にレポートを提出する。そのレポートを添削して、原稿用紙の使い方から、字数のまとめ方等、かなり、しっかり、指導することになっている。

履修の方法は、なんといっても、学外の博物館見学であるから、当然、1コマ90分内では無理である。そのため、履修にあたっては、学生の都合を充分、考えに入れたうえで、できるかぎり柔軟に対応して、あふれてしまう人がないように留意するつもりである。そのために、相談しなければならないことがあるので、年度第1週には必ず出席してほしい。学生の都合を汲んでA～Cの3組ぐらいに分けて、異なる見学方法をとることになることと、今年度は、履修希望者が非常に多くなると予測されるので、第1週に、出席した人数で組分けしてしまう。結果的に、第1週に欠席すると、はみ出してしまうことになる。

この授業は、水曜日の3・4限を通して行うことになるのだが、3限目あるいは5限目に学科の必修科目とぶつかってしまうこともある。そのような問題をもつ人は、一応、第1週に出席してほしい。第1週の授業終了後に、個人的に相談に来て、もう、対応不能なので、その場合は、翌年履修する以外に方法が無い。

本学の学芸員課程が厳しい、とよく言われるが、学芸員という、貴重な文化財を扱う仕事の養成課程なのであるから、厳し過ぎるなどとは思わないようにしてほしい。それだからこそ本学出身の学芸員が高い評価を受けているのであるから。

科目名	配当学年	単位
教育原理	学芸員2必	4

(P.1) 参照

科目名	担当者名	配当学年	単位
社会教育の基礎 (社会教育概論)	むら やま てる よし 村 山 輝 吉	学芸員2・3必	4

(P.50) 参照

(2) 選択必修科目

科目名	担当者名	配当学年	単位
インド仏教文化史	な ら やす あき 奈 良 康 明	学芸員2・3・4選	4

講義のねらい

インド仏教を「教理」としてではなく、「文化」としてとらえて、検討したい。ここに「文化」とは生活様式、行動様式としての文化であり、「仏教徒」という社会を構成する人々（出家修行者および在家信者を含む）が、事実として、何を考え、どのように生活していたかをさぐる。したがって、悟りのレベルにある修行や教理、悟りに基づく倫理的生き方などは、無論、仏教である。同時に、功德を積んで良き後生を願う観念や行動、六道輪廻の理解、通過儀礼、祖先崇拜、呪術、祈願儀礼、占星等も仏教徒の生活「文化」である。両者は宗教的レベルと機能を異にするが故に、相互補完の形で共存し、その共存のあり方が興味ある研究対象である。又、インド仏教（徒）はそれを生み、育てたヒンドゥー世界とどうかかわり、如何に位置づけられるか、も興味ある研究テーマである。資料は梵語、パーリ（そして漢訳）語の経・律典と碑文、考古学的遺品等が中心となる。文献学的操作を経て得られた結果は、当時の仏教徒の現実の生活文化と、数学が主張するところとは大きなギャップのあることを示しているし、この構造は中国、韓国、日本ないし東南アジアのテラヴァーダの仏教文化でも同様である。そして、このギャップこそが仏教（宗教）教団の社会への定着・発展のダイナミズムとしてとらえられるべきものである。

以上の問題意識のもとに平成8年度は、おおよそ次のテーマにしたがって講義したい。

1. 仏教を「文化」としてとらえるとはどういうことか。
「仏教」をどうとらえるか
「文化」とは何か；
仏教（宗教）の二つのレベル；「世間」（自我充足）と出世間（自己凝視）
仏教文化の「表層」と「基層」
仏教文化研究の方法論；M.Spiro, M.Ames, 他
2. 古代インドにおける仏教文化とヒンドゥー文化。
民族宗教としてのヒンドゥー教（世界）
ヒンドゥー教の特徴：神観念・宗派・特定の教義のないこと・ダルマ
カースト・ヴァルナ制度と仏教
古代インドの仏教徒とヒンドゥー教徒の関係（特にカーストをめぐる）
3. 仏教文化における業・輪廻思想の意味。
古代インドにおける業・輪廻思想の成立
業思想の構造と機能（含む 死後世界の構造と機能）
一般的業論の「自覚的業論」への昇華
懺悔の思想と実践
業と果報の関係
業の止滅と改変
4. 功德観念の文化史的発展。
善業と功德（punya）・悪業と悪徳（papa）
「作功德→生天」の図式的倫理的・宗教的意味
功德観念の「出世間レベル」への関係付けないし昇華
功德の廻向（adesana）と廻向（parinamana）
死者儀礼・祖先崇拜儀礼における功德観念
「生天」観念の発展と解脱の関係
5. 「餓鬼」（preta）研究。
ヒンドゥー教におけるブレータと祖霊祭
古代インド仏典にみる「餓鬼世界」の住人としての餓鬼
古代インド仏典にみる死者儀礼と関わる餓鬼
『ベータヴァットゥ』『ヴィマーナヴァットゥ』における餓鬼供養の構造と意味
テラヴァーダ仏教における餓鬼観念の変遷と儀礼
中国、日本における餓鬼供養の構造と変遷

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
中国仏教文化史	^{なが} 永 ^い 井 ^{まさ} 政 ^し 之	学芸員2・3・4選	4

講義のねらい

「文化」という言葉を聞いたとき、学生諸君はなにをイメージするであろうか。こまかな議論は授業の中で述べることとして、結論を先に述べるなら、私は「文化」の言葉をもって、「人間のいとなみ」としたい。「人間のいとなみ」であるからには、そこには政治・経済はもとより、人間が営為するあらゆるものが「文化」の概念に含まれることとなる。「仏教」も人間の営みと言ってよい。

本講義では、中国において「仏教」が、いかなる機能をはたしたか。言い換えるなら中国人にとって外来の宗教である「仏教」は、どのような意味を持っていたのかを考えることとしたい。

このような基本的な立場を踏まえ、とりあえず今年は中国人の仏菩薩、あるいは祖師への「信仰」を具体的に考えることとする。

履修上の留意点

なお最初の授業で課題図書を指定する。年末にレポートとして提出すること。

成績評価の方法

出席の状況・レポート・期末試験をもって総合的に判断する。

教 科 書

教科書はない。随時、プリントを配布し、また参考書を指定する。課題図書は購入すること。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
日本仏教文化史	^は 袴 ^か 袴 ^の 谷 ^り 憲 ^あ 昭	学芸員2・3・4選	4

講義のねらい

この授業は、「日本仏教文化史 (Cultural History of Buddhism in Japan)」であるが、私は、「仏教思想」を知らずしては、「仏教文化」を正確に理解することはできないとの立場を取っている。原則的なことをいえば、「仏教思想」に関心をもっての方にむしろ参加して頂きたい。しかも、できれば、講義形式を取りたくないと考えているので、少人数の方がよい。

講義の内容・
授業スケジュール

この授業の中心は、昭和12年に文部省より刊行された『国体の本義』を読むことに置く。「思想」的にいえば、本書ほど非仏教的なものはそれほど多くないと思うが、本書を慎重に読むことによって、我々現在の日本人も、本書に説かれているような考えを、知らず識らずのうちにいかに我が国の「仏教文化」の中核のごとく考えているかを思い知るであろう。しかも、このような考え方が、例えば、吉本隆明・梅原猛・中沢新一『日本人は思想したか』(新潮社、1995年)のごとく、一人前に日本人の「思想」を語ろうとしている出版物にすら歴然とした痕跡を残しているのである。『国体の本義』は、「我が国の文化は、肇国以来の大精神の顕現である。これを豊富にし発展せしめるために外来文化を摂取亨化して来た。」(114頁)という「文化史」観に立つが、土俗信仰潜在の立場からいえばかかる史観も成り立ちうるかもしれないが、仏教の「思想」から見ればそうはならないことを丁寧に指摘していきたいと思っている。

履修上の留意点

演習形式を取るのので、自分で調べて発表する意欲のないものは決して参加してはならない。

成績評価の方法

できればレポートによって評価したいと願っている。

教 科 書

『国体の本義』は図書館に多数所蔵されているので借り出すかコピーするかして授業には必ず持参してもらいたい。

参 考 書 等

参考書は適宜指示する。

そ の 他

授業方法は、上述したごとく、演習形式で行う。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
禅 美 術	え び ね と し ろ う 海 老 根 聰 郎	学 芸 員 2・3・4 選	4

- 講義のねらい** 講義題目の「禅美術」とは、禅と美術という、二つの概念の合体したものであるが、美術という造形行為に重点をおき、その中でも特に、絵画活動について述べる。
- 講義の内容・授業スケジュール** 中国ではじまった禅宗における絵画活動が、日本でどのように定着し、発展したかを、鎌倉時代から室町時代までをたどる。
- 履修上の留意点** 各種の日本美術全集の、鎌倉、室町時代の概説書で、日本における水墨画の発展などを、大略把握しておくことが望ましい。
- 成績評価の方法** 授業中に述べたことから出題して、年度末に試験によって評価する。
- 教科書** これといった教科書・参考書などはないが、個々の事項については、積極的に質問されたい。
- その他** 授業方法：毎回スライドを影写して具体的に述べる。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
仏 教 美 術	な か じ ま り ょ う い ち 中 島 亮 一	学 芸 員 2・3・4 選	4

- 講義のねらい** テーマは「仏教美術の興亡の迹を見る」こととする。
その発生と表現をインドに見る。(無仏時代、仏像の起源、その思想と信仰)、そして中国への伝播(敦煌はじめ石窟芸術)、その熟成、道教(特に神仙思想)との和合、水墨山水画の発生とその思想などを、比較文明学的手法などで究明する。
それらを迎えた日本側の消極的(受身的)・積極的受容の経過とその理解度を、精神史の面でもとらえる。
- 講義の内容・授業スケジュール** 講義はインドの部、中国の部、日本の部と大別し、世界史的な流れに沿い、ときに問題点についてはスライド、ビデオなどを使って夫々のポイントをとらえる。
特に地理的条件、民族性にも留意し夫々の表現の差の根拠をとらえるようにつとめたい。
日本の仏教美術の受容において、その主役となった権力者側とそれに迎合した僧侶達の政治的意志、知識などにも注目し、日本的仏教美術の深層をも見きわめたい。
- 履修上の留意点** 美術史の学習には、実物を見るのが先決だが、授業では不可能なので自らも極力、すぐれた図版やカラー写真版などを見てほしい。
- 成績評価の方法** スライドなどの感想文、小テスト、出席状況などで総合的に評価する。
- 教科書** 佐和隆研『仏教案内』吉川弘文館 ￥1,900
- 参考書等** その都度紹介する。
- その他** スライドなどを多用する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
仏 教 民 俗 学	たに ぐち みつぎ 谷 口 貢	学芸員2・3・4選	4

講義のねらい

成立宗教としての仏教が日本社会に受容され、地域社会に定着するには、民間の習俗や信仰と接触し習合する過程があった。したがって仏教と民俗、とりわけ民間信仰とのかかわりを追究することは、日本仏教の諸特徴を明らかにすることになる。仏教民俗学といっても、仏教の視点から民俗を捉えるのか、あるいは民俗の視点から仏教を捉えるのかによって微妙に違ってくるのもたしかである。本講義は、主として民俗学の立場からの考察が中心となる。

講義の内容・授業スケジュール

講義では、各地の具体的な調査事例を紹介しながら、地域社会における寺院の機能に焦点をあて、仏教年中行事、法会（祈祷と供養）、仏教的講集団、仏教の俗信、葬送儀礼、先祖祭祀、墓制などについて考察を行うことにしたい。

成績評価の方法

夏休みの課題としてレポートの提出を求める。したがって受講者の成績評価は、夏期レポートと学年末の筆記試験の合計で行うものとする。

教 科 書

本義では、教科書は使用しない。参考書は授業の中で必要に応じて紹介するが、この分野の全体を見渡せるものとして『仏教民俗学体系』全8巻（名著出版刊）があるので、図書館で閲覧しておくのが望ましい。

そ の 他

授業は、講義形式で行う。講義に必要な資料等は、できるだけコピーで配布していきたい。また、講義に関連したビデオを2回ほど見る予定である。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
日 本 民 俗 学	たに ぐち みつぎ 谷 口 貢	学芸員2・3・4選	4

講義のねらい

日本民俗学は世代をこえて伝承されてきた習俗・慣習の考察を通して、日本社会に展開する生活文化を究明する学問である。民俗はよく「民族」と混同されるので注意を要する。本講義は、民俗学をはじめて学ぶ人のための入門編として、基礎的知識をしっかりと把握できるようにしたい。また近年、国際的視野をもった人材の育成が叫ばれているが、真の国際理解の前提には、自国の伝統文化に対する一定の素養をもつことが益々大切になってきている。講義では、こうした点にも配慮していく予定である。

講義の内容・授業スケジュール

本年度は「日本人の一生」をめぐる民俗文化に焦点をあてながら、生活文化において何が変化し、何が持続しているのかを検証し、われわれの現在の生活のありようを再考していくことにしたい。年間の講義予定は以下に掲げるとおりで、各々2回程に分けて行う。

- 第1講 家族と社会
- 第2講 産育儀礼－出産と子育て－
- 第3講 子どもと遊び
- 第4講 若者の民俗文化
- 第5講 成人儀礼
- 第6講 婚姻儀礼
- 第7講 女性の民俗文化
- 第8講 交際と贈答
- 第9講 老人の民俗文化
- 第10講 日本人の靈魂観
- 第11講 葬送儀礼
- 第12講 墓と先祖祭祀

成績評価の方法

夏休みの課題としてレポートの提出を求める。したがって受講者の成績評価は、夏期レポートと学年末の筆記試験の合計をもって行うものとする。

教 科 書

本講義では教科書は使用しない。参考書については、授業の中で必要に応じて紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
美術史概説	なか じま りょう いち 中 島 亮 一	学芸員2・3・4選	4

講義のねらい

今年度は「日本中世美術史」と限定して深めてみたい。平家全盛期（12C）から室町時代（戦国も含む）（16C）までとし、彫刻と絵画を主とする。

講義の内容・授業スケジュール

日本の美術史は仏教美術の受容史と云っても過言ではない。特に中世はその消化を成し遂げた時期であった。たとえ絵巻のような世俗的美術が発生したとは云っても、精神的には仏教的世界観が支配し、様式的には中国的芸術観からめづられなかった。その辺を多角的に観察する。

12Cは古代末期になるが、日宋貿易の全盛期であり、何次目かの大陸文化再受容期でもあったことは見逃せない。その意味は唐代仏教美術の受容に当って、日本に対する中国側の問題提起に対する消化不良の修正が行なわれたが、この経過こそ日中文化交流の大きな盲点であり、誤解の連鎖反応は室町時代まで続いた。その経過を美術史の視野でとらえてみたい。

履修上の留意点

この時期の東洋美術を収蔵するミュージアムを極力見学してほしい。

成績評価の方法

出席状況、スライドの感想文、小テスト、期末テストなどの総合点で評価する。

教科書

辻惟雄監修『日本美術史』美術出版社 ￥1,900

参考書等

その都度紹介する。

その他

スライドを多用する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
現代美術	や の よう こ 矢 野 陽 子	学芸員2・3・4選	4

講義のねらい

現代美術は難しい、つまらないという声をよく聞くが、確かにルネサンスや印象派の美術に比べ、現代美術の作品は理解しにくいものが多い。しかし、美術作品は、現代のものに限らず、ただ好きなものを眺めていればわかるというものではない。理解するためには、制作された当時の社会背景や、作者の意図などを正確に知る必要がある。現代美術は、現代という時代と、そこに生きている我々のあり方を反映していると言ってよい。したがって、現代美術の考え方や表現技術を理解することは、我々の生活と決して無関係なものではなく、現代社会の問題点を考える手がかりになりうるだろう。

講義の内容・授業スケジュール

現代美術とは、一般に20世紀の美術を言う。この授業では、めまぐるしい変化をとげながら、新鮮で多様な表現を生み出してきた現代美術の流れをつかみ、それぞれの運動、主張、作品の特徴を理解することを目的とする。20世紀の美術は、それ以前の美術の歴史の継承と断絶であるから、19世紀美術から講義を始めることになる。前期では19世紀中頃（写実主義、印象主義など）から20世紀初頭までを、後期では抽象絵画の誕生以降、1960年代の多様な美術までを見ていく予定である。

成績評価の方法

成績は試験によって評価する。

参考書等

参考図書として、ニコラ・スタンゴス編「20世紀美術」宝木範義訳 パルコ出版 1985年
美術出版社編集部編「現代美術入門」美術出版社 1986年
を挙げておく。このほか適宜、授業中に文献を紹介する。

その他

授業では毎回スライドを使用する。また必要な資料はコピーを配布する。

科目名	担当者名	配当学年	単位
地形学	小池一之	学芸員2・3・4選	4

講義のねらい

地形学は、地表の形態とその形成過程を研究する学問で、山がちで変化に富む日本列島には種々の地形が分布している。このため、日本列島は地形研究の上では、世界的にみても好都合な場所である。世界の最先端の研究が多く排出している。まず、地形学の基礎的な概念から説明し、時に最先端の研究成果や地形変化事変（各種の災害など）にも言及する。

講義の内容・授業スケジュール

年間の授業スケジュールの概要は次の通りである：
 1. 地形学の成り立ち 2. 地表を変化させる種々の営力と地形の分類、3. 地表水の働きと地表の変化（マヌウェスティング、種々の河成地形、組織地形）4. 海水の働きと地形、5. 地球内部の力によって形成される地形（火山地形など）6. 地形発達

履修上の留意点

地理学の中ではかなり理学的（地球科学の1分野でもある）な色彩の強い学問分野である。高校時代に地学を履修していることが望ましい。

成績評価の方法

基本的には、学年末試験の成績で評価する。出席など平常点はあまり加味しない。

教科書

小池一之・坂上寛一ほか著「新版地学教育講義⑨『地表環境の地学——地形と土壌』、東海大学出版会、¥2,575

参考書等

貝塚爽平・小池一之ほか編「写真と図でみる地形学」、東京大学出版会、¥4,532
 小池一之ほか訳「一般地質学Ⅱ」、東京大学出版会、¥3,708

その他

授業は講義形式で、最新の情報を知らせるプリント類を多く配布するとともに、スライド、ビデオなどを使用する。

科目名	担当者名	配当学年	単位
考古学概説Ⅰ 〔日本〕	倉田芳郎	学芸員2・3・4選	4

講義のねらい

日本考古学の学び方を基礎から、講義したいと考えている。

講義の内容・授業スケジュール

今年度は、弥生時代以降の考古学の学史に重点をおいて、話をしていく予定である。ふだん、出席はとらず、定期試験も実施しないが、年間、3回以上の中間試験を行なう。1回の試験で評価を決めてしまうわけではないので、単位は取りやすいと思う。
 いわゆる歴史学と、いわゆる考古学との関係から始まって、除々に考古学に理解をもっていたけるよう、配慮していこうと思う。
 歴史学科の学生は4つの概説を履修しなければならない。そのうちの選択必修の1つの科目であるが、考古学専攻生にとっては、考古学概説Ⅱ（飯島教授担当）と共に必修科目になっている。
 また、歴史学科の専門選択科目として受講することができる。
 博物館学芸員課程の専門選択科目にもなっているが、その場合は、文学部の全学科の学生および、仏教学部の学生も受講できる。

履修上の留意点

受講上の注意しておく。
 年度初めの授業時間には、必ず出席していただきたい。授業の進め方について話すのでぜひ、聞いておいていただきたい。
 注意しておいてほしいことがある。授業時間は90分であるが、それだけで、考古学についての理解・関心が充分とはいえないので、時には、日曜日などに、1日使って、遺跡を見学したり、博物館見学をして、レポートを提出してもらおうこともある。

教科書

参考書やテキストは特に指定はしない。けれども、できれば手元に置いていただきたい本や辞書の紹介をしておくので、講義で、やや判りづらい部分があったり、もう少し、詳しく知りたいという場合のために、なるべく座右に置いてもらいたい。

その他

質問したい事柄については、遠慮無く、質問に、研究室を訪ねてほしい。来校日は、火水木曜日であるので、別に質問は、木曜日である必要は無い。君の向学心に期待する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
考古学概説Ⅱ 〔外 国〕	飯 島 武 次 <small>いい しま たけ つく</small>	学芸員2・3・4選	4

講義のねらい	東洋考古学概説の講義を行う。地域的には中国を中心に話し、中国考古学研究の現状を理解してもらう。
講義の内容・授業スケジュール	時代的には、旧石器時代から開始して、新石器時代・殷周時代・秦漢時代・南北朝時代を経て、隋唐時代までの講義を完了することを目標に授業をすすめていく。
履修上の留意点	欠席・遅刻をしないこと。
成績評価の方法	成績評価は学年末の試験で行うが、授業内容および試験の内容は、考古学専攻者としては一般的な常識であるのでよく勉強して臨むこと。
参考書等	飯島武次『夏殷文化の考古学研究』（山川出版社、1985年）。飯島武次『中国新石器文化研究』（山川出版社、1991年）。
そ の 他	スライドやビデオを多用する予定である。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
西洋文化史Ⅱ	佐々木 真 <small>さ さ き まこと</small>	学芸員2・3・4選	4

講義のねらい	昨年の文化史Ⅰの続編として、引き続き中世末から近代にかけてのヨーロッパ民衆文化の問題を検討する。昨年は家族史を中心た講義であったが、本年は民衆が所属していた共同体の問題や民衆の心性をテーマとして講義を進めていく。
講義の内容・授業スケジュール	講義のサブテーマとしては、以下のものを考えている。 1. 共同体と人々の暮らし（シャリヴエリ、モラルエコノミーと共同体の解体） 2. 民衆の心性世界（識字と読書、空間認識、価値規範、死生観） 3. 近代と民衆の心性の変化 4. 民衆文化論の射程
履修上の留意点	授業中に紹介する参考文献をなるべく多く読み、広い知識を身につけてほしい。
成績評価の方法	成績は学年末に行う筆記試験の成績に、不定期に調査する出席点を加えて判定する。
教科書	教科書は特に指定しない。
参考書等	参考文献はここでは以下の2点を記し、その他は必要に応じて講義中に紹介する。 ロベール・ミュッシュャンブレッド『近代人の誕生』（筑摩書房） ピーター・バーク『ヨーロッパの民衆文化』（人文書院）
そ の 他	授業は講義形式で行う。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
日 本 文 化 史 II	ひろ せ 瀬 良 弘 ひる せ りょう こう	学芸員2・3・4選	4

講義のねらい

日本の文化の歴史が、社会の生産や生産組織の問題と深くかかわっていたことに留意し、朝廷・公家・武家ばかりでなく、民衆も文化の創造にかかわっていったことを明らかにする。

講義の内容・
授業スケジュール

日本文化の流れを概観し、平安期から江戸期にかけての文化について講述する。つぎのような順序で授業を進めていく。

- ① 日本文化史概観
- ② 平安期の文化と中世文化、中世文化の成立
- ③ 中世文化史研究の動向
- ④ 中世文化の展開
- ⑤ 室町文化（北山・東山文化）
- ⑥ 禅宗と文化
- ⑦ 京都と大名領国の文化
- ⑧ 下剋上の世と文化
- ⑨ 桃山文化
- ⑩ 宣教師たちがみた日本の文化と南蛮文化
- ⑪ 近世文化史研究の動向
- ⑫ 寛永文化
- ⑬ 元禄文化と化政文化

履修上の留意点

日頃、身のまわりにある道具や私たちの“しぐさ”にも歴史・文化がみえかくれするものである。物・道具にも文化・歴史を感じとれる感覚を養ってほしい。また、受講中は、図書館に文化史・美術史などの資料やビデオが所蔵されているので大いに活用してほしい。

成績評価の方法

定期試験の結果、出席状況など。

教 科 書

とくに指定しない。必要な資料は随時コピーを配布する。

参 考 書 等

授業中に随時指示していく。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
考 古 学 特 講 I	たか はま しゅう 高 浜 秀	学芸員2・3・4選	4

講義のねらい

紀元前1千年紀の初め頃、ユーラシア大陸北部の草原地帯では、騎馬を用いた遊牧が本格的に始まり、互によく似た内容を持つ文化が多数形成された。講義では、初期遊牧民文化、あるいはスキタイ系文化と呼ばれるこの一連の文化について概説を行なう。

成績評価の方法

主としてレポートによる。

参 考 書 等

講義の初めに指示する。

そ の 他

必要に応じてスライドを用いて講義する。機会があれば展覧会の見学なども行ないたい。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
考古学特講Ⅲ	い じ ま た け つ く 飯 島 武 次	学芸員2・3・4選	4

講義のねらい	中国青銅器時代文化の研究。夏・殷・周の考古学研究に関して講義をおこなう。
講義の内容・授業スケジュール	特講でなので、講義担当の飯島が現在行っている研究を講義する。もっか『中国両周文化考古学研究』と題する著書の出版を目指しているため、その原稿の執筆にあわせて授業をすすめていく。
履修上の留意点	遅刻・欠席をしないこと。
成績評価の方法	成績評価は学年末の試験。持ち込み可。
参考書等	飯島武次『夏殷文化の考古学研究』（山川出版社、1985年） 飯島武次『中国新石器文化研究』（山川出版社、1991年）
その他	教場の一般的講義であるが多くの資料を配布する予定。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
西域美術史	ま つ だいら み わ こ 松 平 美 和 子	学芸員2・3・4選	4

講義のねらい	中央アジアはバミール高原を境にして、東西のトルキスタンに分かれる。東トルキスタンは中央にタクラマカン砂漠を擁すターリム盆地を中心とする地域で、盆地の南北には大小のオアシス都市がたつらなっている。このオアシス都市を結ぶ西域北道と西域南道は東西の文化をつなぐシルクロードとしてかつて大いに繁栄した。 中国が漢代以来、「西域」と称した地域はこの東トルキスタンであったが、後には西トルキスタン、そしてアフガニスタンやイラン以西の諸国も西域と呼ばれるようになる。 19世紀末から20世紀にかけて、各国の探検隊がこれら広大な西域の国々を調査し、長い間荒廃していた遺跡群の多くを考古美術品の実態を明らかにしつつある。 この講義では、いまだ未知の分野といわれる西域各地の、現在までに発見された考古美術品をとり上げ、その中に見られる興味深い文化混淆の様子を考えていきたい。
講義の内容・授業スケジュール	東トルキスタンのオアシス都市、すなわち西域北道のクチャ、トゥルファン、西域南道のホータン・ミーラン、ローラン、そして敦煌の各地から出土した遺品を紹介し、さらにそれらを西トルキスタン以西の遺品との関係を考えていく。特に東西美術の接点といわれるクシャーナ美術にも注目したい。又、後半にはこれらの美術品にみられる装飾モチーフや図像が、地域によってどのように変化していくかについて具体的に見ていきたい。
成績評価の方法	学年末の試験あるいはレポートに出席点を加味して評価する。
教科書	講義時にプリントを配布する。
参考書等	講義時に適宜紹介する。
その他	具体的な美術作品を対象とする学問なので、毎時間スライドを多く用いる。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
宗 教 人 類 学	さ さ き こう かん 佐々木 宏 幹	学芸員2・3・4選	4

講義のねらい

宗教は人類文化の最古層に属すると考えられている。宗教人類学は人間の営みとしての宗教文化を文化人類学、社会人類学、民俗学の方法と理論に拠って研究する学問である。
人間にとって、人類にとって宗教とはなにかという問題を、人類学や民俗学の研究成果を十分に利用しながら追究し、人間が生きているということの意味の考察につなげていきたい。

講義の内容・授業スケジュール

以下のような内容を企図している。1.文化と人間、2.社会と世界観、3.宗教の原形形態、4.人間と動物、5.民族宗教、6.世界宗教、7.アニミズム・多神教・一神教の関係、8.仏教・キリスト教・イスラム教、9.民族問題と宗教、10.環境問題と宗教、11.習合宗教、12.アジア宗教の特色、13.日本宗教の特色、14.新宗教とは、15.「ほとけさま」と日本人。
講義には必要に応じて資料を配布し、またスライドやビデオを使用し、理解の助けにしたい。

履修上の留意点

ときどき出席をとり、評価の参考にする。
夏休み中に「故郷の宗教行事」(仮題)のようなリポートを書いてもらうことを考えている。

成績評価の方法

講義内容にそったリポート作製。400字詰原稿用紙5枚～8枚程度(参考文献名を明記すること)。

教 科 書

佐々木宏幹著『神と仏と日本人——宗教人類学の構想——』吉川弘文館、予価2,500円

参 考 書 等

佐々木宏幹著『宗教人類学』講談社 980円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
現 代 地 理 学 特 論	かい づか そう へい 貝 塚 爽 平	学芸員3・4選	4

講義のねらい

日本の自然と世界各地の自然を理解し、あわせて人類が自然にどう対してきたかを知ることは、大気・水・大地・生物が微妙なバランスのもとにある地球表層部に生きる人間にとって必要なことであろう。
そのような観点から、日本と世界の自然、とくに大地の地形・地質と人間の土地利用について考える。
地形や地質は、千年・万年・十万年・百万年・千万年・億年で数えられる年月で形成されてきたのに対し、人類の自然との共生は百万年ほど前に始まり、農耕という土地利用法は1万年ぐらい前から開始され、最後に大地・水・大気を含めた地表自然の改変がわずかに百年ほど前から始まった。
この講義では、地理的感性とともに時間的・歴史的感性も養いたい。

講義の内容・授業スケジュール

前半では、東京-関東-日本の地形・地質・土地利用を、後半では世界各地の土地自然と人類-土地関係を主題とする。
夏期には10ほどの書目の中から選んで読書し、コメントをレポートとして提出してもらう。

履修上の留意点

出席し、目・耳と頭を働かせ、重要と判断した事項をメモすること。地図帳(中・高で使ったものでよい)を持参することをすすめる。

成績評価の方法

毎回紙片に質問・コメントなどを書いて提出。それとレポートおよび学年末の定期試験で成績を評価。

教 科 書

使わない。

参 考 書 等

貝塚爽平「富士山はなぜそこにあるのか」(丸善、1,500円)

そ の 他

OHP・スライド・プリントなどを使いながらの講義を主とするが、討論も歓迎する。

V 社会福祉主事 基礎講座
社会福祉士

(1) 必修科目

科目名	担当者名	配当学年	単位
社会福祉原論	前期 伊藤 秀一 後期 坂田 周	社福主事2必	4

講義のねらい

社会福祉は、かつて、慈善事業、感化救済事業などと呼ばれていたものが、時代とともに拡大し、組織的に発展して、今日では、社会を組み立てていくための不可欠の仕組み、すなわち「社会制度」のひとつになったのである。そしてその制度の内容は、今日の時代なりの貧困をかかえながら、人間性を回復するために他からの援助を必要とする人に対し、対人関係を媒介として、有形無形のサービスを提供することである。

本講では、社会福祉がどのように変化してきた跡をたどり、なぜ今日の社会福祉が現代社会の生活環境基盤として確立されねばならないのかについてのあらましを述べることに重点をおく。また、この講義は、1年次の必修科目であるため、他の1年次配当の科目との関連を考慮しつつ、社会福祉についての基礎知識を整理するとともに、社会福祉の今日的な動向と課題についての理解を深めることを主なねらいとする。さらに、2年次以降の専門科目を受講する際の準備にも役立つような内容にしたいと考えている。

講義の内容・授業スケジュール

1 現代社会における社会福祉の意義

- 1) 社会福祉の意味
- 2) 社会福祉と関連する諸概念
- 3) 社会福祉の対象と主体
- 4) 社会福祉の補充性

2 社会福祉の歴史的発展

- 1) 欧米における社会福祉の発展
- 2) わが国における社会福祉の発展

3 社会福祉の組織と運営

- 1) 社会福祉法制
- 2) 社会福祉法制の体系
- 3) 社会福祉事業の経営主体
- 4) 福祉の措置
- 5) 社会福祉の経費

4 社会福祉の分野

- 1) 公的扶助（生活保護）
- 2) 児童福祉
- 3) 老人福祉
- 4) 障害者福祉

5 社会福祉の方法

- 1) ケースワーク
- 2) グループワーク
- 3) コミュニティワーク

6 社会福祉における人の問題

- 1) 人の問題の重要性
- 2) 社会福祉従事者の動向
- 3) 職種の問題
- 4) 社会福祉職員の専門職論
- 5) ボランティアの問題

7 社会保障と社会福祉

- 1) 社会政策と社会事業
- 2) 社会保障と社会福祉

※上記1～4の1)までを伊藤（前期）が、4の2)以下を坂田（後期）が担当予定。

成績評価の方法

担当教員が交代予定のため、評価は、前期末と年度末の2回の試験の総合評価とする。

教科書

仲村優一著『社会福祉概論』（誠信書房）

参考書等

講義の内容を上記のテキストでカバーすることができないので、講義の進行にあわせて必要な参考文献を紹介する。なお、本講の内容は極めて広い範囲にわたるので、この参考文献にもとづいて各自学習を深めることを求めたい。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
社会福祉原論	ほら だ しん いち 原 田 信 一	社福主事2必	4

講義のねらい

戦後、わが国の社会福祉は、連合国などの支援（「救済ならびに福祉計画に関する覚書」と、国民のすぐれた力入らびに敏速さによって、瞠目すべきほどの発展をみた。しかし、今日のわが国においては、世界先進諸国で見られると同様に、凄じいまでの経済、社会、人口などの変貌をはじめ、価値観、倫理感などに至る多様な変化に遭遇している。

それらに並行するかのよう、多種多様な福祉ニーズも惹起してきている。このような事態にあって、従来までの福祉路線を進めるには、些か支え止めるのがむずかしい時を迎えたと考えられる。まさに「福祉の転換期」を迎えたとと言っても過言ではないであろう。

それらのことを総合的にふまえて、時代に即応し、個人のニーズに合致した福祉サービスの支援のあり方などを講義の内容の核におき、諸外国の最新の福祉の流れを知得し、社会福祉の将来を見据えた講述を行いたい。

講義の内容・
授業スケジュール

講述の主たる骨子はつぎの通りである。

- | | |
|-----------------|------|
| 1. 社会福祉の概念と理論 | } 前期 |
| 2. 社会福祉発展の足跡 | |
| 3. 社会福祉法制的構造と体系 | |
| 4. 社会福祉の分野 | } 後期 |
| 5. 社会福祉の方法 | |
| 6. 社会福祉の将来 | |

履修上の留意点

特になし。

成績評価の方法

レポート乃至は、筆記試験を実施する。なお、評価は、出席点も加味する。

教 科 書

原田他共著「新しい社会福祉の理論」高文堂出版社 2,500円

(2) 選 択 科 目

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
法 学 (福 祉)	はい とう 鶏 徳 ひろ とう 啓 登	社 福 主 事 2 必	4

講義のねらい

現代の我国では、憲法制定後50年経過し、国外的・国内的に、社会情勢の変化に伴う新しい問題が生じてきているが、国民の高齢化に伴う福祉問題はそのうちでも非常に重要なものの一つである。我国によりなされている福祉政策は、憲法に根拠を有し、個々の行政法規に基づくものがその中心をなす。

本講義は、これら諸問題を解決し得るようになるために、憲法・行政法・福祉法規の輪郭を理解することをねらいとする。

講義の内容・授業スケジュール

i 法の意義・効力 ii 法の分類・解釈 iii 現憲法の原則 iv 基本的人権の分類・内容 v 行政法の意義・効力 vi 各種行政作用と福祉行政 vii 生活保護法の解釈 viii 児童福祉法の解釈 ix 老人福祉法の解釈

成績評価の方法

成績評価は出席状況と試験またはレポートによる。

教科書

小林弘人編著『社会福祉のための法入門』川島書店 2,000円
『福祉小六法』出版社・定価各種

参考書等

教場にて説明致します。

その他

本講義は、憲法の理解を前提とし、行政法理論の知識を踏まえて行政各論として福祉関連法規の解釈を中心に行うものであるから、より深く理解したいと思う学生は、「法学憲法」「行政法」を履修して下さい。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
社会福祉発達史	はやし 林 千代	社福主事2・3・4選	4

講義のねらい

いつの時代にも生活不安があった。それは、自然と社会の変動によって生み出されてきたといえる。常に多くの社会問題が生じ、人々は生活困難におちいった。それらに慈善や救済が対応し、近代社会は社会事業を生成した。生存権の確認は、社会福祉という方法に到達し福祉国家の実現となったが、いま福祉社会という新たな局面を迎えている。

このプロセスの理解と、社会福祉は一定の歴史的産物であるという認識こそ、社会福祉の学習には不可欠である。

講義の内容・
授業スケジュール

資本主義の発達と社会福祉の生成は、英国が典型である。日本については当然ではあるが、時間のある限り米国や北欧諸国などにもふれたい。

〔英 国〕

- ① 前史
- ② 中世封建社会と慈善
- ③ 絶対王制下の救貧制度
- ④ 旧救貧法と近代的慈善事業の生成
- ⑤ 産業革命と新救貧法のスタート
- ⑥ 社会事業近代化への動向
- ⑦ 社会保障制度の成立と諸技術の発展
- ⑧ 今日の状況と諸問題

〔日 本〕

- ① 前史
- ② 日本における救貧法の系譜と公的救済
- ③ 封建社会と慈善・慈恵
- ④ 資本主義の生成と救済事業
- ⑤ 社会事業の生成と組織化
- ⑥ 昭和期の社会事業と厚生事業
- ⑦ 戦後の社会福祉（事業）
- ⑧ 現在の状況 —— 福祉社会について

成績評価の方法

単位認定は、年一回のレポートによる。

教 科 書

教科書は決めないが、参考書は開講初日に提示の予定。

そ の 他

知識や考察を内在化させ、学生個々の自己認識を深めていくことをめざしたい。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
リハビリテーション論	はら だ しん いち 原 田 信 一	社福主事2・3・4選	4

講義のねらい

リハビリテーションにおいて、学問的に著しく遅れをみせているのが社会リハビリテーションであるといわれる。その理由として考えられるのが、この分野は、内蔵する問題が広汎、多岐に亘っているばかりか、いずれも難解な社会福祉問題を抱えていることが著しい遅滞をもたらす原因となっているといわれている。そこで、とくに、社会リハビリテーションの基本問題をふまえ、障害をめぐる社会問題と諸環境問題、隣接科学と実践問題そしてグローバルな視点から社会リハビリテーションの国際的展望などを主眼において講述する。

講義の内容・
授業スケジュール

本講は、つぎのような骨子に基づきすすめる。

- | | |
|---------------------------|------|
| 1. 社会リハビリテーションの基本問題 | } 前期 |
| 2. 障害をめぐる社会問題と諸環境問題 | |
| 3. 社会リハビリテーションの実践とその方法 | } 後期 |
| 4. 社会リハビリテーションを支える隣接科学と実践 | |
| 5. 社会リハビリテーションの従事者教育 | |
| 6. 社会リハビリテーションの国際的展開 | |

成績評価の方法

レポート乃至は、筆記試験を実施する。なお、評価は、出席点も加味する。

教科書

開講時に指示する。

参考書等

講義中、随時指示する。

その他

講義形式が中心。

科目名	担当者名	配当学年	単位
社会保障論	さか た しゅう いち 坂 田 周 一	社福主事2・3・4選	4

講義のねらい

社会保障の理念、歴史、概念、機能ならびに制度の仕組みについて、我が国の歴史並びに現状を中心に解説し、さらに国際比較を行うことにより、共通性と特殊性を明らかにしたうえで、我が国の社会保障制度がもついくつかの問題点を検討する。

講義の内容・授業スケジュール

- 1) 社会保障の歴史的展開 (2回)
- 2) 社会保障の理念 (1回)
- 3) 社会保障の概念と範囲 (1回)
- 4) 社会保障の機能 (1回)
- 5) 我が国の社会保障制度の体系 (1回)
- 6) 欧米諸国の社会保障制度 (2回)
- 7) 社会保障費用 (1回)
- 8) 社会保障各制度の内容と仕組み (10回)
 - ①公的扶助 ②社会保険一般 ③年金保険 ④医療保険 ⑤労働関連の制度
 - ⑥老人保険制度 ⑦社会福祉 ⑧その他の制度
- 9) 社会保障を取り巻く社会経済の変化と今後 (1回)
- 10) 我が国社会保障制度の問題点 (5回)

成績評価の方法

成績評価は、出席状況 (20%)、小テスト (20%)、学年末定期試験 (60%) により行う。

教科書

福祉士要請講座編集委員会『社会保障論』中央法規

参考書等

健康保険組合連合会『社会保障年鑑』、古賀昭典『社会保障論』ミネルバ書房

科目名	担当者名	配当学年	単位
家庭福祉論	たか はし しげ ひろ 高 橋 重 宏	社福主事2・3・4選	4

講義のねらい

家族・家庭とソーシャルワーク実践について学ぶことになる。まず、「家族」、「家庭」、「家庭機能」等の概念を整理するとともに、現代の家族・家庭をめぐる問題点、例えば、子育ての問題、子どもへの虐待の問題等の実態を踏まえ、家族政策、家族・家庭のウェルビーイングを促進するファミリーサービス、ファミリーソーシャルワーク等について解説する。また具体的なファミリーソーシャルワークの実践事例も紹介したい。

成績は年度末に提出を求むるレポートと出席状況によって評価する。

教科書

高橋重宏『ウェルフェアからウェルビーイングへ：子どもと親のウェルビーイングの促進・カナダの取り組みに学ぶ』（川島書店）¥1,800

参考書等

必要に応じて紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
保 健 福 祉 論	あ ん め と き え 安 梅 勅 江	社福主事2・3・4選	4

講義のねらい

高齢化社会の到来、家庭機能の弱体化等に伴い、保健と福祉の統合は今や必要不可欠であることが広く人々の認識するところとなっている。本講では、保健福祉学の必要とされる社会背景、基本的考え方を踏まえ、21世紀の国民生活に密着した保健福祉支援のあり方を具体的な事例を体験する中から学習する。

講義の内容・
授業スケジュール

保健福祉学は、実践と深く結びついた統合的な学問領域であり、保健・福祉・医療の関連諸領域に関する基礎的理解とともに保健福祉支援を実施している施設機関の実例を通じた講義を行う。

履修上の留意点

特になし。

成績評価の方法

期末試験 レポート提出（数回）

教 科 書

日本保健福祉学会編、「保健福祉学概論」、川島書店、2,800円

参 考 書 等

厚生省、平成7年度版厚生白書、ぎょうせい、2,200円
厚生統計協会、国民衛生の動向1995年版、厚生統計協会、1,957円

そ の 他

ビデオ、スライド、OHP使用。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
公 的 扶 助 論	前期 伊藤 藤 秀 一 後期 船 水 浩 行	社福主事2・3・4選	4

講義のねらい

科目の概要

わが国の社会は、今や経済的に大変「豊か」になったと言われて、貧困の問題は少なくなったと言われていいる。しかしながら、だからといって、すべての人々が何の不安もなく生活しているとは限らず、現実に職を失うなどの理由により生活費に不自由している人々は存在している。また、いわゆる発展途上国に目を転じると、依然として貧困の問題は生活上の大きな課題となっている。

こうした現代社会において、社会保障制度を構成する重要な支柱であり、経済的生活の安定を図るための最終的手段である公的扶助制度の持つ役割と意義はどのような点にあるのか、また、わが国において公的扶助制度と比定される生活保護制度の現状と課題はどのようなものであるのか、という点を中心に考察していく。

達成目標

- 1) 公的扶助の理念とその史的発展について理解する
- 2) 現代社会における公的扶助の意義について理解する
- 3) わが国における生活保護制度の仕組みと近年の動向について理解する
- 4) わが国の生活保護制度の課題点を理解する

講義の内容・ 授業スケジュール

- 1 公的扶助の理念とその史的発達
 - 1) 公的扶助の概念と範囲
 - 2) 欧米における理念と制度の史的展開
 - 3) わが国における理念と制度の史的展開
- 2 現代社会における公的扶助の意義
 - 1) 現代社会における貧困問題とナショナル・ミニマムの達成
 - 2) 現代社会における公的扶助の役割と意義
- 3 生活保護制度のしくみ
 - 1) 目的と基本原理
 - 2) 保護の原則
 - 3) 保護の種類、内容
 - 4) 保護の方法
 - 5) 保護の実施機関、実施体制
 - 6) 保護施設
 - 7) 被保護者の権利、義務
- 4 生活保護の動向
 - 1) 被保護人員、世帯数等
 - 2) 保護費と保護基準
- 5 わが国の生活保護制度を巡る課題と展望
※上記1～3の2)迄を前期（伊藤）が、3の3)以下を後期（船水）が担当予定。

成績評価の方法

担当教員が交代予定のため、評価は、前期末と年度末の2度の試験の総合評価とする。

教科書

西尾祐吾、清水浩一『公的扶助論』（相川書房）

参考書等

随時指示する。

その他

- 1) 「社会福祉原論」「社会保障論」の内容を前提として授業を展開する。
- 2) 後期は、随時課題図書等を提示し、レポートを課す予定である。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
障 害 者 福 祉 論	はら だ しん いち 原 田 信 一	社福主事2・3・4選	4

講義のねらい

障害者福祉は、障害者のもつ障害を可能な限り軽減し、一般の人々と同様の生活条件と生活のやすらぎを享受できるようにすることであり、旧来からの陋習として存続してきた障害者観の克服を通して、憲法に明文化されている条文にも合致した、新しい価値観、障害者を創造し、これを国民の意識の中に定着させることを目指すことにおいて、障害者福祉は、社会福祉の体系の中で、特偵あるものとして位置づけられることができるのである。

こうした中で、現代社会は、障害者への理解を深めながら、地域を基盤にした援助活動の推進を通して、障害者と「共に生きる」(nomalization)という共感関係を育てる方向へと動きつつある。そこで、本講では、障害者の多様で高度化を要するニーズの実態を披瀝し、それらを受容でき得る援助活動のあり方、更に、課題などについても論及する。

講義の内容・授業スケジュール

障害者福祉の講述は、つぎのような四つの体系化に基づいて巨視的、微視的な視角から接近し、概説する予定である。

- | | |
|-----------------|------|
| 1. 障害者福祉のとらえ方 | } 前期 |
| 2. 障害者福祉の対象 | |
| 3. 障害者福祉の主体 | } 後期 |
| 4. 障害者福祉サービスと課題 | |

履修上の留意点

特になし。

成績評価の方法

レポート乃至は筆記試験を実施する。なお、評価は出席点も加味する。

教科書

星野他編「障害者福祉論入門」(改訂版)有斐閣双書 1,900円

参考書等

講義中、随時指示する

その他

講義形式が中心である。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
老 人 福 祉 論	とう じょう みつ まさ 東 條 光 雅	社福主事2・3・4選	4

講義のねらい

わが国の人口高齢化が社会的な関心を集めて久しい。高齢化については多くの文献が出版され、またマスコミにおいても日々盛んに取り上げられており、基礎的な知識に関してはかなり広まっていると思われる。しかし、これまでのわが国における高齢者対策の歴史、高齢化に伴って深刻化している高齢者の現実の生活問題やそれに対する福祉サービスの質的・量的現状、今後の老人対策の動向に関しては、特に若年世代の理解は十分とは言いがたい。わが国の高齢化社会の主役は現在の青・成年層であり、特に今後社会を支えてゆくべき青年層が高齢化の動向に関して正確な知識を持つことは重要と考える。

近年、老人福祉施策は流動的に変化しており、その重要性は増す一方である。

本講では、老人福祉施策の歴史の変遷はもとより、現状認識を深め、今後の老人福祉対策を考える上で重要な老人を取り巻く社会的諸状況の現況及び変化予測や、関連する制度・政策についても理解が得られるよう講じてゆきたい。

成績評価の方法

出席点、夏休み中のレポート、年度末の定期試験を総合して評価する。

教 科 書

冷水豊編『老人福祉－政策・処遇の視点と方法——（第3版）』、海声社、¥2,000

参 考 書 等

三浦文夫編『図説高齢者白書1996』、全社協、¥2,800

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
児 童 福 祉 論	かしわ め れい ほう 柏 女 靈 峰	社福主事2・3・4選	4

講義のねらい

児童福祉とは、理想的には人格主体として理解されながら、実際には自己の立場を出張したり、それを守る力の弱い児童を、その保護者とともに社会全体がその生活と発達、自己実現を保障する活動の総体である。本講では、最新の資料、ビデオ教材等も用いて具体性をもたせつつ、現代社会とのつながりの中で福祉について考察を進める。

講義の内容・
授業スケジュール

前半は、児童福祉の現状についてビデオ教材も使用しつつ、具体的に講ずる。後半は、前半の講義を踏まえ、児童福祉の課題について対策ごとに講ずる。授業内容は以下の通り。

- I. 児童と社会：1 児童の諸特性、児童観と児童福祉、2 児童の発達と児童福祉、3 児童と家庭・社会、4 児童福祉ニーズ
- II. 児童福祉の理念：5 児童福祉の基本構造、6 児童福祉の理念
- III. 児童福祉の制度：7 児童福祉の法体系、8 実施体制、9 費用、10 施策体系、11 子育て環境、12 経済的支援、13 母子保健、14 心身障害、15 健全育成、16 保育、17 養護、18 被虐待、19 非行、20 情緒障害・不登校、21 ひとり親家庭
- IV. 児童福祉の方法：22 児童福祉専門職、23 児童福祉ネットワーク、24 児童に対する相談援助

履修上の留意点

随時、出欠確認を行う。私語厳禁。

成績評価の方法

学年末試験を中心とするが、レポート、出席も加味する。

教 科 書

柏女靈峰『現代児童福祉論』誠信書房 1995

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
女 性 福 祉 論	はやし 林 千 代	社福主事2・3・4選	4

講義のねらい

女性は、社会構造の所産である性差別を根底に経済的、精神的、社会的なしわよせを受けてきた。婦人問題としての発生がそれぞれである。男女が平等に、対等な性として生きるのは困難をきわめたし、いまなお多くの問題を有している。

1970年代に入り、婦人保護事業の局面には、女性一般の姿がみられるようになり、彼女達がかかえている問題も多様化し、複雑になっていった。一方、婦人保護事業の売春防止法にもとづく本来的なとり組みは、薄れていった。しかし、現実に売買春は拡大深化し、国際的な課題ともなっている。

売買春問題を基底に据えて、婦人保護事業の現実から女性の複雑阻害の実態をとらえ、女性の人権復権の検討を課題としたい。それは当然、男性の人権侵害を問い考えることになる。

講義の内容・
授業スケジュール

- ① 女性問題と社会福祉
 - a 近代社会と婦人問題
 - b 戦後社会と女性
 - c 女性福祉の意義と理念
- ② 女性福祉の現状と課題
 - a 売買春と婦人保護事業
 - b 母子世帯の生活問題
 - c 寡婦の暮らし
 - d 女と老い
 - e 両親の就労と保育問題
 - f 福祉労働と女性
 - g 女性福祉に関連する諸問題
- ③ 女性福祉の枠組の検討

教 科 書

教科書は、特に無い。

参 考 書 等

参考書は随時紹介する。

そ の 他

講義は、その都度コピー資料を作成し配布。ビデオもできるだけ多く使用する予定である。単位の認定は、年一回のレポートによる。自己認識を深めることのできるような展開をしていきたい。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
医 療 福 祉 論	はる み しず こ 春 見 静 子	社福主事2・3・4選	4

講義のねらい

病院、診療所、保健所などの医療機関における患者や家族のもつ社会福祉的なニーズに対する専門的な援助の方法と、高齢者や障害者などの福祉分野や、地域福祉の領域での医療と福祉の連携のありかたについて社会福祉の視点から考察する。

基礎となる学問的傾向：社会学，心理学，地域福祉論，社会保障法，社会福祉援助技術

問題意識：現代の医療における全体的人間理解の困難と必要性

講義の内容・
授業スケジュール

1. 健康と病気の概念
2. 医療機関について
3. 医師とコメディカルズ 専門職とチームワーク
4. 医療ソーシャルワークについて、社会福祉とソーシャルワーク、医学知識、社会資源としての諸制度、ソーシャルワークの方法
5. 医療ソーシャルワークの実際 疾病別、機関別
6. 医療と福祉の連携 施設における実践、地域における実践

履修上の留意点

できる限り具体的なケースを通して問題を明らかにし、処遇を検討したいと考えているので問題意識をもって参加してほしい。

授業の合間に病院見学を企画します。

成績評価の方法

期末試験による

教 科 書

山川哲也著『臨床医療ソーシャルワーク』誠信書房 2,500円

参 考 書 等

授業中に提示

そ の 他

授業とディスカッション

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
地 域 福 祉 論	わ だ と し あ き 和 田 敏 明	社福主事2・3・4選	4

講義のねらい

21世紀に向けて、国民誰もが安心できる福祉社会を築くことを基本理念に第定された「21世紀福祉ビジョン」において、社会保障の基本的在り方を①国民生活の安定基盤たる社会保障の構築 ②年金、医療、福祉等のバランスのとれた給付の構造の実現 ③自助、共助公助の重層的な地域福祉システムの構築の3点にあるとしている。このように本格的「少子・高齢社会」である21世紀に対応するための社会保障制度の再構築の推進がめざされている。平成5年度から、社会福祉事業法、老人福祉法等8法改正の完全実施が行なわれ、市町村福祉時代が始まり、地域福祉の現実化が新しい段階を迎えた。これにより、地方分権化、福祉供給システムの多様化、一方で、計画作りやケア・マネージメント、ボランティア活動、住民参加型在宅福祉サービスの活発化などを伴ない、地域福祉を基調とする福祉が急速な展開を見せている。地域福祉理論もこうした実態をふまえ、絶えず新しい内容を追求し、体系化、理論化が図られている。

講義は、①福祉全体の動向の中での地域福祉の位置、政策動向 ②地域福祉概念成立過程と地域福祉概念 ③地域福祉の構成要素 ④推進方法 ⑤推進上の課題 ⑥推進組織 ⑦地域福祉の財政 ⑧地域福祉の担い手等について最新の実践や研究をふまえ講義を行う。

講義の内容・授業スケジュール

①現在の社会福祉の動向と地域福祉 ②地域福祉成立の背景 ③現代コミュニティと福祉コミュニティ ④地域福祉論の形成過程 ⑤地域福祉の概念 ⑥地域福祉の構成 対人福祉サービス 予防・福祉増進サービス 福祉環境づくり ⑦地域福祉推進の方法 ⑧地域福祉計画 ⑨地域福祉の運営・機構 ⑩地域福祉の実践・推進組織 ⑪地域福祉の担い手 ⑫ボランティア ⑬財政 ⑭推進の課題

成績評価の方法

レポート

教科書

社会福祉士養成講座7「地域福祉論」中央法規出版

参考書等

永田幹夫著「地域福祉論」改訂 全国社会福祉協議会
 大国美智子・和田敏明編 明日の高齢者ケアNo.3「在宅支援の技法」中央法規出版
 岡村重夫「地域福祉論」光生館

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
社 会 学 (福 祉)	はし づめ さとし 橋 爪 敏	社福主事2・3・4選	4

講義のねらい

この講義は、社会福祉士ならびに社会福祉主事を目指す学生に「社会学」についての基本的な知識の提供を目的とする。

講義の内容・
授業スケジュール

講義のねらいで述べたように、この「社会学(福祉)」の授業は社会福祉士、社会福祉主事の資格取得に関わるものである。しかし、こうした資格に関わる受験対策そのものをねらいとするものではない。また、「福祉社会学」を論ずるものでもない。あくまでも、「社会学」の基礎知識の習得がねらいである。したがって、社会学の歴史、社会集団の類型、現代社会の諸問題などを取り上げることとする。

履修上の留意点

この授業は、すでに社会学についての若干の予備知識のあるものと、まったくの初心者も受講すると言う、変則的なところがあるが、初心者に判り易く語ることを主にしていきたい。

成績評価の方法

成績評価は、講義内容に関わる基本的な問題について、学年末におこなうペーパー・テストによって評価する。

教 科 書

福祉士養成講座編集委員会編『改訂 社会福祉士養成講座12/社会学』中央法規出版

参 考 書 等

安藤喜久雄ほか編『社会学概論』学文社
 安藤喜久雄ほか編『わかりやすい社会学』学文社
 高尾・橋爪編『社会学の基礎』犀書房
 R. ニスベット『現代社会学入門1～4』講談社学術文庫

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
心 理 学 (福 祉)	たか はし よし ひろ 高 橋 良 博	社福主事2・3・4選	4

講義のねらい

社会福祉の現場で、必要とされる「心理学」の基礎的な知識を、習得することを目的とする、講義である。

講義の内容・
授業スケジュール

講義の予定としては、まず、心理学的なものの方を見方を身につけ、次に、社会福祉に関連するトピックスをとり上げてゆく。具体的には、以下の項目について、1年間を通し重点的にふれてゆく。①心理学の歴史と現状に対する理解 ②人間の心理学的理解に関する基礎概念
 ③人間の成長・発達の心理と諸問題 ④心理学的な人間理解に基づく援助技術
 また、心理学研究の雰囲気にもふれるため、適宜、供覧実験や人格テストの体験なども折込ながら講義を進めてゆく予定である。

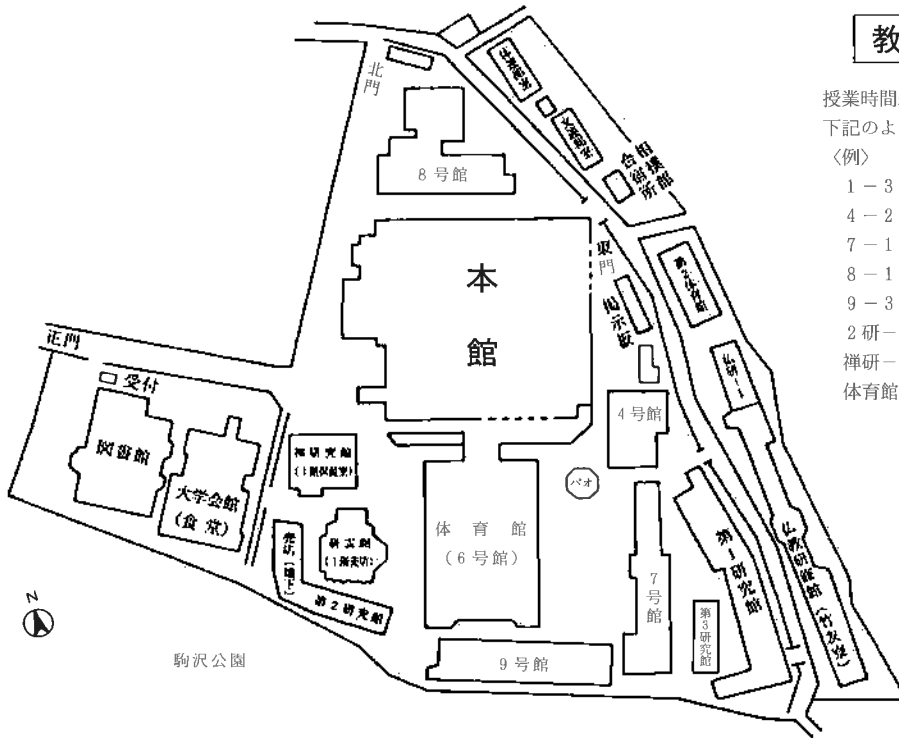
成績評価の方法

筆記試験・レポートなどの提出物、その他、平常点(講義への出席状況や、参加度)などを総合して評価を行う。

教 科 書

福祉士養成講座編集委員会 編集『改訂 社会福祉士養成講座 11 心理学』中央法規
 定価¥2,500

駒澤大学の構内図



教場案内

授業時間表に載っている教場は下記のように見て下さい。

〈例〉

1-301	本館(1号館)3階
4-204	4号館2階
7-110	7号館1階
8-150	8号館1階
9-390	9号館3階
2研-101	第2研究館1階
禅研-201	禅研究館2階
体育館	体育館2階

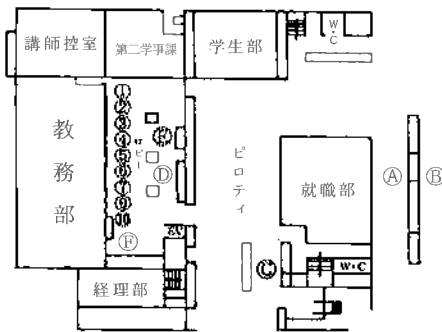
(ただし選択種目により第2体育館になる)

各事務室・掲示板配置図

教務部窓口

- ①教職課程
学校図書館司書教諭講座
- ②博物館学講座
社会福祉主事講座
社会教育主事講座
- ③科目等履修生 聴講生 卒業証書
- ④証明書関係
(健康診断書は学生部)
- ⑤諸届願
休学・復学・退学・死亡
改氏名・本籍地変更・住所変更・保証人変更
- ⑥大学院関係・留学生関係
卒業論文(仏教学部・文学部)
- ⑦転部転科
- ⑧履修・試験・成績・学業相談
学部演習(仏教学部・経済学部
法学部・経営学部)
- ⑨時間割変更・休講・外国語指定届

本館 1 F



掲示

- Ⓐ第1掲示板(表面)
公示・告示・学生部・就職部関係連絡事項, 教務部関係(試験・教職・研究室等)連絡事項, その他
- Ⓑ第2掲示板(裏面) - 臨時掲示板 -
教務部関係連絡事項(12月~3月)
就職部関係連絡事項(8月)
- Ⓒ第3掲示板 - 臨時掲示板 -
教務部関係連絡事項(12月~3月)
就職部関係連絡事項(4月~11月)
- Ⓓ休講掲示板・ビデオ教場使用一覧(当日)
- Ⓔ授業時間表カウンター・教場変更掲示板
- Ⓕ大学院・留学生関係掲示板
- Ⓖ国際センター掲示板
- Ⓗ留学生専用・海外留学掲示板
学外諸機関からの案内・募集広告等

耕雲館 2 F

体育館 1 F

